

足立区  
子ども・子育て支援に関する  
ニーズ調査

調査結果報告書

平成31年3月



<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1.	調査の目的.....	1
2.	調査の設計.....	1
3.	回収結果.....	1
4.	調査結果の表示方法.....	2
5.	ブロック区分図及びブロック地区町丁名対応表.....	4
<b>II</b>	<b>調査結果のまとめ</b> .....	<b>5</b>
1	就学前児童（0歳～5歳）の保護者.....	5
2	就学後児童（小学生）の保護者.....	7
<b>III</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>9</b>
1	就学前児童（0歳～5歳）調査.....	9
1-1	居住地区について.....	9
1-2	子どもと家族の状況について.....	9
1-3	子育て環境について.....	12
1-4	保護者の就労状況について.....	14
1-5	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	42
1-6	地域の子育て支援事業の利用状況について.....	70
1-7	土曜日や休日の教育・保育事業の定期的な利用希望について.....	78
1-8	病気の際の対応について.....	88
1-9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	95
1-10	職場の両立支援制度について.....	116
1-11	子育て全般について.....	130
2	就学後児童（小学生）調査.....	140
2-1	居住地区について.....	140
2-2	子どもと家族の状況について.....	141
2-3	就学前の教育・保育事業の利用状況について.....	145
2-4	子育て環境について.....	146
2-5	保護者の就労状況について.....	149
2-6	放課後の過ごし方について.....	183
2-7	病気の際の対応について.....	203
2-8	子育て全般について.....	217
<b>IV</b>	<b>自由回答</b> .....	<b>223</b>
<b>V</b>	<b>参考資料 調査票</b> .....	<b>225</b>



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

足立区は、2020年度から2024年度を計画期間とする「足立区子ども・子育て支援事業計画（以下、「事業計画」という。）の策定に伴い、この事業計画に必要となる子育て世帯の保護者の就労状況や教育・保育施設等の利用に関する意向、その他の実状を把握するため「足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施した。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査地域 足立区内全域
- (2) 調査対象 足立区に在住する0歳から11歳の子どもを持つ保護者
- (3) 標本数
  - ・ 就学前児童（0歳～5歳児）の保護者 6,750件
  - ・ 就学後児童（小学生）の保護者 3,200件
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より対象世帯を無作為抽出
- (5) 調査方法
  - ・ 配布 郵送配布
  - ・ 回収 郵送回収
- (6) 調査期間 平成31年1月31日～2月20日

## 3. 回収結果

	配布数	有効回答数	有効回収率
全体	9,950	4,595	46.2%
就学前児童	6,750	3,110	46.1%
小学校児童	3,200	1,485	46.4%

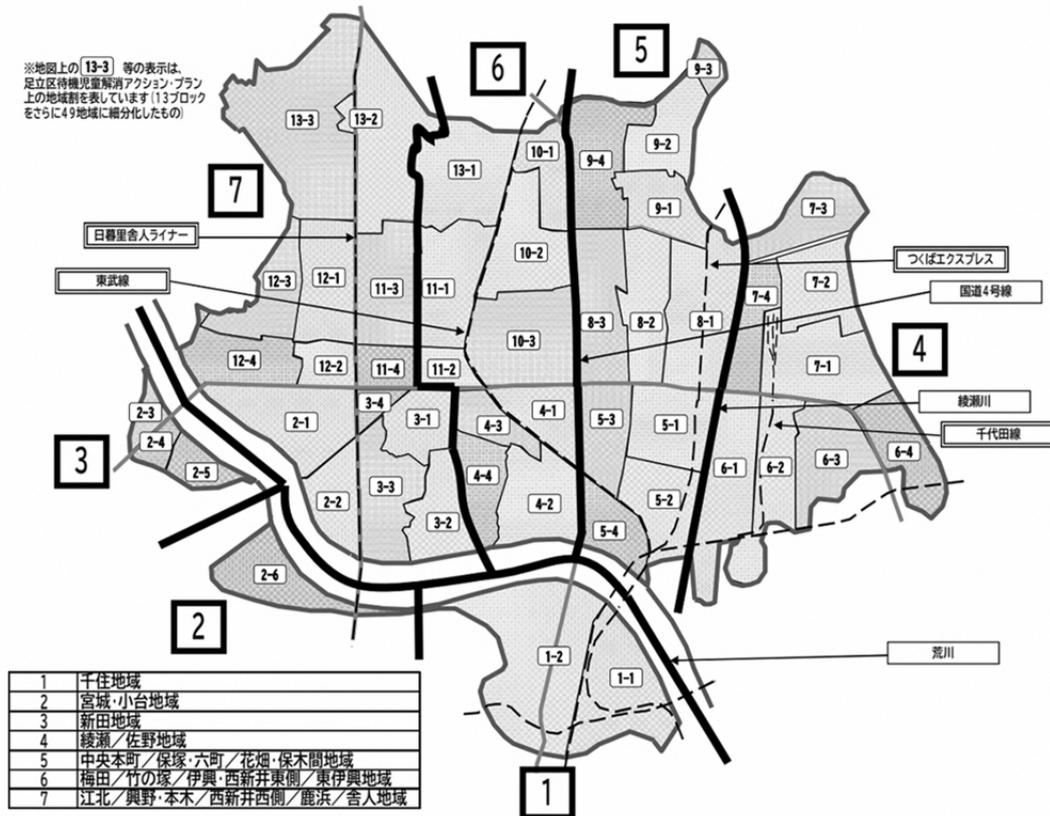
## 4. 調査結果の表示方法

- (1) 集計表の回答比率は小数第2位を四捨五入し、第1位までを表示している。従って合計が100.0%にならない場合がある。また、複数回答（選択肢からいくつでも選ぶ形式）の質問では回答比率が100.0%を超える場合がある。
- (2) 本文図表および集計表のnは回答者数を表している。設問ごとに回答者数nを基数として比率を算出している。
- (3) 本文図表においては、グラフを見やすくするため比率の掲載を省略する場合がある。また、回答選択肢の表示は適宜語句を簡略化している場合がある。
- (4) 図表のラベルにおいては、平成25年度に無かった項目は「－」としている。
- (5) 分析の軸として回答者の属性や質問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性の基数と合計が全体と一致しない場合がある。

【教育・保育事業の選択肢表記方法】

	選択肢表記	報告書上での表記
定期的な教育・保育事業	1. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）	1. 私立幼稚園
	2. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	2. 私立幼稚園の預かり保育
	3. 認定こども園の短時間利用（午前9時～午後2時）	3. 認定こども園の短時間利用
	4. 認定こども園の長時間利用	4. 認定こども園の長時間利用
	5. 認可保育所（国の基準に適合した施設で、東京都の認可を受けたもの）	5. 認可保育所
	6. 小規模保育（国の基準に適合した施設で、足立区の認可を受けて2歳児まで6～19人を保育するもの）	6. 小規模保育
	7. 家庭的保育（保育ママ）（保育者の自宅等で、足立区の認可を受けて2歳児まで5人以下を保育する事業）	7. 家庭的保育（保育ママ）
	8. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	8. 事業所内保育施設
	9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）	9. 居宅訪問型保育
	10. 東京都認証保育所（東京都が認証した保育施設で、直接施設に利用申込するもの）	10. 東京都認証保育所
	11. その他の認可外保育施設（直接施設に利用申込するもので他の選択肢にあてはまらないもの）	11. その他の認可外保育施設
	12. 子ども預かり・送迎支援事業（旧子育てホームサポート）又は、ファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもを預かる事業）	12. 子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業
	13. その他	13. その他
不定期の教育・保育事業	1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	1. 一時預かり
	2. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	2. 私立幼稚園の預かり保育
	3. 子ども預かり・送迎支援事業（旧子育てホームサポート）又は、ファミリー・サポート・センター事業	3. 子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業
	4. トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間に概ね22時ごろまで子どもを預かる事業）	4. トワイライトステイ
	5. ベビーシッター（民間）	5. ベビーシッター（民間）
	6. その他	6. その他
	7. 利用していない	7. 利用していない

## 5. ブロック区分図及びブロック地区町丁名対応表



ブロック名	地区町丁目名
第1ブロック	千住一～五丁目、千住曙町、千住旭町、千住東一～二丁目、千住大川町、千住河原町、千住寿町、千住桜木一～二丁目、千住関屋町、千住龍田町、千住中居町、千住仲町、千住橋戸町、千住緑町一～三丁目、千住宮元町、千住元町、千住柳町、日ノ出町、柳原一～二丁目
第2ブロック	小台一～二丁目、宮城一～二丁目
第3ブロック	新田一～三丁目
第4ブロック	綾瀬一～七丁目、大谷田一～五丁目、加平一～三丁目、北加平町、佐野一～二丁目、神明一～三丁目、神明南一～二丁目、辰沼一～二丁目、東和一～五丁目、中川一～五丁目、東綾瀬一～三丁目、六木一～四丁目、谷中一～五丁目
第5ブロック	青井一～六丁目、足立一～四丁目、弘道一～二丁目、中央本町一～五丁目、西綾瀬一～四丁目、西加平一～二丁目、花畑一～八丁目、東保木間一～二丁目、東六月町、一ツ家一～四丁目、平野一～三丁目、保木間一～五丁目、保塚町、南花畑一～五丁目、六町一～四丁目
第6ブロック	伊興一～五丁目、伊興本町一～二丁目、梅島一～三丁目、梅田一～八丁目、栗原一～四丁目、島根一～四丁目、関原一～三丁目、竹の塚一～七丁目、西新井一～三丁目、西新井栄町一～三丁目、西伊興四丁目、西竹の塚一～二丁目、西保木間一～四丁目、東伊興一～四丁目、六月一～三丁目
第7ブロック	入谷一～九丁目、入谷町、扇一～三丁目、興野一～二丁目、加賀一～二丁目、江北一～七丁目、古千谷一～二丁目、古千谷本町一～四丁目、皿沼一～三丁目、鹿浜一～八丁目、椿一～二丁目、舎人一～六丁目、舎人公園、舎人町、西新井四～七丁目、西新井本町一～五丁目、西伊興一～三丁目、西伊興町、堀之内一～二丁目、本木一～二丁目、本木北町、本木西町、本木東町、本木南町、谷在家一～三丁目

## Ⅱ 調査結果のまとめ

### 1 就学前児童（0歳～5歳）の保護者

#### (1) 仕事と子育て

就学前児童の母親は、『フルタイムで就労している』が41.4%、そのうち『産休・育休・介護休業中である』が12.3%、『パート・アルバイト等で就労している』では22.4%、『就労していない』では35.2%となっている。

現在就労していない母親の就労意向は69.3%で、そのうち『フルタイムで就労したい』が6.7%、『パート・アルバイトで就労したい』が62.6%となっている。

就学前児童の父親は、『フルタイムで就労している』が96.9%、そのうち『産休・育休・介護休業中である』が0.3%となっている。

母親の育児休業について、「育児休業と短時間勤務を両方取得した」が24.0%、「育児休業のみ取得した」が20.8%と合わせて44.8%となっている。育児休業を取得した母親のうち「育児休業取得後、職場に復帰した」が70.0%となっている。一方、「育児休業中に離職した」が6.4%、「現在も育児休業中である」が21.7%となっている。

#### (2) 教育・保育事業の利用に関する現状

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況では、「利用している」が69.3%となっており、平成25年度より8.5ポイント増加となっている。児童の年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「利用している」の割合が増加し、5歳で98.0%となっている。

利用している教育・保育事業の内容では、「認可保育所」が48.6%と最も多く、次いで「私立幼稚園」が33.3%となっており、「東京都認証保育所」は5.1%となっている。母親の就労状況別でみると、「認可保育所」は『フルタイムで就労している』親の割合が7割を超え、「私立幼稚園」は『就労していない』親の割合が8割を超えて高くなっている。

一方、教育・保育事業を利用していない理由について、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」が50.4%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が47.4%となっている。利用していない理由として「子どもがまだ小さいため」と回答した保護者に利用希望年齢を聞いたところ、「3歳から」が44.8%となっている。

#### (3) 教育・保育事業の利用に関するニーズ

今後利用したい平日の定期的な教育・保育事業の内容では、「認可保育所」が51.4%と最も多く、次いで「私立幼稚園」が45.1%となっており、「東京都認証保育所」は8.0%となっている。母親の就労状況別でみると、「認可保育所」は『フルタイムで就労している』親の割合が7割を超えて高く、「私立幼稚園」は『就労していない』親の割合が8割を超えて高くなっている。一方、「私立幼稚園の預かり保育」は26.6%、現状より20.1ポイント増加となっている。

平日以外の定期的な教育・保育事業の利用について、『土曜日の利用希望』では40.1%、『日曜日・祝日の利用希望』では16.6%となっている。また、「私立幼稚園」、「私立幼稚園の預かり保育」の長期休業中における平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が15.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が53.8%と、合わせて69.7%

となっている。「休みの期間中、週に数日利用したい」理由としては、「毎日親子だけでいるより子どもに良いと思うから」が68.0%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が51.7%、「息抜きのため」が50.7%と高くなっている。

病気やケガ時の教育・保育事業の利用について、実際に病気等で普段利用している教育・保育事業を利用できなかった経験がある保護者のうち、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」が41.2%、同様に、不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について、「必要があると思う」が56.1%となっている。また、この1年間に宿泊を伴う一時預かりが必要となったことがある保護者が16.7%となっている。

#### (4) 子育て支援事業の利用状況

子育てサロンについて、「子育てサロンを利用している」が16.9%となっている。子どもの年齢別でみると、「子育てサロンを利用している」は0歳が34.3%、1歳が23.3%、2歳が16.7%、3歳が8.2%、4歳が5.1%、5歳が5.7%と、1歳を期に年齢が上がるにつれて割合が減少している。

今後の利用意向について、「利用していないが、今後利用したい」が15.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.7%、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が76.5%となっている。今後利用しない理由について、「平日は保育園などに預けているから」が58.8%と最も多くなっている。

相談・情報提供事業の認知度について、「児童館子育てサロン」が81.7%、「子育てサロン（児童館内以外）」が79.8%、「子育てガイドブック（子育て情報冊子）」が76.4%、「Aメール」が60.8%、「保健センター等のファミリー学級・相談事業」が59.1%と高くなっている。そのうち、利用意向では「子育てガイドブック（子育て情報冊子）」が59.2%、「Aメール」が57.4%、「児童館子育てサロン」が52.1%と5割を超えて高くなっている。

#### (5) 子育て全般について

日頃子どもをみてもらえる親族や知人の有無について、「いずれもない」が19.2%となっており、子育てを相談できる相手の有無について、「いる」が92.6%、「いない」が4.4%となっている。相談相手について、「配偶者」が83.4%、「祖父母等の親族」が78.2%、「友人や知人」が73.5%となっている。

足立区の子育てやすさについて、「子育てしやすいまちだと思う」が23.3%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が60.9%となっている。

子育てしやすいまちだと思う理由について、「公園など子どもの遊び場が多い」が74.3%、「子育てサロンや児童館・図書館が近所にある」が43.6%と高くなっている。

一方で、「子育てしやすいまちだと思わない」は3.5%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」が11.0%となっており、その理由としては「事故や犯罪が多く安全ではない」が49.7%、「保育サービス等が充実していない」が44.6%と高くなっている。

## 2 就学後児童（小学生）の保護者

### (1) 仕事と子育て

就学後児童小学生低学年（以下「1～3年生」という。）の母親は、『フルタイムで就労している』が31.7%、そのうち『産休・育休・介護休業中である』が2.1%となっており、『パート・アルバイト等で就労している』では38.0%で、『就労していない』では29.3%となっている。

就学後児童小学生高学年（以下「4～6年生」という。）の母親は、『フルタイムで就労している』が30.5%、そのうち『産休・育休・介護休業中である』が0.6%、『パート・アルバイト等で就労している』では42.1%となっており、『就労していない』では26.0%となっている。

現在就労していない「1～3年生」の母親の就労意向は57.8%、そのうち『フルタイムで就労したい』が5.5%、『パート・アルバイトで就労したい』が52.3%となっており、「4～6年生」の母親の就労意向は62.6%、そのうち『フルタイムで就労したい』が9.5%、『パート・アルバイトで就労したい』が53.1%となっている。

「1～3年生」の父親は、『フルタイムで就労している』が97.9%、そのうち『産休・育休・介護休業中である』が0.4%となっており、「4～6年生」の父親は、『フルタイムで就労している』が96.6%、そのうち『産休・育休・介護休業中である』が1.1%となっている。

### (2) 子どもの放課後の過ごし方における現状

現在、「1～3年生」の放課後の過ごし方について、「自宅」が64.4%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」が63.3%となっている。放課後の過ごし方で最も多かった3つについて、『自宅』の週あたりの日数は「2日」が25.6%と最も多く、次いで「5日」が21.5%となっており、『習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）』の週あたりの日数は「3日」が29.6%と最も多く、次いで「2日」が29.2%となっており、『公園など、屋外の公共スペース』の週あたりの日数は「1日」が38.9%と最も多く、次いで「2日」が31.0%となっている。

学童保育を利用していない理由について、「1～3年生」では「平日、父母が子どもをみており、利用する必要がないため」が53.3%、「4～6年生」では「子どもだけで留守番しており、利用する必要がないため」が40.4%と最も多くなっている。一方、利用したいが、何らかの理由があって利用できないとする保護者は、「1～3年生」と「4～6年生」共に少なくなっている。

### (3) 子育て全般について

日頃子どもをみてもらえる親族や知人の有無について、「いずれもない」とした「1～3年生」が18.7%、「4～6年生」が17.6%となっており、子育てを相談できる相手の有無について、「いる」とした「1～3年生」が94.1%、「4～6年生」が91.9%となっている。相談相手について、「1～3年生」と「4～6年生」共に「配偶者」が最も多く、それぞれ79.7%、77.9%、次いで「友人や知人」が76.0%、76.1%、「祖父母等の親族」が73.8%、69.8%となっている。

足立区の子育てしやすさについて、「1～3年生」では「子育てしやすいまちだと思う」が22.6%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が63.3%、「4～6年生」では「子育てしやすいまちだと思う」が25.3%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が60.4%となっている。

子育てしやすいまちだと思ふ理由について、「1～3年生」と「4～6年生」共に「公園など子どもの遊び場が多い」が最も多く、それぞれ62.7%、59.2%、次いで「小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい」がそれぞれ47.9%、47.0%と高くなっている。

一方で、「1～3年生」では「子育てしやすいまちだと思わない」が1.7%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」が11.9%、「4～6年生」では「子育てしやすいまちだと思わない」が2.4%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」が10.8%となっている。

子育てしやすいまちだと思わない理由としては、「1～3年生」と「4～6年生」共に「事故や犯罪が多く安全ではない」が、それぞれ60.2%、55.4%と最も多く、次いで「交通機関が不便」がそれぞれ30.1%、51.1%と高くなっている。

### Ⅲ 調査結果

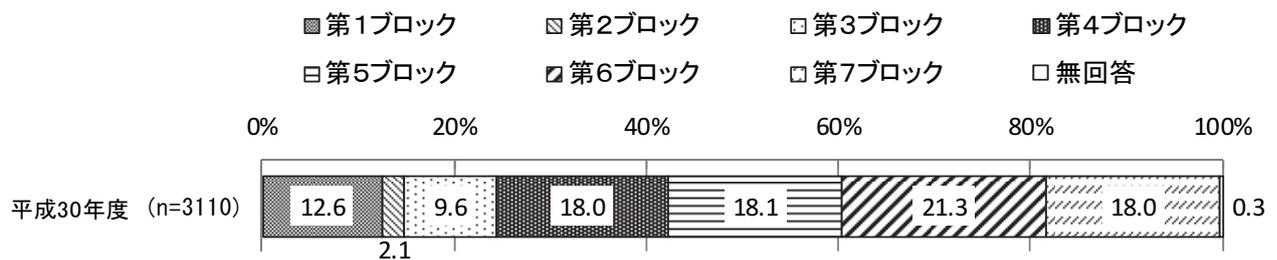
#### 1 就学前児童（0歳～5歳）調査

##### 1-1 居住地区について

問1. お住まいの地区をカッコ内にご記入ください。

居住地区について、「第6ブロック」が21.3%と最も多く、次いで「第5ブロック」が18.1%、「第4ブロック」と「第7ブロック」が共に18.0%となっている。

図表1 居住地区



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

##### 1-2 子どもと家族の状況について

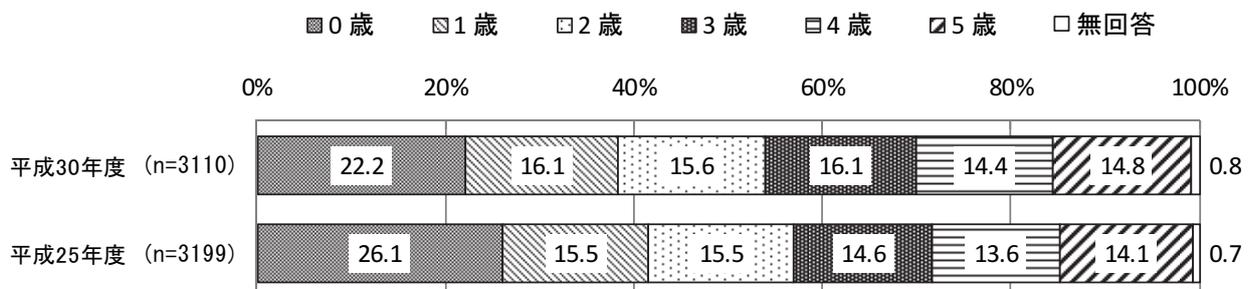
###### 1-2-1 子どもの年齢

問2. お子さんの生年月月をご記入ください（カッコ内に数字で）。

子どもの年齢について、平成30年度では「0歳」が22.2%と最も多く、次いで「1歳」「3歳」が同じく16.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「3歳」が1.5ポイント増加し、「0歳」は3.9ポイント減少している。

図表2 子どもの年齢



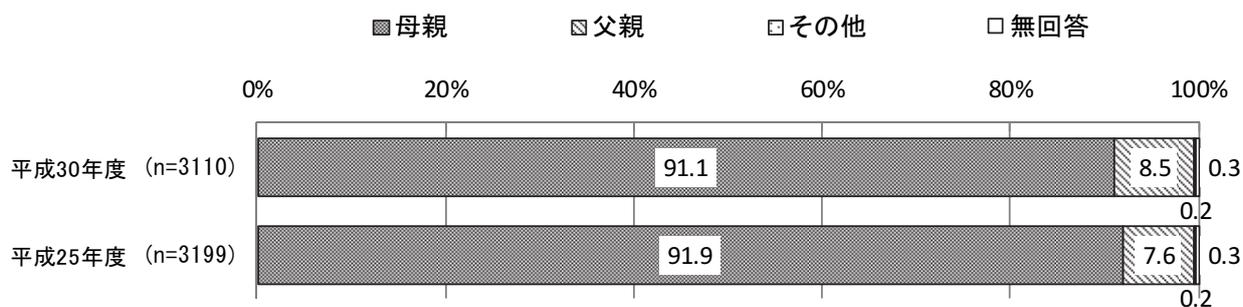
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

### 1-2-2 調査票の記入者

問3. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（○は1つだけ）。

調査票の記入者について、平成30年度では「母親」が91.1%、「父親」が8.5%となっている。平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表3 調査票の記入者



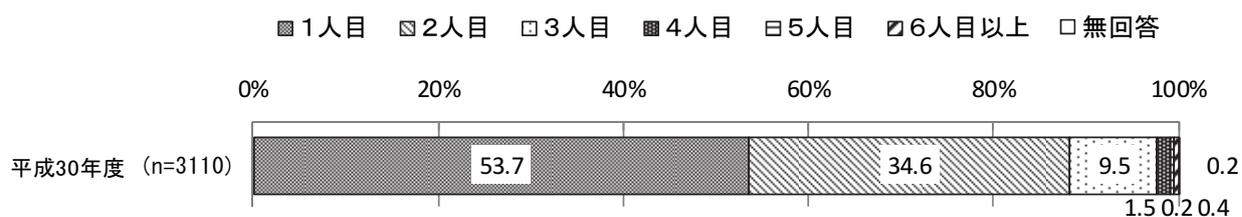
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

### 1-2-3 何番目の子どもか

問4. お子さんはご回答いただく方にとって何番目のお子さんですか（○は1つだけ）。

何番目の子どもかについて、「1人目」が53.7%と最も多く、次いで「2人目」が34.6%、「3人目」が9.5%となっている。

図表4 何番目の子どもか



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

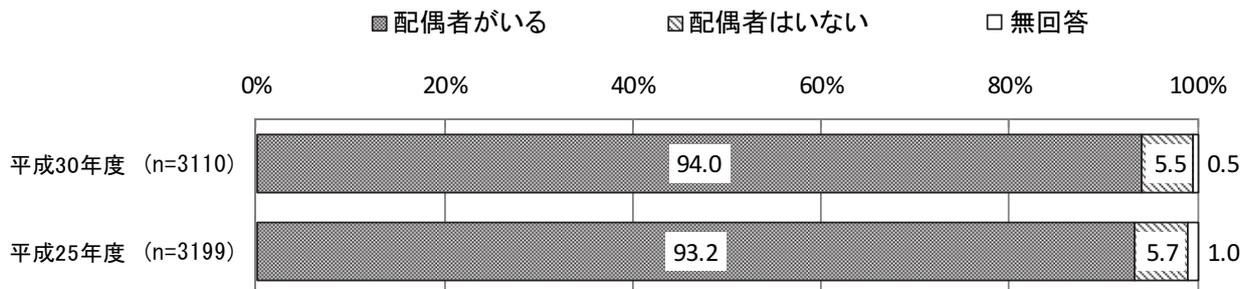
### 1-2-4 調査票記入者の配偶者の有無

問5. この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか（○は1つだけ）。

調査票記入者の配偶者の有無について、平成30年度では「配偶者がいる」が94.0%、「配偶者はいない」が5.5%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表5 調査票記入者の配偶者の有無



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

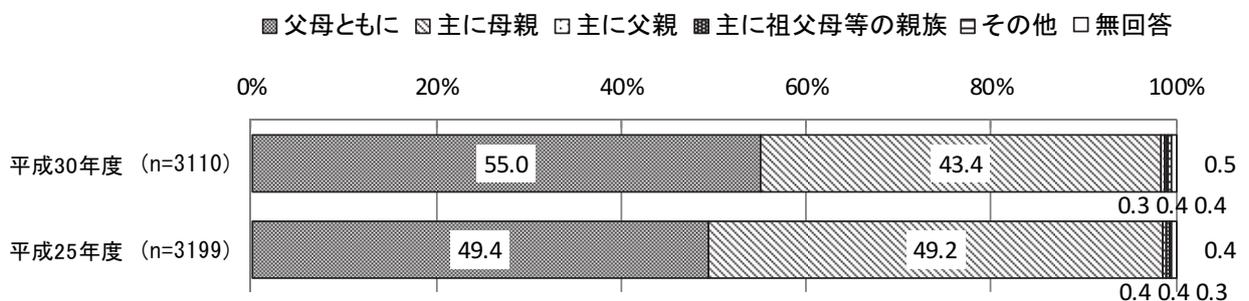
### 1-2-5 子育てを主に行っている方

問6. お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたと考えていますか。お子さんからみた関係でお答えください（○は1つだけ）。

子育てを主に行っている方について、平成30年度では「父母ともに」が55.0%と最も多く、次いで「主に母親」が43.4%となっている。

平成25年度と比較すると、「父母ともに」が5.6ポイント増加し、「主に母親」は5.8ポイント減少している。

図表6 子育てを主に行っている方



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

### 1-3 子育て環境について

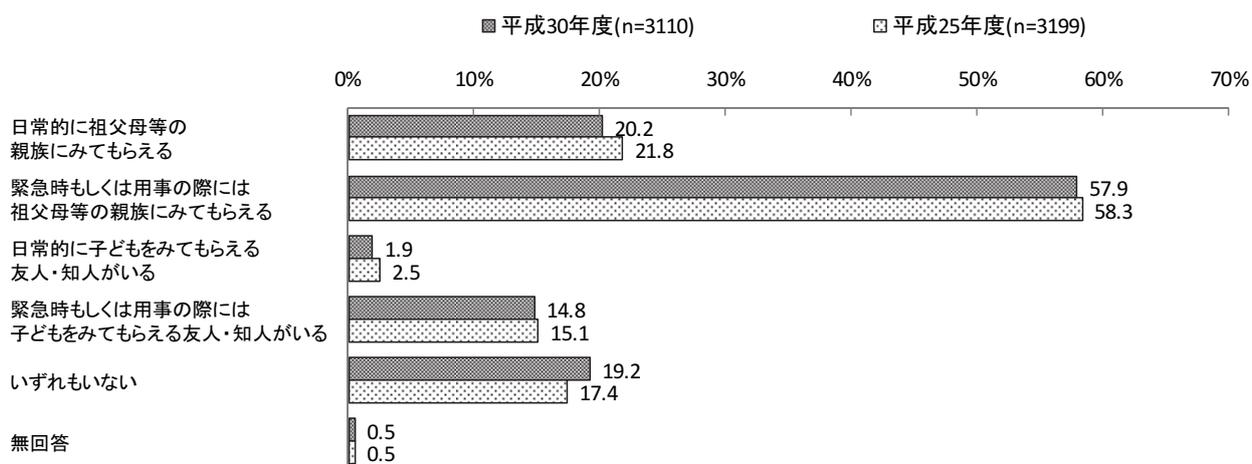
#### 1-3-1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問7. 親族や知人で、日頃、お子さんをみてもらえる方はいますか（○はあてはまるものすべて）。

子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、平成30年度では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が20.2%、「いずれもない」が19.2%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表7 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学前児童対象調査の全員

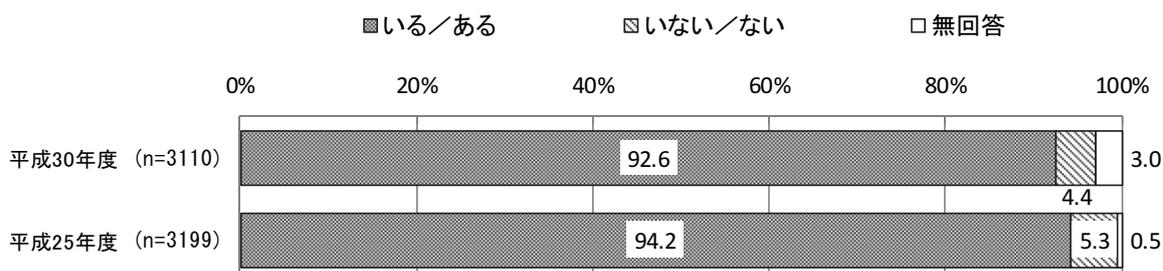
#### 1-3-2 子育てについて相談できる人・場所の有無

問8. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか（○は1つだけ）。

子育てについて相談できる人・場所の有無について、平成30年度では「いる／ある」が92.6%、「いない／ない」が4.4%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表8 子育てについて相談できる人・場所の有無



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

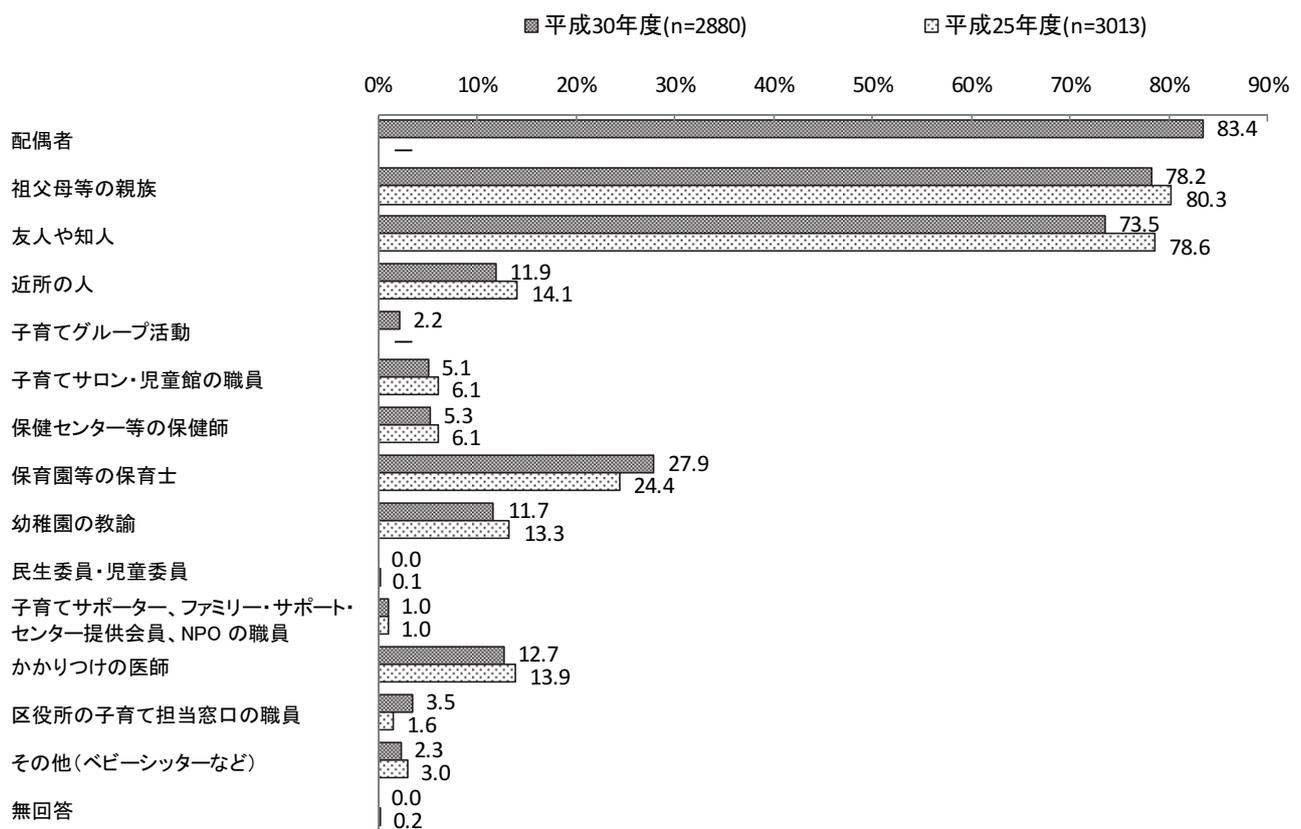
## 1-3-3 子育てについて相談できる人・場所

問8-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか（〇はあてはまるものすべて）。

子育てについて相談できる人・場所について、平成30年度では「配偶者」が83.4%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が78.2%、「友人や知人」が73.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「保育園等の保育士」が3.5ポイント増加し、「祖父母等の親族」「友人や知人」がそれぞれ2.1ポイント、5.1ポイント減少している。

図表9 子育てについて相談できる人・場所



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問8で「いる／ある」と回答した人

## 1-4 保護者の就労状況について

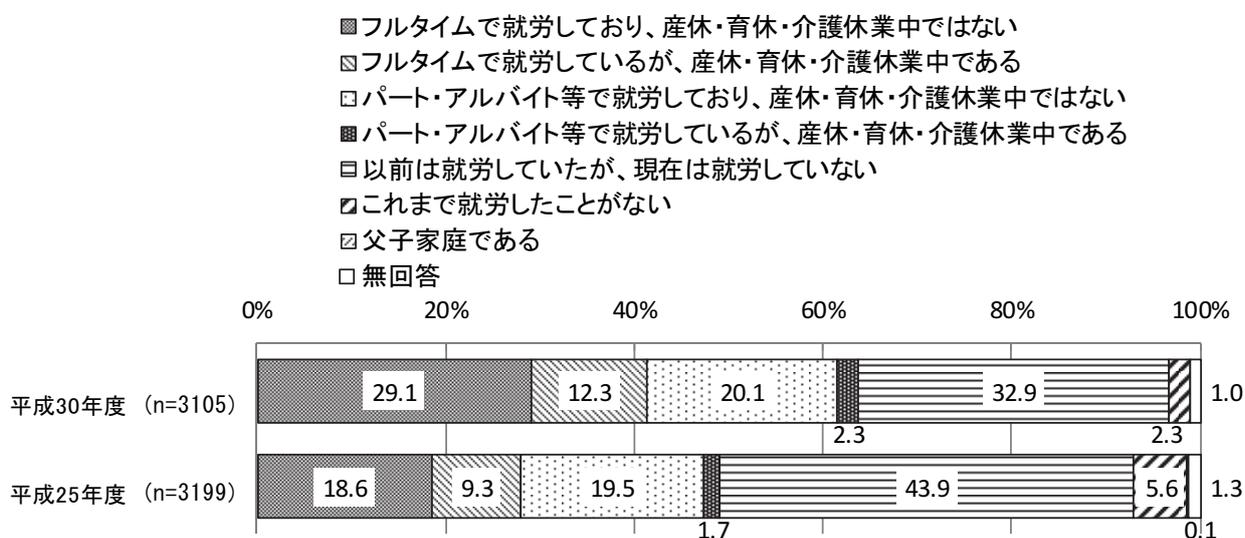
### 1-4-1 母親

#### 1-4-1-1 母親の就労状況

問9. お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

母親の就労状況について、平成30年度では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が32.9%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.1%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が20.1%となっている。

図表 10 母親の就労状況



※回答対象は就学前児童対象調査の全員（父子家庭を除く）

※平成25年度の集計は「父子家庭」を含み、単純比較ができないため、参考表記とする

1-4-1-2 フルタイムの母親の就労状況

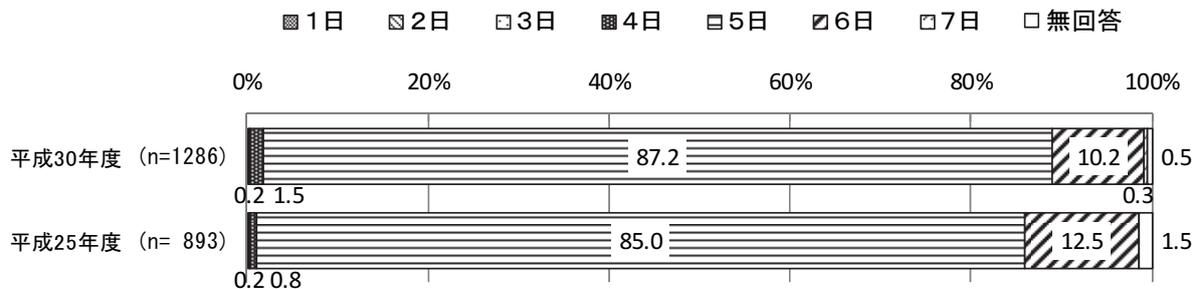
問9-1. お母さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

(1) 1週あたりの就労日数

フルタイムの母親の1週あたりの就労日数について、平成30年度では「5日」が87.2%と最も多く、次いで「6日」が10.2%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 11 1週あたりの就労日数（フルタイムの母親）



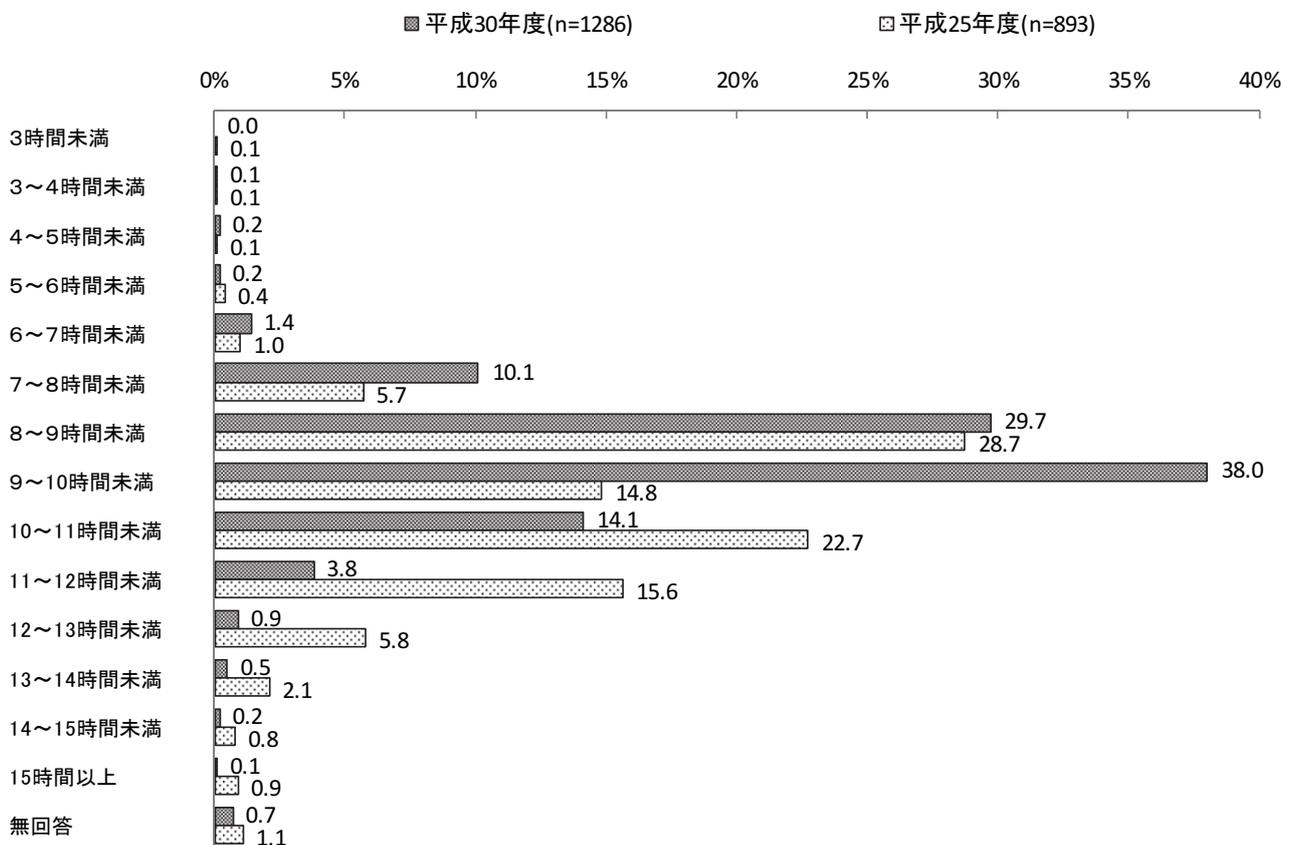
※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

フルタイムの母親の1日あたり就労時間について、平成30年度では「9～10時間未満」が38.0%と最も多く、次いで「8～9時間未満」が29.7%、「10～11時間未満」が14.1%となっている。

平成25年度と比較すると、6時間から10時間未満までが増加傾向にある一方で、10時間以上は減少傾向にある。

図表 12 1日あたり就労時間（フルタイムの母親）



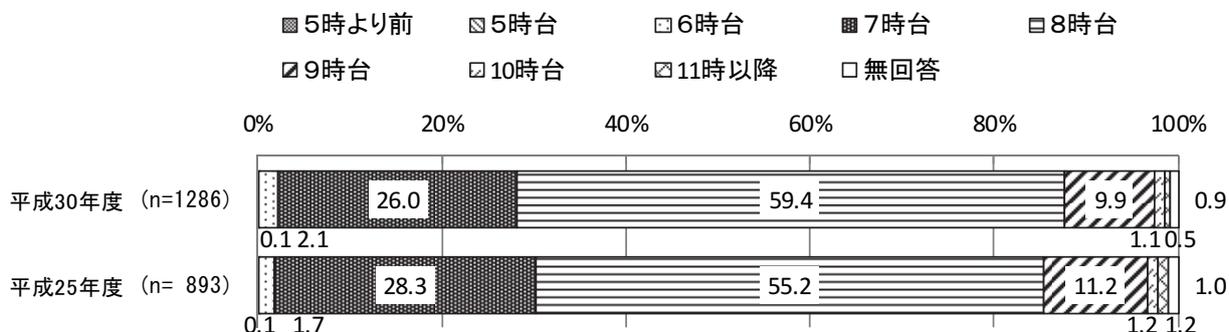
※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (3) 出勤時刻

フルタイムの母親の出勤時刻について、平成30年度では「8時台」が59.4%と最も多く、次いで「7時台」が26.0%、「9時台」が9.9%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 13 出勤時刻（フルタイムの母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

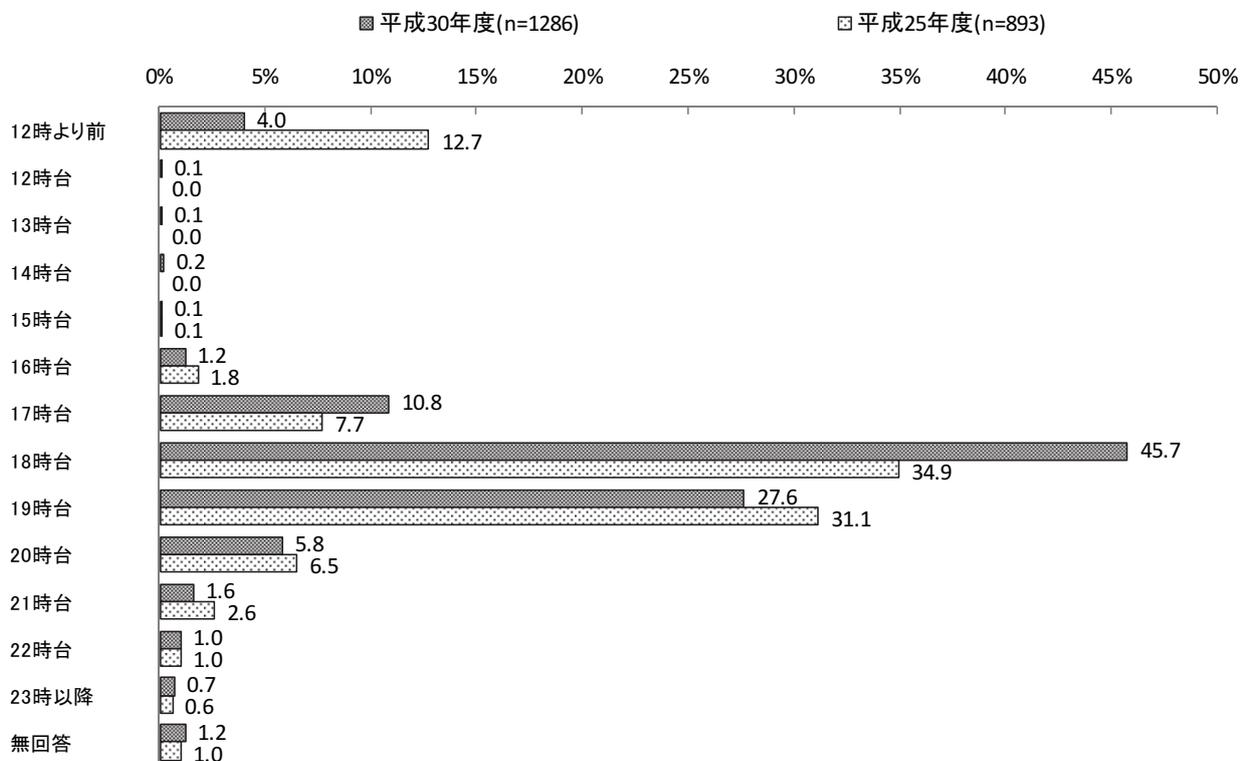
※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (4) 帰宅時刻

フルタイムの母親の帰宅時刻について、平成30年度では「18時台」が45.7%と最も多く、次いで「19時台」が27.6%、「17時台」が10.8%となっている。

平成25年度と比較すると、「17時台」「18時台」がそれぞれ3.1ポイント、10.8ポイント増加し、「19時台」では3.5ポイント減少している。

図表 14 帰宅時刻（フルタイムの母親）



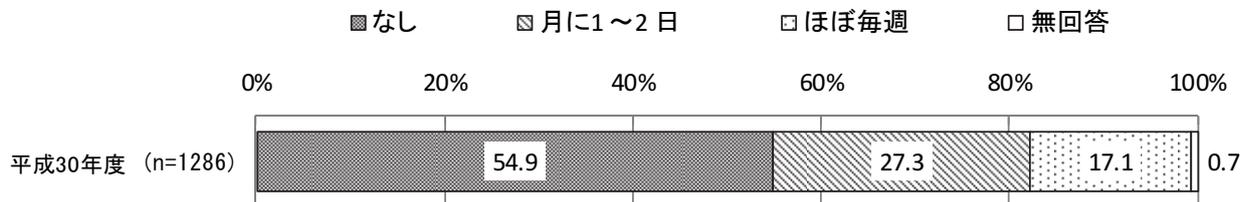
※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

## (5) 土曜日の就労日数

フルタイムの母親の土曜日の就労日数について、「なし」が54.9%、「月に1～2日」が27.3%、「ほぼ毎週」が17.1%となっている。

図表 15 土曜日の就労日数（フルタイムの母親）

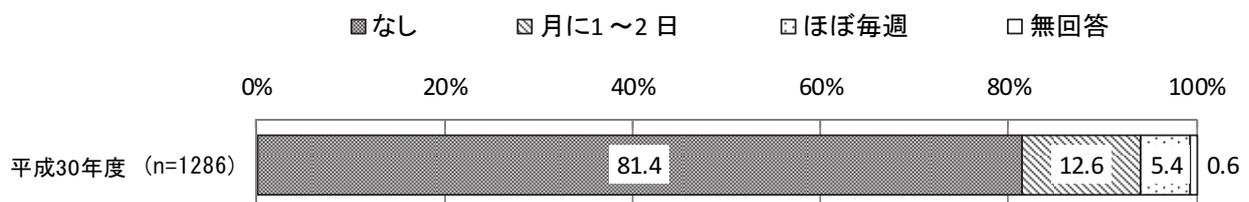


※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

## (6) 日曜日・祝日の就労日数

フルタイムの母親の日曜日・祝日の就労日数について、「なし」が81.4%、「月に1～2日」が12.6%、「ほぼ毎週」が5.4%となっている。

図表 16 日曜日・祝日の就労日数（フルタイムの母親）

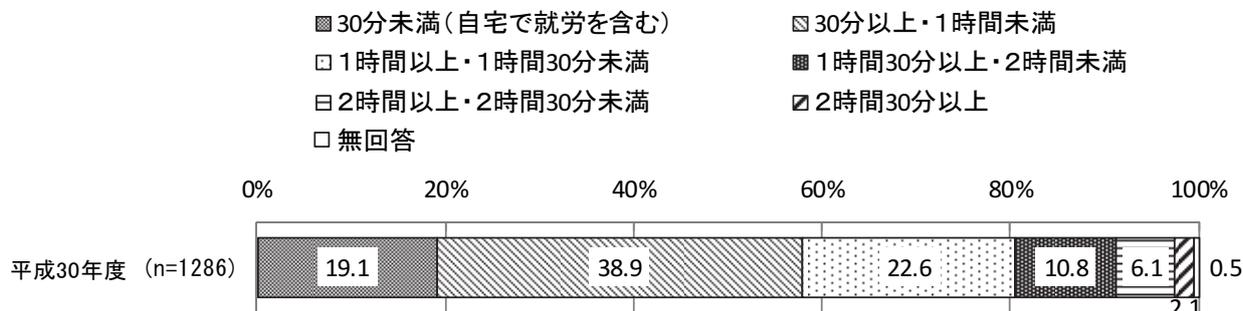


※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

フルタイムの母親の通勤時間について、「30分以上・1時間未満」が38.9%と最も多く、次いで「1時間以上・1時間30分未満」が22.6%、「30分未満（自宅で就労を含む）」が19.1%となっている。

図表 17 通勤時間（フルタイムの母親）

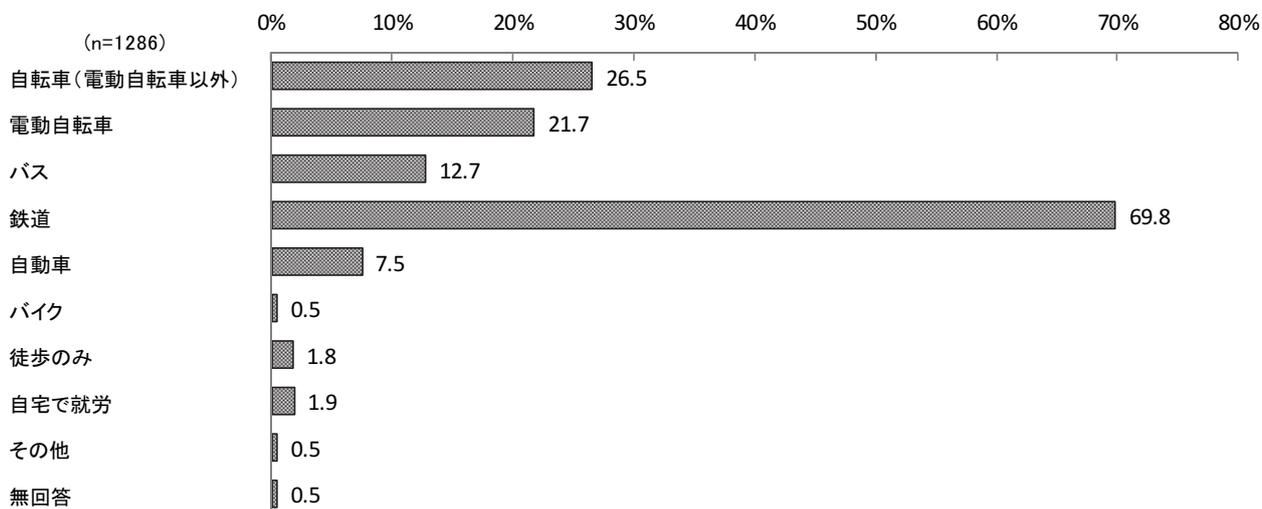


※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

フルタイムの母親の通勤手段について、「鉄道」が69.8%と最も多く、次いで「自転車（電動自転車以外）」が26.5%、「電動自転車」が21.7%となっている。

図表 18 通勤手段（フルタイムの母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問9で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

### 1-4-1-3 パート・アルバイト等の母親の就労状況

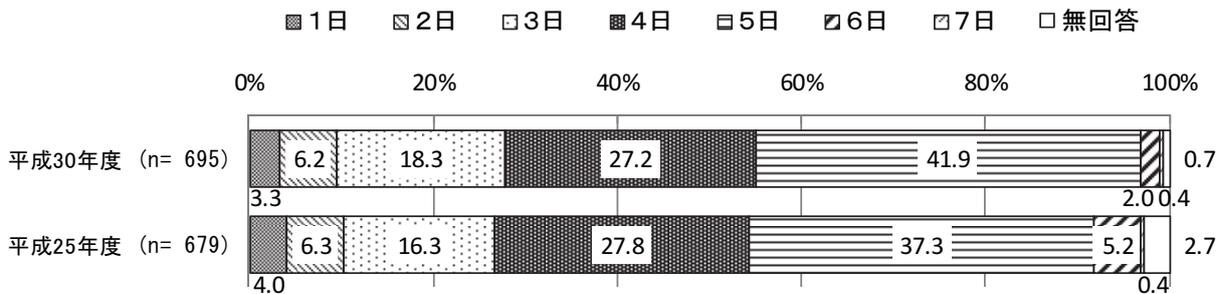
問9-1. お母さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

#### (1) 1週あたりの就労日数

パート・アルバイト等の母親の1週あたりの就労日数について、平成30年度では「5日」が41.9%と最も多く、次いで「4日」が27.2%、「3日」が18.3%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 19 1週あたりの就労日数（パート・アルバイト等の母親）



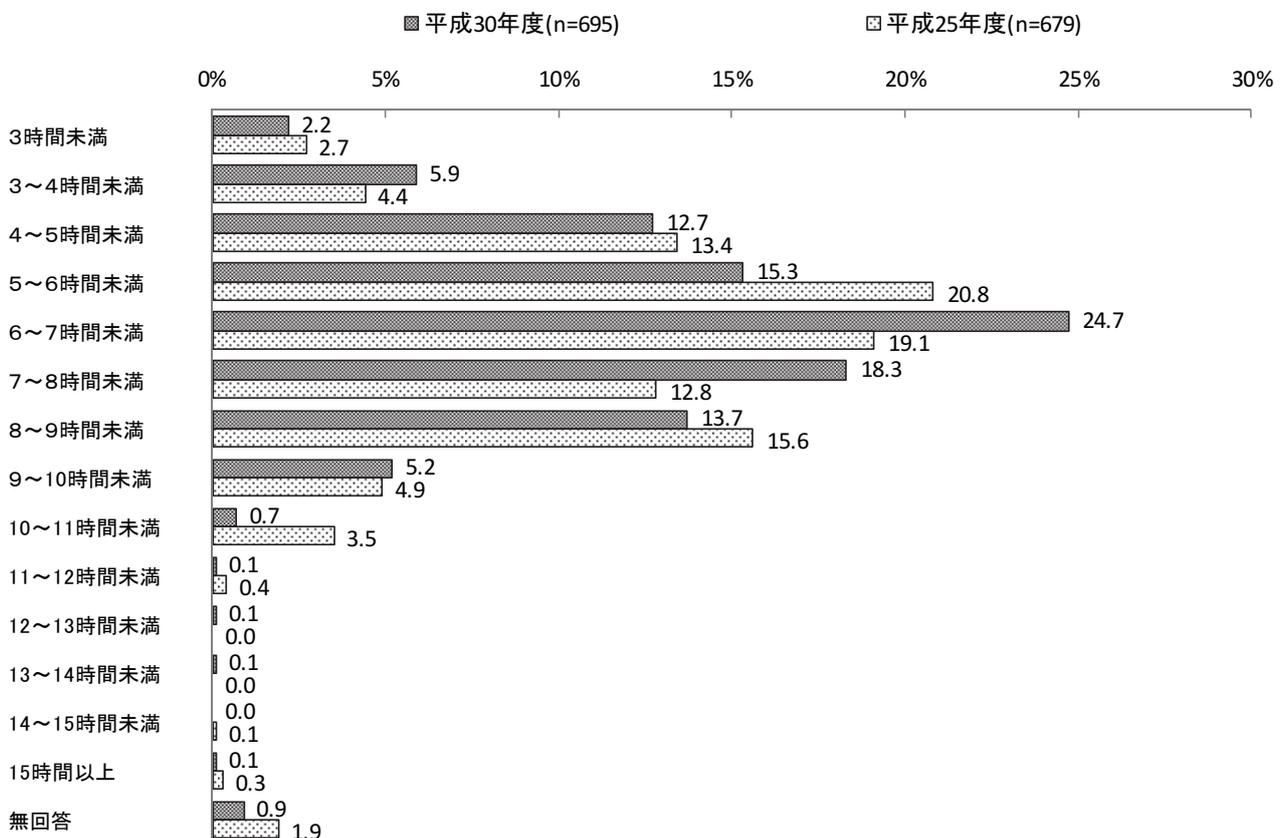
※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

#### (2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

パート・アルバイト等の母親の1日あたり就労時間について、平成30年度では「6～7時間未満」が24.7%と最も多く、次いで「7～8時間未満」が18.3%、「5～6時間未満」が15.3%となっている。

平成25年度と比較すると、「6～7時間未満」「7～8時間未満」がそれぞれ5.6ポイント、5.5ポイント増加し、「5～6時間未満」「10～11時間未満」はそれぞれ5.5ポイント、2.8ポイント減少している。

図表 20 1日あたり就労時間（パート・アルバイト等の母親）



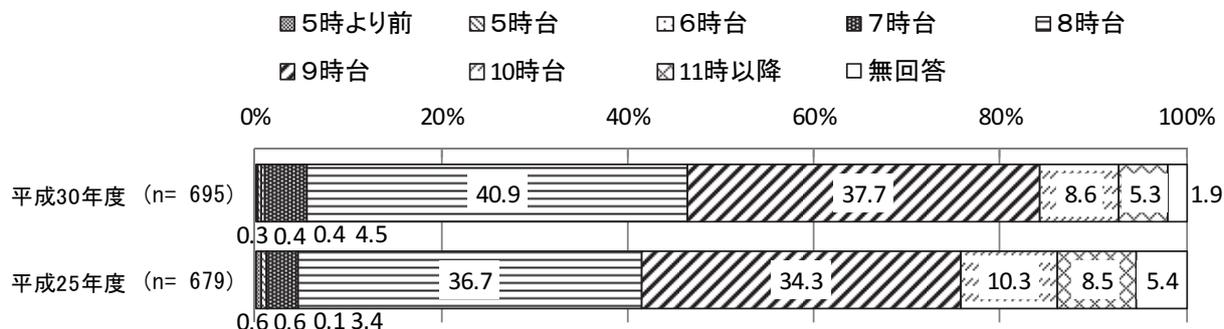
※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (3) 出勤時刻

パート・アルバイト等の母親の出勤時刻について、平成30年度では「8時台」が40.9%と最も多く、次いで「9時台」が37.7%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 21 出勤時刻（パート・アルバイト等の母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

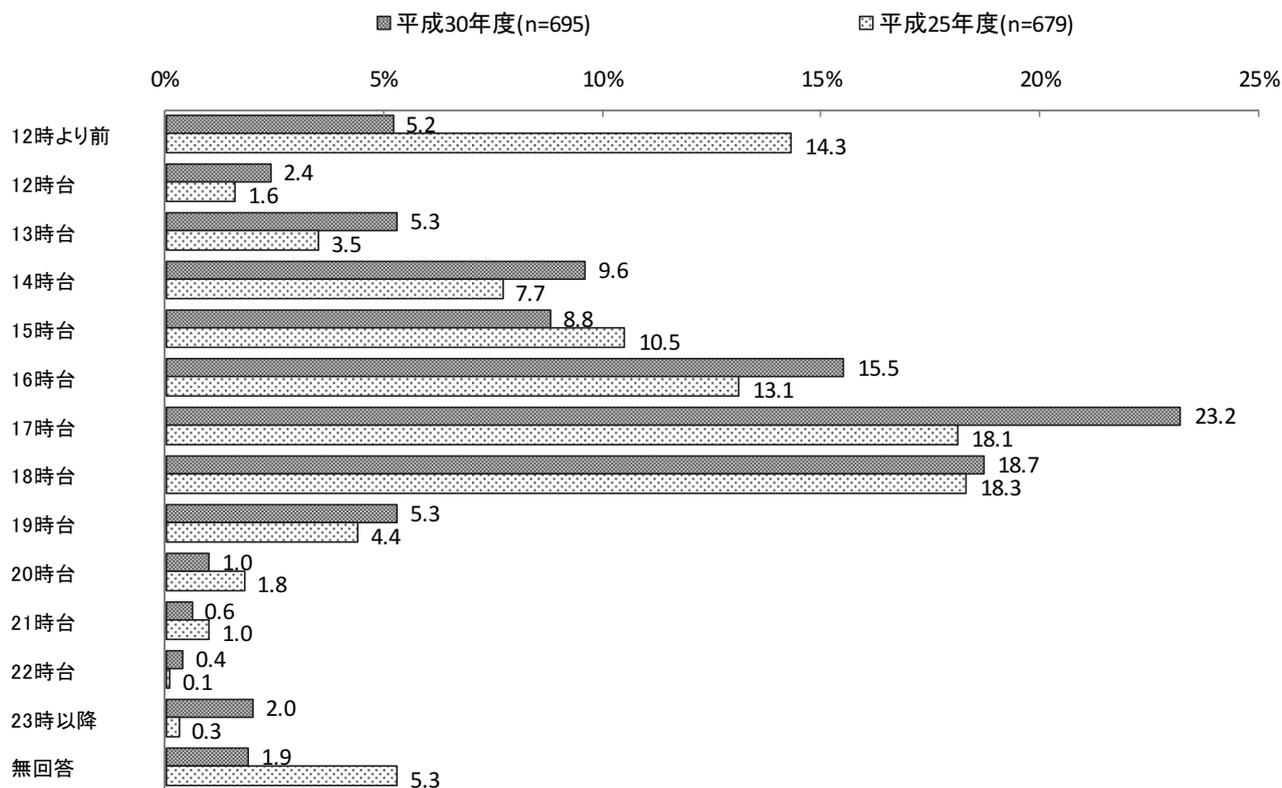
※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (4) 帰宅時刻

パート・アルバイト等の母親の帰宅時刻について、平成30年度では「17時台」が23.2%と最も多く、次いで「18時台」が18.7%、「16時台」が15.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「17時台」が5.1ポイント増加し、「12時より前」は9.1ポイント減少している。

図表 22 帰宅時刻（パート・アルバイト等の母親）



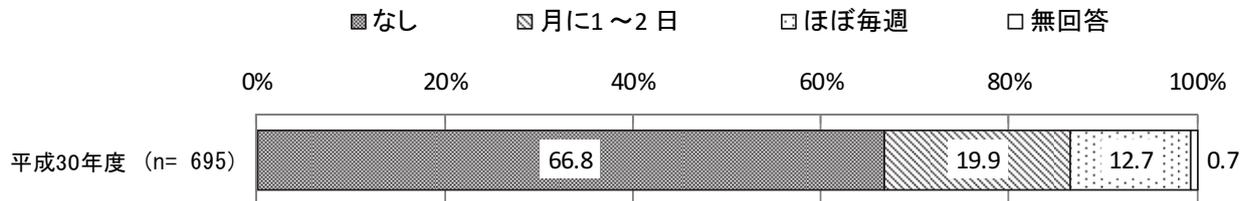
※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(5) 土曜日の就労日数

パート・アルバイト等の母親の土曜日の就労日数について、「なし」が66.8%、「月に1～2日」が19.9%、「ほぼ毎週」が12.7%となっている。

図表 23 土曜日の就労日数（パート・アルバイト等の母親）

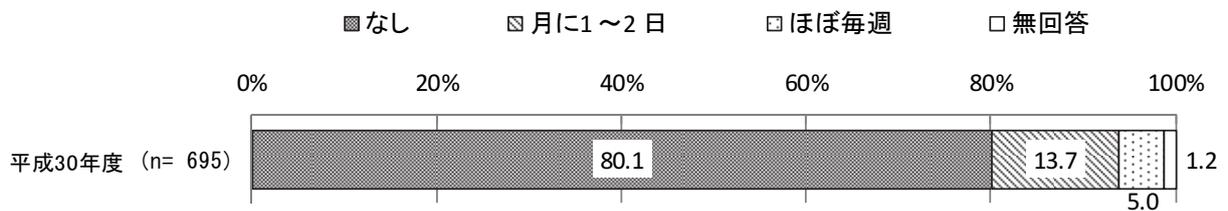


※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(6) 日曜日・祝日の就労日数

パート・アルバイト等の母親の日曜日・祝日の就労日数について、「なし」が80.1%、「月に1～2日」が13.7%、「ほぼ毎週」が5.0%となっている。

図表 24 日曜日・祝日の就労日数（パート・アルバイト等の母親）

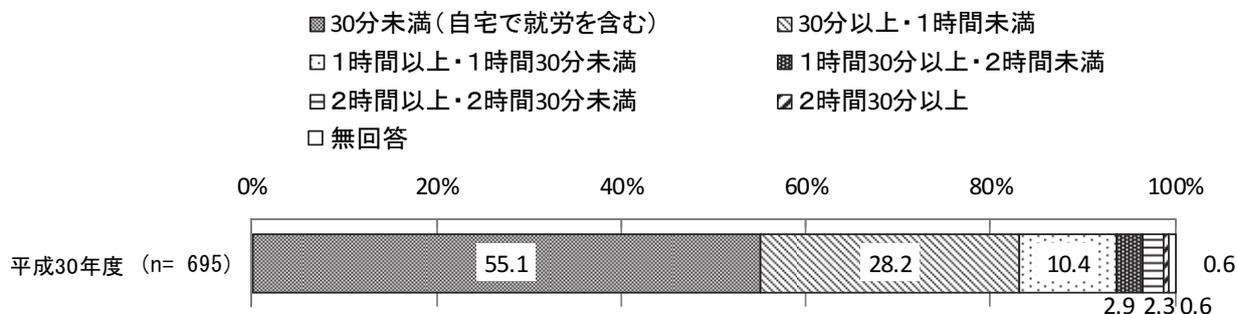


※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

パート・アルバイト等の母親の通勤時間について、「30分未満（自宅で就労を含む）」が55.1%と最も多く、「30分以上・1時間未満」が28.2%、「1時間以上・1時間30分未満」が10.4%となっている。

図表 25 通勤時間（パート・アルバイト等の母親）

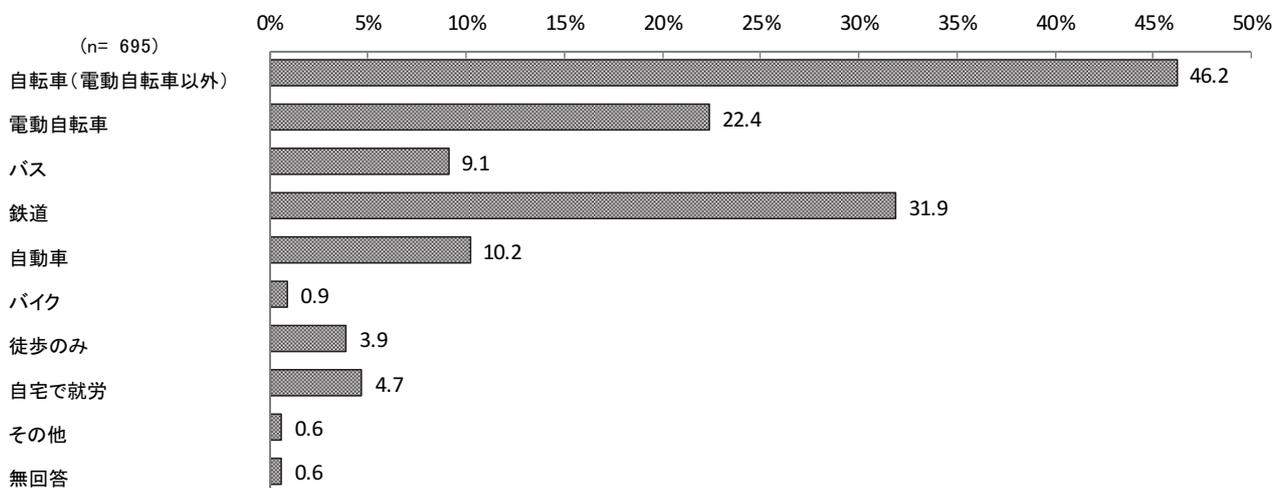


※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

パート・アルバイト等の母親の通勤手段について、「自転車（電動自転車以外）」が46.2%と最も多く、「鉄道」が31.9%、「電動自転車」が22.4%となっている。

図表 26 通勤手段（パート・アルバイト等の母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問9で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

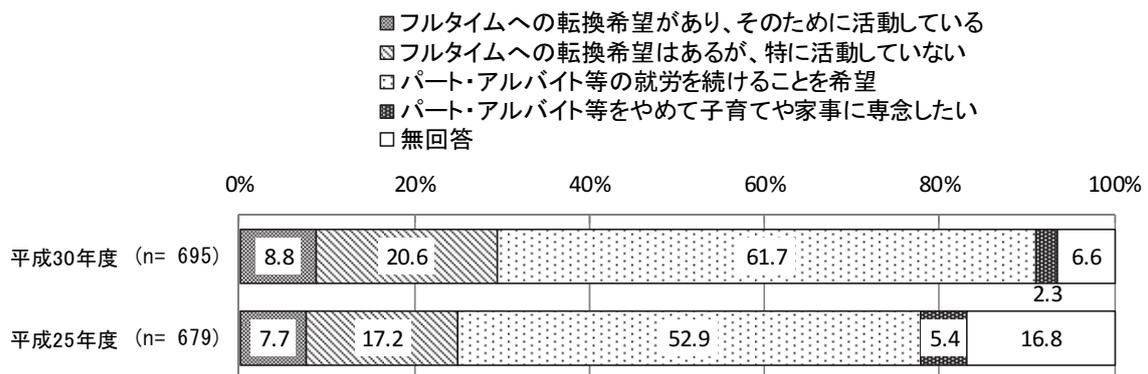
1-4-1-4 パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望

問 1 1. 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか (○は1つだけ)。

パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望について、平成 30 年度では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 61.7%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」が 20.6%、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」が 8.8%となっている。

平成 25 年度と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がそれぞれ 3.4 ポイント、8.8 ポイント増加し、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」は 3.1 ポイント減少している。

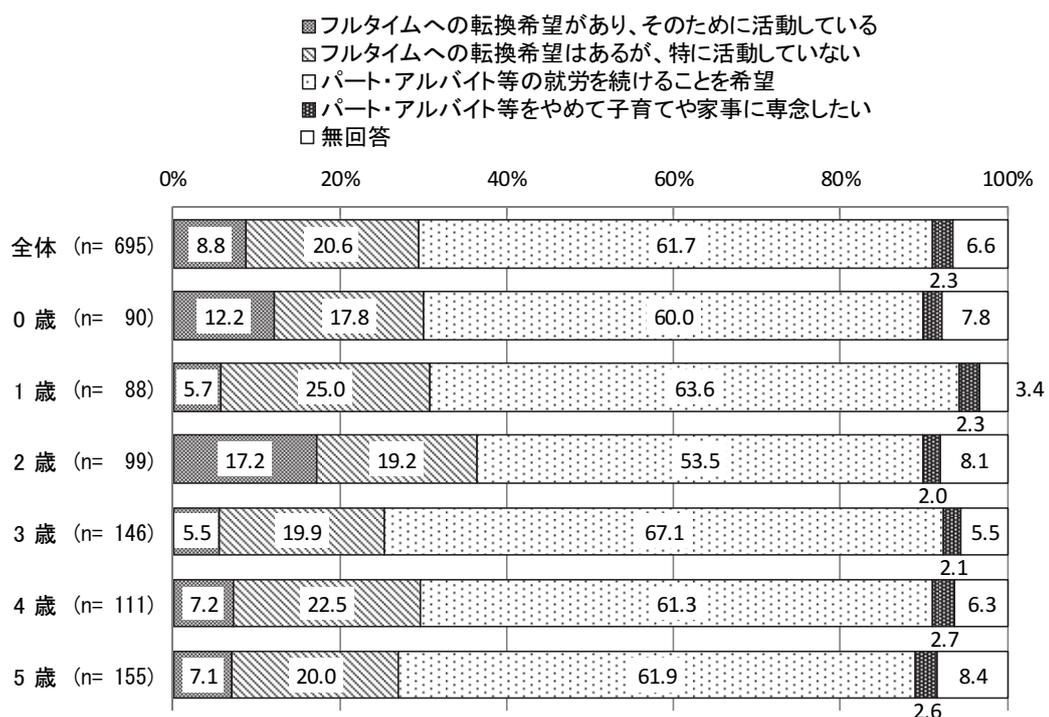
図表 27 今後の就労希望 (パート・アルバイト等の母親)



※回答対象は問 9 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人 (休業中を含む)

子どもの年齢別でみると、他の年齢と比べて『0歳』『2歳』では、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」の割合がそれぞれ 12.2%、17.2%と高くなっている。

図表 28 今後の就労希望 (パート・アルバイト等の母親) 一年齢別



※回答対象は問 9 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人 (休業中を含む)

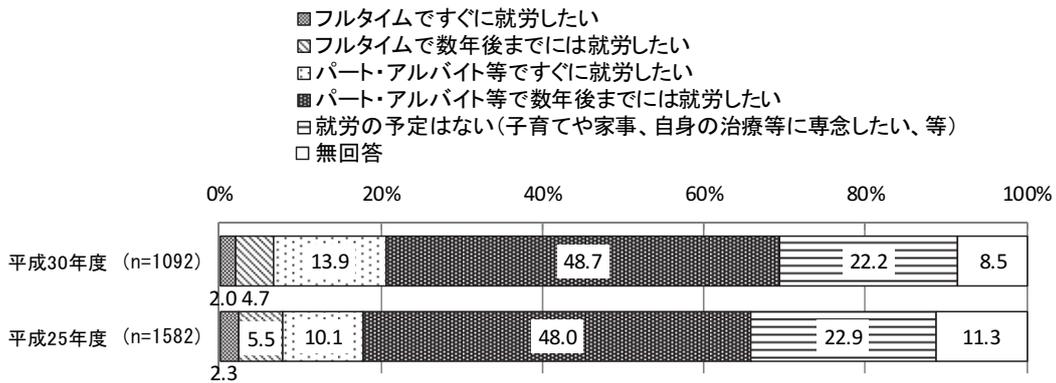
1-4-1-5 非就労の母親の今後の就労希望

問12. 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。また、下記で「3. または4.（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（カッコ内に数字で）。

非就労の母親の今後の就労希望について、平成30年度では「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」が48.7%と最も多く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が22.2%、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」が13.9%となっている。

平成25年度と比較すると、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」が3.8ポイント増加し、「フルタイムで数年後までには就労したい」「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」がそれぞれ0.8ポイント、0.7ポイント減少している。

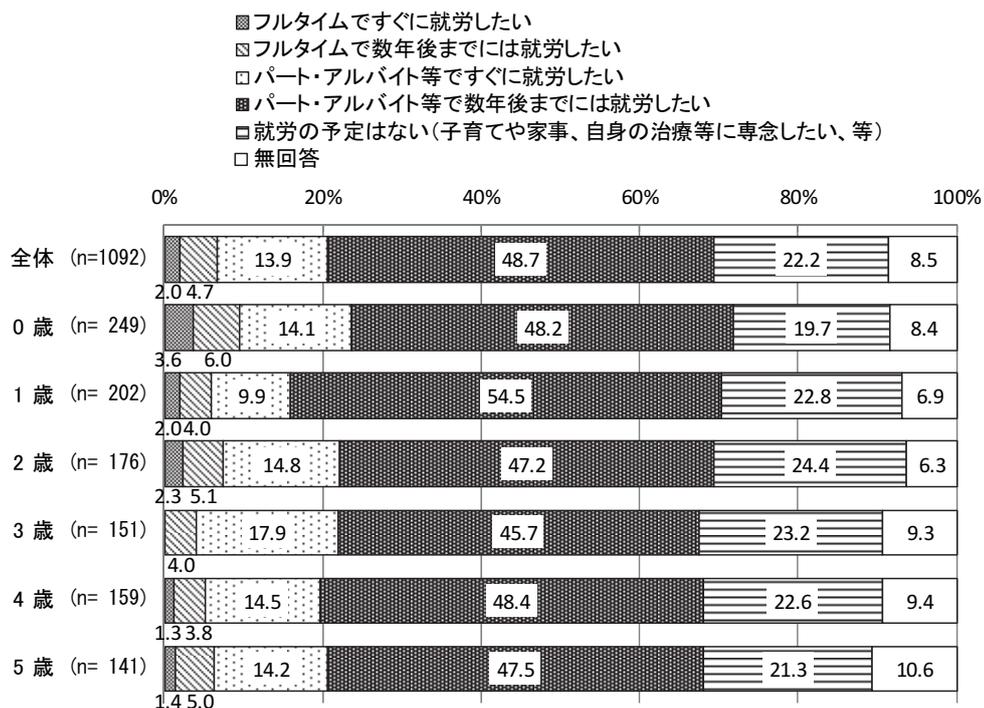
図表 29 非就労の母親の今後の就労希望



※回答対象は問9で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

子どもの年齢別でみると、他の年齢と比べて『1歳』では、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が54.5%と高くなっている一方で、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」は9.9%と低くなっている。

図表 30 非就労の母親の今後の就労希望—年齢別



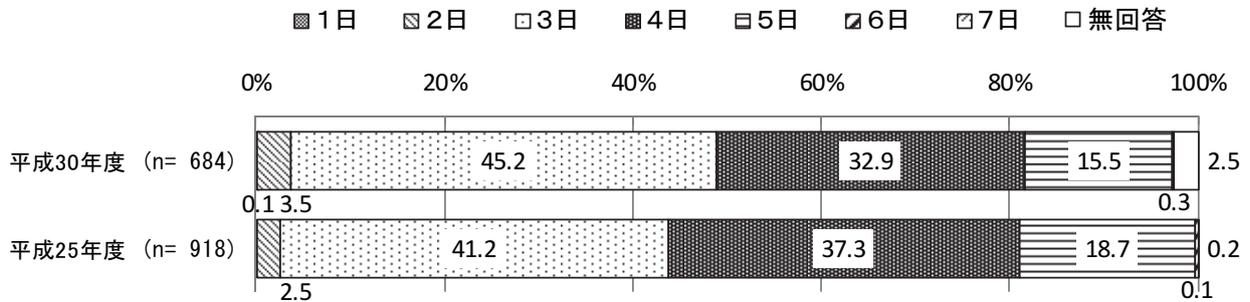
※回答対象は問9で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

(1) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数（1週あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の母親が希望する就労日数について、平成30年度では「3日」が45.2%と最も多く、次いで「4日」が32.9%、「5日」が15.5%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

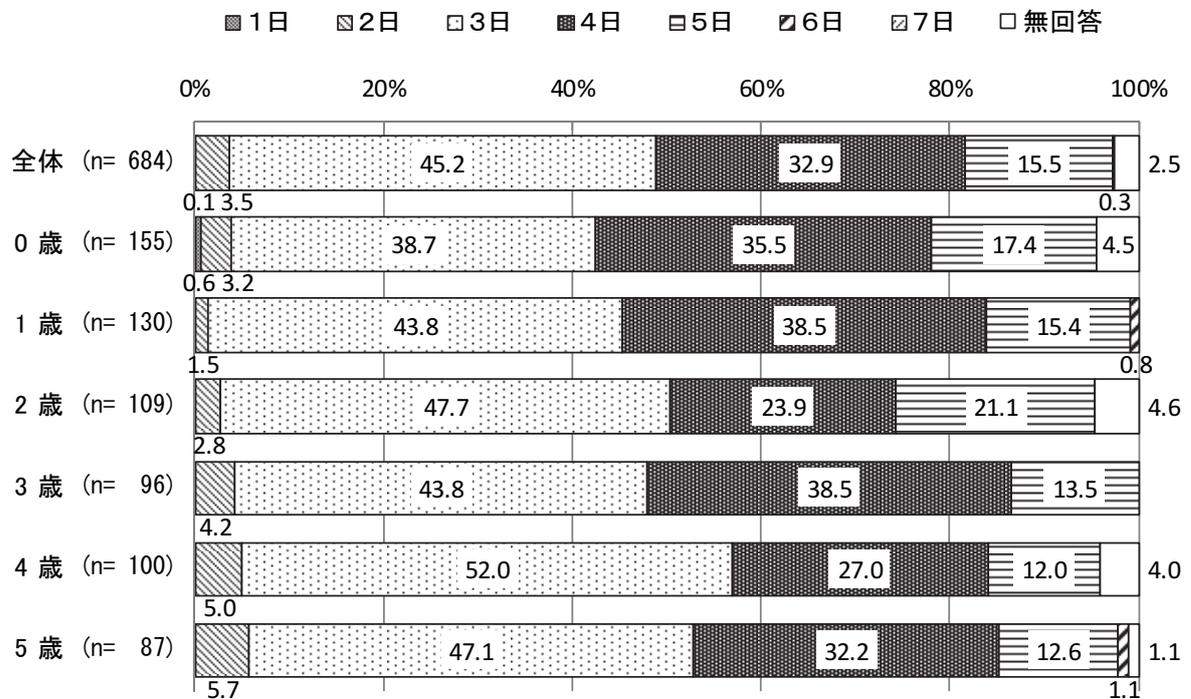
図表 31 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、他の年齢と比べて『2歳』では、「5日」の割合が21.1%と高くなっている一方で、「4日」は23.9%と低くなっている。

図表 32 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数—年齢別



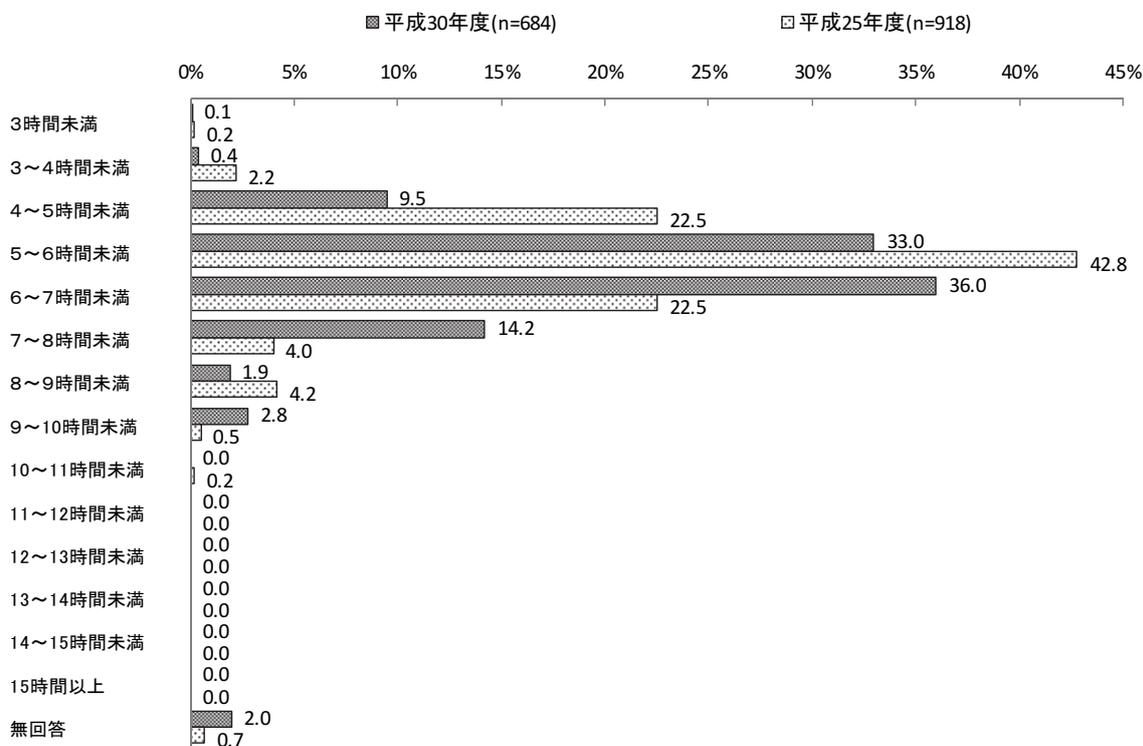
※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(2) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間（1日あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の母親が希望する就労時間について、平成30年度では「6～7時間未満」が36.0%と最も多く、次いで「5～6時間未満」が33.0%、「7～8時間未満」が14.2%となっている。

平成25年度と比較すると、「6～7時間未満」「7～8時間未満」がそれぞれ13.5ポイント、10.2ポイント増加し、「4～5時間未満」「5～6時間未満」はそれぞれ13.0ポイント、9.8ポイント減少している。

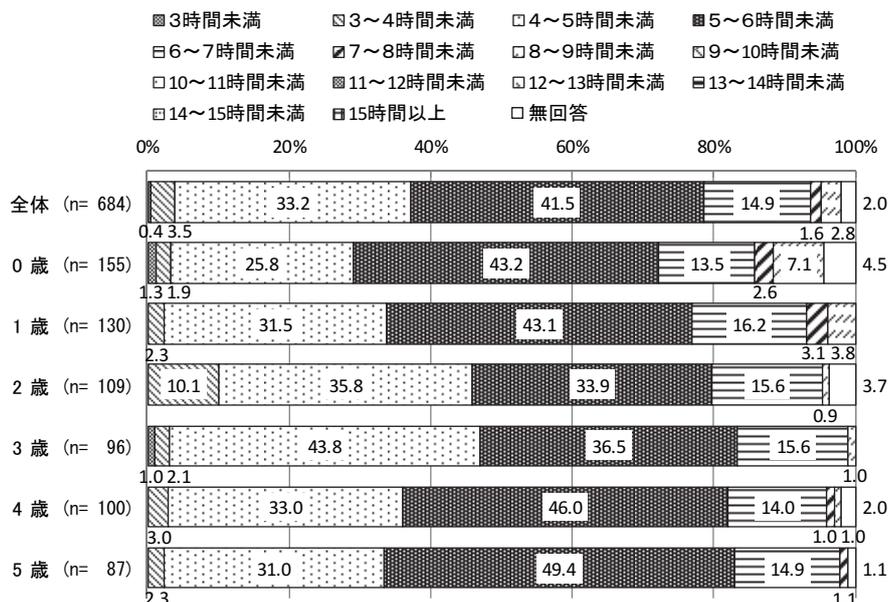
図表 33 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『4～5時間未満』では「3歳」の割合が43.8%と最も高く、「0歳」で25.8%と最も低くなっている。

図表 34 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間—年齢別

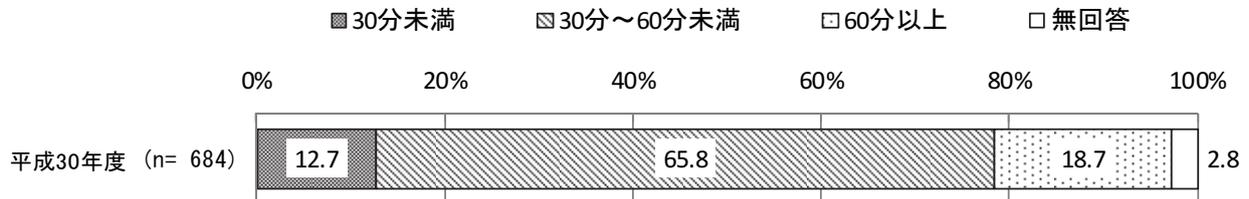


※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(3) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間（1日あたり往復）

パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間について、「30分～60分未満」が65.8%と最も多く、次いで「60分以上」が18.7%、「30分未満」が12.7%となっている。

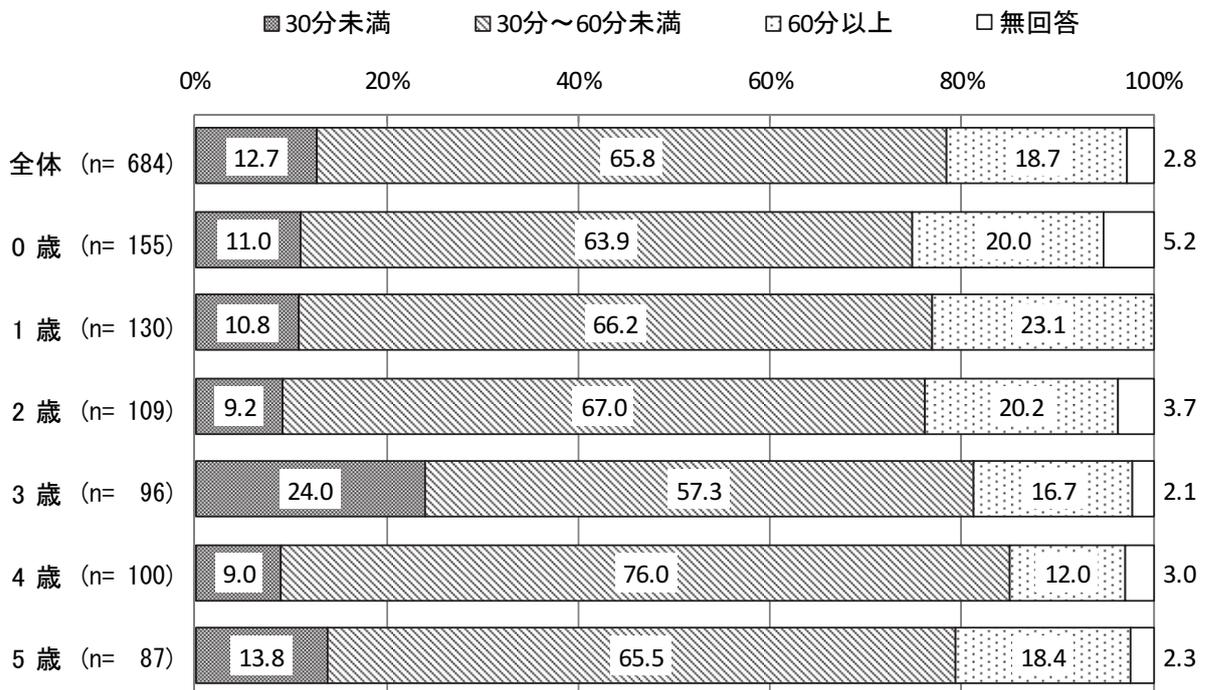
図表 35 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『4歳』では「30分～60分未満」割合が76.0%と最も高くなっており、「30分未満」は9.0%と最も低くなっている。一方で、『3歳』では「30分未満」の割合が24.0%と最も高くなっている。

図表 36 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間—年齢別



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

## 1-4-2 父親

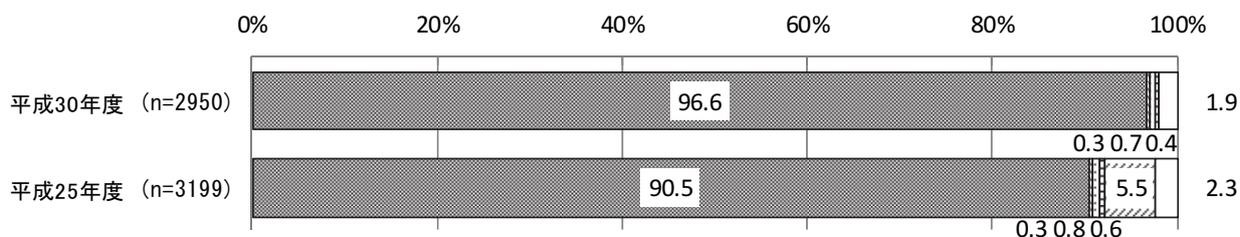
### 1-4-2-1 父親の就労状況

問10. お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

父親の就労状況について、平成30年度では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.4%となっている。

図表 37 父親の就労状況

- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 母子家庭である
- 無回答



※回答対象は就学前児童対象調査の全員（母子家庭を除く）

※平成25年度の集計は「母子家庭」を含み、単純比較ができないため、参考表記とする

1-4-2-2 フルタイムの父親の就労状況

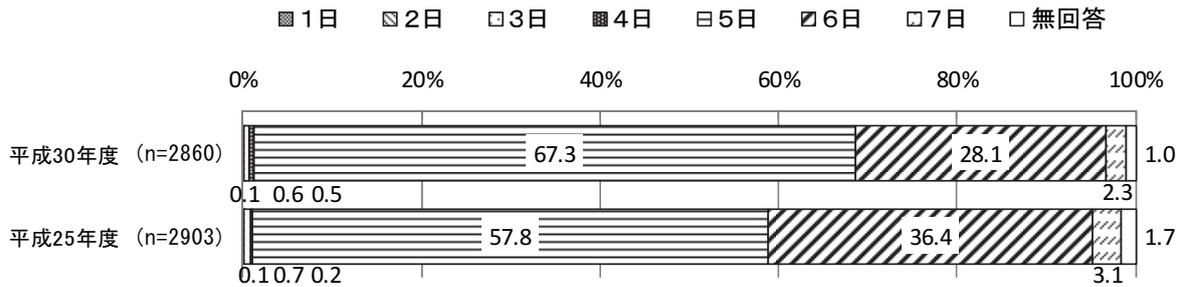
問10-1. お父さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

(1) 1週あたりの就労日数

フルタイムの父親の1週あたりの就労日数について、平成30年度では「5日」が67.3%と最も多く、次いで「6日」が28.1%、「7日」が2.3%となっている。

平成25年度と比較すると、「5日」が9.5ポイント増加し、「6日」は8.3ポイント減少している。

図表 38 1週あたりの就労日数（フルタイムの父親）



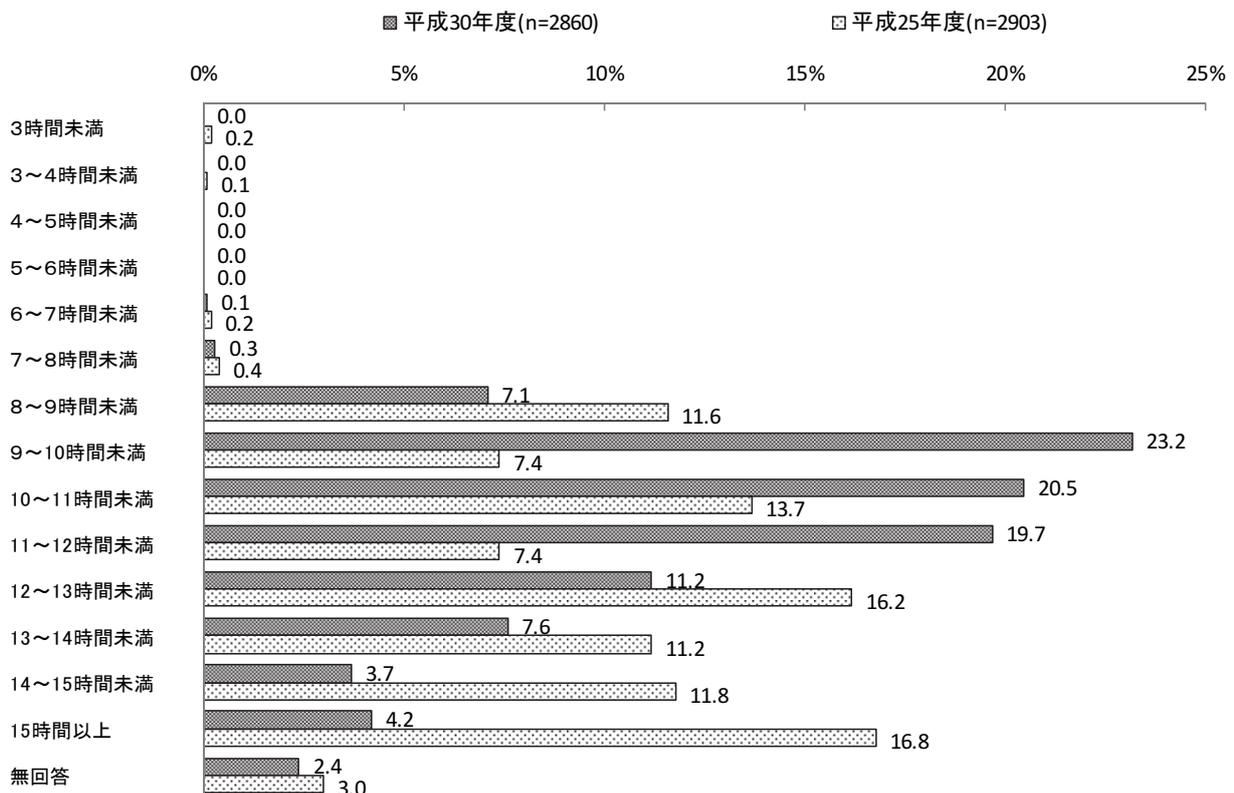
※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

フルタイムの父親の1日あたり就労時間について、平成30年度では「9～10時間未満」が23.2%と最も多く、次いで「10～11時間未満」が20.5%、「11～12時間未満」が19.7%となっている。

平成25年度と比較すると、9時間から12時間未満までが増加傾向にある一方で、12時間以上は減少傾向にある。

図表 39 1日あたり就労時間（フルタイムの父親）



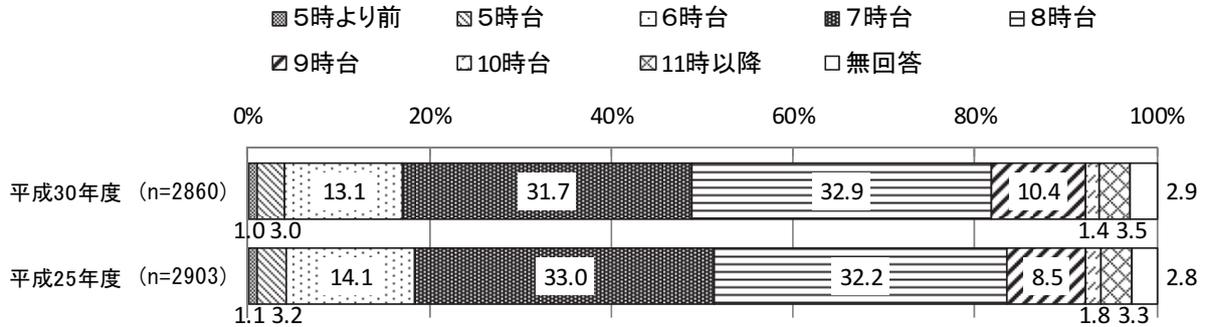
※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(3) 出勤時刻

フルタイムの父親の出勤時刻について、平成30年度では「8時台」が32.9%と最も多く、次いで「7時台」が31.7%、「6時台」が13.1%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 40 出勤時刻（フルタイムの父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

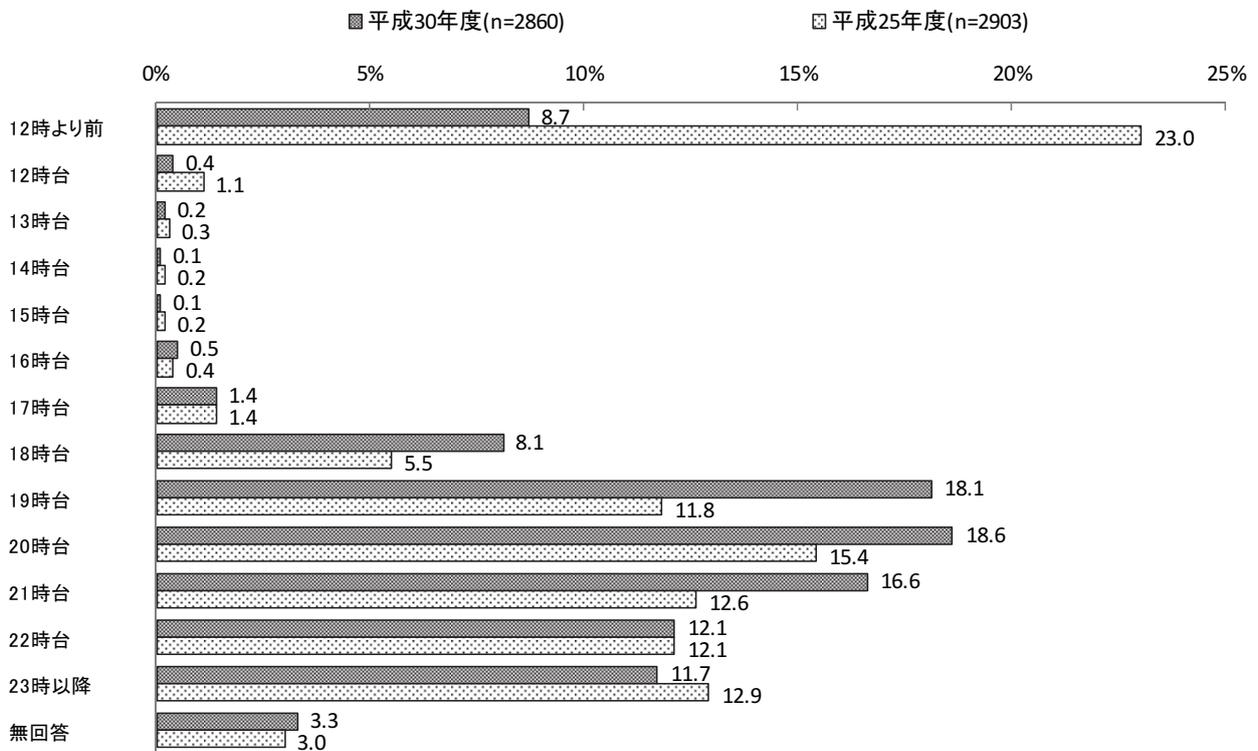
※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(4) 帰宅時刻

フルタイムの父親の帰宅時刻について、平成30年度では「20時台」が18.6%と最も多く、次いで「19時台」が18.1%、「21時台」が16.6%となっている。

平成25年度と比較すると、18時台から21時台が大きく増加し、「12時より前」は大きく減少している。

図表 41 帰宅時刻（フルタイムの父親）



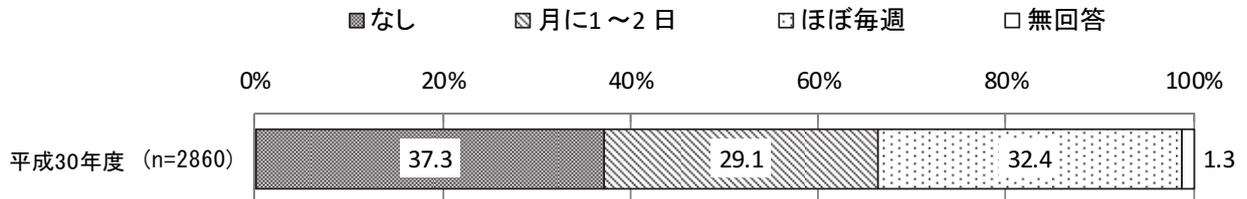
※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

## (5) 土曜日の就労日数

フルタイムの父親の土曜日の就労日数について、「なし」が37.3%、「月に1～2日」が29.1%、「ほぼ毎週」が32.4%となっている。

図表 42 土曜日の就労日数（フルタイムの父親）

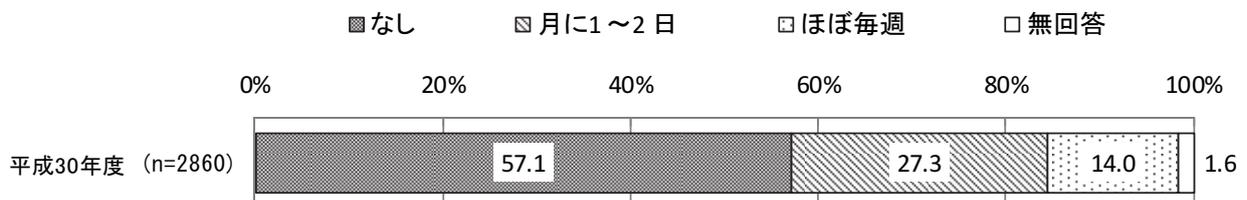


※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

## (6) 日曜日・祝日の就労日数

フルタイムの父親の日曜日・祝日の就労日数について、「なし」が57.1%、「月に1～2日」が27.3%、「ほぼ毎週」が14.0%となっている。

図表 43 日曜日・祝日の就労日数（フルタイムの父親）

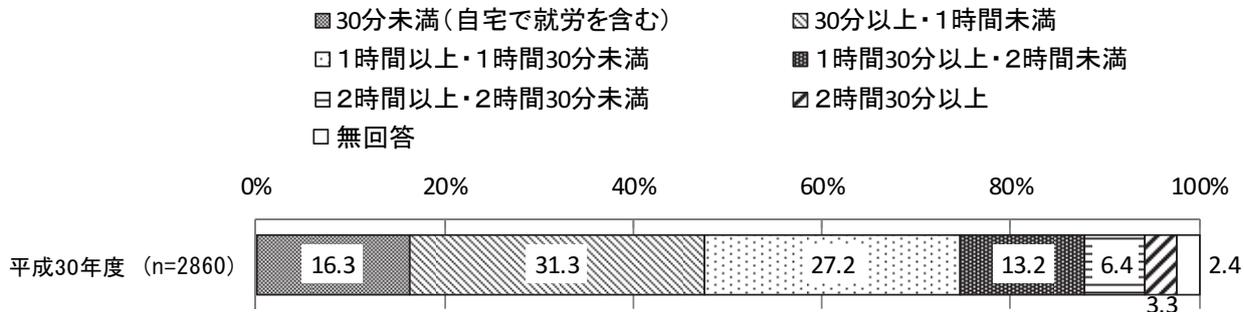


※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

フルタイムの父親の通勤時間について、「30分以上・1時間未満」が31.3%と最も多く、次いで「1時間以上・1時間30分未満」が27.2%、「30分未満（自宅で就労を含む）」が16.3%となっている。

図表 44 通勤時間（フルタイムの父親）

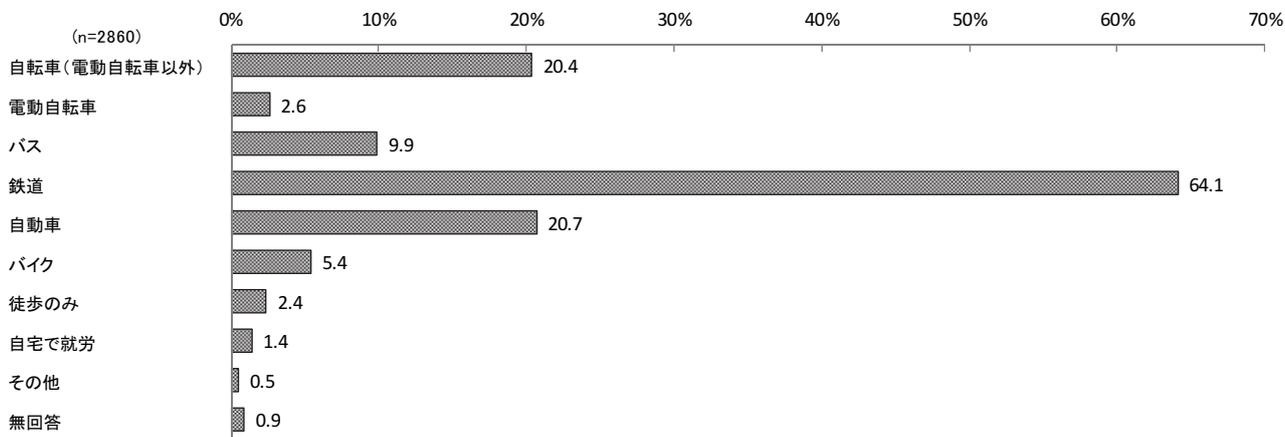


※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

フルタイムの父親の通勤手段について、「鉄道」が64.1%と最も多く、次いで「自動車」が20.7%、「自転車（電動自転車以外）」が20.4%となっている。

図表 45 通勤手段（フルタイムの父親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

### 1-4-2-3 パート・アルバイト等の父親の就労状況

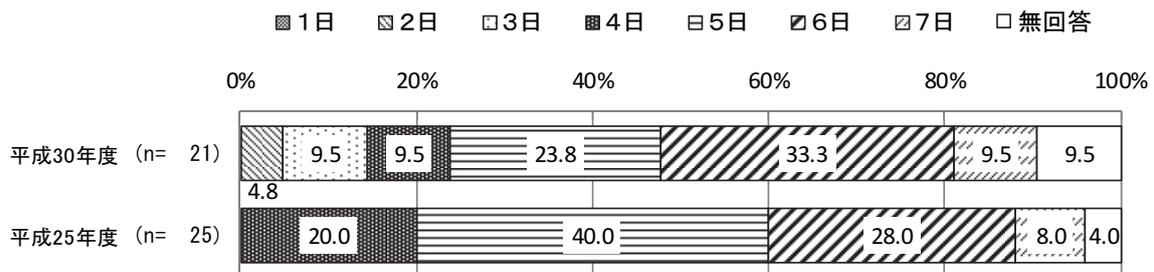
問10-1. お父さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

#### (1) 1週あたりの就労日数

パート・アルバイト等の父親の就労日数について、平成30年度では「6日」が33.3%と最も多く、次いで「5日」が23.8%、「3日」「4日」「7日」が同じく9.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「2日」「3日」「6日」がそれぞれ4.8ポイント、9.5ポイント、5.3ポイント増加し、「4日」「5日」がそれぞれ10.5ポイント、16.2ポイント減少している。

図表 46 1週あたりの就労日数（パート・アルバイト等の父親）



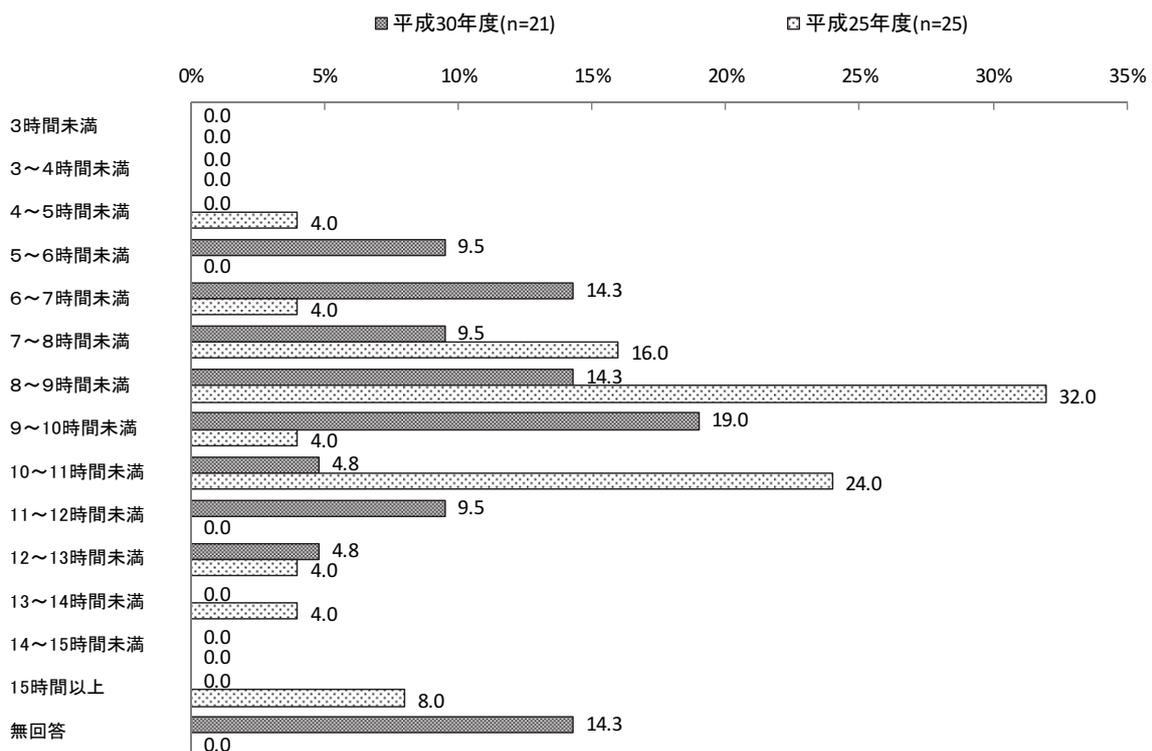
※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

#### (2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

パート・アルバイト等の父親の1日あたり就労時間について、平成30年度では「9～10時間未満」が19.0%と最も多く、次いで「6～7時間未満」「8～9時間未満」が同じく14.3%となっている。

平成25年度と比較すると、「6～7時間未満」「9～10時間未満」がそれぞれ10.3ポイント、15.0ポイント増加し、「8～9時間未満」「10～11時間未満」はそれぞれ17.7ポイント、19.2ポイント減少している。

図表 47 1日あたり就労時間（パート・アルバイト等の父親）



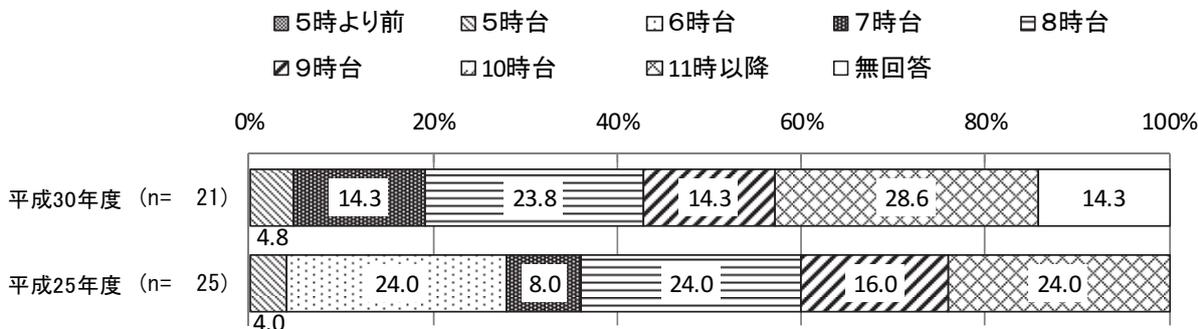
※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (3) 出勤時刻

パート・アルバイト等の父親の出勤時刻について、平成30年度では「11時以降」が28.6%と最も多く、次いで「8時台」が23.8%、「7時台」「9時台」が同じく14.3%となっている。

平成25年度と比較すると、「7時台」が6.3ポイント増加し、「6時台」は24.0ポイント減少している。

図表 48 出勤時刻（パート・アルバイト等の父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

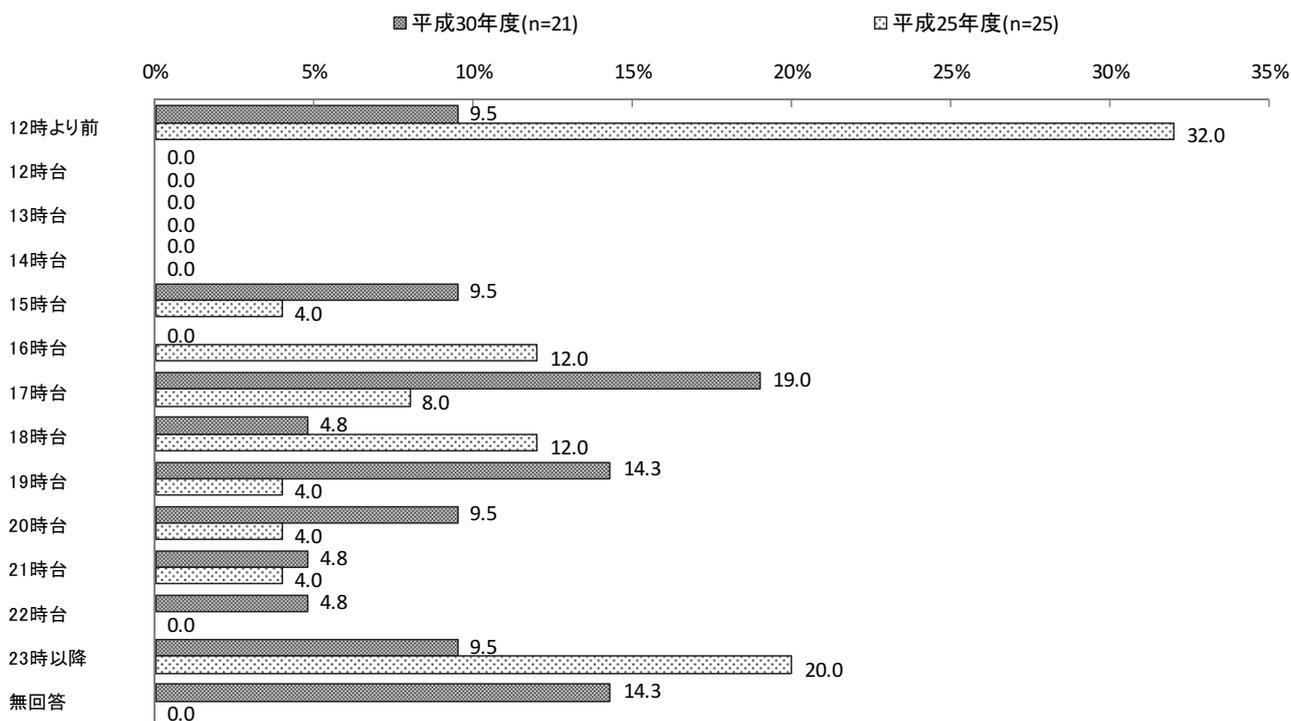
※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (4) 帰宅時刻

パート・アルバイト等の父親の帰宅時刻について、平成30年度では「17時台」が19.0%と最も多く、次いで「19時台」が14.3%、「12時より前」「15時台」「20時台」「23時以降」が同じく9.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「17時台」「19時台」がそれぞれ11.0ポイント、10.3ポイント増加し、「12時より前」「23時以降」がそれぞれ22.5ポイント、10.5ポイント減少している。

図表 49 帰宅時刻（パート・アルバイト等の父親）



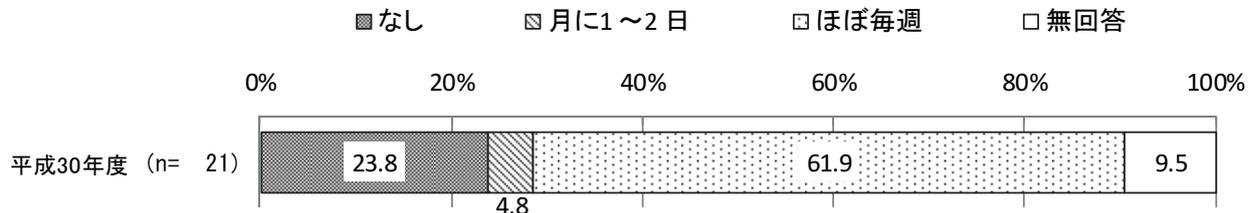
※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(5) 土曜日の就労日数

パート・アルバイト等の父親の土曜日の就労日数について、「なし」が23.8%、「月に1～2日」が4.8%、「ほぼ毎週」が61.9%となっている。

図表 50 土曜日の就労日数（パート・アルバイト等の父親）

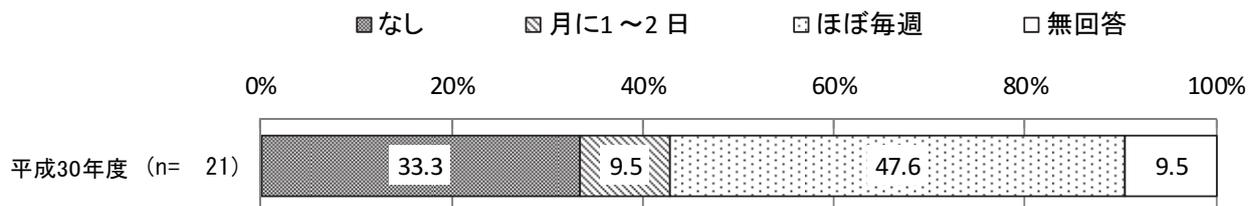


※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(6) 日曜日・祝日の就労日数

パート・アルバイト等の父親の日曜日・祝日の就労日数について、「なし」が33.3%、「月に1～2日」が9.5%、「ほぼ毎週」が47.6%となっている。

図表 51 日曜日・祝日の就労日数（パート・アルバイト等の父親）

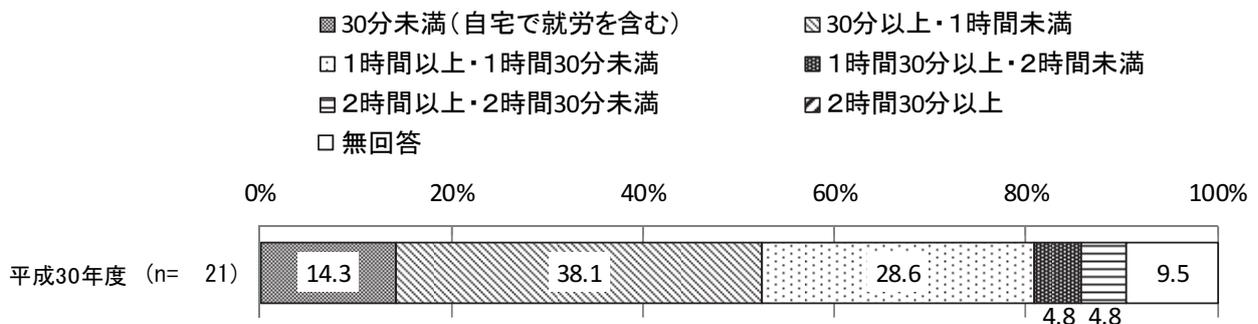


※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

パート・アルバイト等の父親の通勤時間について、「30分以上・1時間未満」が38.1%と最も多く、次いで「1時間以上・1時間30分未満」が28.6%、「30分未満（自宅就労を含む）」が14.3%となっている。

図表 52 通勤時間（パート・アルバイト等の父親）

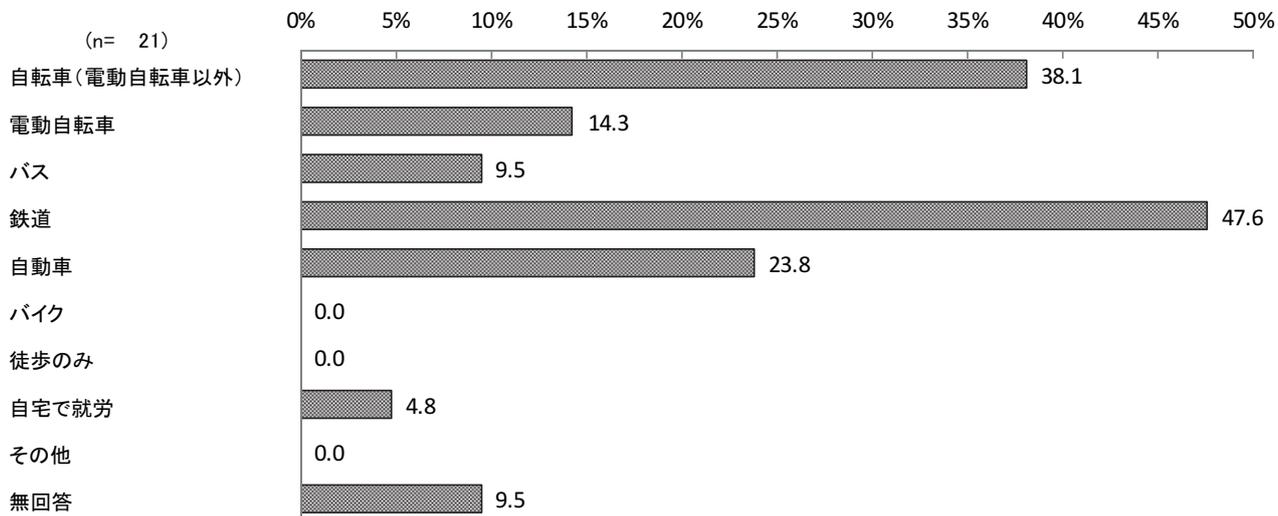


※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

### (8) 通勤手段

パート・アルバイト等の父親の通勤手段について、「鉄道」が 47.6%と最も多く、次いで「自転車（電動自転車以外）」が 38.1%、「自動車」が 23.8%となっている。

図表 53 通勤手段（パート・アルバイト等の父親）



※複数回答のため、合計は 100%に一致しない

※回答対象は問 10 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

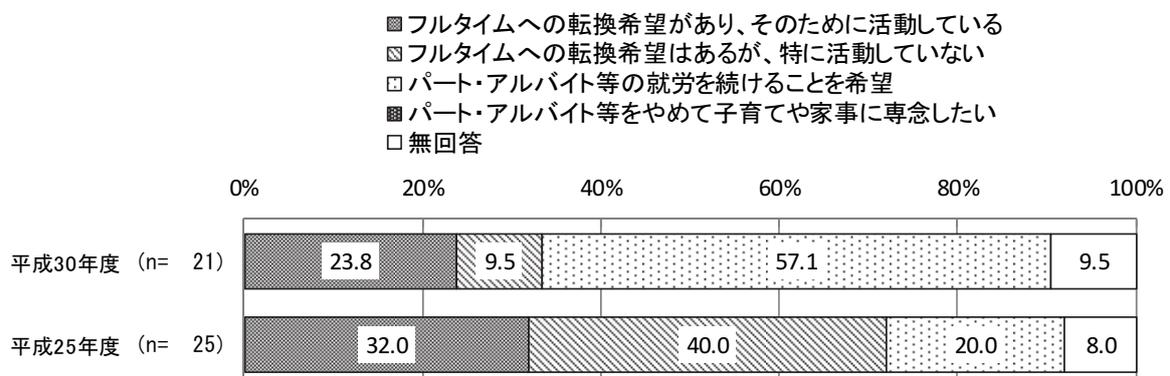
1-4-2-4 パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望

問 1 1. 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか (○は1つだけ)。

パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望について、平成 30 年度では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 57.1%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」が 23.8%、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」が 9.5%となっている。

平成 25 年度と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 37.1 ポイント増加し、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」はそれぞれ 8.2 ポイント、30.5 ポイント減少している。

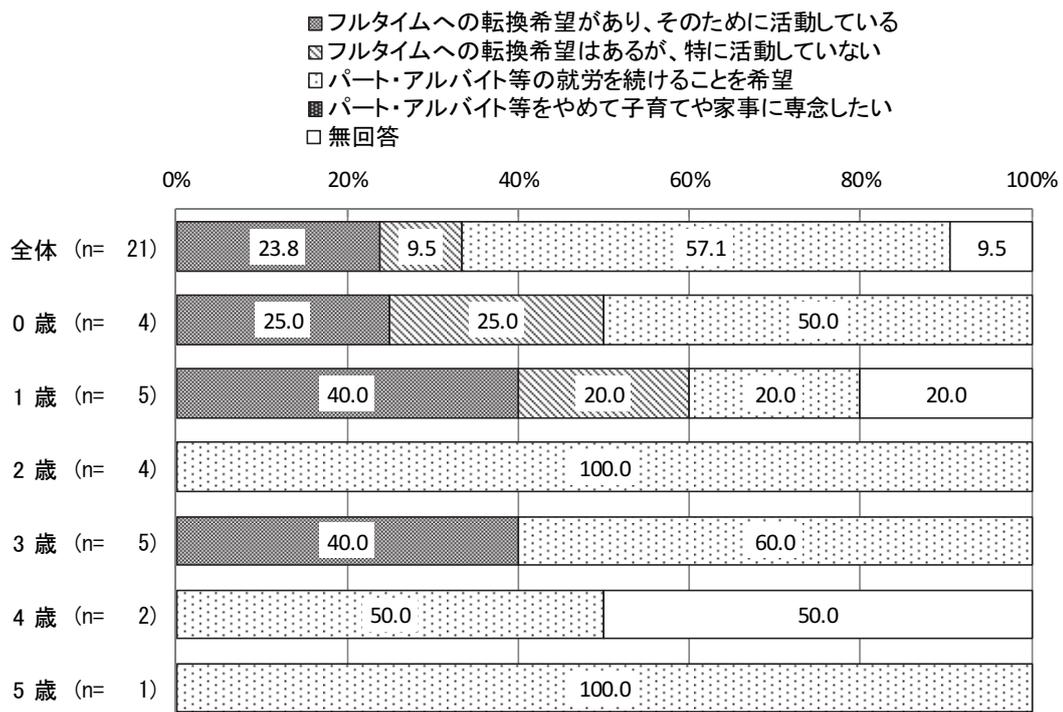
図表 54 今後の就労希望 (パート・アルバイト等の父親)



※回答対象は問 1 0 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人 (休業中を含む)

子どもの年齢別でみると、以下の図の通りである。

図表 55 今後の就労希望 (パート・アルバイト等の父親) 一年齢別



※回答対象は問 1 0 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人 (休業中を含む)

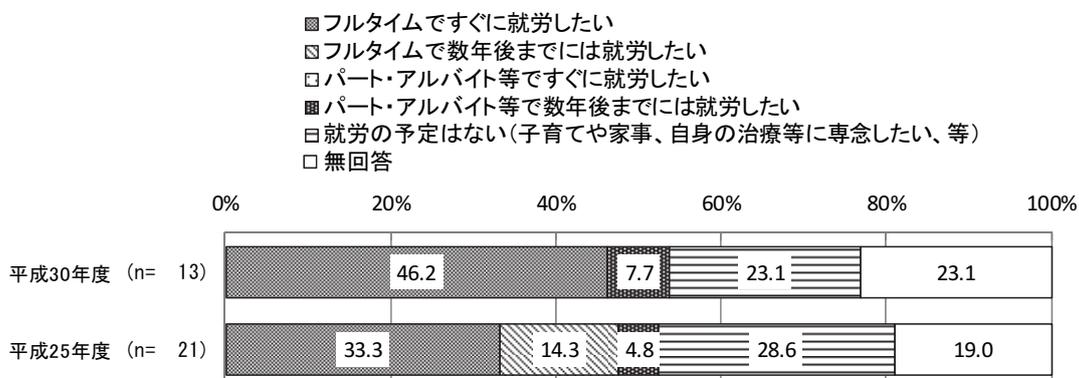
### 1-4-2-5 非就労の父親の今後の就労希望

問12. 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。また、下記で「3. または4.（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（カッコ内に数字で）。

非就労の父親の今後の就労希望について、平成30年度では「フルタイムですぐに就労したい」が46.2%と最も多く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が23.1%、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」が7.7%となっている。

平成25年度と比較すると、「フルタイムですぐに就労したい」「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」がそれぞれ12.9ポイント、2.9ポイント増加し、「フルタイムで数年後までには就労したい」「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」がそれぞれ14.3ポイント、5.5ポイント減少している。

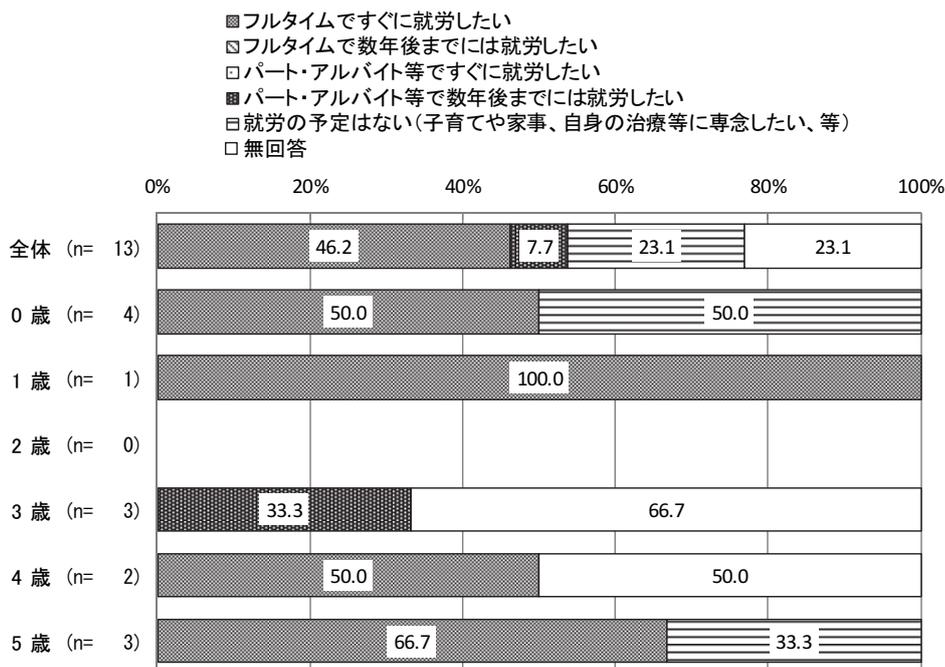
図表 56 非就労の父親の今後の就労希望



※回答対象は問10で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

子どもの年齢別でみると、以下の図の通りである。

図表 57 非就労の父親の今後の就労希望—年齢別

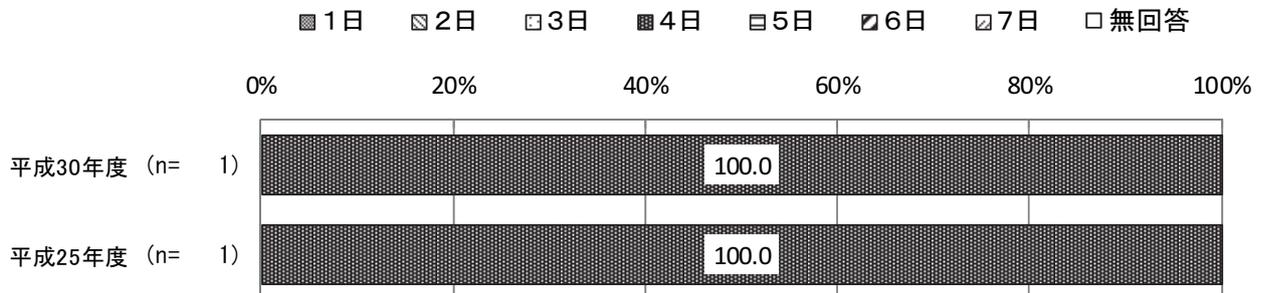


※回答対象は問10で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

(1) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労日数（1週あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の父親が希望する就労日数について、以下の図の通りである。

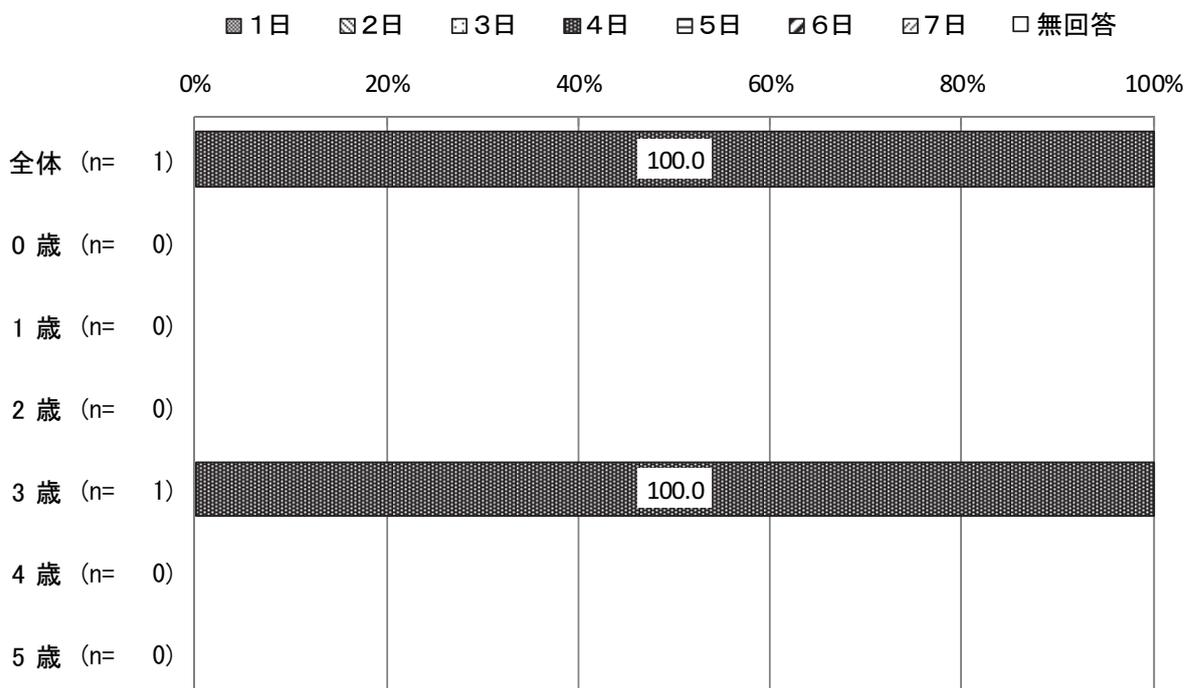
図表 58 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労日数



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

子どもの年齢別では、以下の図の通りである。

図表 59 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労日数—年齢別

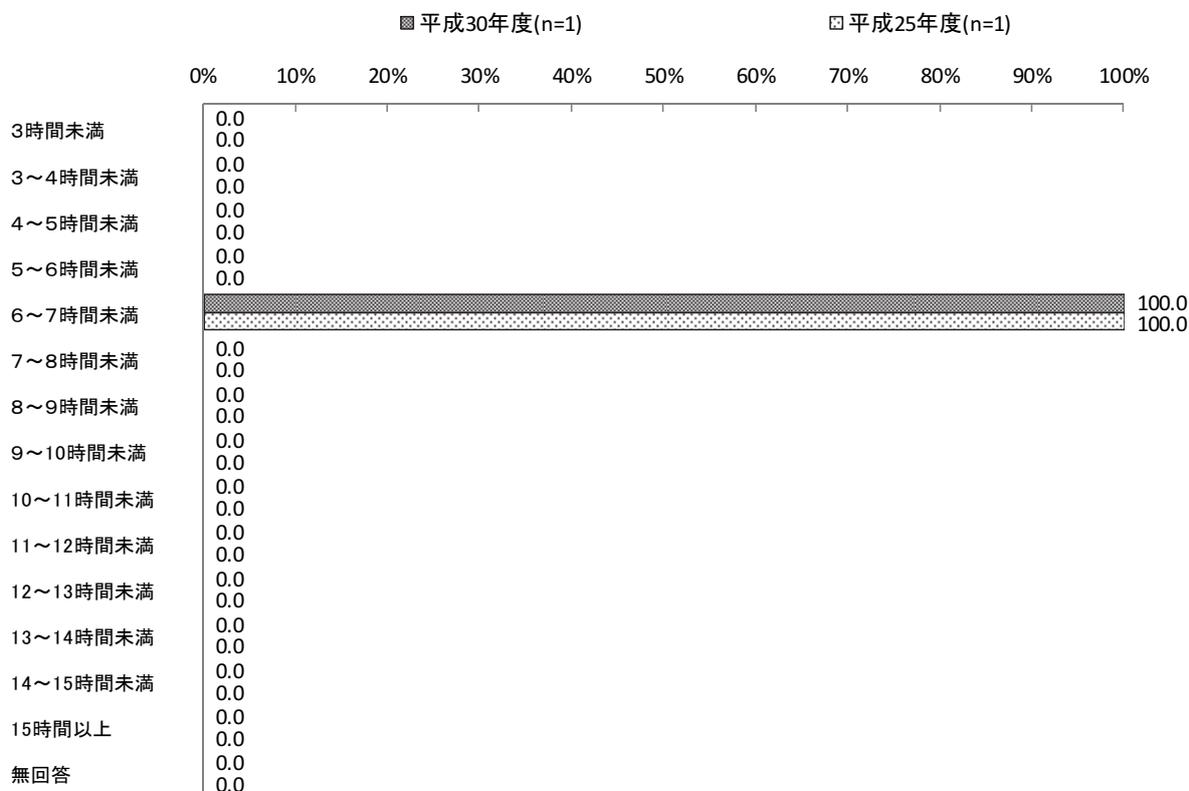


※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(2) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労時間（1日あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の父親が希望する就労時間について、以下の図の通りである。

図表 60 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労時間



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

子どもの年齢別では、以下の図の通りである。

図表 61 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労時間—年齢別

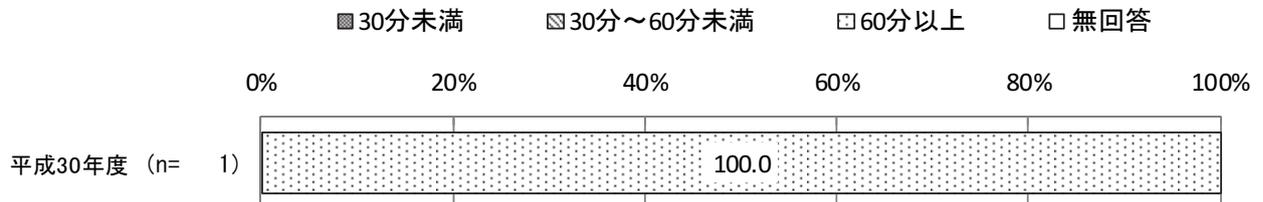


※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(3) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する通勤時間（1日あたり往復）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の父親が希望する通勤時間について、以下の図の通りである。

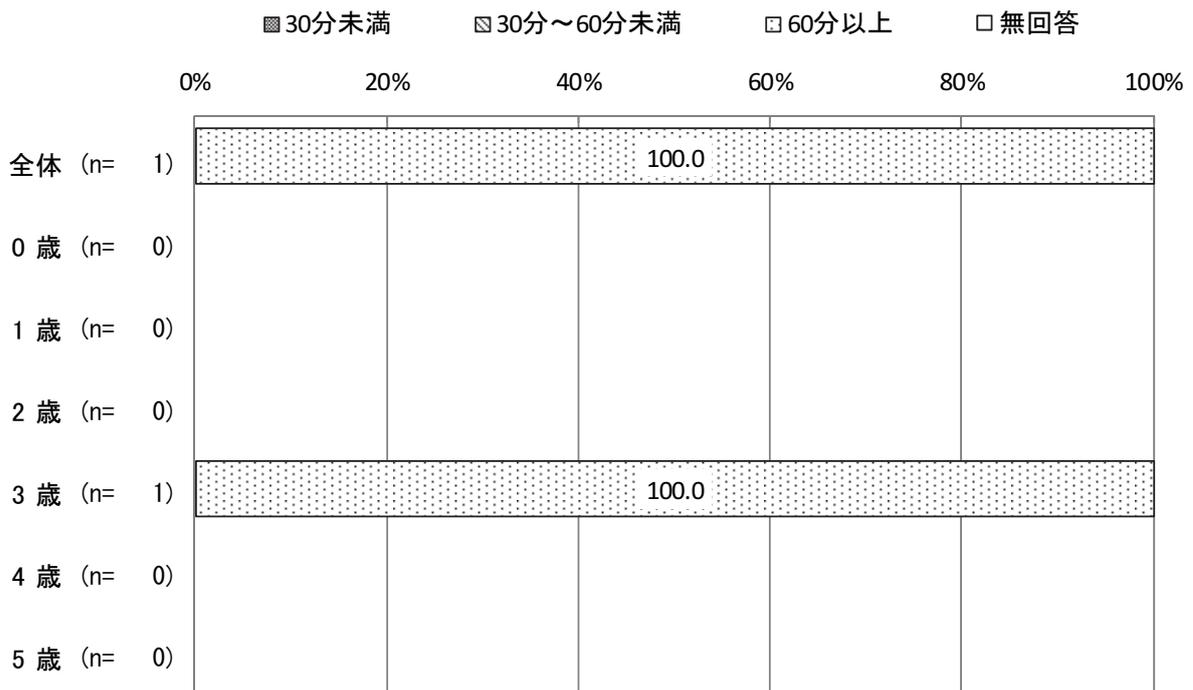
図表 62 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する通勤時間



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

子どもの年齢別では、以下の図の通りである。

図表 63 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する通勤時間—年齢別



※回答対象は問12で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

## 1-5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

### 1-5-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

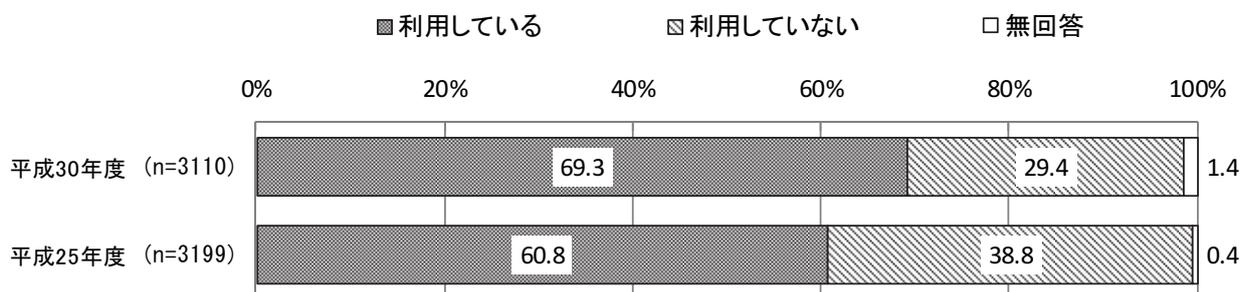
#### 1-5-1-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

問13. お子さんは現在、幼稚園や保育園などの平日の定期的な教育・保育事業を利用されていますか（○は1つだけ）。

平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無について、平成30年度では「利用している」が69.3%、「利用していない」が29.4%となっている。

平成25年度と比較すると、「利用している」が8.5ポイント増加し、「利用していない」は9.4ポイント減少している。

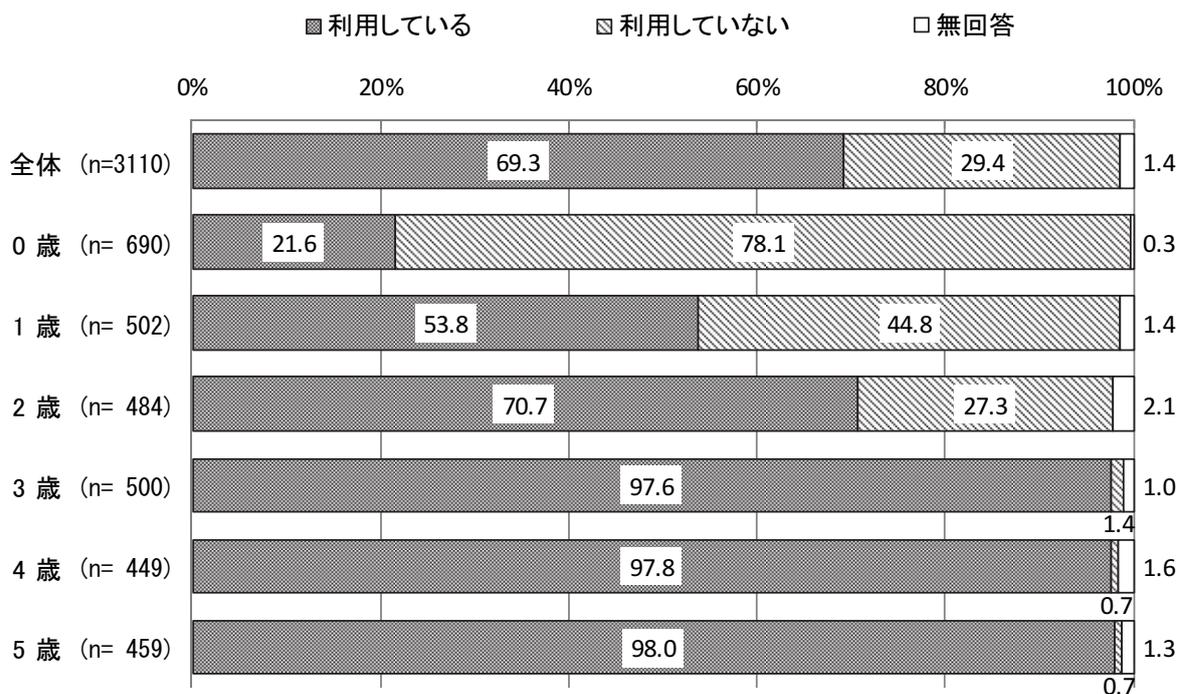
図表 64 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて『利用している』の割合は高くなり、「5歳」では98.0%となっている。

図表 65 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

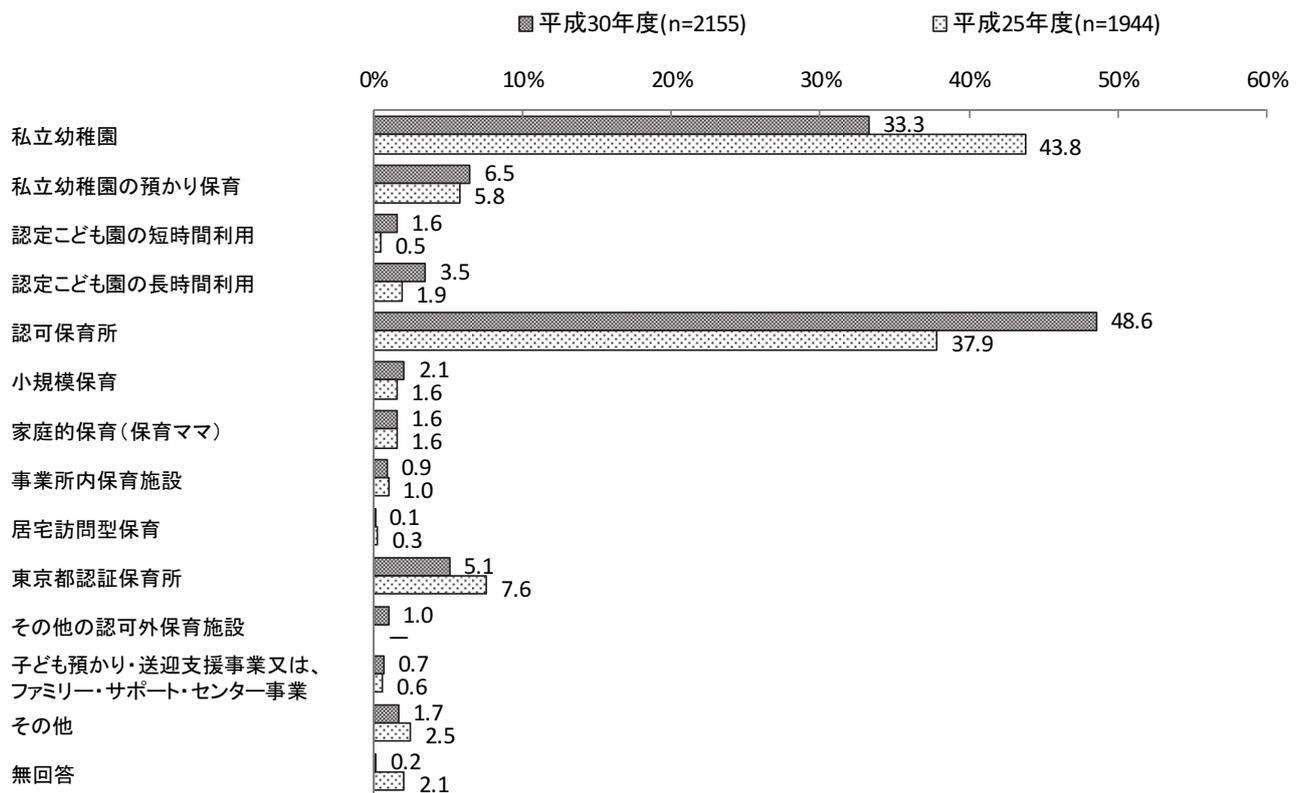
## 1-5-1-2 利用している教育・保育事業の内容

問13-1. お子さんは現在、平日、年間を通じて定期的にどのような教育・保育事業を利用していますか（〇はあてはまるものすべて）。

利用している教育・保育事業の内容について、平成30年度では「認可保育所」が48.6%と最も多く、次いで「私立幼稚園」が33.3%、「私立幼稚園の預かり保育」が6.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「認可保育所」が10.7ポイント増加し、「私立幼稚園」は10.5ポイント減少している。

図表 66 利用している教育・保育事業の内容

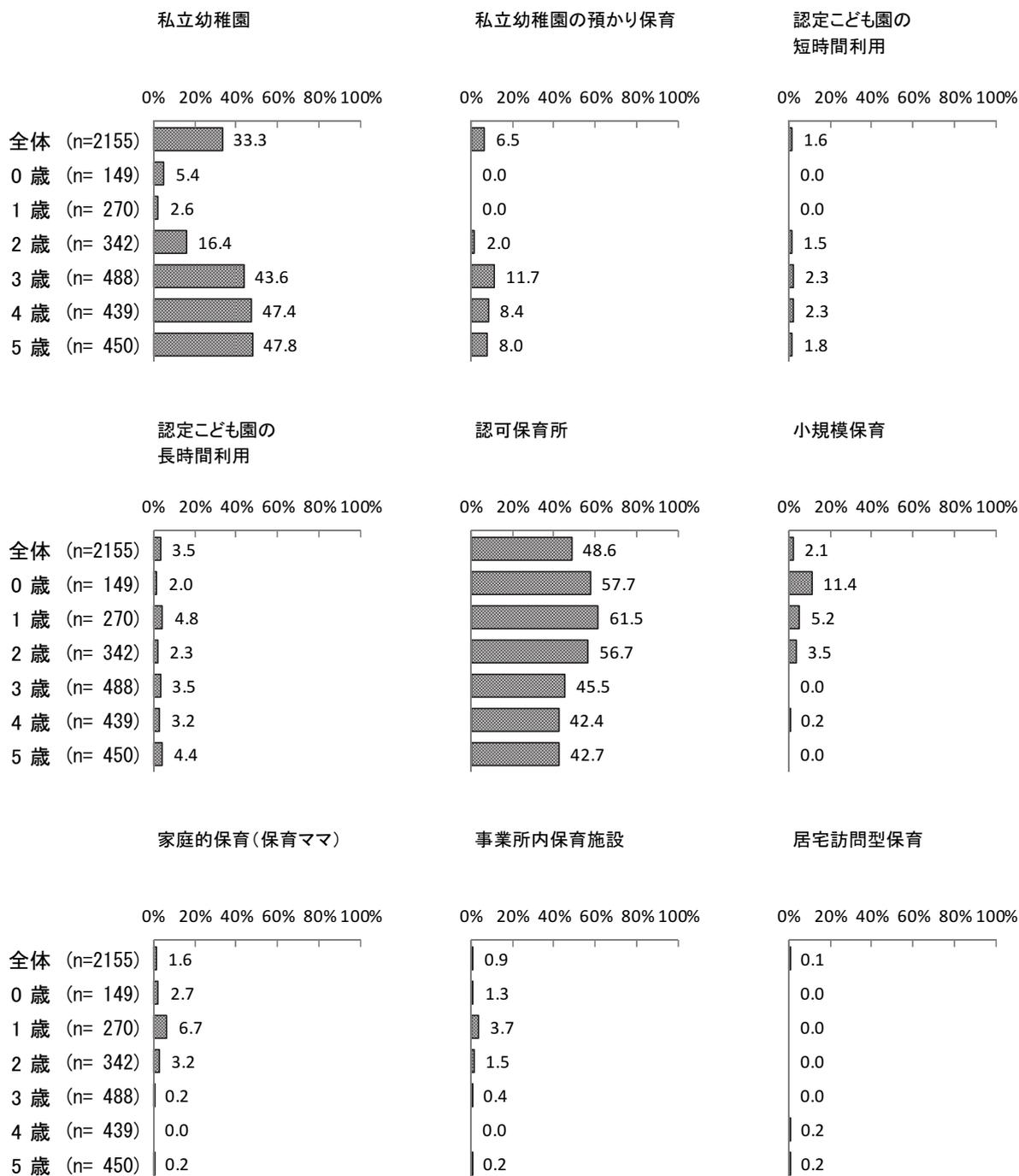


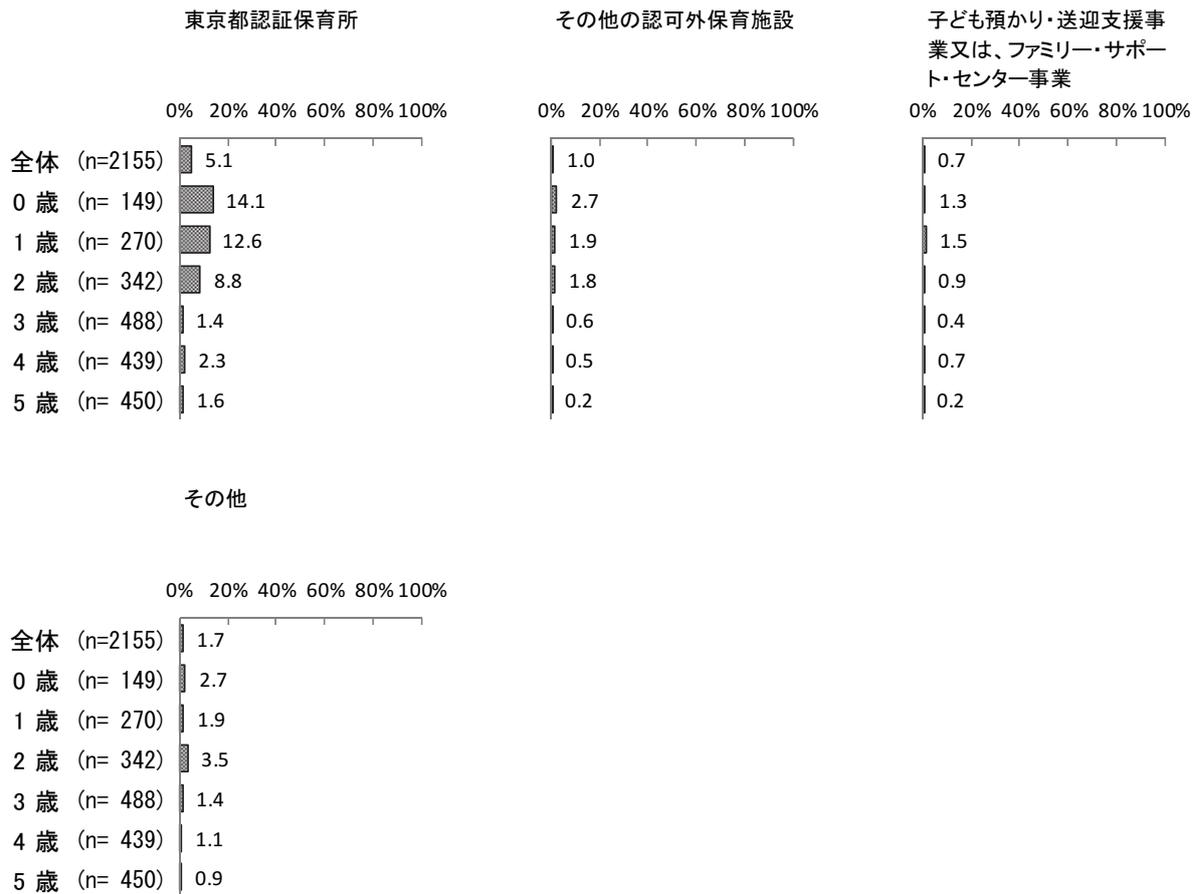
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

子どもの年齢別で見ると、『私立幼稚園』では「3歳」から「5歳」まで割合が高い傾向にあり、「0歳」から「2歳」まで低い傾向にある。一方で、『認可保育所』では「0歳」から「2歳」まで高い傾向にあり、「3歳」から「5歳」まで低い傾向にある。

図表 67 利用している教育・保育事業の内容—年齢別



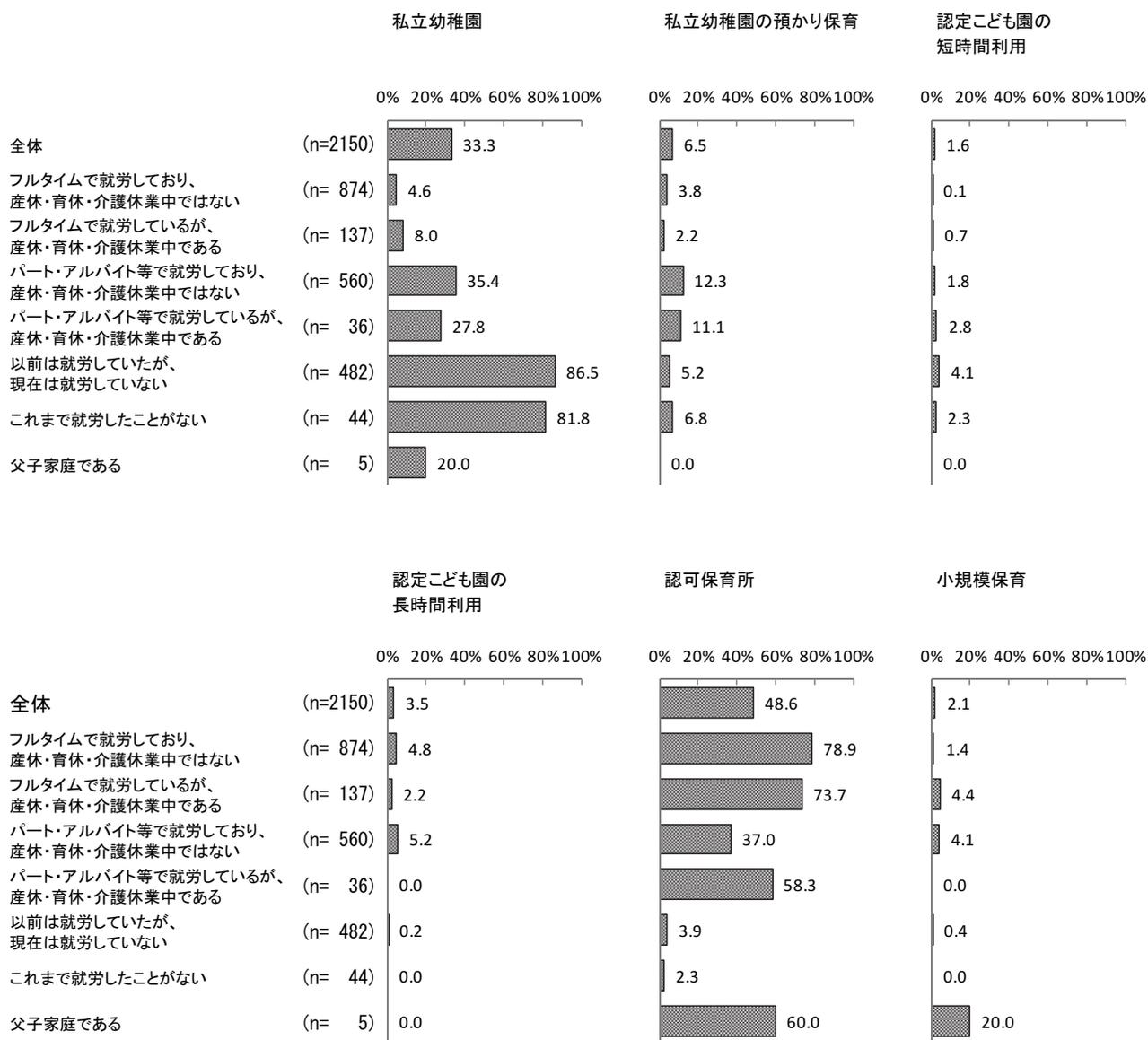


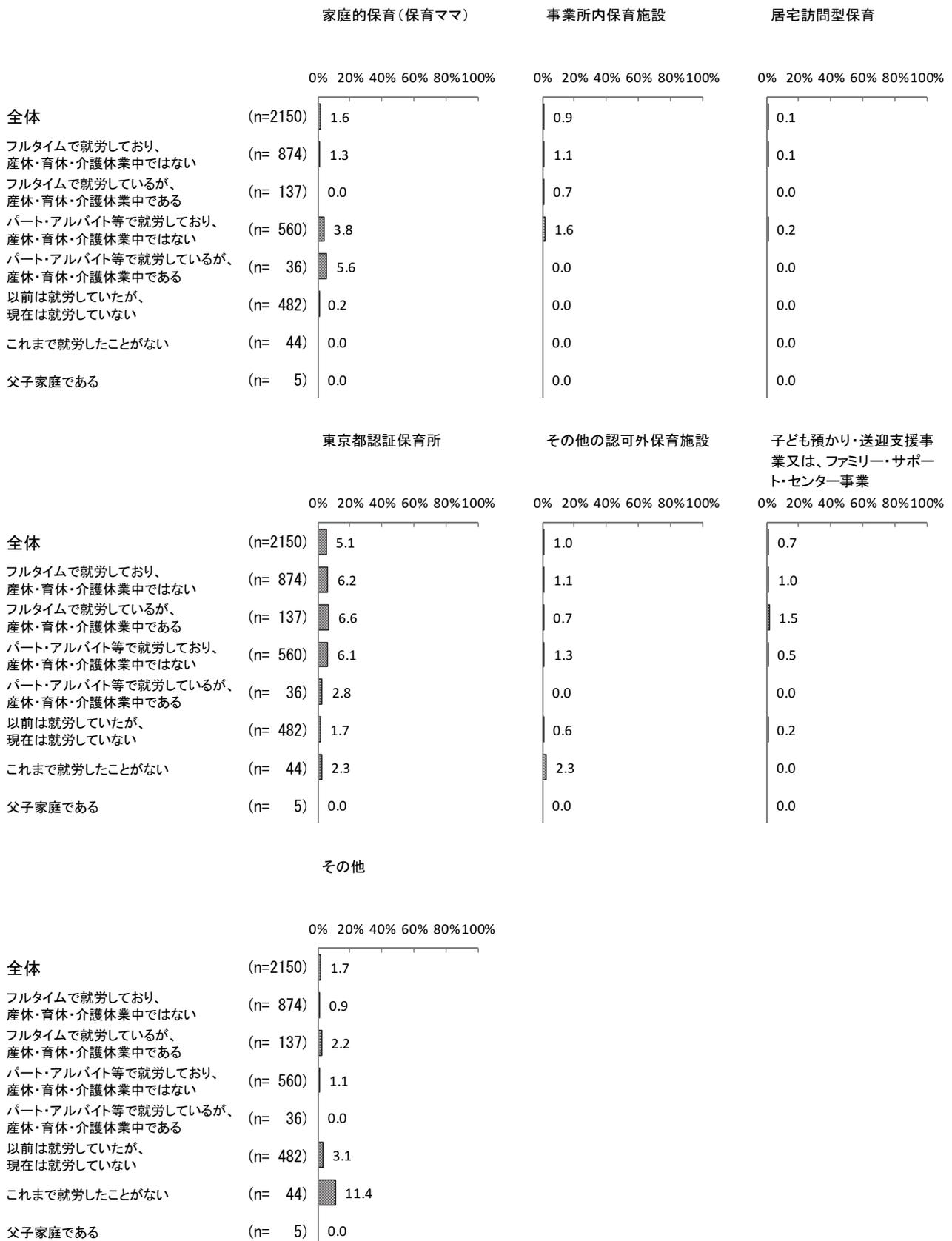
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

母親の就労状況別でみると、「私立幼稚園」では母親が現在就労していない世帯の割合が高い傾向にあり、母親がフルタイムで就労している世帯は低い傾向にある。一方で、「認可保育所」では母親がフルタイムで就労している世帯の割合が高い傾向にあり、母親が現在就労していない世帯母親は低い傾向にある。

図表 68 利用している教育・保育事業の内容—母親就労状況別





※複数回答のため、合計は100%に一致しない

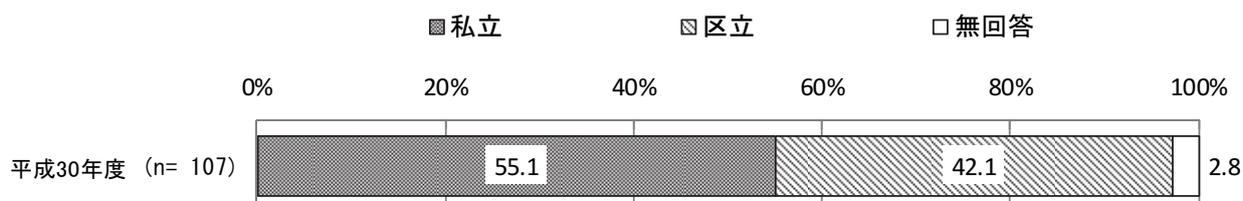
※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

### 1-5-1-3 利用している認定こども園の運営主体

問13-2. 利用している認定こども園の運営主体（私立／区立）をお答えください（○は1つだけ）。

利用している認定こども園の運営主体について、「私立」が55.1%、「区立」が42.1%となっている。

図表 69 利用している認定こども園の運営主体



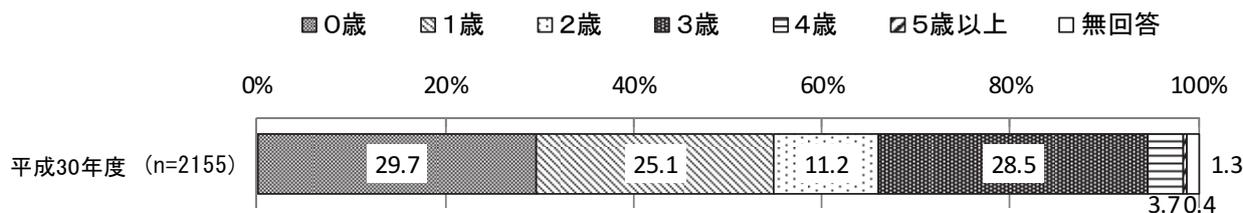
※回答対象は問13-1で「認定こども園を利用している」と回答した人

### 1-5-1-4 教育・保育事業の利用を開始した年齢

問13-3. 平日に定期的にご利用している教育・保育事業について、お子さんが何歳のときから利用を開始しましたか（カッコ内に数字で）。

教育・保育事業の利用を開始した年齢について、「0歳」が29.7%で最も多く、次いで「3歳」が28.5%、「1歳」が25.1%となっている。

図表 70 教育・保育事業の利用を開始した年齢



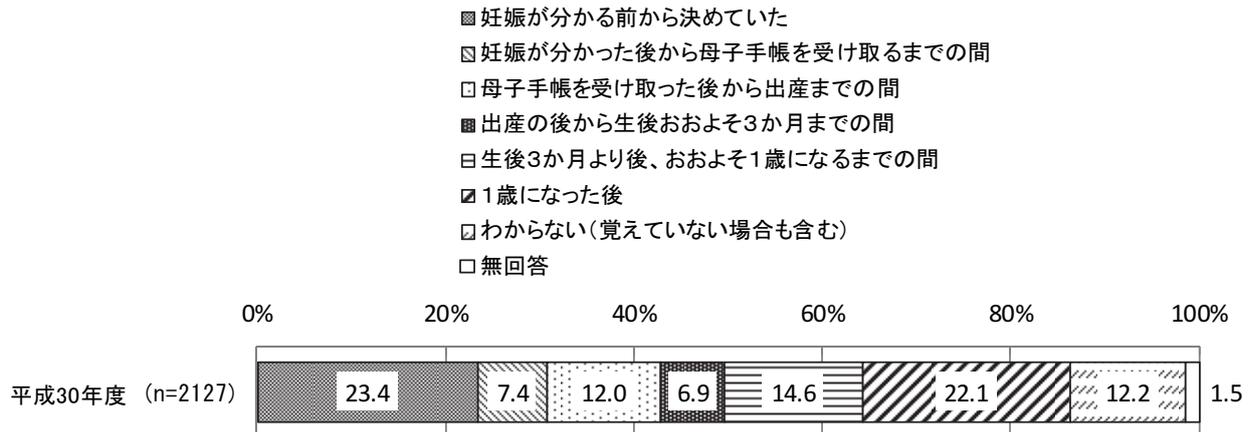
※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

## 1-5-1-5 教育・保育事業の利用を開始する年齢を決めた時期

問13-4. その年齢で利用することを決めた時期は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

教育・保育事業の利用を開始する年齢を決めた時期について、「妊娠が分かる前から決めていた」が23.4%で最も多く、次いで「1歳になった後」が22.1%、「生後3か月より後、おおよそ1歳になるまでの間」が14.6%となっている。

図表 71 教育・保育事業の利用を開始する年齢を決めた時期



※回答対象は問13で「利用している」、かつ問13-3で年齢を回答した人のみ

1-5-1-6 教育・保育事業の現在の利用日数・時間と希望する利用日数・時間

問13-5. 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、(1) 現在どのくらい利用していますか。また、(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。

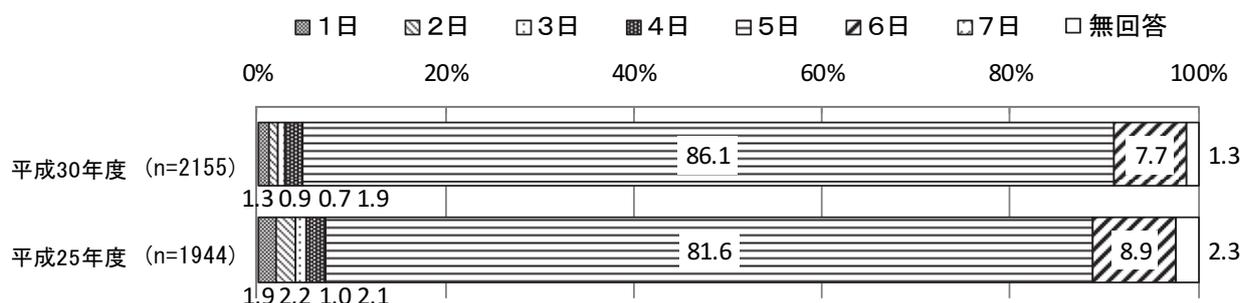
1 週あたりの利用日数

(a) 現在

現在の教育・保育事業の1週あたりの利用日数について、平成30年度では「5日」が86.1%と最も多く、次いで「6日」が7.7%、「4日」が1.9%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 72 教育・保育事業の1週あたりの利用日数（現在）

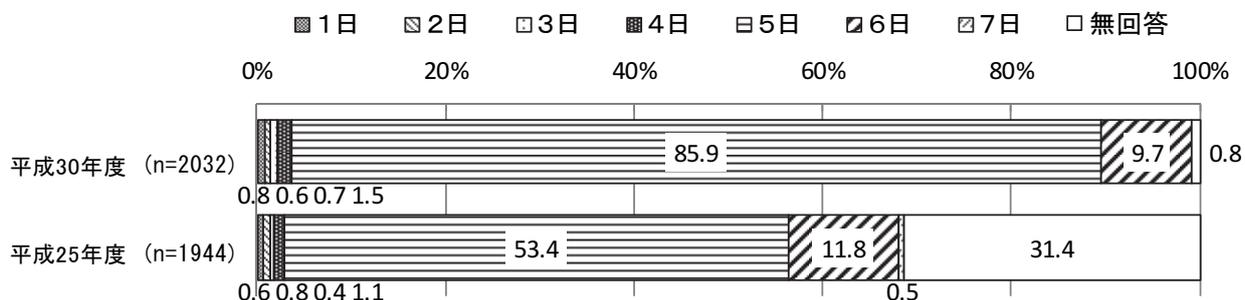


※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

(b) 希望

希望する教育・保育事業の1週あたりの利用日数について、平成30年度では「5日」が85.9%と最も多く、次いで「6日」が9.7%、「4日」が1.5%となっている。

図表 73 教育・保育事業の1週あたりの利用日数（希望）



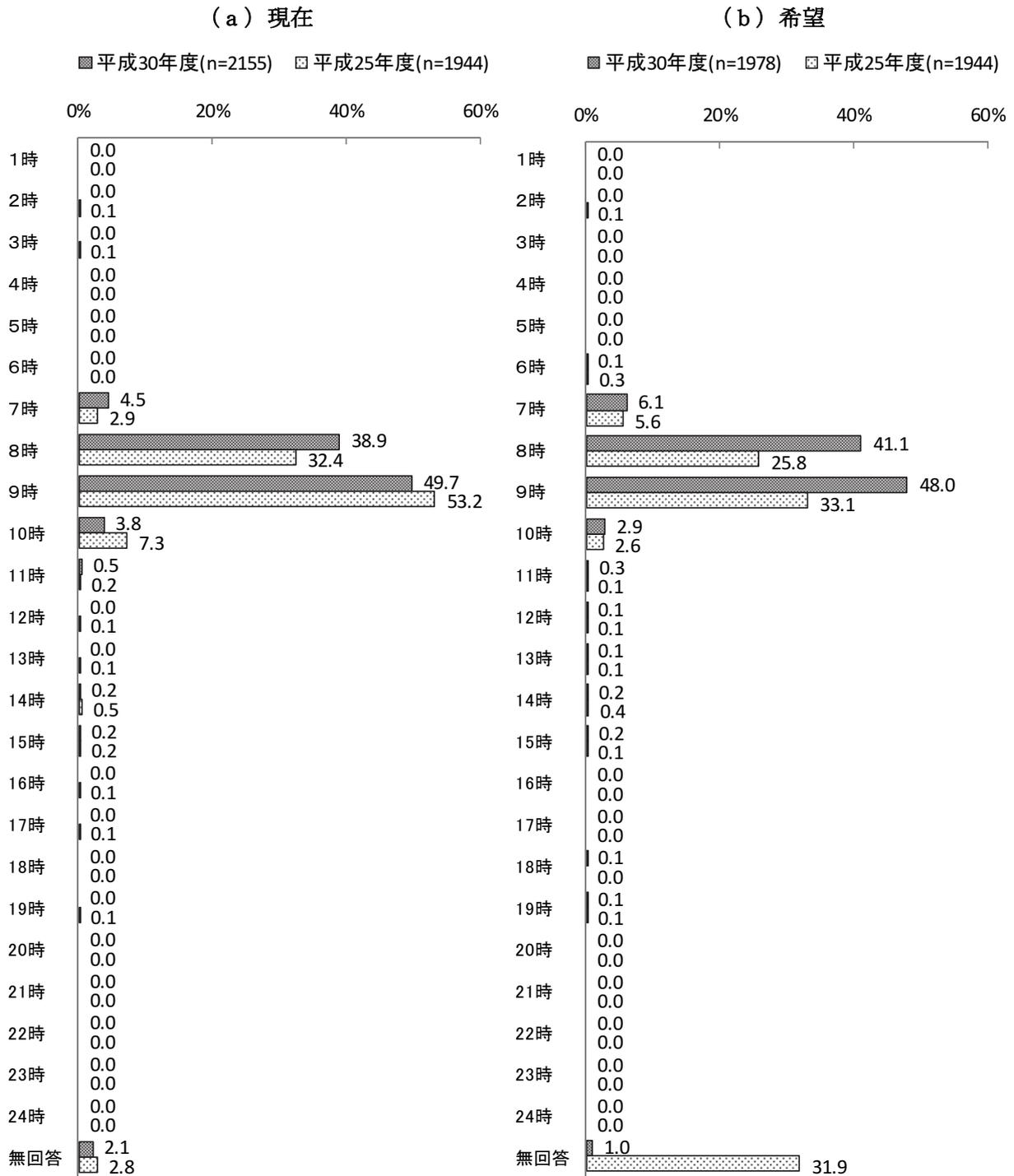
※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

※平成25年度調査は(b)希望を無回答とする方が多かったことから、平成30年度調査で質問票の見直しを行った。この結果、無回答が大幅に減少したことから単純比較ができないため、参考表記とする

利用開始時間

教育・保育事業の利用開始時間について、(a) 現在では「9時」が49.7%と最も多く、次いで「8時」が38.9%、「7時」が4.5%となっている。平成25年度と比較すると、「8時」が6.5ポイント増加し、「9時」は3.5ポイント減少している。

図表 74 教育・保育事業の利用開始時間



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

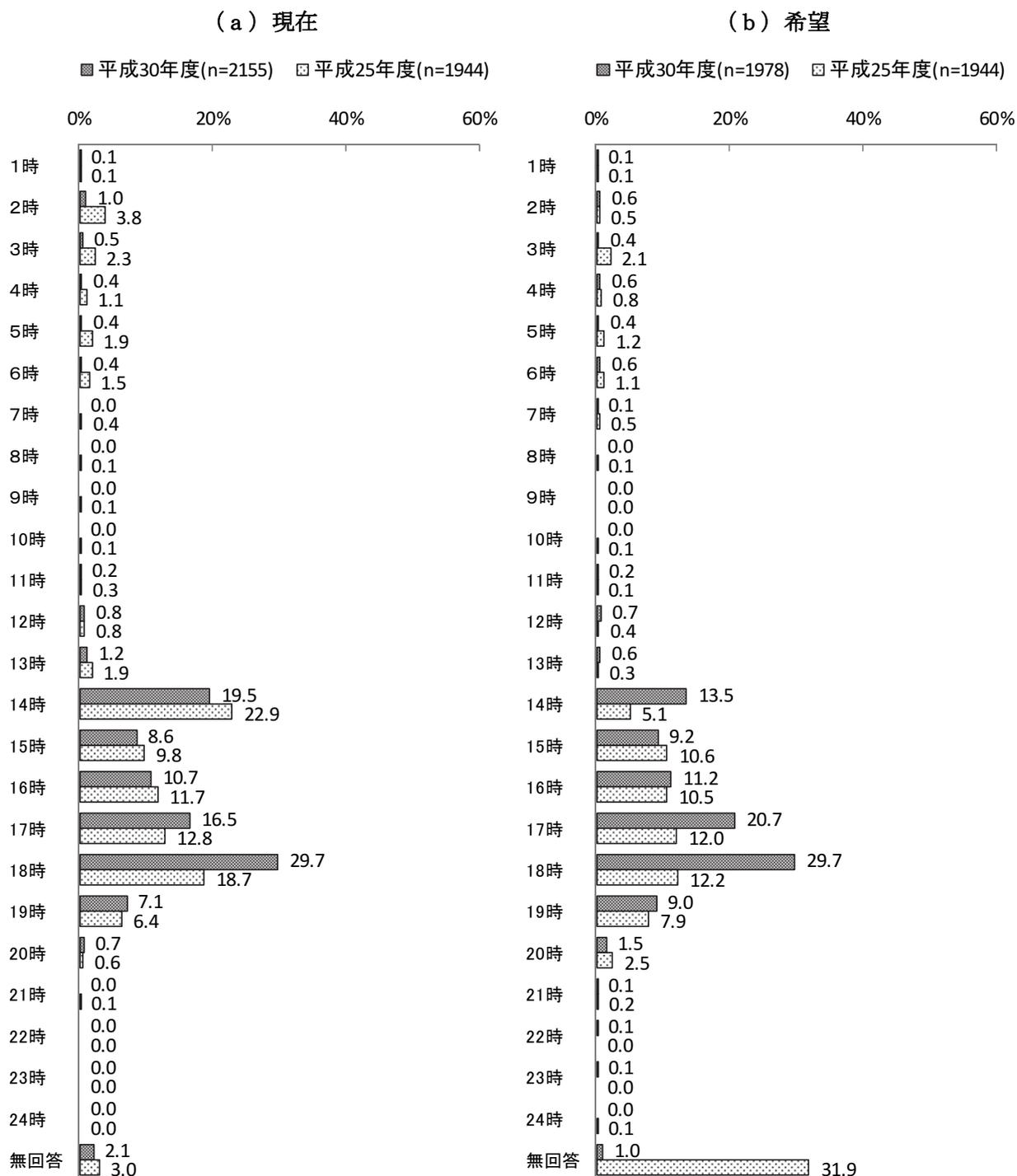
※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

※平成25年度調査は（b）希望を無回答とする方が多かったことから、平成30年度調査で質問票の見直しを行った。この結果、無回答が大幅に減少したことから単純比較ができないため、参考表記とする

利用終了時間

教育・保育事業の利用終了時間について、(a) 現在では「18時」が29.7%と最も多く、次いで「14時」が19.5%、「17時」が16.5%となっている。平成25年度と比較すると、「17時」から「20時」までは増加傾向にある一方で、「1時」から「16時」までは減少傾向にある。

図表 75 教育・保育事業の利用終了時間



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

※平成25年度調査は(b)希望を無回答とする方が多かったことから、平成30年度調査で質問票の見直しを行った。この結果、無回答が大幅に減少したことから単純比較ができないため、参考表記とする

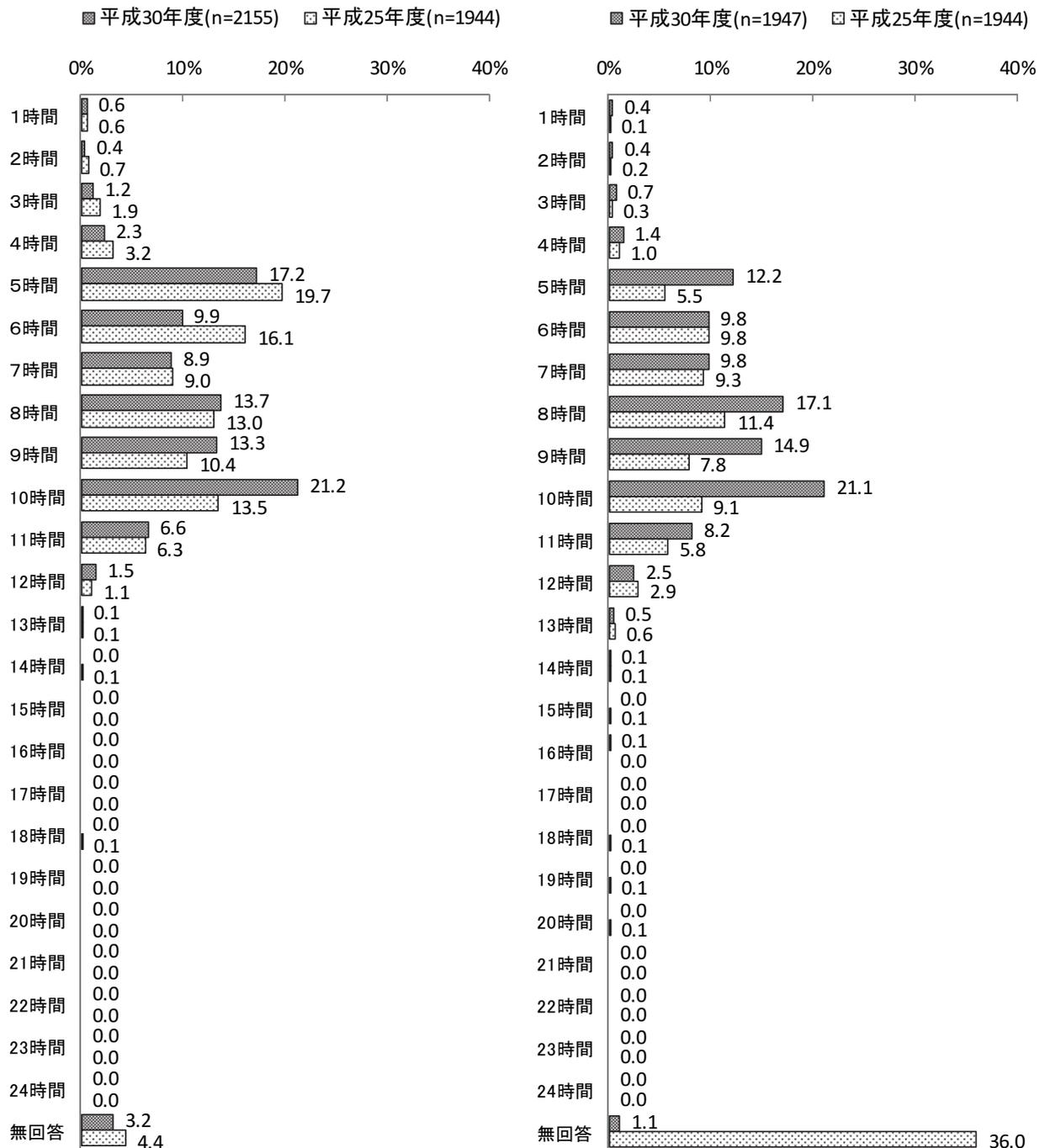
1日あたりの利用時間

教育・保育事業の1日あたりの利用時間について、(a) 現在では「10時間」が21.2%と最も多く、次いで「5時間」が17.2%、「8時間」が13.7%となっている。平成25年度と比較すると、8時間以上が増加傾向にあり、7時間以下は減少傾向にある。

図表 76 教育・保育事業の1日あたりの利用時間

(a) 現在

(b) 希望



※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

※平成25年度調査は(b)希望を無回答とする方が多かったことから、平成30年度調査で質問票の見直しを行った。この結果、無回答が大幅に減少したことから単純比較ができないため、参考表記とする

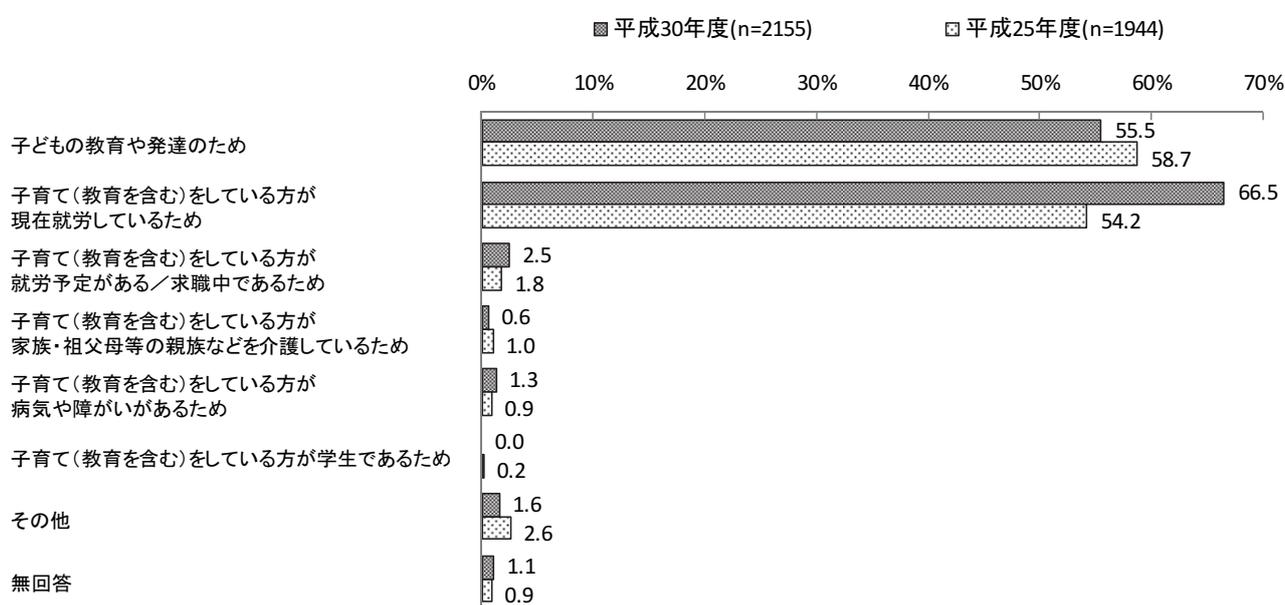
1-5-1-7 教育・保育事業を定期的にご利用している理由

問13-6. 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

教育・保育事業を定期的にご利用している理由について、平成30年度では「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」が66.5%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が55.5%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため」が2.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」が12.3ポイント増加し、「子どもの教育や発達のため」は3.2ポイント減少している。

図表 77 教育・保育事業を定期的にご利用している理由

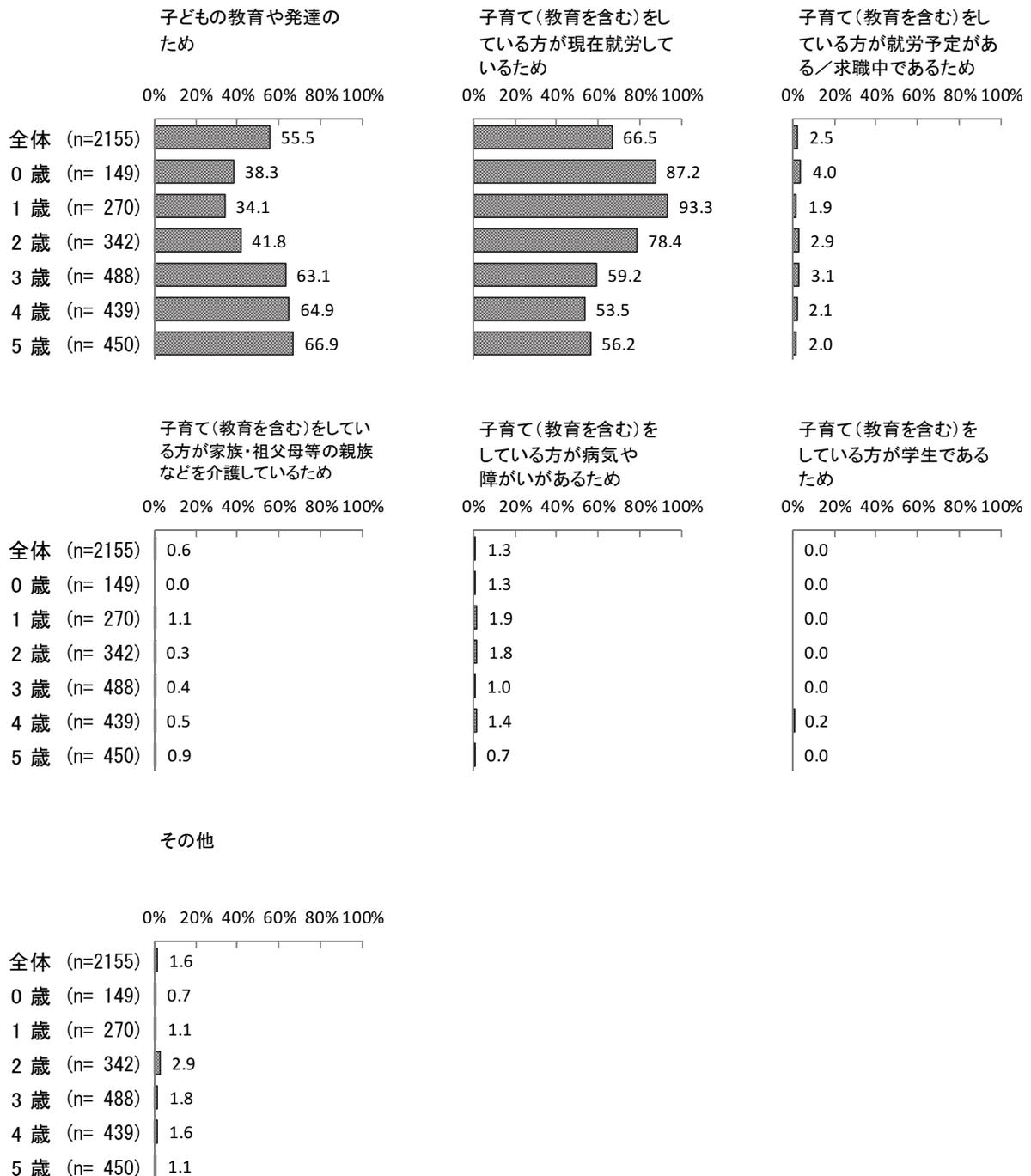


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『子どもの教育や発達のため』では、「3歳」から「5歳」まで割合が高い傾向にあり、「0歳」から「2歳」まで低い傾向にある。一方で、『子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため』では、「0歳」から「2歳」まで割合が高い傾向にあり、「3歳」から「5歳」まで低い傾向にある。

図表 78 教育・保育事業を定期的にご利用している理由—年齢別

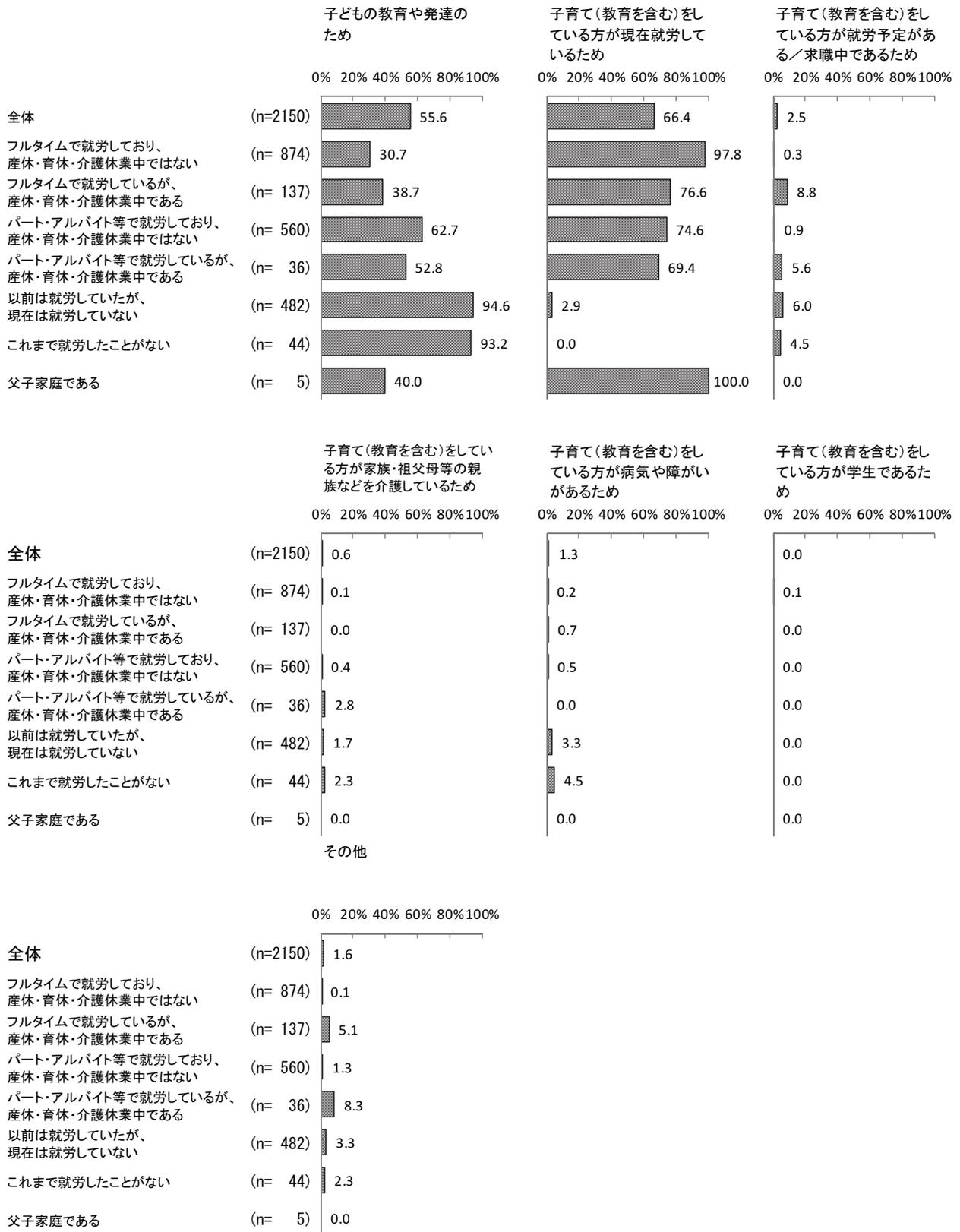


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

母親の就労状況別でみると、「子どもの教育や発達のため」では、母親が現在就労していない世帯の割合が高い傾向にあり、母親がフルタイムで就労している世帯は低い傾向にある。

図表 79 教育・保育事業を定期的にご利用している理由—母親就労状況別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用している」と回答した人

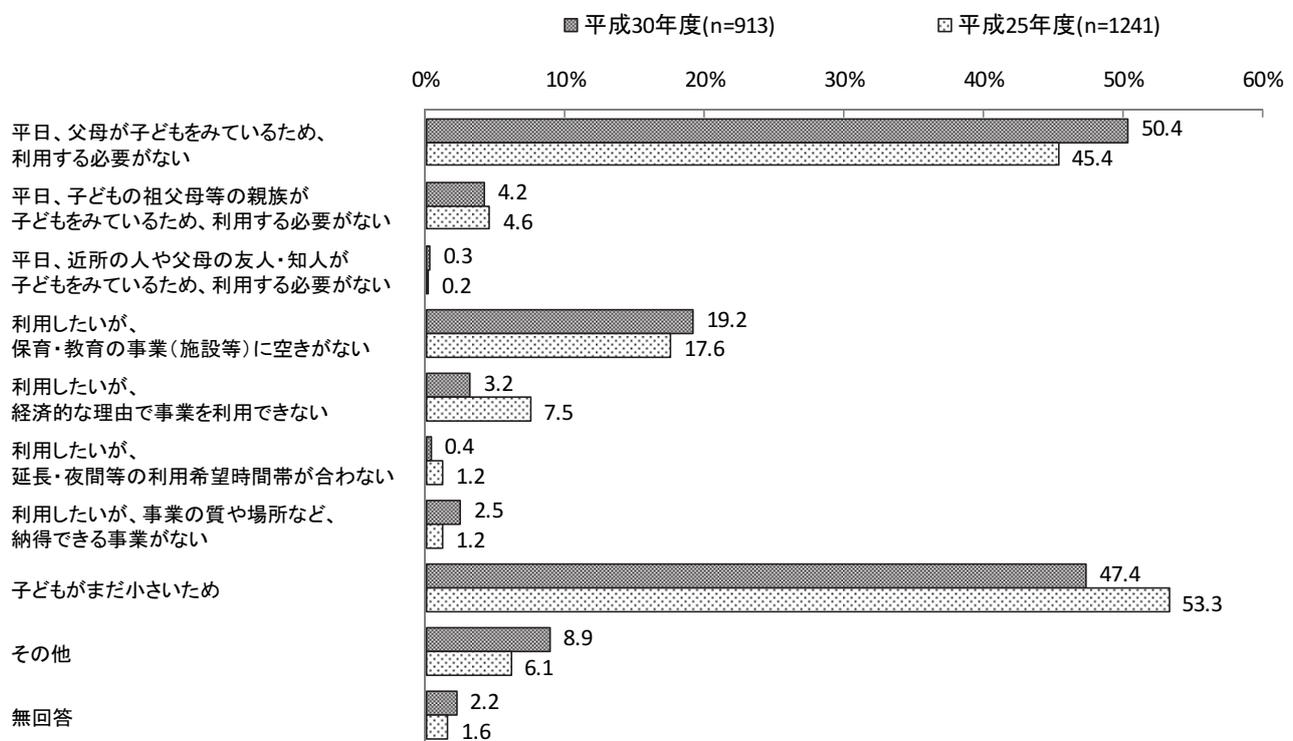
## 1-5-1-8 教育・保育事業を定期的に利用していない理由

問13-7. 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

教育・保育事業を定期的に利用していない理由について、平成30年度では「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」が50.4%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が47.4%、「利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない」が19.2%となっている。

平成25年度と比較すると、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」「利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない」がそれぞれ5.0ポイント、1.6ポイント増加し、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」「子どもがまだ小さいため」は4.3ポイント、5.9ポイント減少している。

図表 80 教育・保育事業を定期的に利用していない理由

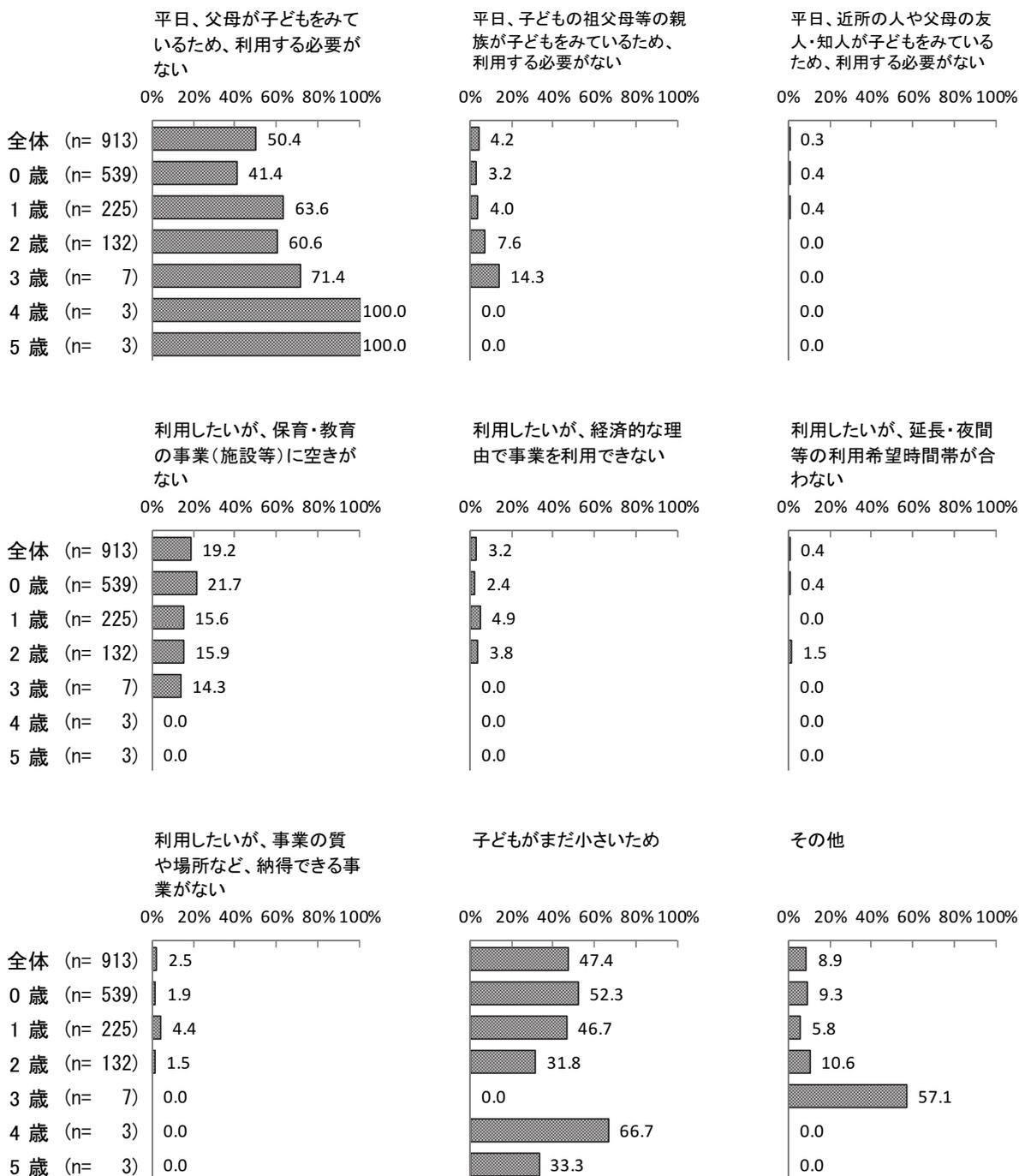


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用していない」と回答した人

子どもの年齢別でみると、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」は、年齢が上がるにつれて、おおよそ割合が高くなる傾向にある。

図表 81 教育・保育事業を定期的にご利用していない理由—年齢別

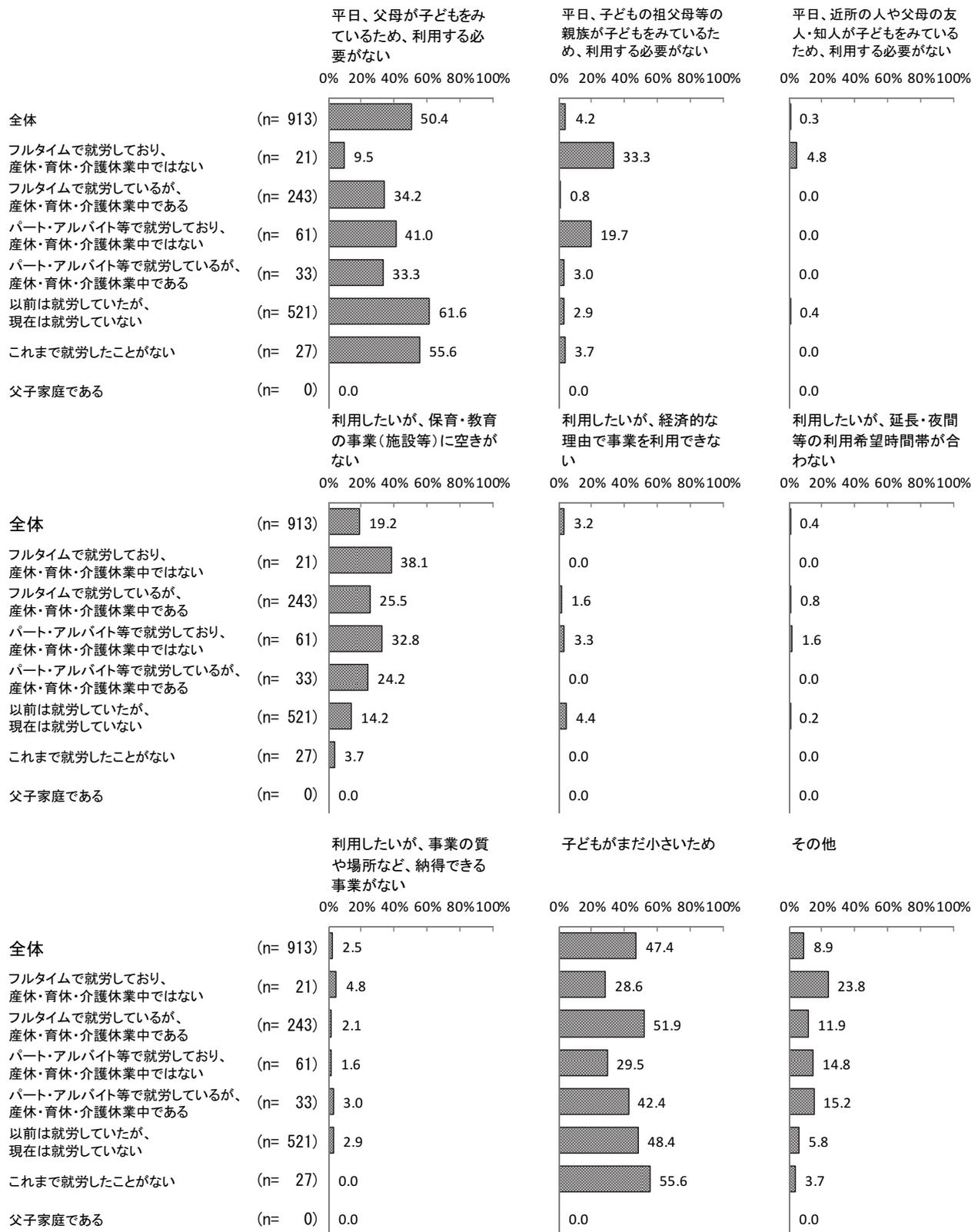


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学前児童対象調査の全員

母親の就労状況別で見ると、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」では、母親が現在就労していない世帯の割合が高い傾向にあり、母親が就労している世帯は低い傾向にある。

図表 82 教育・保育事業を定期的にご利用していない理由—母親就労状況別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問13で「利用していない」と回答した人

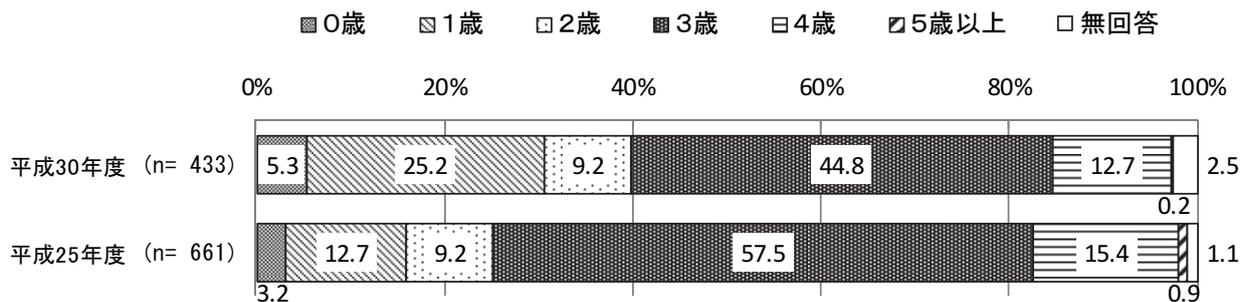
### 1-5-1-9 教育・保育事業の利用希望年齢

問13-8. お子さんが何歳くらいになったら、平日に定期的に教育・保育事業を利用しようと考えていますか（かっこ内に数字で）。

教育・保育事業の利用希望年齢について、平成30年度では「3歳」が44.8%と最も多く、次いで「1歳」が25.2%、「4歳」が12.7%となっている。

平成25年度と比較すると、「1歳」が12.5ポイント増加し、「3歳」は12.7ポイント減少している。

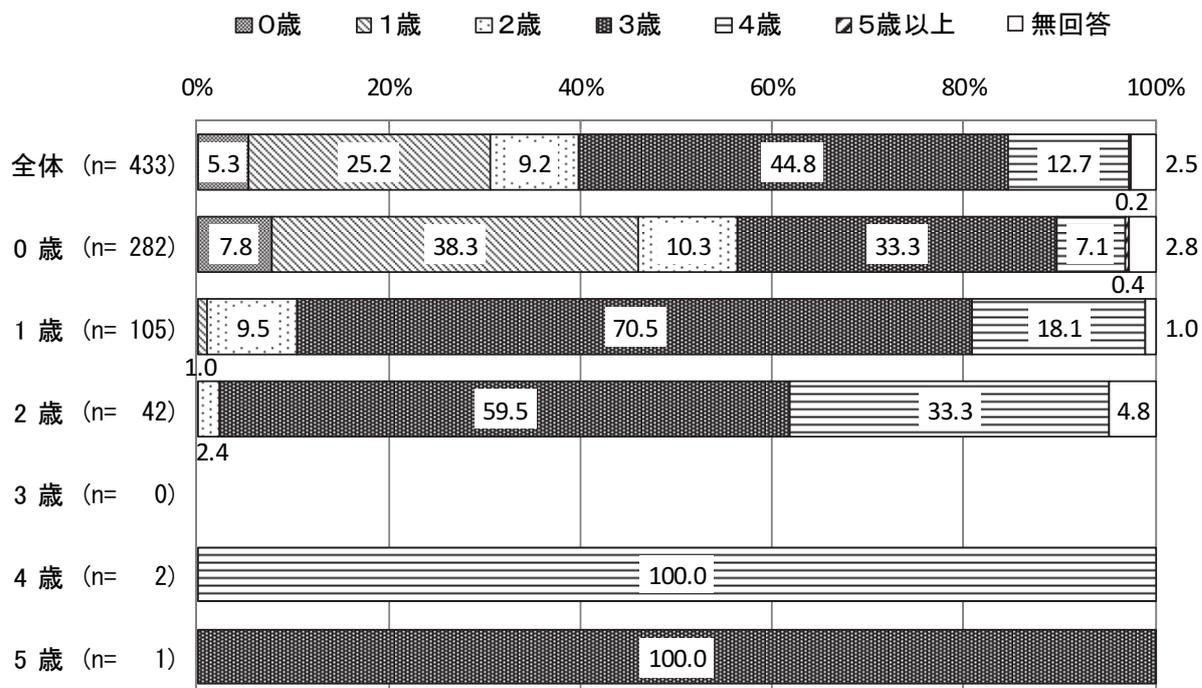
図表 83 教育・保育事業の利用希望年齢



※回答対象は問13-7で「子どもがまだ小さいため」と回答した人

子どもの年齢別でみると、現在の年齢『0歳』では「1歳」の割合が38.3%と最も高く、現在の年齢『1歳』『2歳』では「3歳」が最も高く、それぞれ70.5%、59.5%となっている。

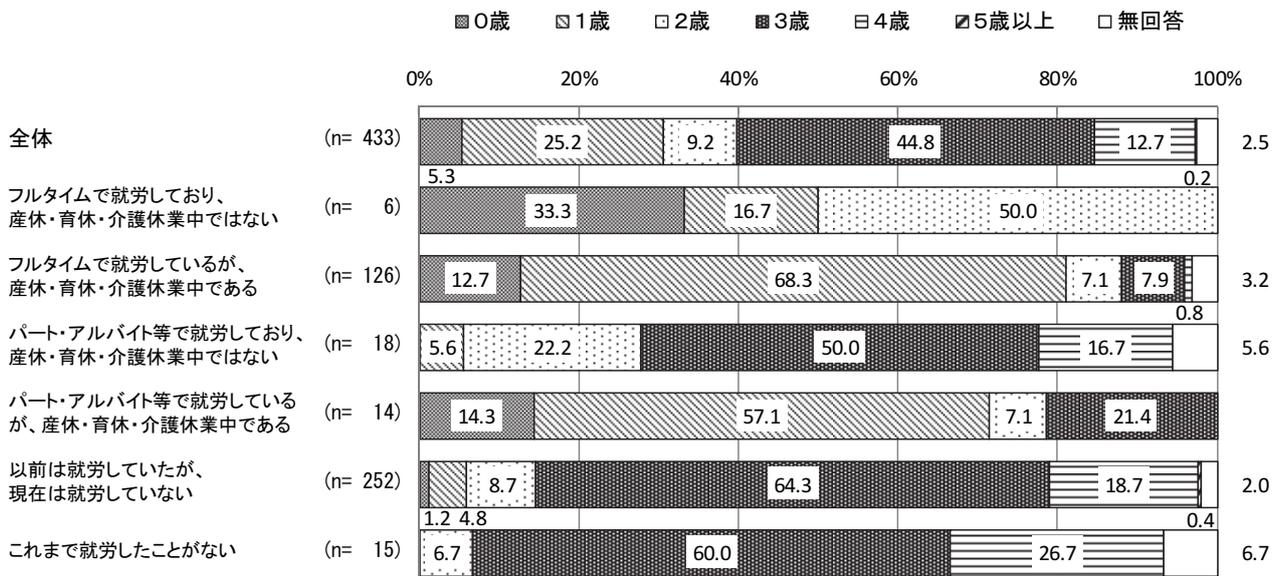
図表 84 教育・保育事業の利用希望年齢—年齢別



※回答対象は問13-7で「子どもがまだ小さいため」と回答した人

母親の就労状況別でみると、母親が産休・育休・介護休業中である世帯では『1歳』が多くなっており、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が68.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」が57.1%となっている。一方で、母親が就労していない世帯では、『3歳』が多くなっており、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が64.3%、「これまで就労したことがない」が60.0%となっている。

図表 85 教育・保育事業の利用希望年齢—母親就労状況別



※回答対象は問13-7で「子どもがまだ小さいため」と回答した人

## 1-5-2 今後の平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

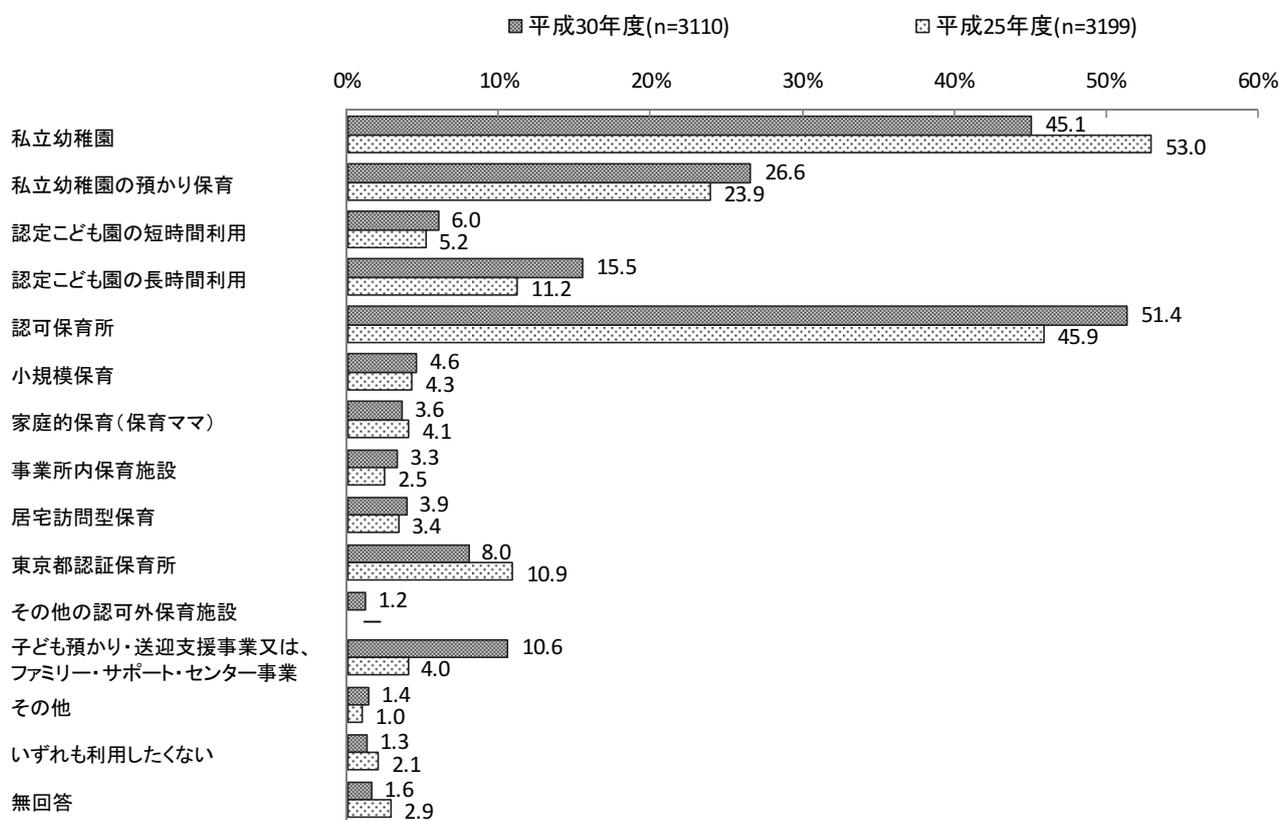
### 1-5-2-1 今後利用したい教育・保育事業の内容

問14. お子さんの平日の教育・保育事業について、現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える事業は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

今後利用したい教育・保育事業の内容について、平成30年度では「認可保育所」が51.4%と最も多く、次いで「私立幼稚園」が45.1%、「私立幼稚園の預かり保育」が26.6%となっている。

平成25年度と比較すると、「私立幼稚園の預かり保育」「認定こども園の長時間利用」「認可保育所」「子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業」がそれぞれ2.7ポイント、4.3ポイント、5.5ポイント、6.6ポイント増加し、「私立幼稚園」「東京都認証保育所」がそれぞれ7.9ポイント、2.9ポイント減少している。

図表 86 今後利用したい教育・保育事業の内容

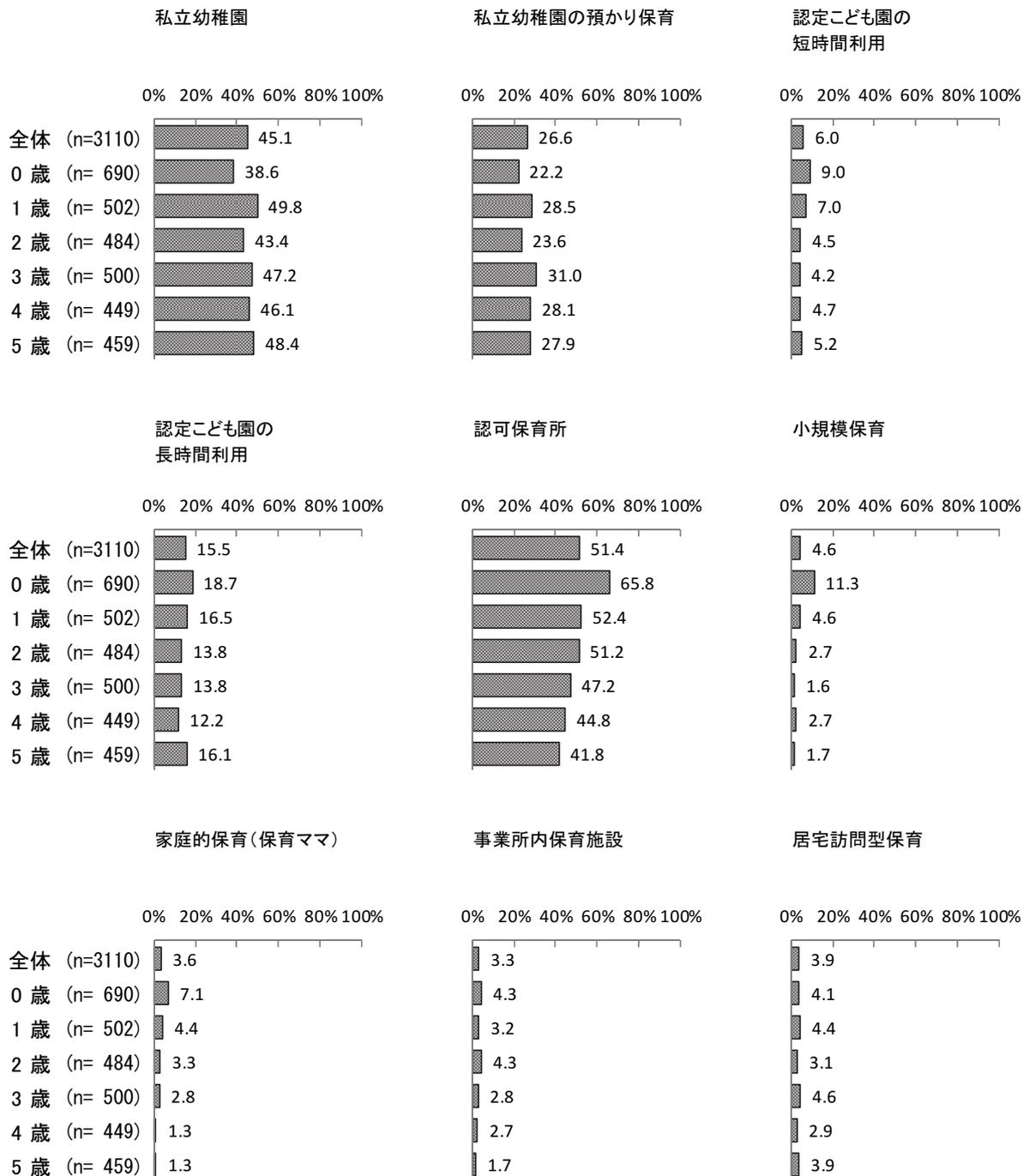


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

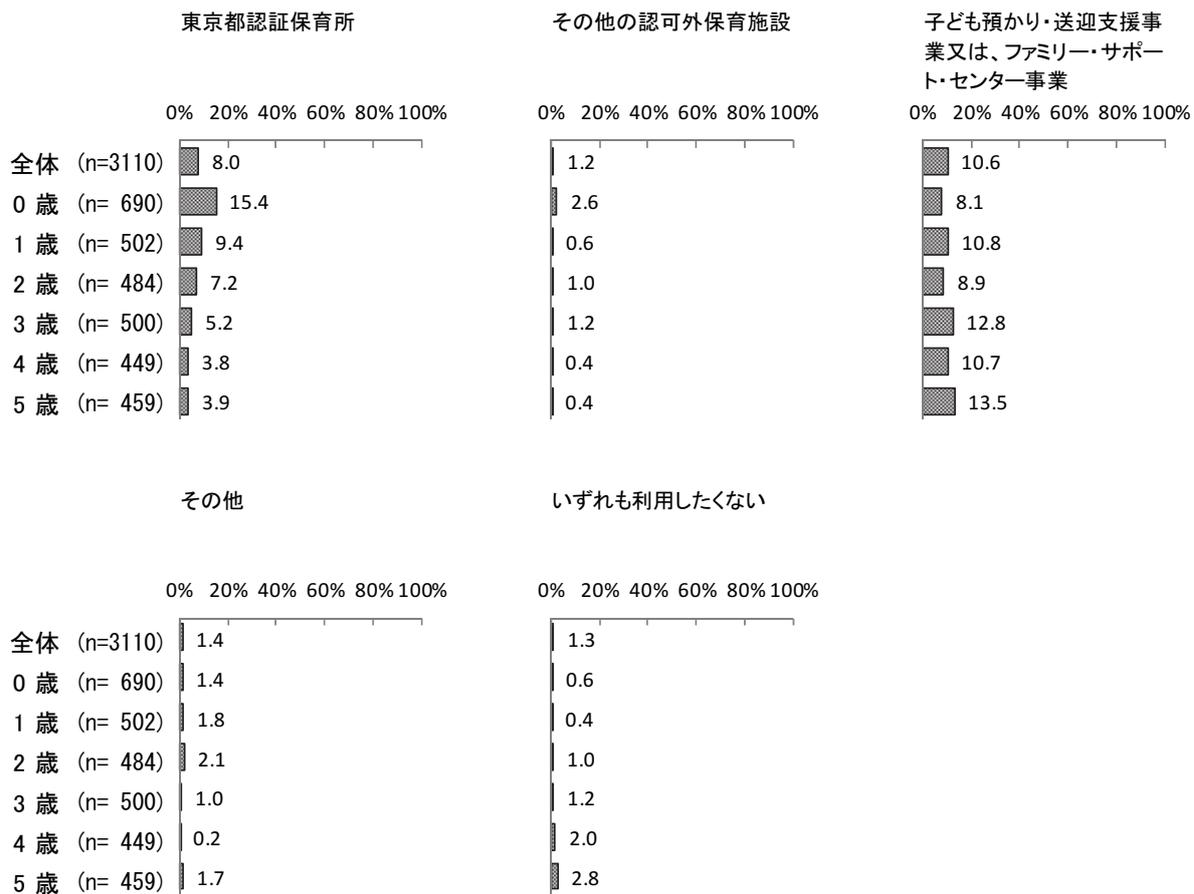
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、「私立幼稚園」では年齢に関係なく一定の割合がある。一方で、「認可保育所」「東京都認証保育所」では、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

図表 87 今後利用したい教育・保育事業の内容—年齢別



調査結果 就学前児童

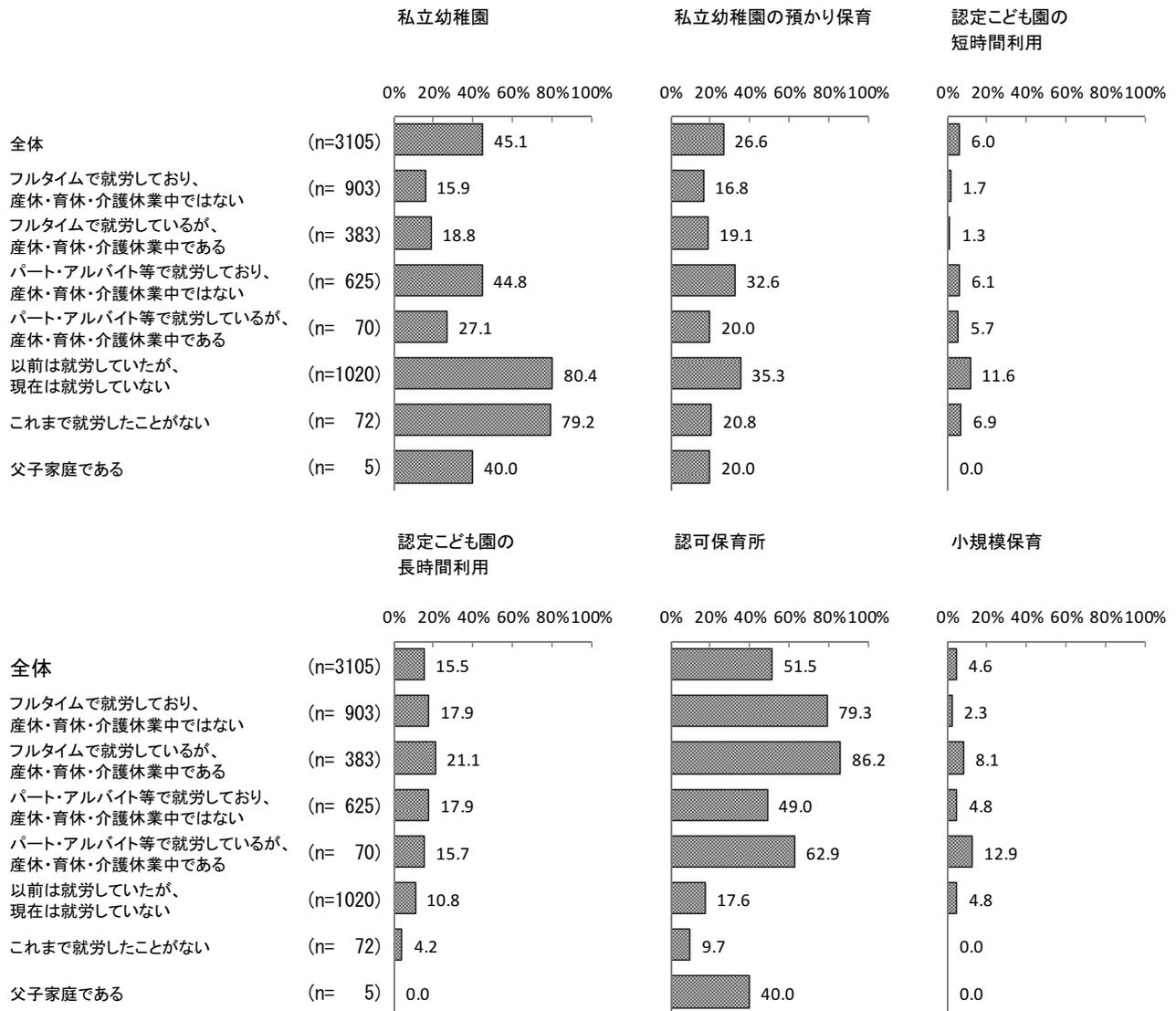


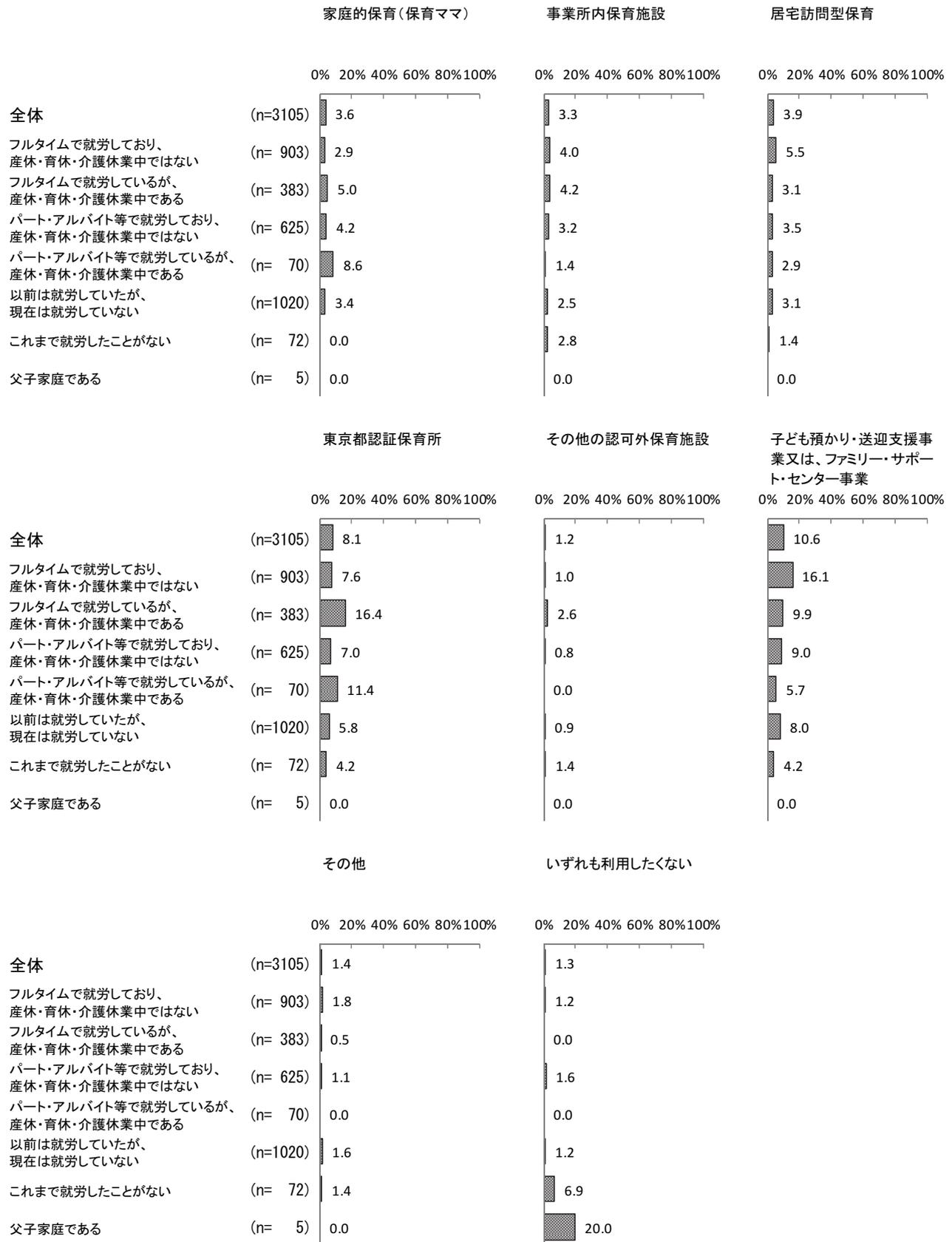
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学前児童対象調査の全員

母親の就労状況別でみると、「私立幼稚園」では、母親が現在就労していない世帯の割合が高い傾向にあり、母親がフルタイムで就労している世帯は低い傾向にある。一方で、「認可保育所」では、母親がフルタイムで就労している世帯の割合が高い傾向にあり、母親が現在就労していない世帯は低い傾向にある。

図表 88 今後利用したい教育・保育事業の内容—母親就労状況別





※複数回答のため、合計は100%に一致しない

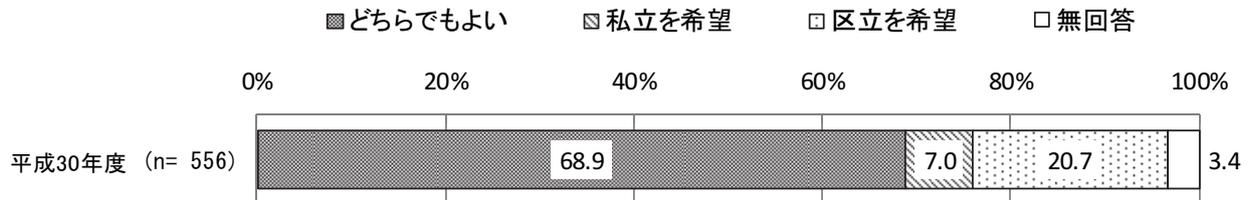
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

## 1-5-2-2 希望する認定こども園の運営主体

問14-1. 希望する認定こども園の運営主体（私立／区立）をお答えください（○は1つだけ）。

希望する認定こども園の運営主体について、「どちらでもよい」が68.9%、「私立を希望」が7.0%、「区立を希望」が20.7%となっている。

図表 89 希望する認定こども園の運営主体



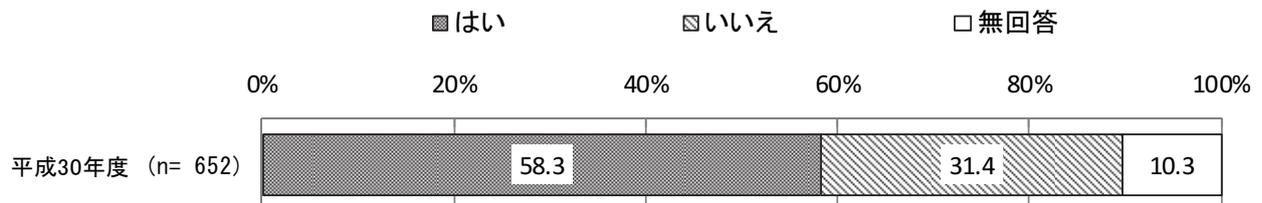
※回答対象は問14で「認定こども園を利用したい事業」と回答した人

## 1-5-2-3 幼稚園利用への強い希望の有無

問14-2. 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか（○は1つだけ）。

幼稚園利用への強い希望の有無について、「はい」が58.3%、「いいえ」が31.4%となっている。

図表 90 幼稚園利用への強い希望の有無



※回答対象は問14で「私立幼稚園」または「私立幼稚園の預かり保育」、かつその他の事業を回答した人

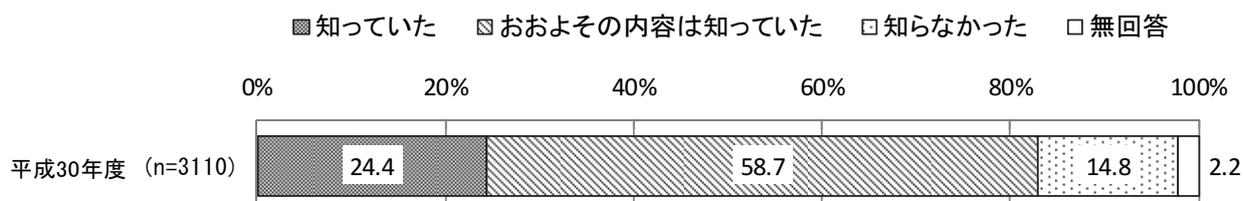
### 1-5-3 幼児教育・保育の利用料の無償化について

#### 1-5-3-1 幼児教育・保育の利用料の無償化の認知度

問15. 「幼児教育・保育の利用料の無償化とは」の内容をご存知でしたか。

幼児教育・保育の利用料の無償化の認知度について、「知っていた」が24.4%、「おおよその内容は知っていた」が58.7%、「知らなかった」が14.8%となっている。

図表 91 幼児教育・保育の利用料の無償化の認知度



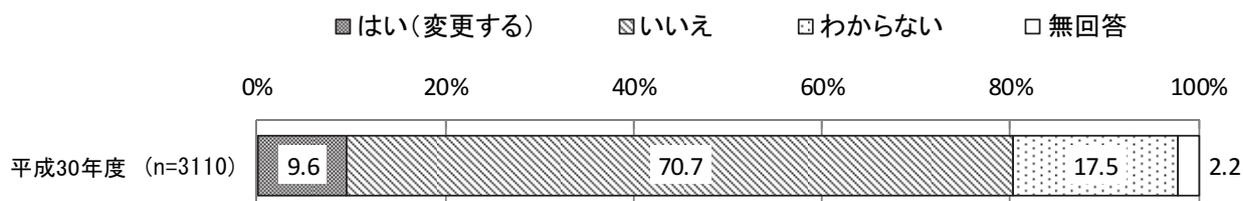
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

#### 1-5-3-2 教育・保育の無償化による定期的に利用したい教育・保育事業の変更意向

問15-1. 教育・保育の無償化が実施された場合、問14でお答えいただいた「現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える事業」を変更しますか（○は1つだけ）。

教育・保育の無償化による定期的に利用したい教育・保育事業の変更意向について、「はい（変更する）」が9.6%、「いいえ」が70.7%、「わからない」が17.5%となっている。

図表 92 教育・保育の無償化による定期的に利用したい教育・保育事業の変更意向



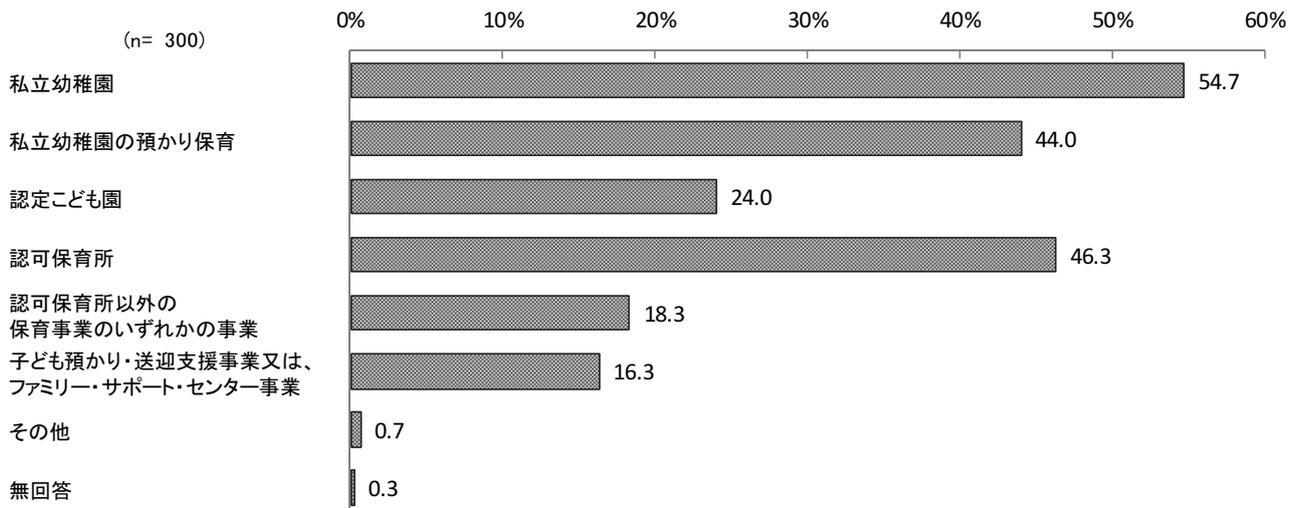
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

## 1-5-3-3 教育・保育の無償化による定期的に利用したい教育・保育事業の内容

問15-2. 「教育・保育の無償化」が実施された場合、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

教育・保育の無償化による定期的に利用したい教育・保育事業の内容について、「私立幼稚園」が54.7%と最も多く、次いで「認可保育所」が46.3%、「私立幼稚園の預かり保育」が44.0%と続いている。

図表 93 教育・保育の無償化による定期的に利用したい教育・保育事業の内容



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問15-1で「はい（変更する）」と回答した人

## 1-6 地域の子育て支援事業の利用状況について

### 1-6-1 子育てサロンについて

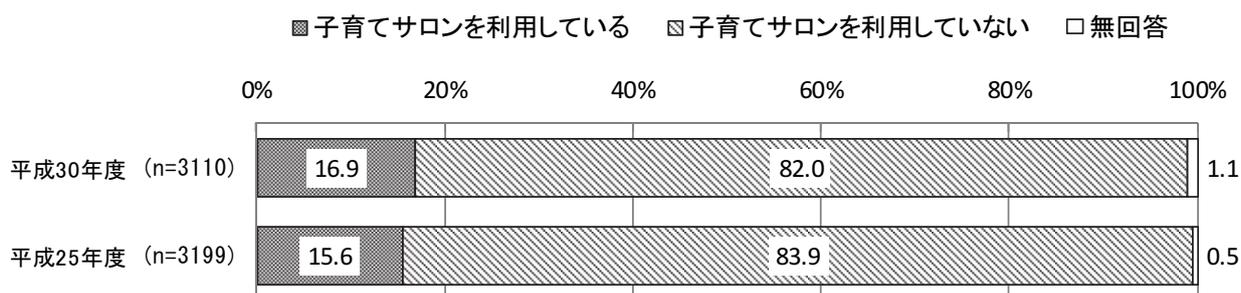
#### 1-6-1-1 子育てサロンの利用状況

問16. お子さんは、現在、上記の子育てサロンを利用していますか（○は1つだけ）。

子育てサロンの利用状況について、平成30年度では「子育てサロンを利用している」が16.9%、「子育てサロンを利用していない」が82.0%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

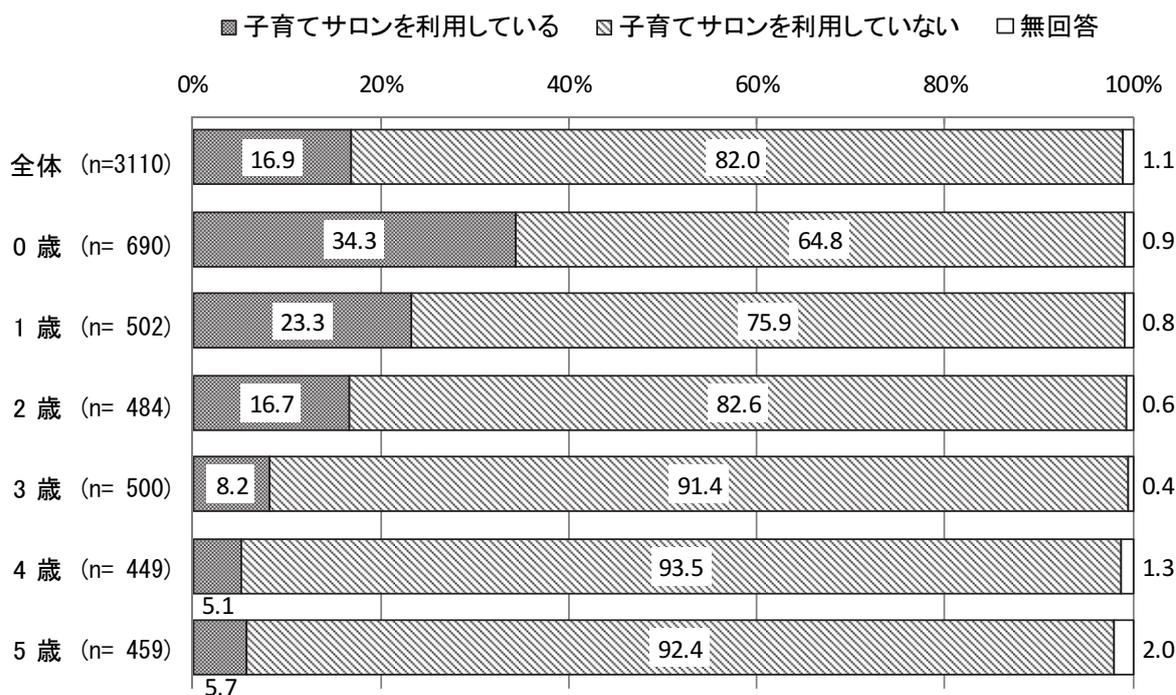
図表 94 子育てサロンの利用状況



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『子育てサロンを利用している』では「0歳」から「4歳」まで、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

図表 95 子育てサロンの利用状況—年齢別



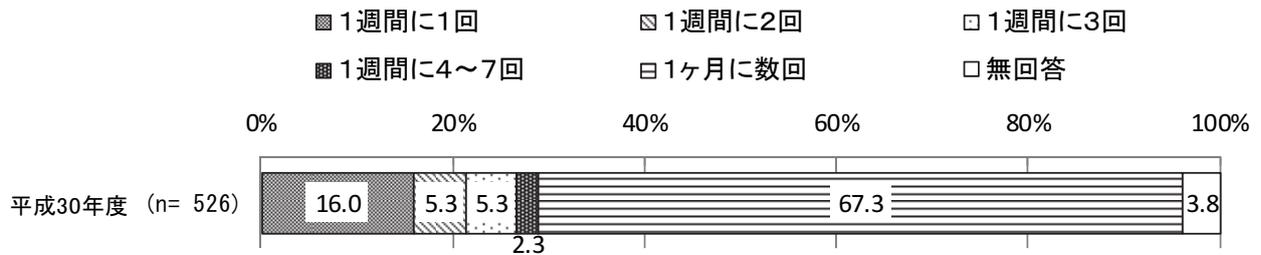
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

1-6-1-2 子育てサロンの利用頻度

問16-1. おおよその利用回数（利用頻度）をお答えください（どちらか一方のかっこ内に数字で）。

子育てサロンの利用頻度について、「1ヶ月に数回」の割合が67.3%と最も多く、次いで「1週間に1回」が16.0%、「1週間に2回」「1週間に3回」が同じく5.3%となっている。

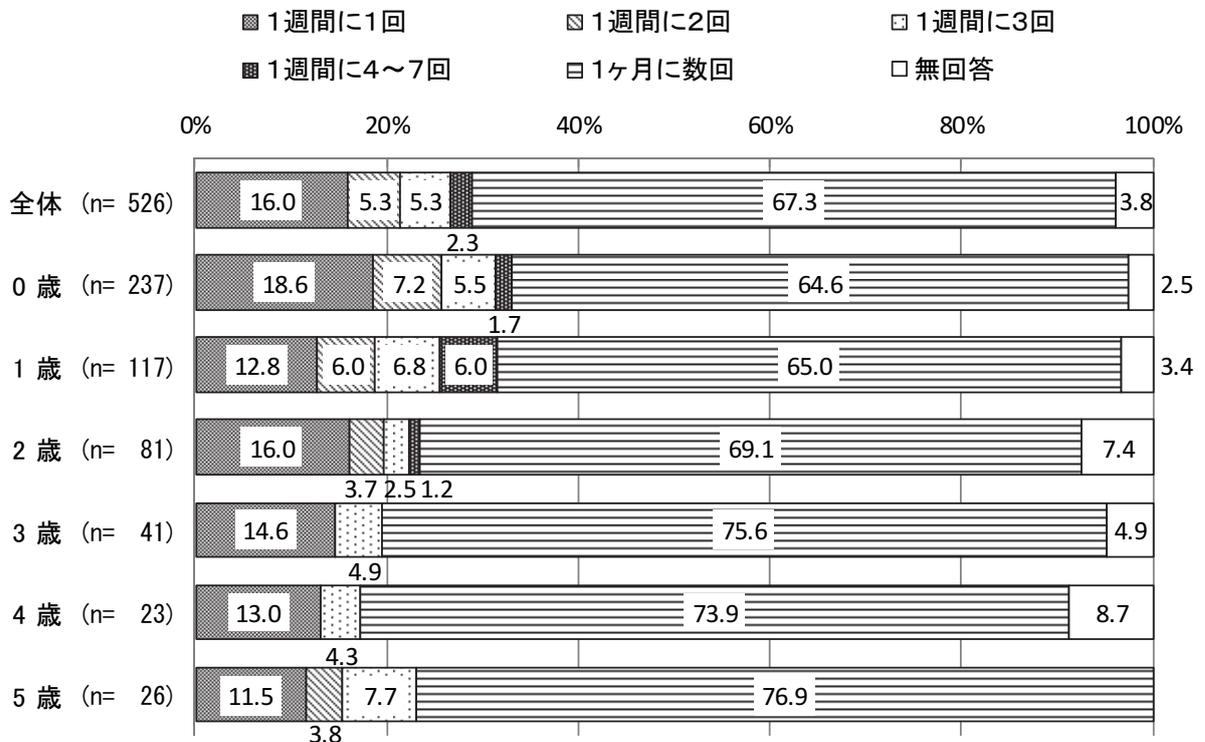
図表 96 子育てサロンの利用頻度



※回答対象は問16で「利用している」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『1ヶ月に数回』では「5歳」の割合が76.9%と最も高く、「0歳」が64.6%と最も低くなっている。

図表 97 子育てサロンの利用頻度—年齢別



※回答対象は問16で「利用している」と回答した人

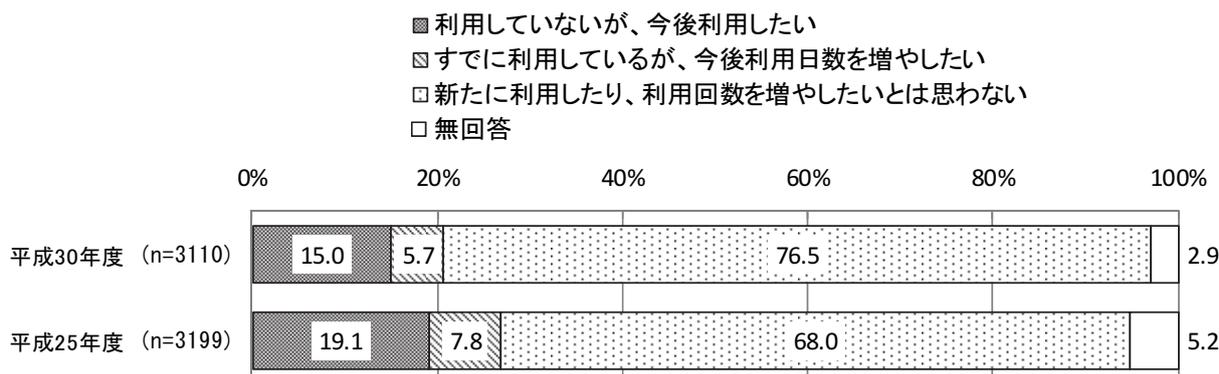
### 1-6-1-3 子育てサロンの今後の利用意向

問16-2. 子育てサロンの今後の利用意向は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

子育てサロンの今後の利用意向について、平成30年度では「利用していないが、今後利用したい」が15.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.7%、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が76.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が8.5ポイント増加し、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」がそれぞれ4.1ポイント、2.1ポイント減少している。

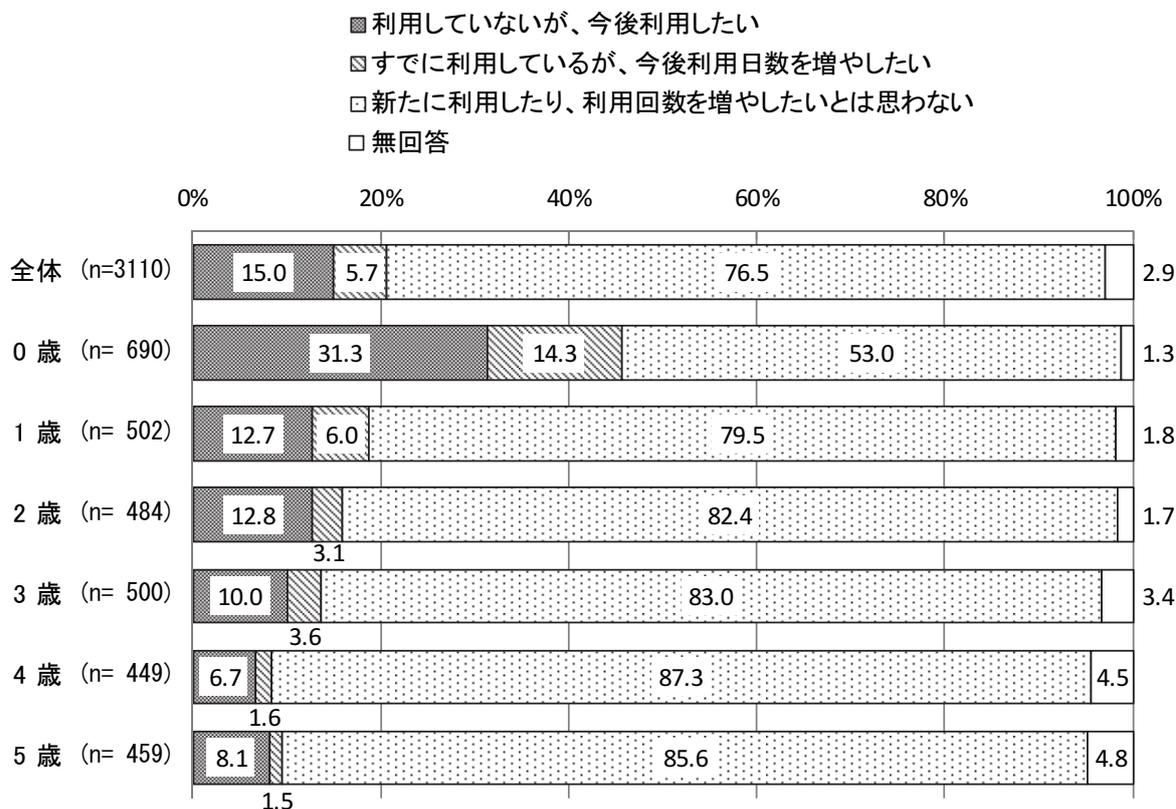
図表 98 子育てサロンの今後の利用意向



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『利用していないが、今後利用したい』では、「0歳」から「4歳」まで年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

図表 99 子育てサロンの今後の利用意向—年齢別



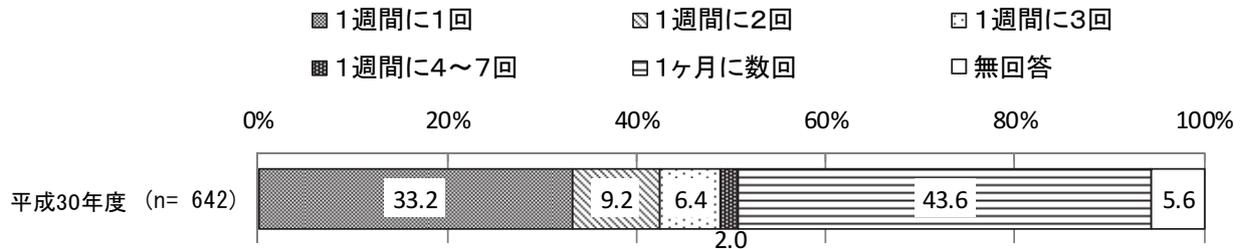
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

1-6-1-4 希望する利用頻度

問16-3. 希望するおおよその利用回数（利用頻度）をご記入ください（カッコ内に数字で）。

希望する利用頻度について、「1ヶ月に数回」が43.6%と最も多く、次いで「1週間に1回」が33.2%、「1週間に2回」が9.2%となっている。

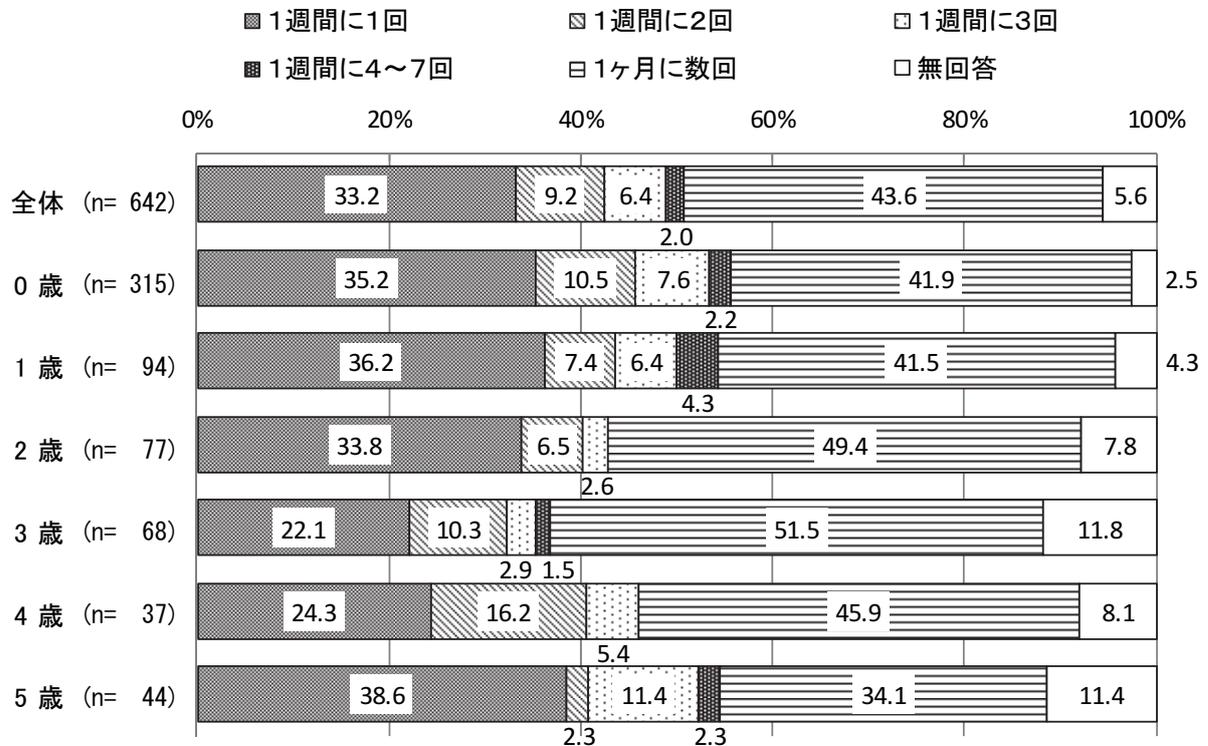
図表 100 希望する利用頻度



※回答対象は問16-2で「今後利用したい、利用日数を増やしたい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『1ヶ月に数回』では「3歳」の割合が51.5%と最も高く、「5歳」が34.1%と最も低くなっている。

図表 101 希望する利用頻度—年齢別



※回答対象は問16-2で「今後利用したい、利用日数を増やしたい」と回答した人

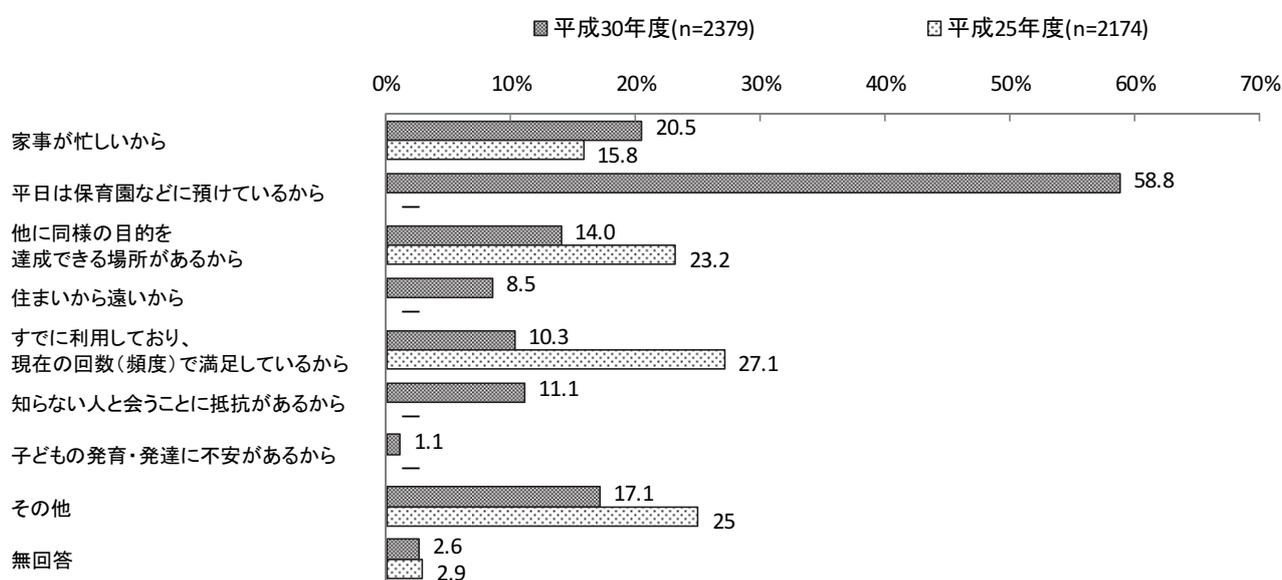
### 1-6-1-5 新たな利用・利用回数を増やしたいと思わない理由

問16-4. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいと思わない理由は次のどれにあたりますか  
(○はあてはまるものすべて)。

新たな利用・利用回数を増やしたいと思わない理由について、平成30年度では「平日は保育園などに預けているから」が58.8%と最も多く、次いで「家事が忙しいから」が20.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「家事が忙しいから」が4.7ポイント増加し、「他に同様の目的を達成できる場所があるから」「すでに利用しており、現在の回数(頻度)で満足しているから」がそれぞれ9.2ポイント、16.8ポイント減少している。

図表 102 新たな利用・利用回数を増やしたいと思わない理由

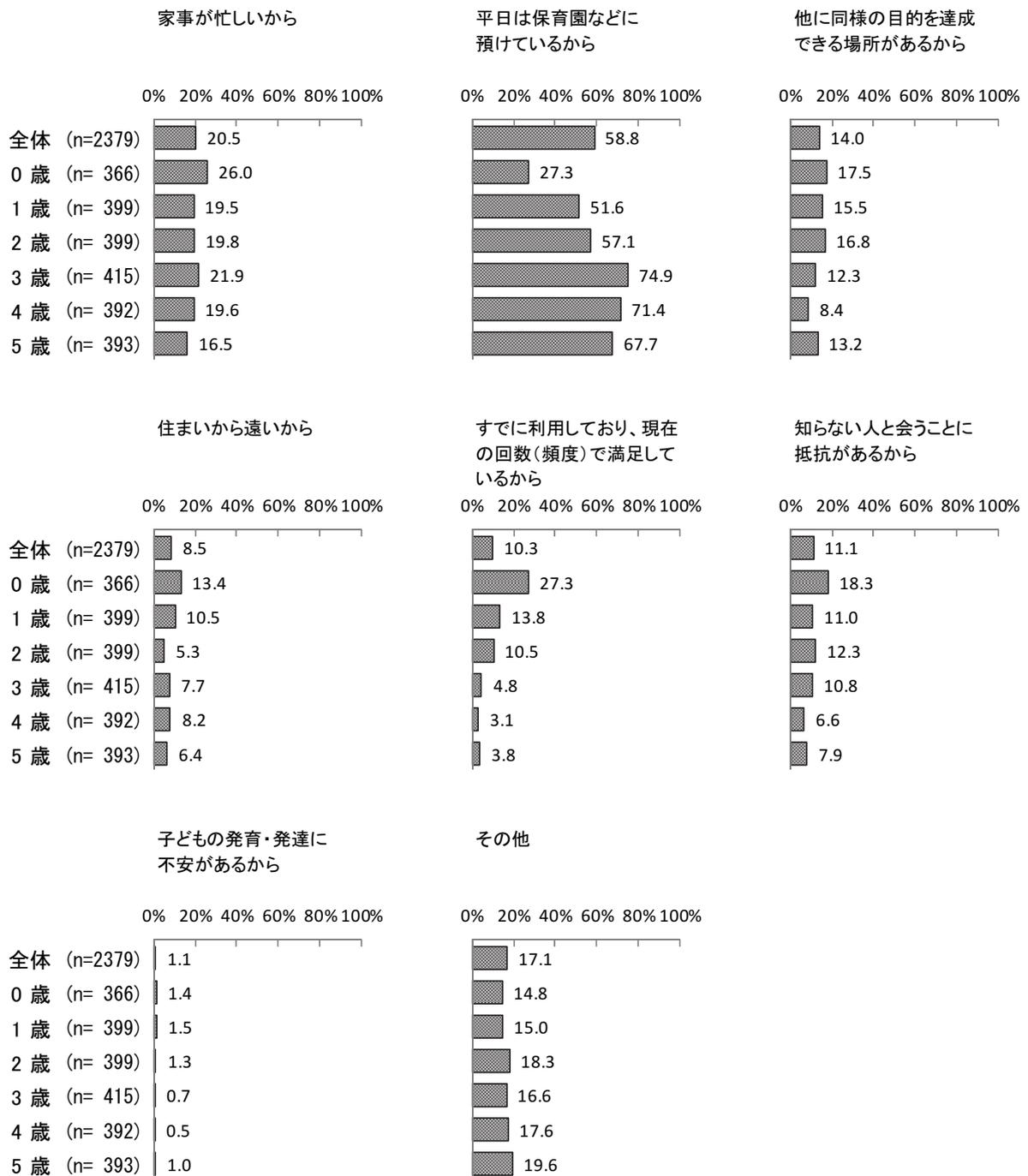


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問16-2で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『平日は保育園などに預けているから』では、「0歳」から「3歳」まで、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「3歳」から「5歳」まで、年齢が上がるにつれて割合は低くなる傾向にある。

図表 103 新たな利用・利用回数を増やしたいと思わない理由—年齢別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問16-2で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した人

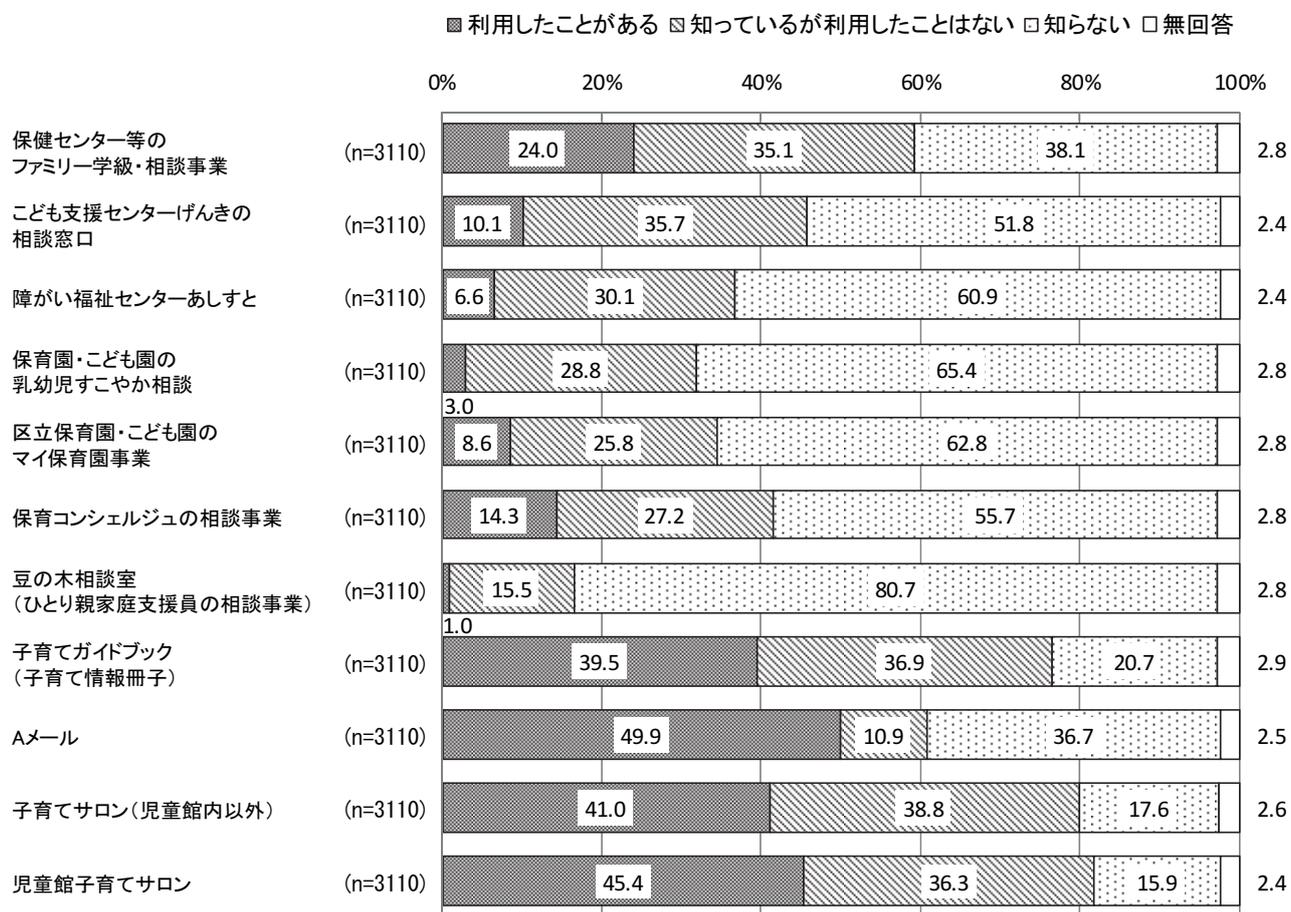
1-6-2 足立区で実施している相談・情報提供事業について

問17. 足立区で実施している下記の相談・情報提供事業について、(1) あなたの利用状況、(2) 今後の利用意向について、あてはまるものをお答えください(○はいずれも、それぞれ1つずつ)。

(1) 利用状況

相談・情報提供事業の利用状況について、事業別でみると、『利用したことがある』では「Aメール」が49.9%と最も多く、次いで「児童館子育てサロン」が45.4%、「子育てサロン(児童館内以外)」が41.0%となっている。『知っているが利用したことはない』では「子育てサロン(児童館内以外)」が38.8%と最も多く、次いで「子育てガイドブック(子育て情報冊子)」が36.9%、「児童館子育てサロン」が36.3%となっている。

図表 104 相談・情報提供事業の利用状況

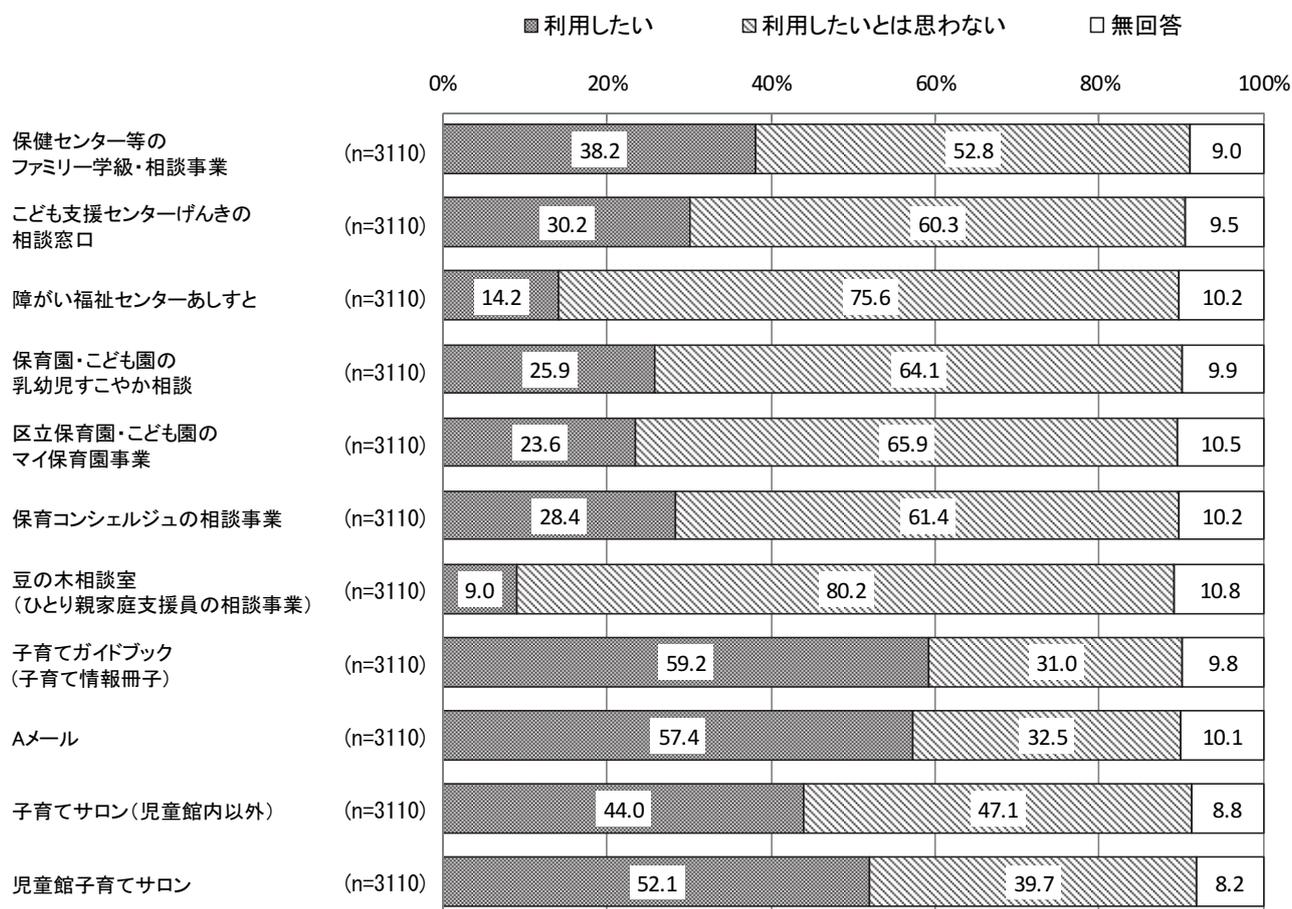


※回答対象は就学前児童対象調査の全員

## (2) 今後の利用意向

相談・情報提供事業の今後の利用意向について、事業別でみると、『利用したい』では「子育てガイドブック（子育て情報冊子）」が59.2%と最も多く、次いで、「Aメール」が57.4%、「児童館子育てサロン」が52.1%となっている。

図表 105 相談・情報提供事業の今後の利用意向



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

## 1-7 土曜日や休日の教育・保育事業の定期的な利用希望について

### 1-7-1 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

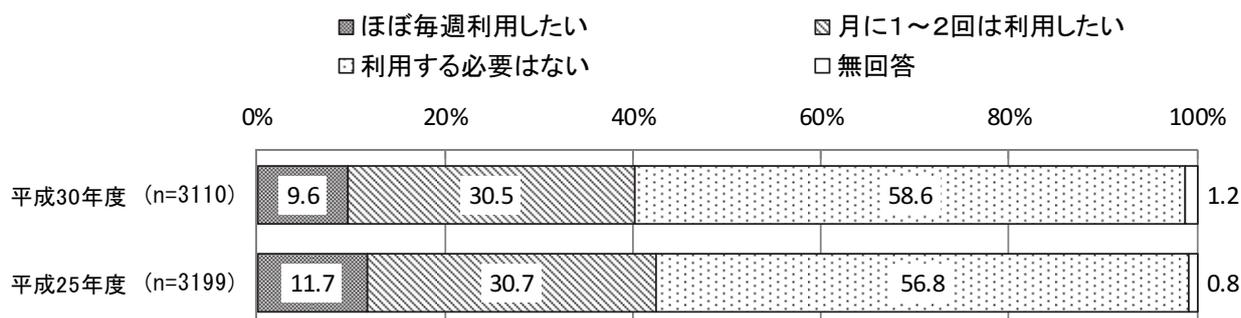
#### 1-7-1-1 土曜日の教育・保育事業の利用意向

問18. お子さんについて、土曜日に、定期的に教育・保育事業を利用したいと思いますか（一時的な利用は除きます）（○は1つだけ）。

土曜日の教育・保育事業の利用意向について、平成30年度では「ほぼ毎週利用したい」が9.6%、「月に1～2回は利用したい」が30.5%、「利用する必要はない」が58.6%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

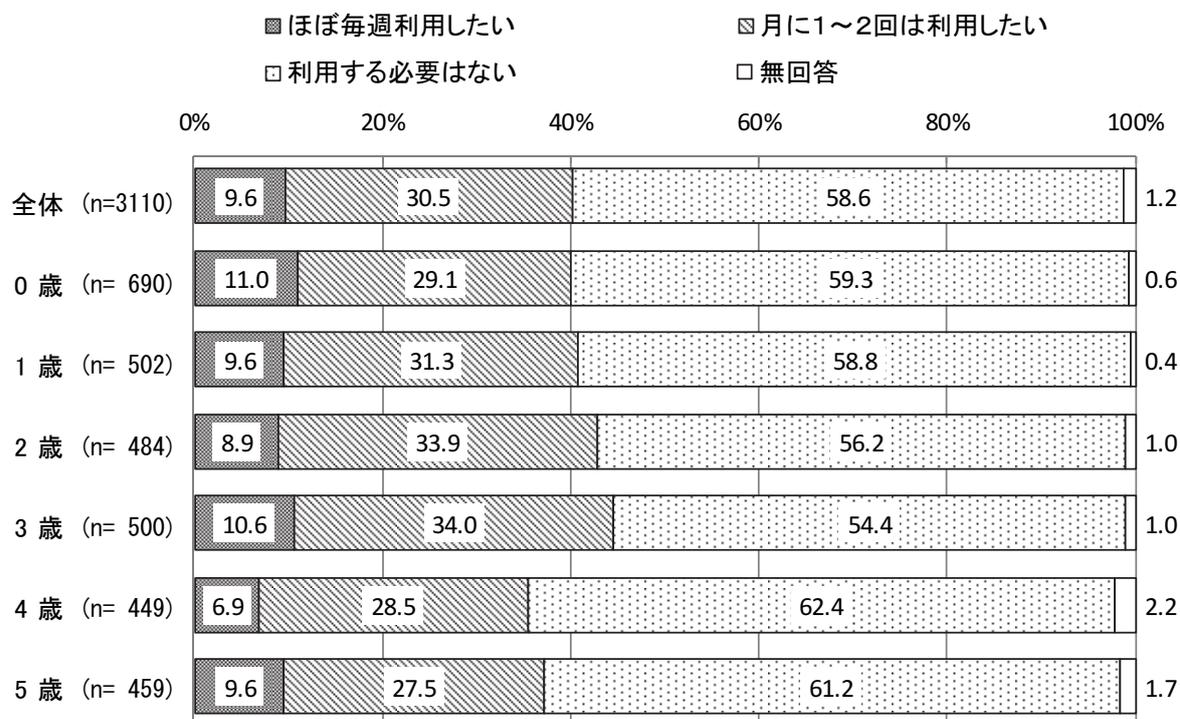
図表 106 土曜日の教育・保育事業の利用意向



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『利用する必要はない』では「4歳」の割合が62.4%と最も高く、「3歳」が54.4%と最も低くなっている。

図表 107 土曜日の教育・保育事業の利用意向—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

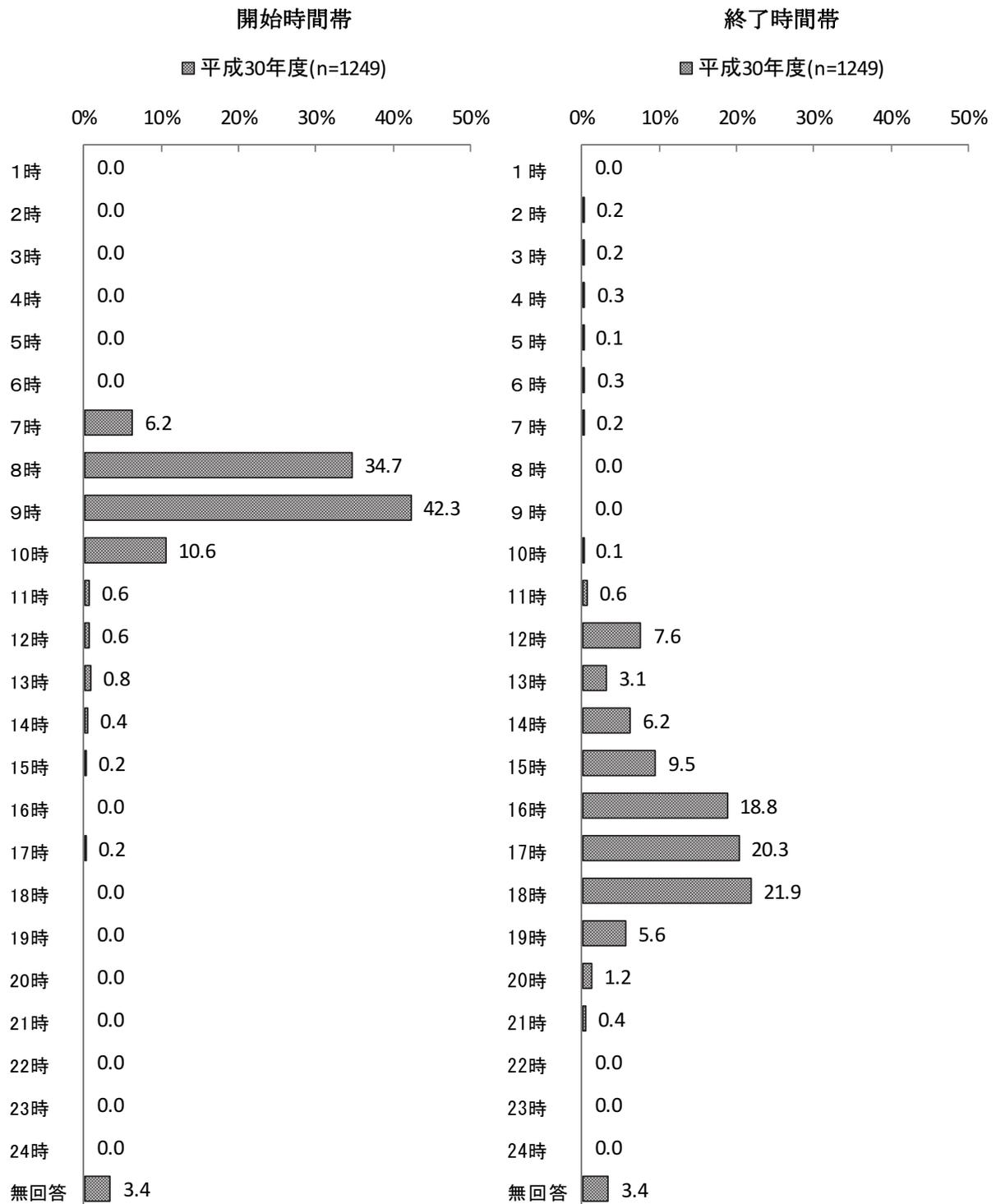
## 1-7-1-2 土曜日の教育・保育事業を希望する時間帯

問18-1. 利用したい時間帯をお答えください（カッコ内に数字で）。

開始時間帯別で見ると、「9時」が42.3%と最も多く、次いで「8時」が34.7%、「10時」が10.6%となっている。

終了時間帯別で見ると、「18時」が21.9%と最も多く、次いで「17時」が20.3%、「16時」が18.8%となっている。

図表 108 土曜日の教育・保育事業を希望する時間帯



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

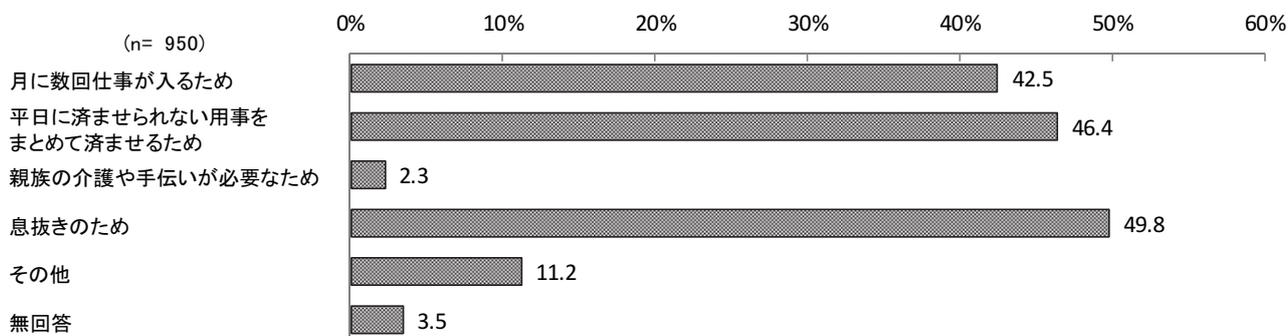
※回答対象は問18で「利用したい」と回答した人

### 1-7-1-3 土曜日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由

問18-2. 毎週ではなく、「月に1～2日」利用したい理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

土曜日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由について、「息抜きのため」が49.8%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が46.4%、「月に数回仕事が入るため」が42.5%と続いている。

図表 109 土曜日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由

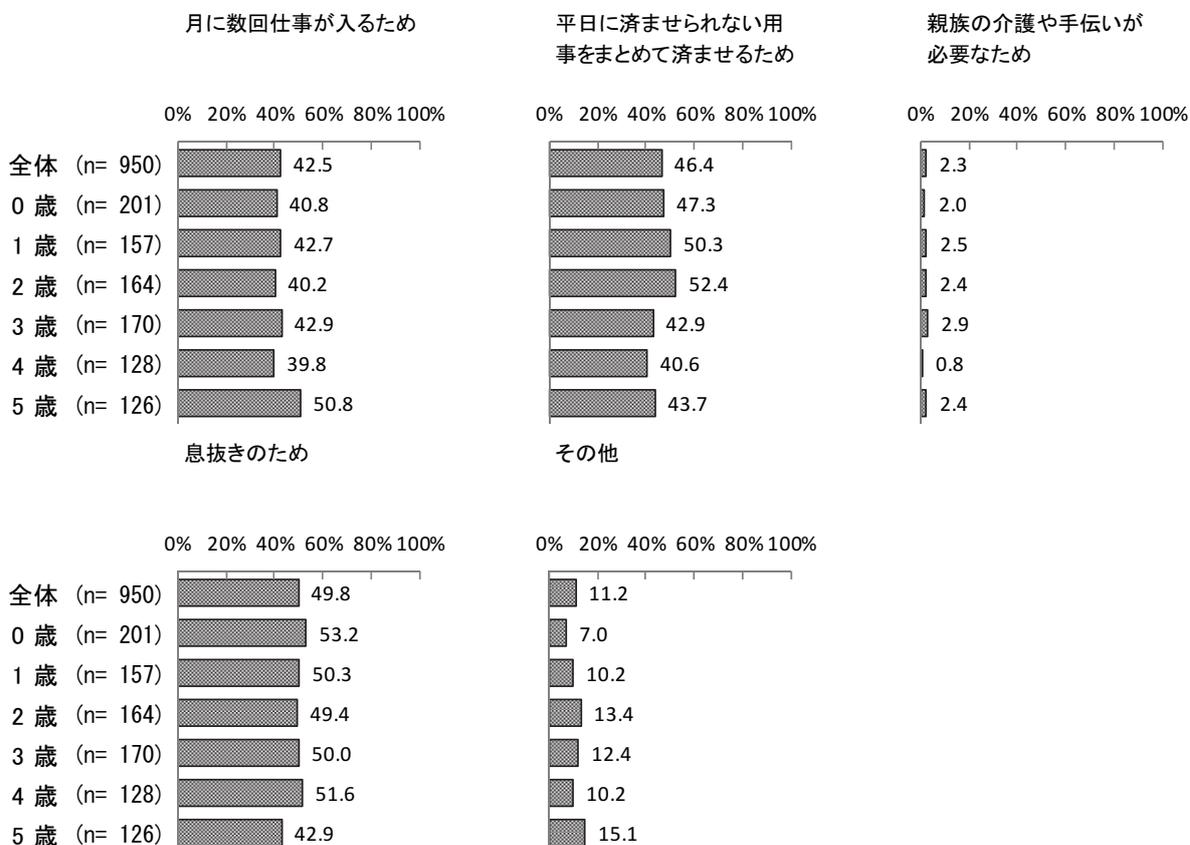


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問18で「月に1～2回は利用したい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『息抜きのため』では、「0歳」の割合が53.2%と最も高く、「5歳」が42.9%と最も低くなっている。

図表 110 土曜日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由—年齢別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問18で「月に1～2回は利用したい」と回答した人

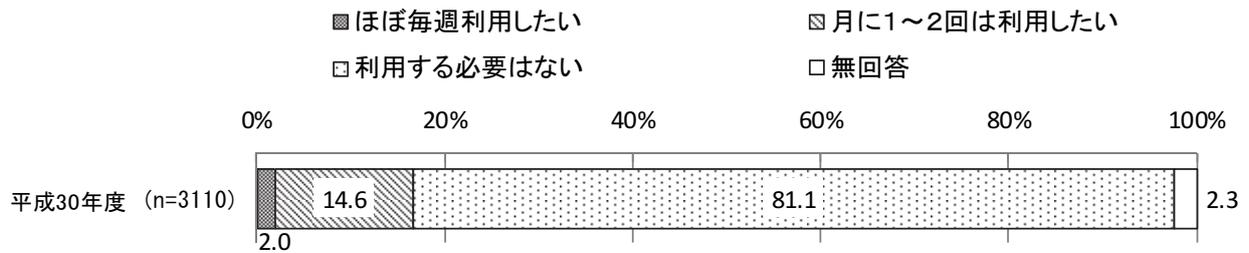
## 1-7-2 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

### 1-7-2-1 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用意向

問19. お子さんについて、日曜日・祝日に、定期的に教育・保育事業を利用したいと思いますか（一時的な利用は除きます）（○は1つだけ）。

日曜日・祝日の教育・保育事業の利用意向について、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%、「月に1～2回は利用したい」が14.6%、「利用する必要はない」が81.1%となっている。

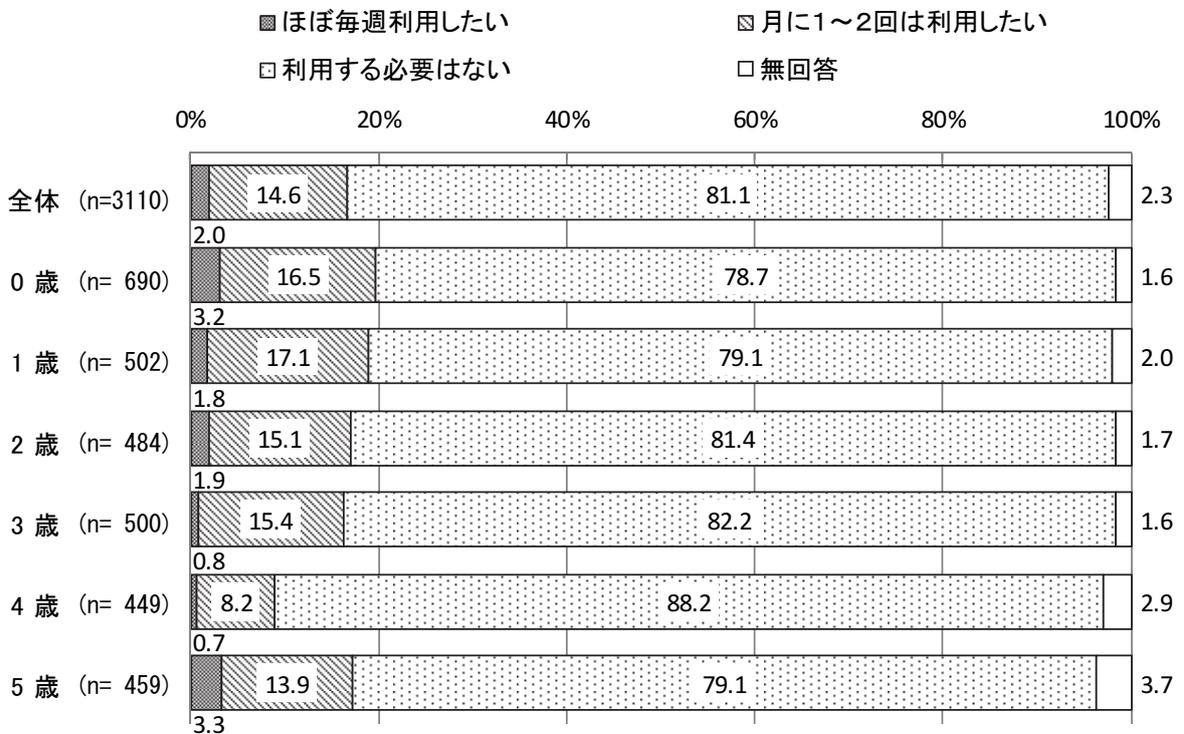
図表 111 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用意向



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『利用する必要はない』では、「4歳」の割合が88.2%と最も高く、「0歳」が78.7%と最も低くなっている。

図表 112 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用意向—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

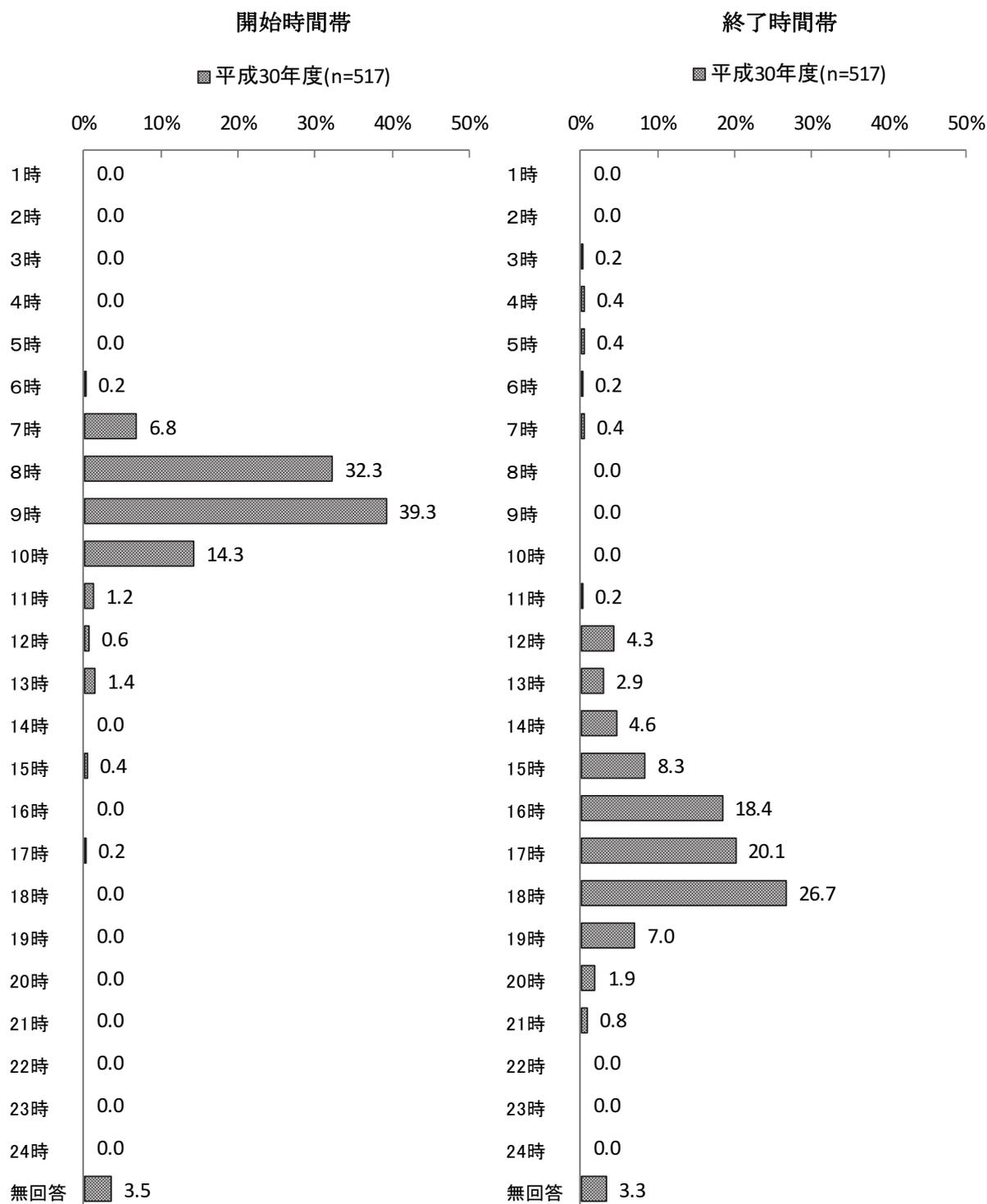
1-7-2-2 日曜日・祝日の教育・保育事業を希望する時間帯

問19-1. 利用したい時間帯をお答えください（カッコ内に数字で）。

開始時間帯別で見ると、「9時」が39.3%と最も多く、次いで「8時」が32.3%、「10時」が14.3%となっている。

終了時間帯別で見ると、「18時」が26.7%と最も多く、次いで「17時」が20.1%、「16時」が18.4%となっている。

図表 113 日曜日・祝日の教育・保育事業を希望する時間帯



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

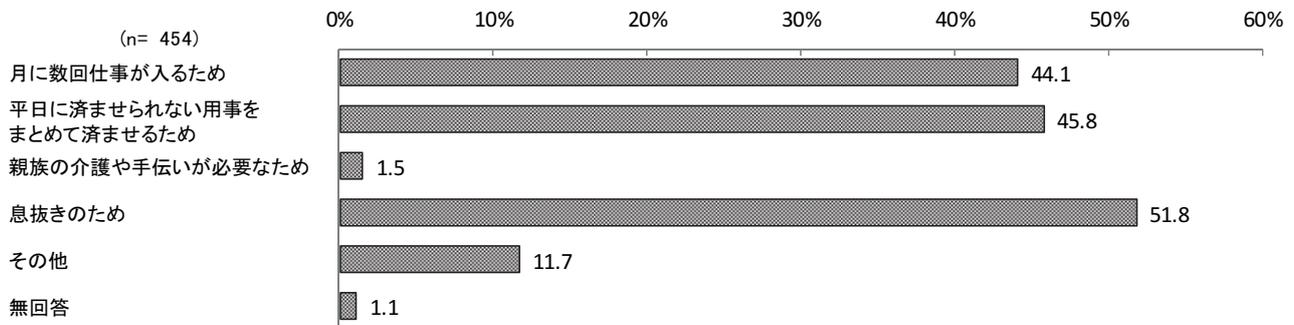
※回答対象は問19で「利用したい」と回答した人

1-7-2-3 日曜日・祝日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由

問19-2. 毎週ではなく、「月に1～2日」利用したい理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

日曜日・祝日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由について、「息抜きのため」が51.8%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が45.8%、「月に数回仕事が入るため」が44.1%と続いている。

図表 114 日曜日・祝日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由

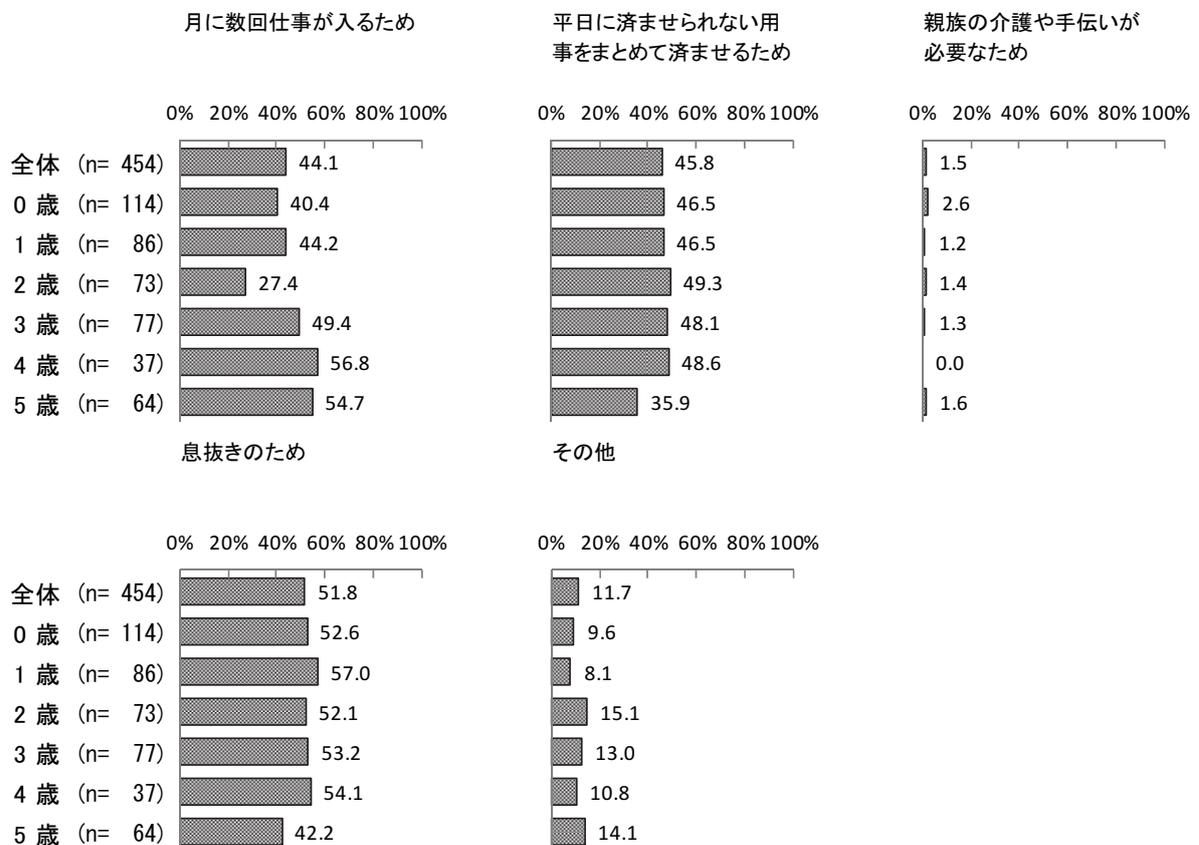


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問19で「月に1～2回は利用したい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、他の年齢と比べて『5歳』では、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」の割合がそれぞれ35.9%、42.2%と低くなっている。

図表 115 日曜日・祝日の教育・保育事業を「月に1～2日」利用したい理由—年齢別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問19で「月に1～2回は利用したい」と回答した人

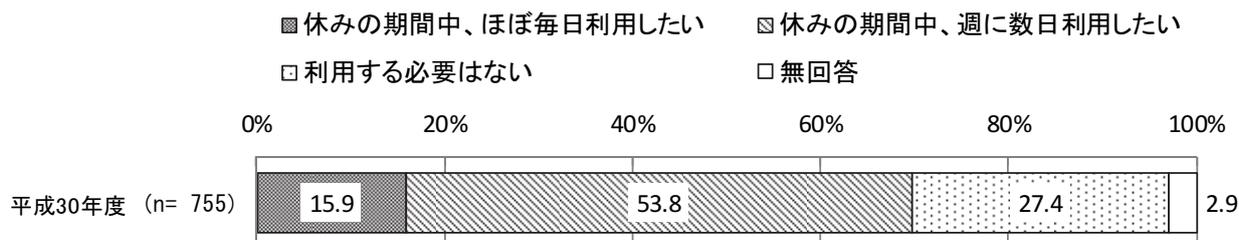
### 1-7-3 夏休み・冬休みなど長期休業中の定期的な教育・保育事業の利用希望

#### 1-7-3-1 長期休業中の教育・保育事業の利用意向

問20. お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業中に、定期的に教育・保育事業を利用したいと思いますか（○は1つだけ）。

長期休業中の教育・保育事業の利用意向について、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が15.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が53.8%、「利用する必要はない」が27.4%となっている。

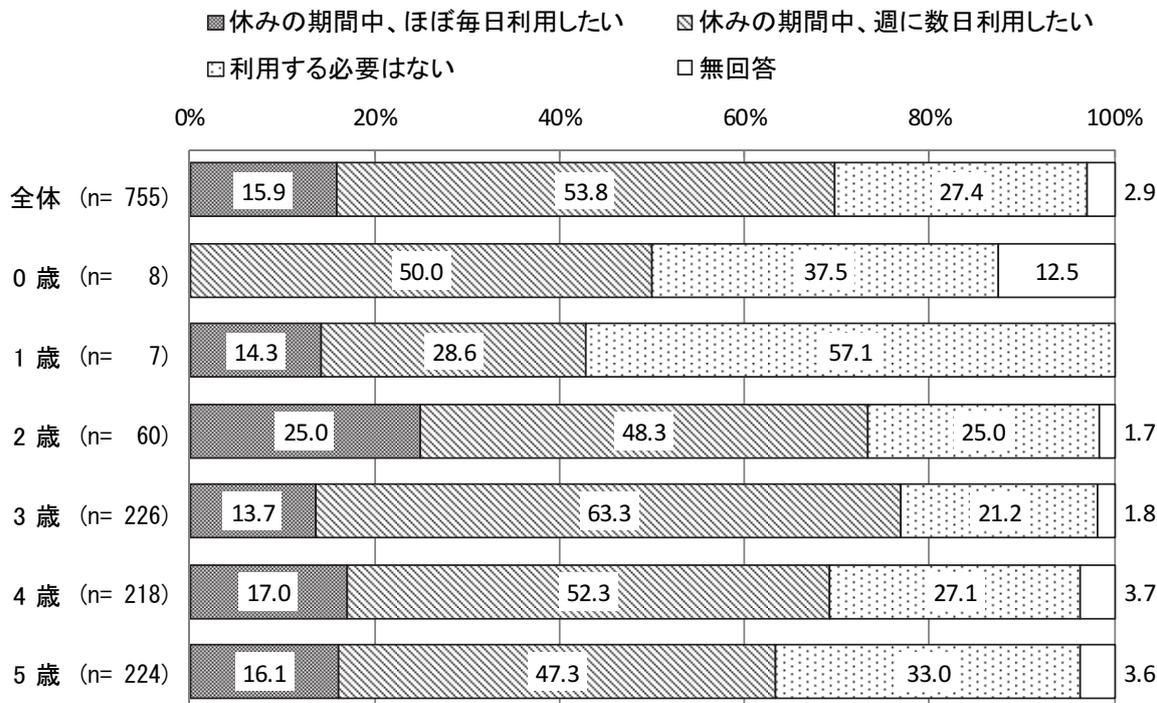
図表 116 長期休業中の教育・保育事業の利用意向



※回答対象は問13-1で「私立幼稚園を利用している」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『休みの期間中、週に数日利用したい』では、「3歳」の割合が63.3%と最も高く、「1歳」は28.6%と最も低くなっている。

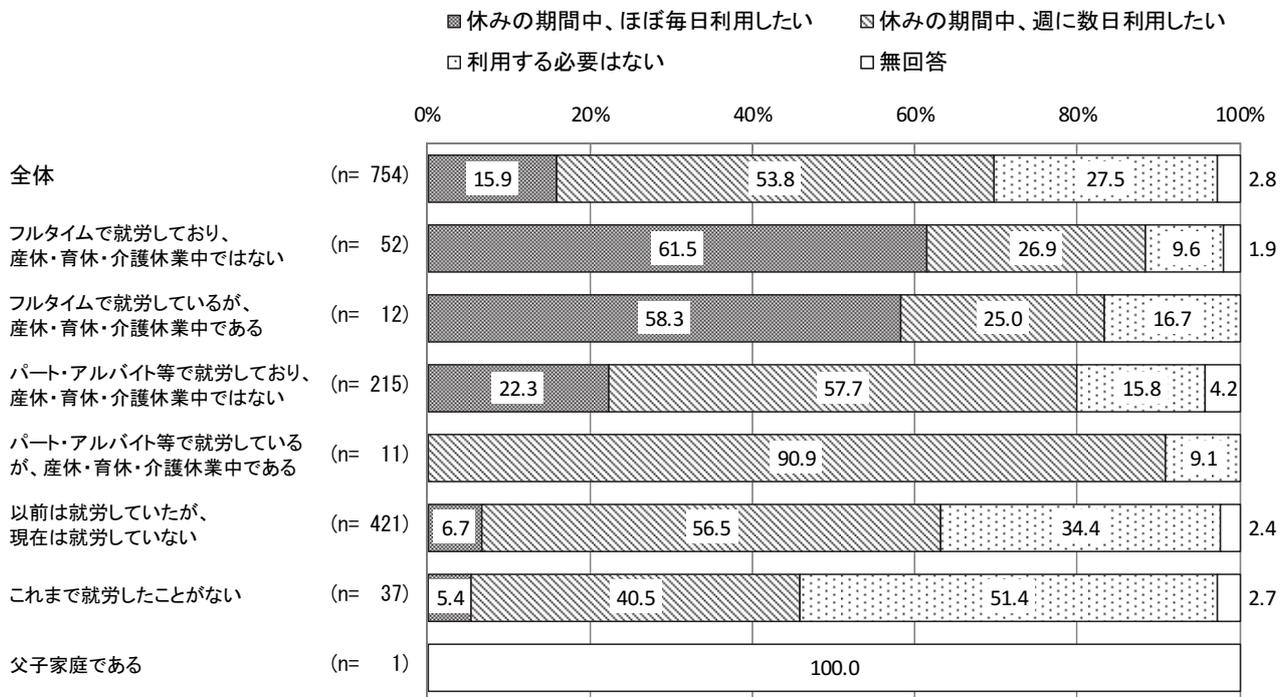
図表 117 長期休業中の教育・保育事業の利用意向—年齢別



※回答対象は問13-1で「私立幼稚園を利用している」と回答した人

母親の就労状況別で見ると、母親がフルタイムで就労している世帯では「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が高く、パート・アルバイト等で就労している世帯では「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が高く、現在就労していない世帯では「休みの期間中、週に数日利用したい」「利用する必要はない」の割合が高い傾向にある。

図表 118 長期休業中の教育・保育事業の利用意向—母親就労状況別



※回答対象は問13-1で「私立幼稚園を利用している」と回答した人

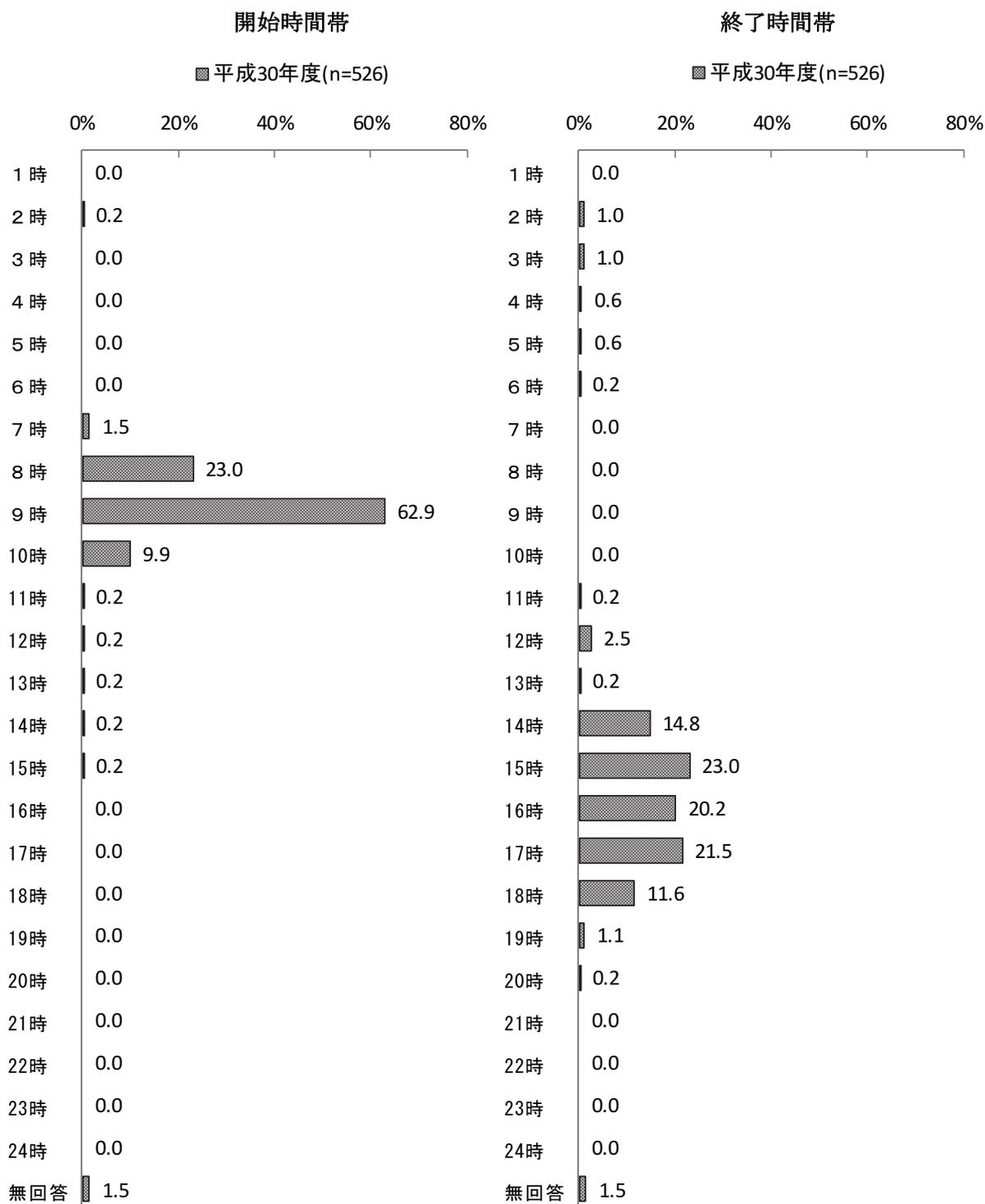
1-7-3-2 長期休業中の教育・保育事業を希望する時間帯

問20-1. 利用したい時間帯をお答えください（カッコ内に数字で）。

開始時間帯別で見ると、「9時」が62.9%と最も多く、次いで「8時」が23.0%、「10時」が9.9%となっている。

終了時間帯別で見ると、「15時」が23.0%と最も多く、次いで「17時」が21.5%、「16時」が20.2%となっている。

図表 119 長期休業中の教育・保育事業を希望する時間帯



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

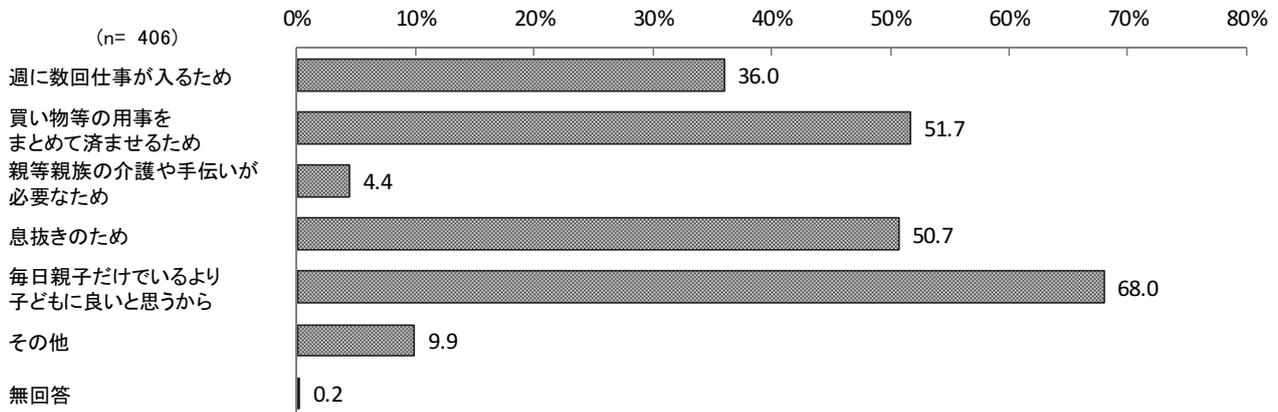
※回答対象は問20で「利用したい」と回答した人

### 1-7-3-3 長期休業中の教育・保育事業を「週に数回」利用したい理由

問20-2. 毎日ではなく、「週に数日」利用したい理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

長期休業中の教育・保育事業を「週に数回」利用したい理由について、「毎日親子だけでいるより子どもに良いと思うから」が68.0%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が51.7%、「息抜きのため」が50.7%となっている。

図表 120 長期休業中の教育・保育事業を「週に数回」利用したい理由

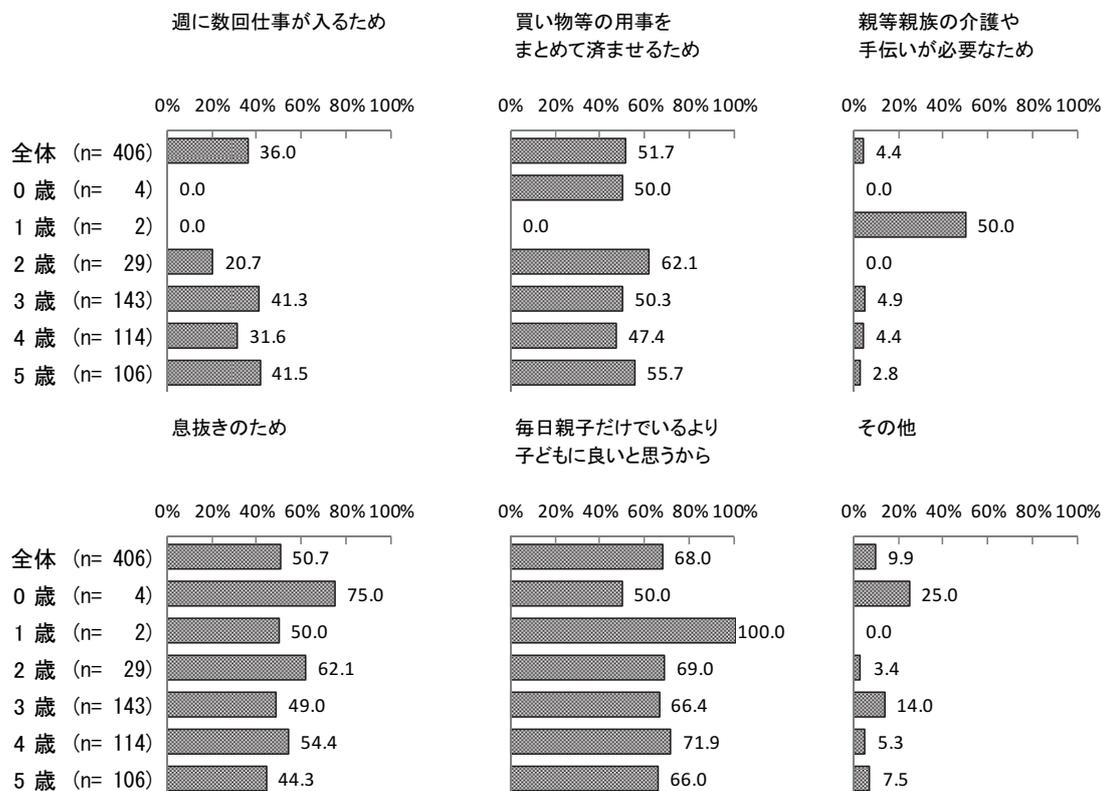


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問20で「週に数日利用したい」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『買い物等の用事をまとめて済ませるため』では、「2歳」の割合が62.1%と最も高く、「4歳」は47.4%と最も低くなっている。

図表 121 長期休業中の教育・保育事業を「週に数回」利用したい理由—年齢別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問20で「週に数日利用したい」と回答した人

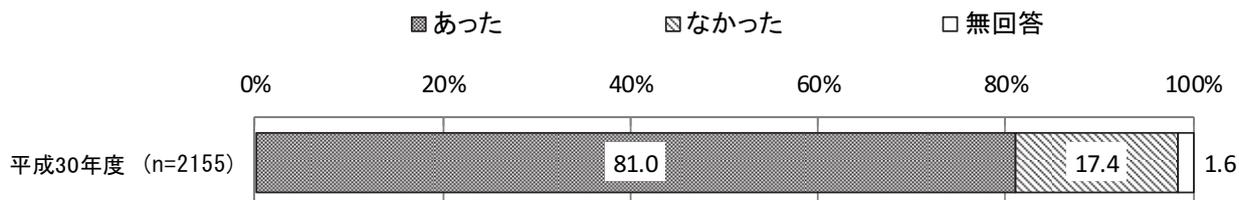
## 1-8 病気の際の対応について

### 1-8-1 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験の有無

問 2 1. この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか（○は1つだけ）。

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験の有無について、「あった」が81.0%、「なかった」が17.4%となっている。

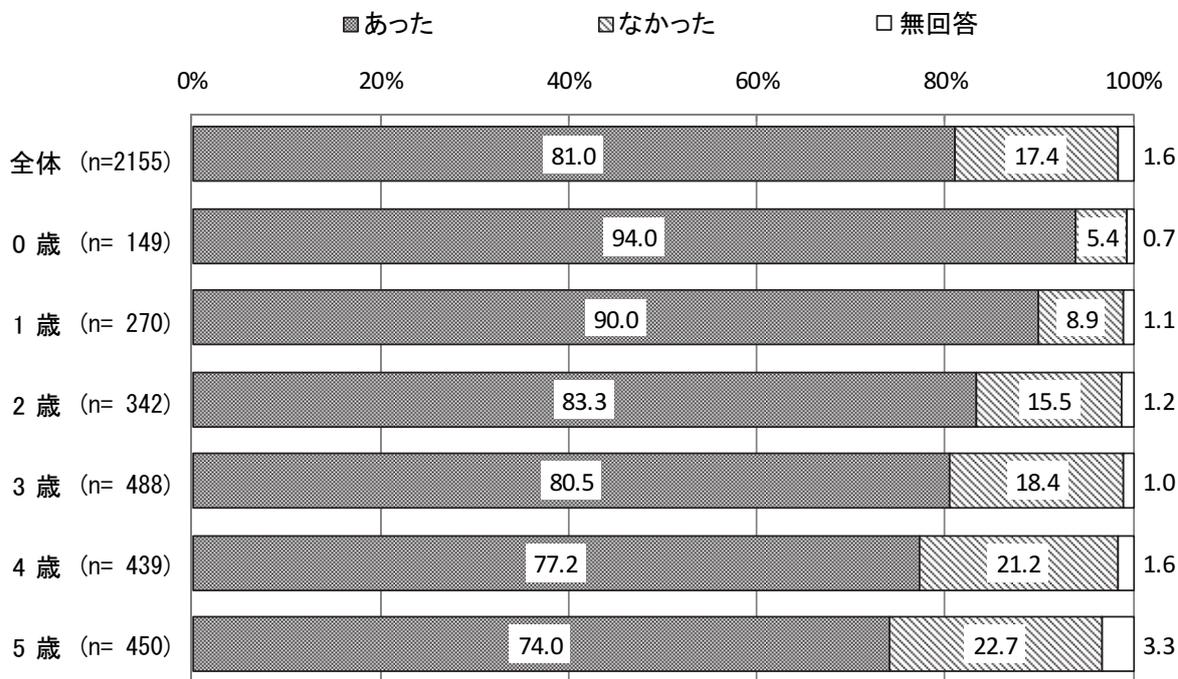
図表 122 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験の有無



※回答対象は問 1 3 で「利用している」と回答した人

子どもの年齢別でみると、「あった」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

図表 123 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験の有無—年齢別



※回答対象は問 1 3 で「利用している」と回答した人

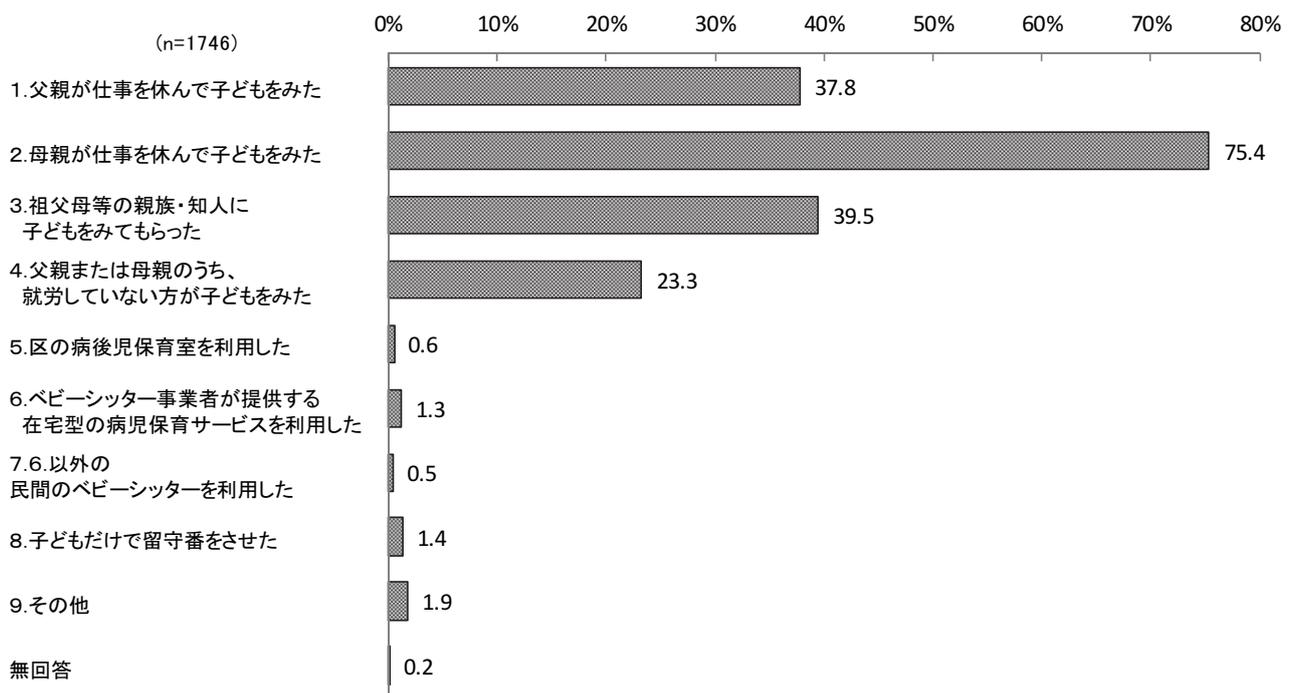
## 1-8-2 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法・日数

問2 1-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（あてはまる番号すべてに○）。  
また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

## (1) 対処方法

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法について、「2. 母親が仕事を休んで子どもをみた」が75.4%と最も多く、次いで「3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」が39.5%、「1. 父親が仕事を休んで子どもをみた」が37.8%となっている。

図表 124 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法



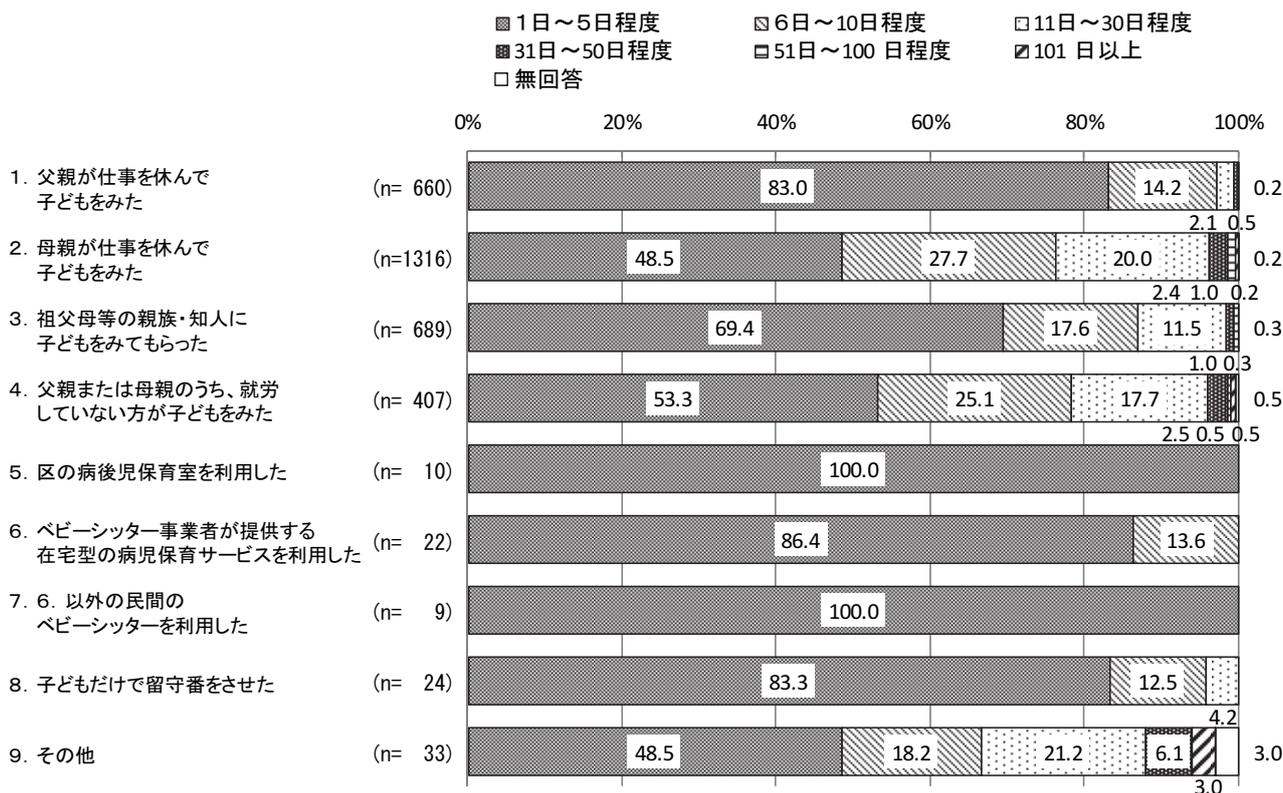
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問2 1で「あった」と回答した人

(2) 対処日数

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処日数について、対処方法別でみると、『1. 父親が仕事を休んで子どもをみた』では「1日～5日程度」が83.0%と高くなっている。一方で、『2. 母親が仕事を休んで子どもをみた』『4. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた』では、他の対処方法と比較すると、「6～10日程度」「11日～30日程度」の割合が高くなっている。

図表 125 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処日数



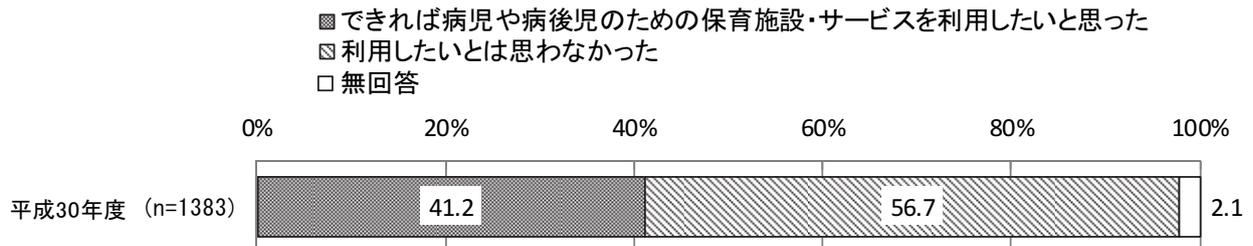
※回答対象は問21で「あった」と回答した人

## 1-8-3 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向

問2 1-2. 父親または母親が休んだ際、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したい」と思われましたか（○は1つだけ）。

病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向について、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」が41.2%、「利用したいとは思わなかった」が56.7%となっている。

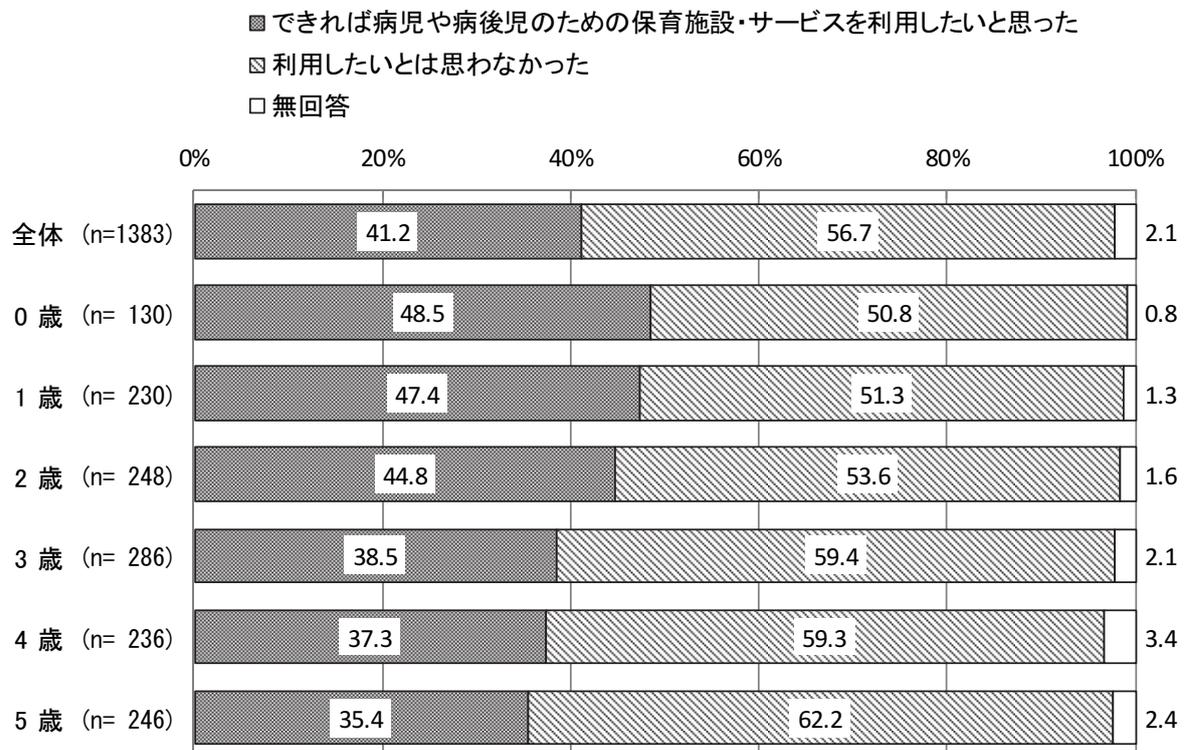
図表 126 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向



※回答対象は問2 1-1で「父親または母親が休んで子どもをみた」と回答した人

子どもの年齢別でみると、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」は、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

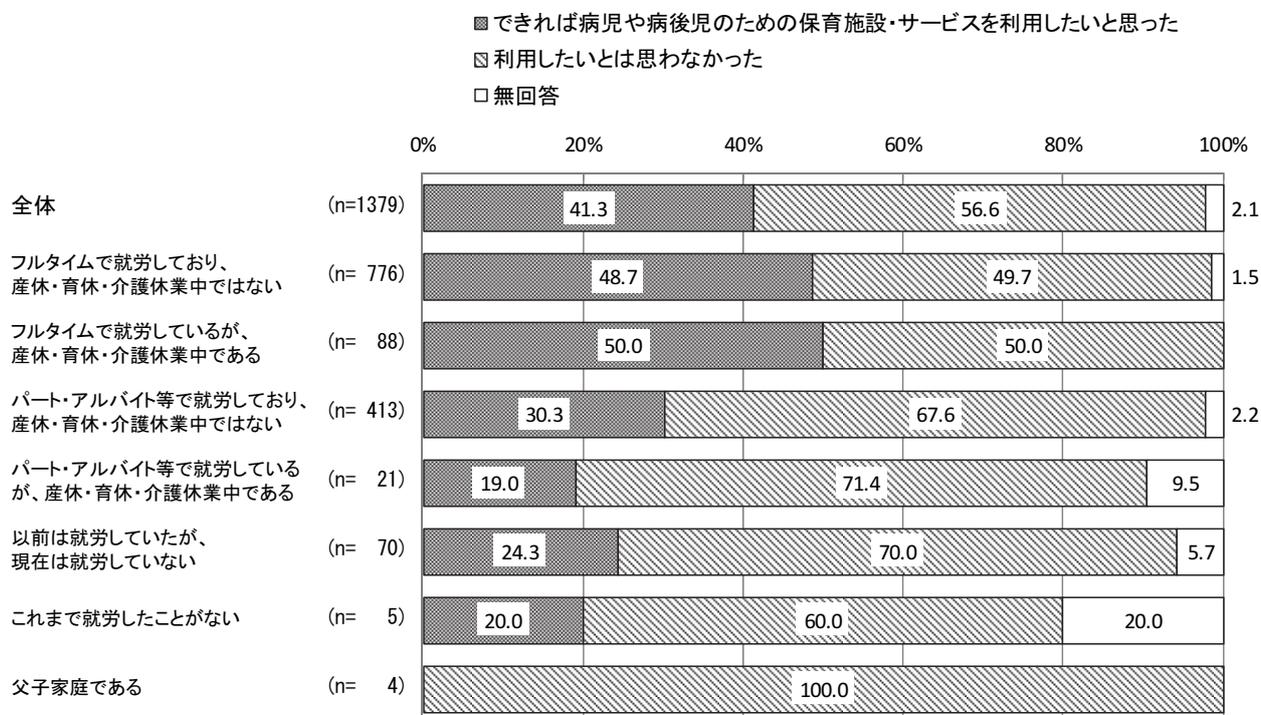
図表 127 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向—年齢別



※回答対象は問2 1-1で「父親または母親が休んで子どもをみた」と回答した人

母親の就労状況別でみると、母親がフルタイムで就労している世帯では「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」の割合が高くなっている。一方で、母親がパート・アルバイト等で就労している世帯、現在就労していない世帯では、「利用したいとは思わなかった」の割合が高くなっている。

図表 128 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向—母親就労状況別



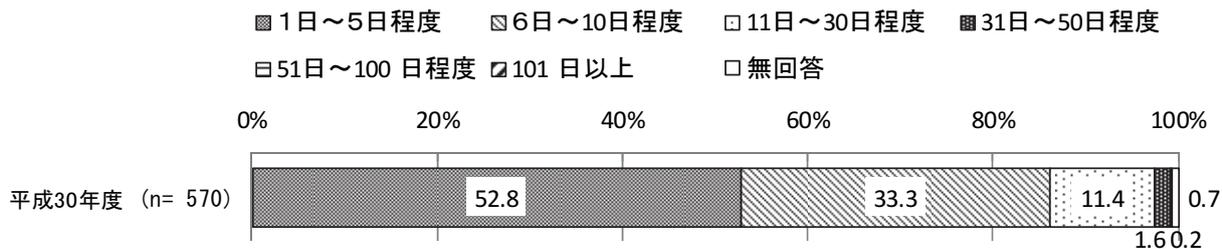
※回答対象は問 2 1 - 1 で「父親または母親が休んで子どもをみた」と回答した人

### 1-8-4 病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数

問2 1-3. 病児・病後児のための保育施設やサービスを利用したいと思った日は何日くらいありましたか。おおよその日数（年間）をお答えください（カッコ内に数字で）。

病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数について、「1日～5日程度」が52.8%で最も多く、次いで「6日～10日程度」が33.3%、「11日～30日程度」が11.4%となっている。

図表 129 病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数



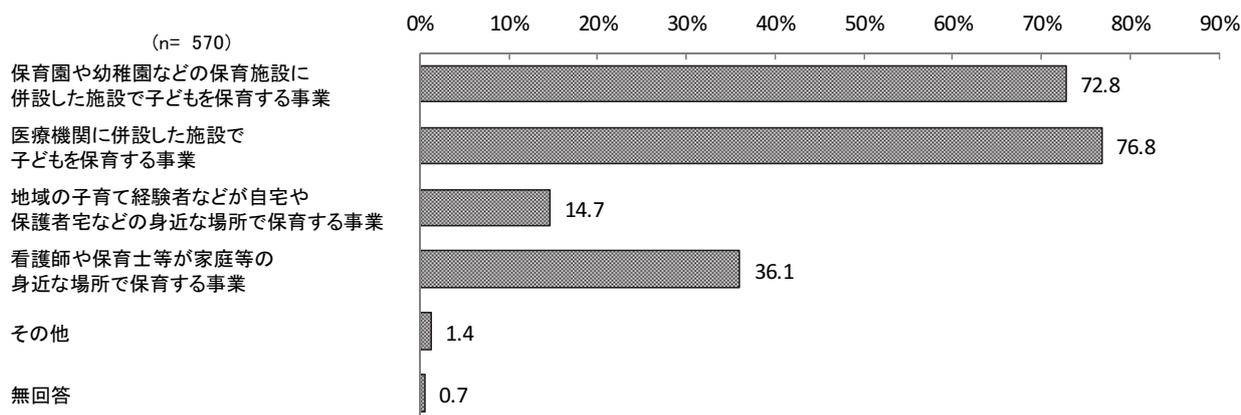
※回答対象は問2 1-2で「利用したいと思った」と回答した人

### 1-8-5 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態

問 2 1 - 4. 病児・病後児のための保育施設やサービスにお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか（○はあてはまるものすべて）。

病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態について、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が 76.8%で最も多く、次いで「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 72.8%、「看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業」が 36.1%となっている。

図表 130 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態

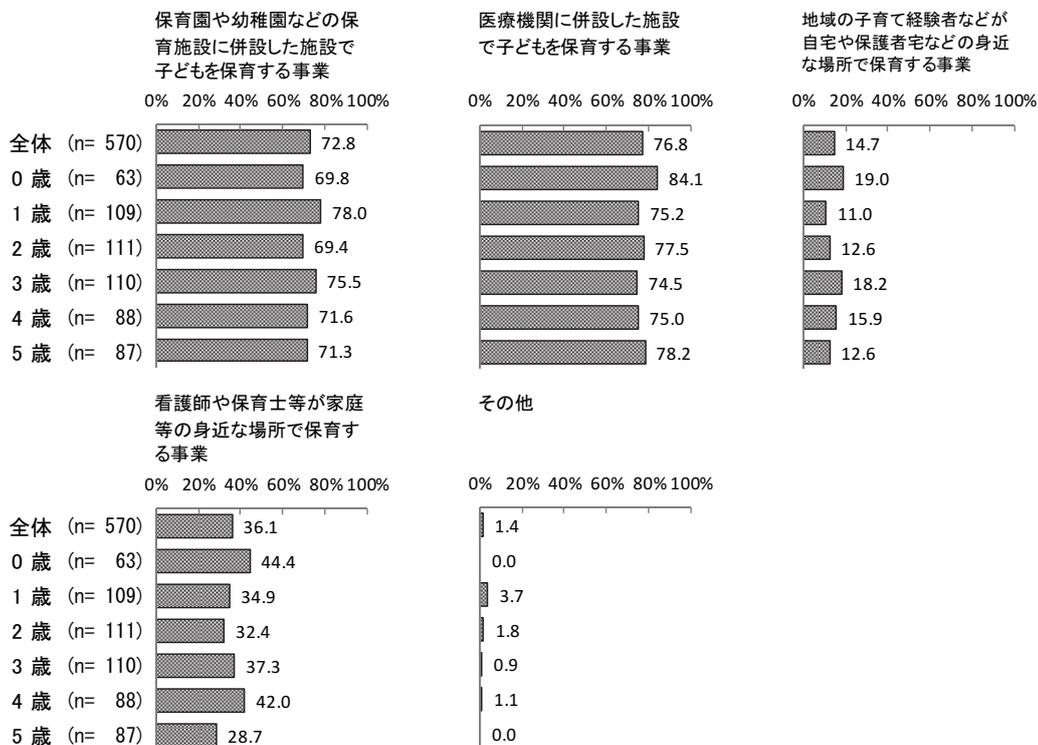


※複数回答のため、合計は 100%に一致しない

※回答対象は問 2 1 - 2 で「利用したいと思った」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業』では、「0歳」の割合が 84.1%と最も高く、「3歳」は 74.5%と最も低くなっている。

図表 131 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態—年齢別



※複数回答のため、合計は 100%に一致しない

※回答対象は問 2 1 - 2 で「利用したいと思った」と回答した人

## 1-9 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### 1-9-1 不特定の教育・保育事業の利用状況

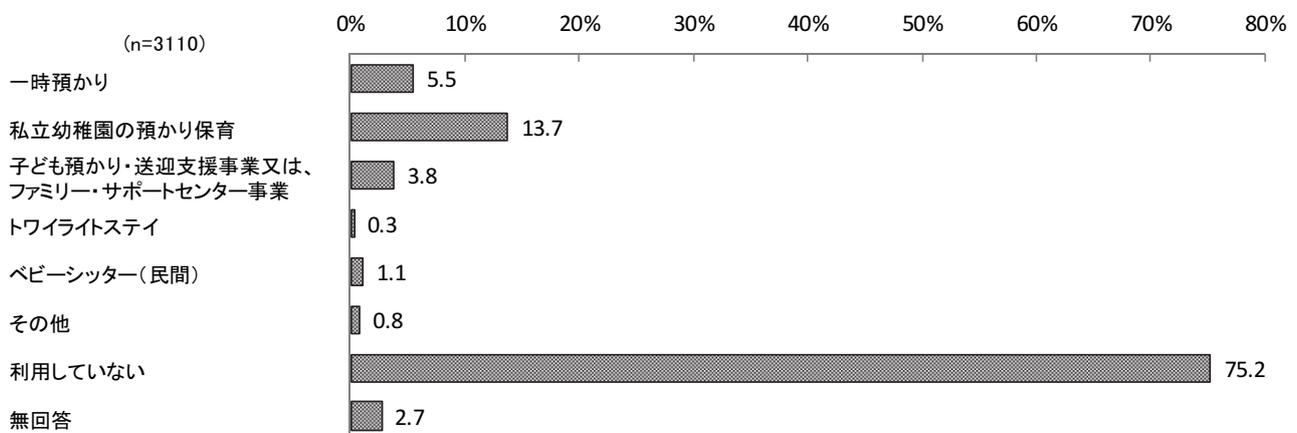
#### 1-9-1-1 現在不定期的に利用している事業の内容・年間利用日数

問22. お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で現在、不定期的に利用している事業は次のうちのどれですか（あてはまる番号すべてに○）。また、それぞれのおおよその年間利用日数をお答えください（○はそれぞれ1つだけ）。

#### (1) 現在、不定期的に利用している事業

現在不定期的に利用している事業の内容について、「利用していない」が75.2%と最も多く、次いで「私立幼稚園の預かり保育」が13.7%、「一時預かり」が5.5%となっている。

図表 132 現在不定期的に利用している事業の内容



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学前児童対象調査の全員

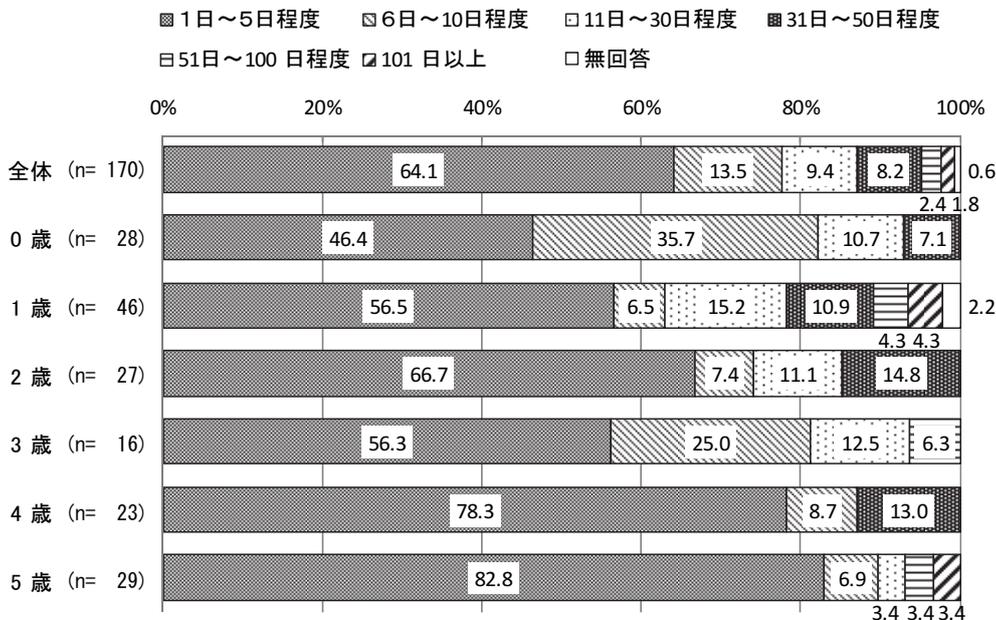
(2) 年間利用日数

1. 一時預かり

一時預かりの年間利用日数について、全体では年間「1日～5日程度」が64.1%で最も多く、次いで「6日～10日程度」が13.5%、「11日～30日程度」が9.4%となっている。

子どもの年齢別でみると、全年齢で『1日～5日程度』が最も多く、各年齢それぞれ46.4%、56.5%、66.7%、56.3%、78.3%、82.8%となっている。

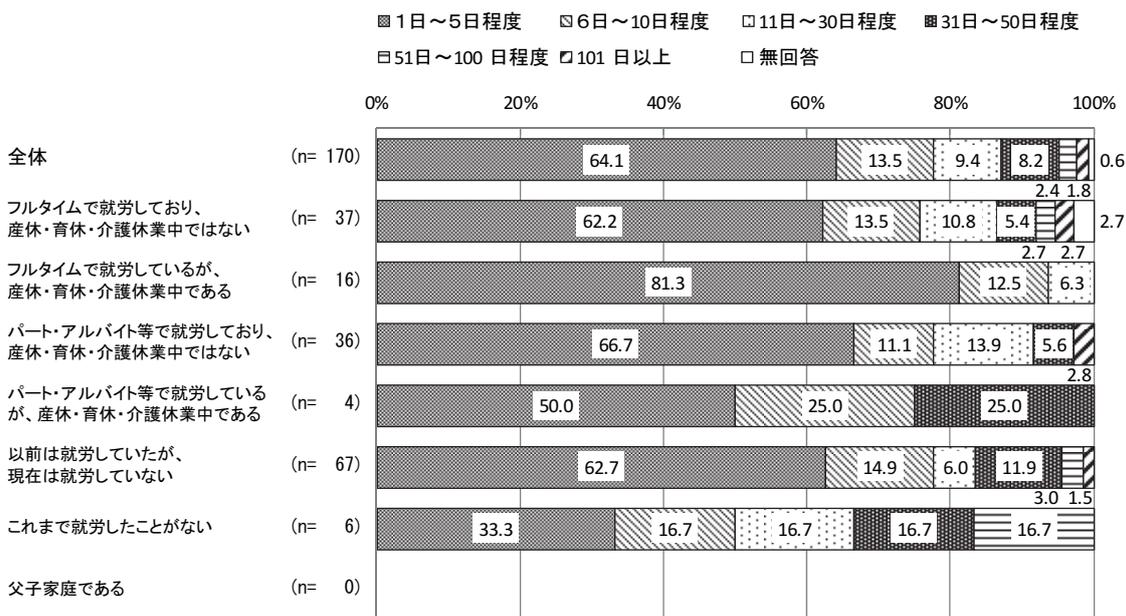
図表 133 一時預かりの年間利用日数—年齢別



※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

母親の就労状況別でみると、「1日～5日程度」では『フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である』が81.3%と最も多く、次いで『パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』が66.7%となっている。

図表 134 一時預かりの年間利用日数—母親就労状況別



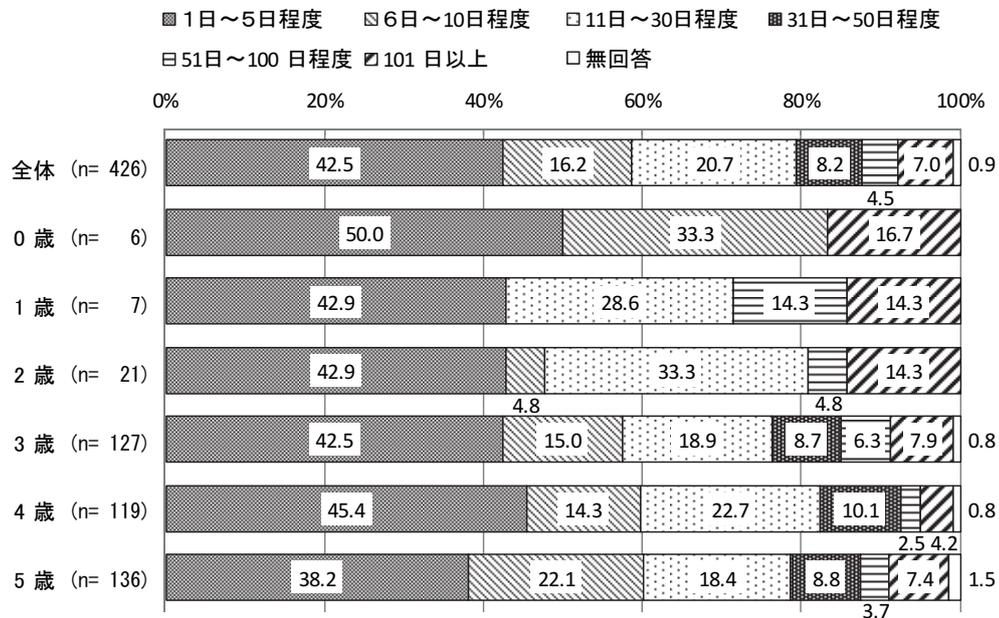
※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

## 2. 私立幼稚園の預かり保育

私立幼稚園の預かり保育の年間利用日数について、全体では年間「1日～5日程度」が42.5%で最も多く、次いで「11日～30日程度」が20.7%、「6日～10日程度」が16.2%となっている。

子どもの年齢別でみると、全年齢で「1日～5日程度」が最も多く、各年齢それぞれ50.0%、42.9%、42.9%、42.5%、45.4%、38.2%となっている。

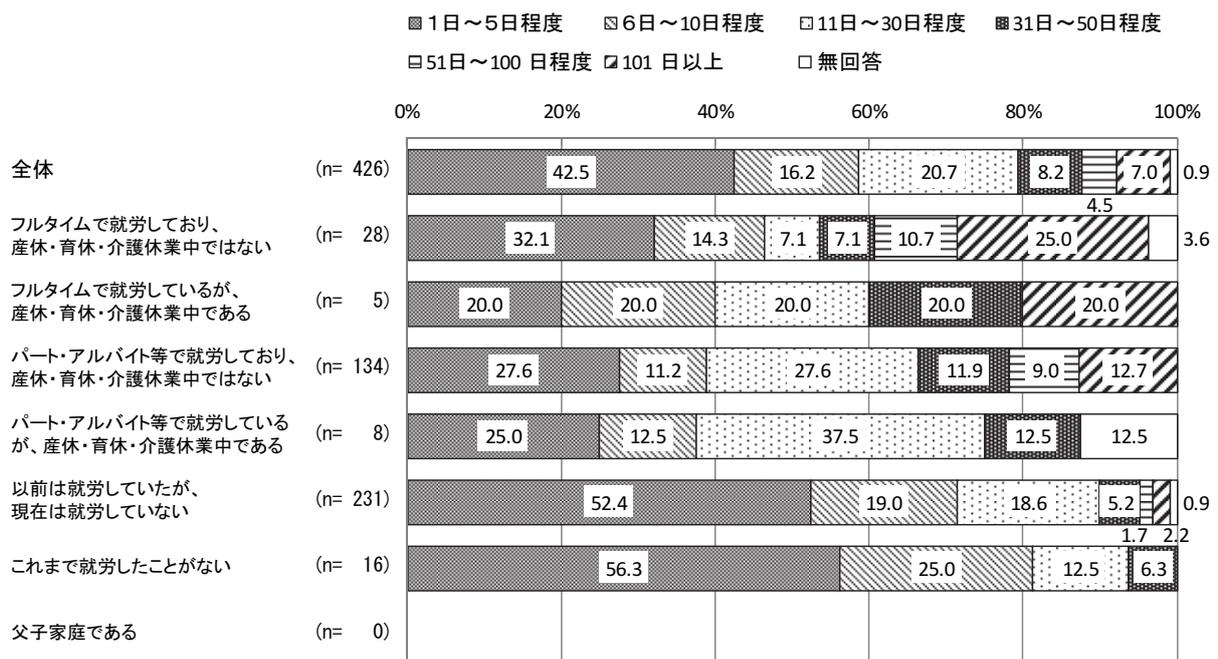
図表 135 私立幼稚園の預かり保育の年間利用日数—年齢別



※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

母親の就労状況別でみると、『1日～5日程度』では「これまで就労したことがない」が56.3%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が52.4%となっている。

図表 136 私立幼稚園の預かり保育の年間利用日数—母親就労状況別



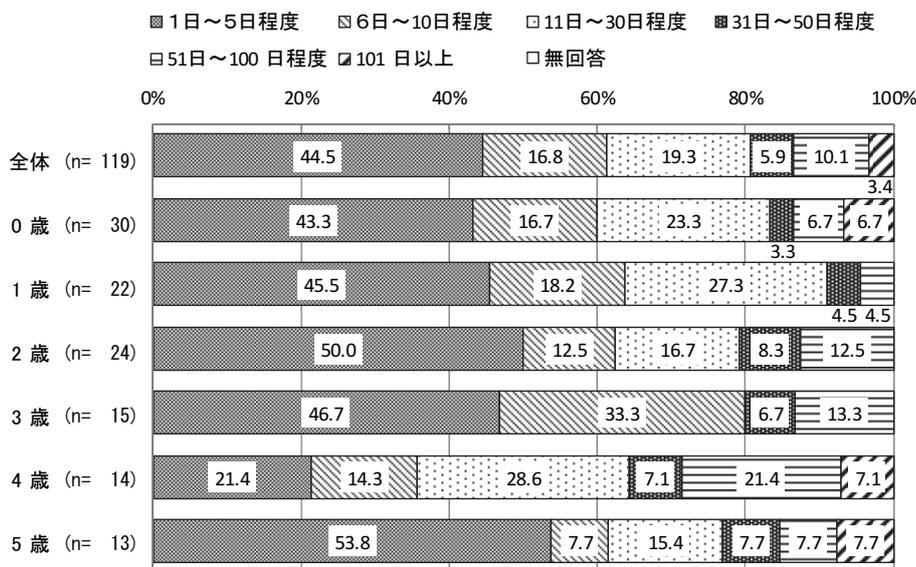
※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

### 3. 子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業

子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業の年間利用日数について、全体では年間「1日～5日程度」が44.5%で最も多く、次いで「11日～30日程度」が19.3%、「6日～10日程度」が16.8%となっている。

子どもの年齢別でみると、『1日～5日程度』では「5歳」が53.8%と最も多く、「4歳」は21.4%と最も少なくなっている。

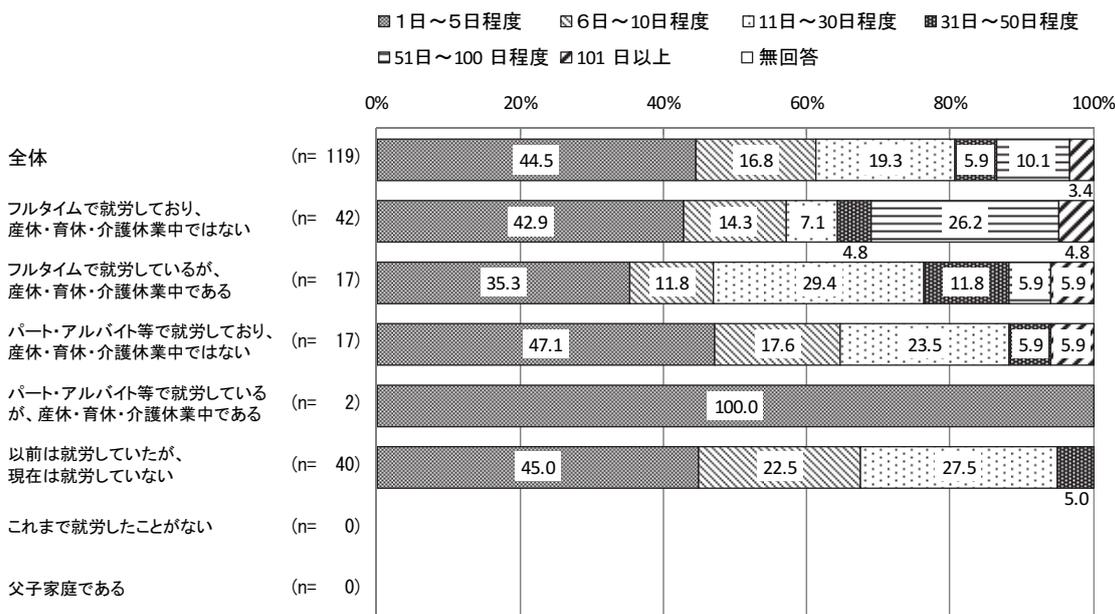
**図表 137 子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業の年間利用日数 —年齢別**



※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

母親の就労状況別でみると、『1日～5日程度』では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.1%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が45.0%となっている。

**図表 138 子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業の年間利用日数 —母親就労状況別**

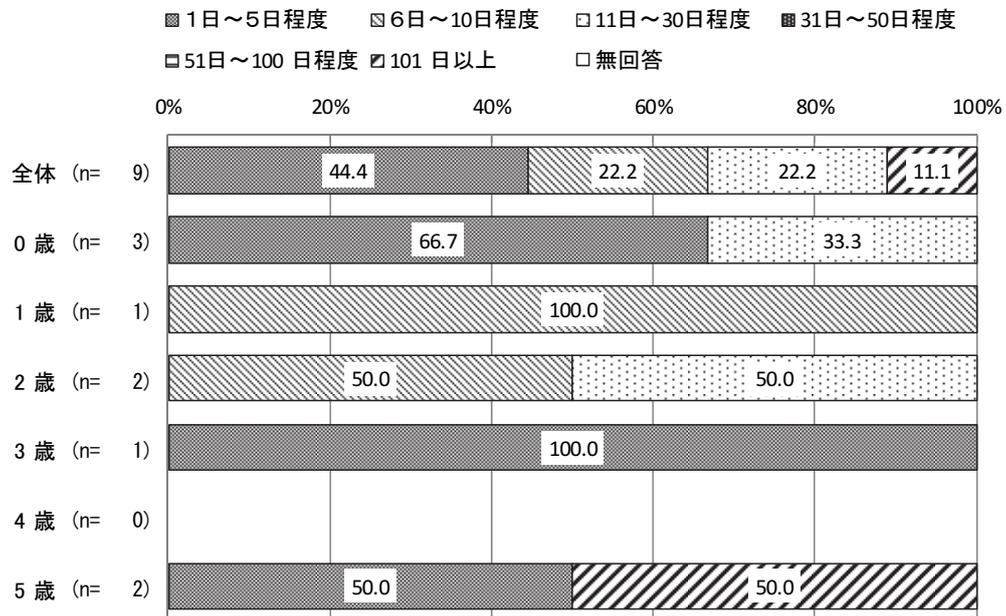


※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

#### 4. トワイライトステイ

トワイライトステイの年間利用日数について、以下の図の通りである。

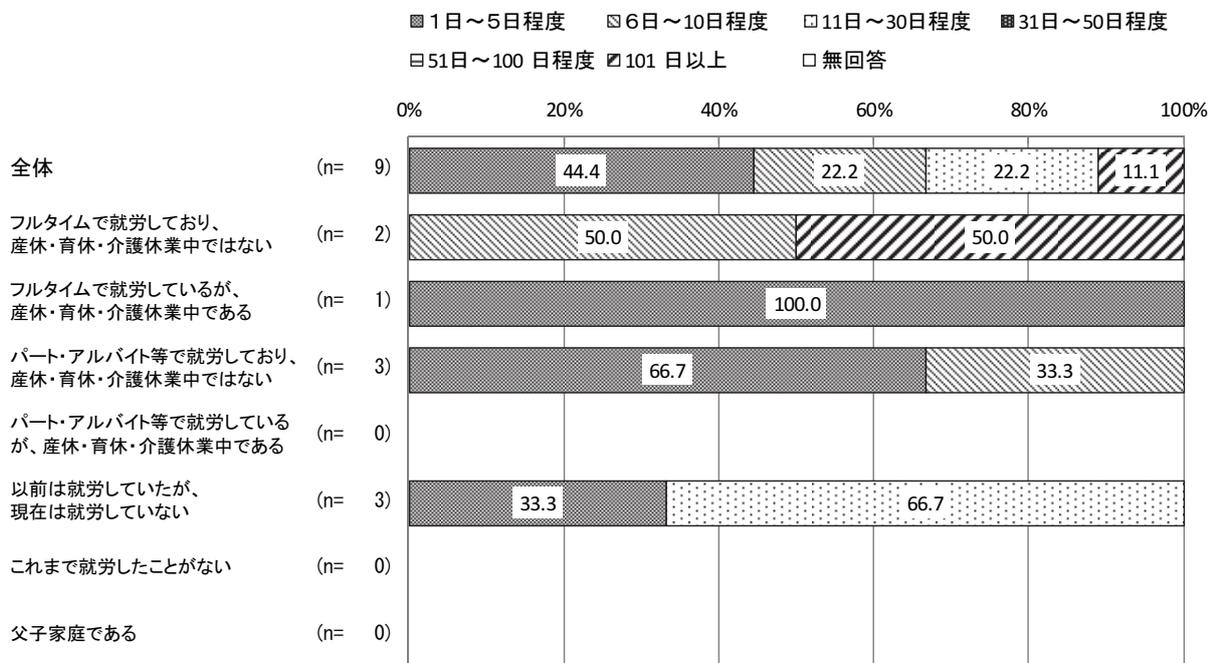
図表 139 トワイライトステイの年間利用日数—年齢別



※回答対象は問 22 で年間 1 日以上利用すると回答した人

母親の就労状況別でみると、以下の図の通りである。

図表 140 トワイライトステイの年間利用日数—母親就労状況別



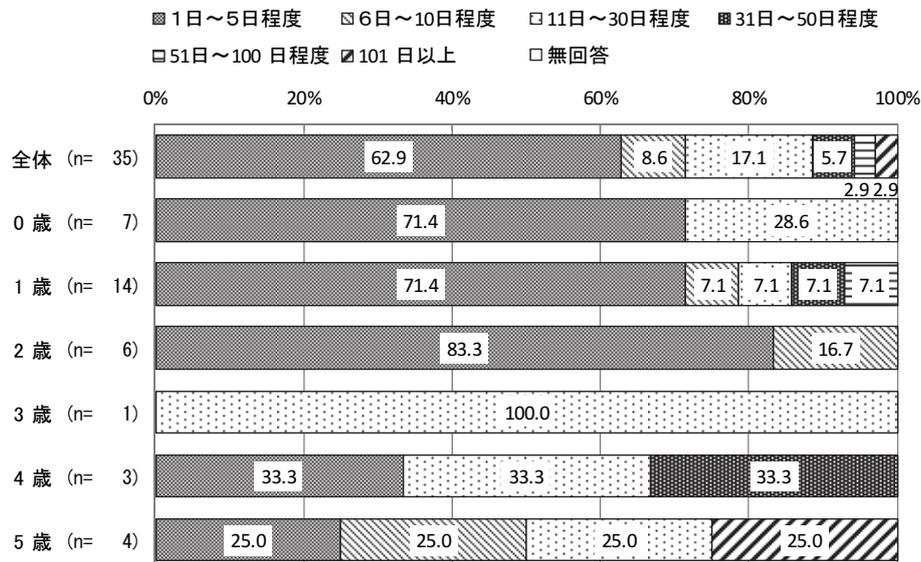
※回答対象は問 22 で年間 1 日以上利用すると回答した人

### 5. ベビーシッター（民間）

ベビーシッター（民間）の年間利用日数について、全体では年間「1日～5日程度」が62.9%で最も多く、次いで「11日～30日程度」が17.1%、「6日～10日程度」が8.6%となっている。

子どもの年齢別でみると、『1日～5日程度』では「0歳」が71.4%（5人）、「1歳」が71.4%（10人）、「2歳」が83.3%（5人）、「4歳」が33.3%（1人）、「5歳」が25.0%（1人）となっている。

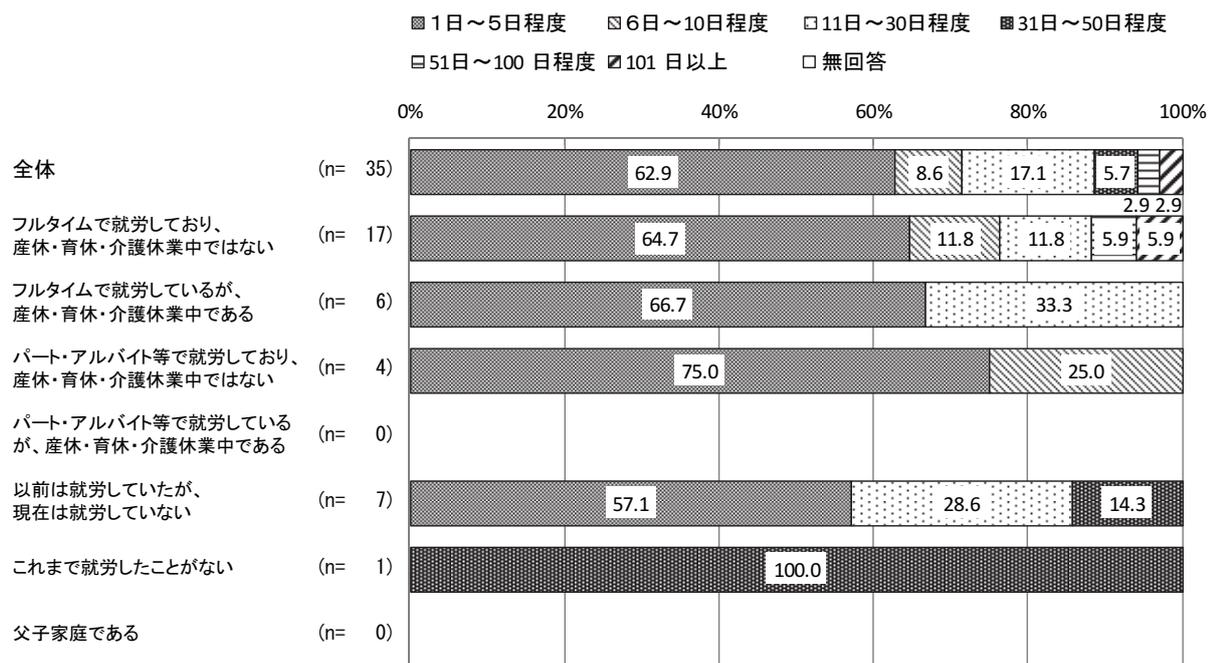
図表 141 ベビーシッター（民間）の年間利用日数—年齢別



※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

母親の就労状況別でみると、『1日～5日程度』では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が75.0%（3人）と最も多く、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が66.7（4人）となっている。

図表 142 ベビーシッター（民間）の年間利用日数—母親就労状況別

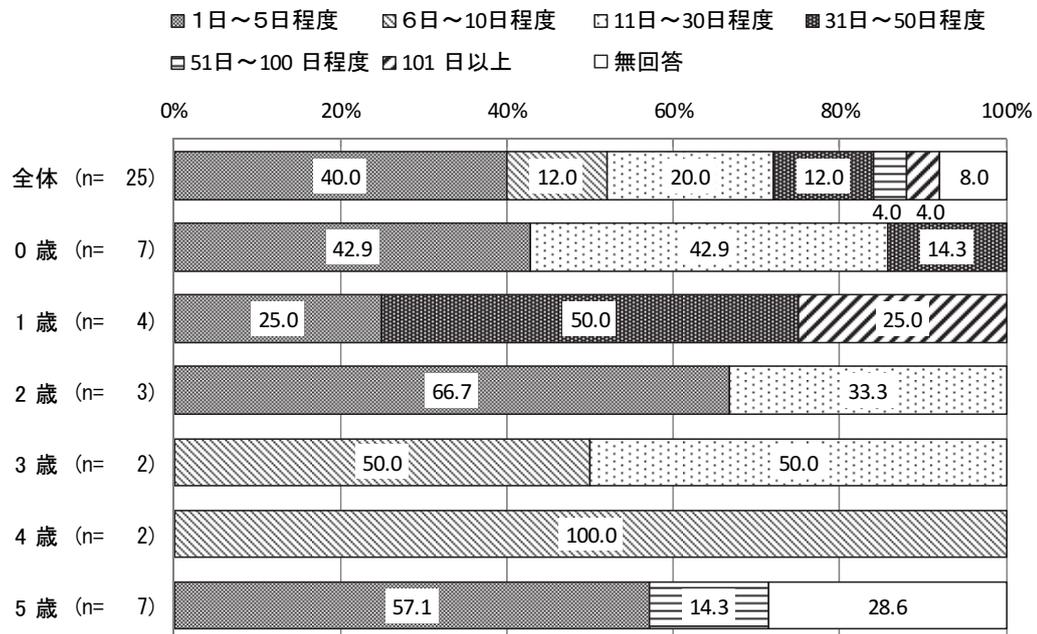


※回答対象は問22で年間1日以上利用すると回答した人

6. その他

その他の年間利用日数について、以下の図の通りである。

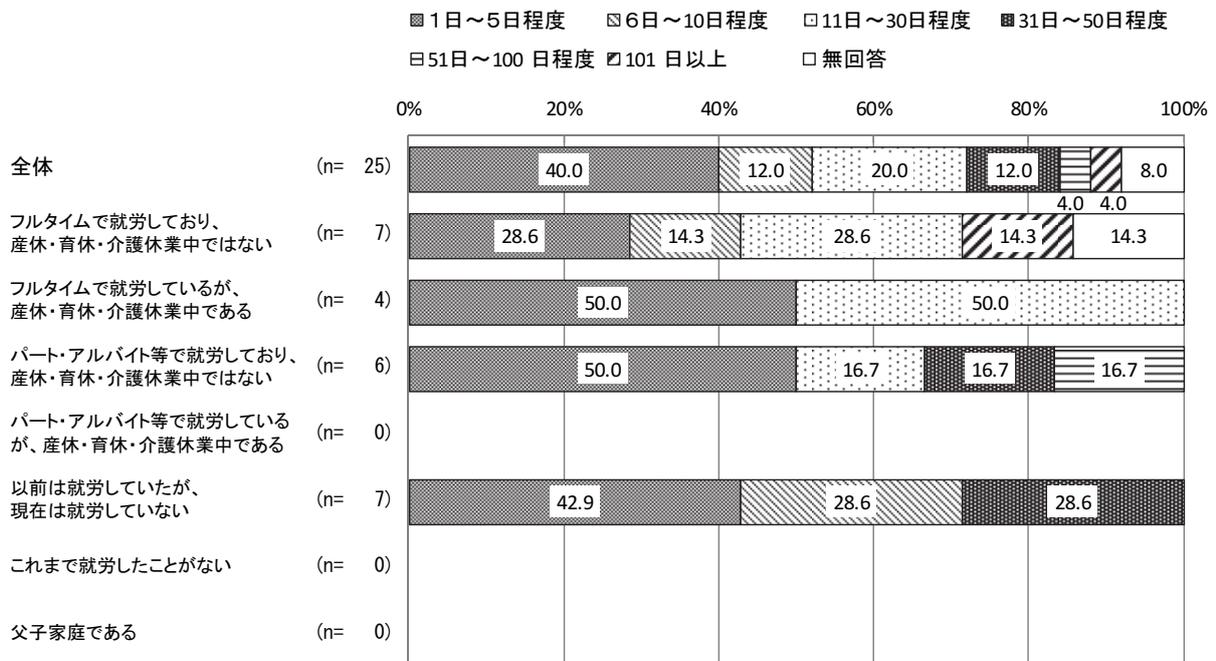
図表 143 その他の年間利用日数—年齢別



※回答対象は問 22 で年間 1 日以上利用すると回答した人

母親の就労状況別でみると、以下の図の通りである。

図表 144 その他の年間利用日数—母親就労状況別



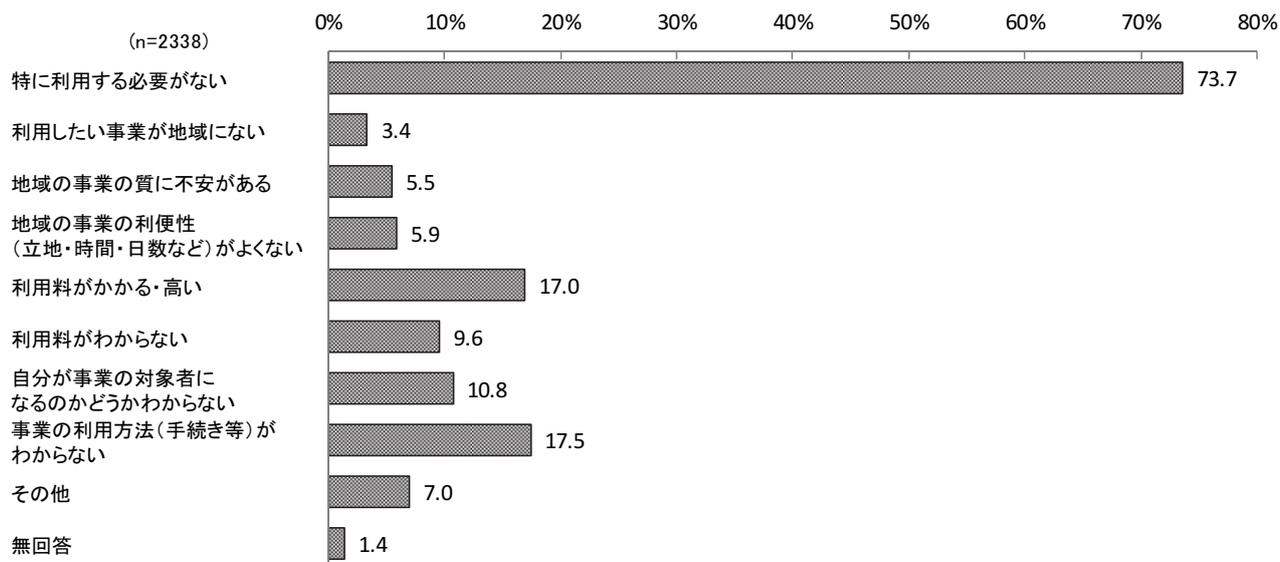
※回答対象は問 22 で年間 1 日以上利用すると回答した人

### 1-9-1-2 現在不定期の教育・保育事業を利用していない理由

問22-1. (不定期の一時預かりを) 現在利用していない理由は何ですか (○はあてはまるものすべて)。

現在不定期の教育・保育事業を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が73.7%で最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が17.5%、「利用料がかかる・高い」が17.0%となっている。

図表 145 現在不定期の教育・保育事業を利用していない理由

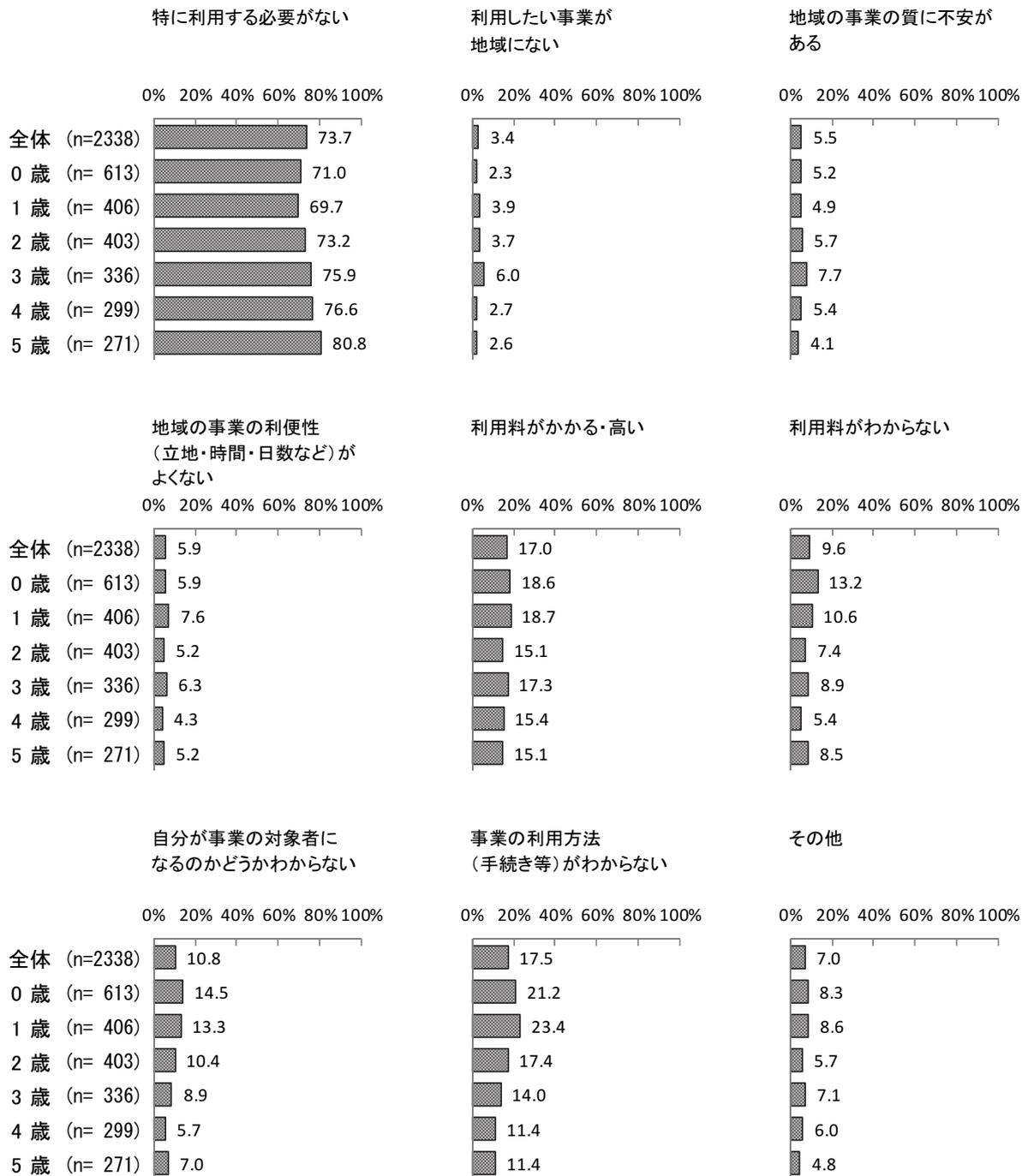


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問22で「利用していない」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『特に利用する必要がない』では、「1歳」から「5歳」まで年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にある。

図表 146 現在不定期の教育・保育事業を利用していない理由—年齢別

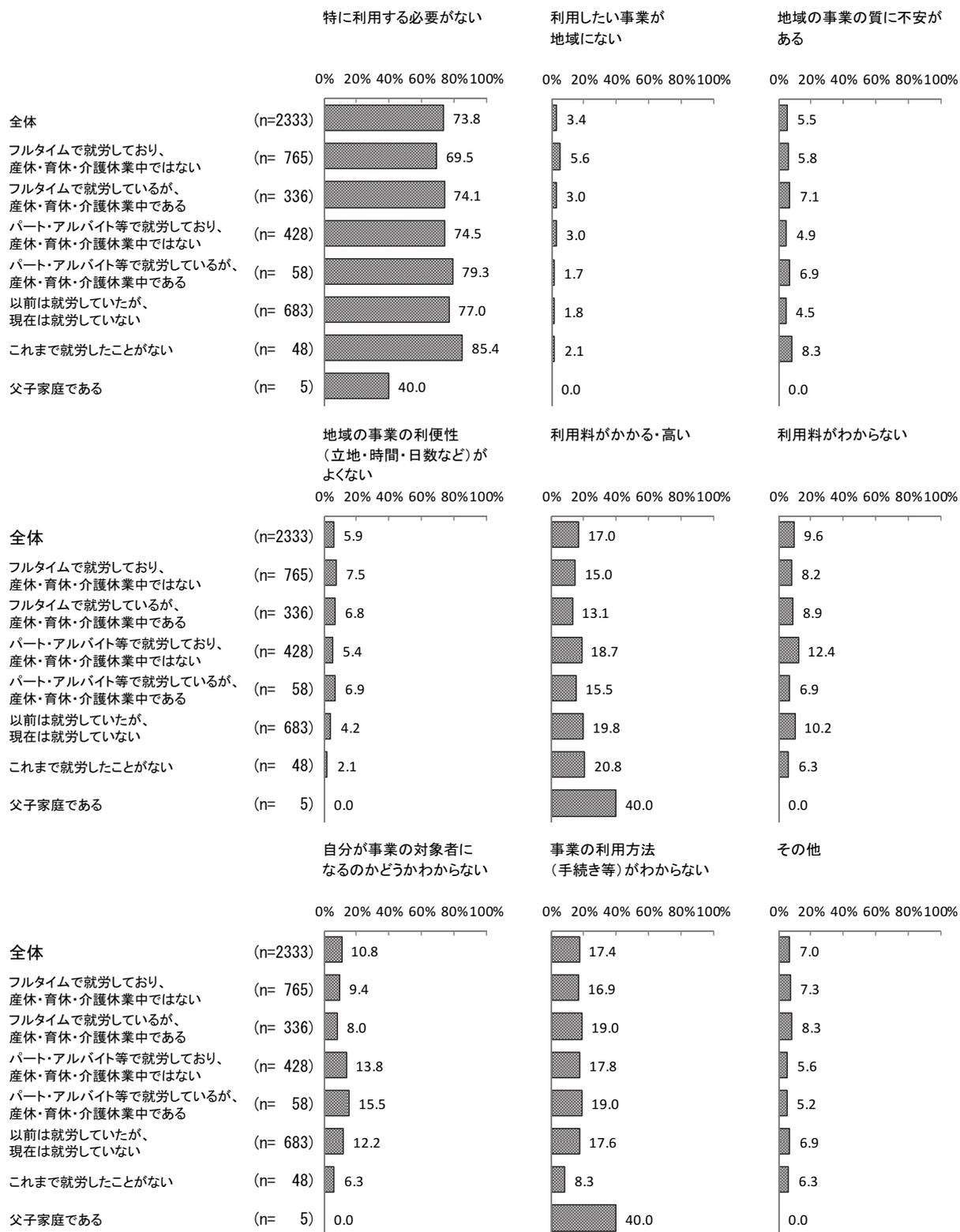


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問22で「利用していない」と回答した人

母親の就労状況別でみると、『利用料がかかる・高い』では「これまで就労したことがない」が20.8%と最も多く、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は13.1%と最も少なくなっている。

図表 147 現在不定期の教育・保育事業を利用していない理由—母親就労状況別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

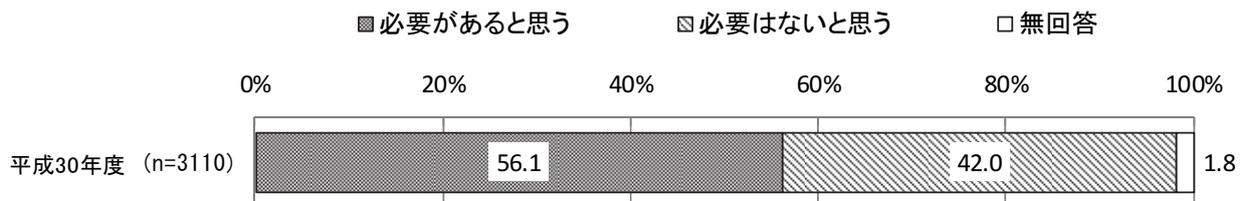
※回答対象は問22で「利用していない」と回答した人

## 1-9-1-3 不特定の教育・保育事業利用の必要の有無

問23. お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、問22に示すような事業を利用する必要があると思いますか（○は1つだけ）。

不特定の教育・保育事業利用の必要の有無について、「必要があると思う」が56.1%、「必要はないと思う」が42.0%となっている。

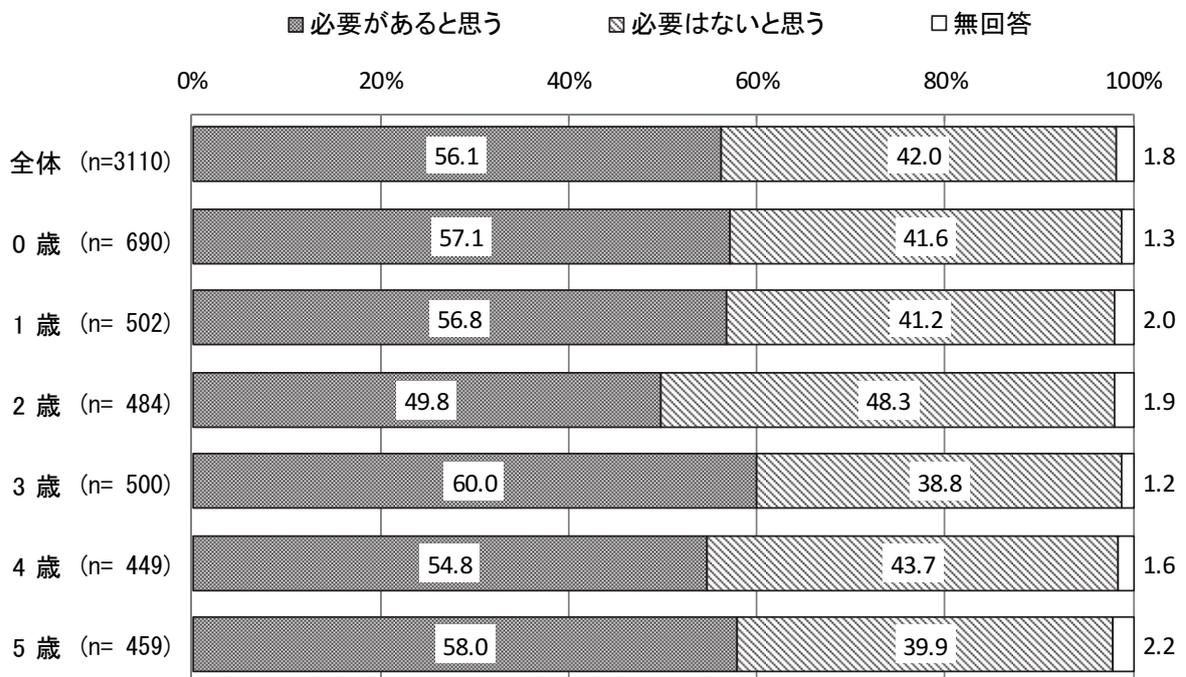
図表 148 不特定の教育・保育事業利用の必要の有無



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『必要があると思う』では、「3歳」の割合が60.0%と最も高く、「2歳」は49.8%と最も低くなっている。

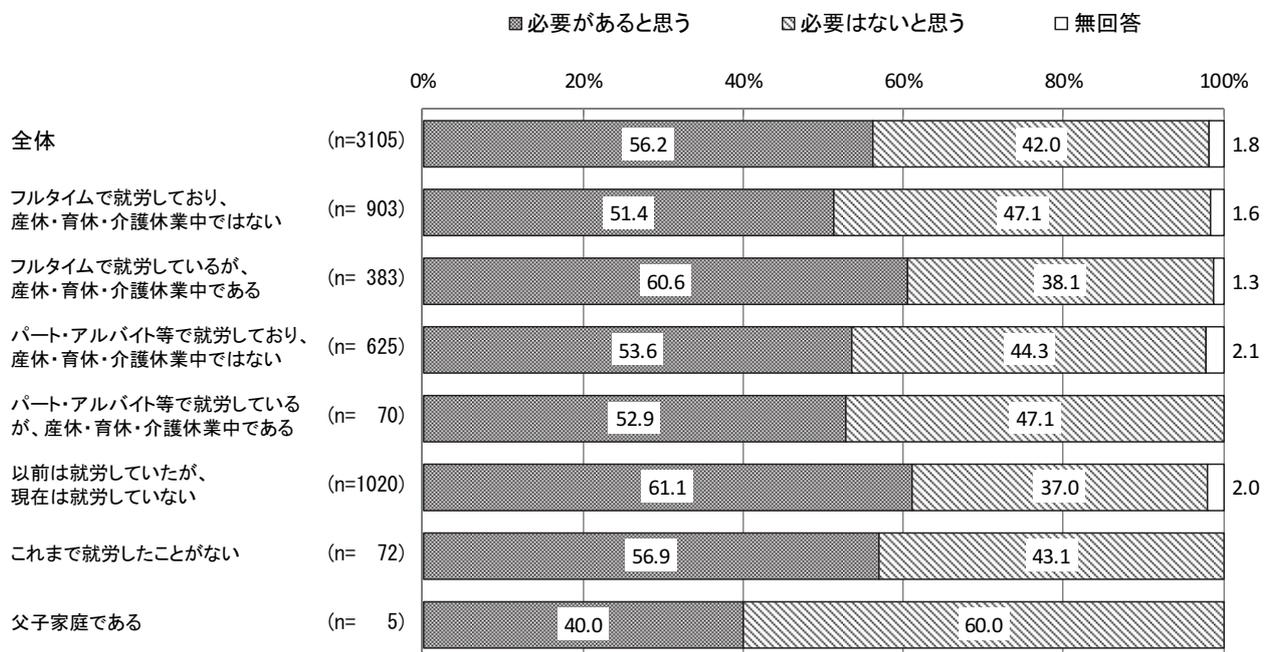
図表 149 不特定の教育・保育事業利用の必要の有無—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

母親の就労状況別でみると、『必要があると思う』では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が61.1%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が60.6%、「これまで就労したことがない」が56.9%となっている。

図表 150 不定期の教育・保育事業利用の必要の有無—母親就労状況別



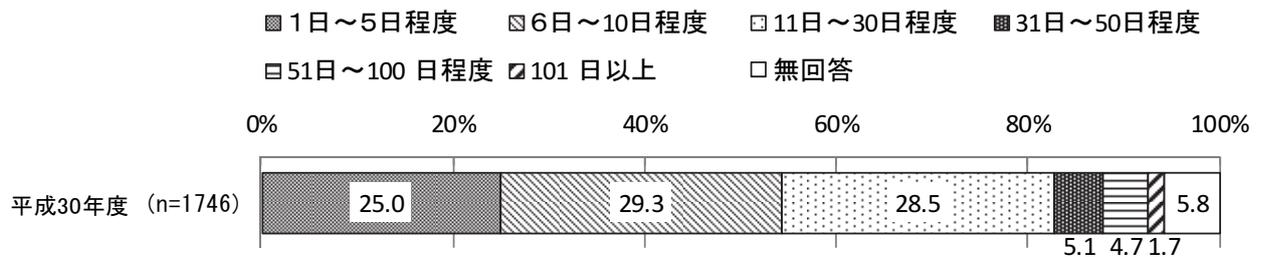
※回答対象は就学前児童対象調査の全員

1-9-1-4 不特定の教育・保育事業利用を希望する日数

問23-1. 1年間に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で事業の利用を必要とする日数はどのくらいあると思いますか（カッコ内に数字で）。

不特定の教育・保育事業利用を希望する日数について、「6日～10日程度」が29.3%と最も多く、次いで「11日～30日程度」が28.5%、「1日～5日程度」が25.0%となっている。

図表 151 不特定の教育・保育事業利用を希望する日数



※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

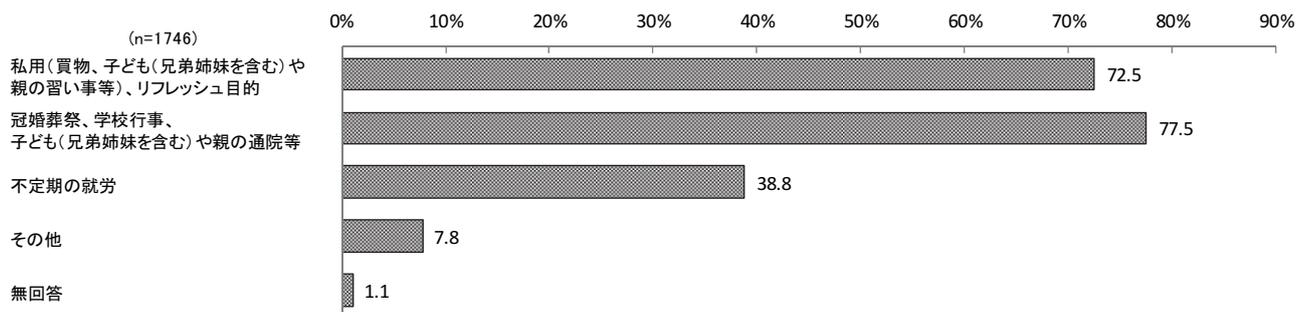
### 1-9-1-5 不特定の教育・保育事業の利用目的・年間利用希望日数

問23-2. どのような利用目的が考えられますか（あてはまる番号すべてに○）。また、それぞれの目的でのおおよその年間利用日数をお答えください（○はそれぞれ1つだけ）。

#### (1) 利用目的

不特定の教育・保育事業の利用目的について、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が77.5%で最も多く、次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が72.5%、「不特定の就労」が38.8%となっている。

図表 152 不特定の教育・保育事業の利用目的

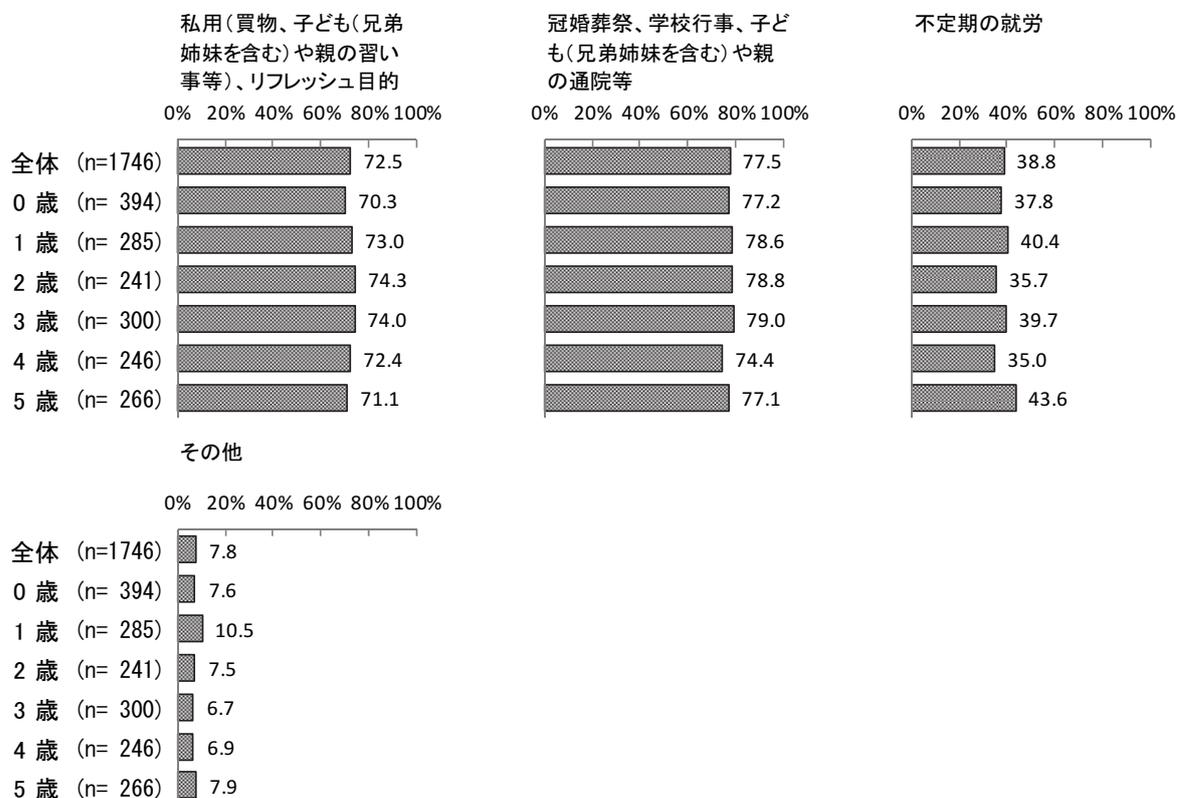


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

子どもの年齢別で見ると、『不特定の就労』では、「5歳」が43.6%と最も多く、「4歳」は35.0%と最も少なくなっている。

図表 153 不特定の教育・保育事業の利用目的一年齢別

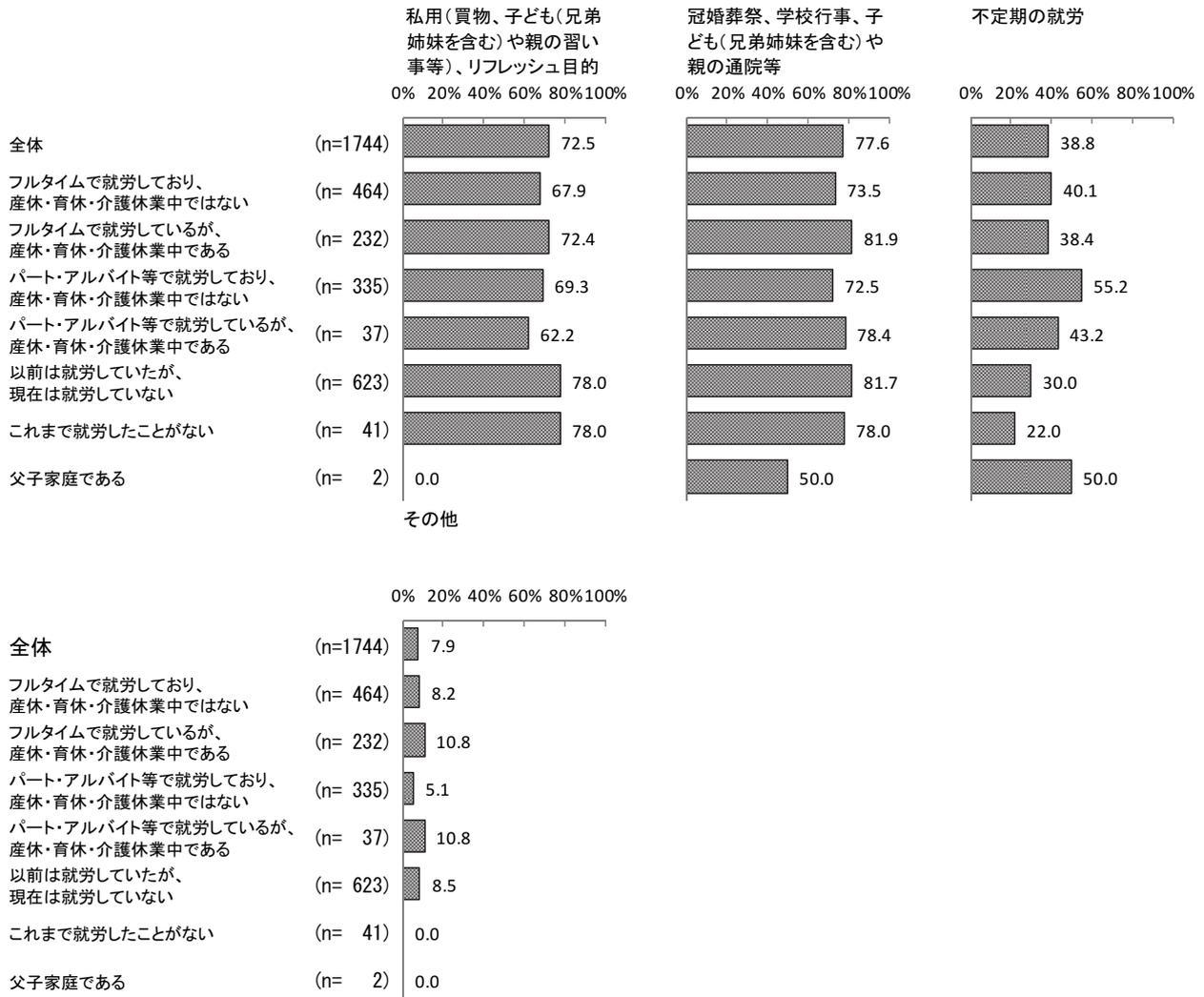


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

母親の就労状況別でみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」では『フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である』が81.9%と最も多く、『パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』が72.5%と最も低くなっている。

図表 154 不定期の教育・保育事業の利用目的—母親就労状況別



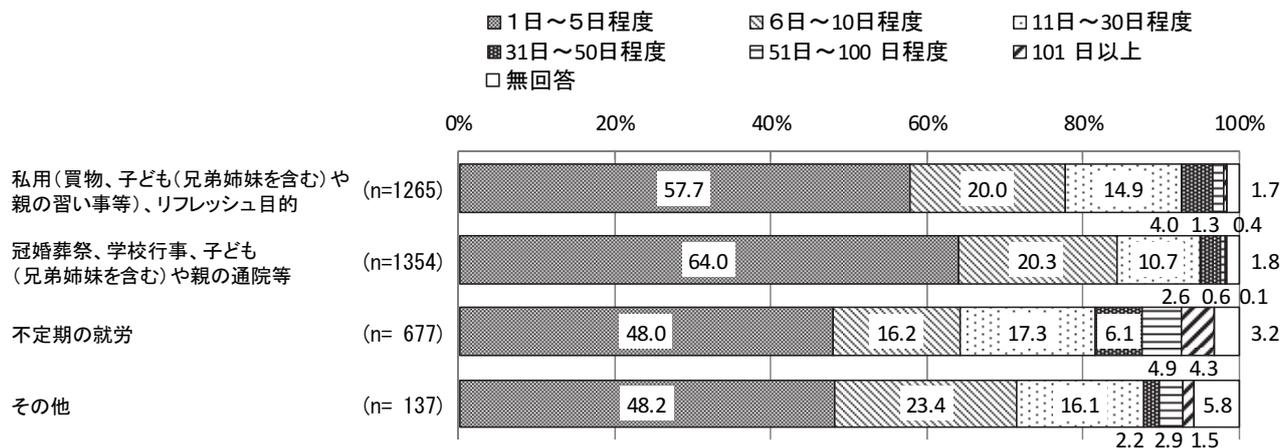
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

(2) 年間利用希望日数

不定期の教育・保育事業の年間利用希望日数について、利用目的別でみると、『1日～5日程度』では「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が64.0%と最も多く、次いで「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が57.7%、「不定期の就労」が48.0%となっている。

図表 155 不定期の教育・保育事業の年間利用希望日数



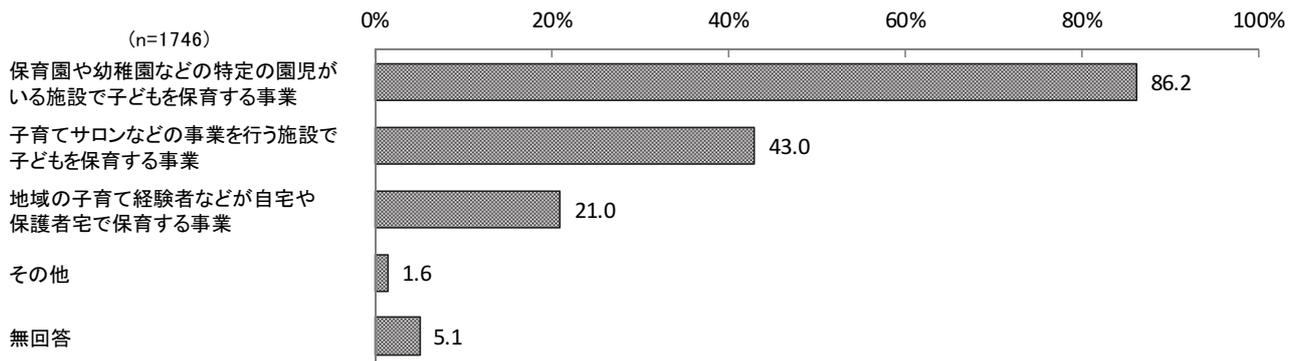
※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

1-9-1-6 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

問23-3. 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期にお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか（〇はあてはまるものすべて）。

不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態について、「保育園や幼稚園などの特定の園児がいる施設で子どもを保育する事業」が86.2%で最も多く、次いで「子育てサロンなどの事業を行う施設で子どもを保育する事業」が43.0%、「地域の子育て経験者などが自宅や保護者宅で保育する事業」が21.0%となっている。

図表 156 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

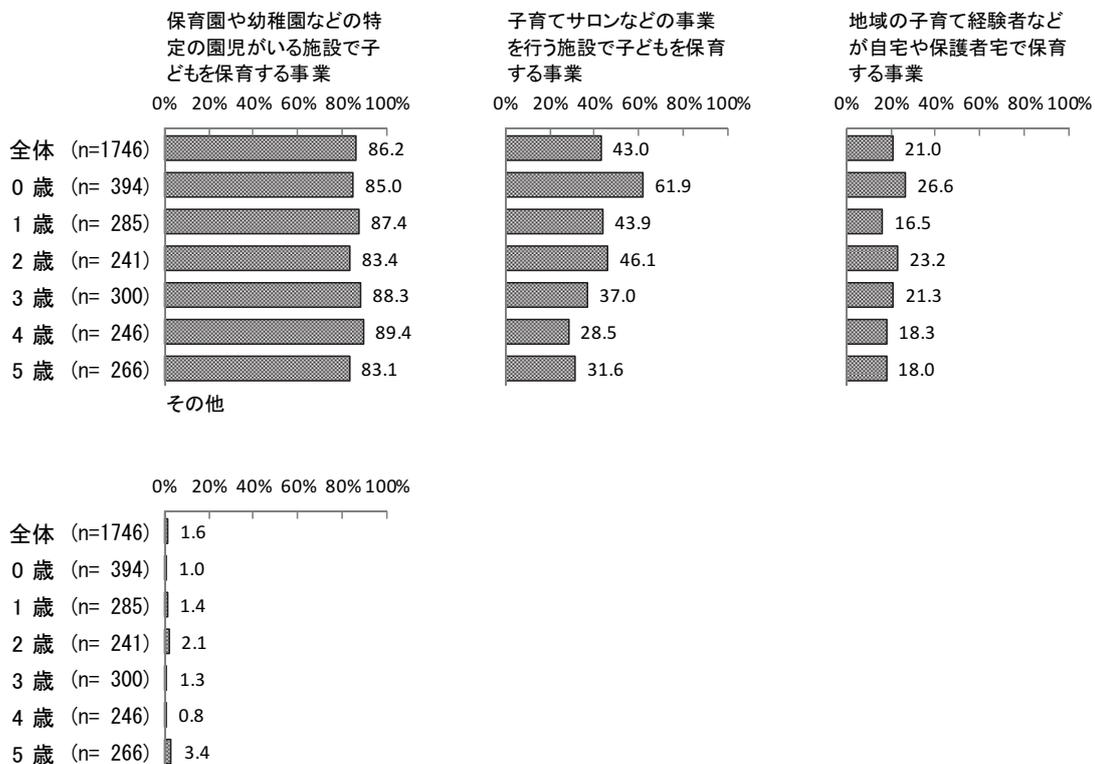


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『子育てサロンなどの事業を行う施設で子どもを保育する事業』では、「0歳」が61.9%と最も多く、「4歳」は28.5%と最も少なくなっている。

図表 157 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態—年齢別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問23で「必要があると思う」と回答した人

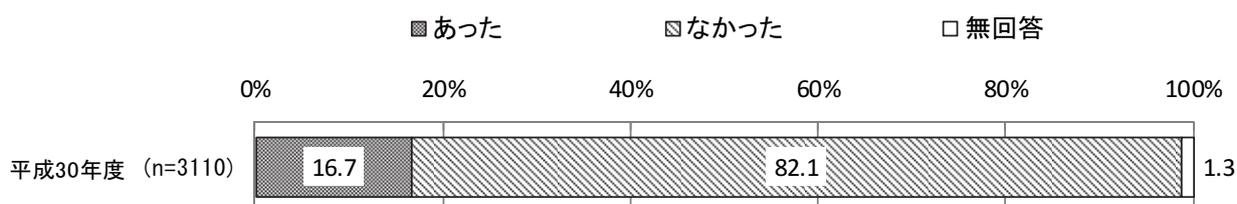
## 1-9-2 宿泊を伴う一時預かり等の状況

### 1-9-2-1 宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無

問 2 4. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）（○は1つだけ）。

宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無について、「あった」が16.7%、「なかった」が82.1%となっている。

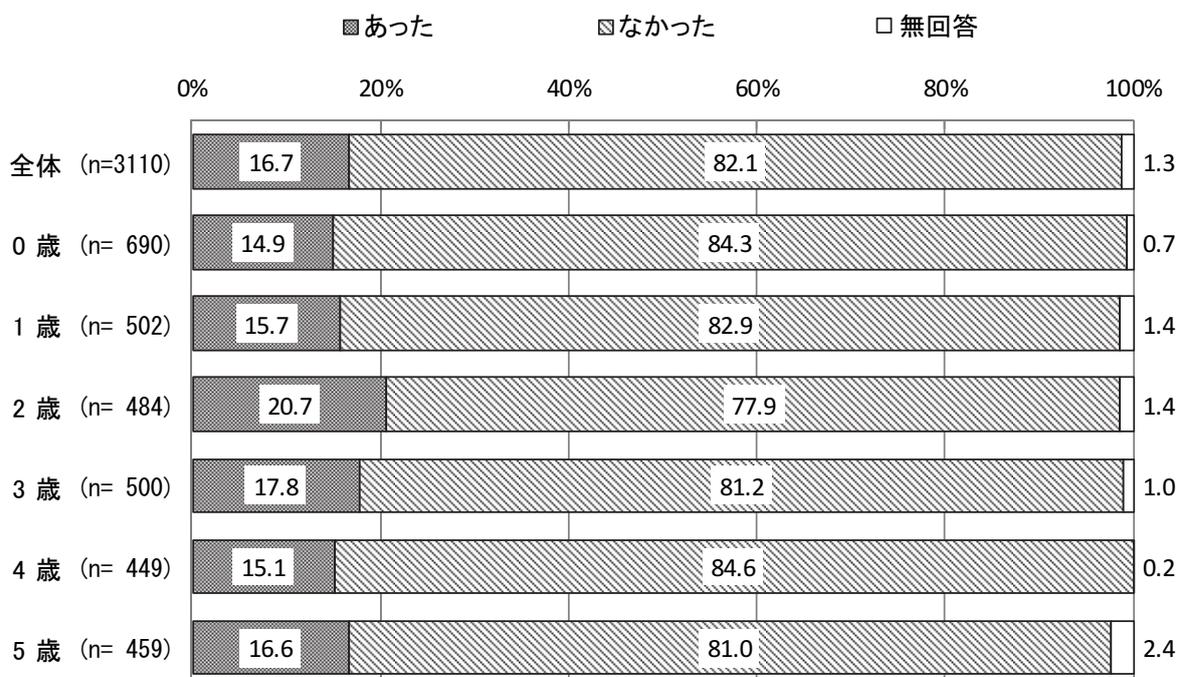
図表 158 宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『あった』では「2歳」が20.7%と最も多く、次いで「3歳」が17.8%、「5歳」が16.6%となっている。

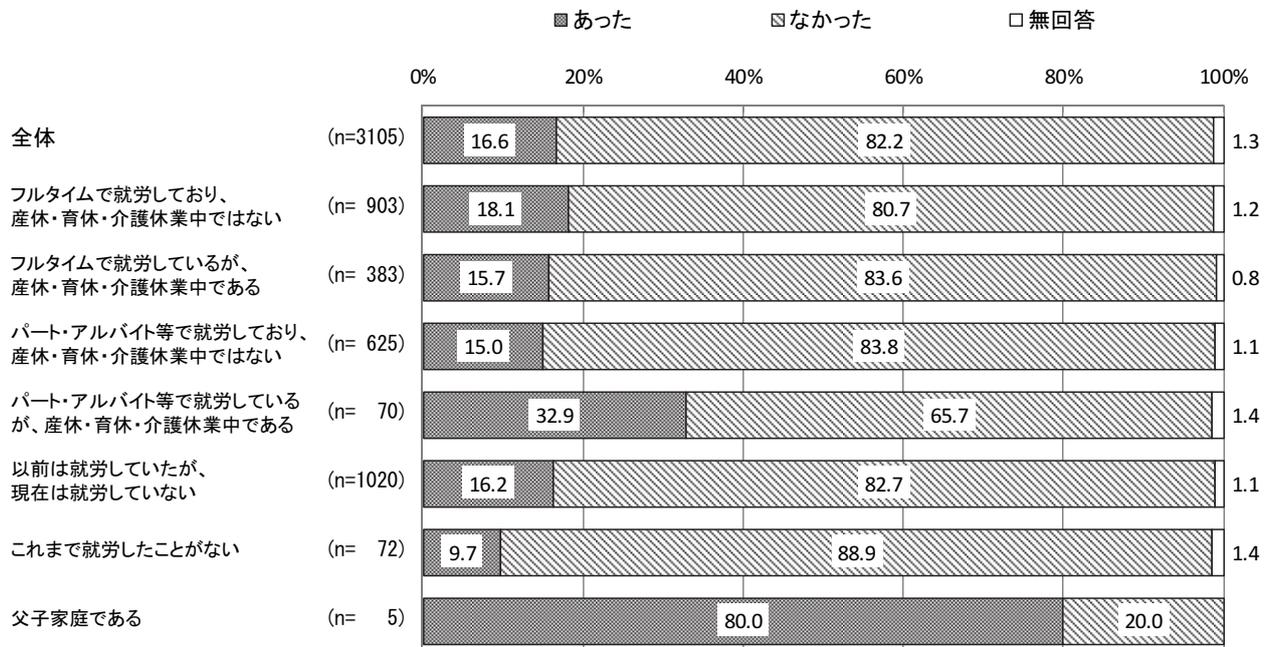
図表 159 宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

母親の就労状況別でみると、『あった』では、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が32.9%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.2%となっている。

図表 160 宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無—母親就労状況別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

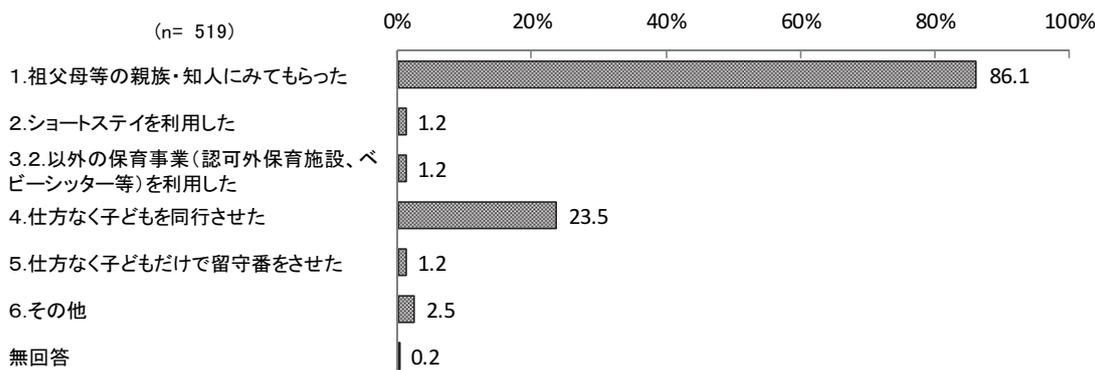
### 1-9-2-2 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法・日数

問24-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。  
また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

#### (1) 対処方法

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法について、平成30年度では「1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった」が86.1%で最も多く、次いで「4. 仕方なく子どもを同行させた」が23.5%となっている。

図表 161 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法

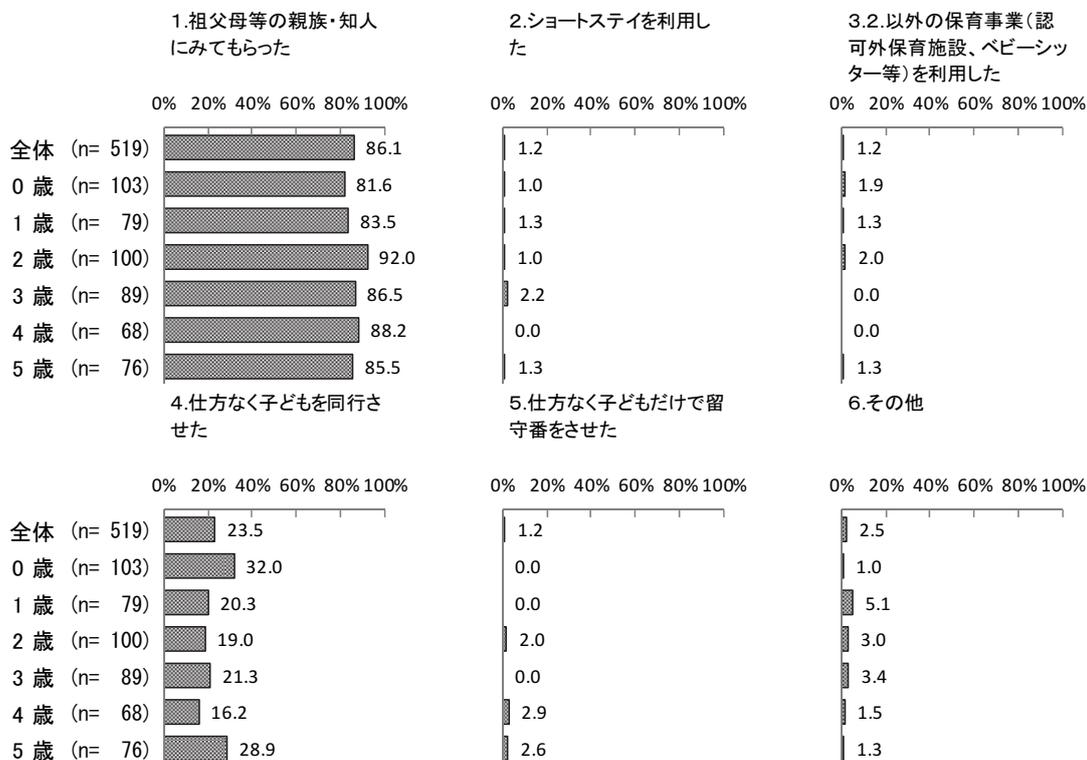


※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問24で「あった」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった』では「2歳」が92.0%、『4. 仕方なく子どもを同行させた』では「0歳」が32.0%と最も多くなっている。

図表 162 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法—年齢別



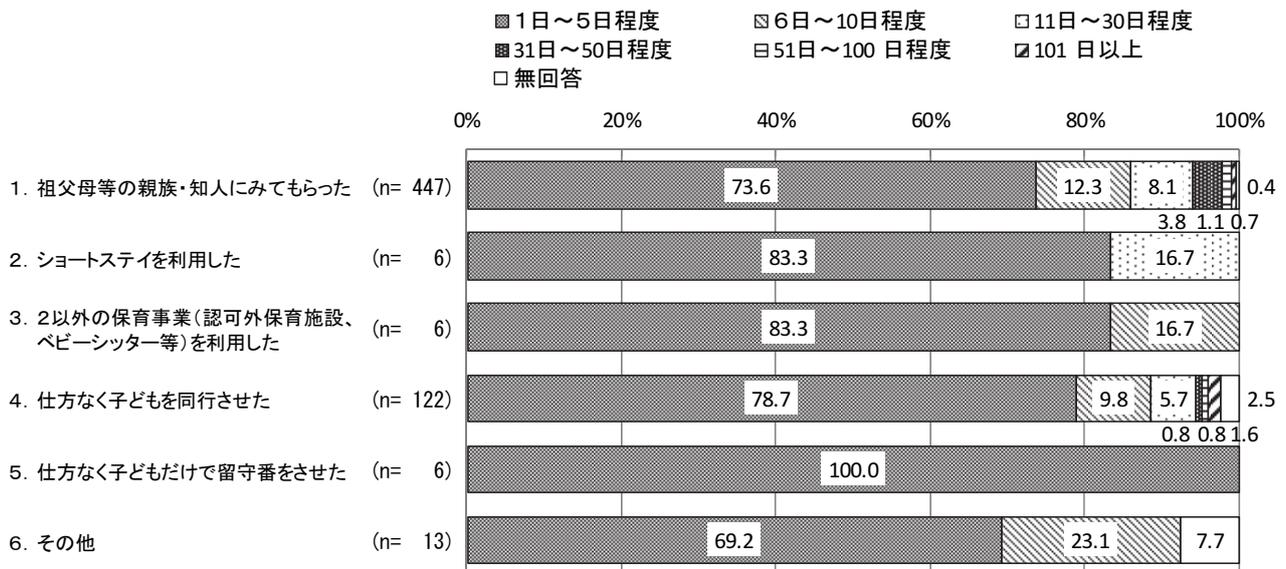
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問24で「あった」と回答した人

(2) 対処日数

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処日数について、対処方法別でみると「1日～5日程度」では『5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』が100.0%（6人）と最も多く、『2. ショートステイを利用した』『3. 2. 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した』がそれぞれ83.3%となっている。

図表 163 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処日数



※回答対象は問24で「あった」と回答した人

## 1-10 職場の両立支援制度について

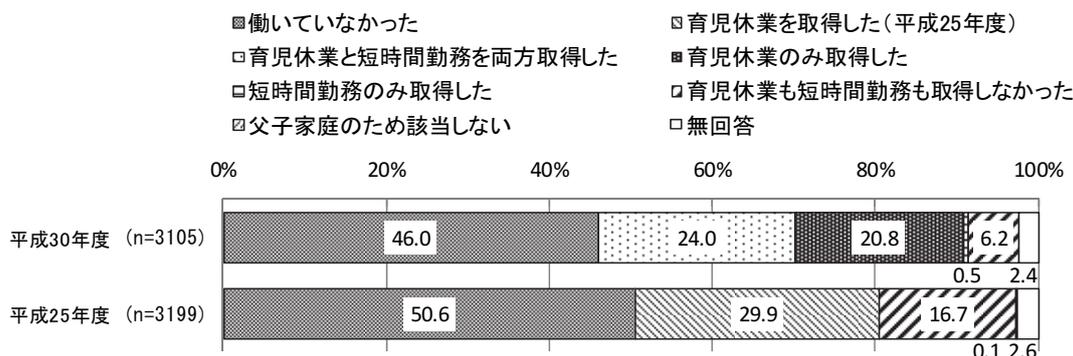
### 1-10-1 育児休業及び短時間勤務の取得状況

問25. お子さんが生まれたとき、母親・父親のいずれかもしくは双方が、育児休業又は短時間勤務を取得しましたか。母親・父親それぞれについてお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

#### (a) 母親

母親の育児休業及び短時間勤務の取得状況について、平成30年度では「働いていなかった」が46.0%と最も多く、次いで「育児休業と短時間勤務を両方取得した」が24.0%、「育児休業のみ取得した」が20.8%となっており、育児休業を取得した割合は合わせて44.8%となった。

図表 164 育児休業及び短時間勤務の取得状況（母親）



※回答対象は就学前児童対象調査の全員（父子家庭を除く）

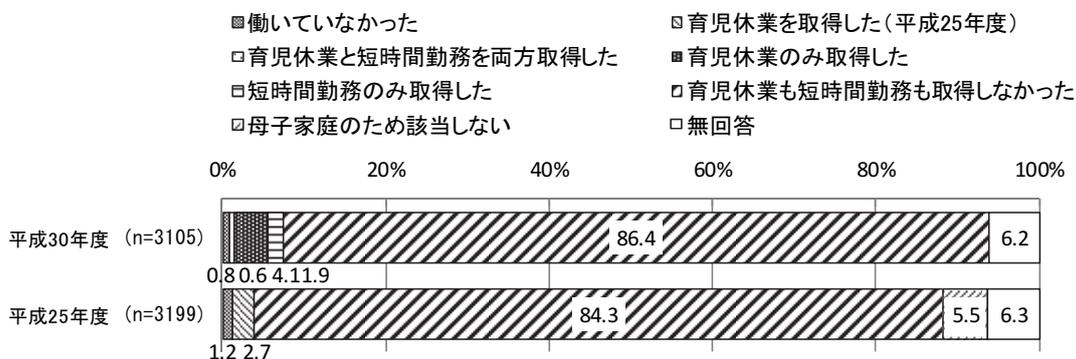
※平成25年度の集計は「父子家庭」を含み、単純比較ができないため、参考表記とする

※平成30年度に設問を見直し、平成25年度「育児休業を取得した」を「育児休業のみ取得した」「育児休業と短時間勤務を両方取得した」の2つに細分化した

#### (b) 父親

父親の育児休業及び短時間勤務の取得状況について、平成30年度では「育児休業も短時間勤務も取得しなかった」が86.4%と最も多く、次いで「育児休業のみ取得した」が4.1%となっている。

図表 165 育児休業及び短時間勤務の取得状況（父親）



※回答対象は就学前児童対象調査の全員（母子家庭を除く）

※平成25年度の集計は「母子家庭」を含み、単純比較ができないため、参考表記とする

※平成30年度に設問を見直し、平成25年度「育児休業を取得した」を「育児休業のみ取得した」「育児休業と短時間勤務を両方取得した」の2つに細分化した

## 1-10-2 育児休業又は短時間勤務を取得しなかった理由

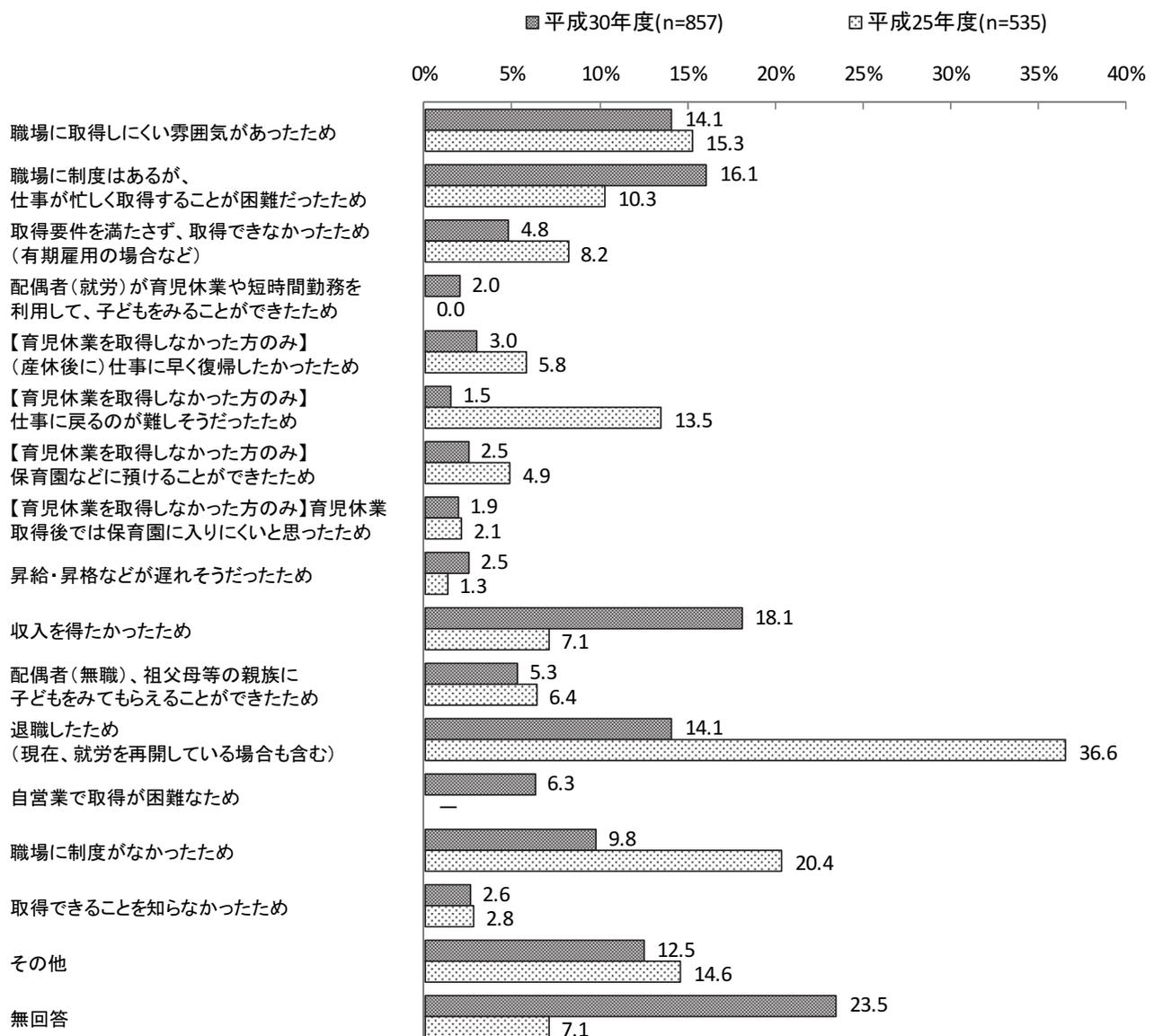
問25-1. 育児休業又は短時間勤務のどちらか1つでも取得しなかった方について、その理由をお答えください（○はあてはまるものすべて）。

## (a) 母親

母親の育児休業又は短時間勤務を取得しなかった理由について、平成30年度では「収入を得たかったため」が18.1%と最も多く、次いで「職場に制度はあるが、仕事が忙しく取得することが困難だったため」が16.1%、「職場に取得しにくい雰囲気があったため」が14.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「収入を得たかったため」「職場に制度はあるが、仕事が忙しく取得することが困難だったため」が、それぞれ11.0ポイント、5.8ポイント増加し、「退職したため（現在、就労を再開している場合も含む）」「職場に制度がなかったため」は、それぞれ22.5ポイント、10.6ポイント減少している。

図表 166 育児休業又は短時間勤務を取得しなかった理由（母親）

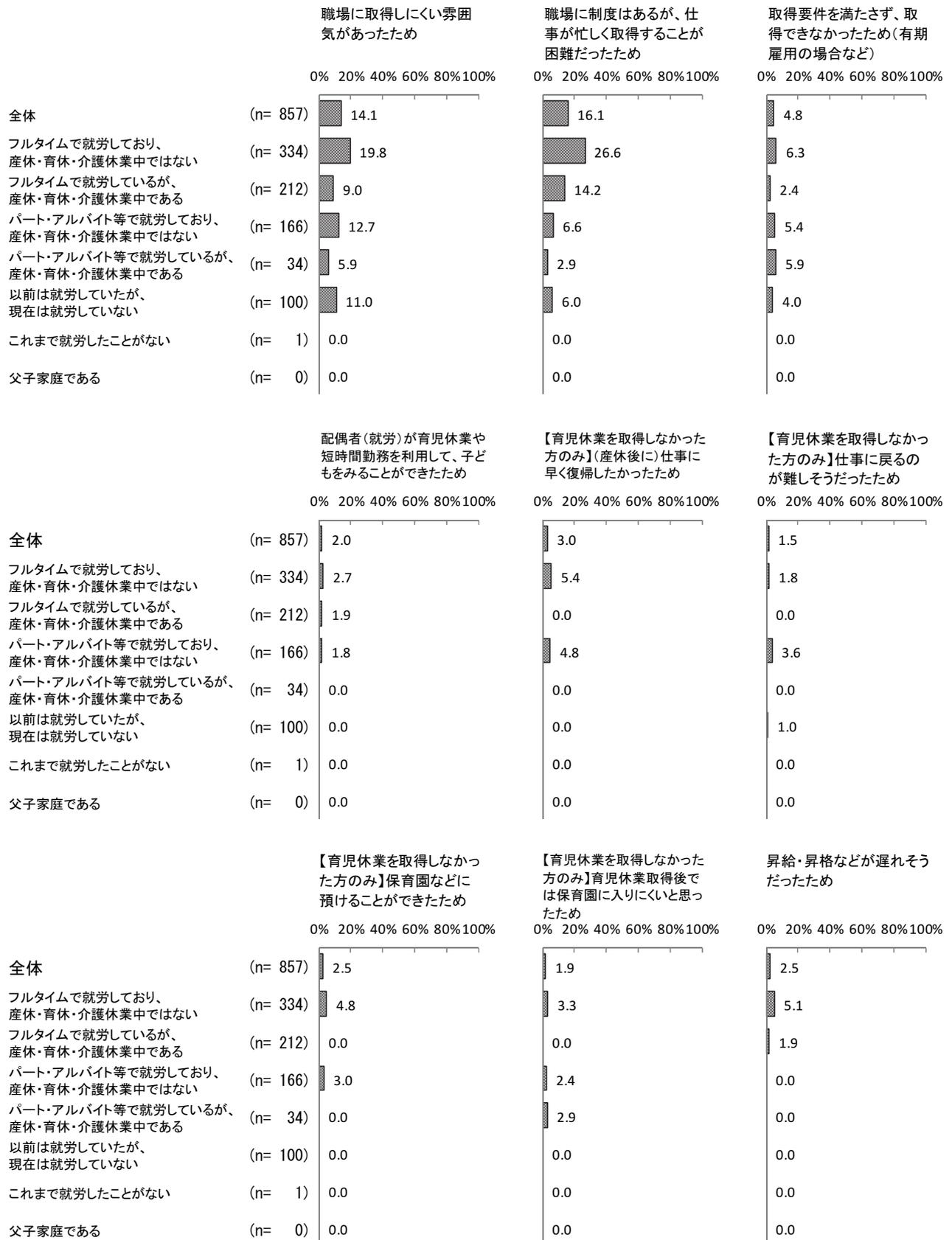


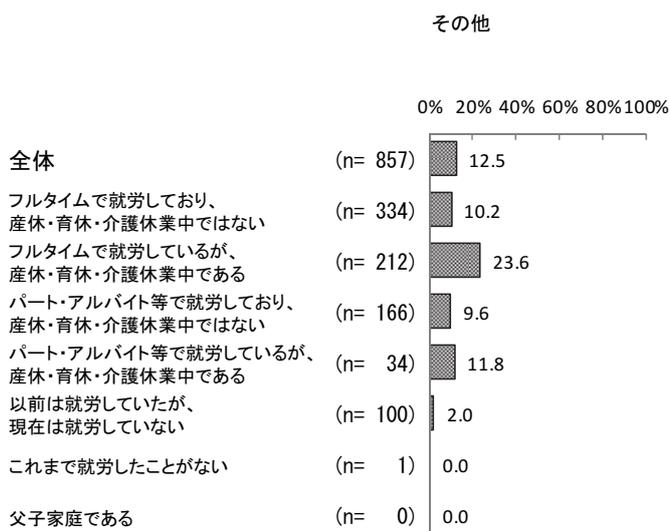
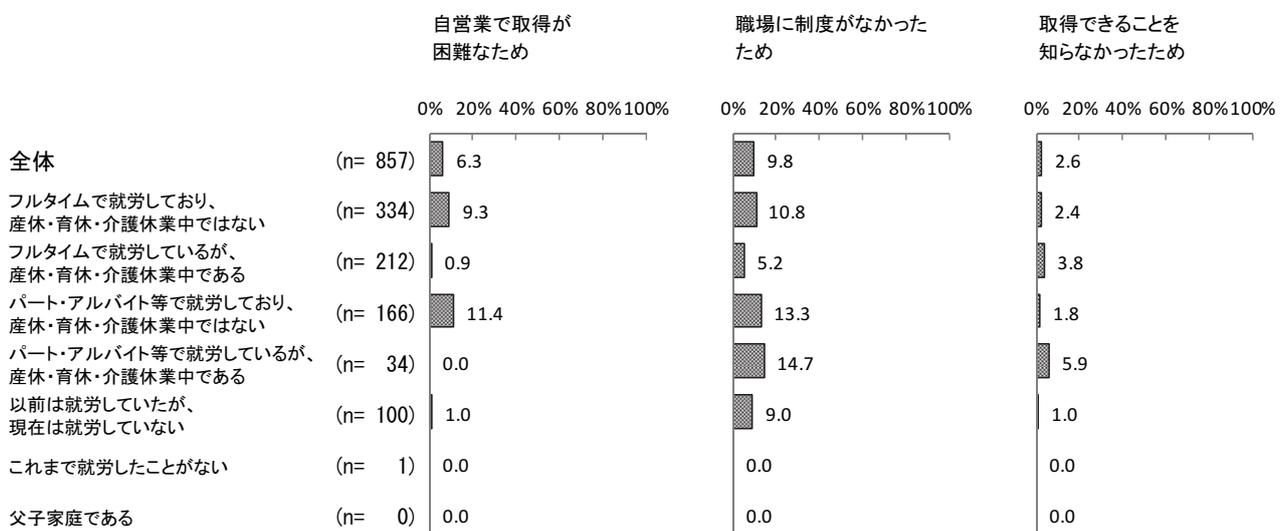
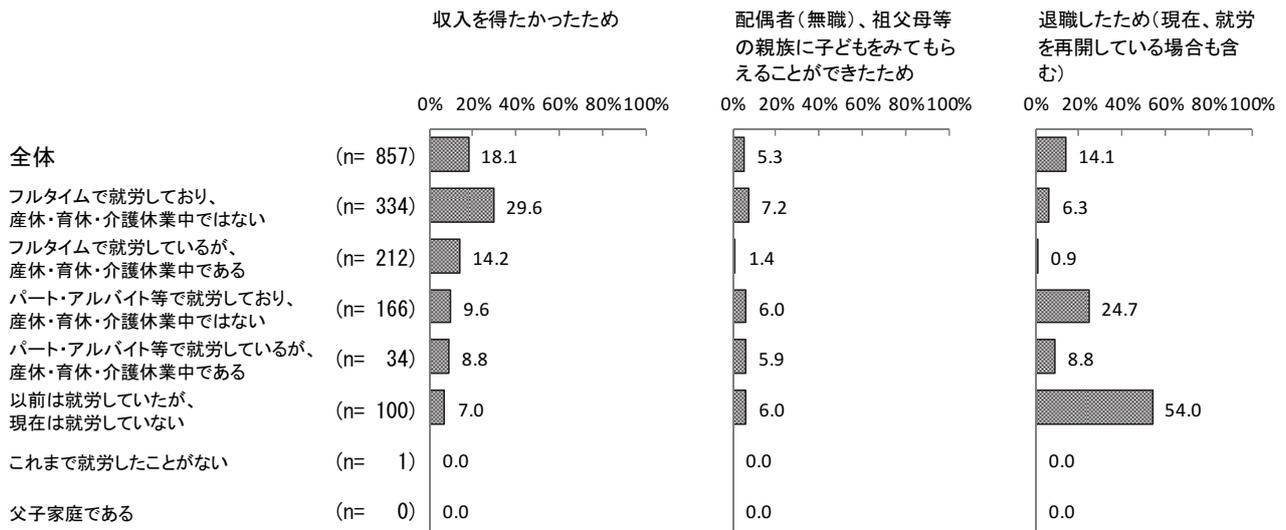
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問25で育児休業又は短時間勤務のどちらか1つでも取得しなかった人

母親の就労状況別でみると、「収入を得たかったため」では、『フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』が 29.6%と最も多く、『以前は就労していたが、現在は就労していない』が 7.0%と最も少なくなっている。

図表 167 育児休業又は短時間勤務を取得しなかった理由（母親）－母親就労状況別





※複数回答のため、合計は100%に一致しない

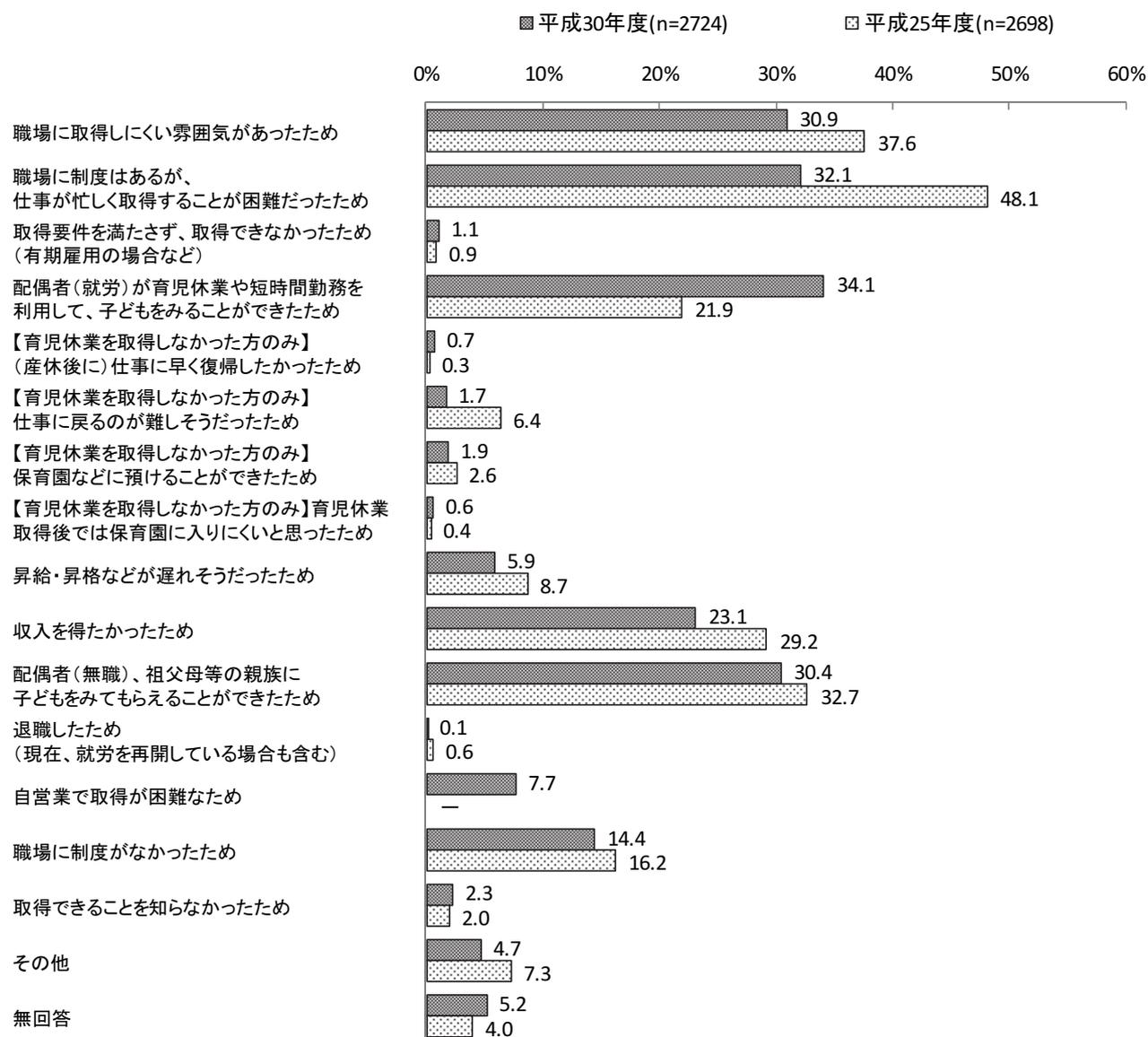
※回答対象は問25で育児休業又は短時間勤務のどちらか1つでも取得しなかった人

(b) 父親

父親の育児休業又は短時間勤務を取得しなかった理由について、平成30年度では「配偶者（就労）が育児休業や短時間勤務を利用して、子どもをみることであったため」が34.1%と最も多く、次いで「職場に制度はあるが、仕事が忙しく取得することが困難だったため」が32.1%、「職場に取得しにくい雰囲気があったため」が30.9%となっている。

平成25年度と比較すると、「配偶者（就労）が育児休業や短時間勤務を利用して、子どもをみることであったため」12.2ポイント増加し、「職場に取得しにくい雰囲気があったため」「職場に制度はあるが、仕事が忙しく取得することが困難だったため」は、それぞれ6.7ポイント、16.0ポイント減少している。

図表 168 育児休業又は短時間勤務を取得しなかった理由（父親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問25で育児休業又は短時間勤務のどちらか1つでも取得しなかった人

## 1-10-3 育児休業取得後の職場復帰の状況

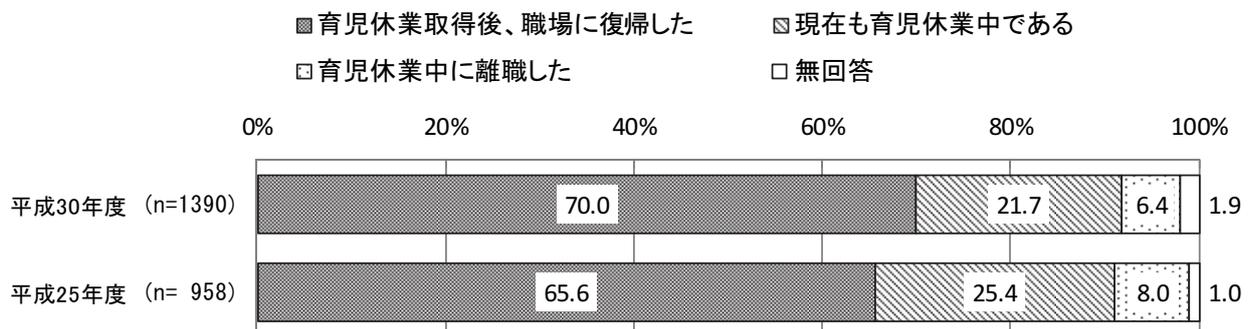
問25-2. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか（取得した又は取得中の方について、それぞれ○は1つだけ）。

## (a) 母親

母親の育児休業取得後の職場復帰の状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が70.0%、「現在も育児休業中である」が21.7%、「育児休業中に離職した」が6.4%となっている。

平成25年度と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が4.4ポイント増加し、「現在も育児休業中である」「育児休業中に離職した」は、それぞれ3.7ポイント、1.6ポイント減少している。

図表 169 育児休業取得後の職場復帰の状況（母親）



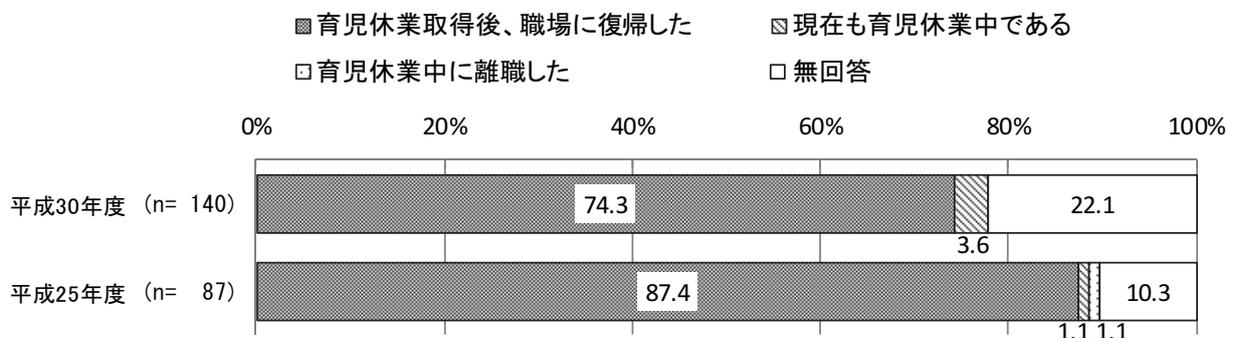
※回答対象は問25で育児休業を取得した人

## (b) 父親

父親の育児休業取得後の職場復帰の状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.3%、「現在も育児休業中である」が3.6%となっている。

平成25年度と比較すると、「現在も育児休業中である」が2.5ポイント増加し、「育児休業取得後、職場に復帰した」は13.1ポイント減少している。

図表 170 育児休業取得後の職場復帰の状況（父親）



※回答対象は問25で育児休業を取得した人

### 1-10-4 育児休業取得後の職場復帰のタイミング

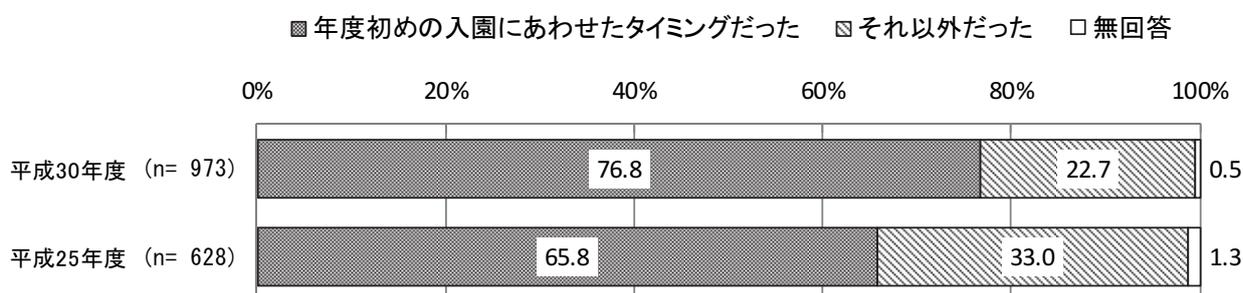
問25-3. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか（取得した又は取得中の方について、それぞれ○は1つだけ）。

#### (a) 母親

母親の育児休業取得後の職場復帰のタイミングについて、「年度初めの入園にあわせたタイミングだった」が76.8%、「それ以外だった」が22.7%となっている。

平成25年度と比較すると、「年度初めの入園にあわせたタイミングだった」が11.0ポイント増加し、「それ以外だった」は10.3ポイント減少している。

図表 171 育児休業取得後の職場復帰のタイミング（母親）



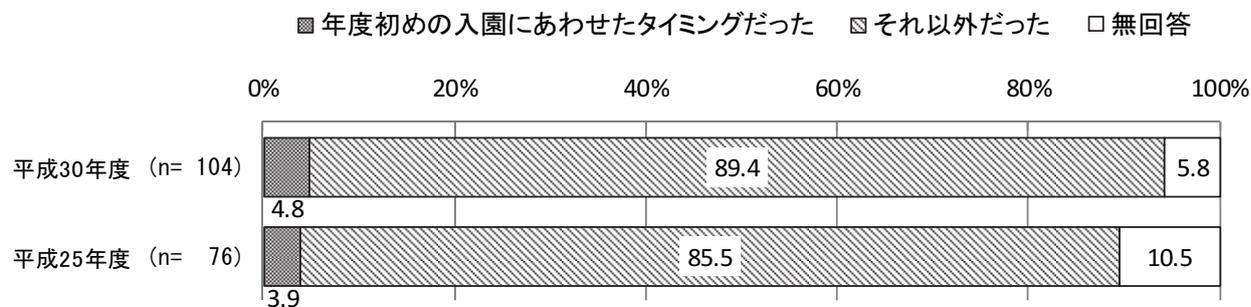
※回答対象は問25-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人

#### (b) 父親

父親の育児休業取得後の職場復帰のタイミングについて、「年度初めの入園にあわせたタイミングだった」が4.8%、「それ以外だった」が89.4%となっている。

平成25年度と比較すると、「年度初めの入園にあわせたタイミングだった」「それ以外だった」は、それぞれの0.9ポイント、3.9ポイント増加している。

図表 172 育児休業取得後の職場復帰のタイミング（父親）



※回答対象は問25-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人

### 1-10-5 実際の職場復帰の時期と希望する職場復帰の時期

問25-4. 育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか（取得した又は取得中の方について、それぞれかっこ内に数字で）。

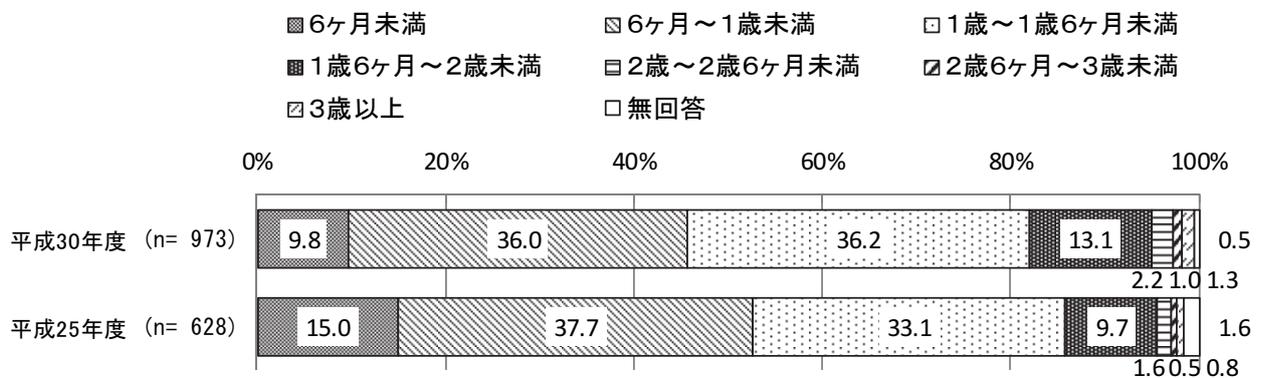
(a) 母親

(1) 実際の職場復帰の時期

母親の実際の職場復帰の時期について、平成30年度では「1歳～1歳6ヶ月未満」が36.2%と最も多く、次いで「6ヶ月～1歳未満」36.0%、「1歳6ヶ月～2歳未満」が13.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「1歳6ヶ月～2歳未満」が3.4ポイント増加し、「6ヶ月未満」は5.2ポイント減少している。

図表 173 実際の職場復帰の時期（母親）



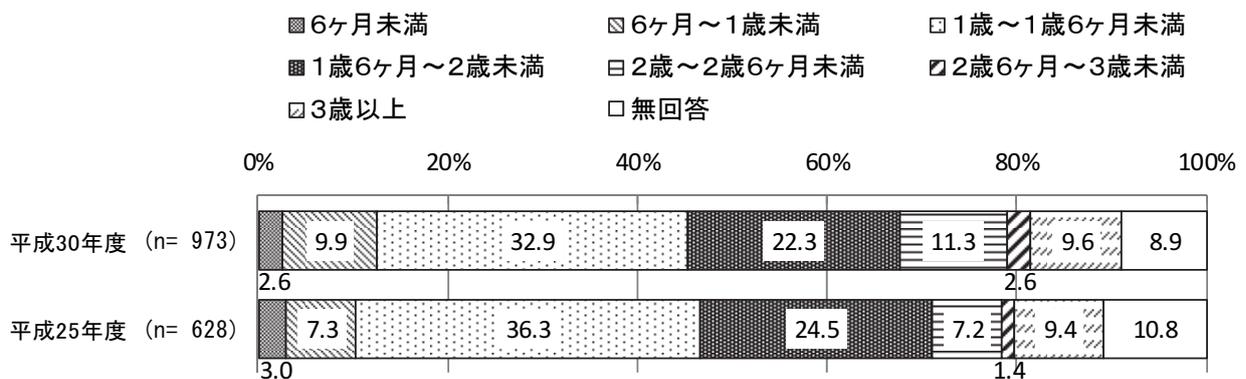
※回答対象は問25-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人

(2) 希望する職場復帰の時期

母親の希望する職場復帰の時期について、平成30年度では「1歳～1歳6ヶ月未満」が32.9%と最も多く、次いで「1歳6ヶ月～2歳未満」が22.3%、「2歳～2歳6ヶ月未満」が11.3%となっている。

平成25年度と比較すると、「2歳～2歳6ヶ月未満」が4.1ポイント増加し、「1歳～1歳6ヶ月未満」は3.4ポイント減少している。

図表 174 希望する職場復帰の時期（母親）



※回答対象は問25-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人

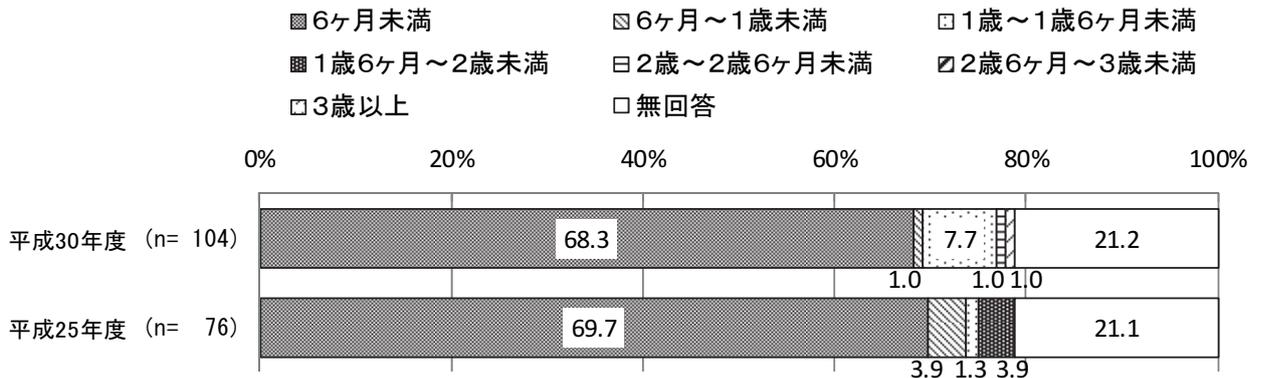
(b) 父親

(1) 実際の職場復帰の時期

父親の実際の職場復帰の時期について、平成30年度では「6ヶ月未満」が68.3%と最も多く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」7.7%となっている。

平成25年度と比較すると、「1歳～1歳6ヶ月未満」が6.4ポイント増加し、「6ヶ月～1歳未満」が2.9ポイント減少している。

図表 175 実際の職場復帰の時期（父親）



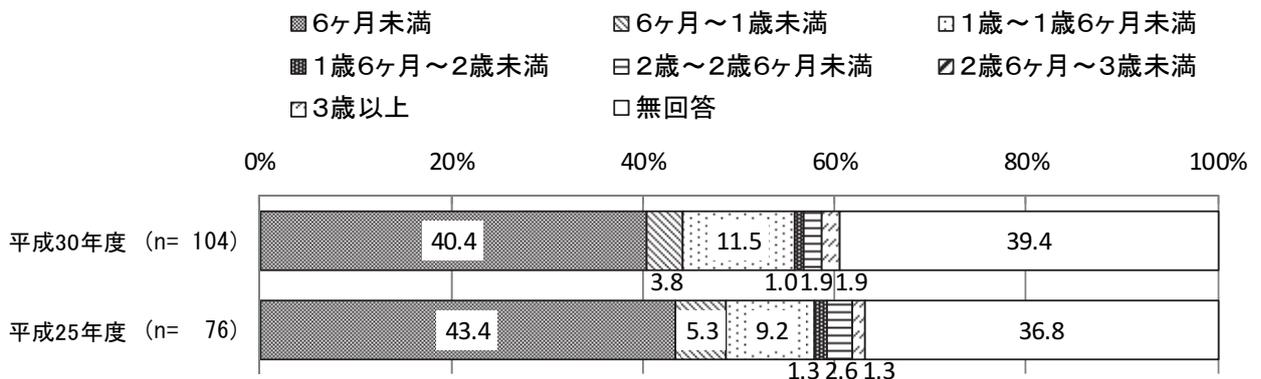
※回答対象は問25-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人

(2) 希望する職場復帰の時期

父親の希望する職場復帰の時期について、平成30年度では「6ヶ月未満」が40.4%と最も多く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」が11.5%、「6ヶ月～1歳未満」が3.8%となっている。

平成25年度と比較すると、「1歳～1歳6ヶ月未満」が2.3ポイント増加し、「6ヶ月未満」「6ヶ月～1歳未満」が、それぞれ3.0ポイント、1.5ポイント減少している。

図表 176 希望する職場復帰の時期（父親）



※回答対象は問25-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人

## 1-10-6 育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由

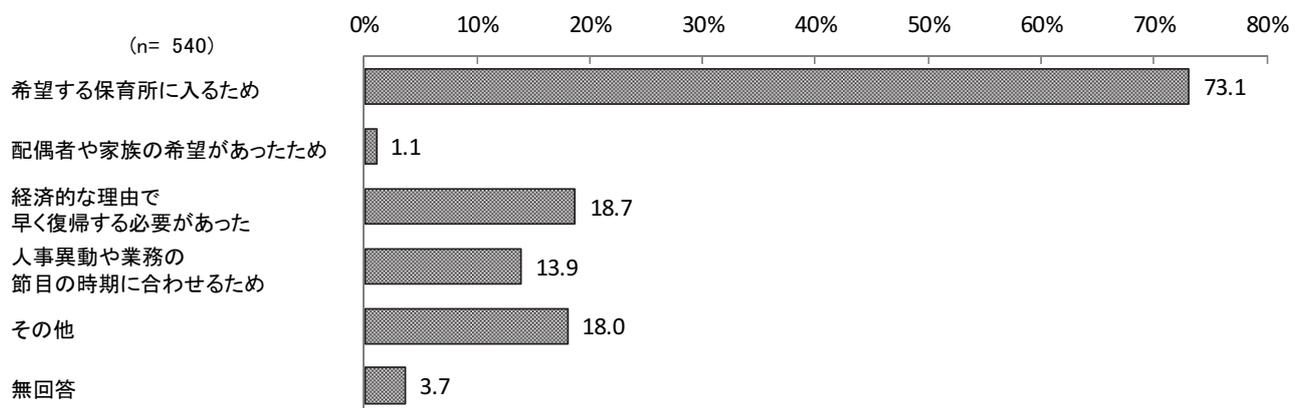
問25-5. 希望の時期に職場復帰しなかった（できなかった）理由は、次のうちどれですか。（1）希望より早く職場復帰した方、（2）希望より遅く職場復帰した方それぞれについてお答えください（〇はあてはまるものすべて）。

## (1) 希望より早く職場復帰した方

## (a) 母親

希望より早く職場復帰した母親が育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由について、「希望する保育所に入るため」が73.1%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が18.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が13.9%となっている。

図表 177 育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由（希望より早く職場復帰した母親）



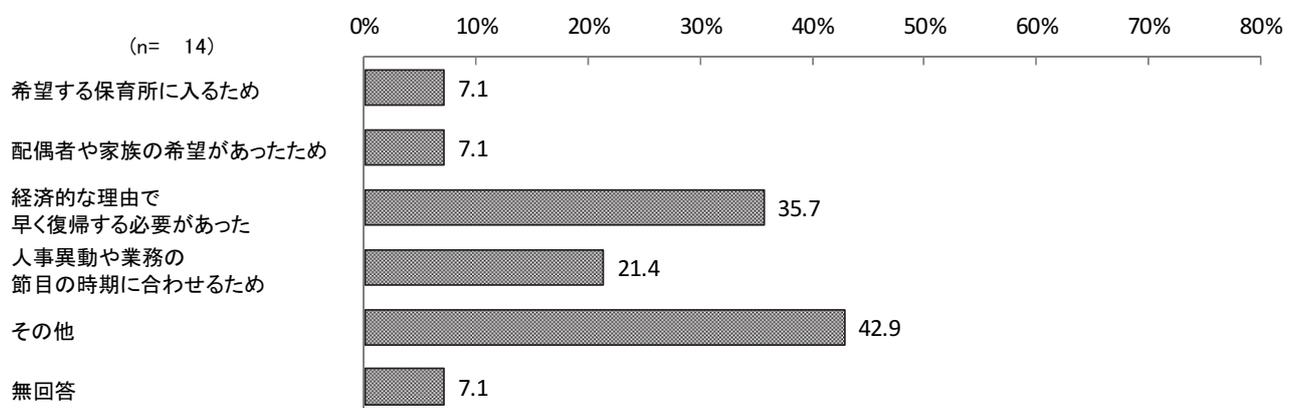
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問25-4で希望より早く職場復帰した人

## (b) 父親

希望より早く職場復帰した父親が育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由について、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が35.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が21.4%となっている。

図表 178 育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由（希望より早く職場復帰した父親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

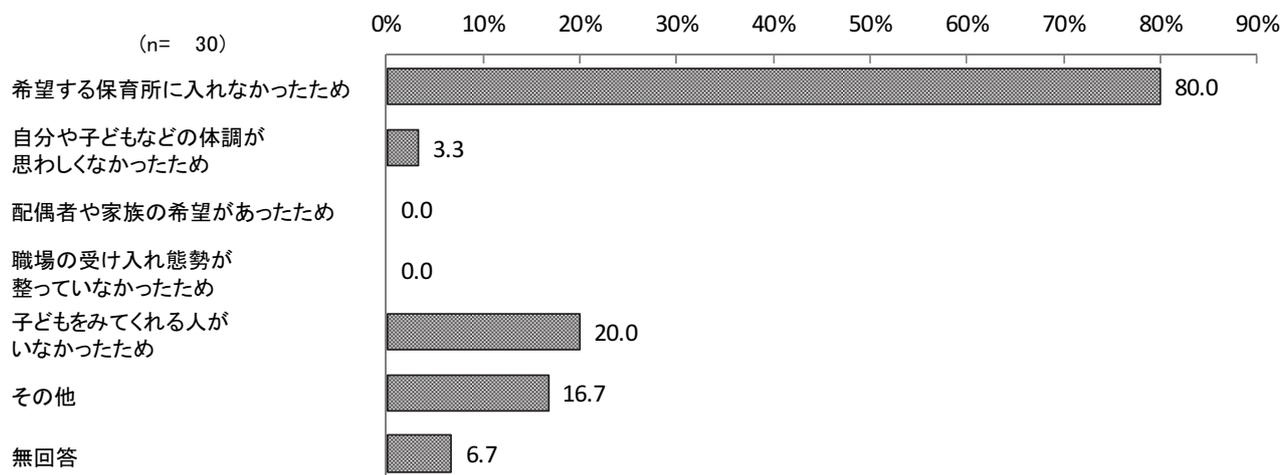
※回答対象は問25-4で希望より早く職場復帰した人

(2) 希望より遅く職場復帰した方

(a) 母親

希望より遅く職場復帰した母親が育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由について、「希望する保育所に入れなかったため」が80.0%、「子どもをみてる人がいなかったため」が20.0%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」3.3%となっている。

図表 179 育児休業から希望の時期に職場復帰しなかった理由（希望より遅く職場復帰した母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問25-4で希望より遅く職場復帰した人

(b) 父親

有効な回答はなかった。

## 1-10-7 育児休業から職場復帰する予定時期

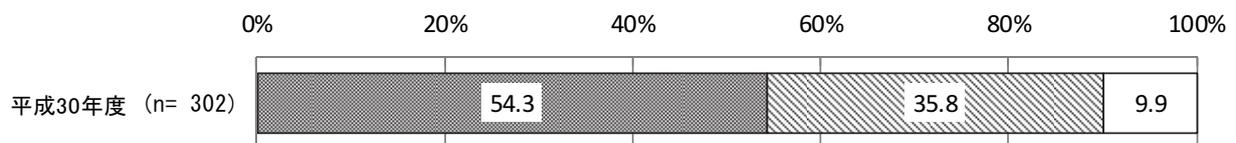
問25-6. いつまで育児休業を取得する予定ですか（それぞれ○は1つだけ）

## (a) 母親

母親の育児休業から職場復帰する予定時期について、「お子さんが1歳になって最初の4月入園以降に復帰する」が54.3%、「お子さんが1歳になって最初の4月入園前に復帰する」が35.8%となっている。

図表 180 育児休業から職場復帰する予定時期（母親）

- お子さんが1歳になって最初の4月入園以降に復帰する
- ▨ お子さんが1歳になって最初の4月入園前に復帰する
- 無回答



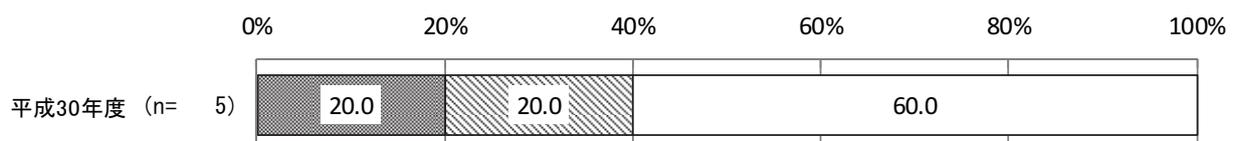
※回答対象は問25-2で母親・父親のいずれかが現在も育児休業中である人

## (b) 父親

父親の育児休業から職場復帰する予定時期について、以下の図の通りである。

図表 181 育児休業から職場復帰する予定時期（父親）

- お子さんが1歳になって最初の4月入園以降に復帰する
- ▨ お子さんが1歳になって最初の4月入園前に復帰する
- 無回答



※回答対象は問25-2で母親・父親のいずれかが現在も育児休業中である人

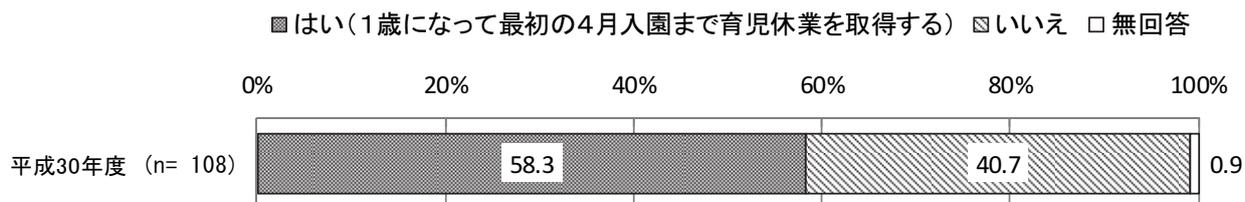
### 1-10-8 1歳時に必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得意向

問25-7. お子さんが1歳になって最初の4月入園で必ず利用できる事業があれば、それまで育児休業を取得しますか（それぞれ○は1つだけ）。

#### (a) 母親

母親の1歳時に必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得意向について、「はい（1歳になって最初の4月入園まで育児休業を取得する）」が58.3%、「いいえ」が40.7%となっている。

図表 182 1歳時に必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得意向（母親）

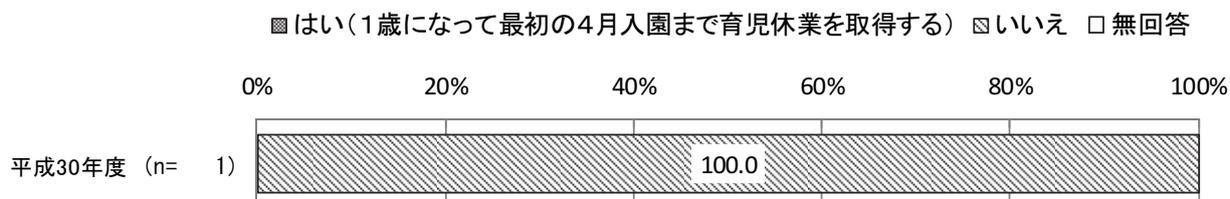


※回答対象は問25-6で「最初の4月入園よりも前に復帰する」と回答した人

#### (b) 父親

父親の1歳時に必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得意向について、以下の図の通りである。

図表 183 1歳時に必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得意向（父親）



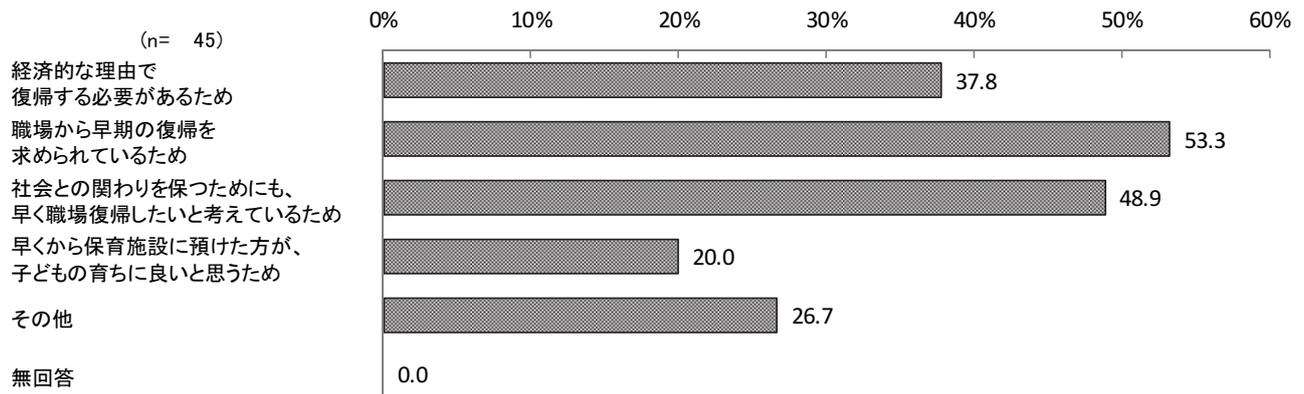
※回答対象は問25-6で「最初の4月入園よりも前に復帰する」と回答した人

## 1-10-9 1歳になる前に職場復帰したい理由

問25-8. 1歳になって最初の4月入園よりも前に復帰したい理由は、次のうちどれですか（〇はあてはまるものすべて）。

1歳になる前に職場復帰したい理由について、「職場から早期の復帰を求められているため」が53.3%と最も多く、次いで「社会との関わりを保つためにも、早く職場復帰したいと考えているため」が48.9%、「経済的な理由で復帰する必要があるため」が37.8%となっている。

図表 184 1歳になる前に職場復帰したい理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問25-7で「いいえ」と回答した人

## 1-11 子育て全般について

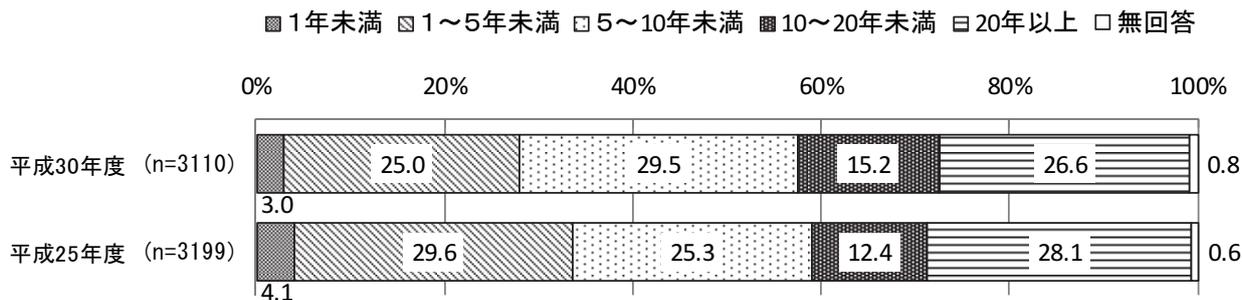
### 1-11-1 足立区内の居住年数

問26. あなたは足立区に住んで何年になりますか（○は1つだけ）。

足立区内の居住年数について、平成30年度では「5～10年未満」が29.5%と最も多く、次いで「20年以上」が26.6%、「1～5年未満」が25.0%となっている。

平成25年度と比較すると、「5～10年未満」が4.2ポイント増加し、「1～5年未満」は4.6ポイント減少している。

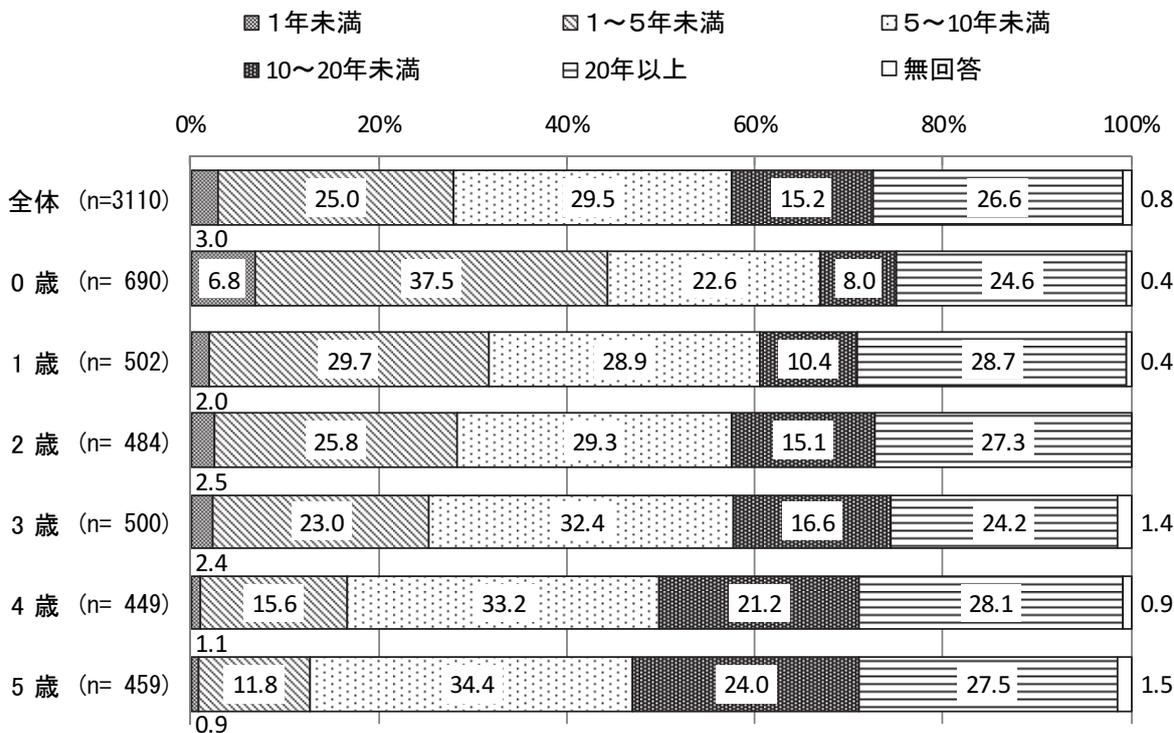
図表 185 足立区内の居住年数



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『1～5年未満』では「0歳」が37.5%と最も多くなっており、年齢が上がるにつれて、割合は減少傾向にある。

図表 186 足立区内の居住年数—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

## 1-11-2 足立区における子育て

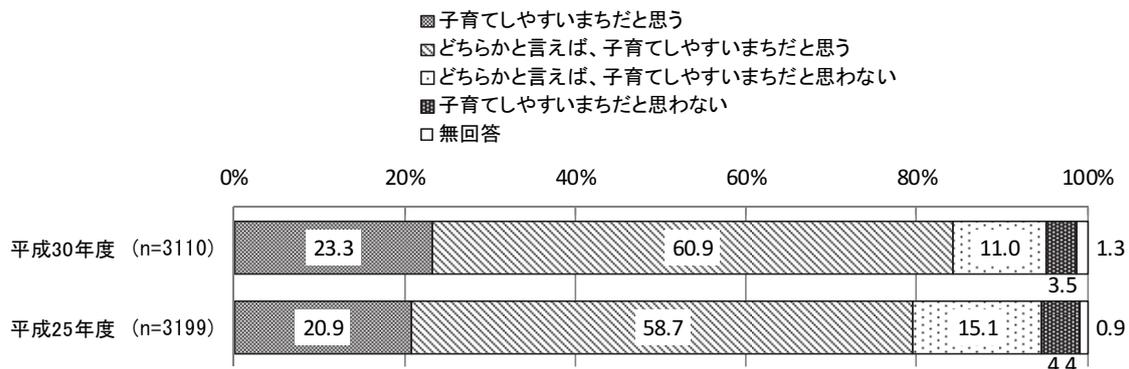
### 1-11-2-1 足立区における子育てのしやすさ

問 27. 足立区は、子育てしやすいまちだと思いますか（○は1つだけ）。

足立区における子育てのしやすさについて、平成30年度では「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が60.9%と最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が23.3%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」が11.0%となっている。

平成25年度と比較すると、「子育てしやすいまちだと思う」「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が、それぞれ2.4ポイント、2.2ポイント増加し、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」は4.1ポイント減少している。

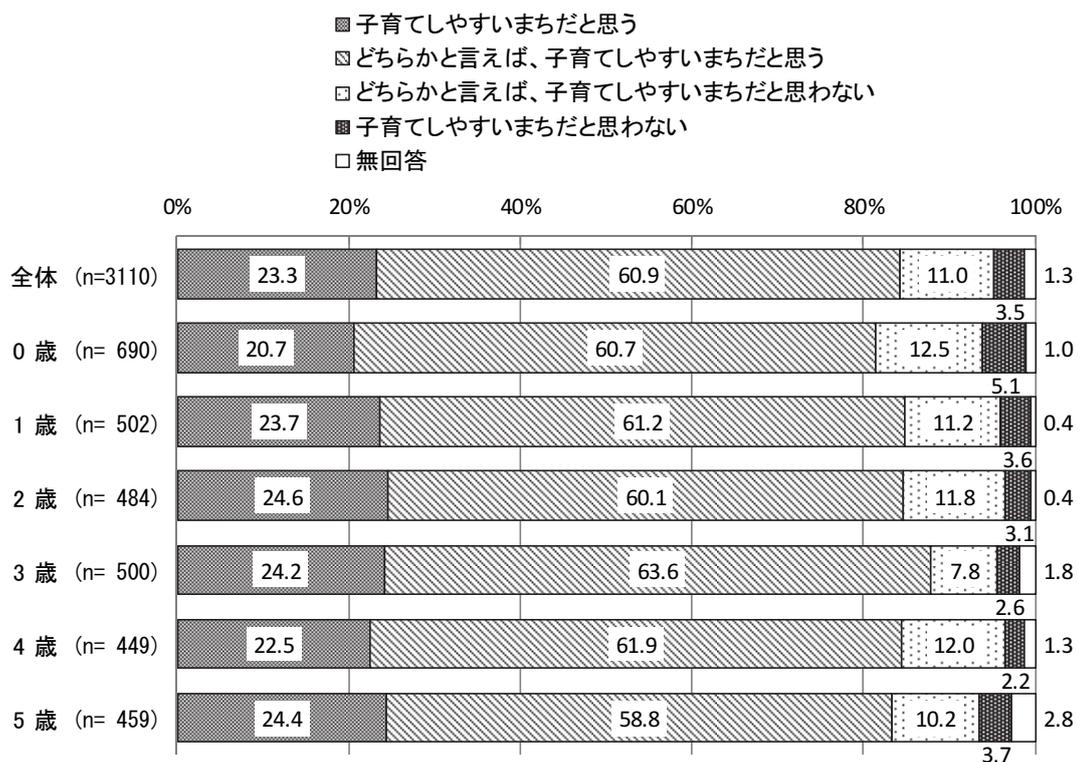
図表 187 足立区における子育てのしやすさ



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

子どもの年齢別でみると、『どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う』では「3歳」が63.6%と最も多く、次いで「4歳」が61.9%、「1歳」が61.2%となっている。

図表 188 足立区における子育てのしやすさ—年齢別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

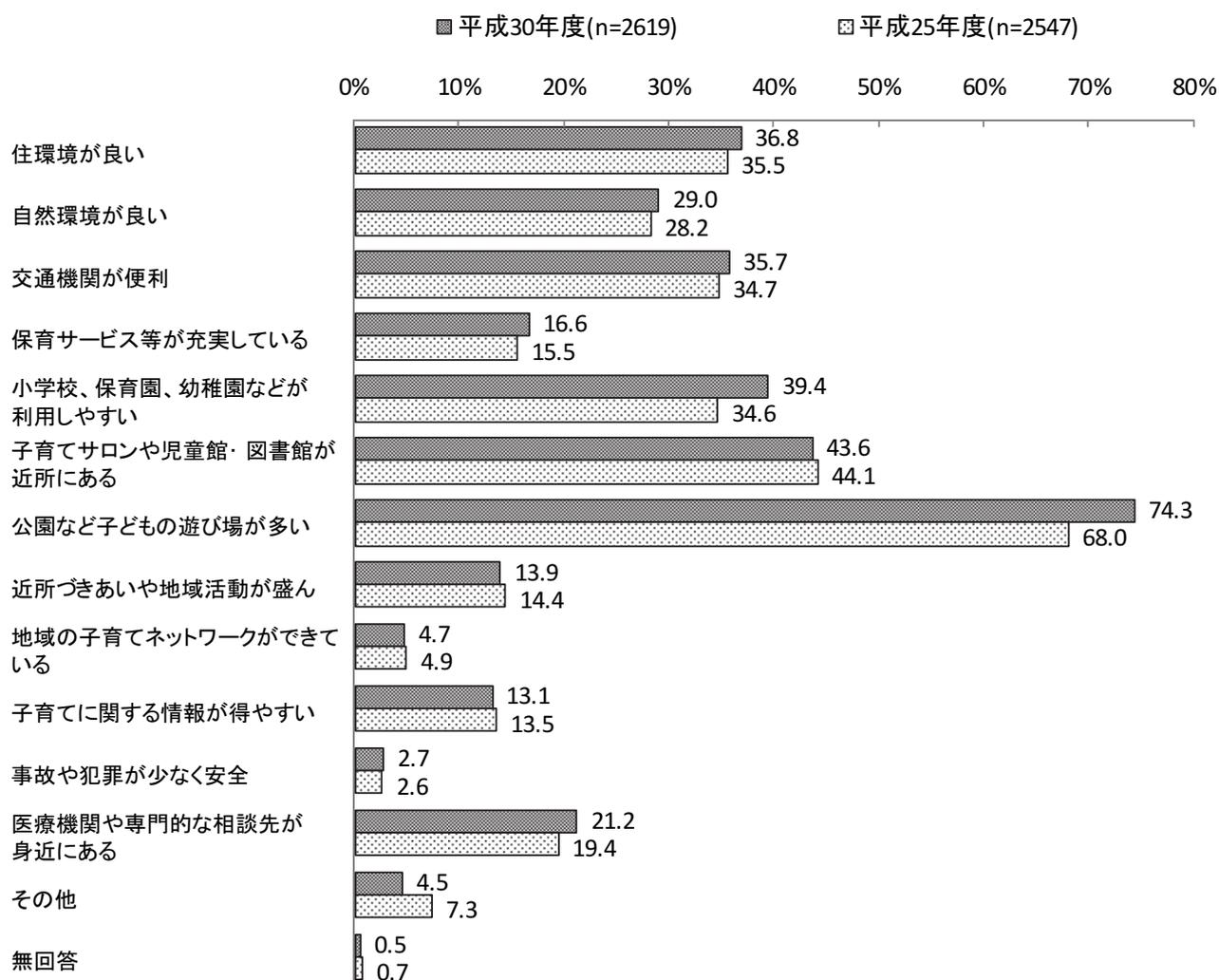
## 1-11-2-2 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由

問27-1. 子育てしやすいまちだと思える理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

足立区が子育てしやすいまちだと思える理由について、平成30年度では「公園など子どもの遊び場が多い」が74.3%と最も多く、次いで「子育てサロンや児童館・図書館が近所にある」が43.6%、「小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい」が39.4%となっている。

平成25年度と比較すると、「小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい」「公園など子どもの遊び場が多い」「医療機関や専門的な相談先が身近にある」が、それぞれ4.8ポイント、6.3ポイント、1.8ポイント増加し、「近所づきあいや地域活動が盛ん」「子育てに関する情報が得やすい」は、0.5ポイント、0.4ポイント減少している。

図表 189 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由

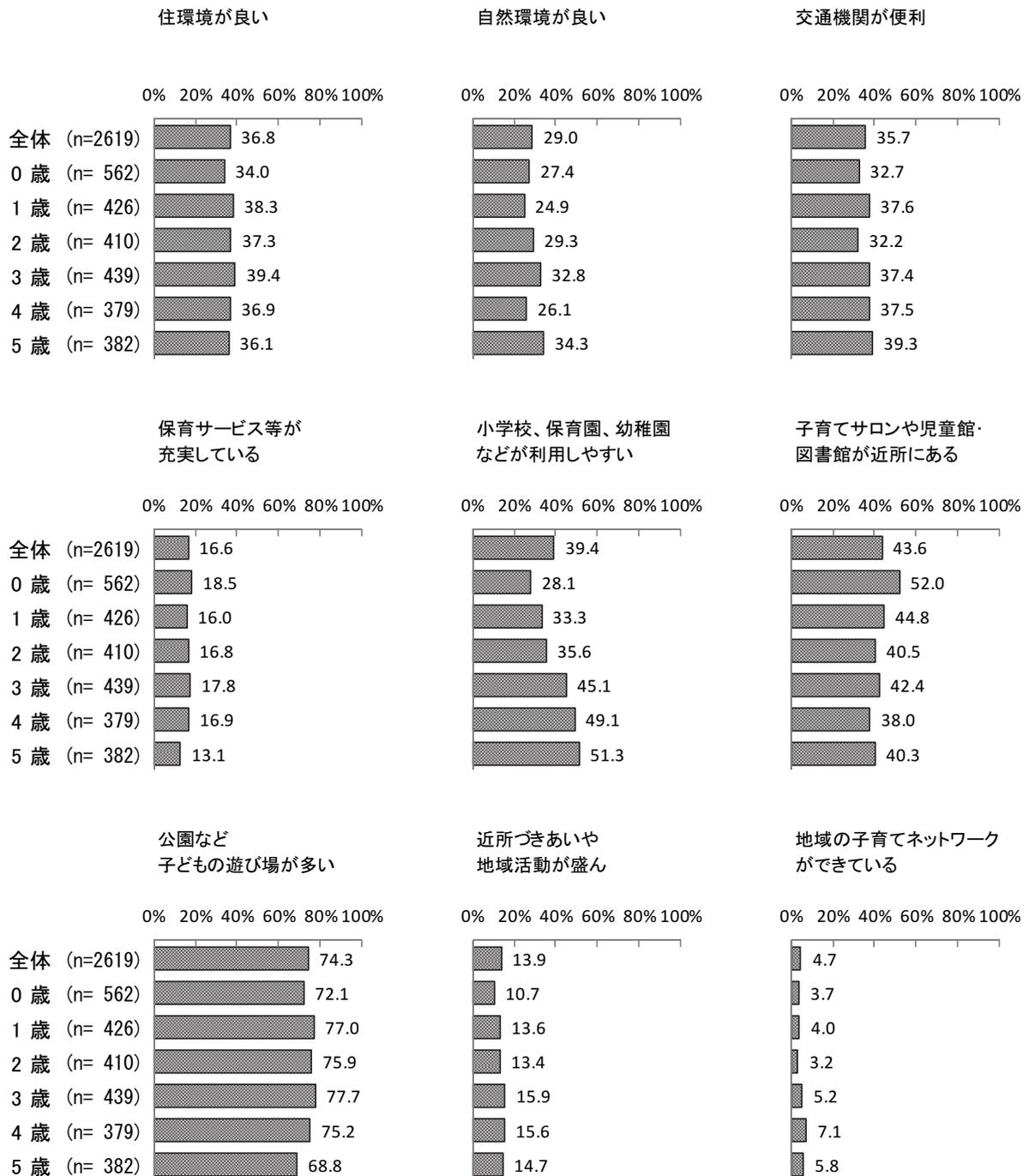


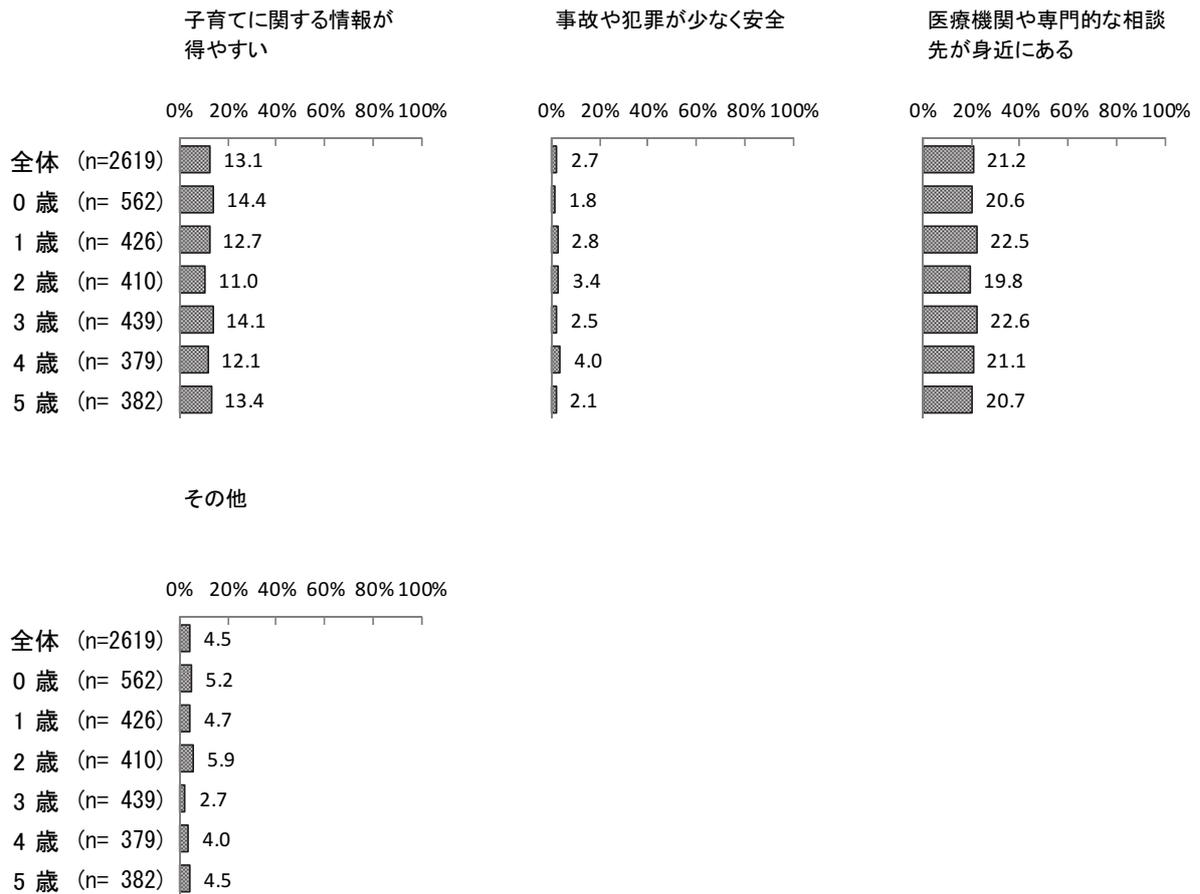
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問27で「子育てしやすい」「どちらかといえば子育てしやすい」と回答した人

子どもの年齢別で見ると、『小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい』では年齢が上がるにつれて割合が高くなり、「5歳」で51.3%と最も多くなっており、『子育てサロンや児童館・図書館が近所にある』では「0歳」が52.0%と最も多く、次いで「1歳」が44.8%、「3歳」が42.4%となっている。

図表 190 足立区が子育てしやすいまちだと思う理由—年齢別





※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問27で「子育てしやすい」「どちらかといえば子育てしやすい」と回答した人

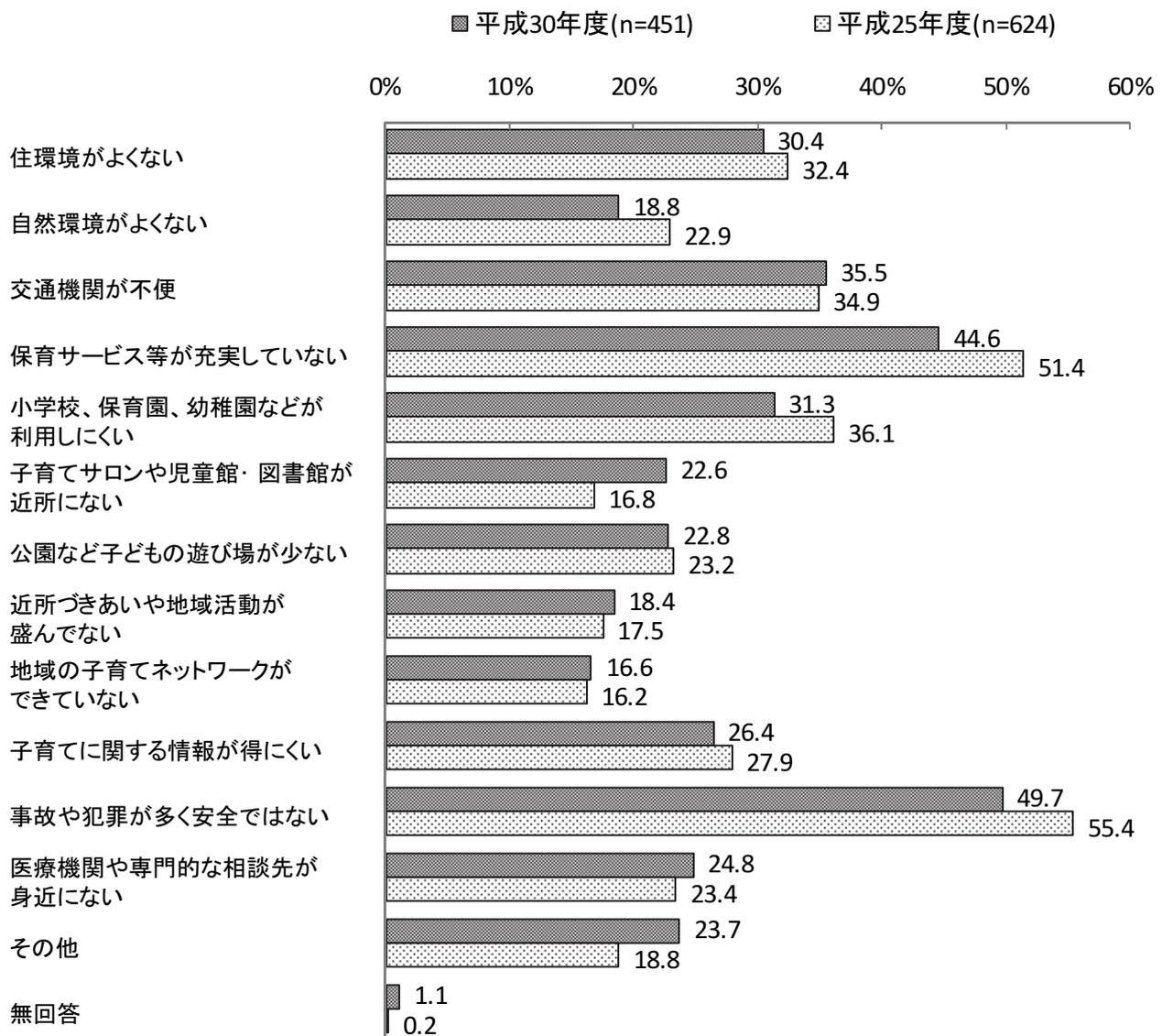
## 1-11-2-3 足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由

問27-2. 子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由について、平成30年度では「事故や犯罪が多く安全ではない」が49.7%と最も多く、次いで「保育サービス等が充実していない」が44.6%、「交通機関が不便」が35.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「子育てサロンや児童館・図書館が近所がない」「近所付き合いや地域活動が盛んでない」「医療機関や専門的な相談先が身近にない」が、それぞれ5.8ポイント、0.9ポイント、1.4ポイント増加し、「保育サービス等が充実していない」「小学校、保育園、幼稚園などが利用しにくい」「事故や犯罪が多く安全ではない」は、それぞれ6.8ポイント、4.8ポイント、5.7ポイント減少している。

図表 191 足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由

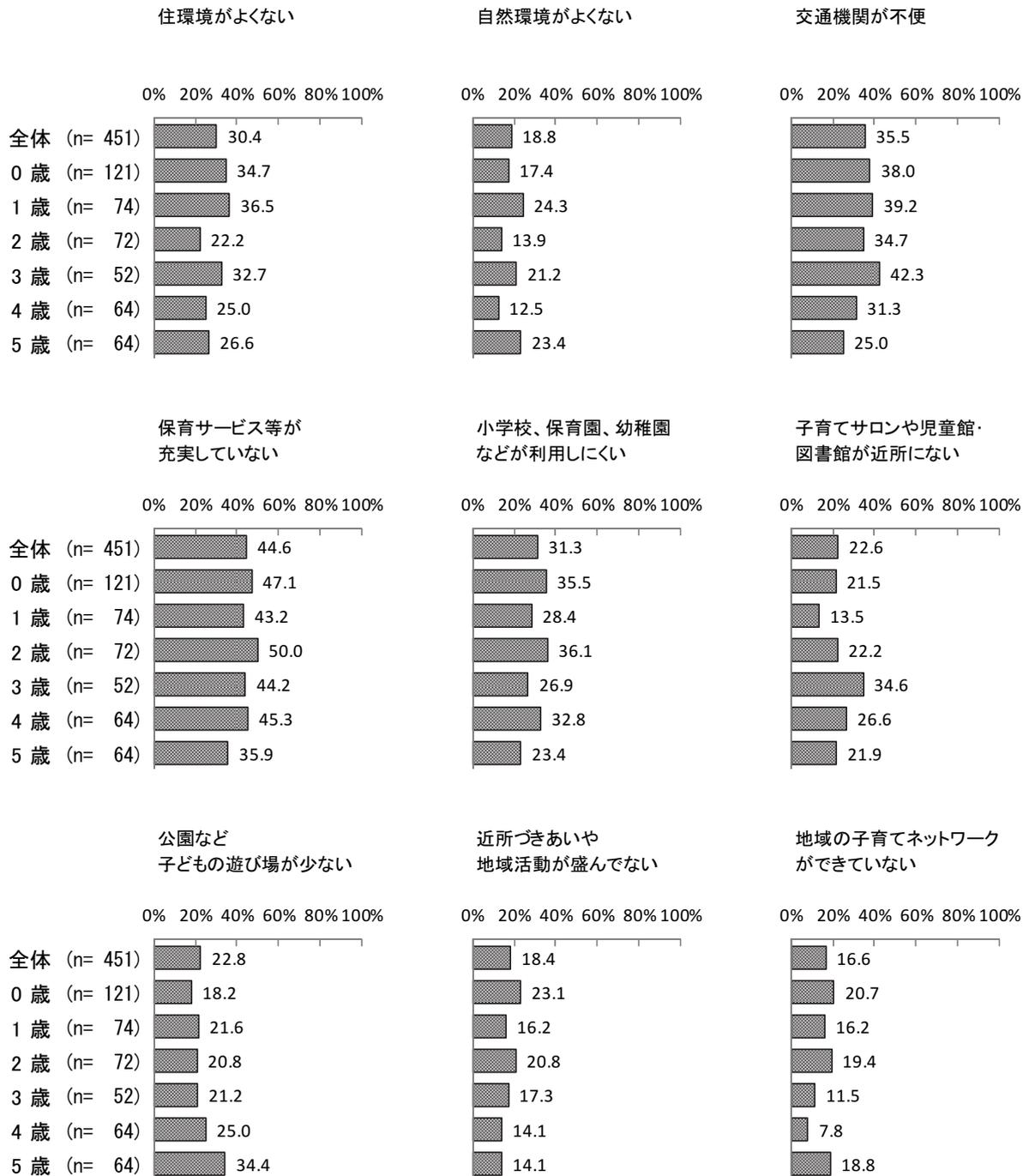


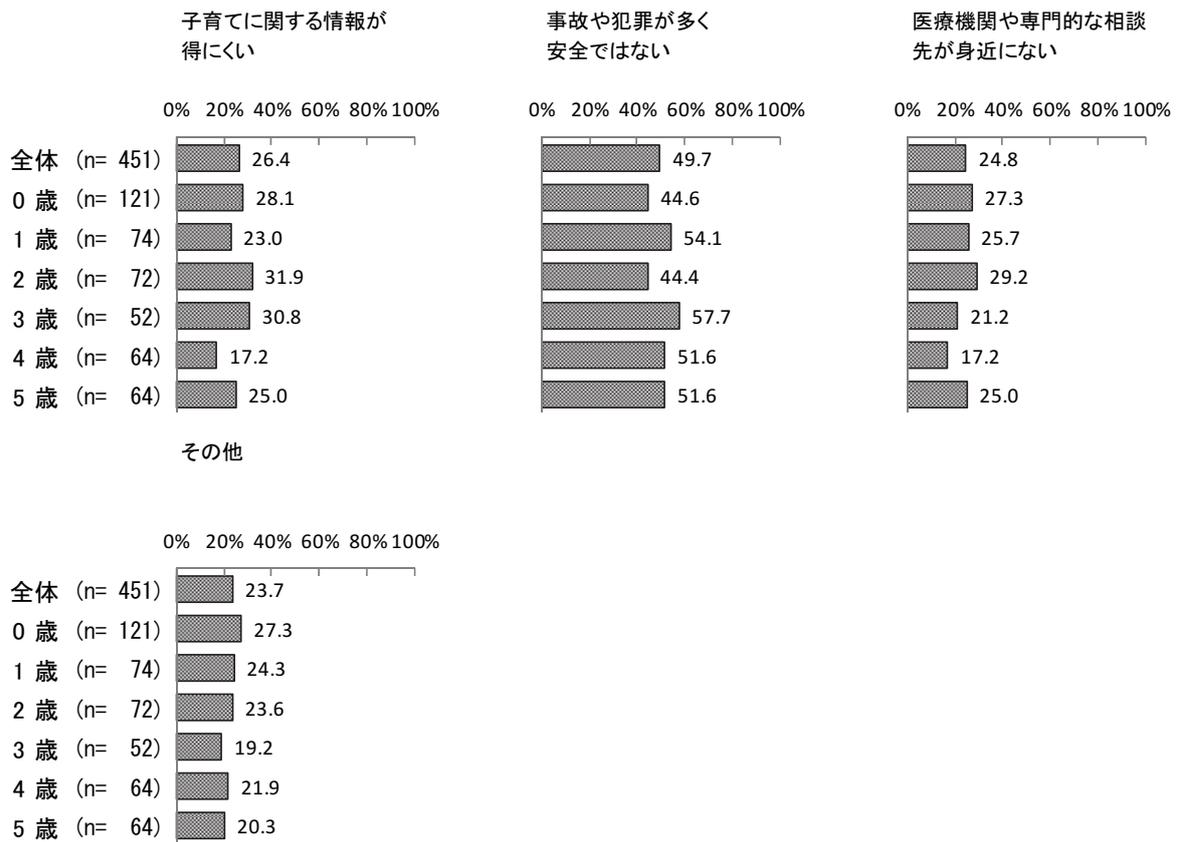
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問27で「子育てしやすいと思わない」「どちらかといえば思わない」と回答した人

子どもの年齢別でみると、『事故や犯罪が多く安全ではない』では「3歳」が57.7%と最も多く、次いで「1歳」が54.1%、「4歳」「5歳」が同じく51.6%と5割を超えて高くなっており、『保育サービス等が充実していない』では「2歳」が50.0%と最も多くなっている。

図表 192 足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由—年齢別





※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問27で「子育てしやすいと思わない」「どちらかといえば思わない」と回答した人

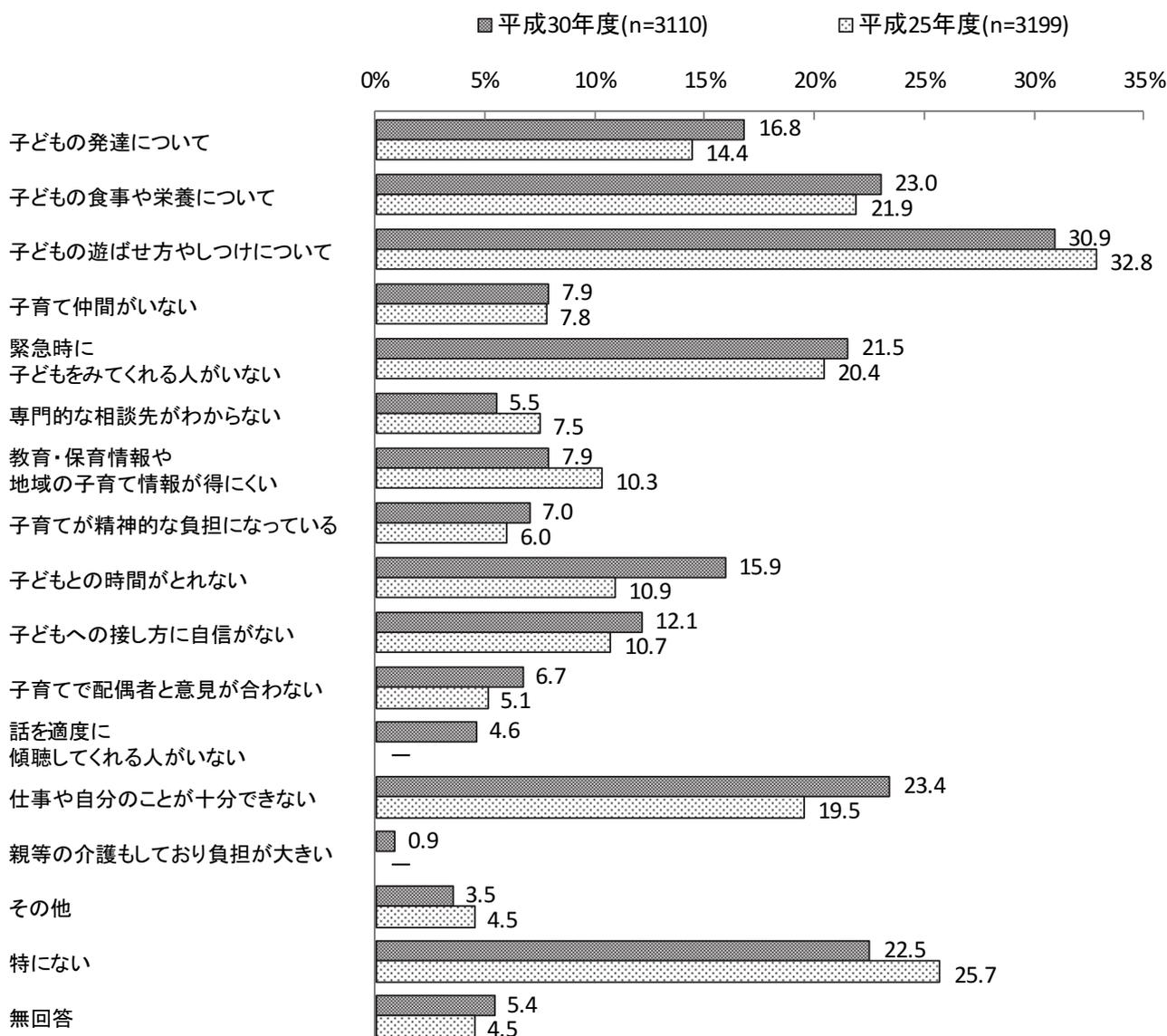
### 1-11-3 子育てに関する悩み

問28. 子育てに関して悩んでいることがありますか（○はあてはまるものすべて）。

子育てに関する悩みについて、平成30年度では「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が30.9%と最も多く、次いで「仕事や自分のことが十分できない」が23.4%、「緊急時に子どもをみてくれる人がいない」が21.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「子どもの発達について」「子どもとの時間がとれない」「仕事や自分のことが十分にできない」が、それぞれ2.4ポイント、5.0ポイント、3.9ポイント増加し、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」「専門的な相談先がわからない」「地域・保育情報や地域の子育て情報が得にくい」は、それぞれ1.9ポイント、2.0ポイント、2.4ポイント減少している。

図表 193 子育てに関する悩み



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学前児童対象調査の全員

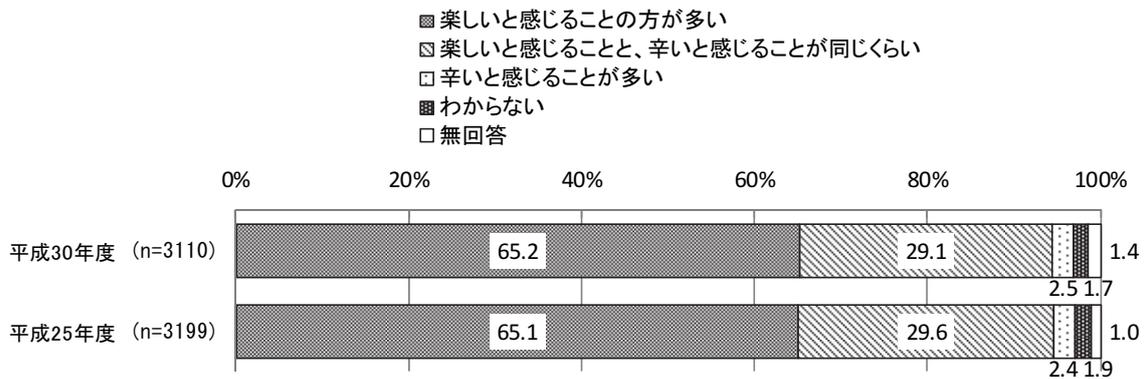
### 1-11-4 子育てについての感想

問29. あなたは、子育てをどのように感じていますか（○は1つだけ）。

子育てについての感想について、平成30年度では「楽しいと感じることの方が多く」が65.2%と最も多く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」が29.1%、「辛いと感じることが多い」が2.5%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

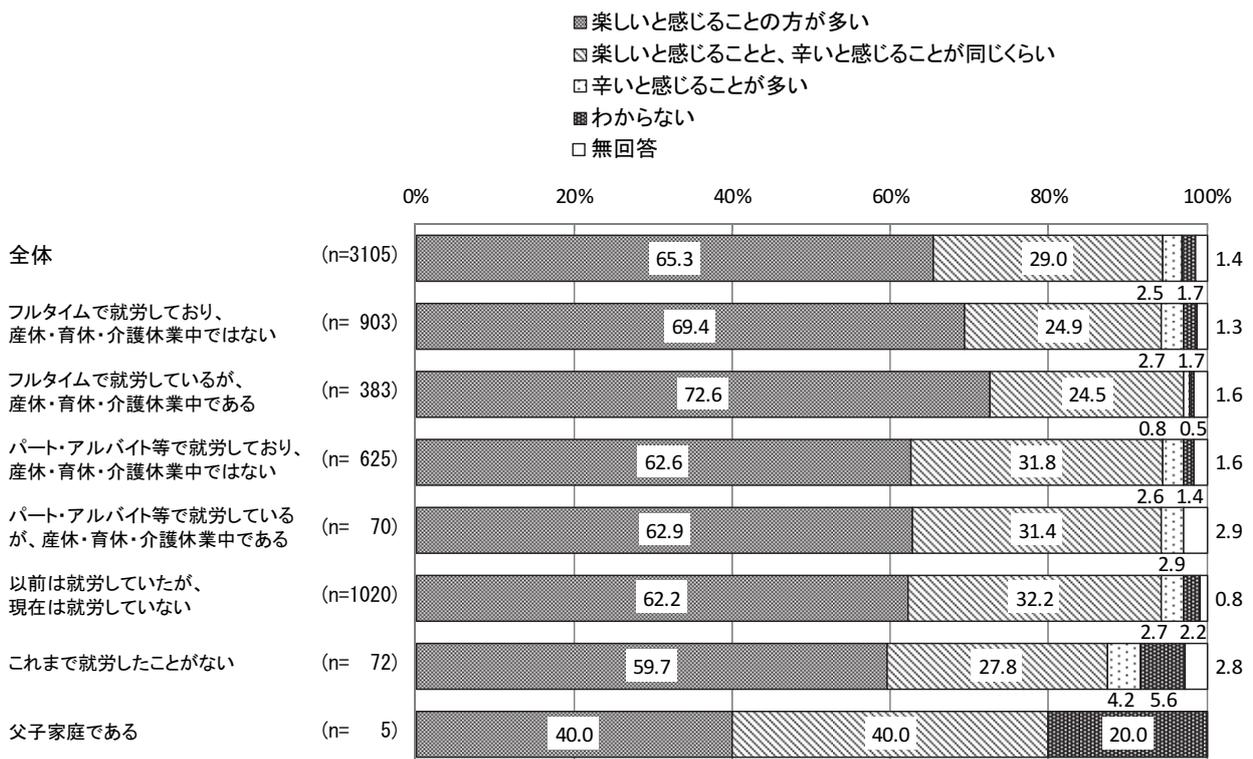
図表 194 子育てについての感想



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

母親の就労状況別でみると、『楽しいと感じることの方が多く』では、母親がフルタイムで就労している世帯の割合が高い傾向にあり、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が72.6%と最も高くなっている一方で、「これまで就労したことがない」は59.7%と最も低くなっている。

図表 195 子育てについての感想—母親就労状況別



※回答対象は就学前児童対象調査の全員

## 2 就学後児童（小学生）調査

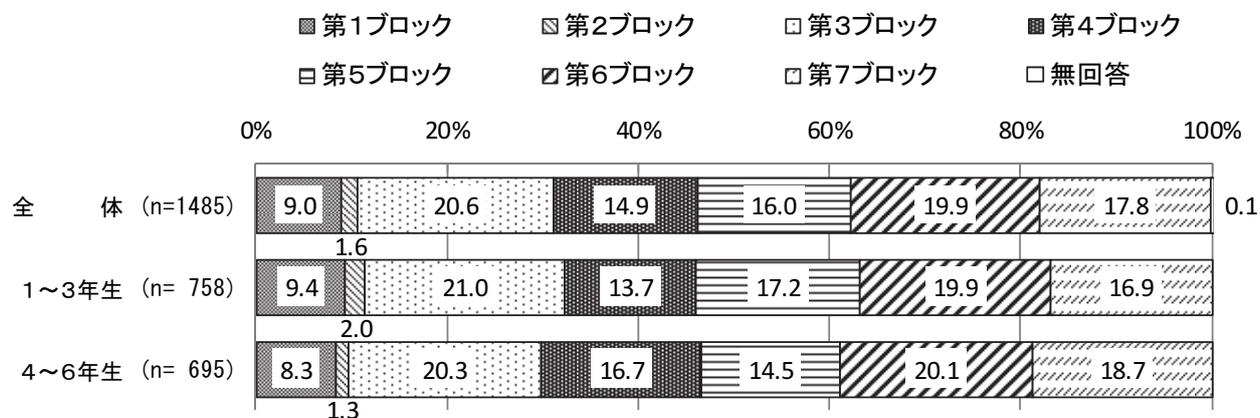
### 2-1 居住地区について

問1. お住まいの地区をカッコ内にご記入ください。

居住地区について、全体では「第3ブロック」が20.6%と最も多く、次いで「第6ブロック」が19.9%、「第7ブロック」が17.8%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「第3ブロック」が21.0%と最も多く、次いで「第6ブロック」が19.9%、「第5ブロック」が17.2%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「第3ブロック」「第5ブロック」がそれぞれ0.7ポイント、2.7ポイント高く、「第6ブロック」は0.2ポイント低くなっている。

図表 196 居住地区



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

## 2-2 子どもと家族の状況について

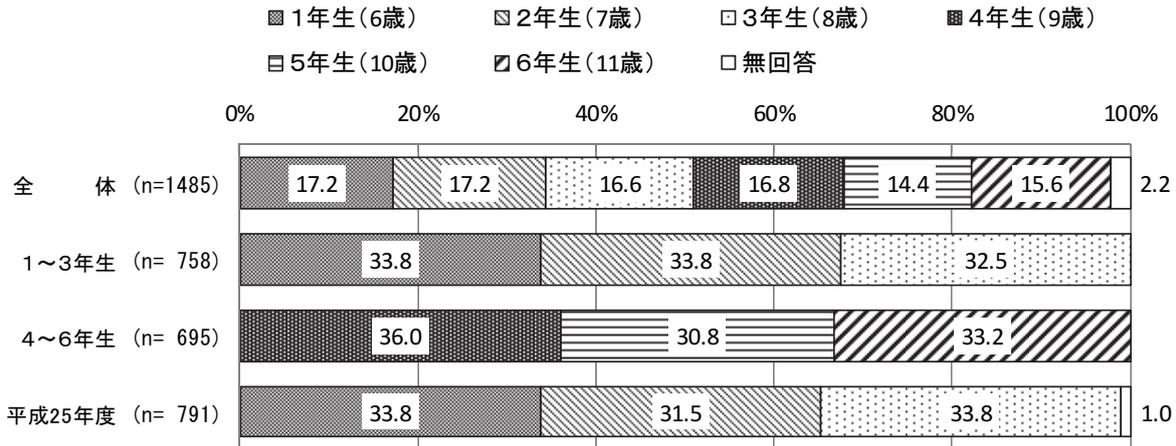
### 2-2-1 子どもの年齢

問2. お子さんの生年月をご記入ください（カッコ内に数字で）。

子どもの年齢について、全体では「1年生（6歳）」と「2年生（7歳）」が17.2%と最も多く、次いで「4年生（9歳）」が16.8%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「2年生（7歳）」が2.3ポイント増加し、「3年生（8歳）」が1.3ポイント減少している。

図表 197 子どもの年齢



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

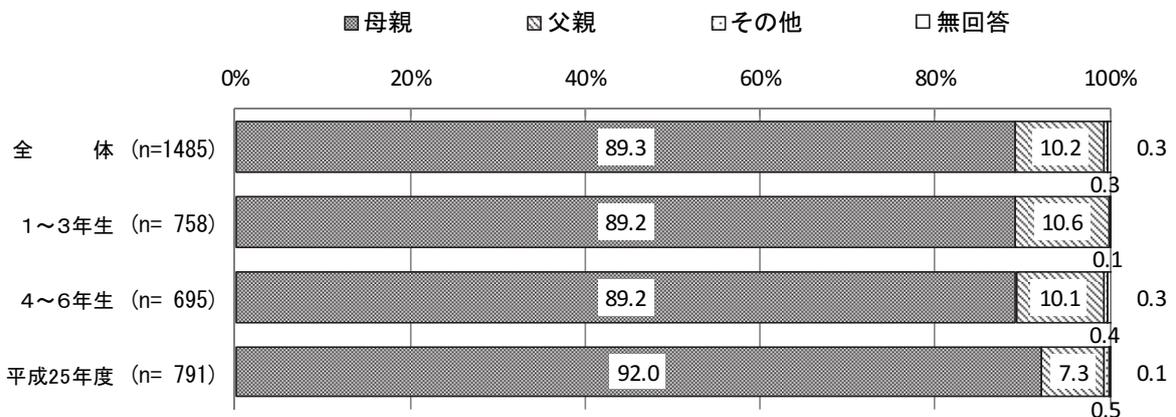
### 2-2-2 調査票の記入者

問3. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（○は1つだけ）。

調査票の記入者について、全体では「母親」が89.3%、「父親」が10.2%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』では大きな差はみられず、平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「母親」が2.8ポイント減少し、「父親」が3.3ポイント増加している

図表 198 調査票の記入者



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

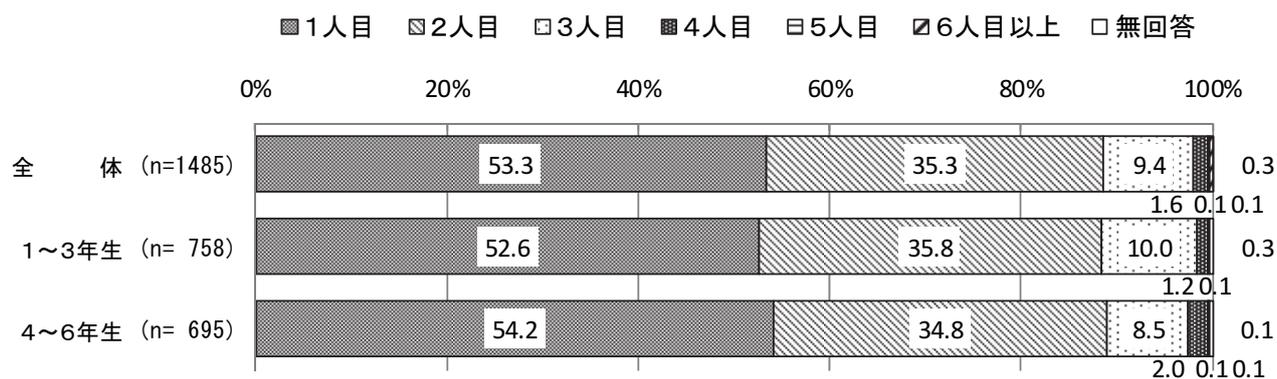
### 2-2-3 何番目の子どもか

問4. お子さんはご回答いただく方にとって何番目のお子さんですか（○は1つだけ）。

何番目の子どもかについて、全体では「1人」が53.3%と最も多く、次いで「2人」が35.3%、「3人」が9.4%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1人」が52.6%と最も多く、次いで「2人」が35.8%、「3人」が10.0%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「1人」が1.6ポイント低く、「2人」「3人」がそれぞれ1.0ポイント、1.5ポイント高くなっている。

図表 199 何番目の子どもか



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

## 2-2-4 調査票記入者の配偶者の有無

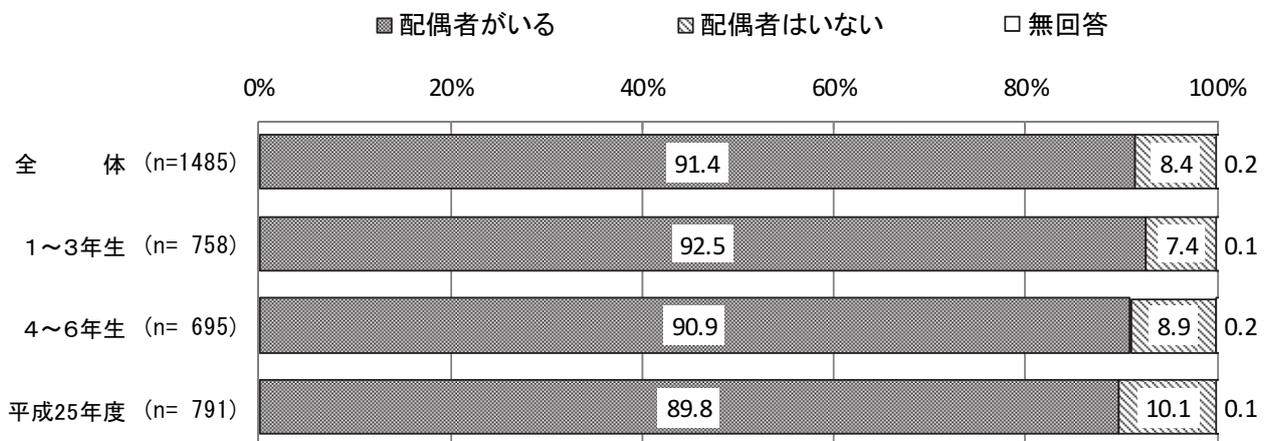
問5. この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか（○は1つだけ）。

調査票記入者の配偶者の有無について、全体では「配偶者がいる」が91.4%、「配偶者がいない」が8.4%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「配偶者がいる」が92.5%、「配偶者がいない」が7.4%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「配偶者がいる」が1.6ポイント高く、「配偶者がいない」は1.5ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「配偶者がいる」が2.7ポイント増加し、「配偶者がいない」は2.7ポイント減少している。

図表 200 調査票記入者の配偶者の有無



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-2-5 子育てを主に行っている方

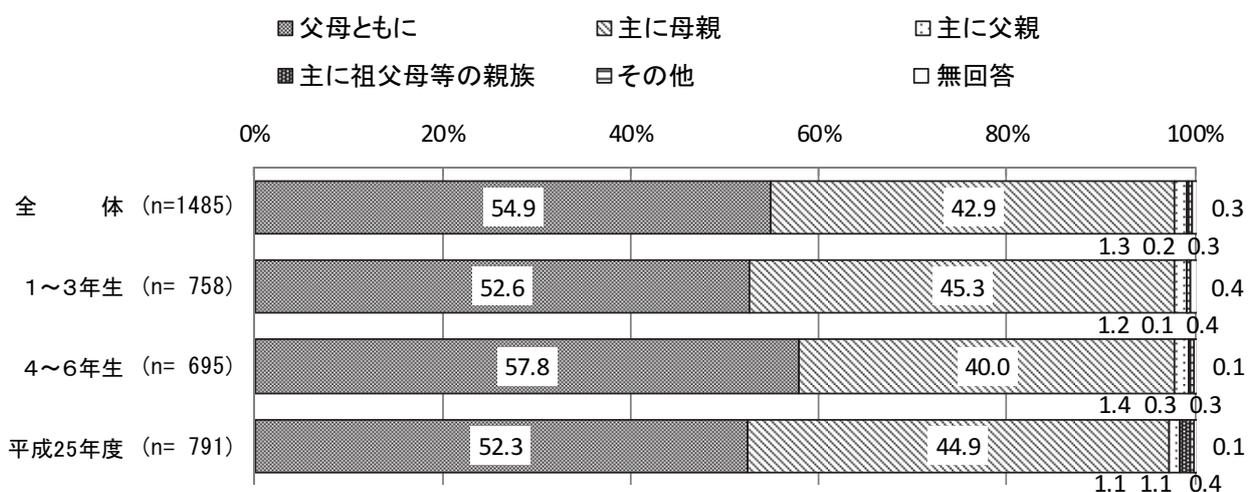
問6. お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたと考えていますか。お子さんからみた関係でお答えください（○は1つだけ）。

子育てを主に行っている方について、全体では「父母ともに」が54.9%と最も多く、次いで「主に母親」が42.9%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「父母ともに」が52.6%と最も多く、次いで「主に母親」が45.3%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「父母ともに」が5.2ポイント低く、「主に母親」が5.3ポイント高くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』は特に大きな差はみられない。

図表 201 子育てを主に行っている方



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

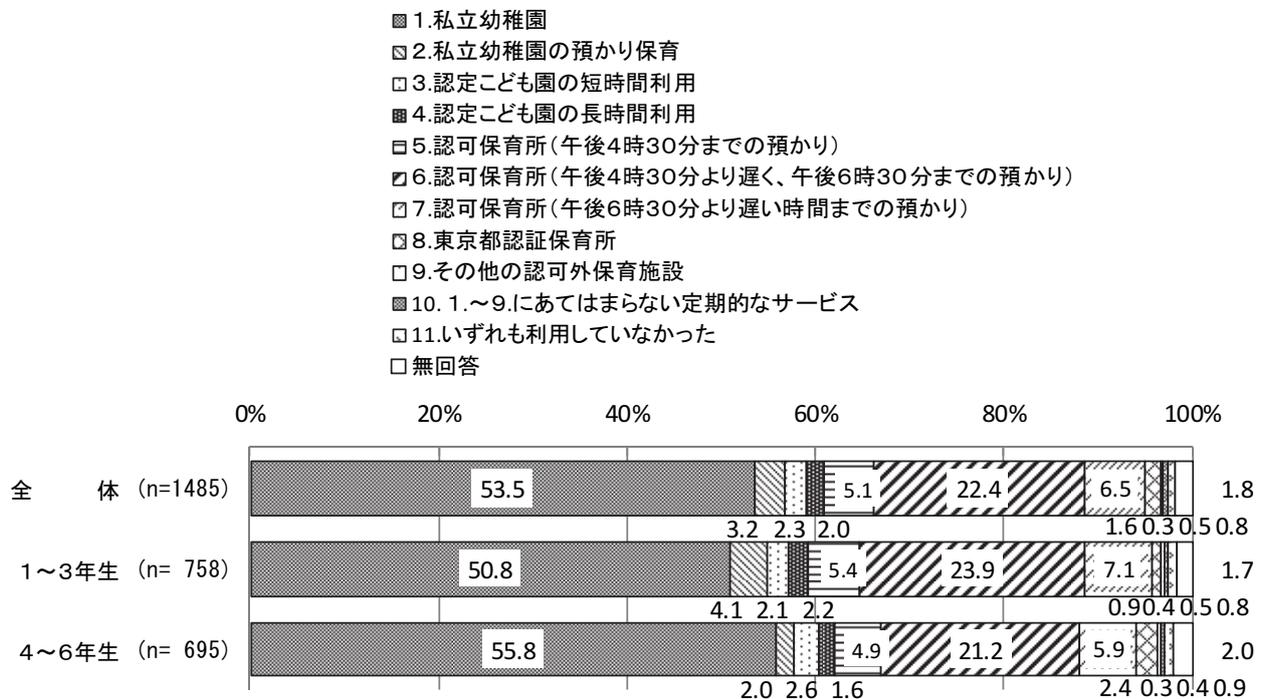
## 2-3 就学前の教育・保育事業の利用状況について

問7. お子さんが小学校に入学する直前の年度に、平日、定期的に利用していた教育・保育事業をお答えください（○は1つだけ）。

就学前の教育・保育事業の利用状況について、全体では「1. 私立幼稚園」が53.5%と最も多く、次いで「6. 認可保育所（午後4時30分より遅く、午後6時30分までの預かり）」が22.4%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1. 私立幼稚園」が50.8%、「6. 認可保育所（午後4時30分より遅く、午後6時30分までの預かり）」が23.9%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「1. 私立幼稚園」が5.0ポイント低く、「6. 認可保育所（午後4時30分より遅く、午後6時30分までの預かり）」が2.7ポイント高くなっている。

図表 202 就学前の教育・保育事業の利用状況



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

## 2-4 子育て環境について

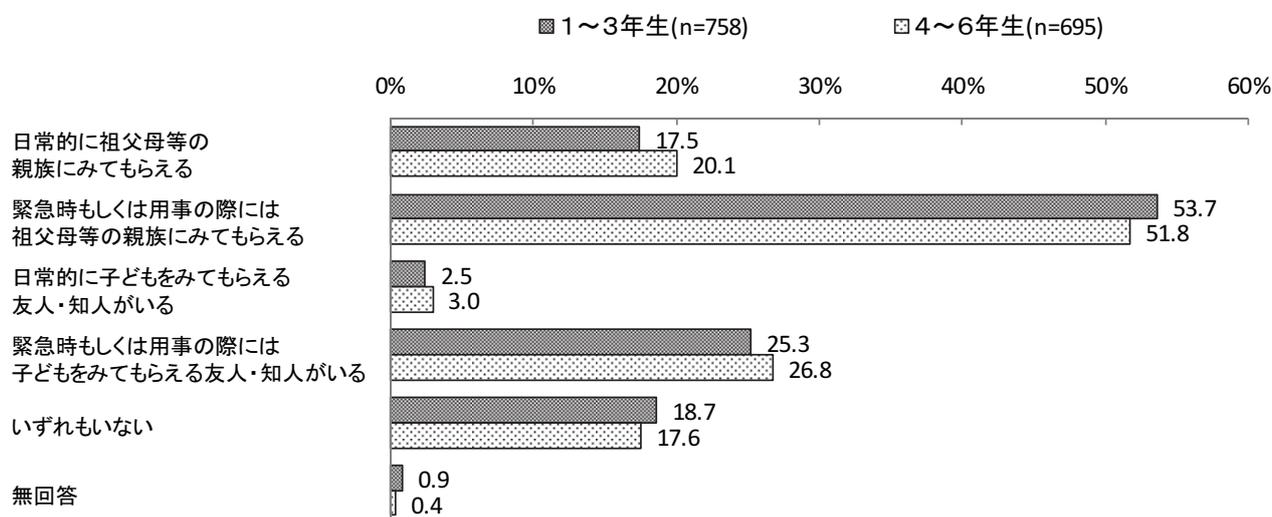
### 2-4-1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問8. 親族や知人で、日頃、お子さんをみてもらえる方はいますか（○はあてはまるものすべて）。

子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ 53.7%、51.8%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 25.3%、26.8%となっており、「いずれもない」はそれぞれ 18.7%、17.6%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「いずれもない」がそれぞれ 1.9 ポイント、1.1 ポイント高くなっており、他は低くなっている。

図表 203 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学後児童対象調査の全員

## 2-4-2 子育てについて相談できる人・場所の有無

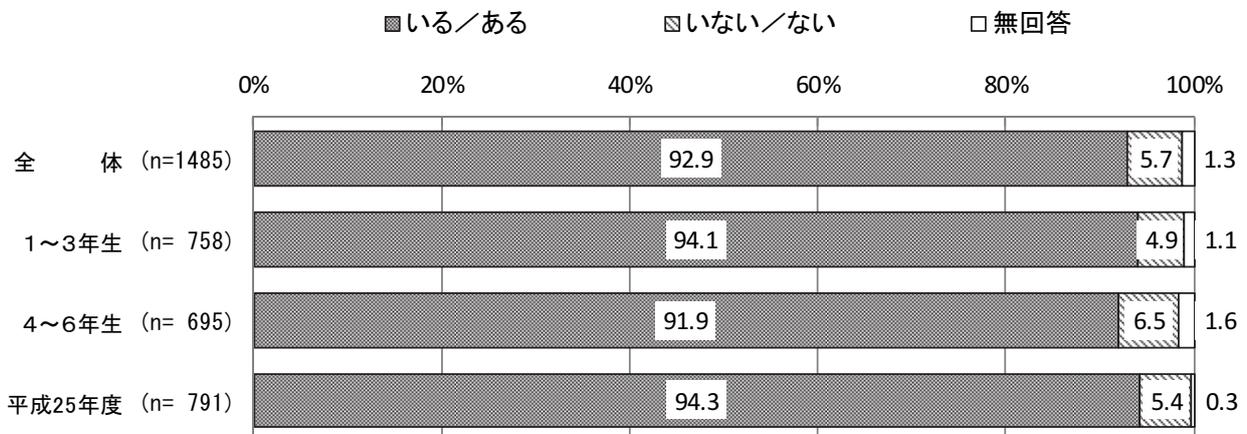
問9. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか（○は1つだけ）。

子育てについて相談できる人・場所の有無について、全体では「いる／ある」が92.9%、「いない／ない」が5.7%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「いる／ある」が94.1%、「いない／ない」が4.9%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「いる／ある」が2.2ポイントが高く、「いない／ない」が1.6ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 204 子育てについて相談できる人・場所の有無



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

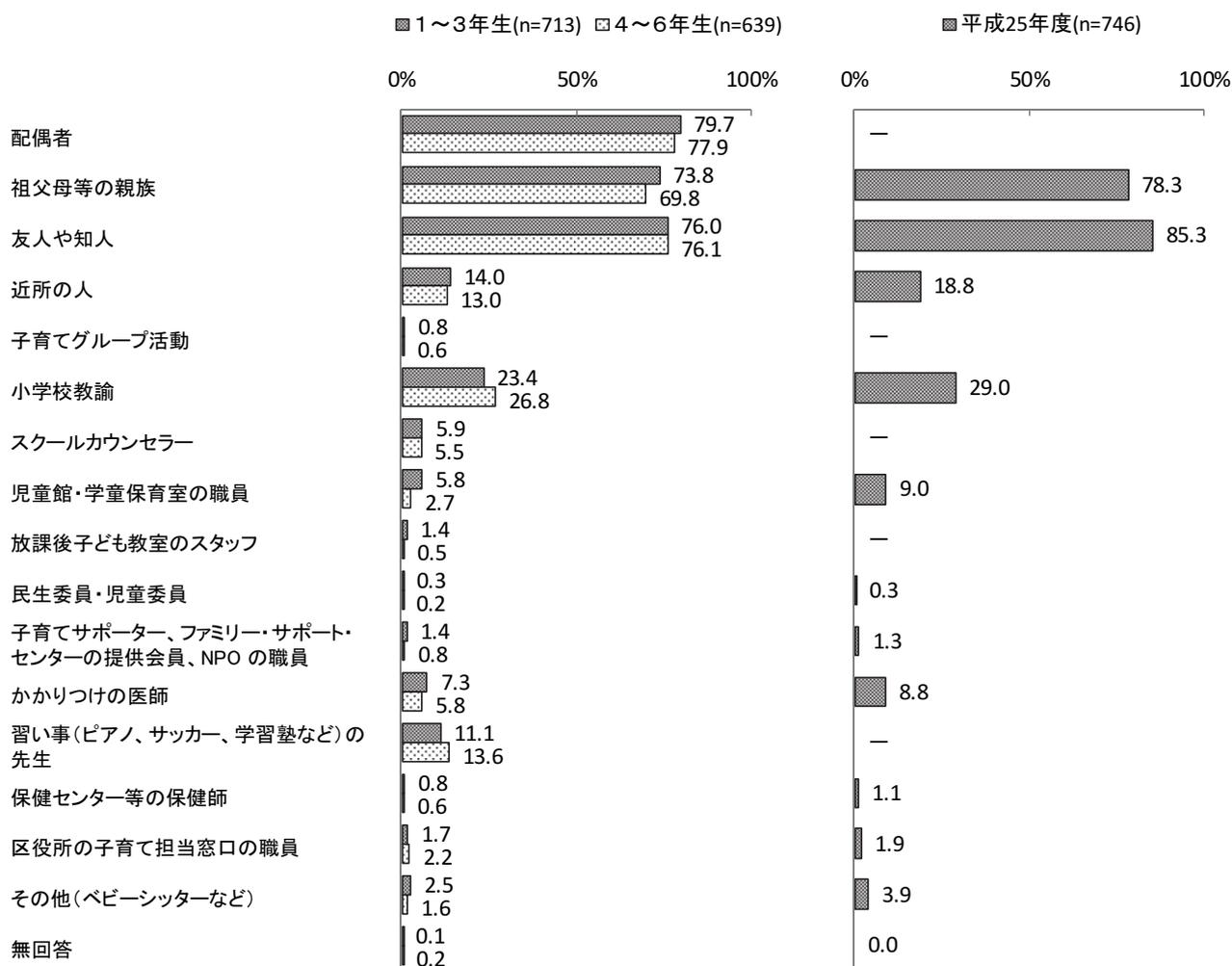
### 2-4-3 子育てについて相談できる人・場所

問9-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか（〇はあてはまるものすべて）。

子育てについて相談できる人・場所について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「配偶者」がそれぞれ79.7%、77.9%と最も多く、次いで「友人や知人」が76.0%、76.1%、「祖父母等の親族」が73.8%、69.8%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「配偶者」「祖父母等の親族」がそれぞれ1.8ポイント、4.0ポイント高くなっている。

図表 205 子育てについて相談できる人・場所



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問9で「いる／ある」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-5 保護者の就労状況について

### 2-5-1 母親

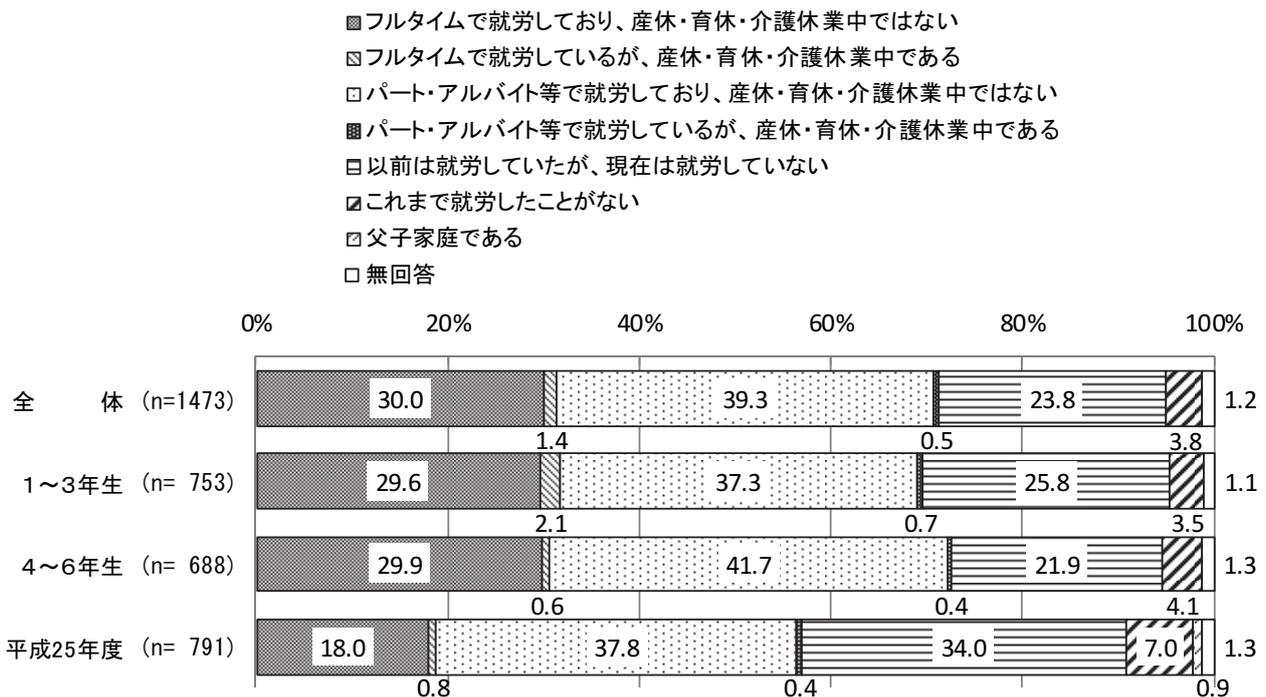
#### 2-5-1-1 母親の就労状況

問10. お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

母親の就労状況について、全体では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.3%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.8%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.3%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が4.4ポイント低く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は3.9ポイント高くなっている。

図表 206 母親の就労状況



※回答対象は就学後児童対象調査の全員（父子家庭を除く）

※平成25年度の集計は「父子家庭」を含み、単純比較ができないため、参考表記とする

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-5-1-2 フルタイムの母親の就労状況

問10-1. お母さまの就労状況について、下の表の（1）～（8）にお答えください。

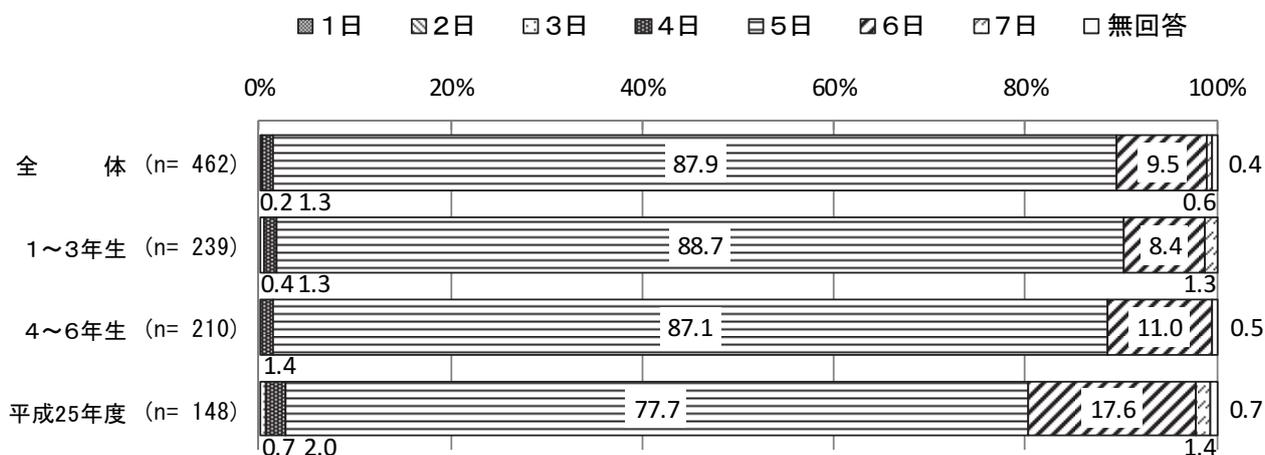
### （1）1週あたりの就労日数

フルタイムの母親の1週あたりの就労日数について、全体では「5日」が87.9%と最も多く、次いで「6日」が9.5%、「4日」が1.3%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「5日」が88.7%が最も高く、次いで「6日」が8.4%となっており、『4～6年生』と比較すると「5日」が1.6ポイント高く、「6日」が2.6ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「5日」が11.0ポイント増加し、「6日」は9.2ポイント減少している。

図表 207 1週あたりの就労日数（フルタイムの母親）



※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

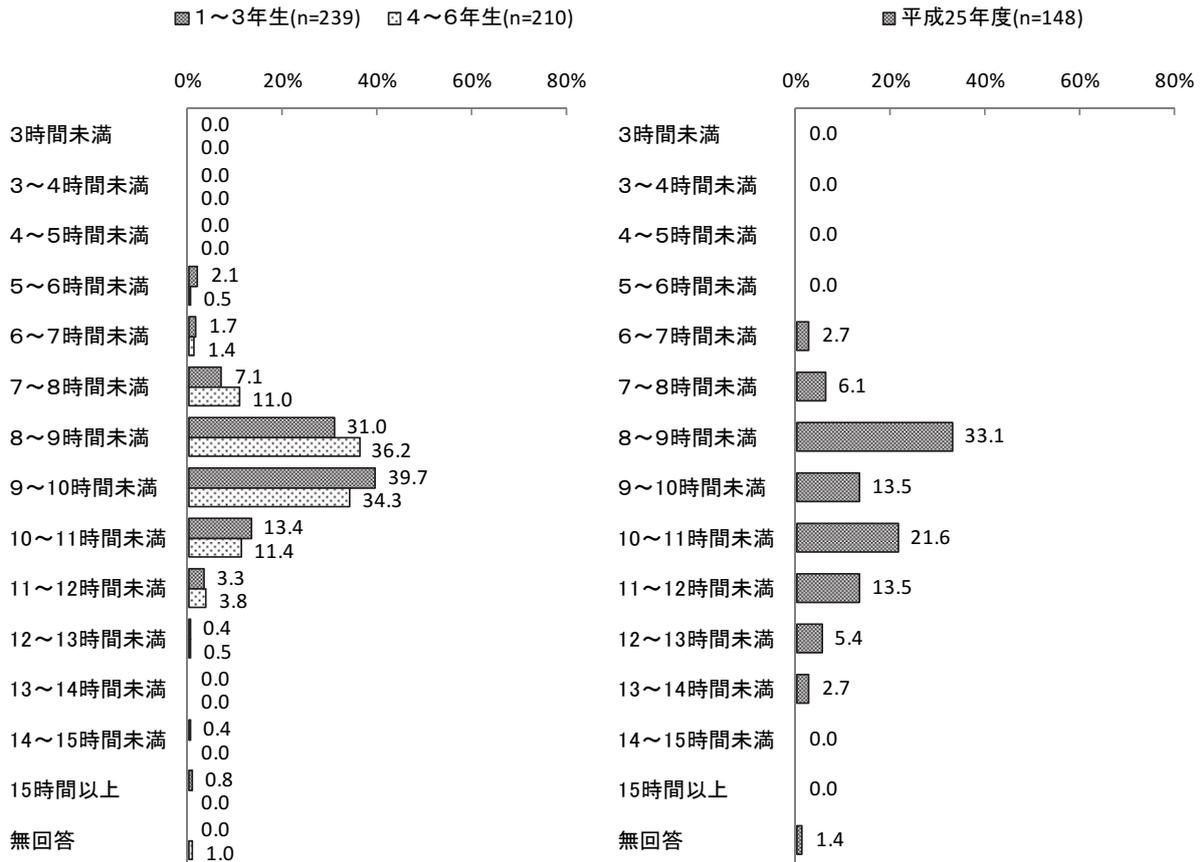
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

フルタイムの母親の1日あたり就労時間について、『1～3年生』では「9～10時間未満」が39.7%と最も多く、次いで「8～9時間未満」が31.0%となっており、『4～6年生』では「8～9時間未満」が36.2%と最も多く、次いで「9～10時間未満」が34.3%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「9～10時間未満」が26.2ポイントと大きく増加し、10時間以上は減少傾向にある。

図表 208 1日あたり就労時間（フルタイムの母親）



※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

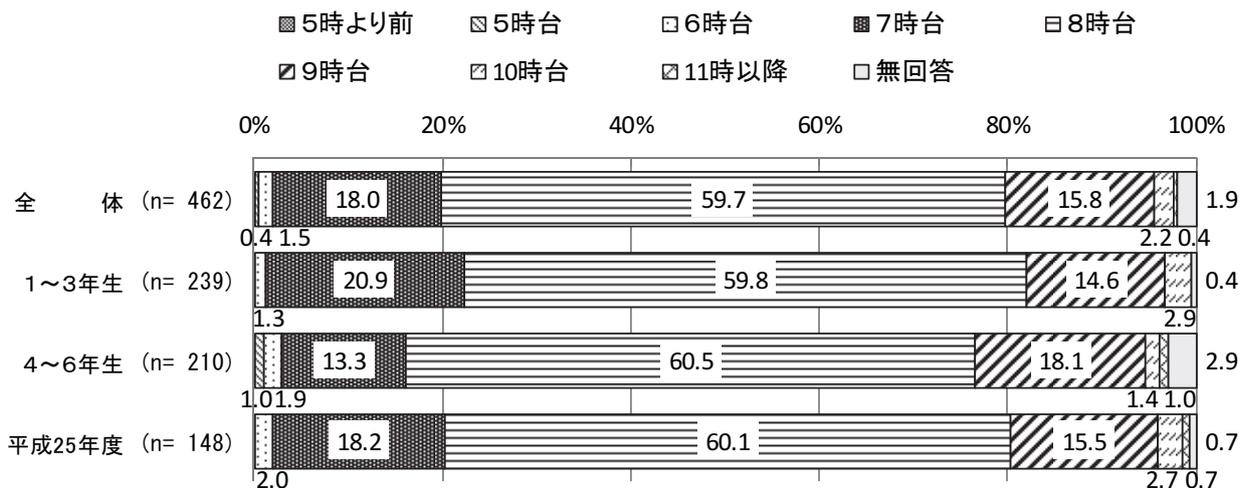
（3）出勤時刻

フルタイムの母親の出勤時刻について、全体では「8時台」が59.7%と最も多く、次いで「7時台」が18.0%、「9時台」が15.8%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「8時台」が59.8%と最も多く、次いで「7時台」が20.9%、「9時台」が14.6%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「7時台」が7.6ポイント高く、「8時台」「9時台」がそれぞれ0.7ポイント、3.5ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「7時台」が2.7ポイント増加している。

図表 209 出勤時刻（フルタイムの母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

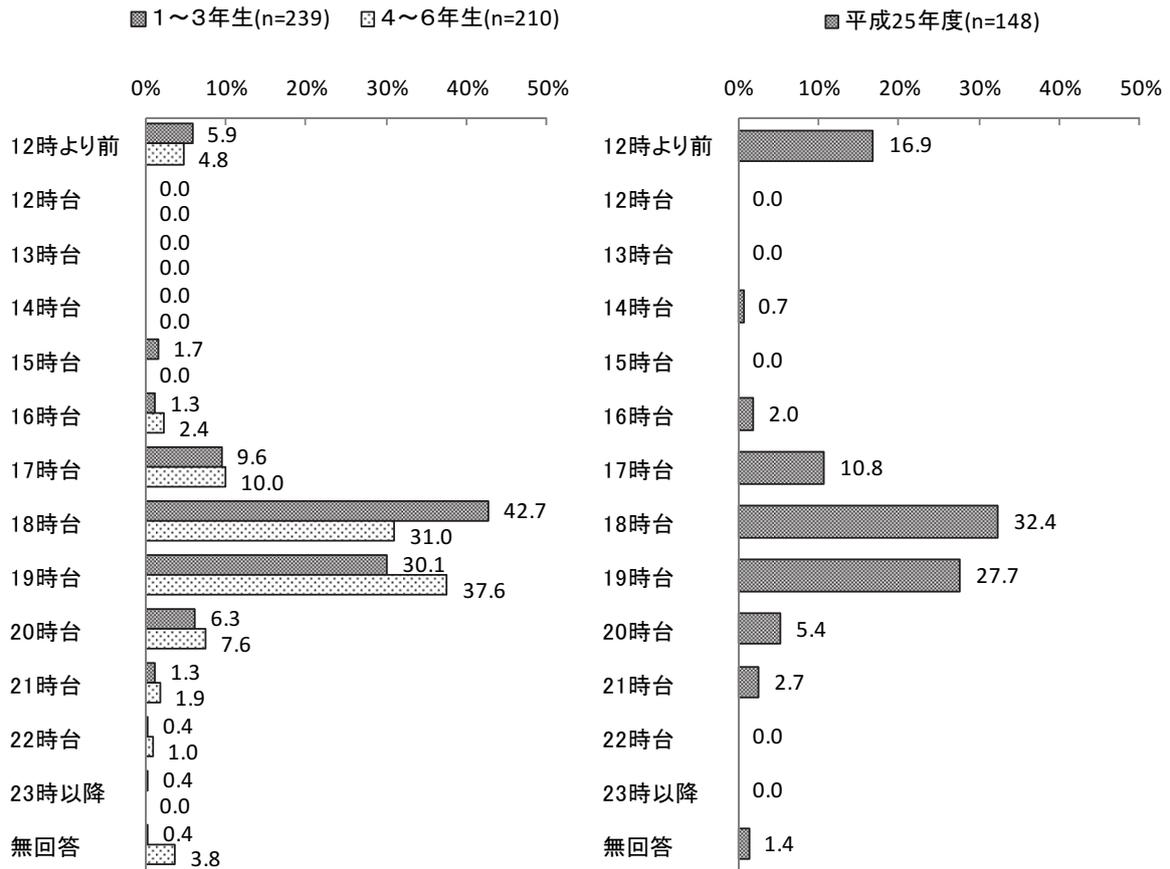
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（4）帰宅時刻

フルタイムの母親の帰宅時刻について、『1～3年生』では「18時台」が42.7%と最も多く、次いで「19時台」が30.1%となっており、『4～6年生』では「19時台」が37.6%と最も多く、次いで「18時台」が31.0%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「18時台」「19時台」がそれぞれ10.3ポイント、2.4ポイント増加している。

図表 210 帰宅時刻（フルタイムの母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

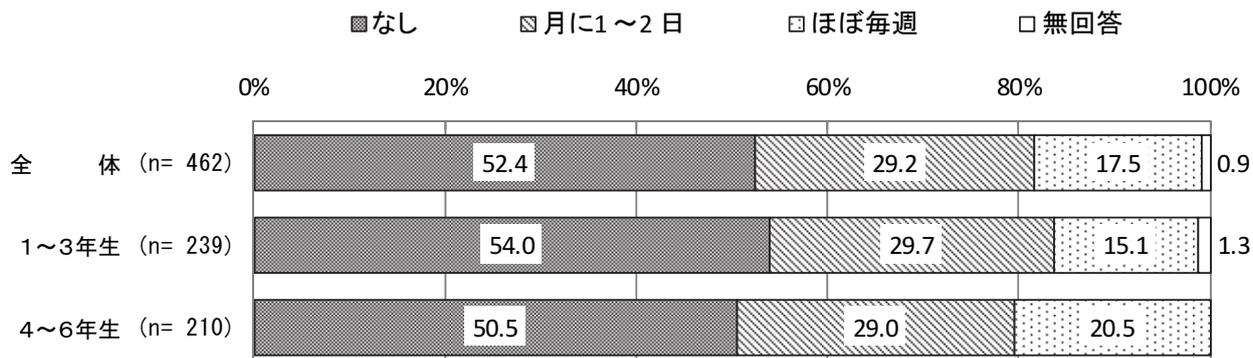
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（5）土曜日の就労日数

フルタイムの母親の土曜日の就労日数について、全体では「なし」が 52.4%、「月に1～2日」が 29.2%、「ほぼ毎週」が 17.5%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「なし」が 54.0%と最も多く、次いで「月に1～2日」が 29.7%、「ほぼ毎週」が 15.1%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「なし」が 3.5 ポイント、「月に1～2日」が 0.7 ポイント高く、「ほぼ毎週」は 5.4 ポイント低くなっている。

図表 211 土曜日の就労日数（フルタイムの母親）



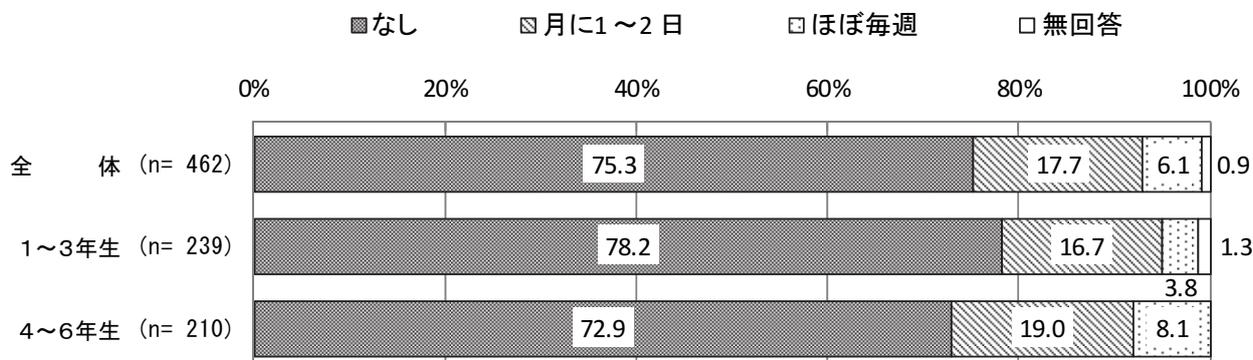
※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

（6）日曜日・祝日の就労日数

フルタイムの母親の日曜日・祝日の就労日数について、全体では「なし」が 75.3%、「月に1～2日」が 17.7%、「ほぼ毎週」が 6.1%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「なし」が 78.2%、「月に1～2日」が 16.7%、「ほぼ毎週」が 3.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「なし」が 5.3 ポイント高く、「月に1～2日」「ほぼ毎週」はそれぞれ 2.3 ポイント、4.3 ポイント低くなっている。

図表 212 日曜日・祝日の就労日数（フルタイムの母親）



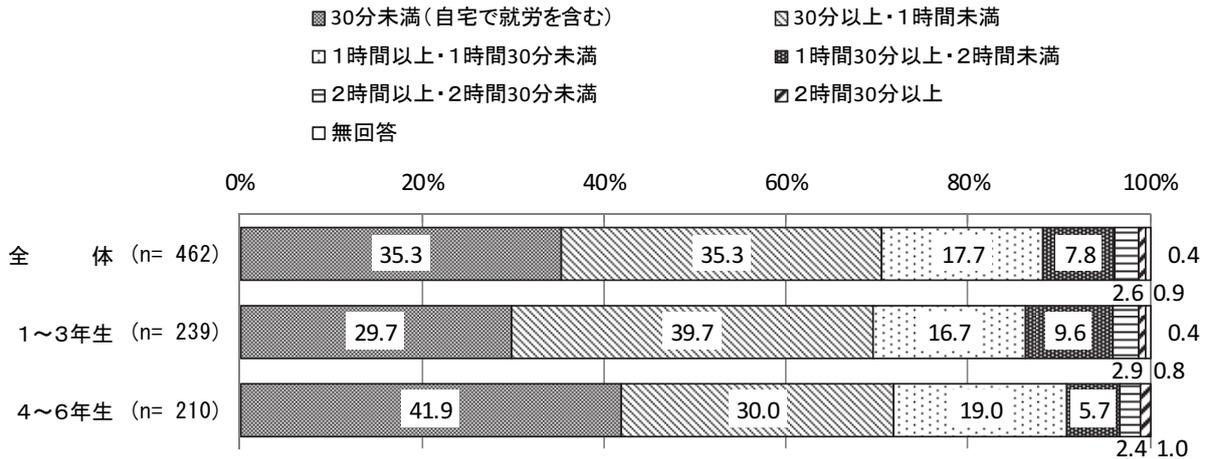
※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

フルタイムの母親の通勤時間について、全体では「30分未満（自宅で就労を含む）」「30分以上・1時間未満」が同じく35.3%と最も多くなっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「30分以上・1時間未満」が39.7%と最も多く、次いで「30分未満（自宅で就労を含む）」が29.7%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「30分以上・1時間未満」が9.7ポイント高く、「30分未満（自宅で就労を含む）」が12.2ポイント低くなっている。

図表 213 通勤時間（フルタイムの母親）

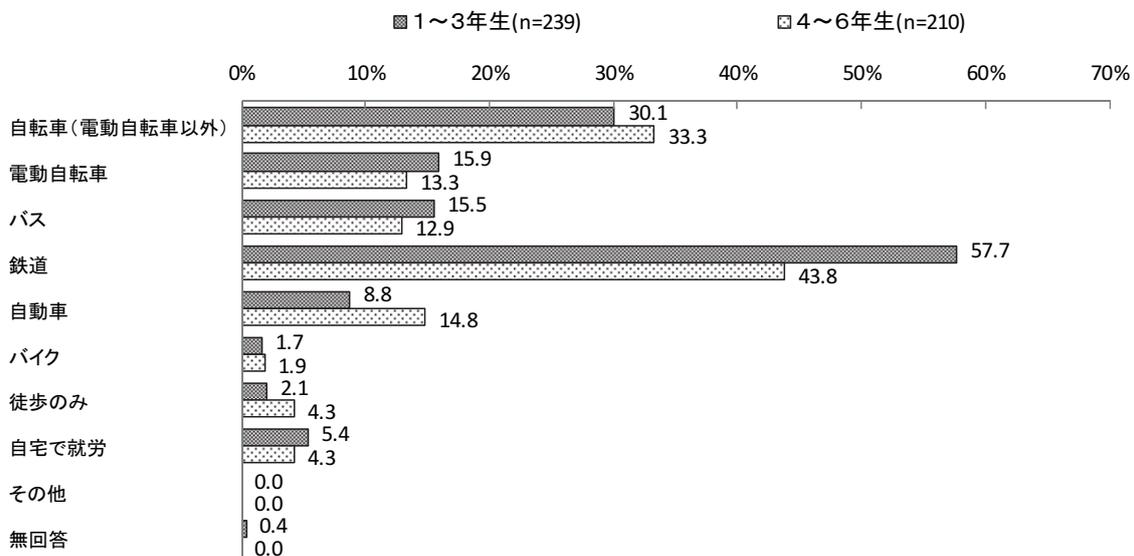


※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

フルタイムの母親の通勤手段について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「鉄道」がそれぞれ57.7%、43.8%と最も多く、次いで「自転車（電動自転車以外）」が30.1%、33.3%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、『1～3年生』では「鉄道」が13.9ポイント高く、「自転車（電動自転車以外）」が3.2ポイント低くなっている。

図表 214 通勤手段（フルタイムの母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問10で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

### 2-5-1-3 パート・アルバイト等の母親の就労状況

問10-1. お母さまの就労状況について、下の表の（1）～（8）にお答えください。

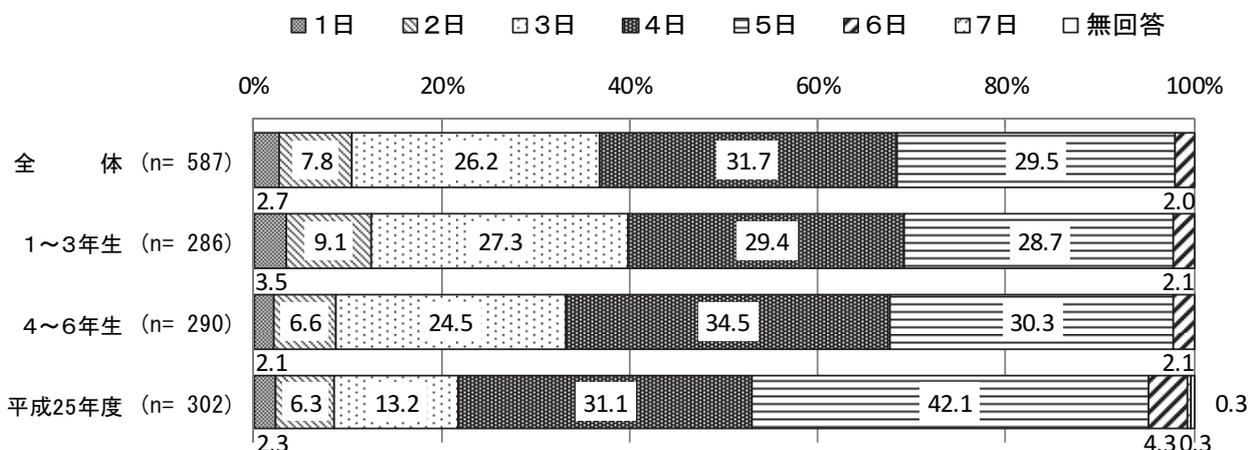
#### （1）1週あたりの就労日数

パート・アルバイト等の母親の1週あたりの就労日数について、全体では「4日」が31.7%と最も多く、次いで「5日」が29.5%、「3日」が26.2%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「4日」が29.4%と最も多く、次いで「5日」が28.7%、「3日」が27.3%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「3日」が2.8ポイント高く、「4日」「5日」はそれぞれ5.1ポイント、1.6ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「3日」が14.1ポイント増加し、「5日」は13.4ポイント減少している。

図表 215 1週あたりの就労日数（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

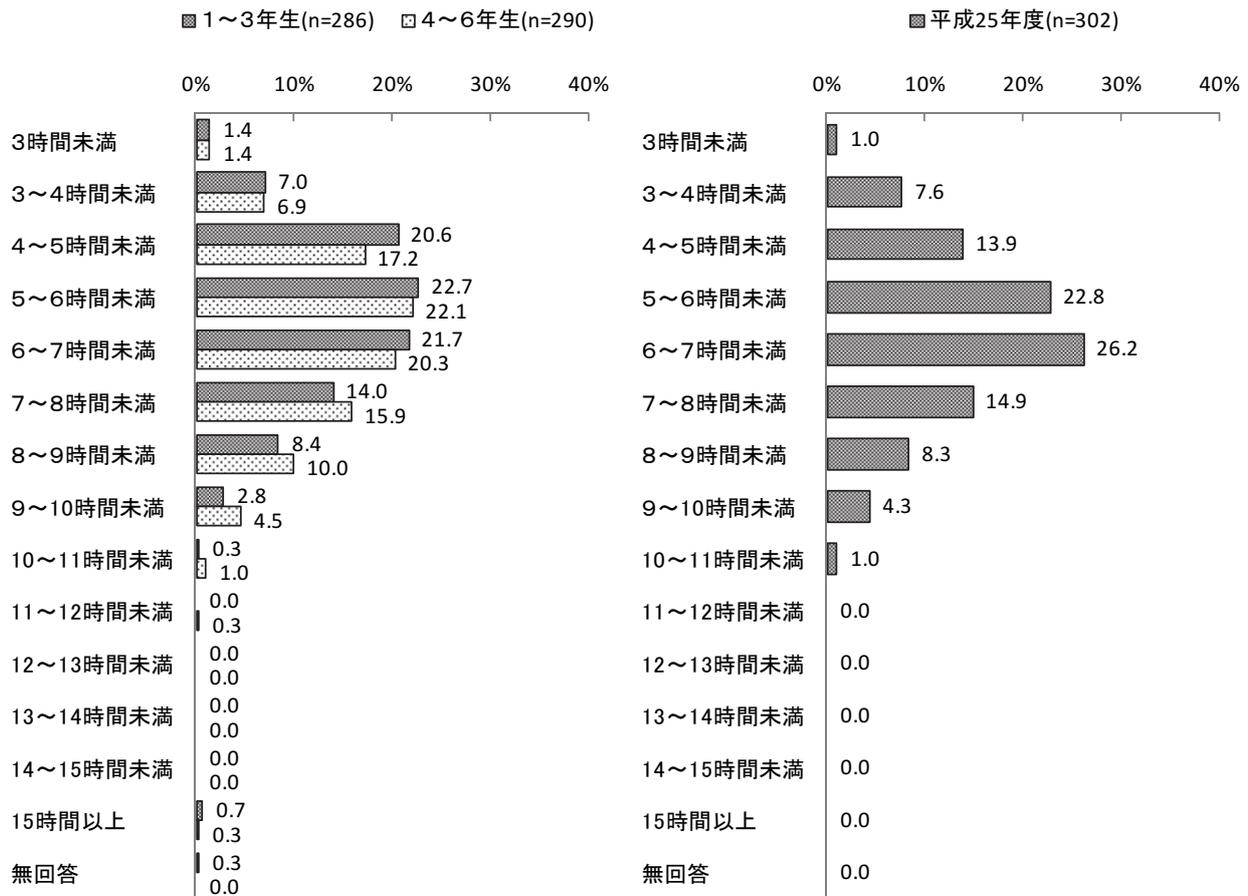
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

パート・アルバイト等の母親の1日あたり就労時間について、『1～3年生』では「5～6時間未満」が22.7%と最も多く、次いで「6～7時間未満」が21.7%、「4～5時間未満」が20.6%となっており、『4～6年生』では「5～6時間未満」が22.1%と最も多く、次いで「6～7時間未満」が20.3%、「4～5時間未満」が17.2%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「4～5時間未満」が6.7ポイント増加し、他の時間ではおおそ減少傾向にある。

図表 216 1日あたり就労時間（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

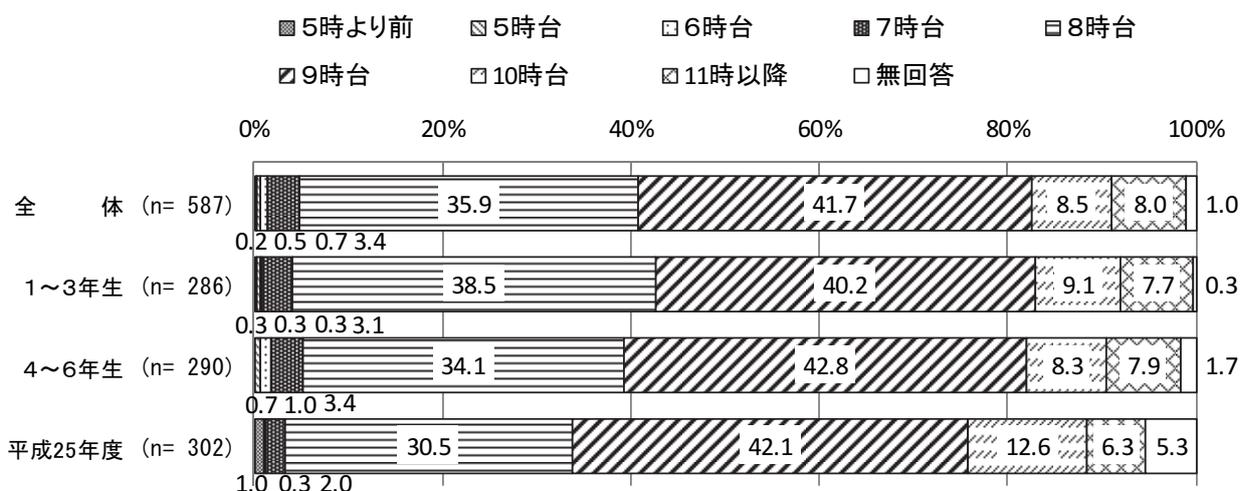
（3）出勤時刻

パート・アルバイト等の母親の出勤時刻について、全体では「9時台」が41.7%と最も多く、次いで「8時台」が35.9%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「9時台」が40.2%、「8時台」が38.5%、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「8時台」が4.4ポイント高く、「9時台」は2.6ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「8時台」が8.0ポイント増加し、「9時台」は1.9ポイント減少している。

図表 217 出勤時刻（パート・アルバイト等の母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

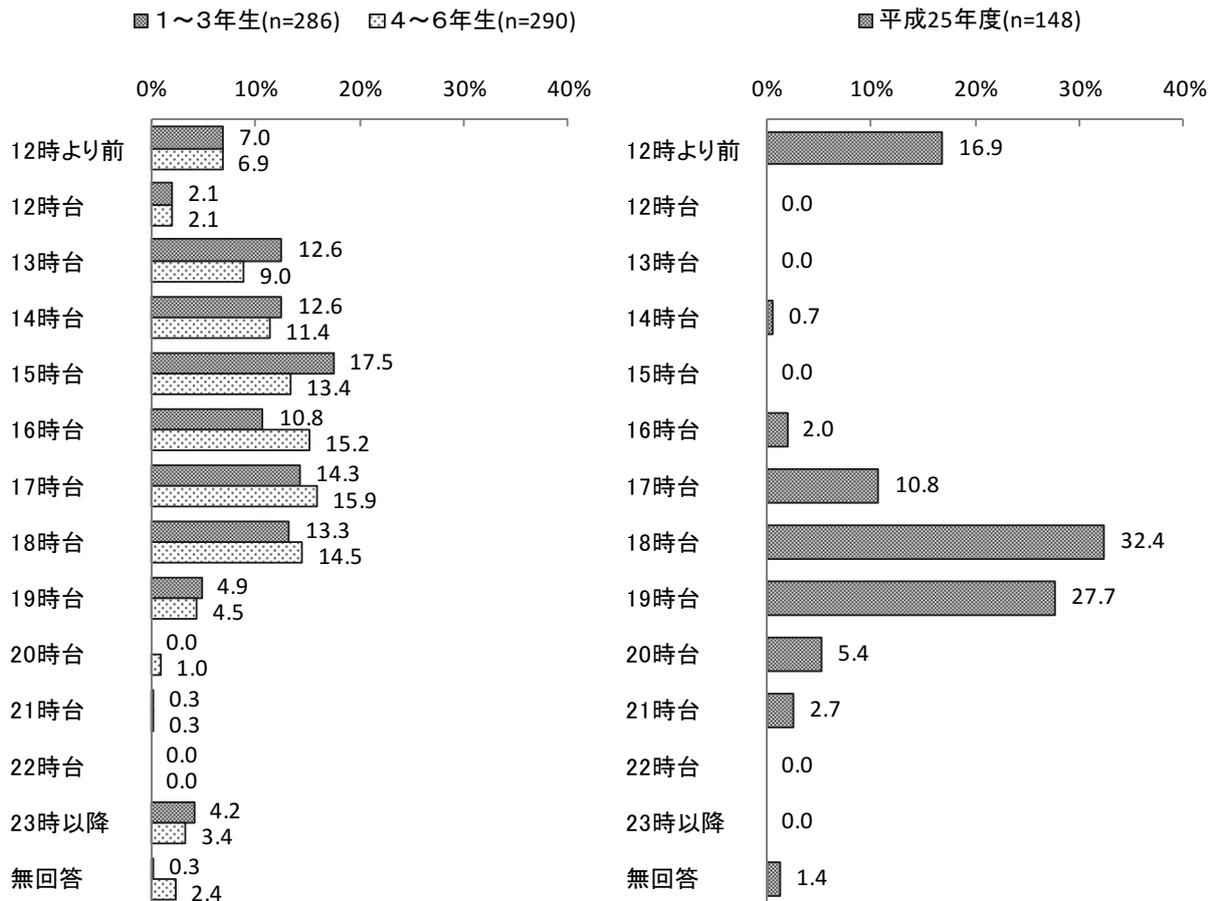
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(4) 帰宅時刻

パート・アルバイト等の母親の帰宅時刻について、『1～3年生』では「15時台」が17.5%と最も多く、次いで「17時台」が14.3%、「18時台」が13.3%、『4～6年生』では「17時台」が15.9%と最も多く、次いで「16時台」が15.2%、「18時台」が14.5%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「12時台」から「17時台」までは増加傾向にあり、「18時台」「19時台」がそれぞれ19.1ポイント、22.8ポイント減少している。

図表 218 帰宅時刻（パート・アルバイト等の母親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

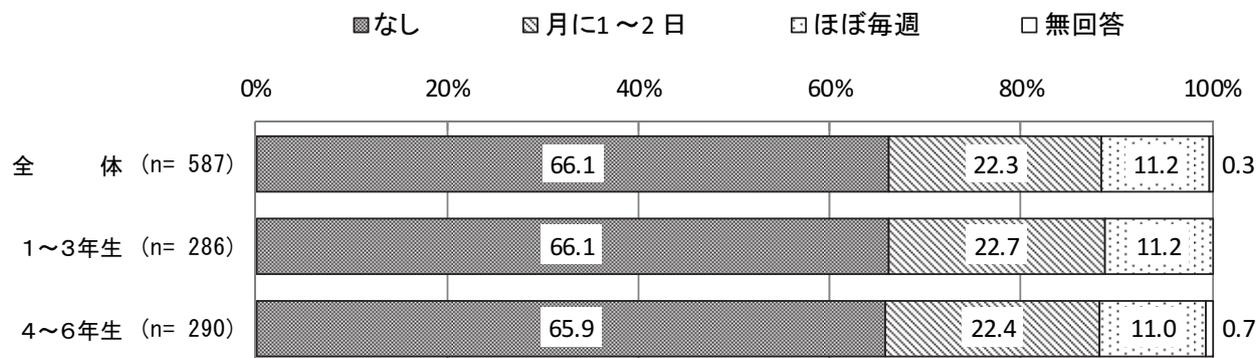
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（5）土曜日の就労日数

パート・アルバイト等の母親の土曜日の就労日数について、全体では「なし」が66.1%、「月に1～2日」が22.3%、「ほぼ毎週」が11.2%となっている。

『1～3年生』と『4～6年生』を比較すると、特に大きな差はみられない。

図表 219 土曜日の就労日数（パート・アルバイト等の母親）



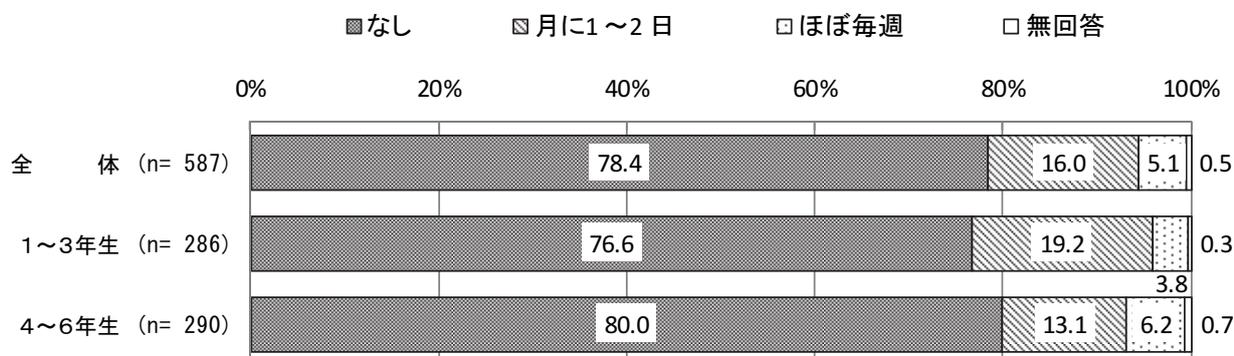
※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

（6）日曜日・祝日の就労日数

パート・アルバイト等の母親の日曜日・祝日の就労日数について、全体では「なし」が78.4%、「月に1～2日」が16.0%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「なし」が76.6%、「月に1～2日」が19.2%と、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「なし」が3.4ポイント低く、「月に1～2日」が6.1ポイント高くなっている。

図表 220 日曜日・祝日の就労日数（パート・アルバイト等の母親）



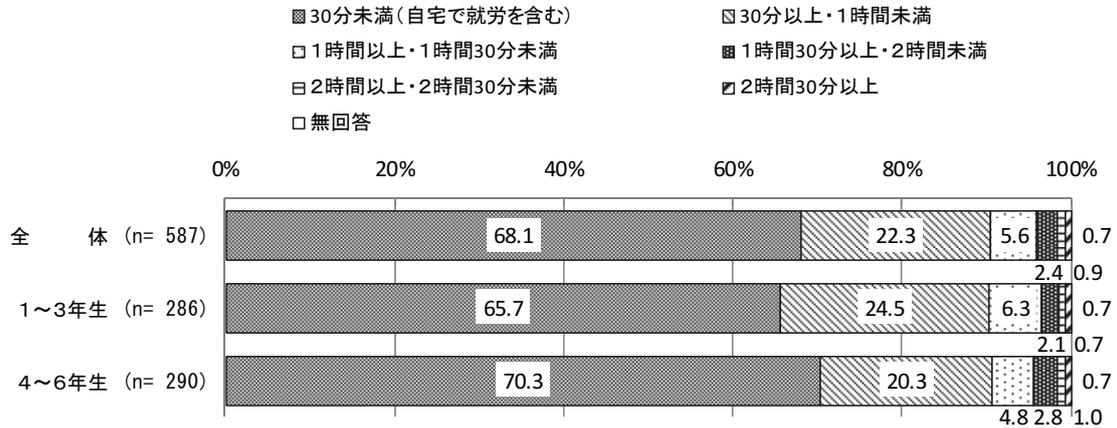
※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

パート・アルバイト等の母親の通勤時間について、全体では「30分未満（自宅で就労を含む）」が68.1%と最も多く、次いで「30分以上・1時間未満」が22.3%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「30分未満（自宅で就労を含む）」が65.7%、「30分以上・1時間未満」が24.5%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「30分未満（自宅で就労を含む）」が4.6ポイント低く、「30分以上・1時間未満」が4.2ポイント高くなっている。

図表 221 通勤時間（パート・アルバイト等の母親）

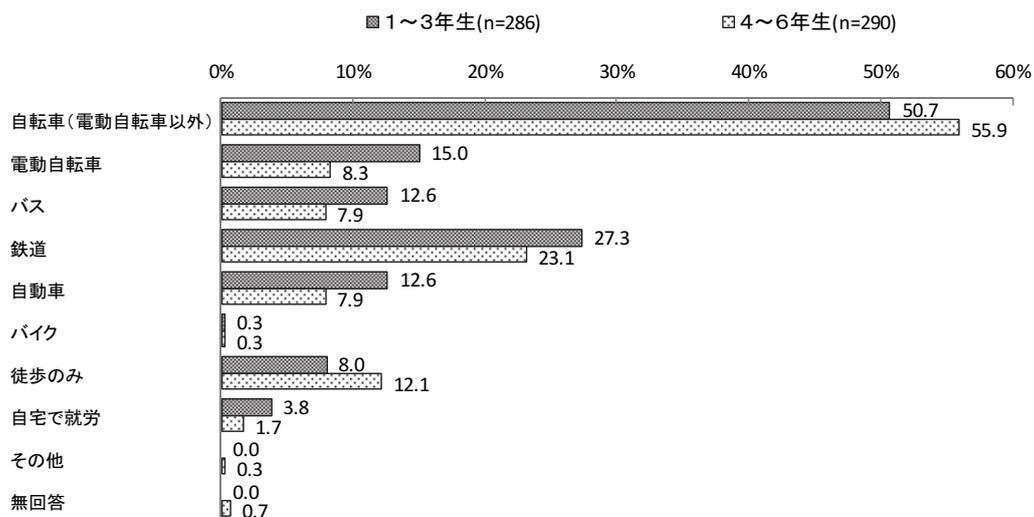


※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

パート・アルバイト等の母親の通勤手段について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「自転車（電動自転車以外）」がそれぞれ50.7%、55.9%と最も多く、次いで「鉄道」が27.3%、23.1%となっており、『1～3年生』と『4～6年生』を比較すると、「自転車（電動自転車以外）」「徒歩のみ」がそれぞれ5.2ポイント、4.1ポイント低く、他の項目では増加傾向にある。

図表 222 通勤手段（パート・アルバイト等の母親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

## 2-5-1-4 パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望

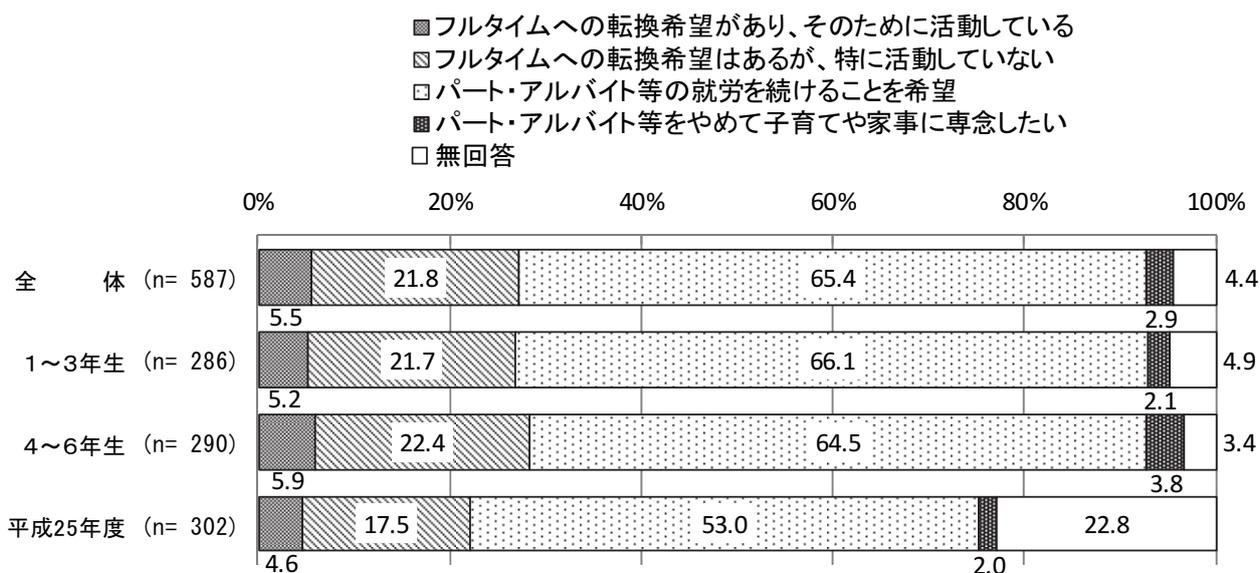
問12. 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望について、全体では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が65.4%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」が21.8%になっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が66.1%、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」が21.7%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1.6ポイント高く、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」が0.7ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」がそれぞれ13.1ポイント、4.2ポイント増加している。

図表 223 今後の就労希望（パート・アルバイト等の母親）



※回答対象は問10で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

2-5-1-5 非就労の母親の今後の就労希望

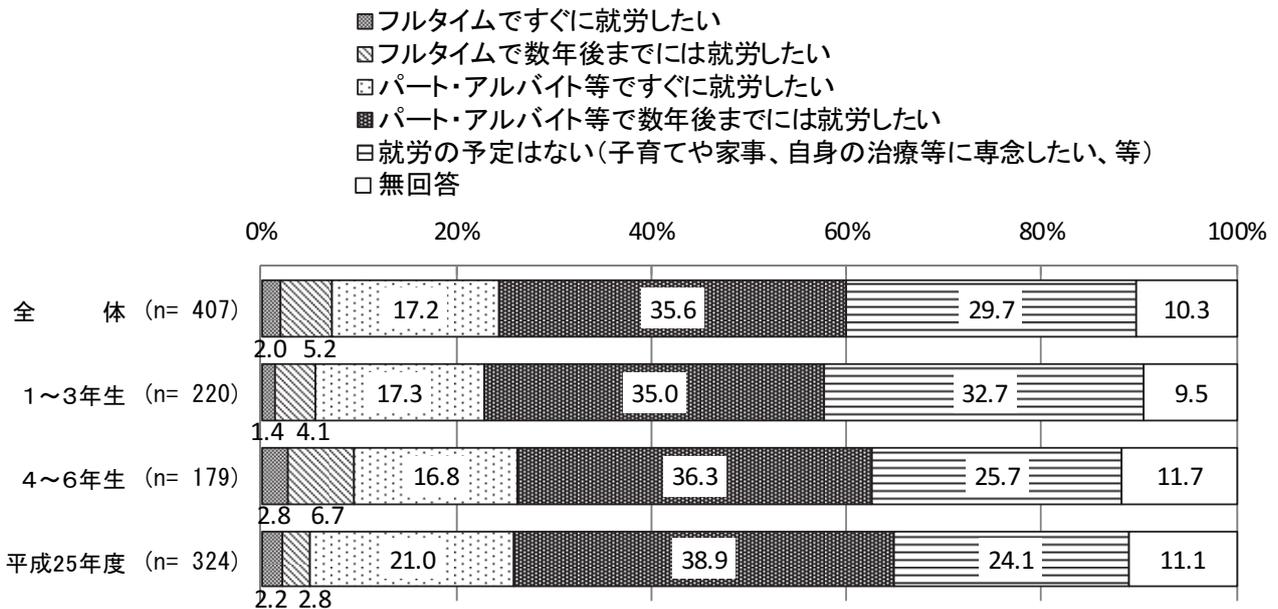
問 1 3. 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。また、下記で「3. または4.（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（カッコ内に数字で）。

非就労の母親の就労希望について、全体では「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」が 35.6%と最も多く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が 29.7%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」が 35.0%、「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が 32.7%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」が 1.3ポイント低く、「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が 7.0ポイント高くなっている。

平成 25 年度と比較すると、「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が 8.6ポイント増加し、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」は 3.7ポイント減少している。

図表 224 非就労の母親の今後の就労希望



※回答対象は問10で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

※平成 25 年度は 1～3 年生のみ調査

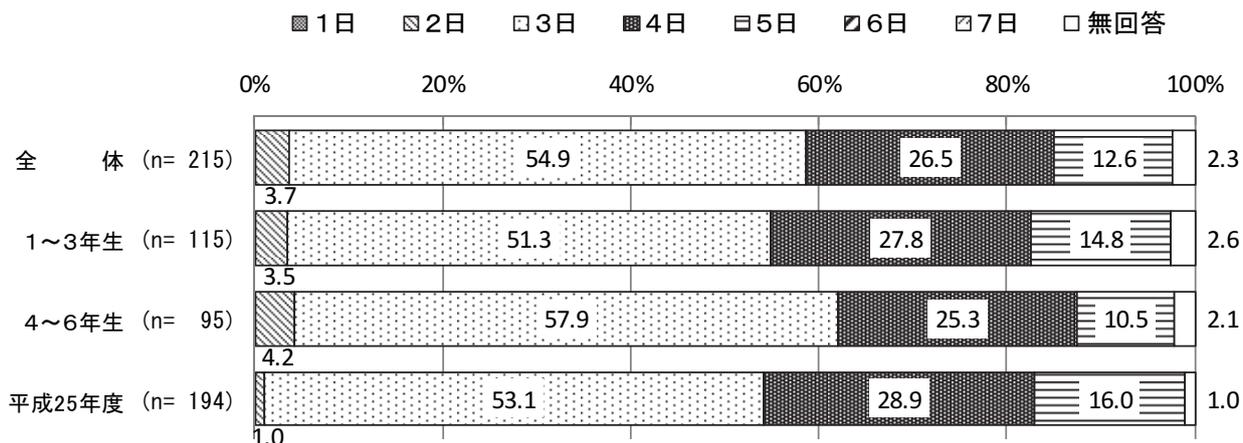
(1) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数（1週あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の母親が希望する就労日数について、全体では「3日」が54.9%と最も多く、次いで「4日」が26.5%、「5日」が12.6%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「3日」が51.3%、「4日」が27.8%、「5日」が14.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「4日」「5日」がそれぞれ、2.5ポイント、4.3ポイント高く、「3日」は6.6ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』は特に大きな差はみられない。

図表 225 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

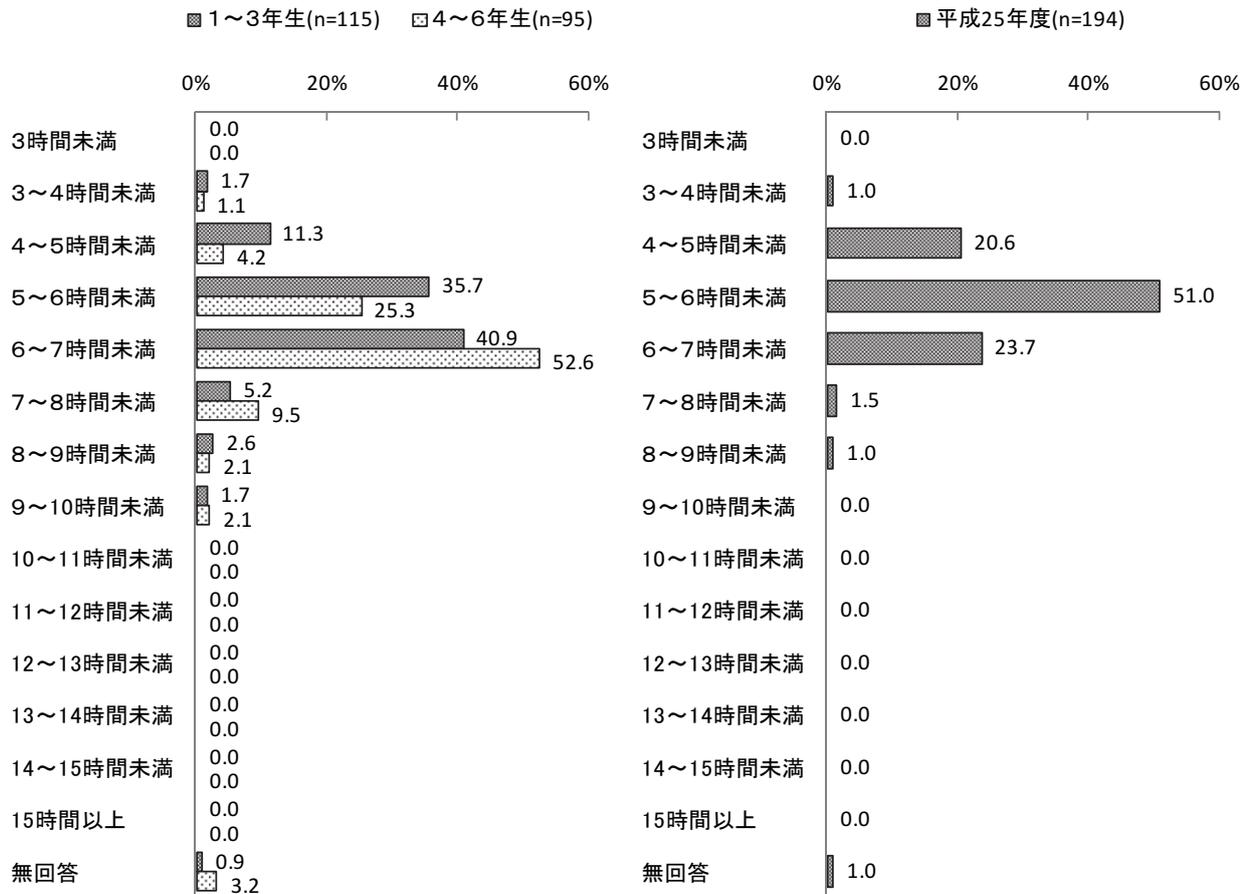
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(2) パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間（1日あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の母親が希望する就労時間について、『1～3年生』では「6～7時間未満」が40.9%と最も多く、次いで「5～6時間未満」が35.7%、「4～5時間未満」が11.3%となっており、『4～6年生』では「6～7時間未満」が52.6%と最も多く、次いで「5～6時間未満」が25.3%、「7～8時間未満」が9.5%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「6～7時間未満」「7～8時間未満」がそれぞれ17.2ポイント、3.7ポイント増加し、「4～5時間未満」「5～6時間未満」はそれぞれ9.3ポイント、15.3ポイント減少している。

図表 226 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

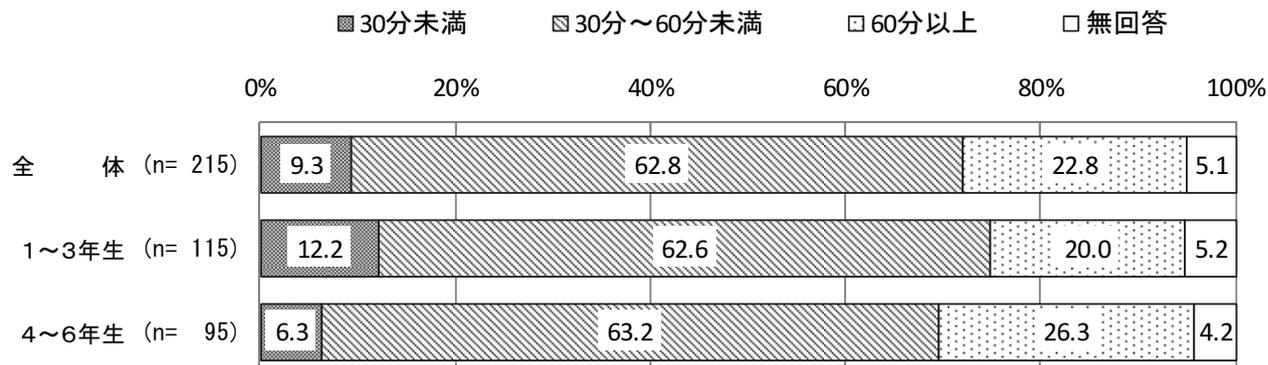
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（3）パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間（1日あたり往復）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の母親が希望する通勤時間について、全体では「30分未満」が9.3%、「30分～60分未満」が62.8%、「60分以上」が22.8%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「30分未満」が12.2%、「30分～60分未満」が62.6%、「60分以上」が20.0%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「30分未満」が5.9ポイント高く、「30分～60分未満」「60分以上」はそれぞれ0.6ポイント、6.3ポイント低くなっている。

図表 227 パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する通勤時間



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

## 2-5-2 父親

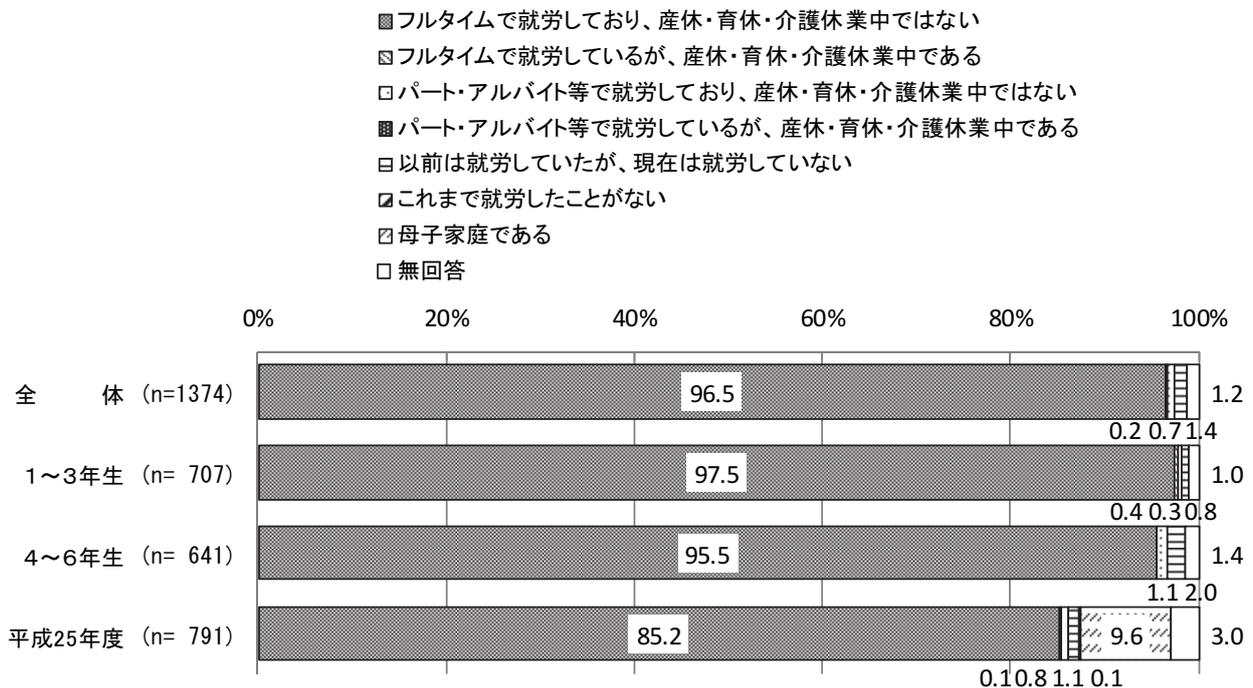
### 2-5-2-1 父親の就労状況

問11. お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

父親の就労状況について、全体では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.5%と最も多くなっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がそれぞれ97.5%、95.5%と最も多くなっている。

図表 228 父親の就労状況



※回答対象は就学後児童対象調査の全員（母子家庭を除く）

※平成25年度の集計は「母子家庭」を含み、単純比較ができないため、参考表記とする

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-5-2-2 フルタイムの父親の就労状況

問11-1. お父さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

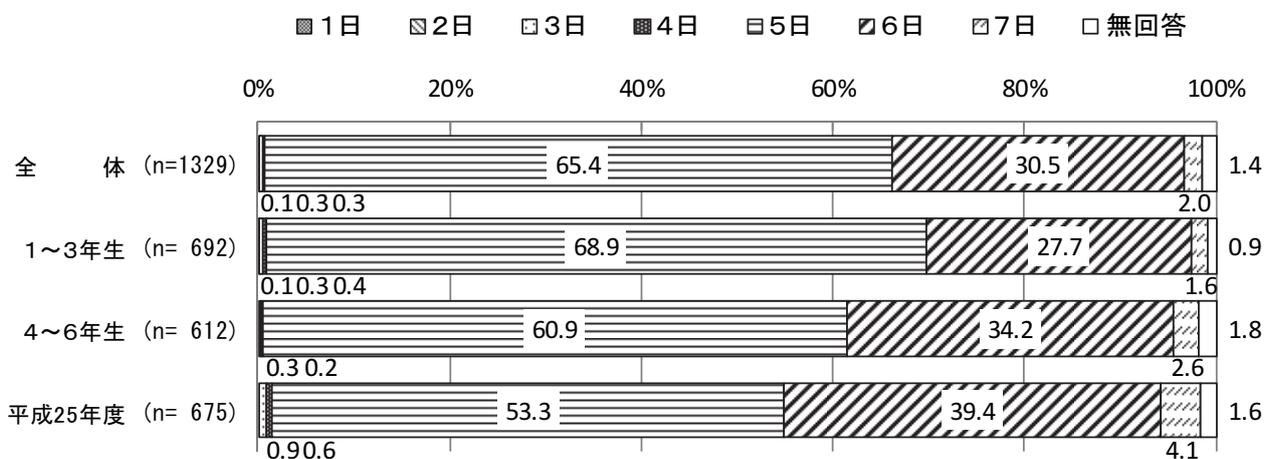
### (1) 1週あたりの就労日数

フルタイムの父親の1週あたりの就労日数について、全体では「5日」が65.4%と最も多く、次いで「6日」が30.5%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「5日」が68.9%、「6日」が27.7%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「5日」が8.0ポイント高く、「6日」は6.5ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「5日」が15.6ポイント増加し、「6日」は11.7ポイント減少している。

図表 229 1週あたりの就労日数（フルタイムの父親）



※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

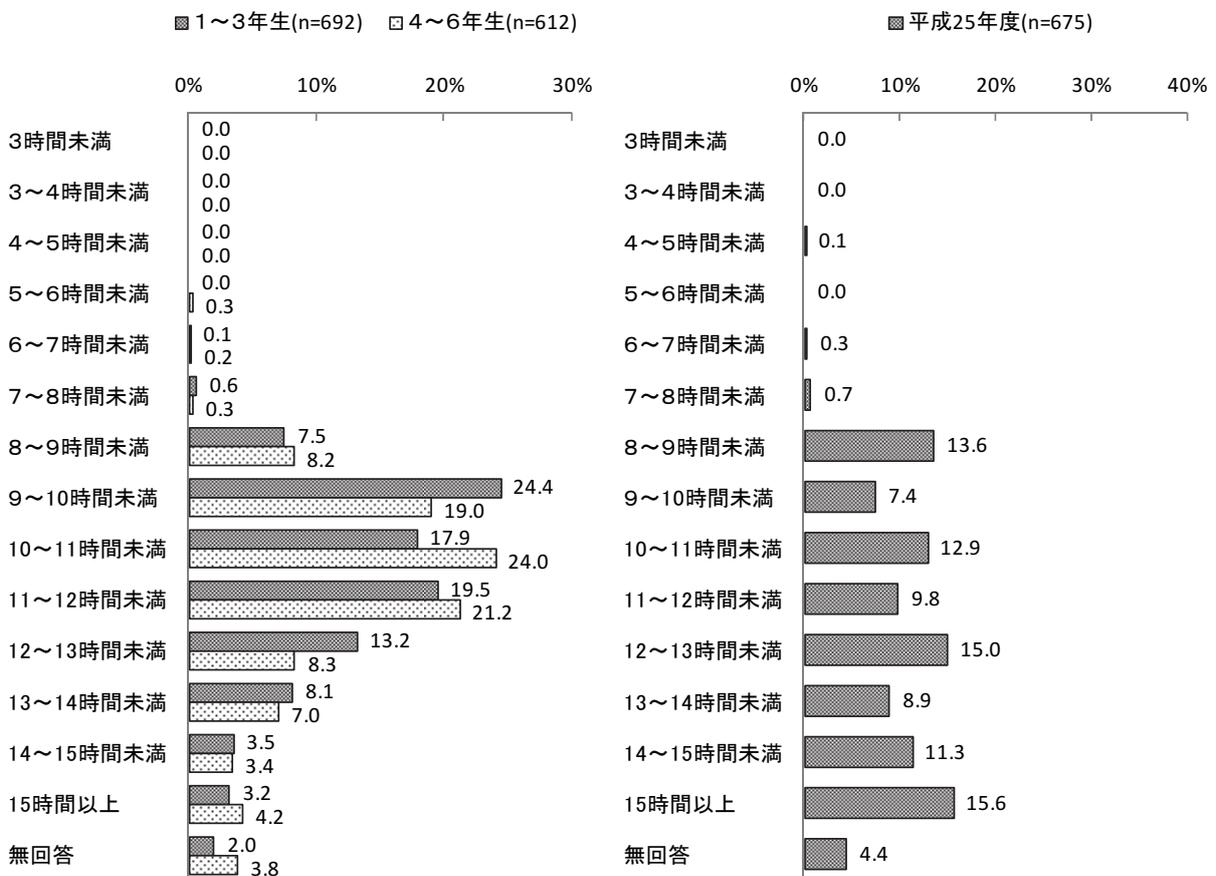
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

フルタイムの父親の1日あたり就労時間について、『1～3年生』では「9～10時間未満」が24.4%と最も多く、次いで「11～12時間未満」が19.5%、「10～11時間未満」が17.9%となっており、『4～6年生』では「10～11時間未満」が24.0%と最も多く、次いで「11～12時間未満」が21.2%、「9～10時間未満」が19.0%となっている。『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「9～10時間未満」「12～13時間未満」がそれぞれ5.4ポイント、4.9ポイント高く、「10～11時間未満」「11～12時間未満」はそれぞれ6.1ポイント、1.7ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の9時間から12時未満までは増加傾向にあり、その他の時間では減少傾向にある。

図表 230 1日あたり就労時間（フルタイムの父親）



※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

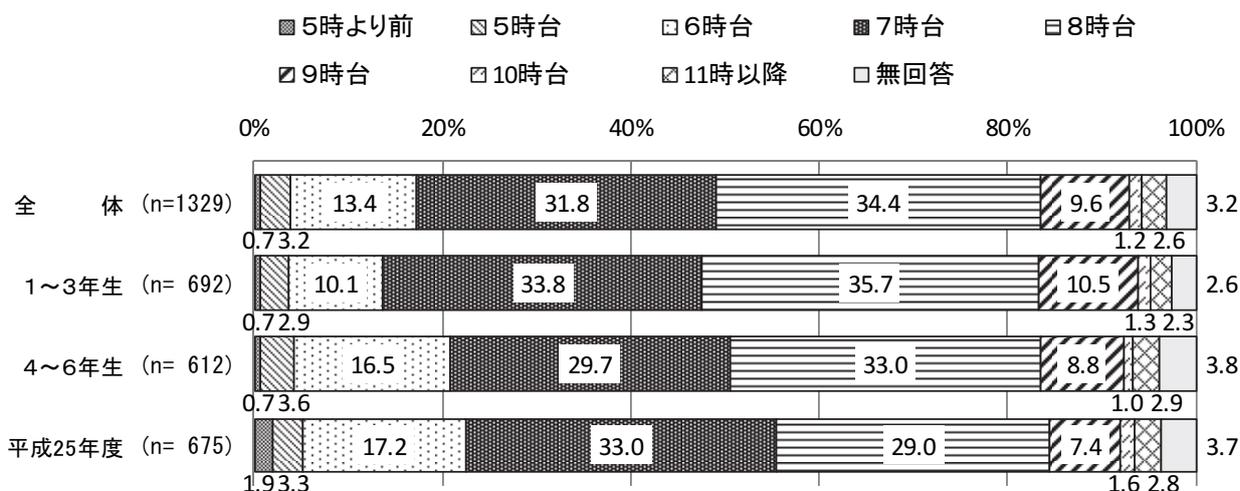
（3）出勤時刻

フルタイムの父親の出勤時刻について、全体では「8時台」が34.4%と最も多く、次いで「7時台」が31.8%、「6時台」が13.4%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「8時台」が35.7%と最も多く、次いで「7時台」が33.8%、「9時台」が10.5%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「7時台」「8時台」がそれぞれ4.1ポイント、2.7ポイント高く、「6時台」が6.4ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「8時台」が6.7ポイント増加し、「6時台」は7.1ポイント減少している。

図表 231 出勤時刻（フルタイムの父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

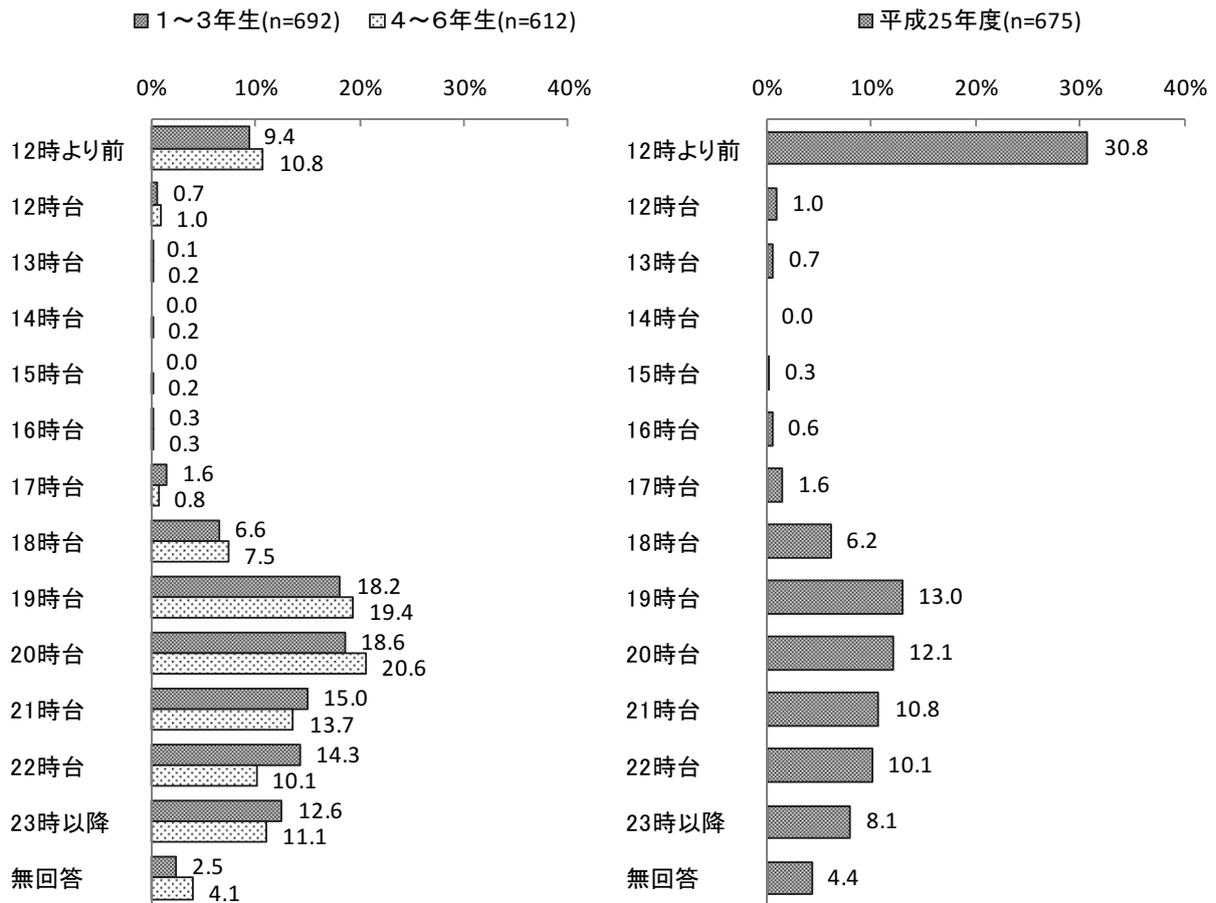
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（４）帰宅時刻

フルタイムの父親の帰宅時刻について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「20時台」がそれぞれ18.6%、20.6%と最も多く、次いで「19時台」が18.2%、19.4%、「21時台」が15.0%、13.7%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「18時台」から「23時以降」までは増加傾向にある。一方、「12時より前」は減少している。

図表 232 帰宅時刻（フルタイムの父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

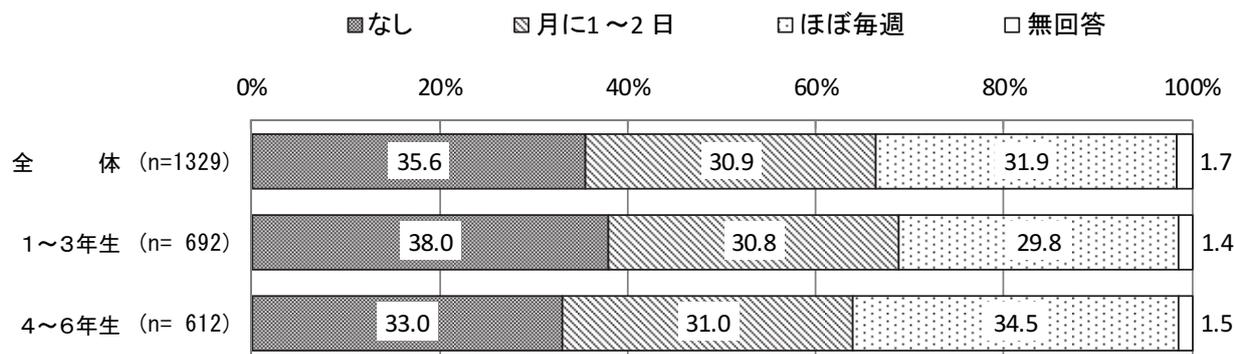
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（5）土曜日の就労日数

フルタイムの父親の土曜日の就労日数について、全体では「なし」が 35.6%、「月に1～2日」が 30.9%、「ほぼ毎週」が 31.9%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「なし」が 38.0%、「月に1～2日」が 30.8%、「ほぼ毎週」が 29.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「なし」が 5.0ポイント高く、「月に1～2日」「ほぼ毎週」はそれぞれ 0.2ポイント、4.7ポイント低くなっている。

図表 233 土曜日の就労日数（フルタイムの父親）



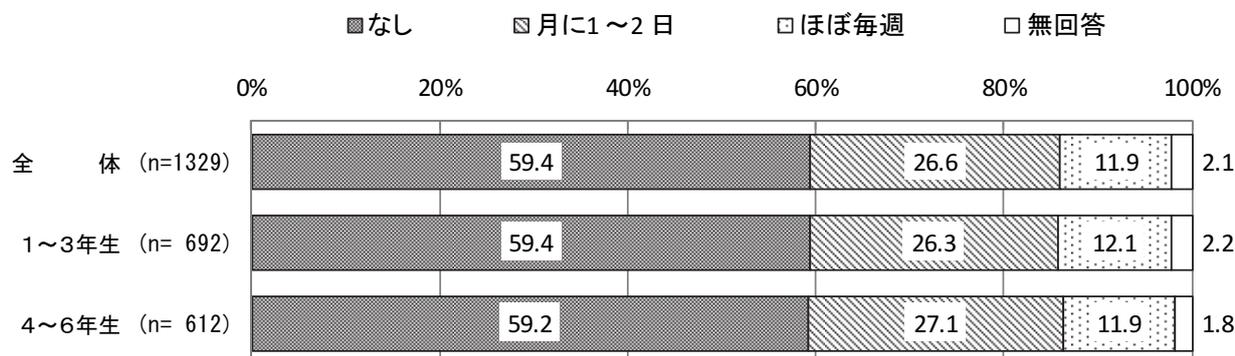
※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

（6）日曜日・祝日の就労日数

フルタイムの父親の日曜日・祝日の就労日数について、全体では「なし」が 59.4%、「月に1～2日」が 26.6%、「ほぼ毎週」が 11.9%となっている。

学年別で『1～3年生』と『4～6年生』共に「なし」がそれぞれ 59.4%、59.2%と最も多く、次いで「月に1～2日」が 26.3%、27.1%となっている。

図表 234 日曜日・祝日の就労日数（フルタイムの父親）



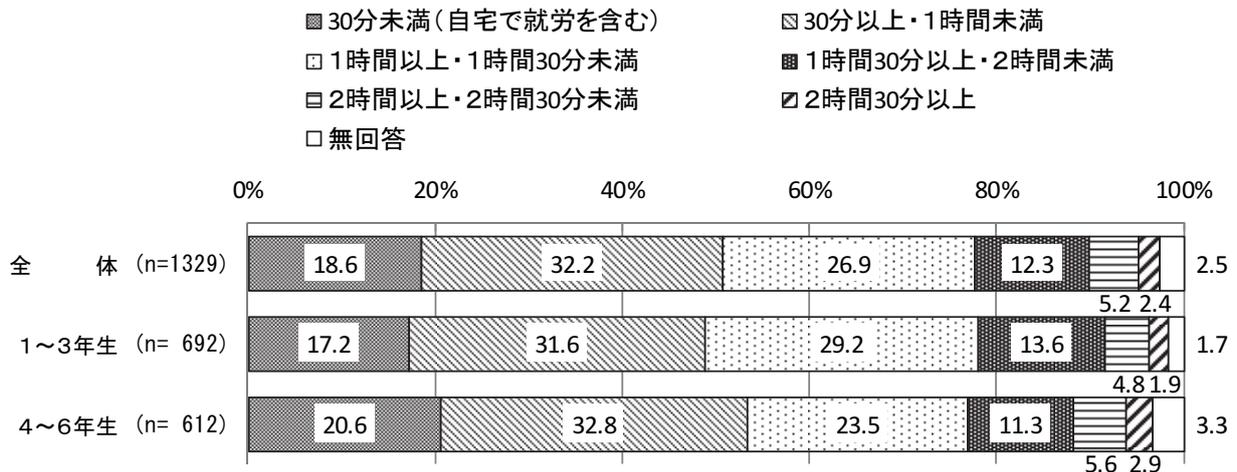
※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

フルタイムの父親の通勤時間について、全体では「30分以上・1時間未満」が32.2%と最も多く、次いで「1時間以上・1時間30分未満」が26.9%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「30分以上・1時間未満」がそれぞれ31.6%、32.8%と最も多く、次いで「1時間以上・1時間30分未満」が29.2%、23.5%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「30分以上・1時間未満」が1.2ポイント低く、「1時間以上・1時間30分未満」は5.7ポイント高くなっている。

図表 235 通勤時間（フルタイムの父親）

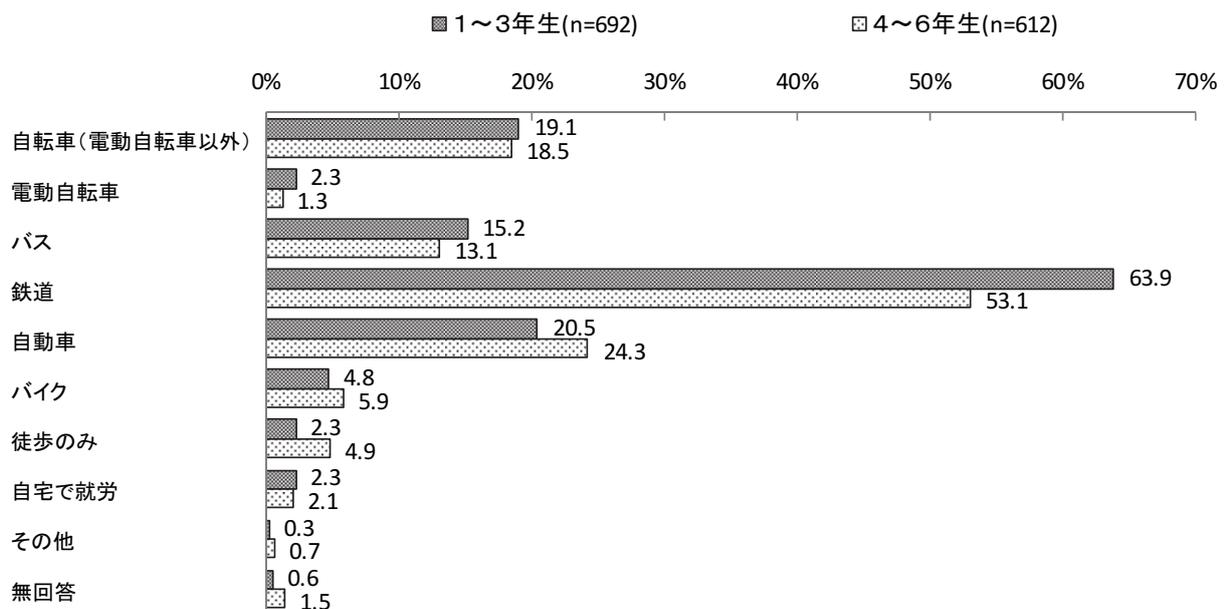


※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

フルタイムの父親の通勤手段について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「鉄道」がそれぞれ63.9%、53.1%と最も多く、次いで「自動車」が20.5%、24.3%となっている。

図表 236 通勤手段（フルタイムの父親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問11で「フルタイムで就労している」と回答した人（休業中を含む）

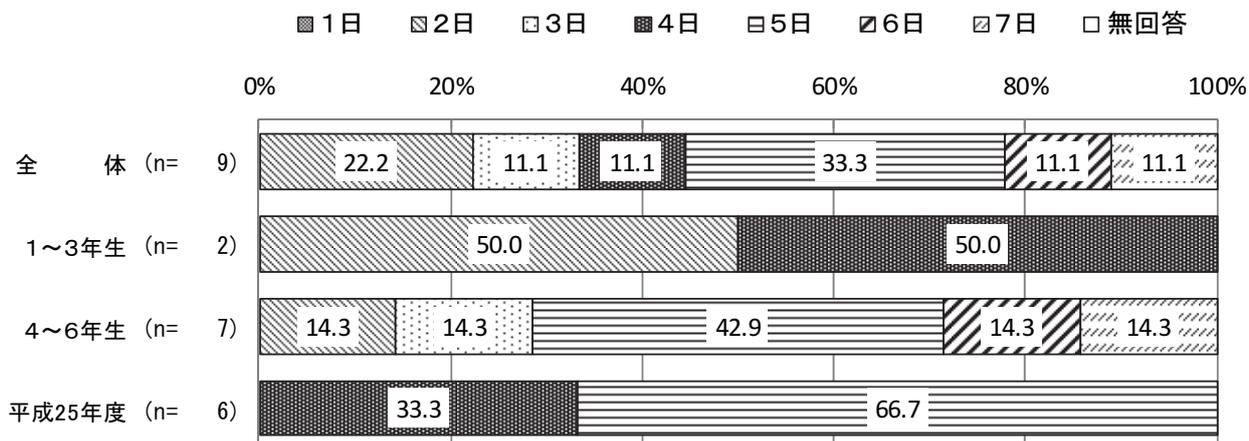
### 2-5-2-3 パート・アルバイト等の父親の就労状況

問11-1. お父さまの就労状況について、下の表の（1）～（8）にお答えください。

（1）1週あたりの就労日数

パート・アルバイト等の父親の1週あたりの就労日数について、以下の図の通りである。

図表 237 1週あたりの就労日数（パート・アルバイト等の父親）



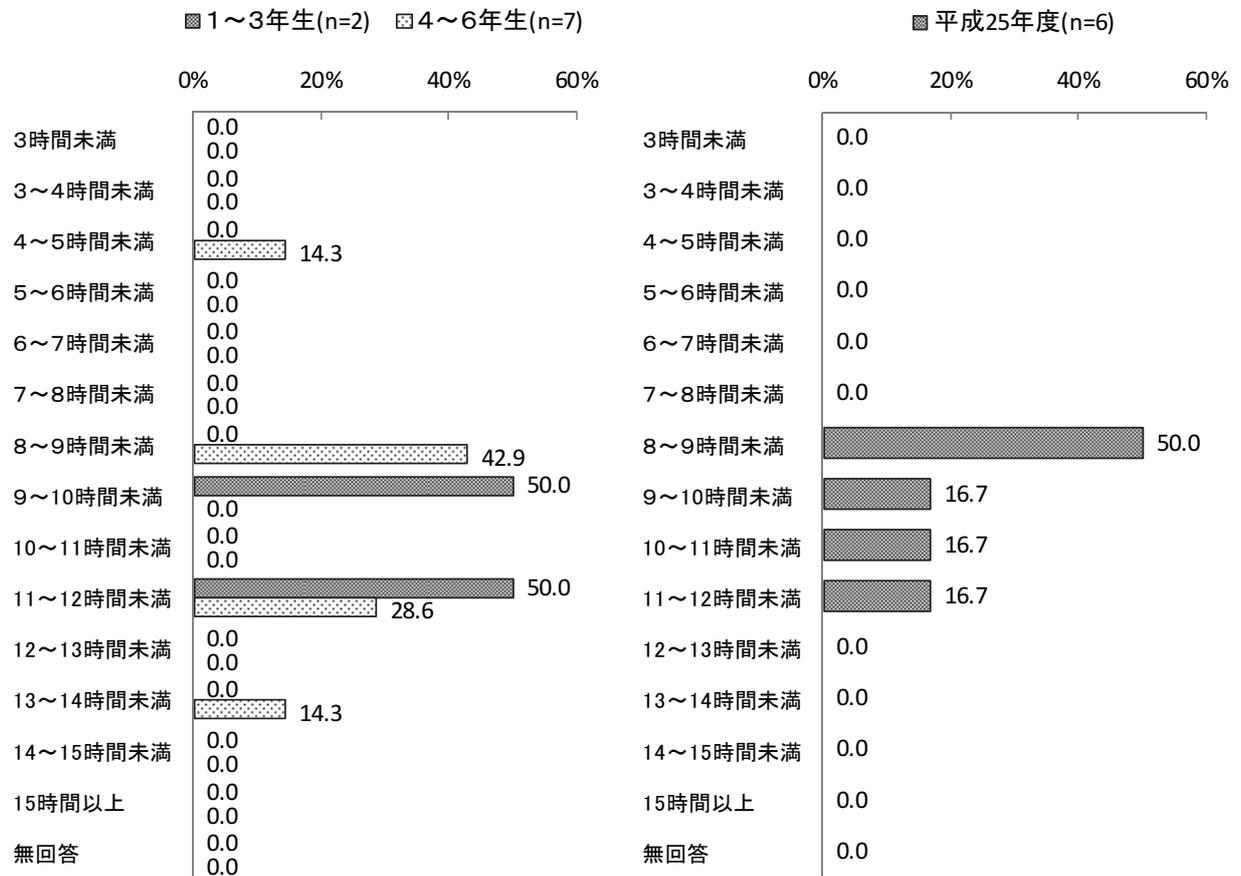
※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

(2) 1日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

パート・アルバイト等の父親の1日あたり就労時間について、以下の図の通りである。

図表 238 1日あたり就労時間（パート・アルバイト等の父親）



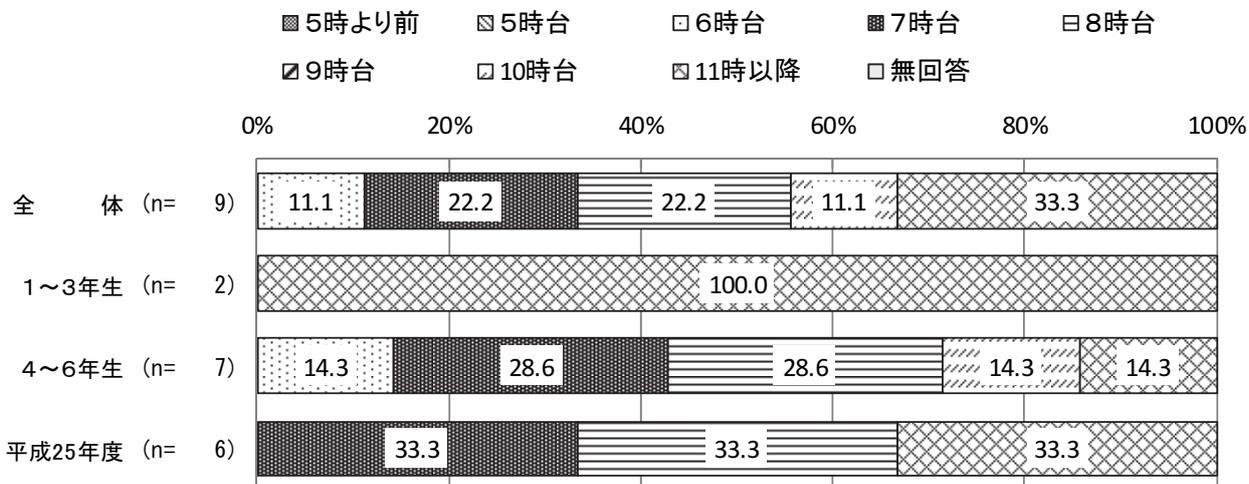
※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

（3）出勤時刻

パート・アルバイト等の父親の出勤時刻について、以下の図の通りである。

図表 239 出勤時刻（パート・アルバイト等の父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

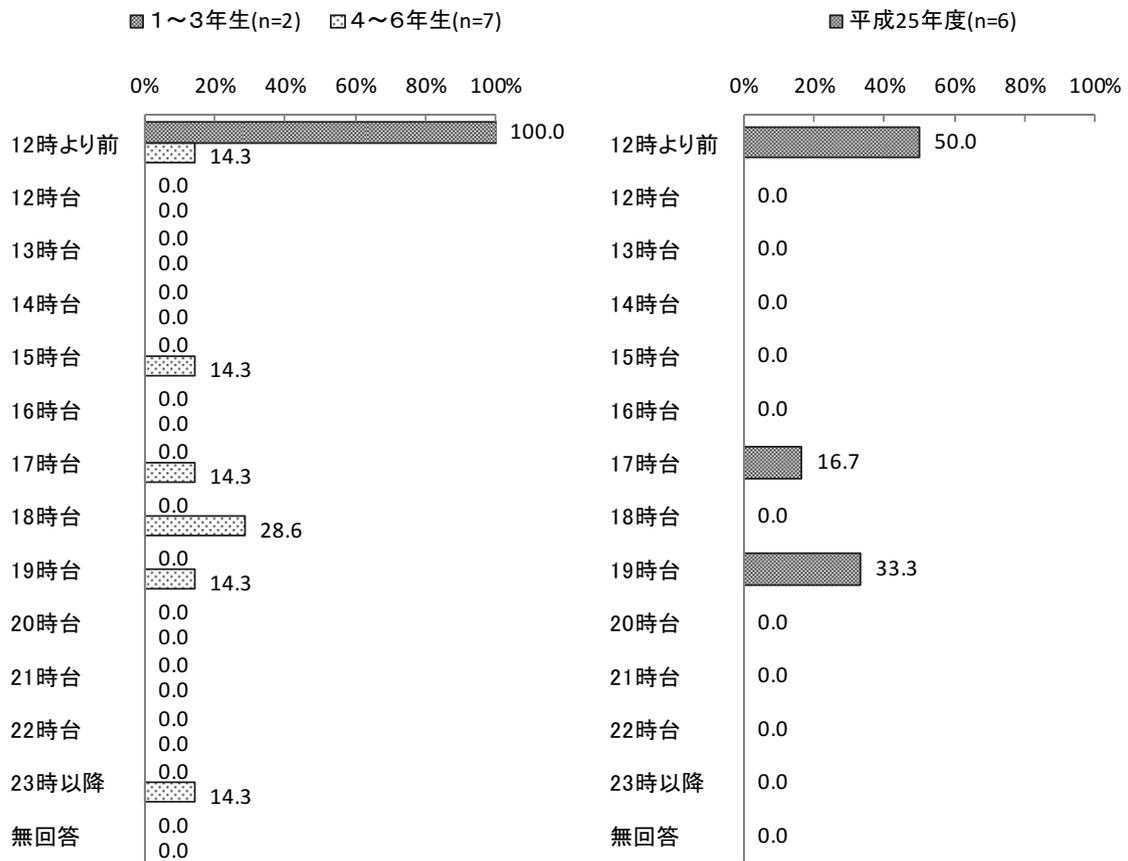
※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

（4）帰宅時刻

パート・アルバイト等の父親の帰宅時刻について、以下の図の通りである。

図表 240 帰宅時刻（パート・アルバイト等の父親）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

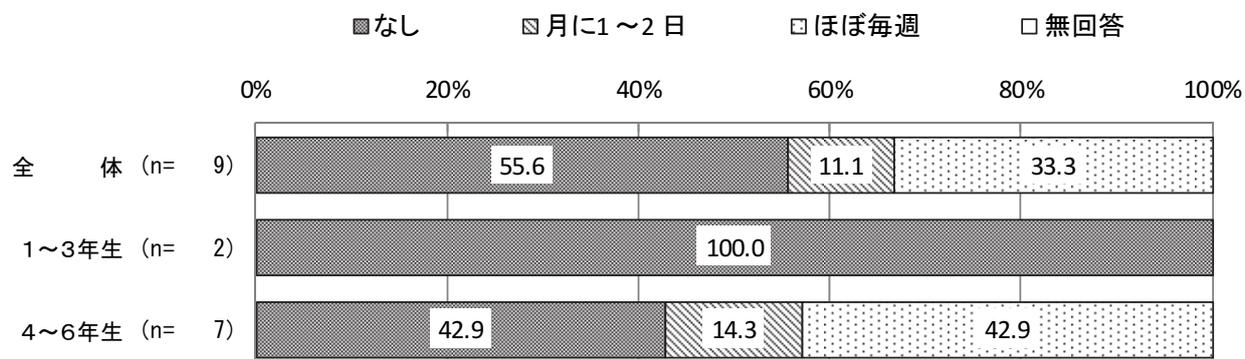
※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

（5）土曜日の就労日数

パート・アルバイト等の父親の土曜日の就労日数について、以下の図の通りである。

図表 241 土曜日の就労日数（パート・アルバイト等の父親）

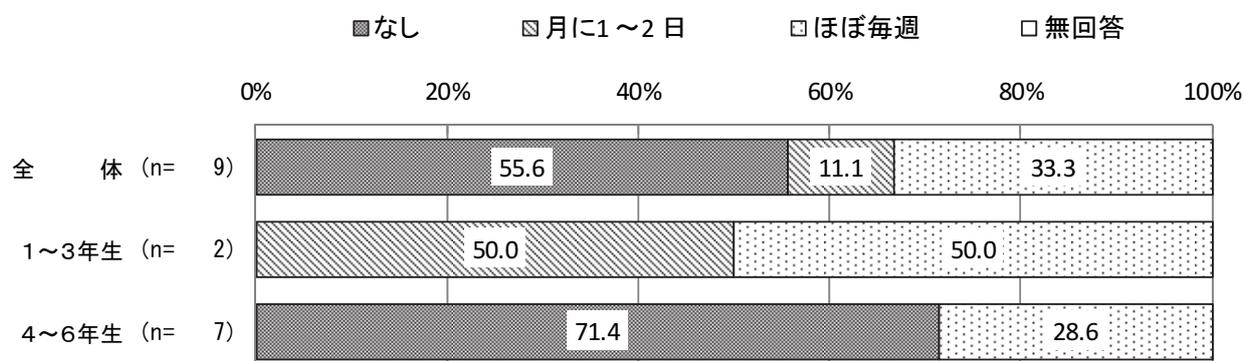


※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

（6）日曜日・祝日の就労日数

パート・アルバイト等の父親の日曜日・祝日の就労日数について、以下の図の通りである。

図表 242 日曜日・祝日の就労日数（パート・アルバイト等の父親）

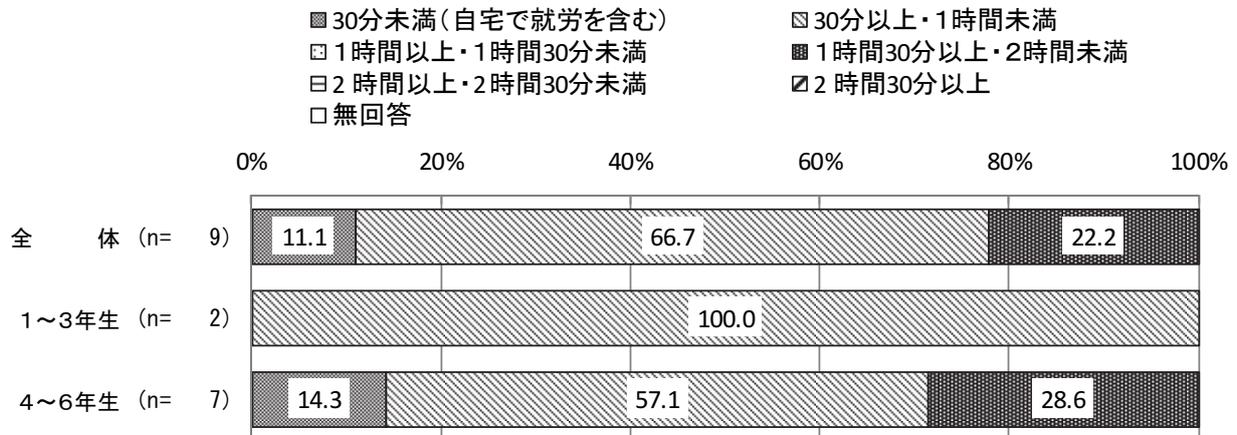


※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(7) 通勤時間

パート・アルバイト等の父親の通勤時間について、以下の図の通りである。

図表 243 通勤時間（パート・アルバイト等の父親）

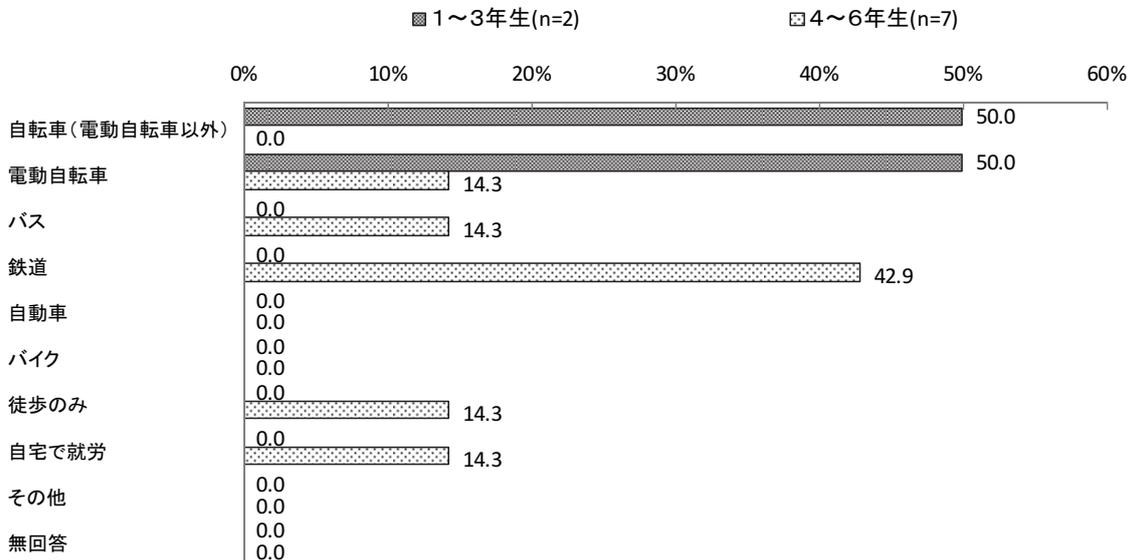


※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

(8) 通勤手段

パート・アルバイト等の父親の通勤手段について、以下の図の通りである。

図表 244 通勤手段（パート・アルバイト等の父親）



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

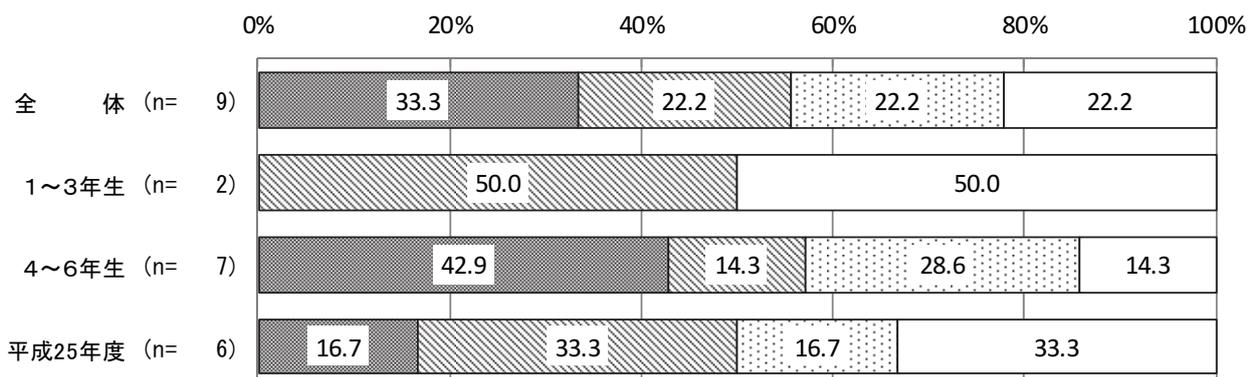
2-5-2-4 パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望

問12. 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望について、以下の図の通りである。

図表 245 今後の就労希望（パート・アルバイト等の父親）

- フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



※回答対象は問11で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人（休業中を含む）

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-5-2-5 非就労の父親の今後の就労希望

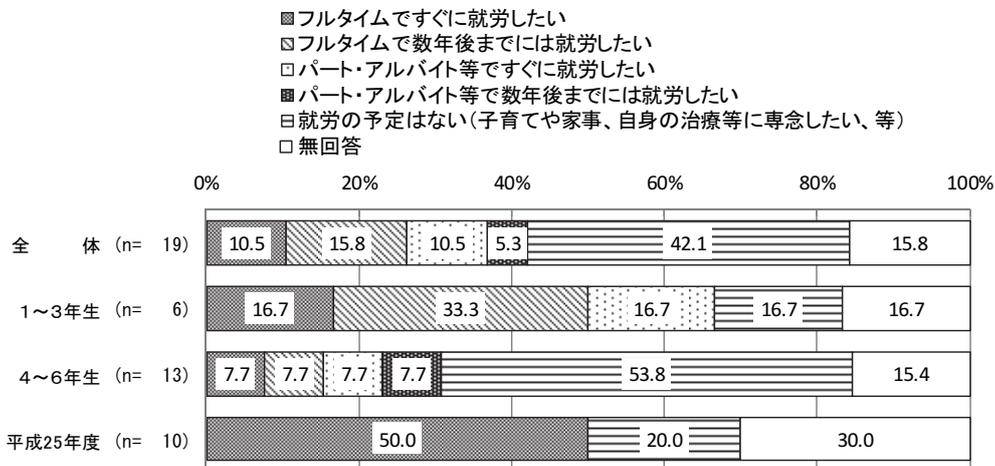
問13. 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。また、下記で「3. または4.（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（カッコ内に数字で）。

非就労の父親の就労希望について、全体では「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が42.1%と最も多くなっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「フルタイムで数年後までには就労したい」が33.3%（2人）となっており、『4～6年生』では、「就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）」が53.8%（7人）となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「フルタイムですぐに就労したい」が33.3ポイント減少している。

図表 246 非就労の父親の今後の就労希望



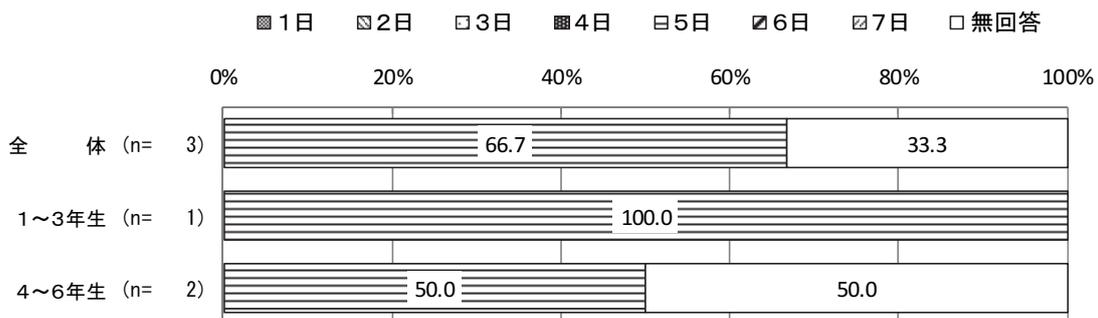
※回答対象は問11で「就労していない・就労したことがない」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

### (1) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労日数（1週あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の父親が希望する就労日数について、以下の図の通りである。

図表 247 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労日数

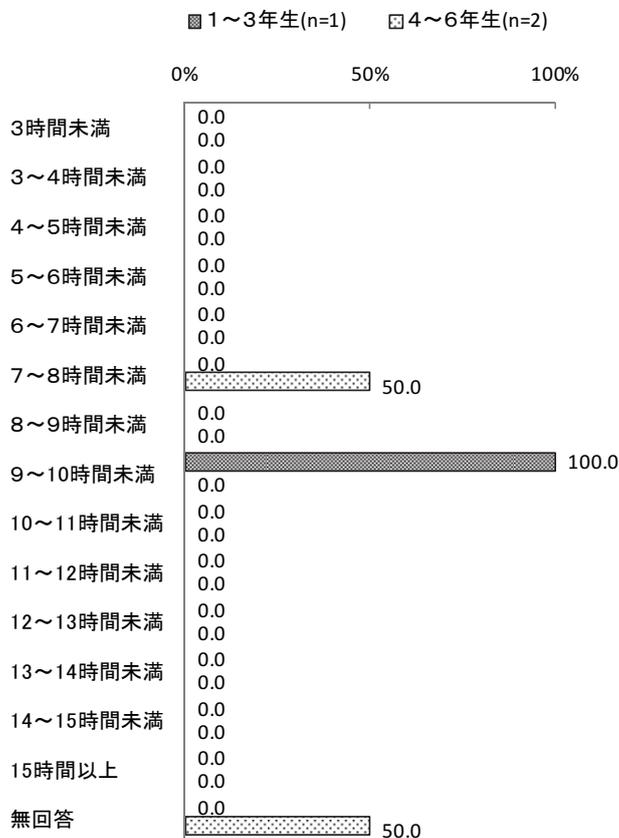


※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(2) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労時間（1日あたり）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の父親が希望する就労時間について、以下の図の通りである。

図表 248 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する就労時間

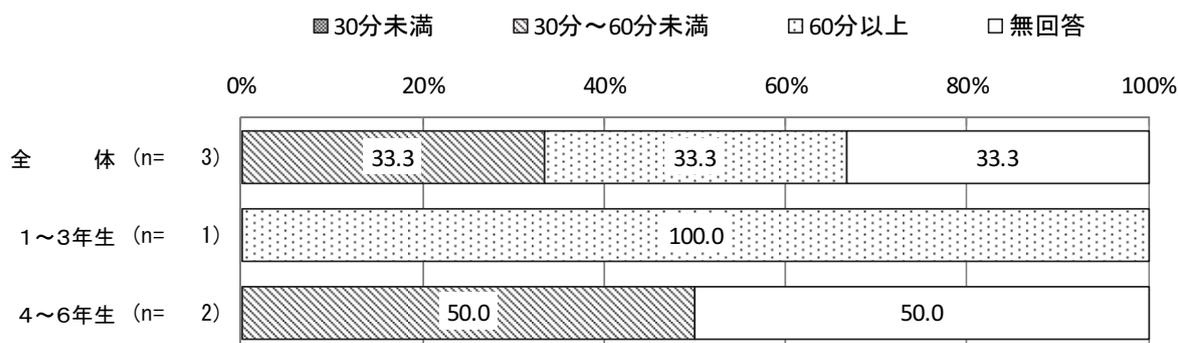


※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

(3) パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する通勤時間（1日あたり往復）

パート・アルバイト等で就労したい非就労の父親が希望する通勤時間について、以下の図の通りである。

図表 249 パート・アルバイト等で就労したい父親の希望する通勤時間



※回答対象は問13で「パート・アルバイト等で就労したい」と回答した人

## 2-6 放課後の過ごし方について

### 2-6-1 現在放課後の時間を過ごしている場所・週あたりの日数

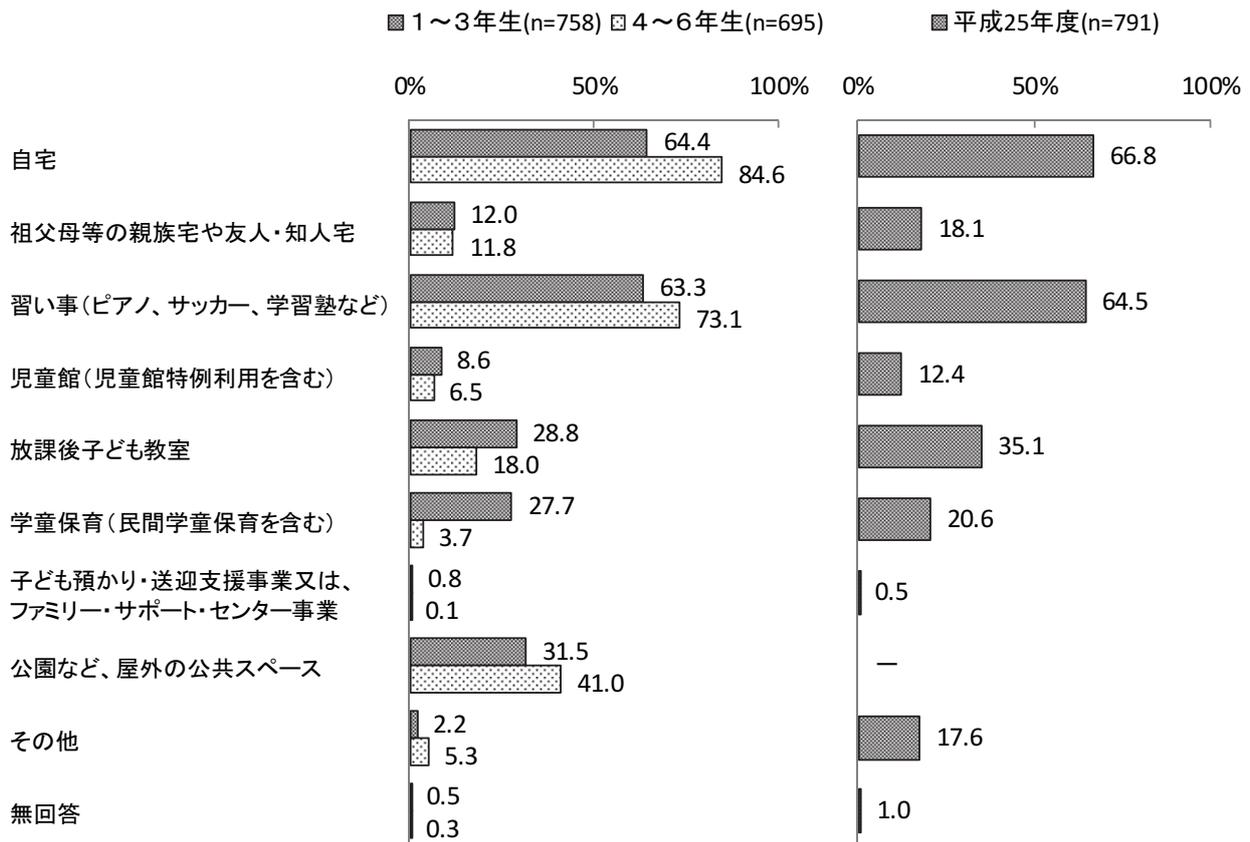
問14. お子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所（事業）で過ごしていますか（○はあてはまるものすべて）。また、それぞれの場所（事業）の週あたりの日数をお答えください（カッコ内に数字で）。

#### (1) 過ごしている場所

現在放課後過ごしている場所について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「自宅」がそれぞれ64.4%、84.6%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)」が63.3%、73.1%となっている。

『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「自宅」「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)」「公園など、屋外の公共スペース」がそれぞれ20.2ポイント、9.8ポイント、9.5ポイント減少しており、「放課後子ども教室」「学童保育（民間学童保育を含む）」はそれぞれ10.8ポイント、24.0ポイント増加している。

図表 250 現在放課後の時間を過ごしている場所



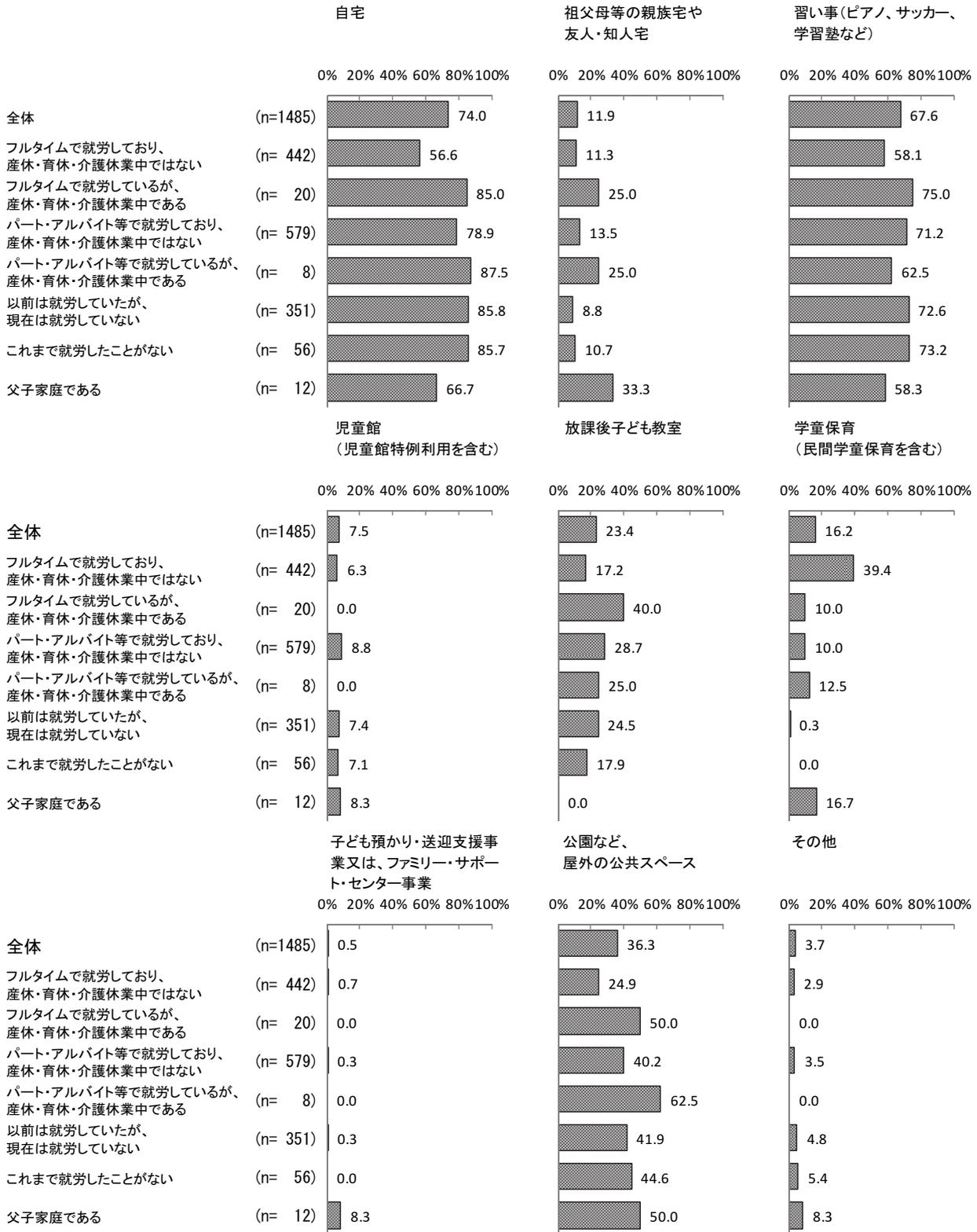
※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

母親の就労状況別でみると、『習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）』では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が75.0%と最も多く、一方、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が58.1%と最も少なくなっている。

図表 251 現在放課後の時間を過ごしている場所—母親就労状況別



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学後児童対象調査の全員

(2) 週あたりの日数

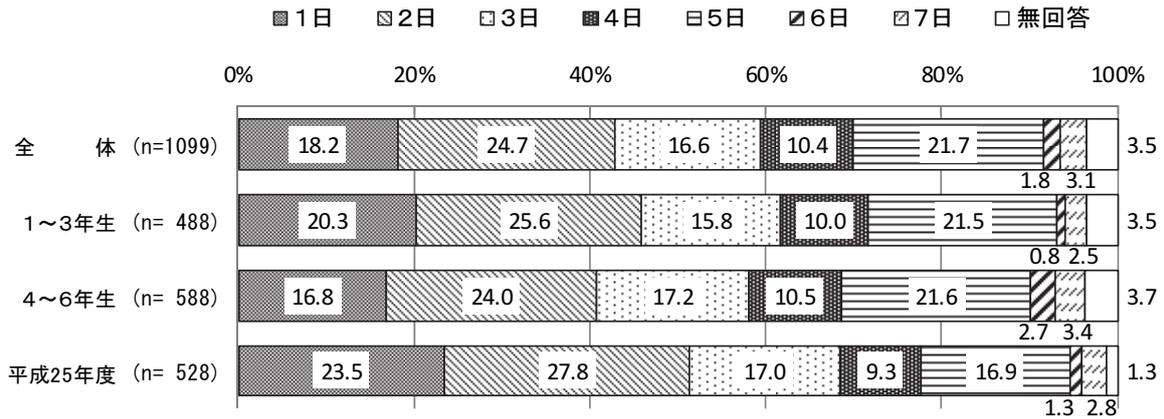
1. 自宅

現在放課後自宅で過ごしている週あたりの日数について、全体では「2日」が24.7%と最も多く、次いで「5日」が21.7%、「1日」が18.2%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「2日」が25.6%と最も多く、次いで「5日」が21.5%、「1日」が20.3%となっており、『4～6年生』では「2日」が24.0%と最も多く、次いで「5日」が21.6%、「3日」が17.2%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「5日」が4.6ポイント増加している。

図表 252 放課後「自宅」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

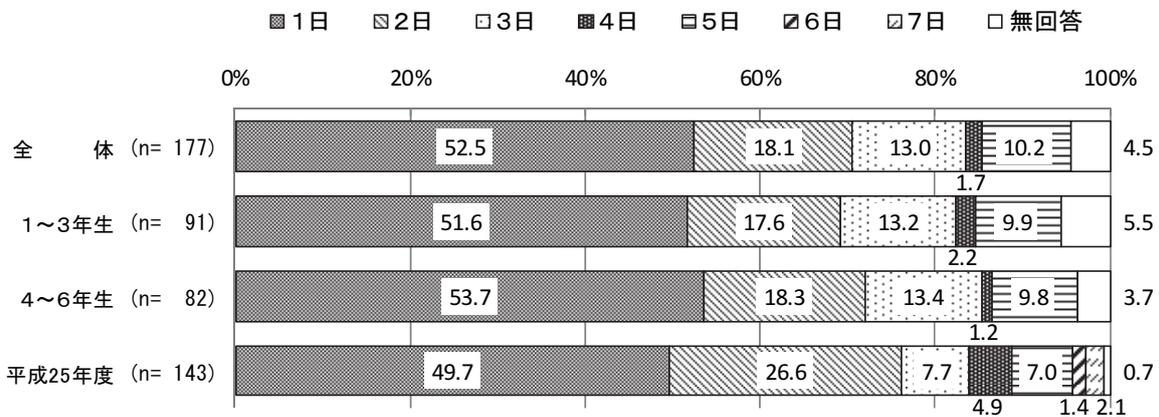
2. 祖父母等の親族宅や友人・知人宅

現在放課後祖父母等の親族宅や友人・知人宅で過ごしている週あたりの日数について、全体では「1日」が52.5%と最も多く、次いで「2日」が18.1%、「3日」が13.0%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「1日」がそれぞれ51.6%、53.7%と最も多くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「3日」「5日」がそれぞれ5.5ポイント、2.9ポイント増加し、「2日」は9.0ポイント減少している。

図表 253 放課後「祖父母等の親族宅や友人・知人宅」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

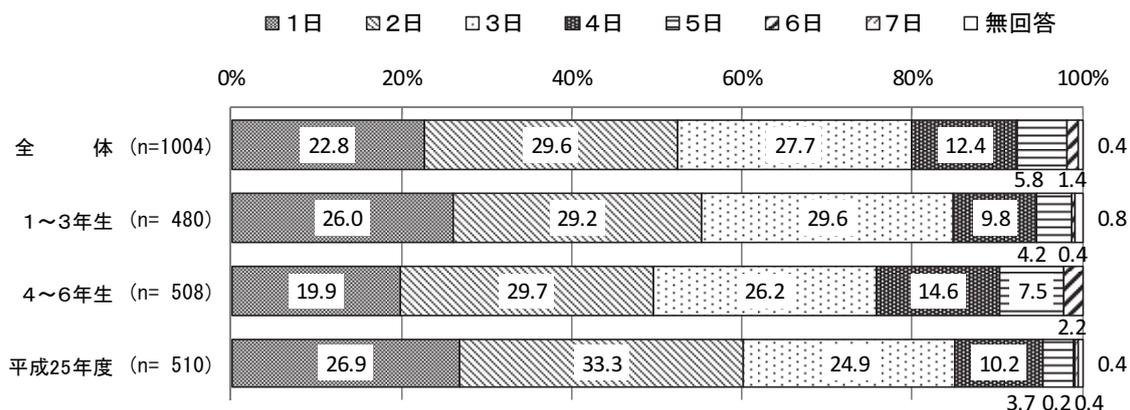
### 3. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）

現在放課後習い事で過ごしている週あたりの日数について、全体では「2日」が29.6%と最も多く、次いで「3日」が27.7%、「1日」が22.8%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「3日」が29.6%と最も多く、次いで「2日」が29.2%、「1日」が26.0%となっており、『4～6年生』では「2日」が29.7%と最も多く、次いで「3日」が26.2%、「1日」が19.9%と続いている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「2日」が4.1ポイント減少し、「3日」は4.7ポイント増加している。

図表 254 放課後「習い事」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

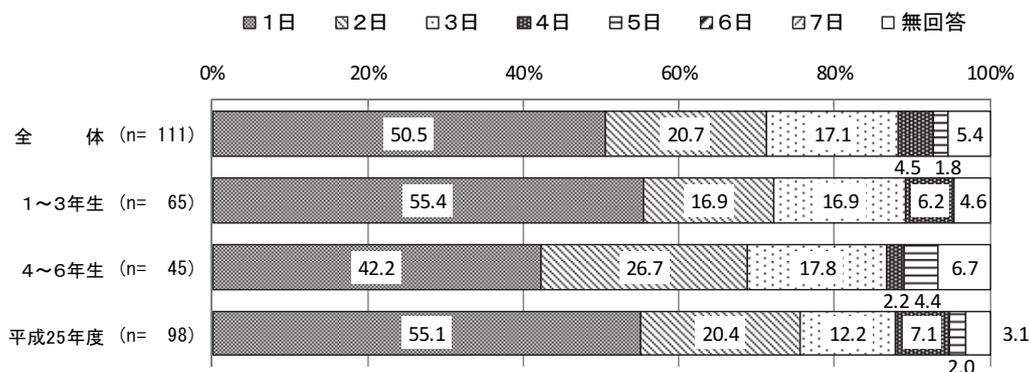
### 4. 児童館（児童館特例利用を含む）

現在放課後児童館で過ごしている週あたりの日数について、全体では「1日」が50.5%と最も多く、次いで「2日」が20.7%、「3日」が17.1%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「1日」がそれぞれ55.4%、42.2%と最も多くなっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、『1～3年生』の「1日」が13.2ポイント高くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「2日」が3.5ポイント減少し、「3日」は4.7ポイント増加している。

図表 255 放課後「児童館」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

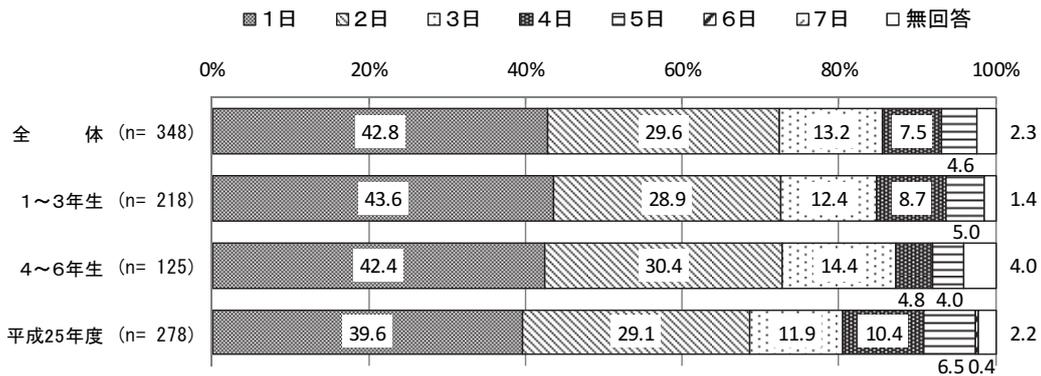
### 5. 放課後子ども教室

現在放課後子ども教室で過ごしている週あたりの日数について、全体では「1日」が42.8%と最も多く、次いで「2日」が29.6%、「3日」が13.2%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1日」が43.6%と最も多く、次いで「2日」が28.9%、「3日」が12.4%となっており、『4～6年生』では「1日」が42.4%と最も多く、次いで「2日」が30.4%、「3日」が14.4%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「1日」が4.0ポイント増加している。

図表 256 放課後「放課後子ども教室」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

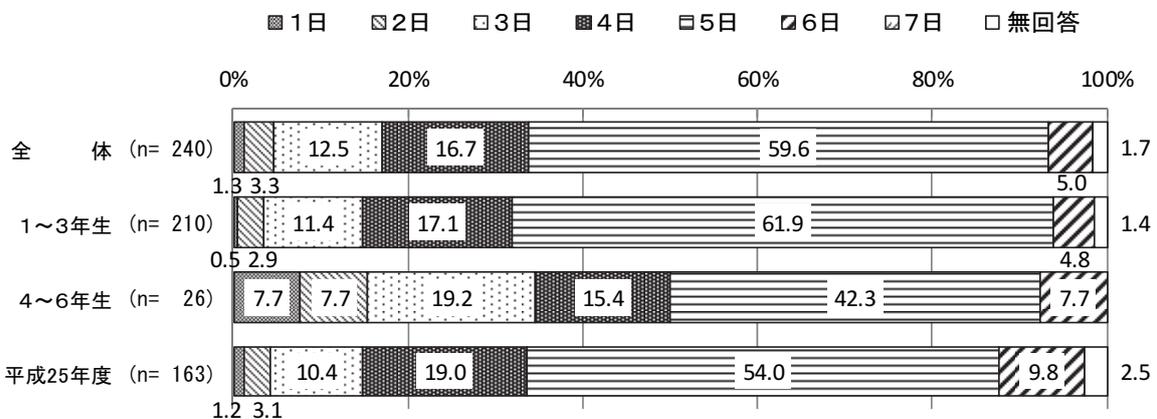
### 6. 学童保育（民間学童保育を含む）

現在放課後学童保育で過ごしている週あたりの日数について、全体では「5日」が59.6%と最も多く、次いで「4日」が16.7%、「3日」が12.5%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「5日」が61.9%と最も多く、次いで「4日」が17.1%、「3日」が11.4%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「4日」「5日」がそれぞれ1.7ポイント、19.6ポイント高く、「3日」は7.8ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「5日」が7.9ポイント増加している。

図表 257 放課後「学童保育」で過ごしている週あたりの日数



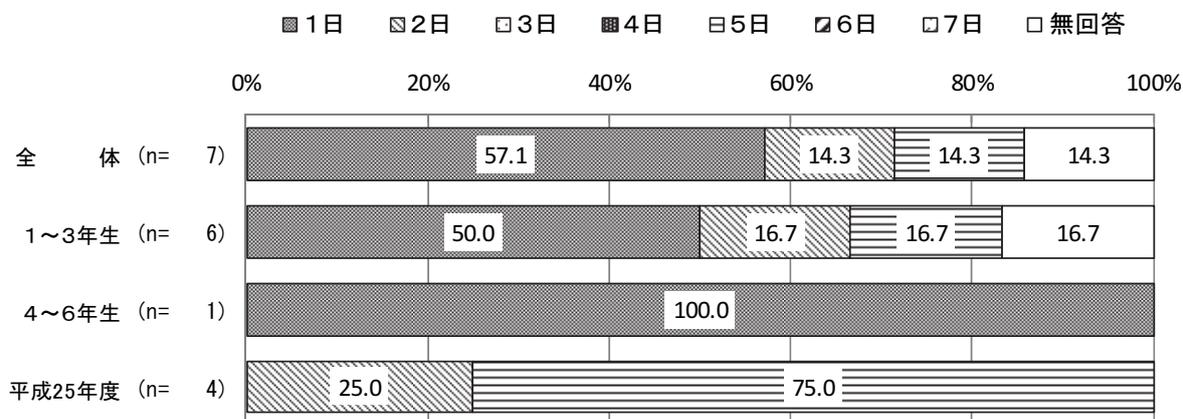
※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

### 7. 子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業

現在放課後子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業で過ごしている週あたりの日数について、以下の図の通りである。

**図表 258 放課後「子ども預かり・送迎支援事業又は、ファミリー・サポート・センター事業」で過ごしている週あたりの日数**



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

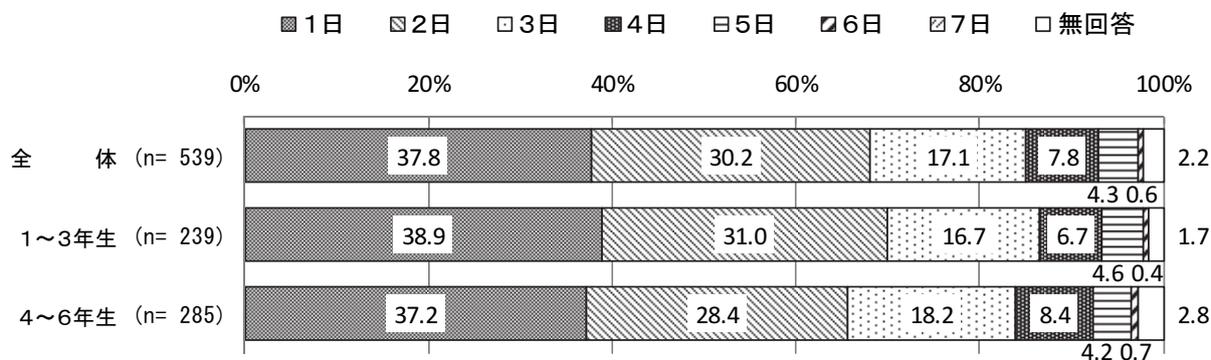
※平成25年度は1～3年生のみ調査

### 8. 公園など、屋外の公共スペース

現在放課後公園など、屋外の公共スペースで過ごしている週あたりの日数について、全体では「1日」が37.8%と最も多く、次いで「2日」が30.2%、「3日」が17.1%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1日」が38.9%と最も多く、次いで「2日」が31.0%、「3日」が16.7%となっており、『4～6年生』では「1日」が37.2%と最も多く、次いで「2日」が28.4%、「3日」が18.2%となっている。

**図表 259 放課後「公園など、屋外の公共スペース」で過ごしている週あたりの日数**



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

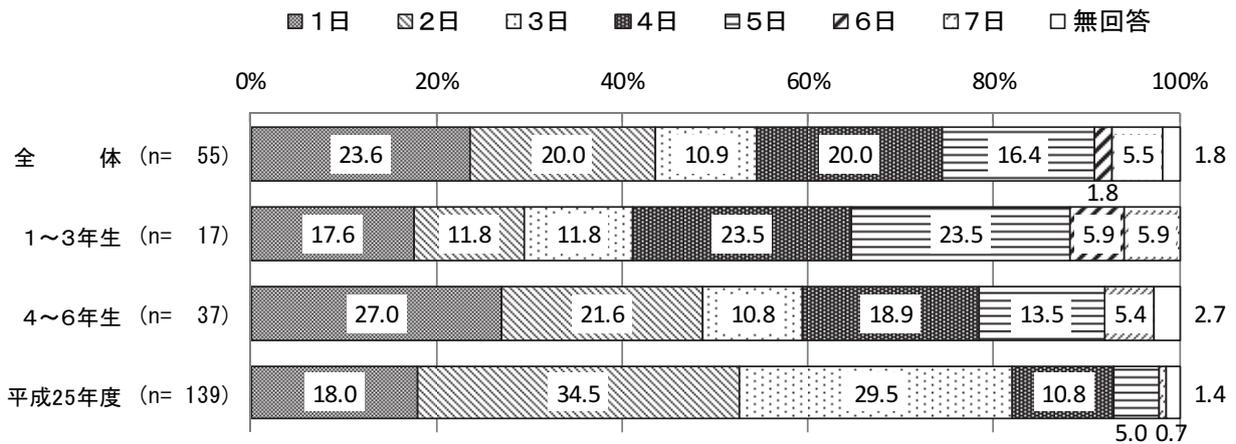
### 9. その他

現在放課後その他で過ごしている週あたりの日数について、全体では「1日」が23.6%と最も多く、次いで「2日」「4日」が20.0%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「4日」「5日」が23.5%と多く、次いで「1日」が17.6%となっており、『4～6年生』では「1日」が27.0%と最も多く、次いで「2日」が21.6%、「4日」が18.9%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「2日」「3日」がそれぞれ22.7ポイント、17.7ポイント減少し、「4日」「5日」はそれぞれ12.7ポイント、18.5ポイント増加している。

図表 260 放課後「その他」で過ごしている週あたりの日数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-6-2 学童保育の利用状況

### 2-6-2-1 学童保育における現在の利用時間帯と希望する利用時間帯

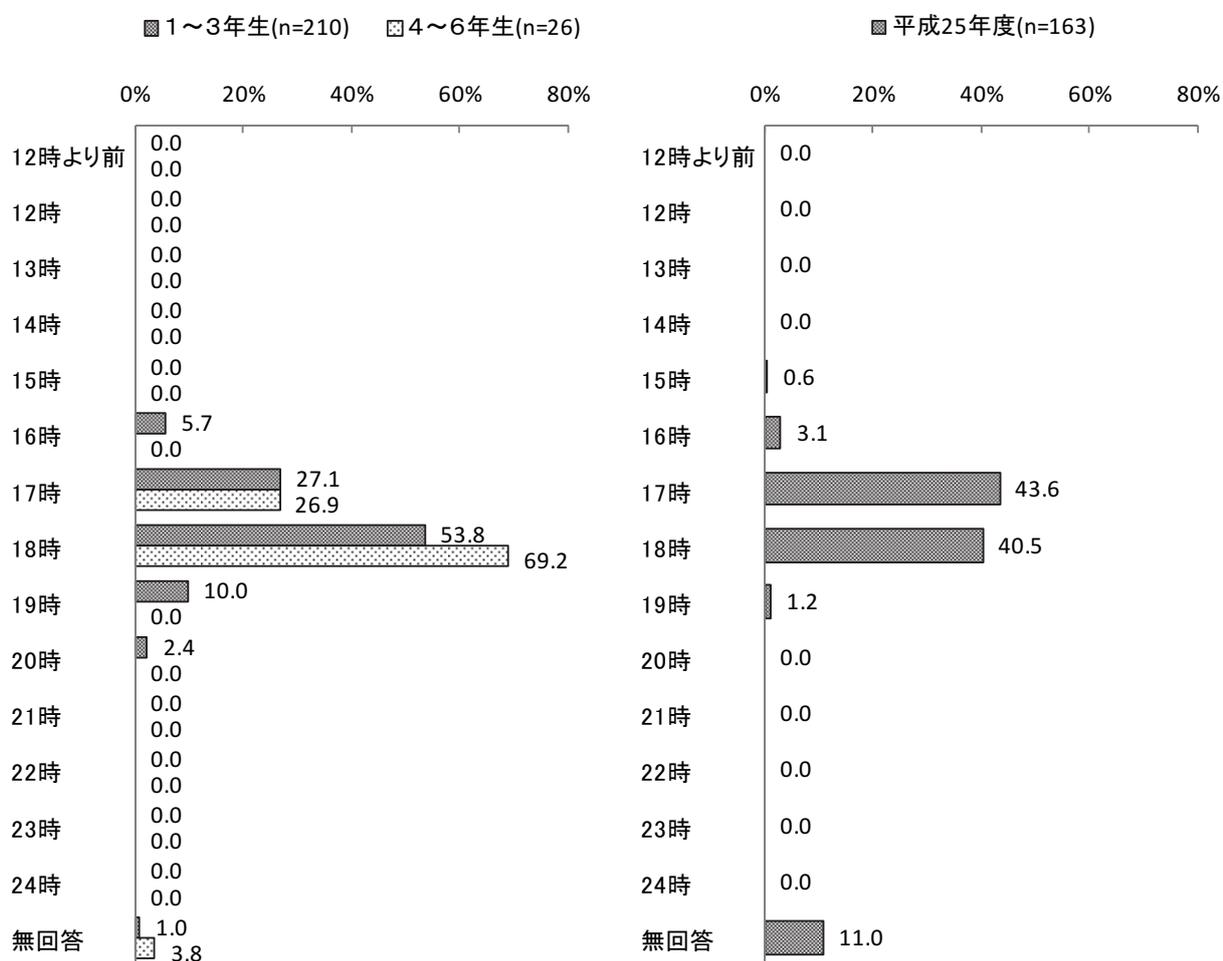
問14-1. 学童保育の現在の利用時間帯をお答えください。また、希望する利用時間帯をお答えください（カッコ内に数字）。

#### (1) 現在の利用時間帯

学童保育における現在の利用時間帯について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「18時」がそれぞれ53.8%、69.2%と最も多く、次いで「17時」が27.1%、26.9%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「18時」が15.4ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「18時」が13.3ポイント増加し、「17時」は16.5ポイント減少している。

図表 261 学童保育における現在の利用時間帯



※回答対象は問14で学童保育を利用している人

※回答は下校時間を開始時間としたときの利用終了時間

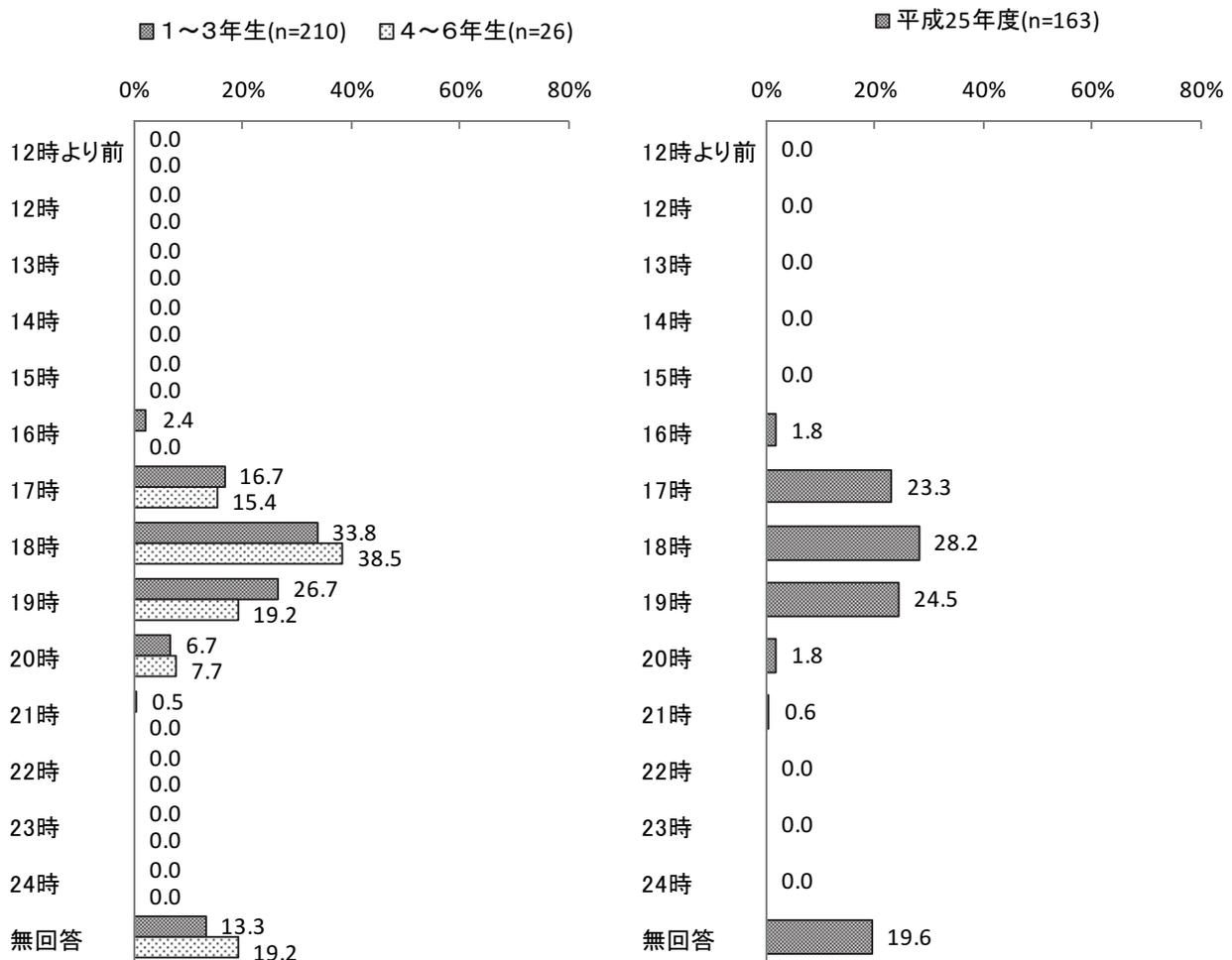
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（2）希望する利用時間帯

学童保育における希望する利用時間帯について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「18時」がそれぞれ33.8%、38.5%と最も多く、次いで「19時」が26.7%、19.2%、「17時」が16.7%、15.4%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「17時」「19時」がそれぞれ1.3ポイント、7.5ポイント高く、「18時」は4.7ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「18時」「19時」がそれぞれ5.6ポイント、2.2ポイント増加し、「17時」は6.6ポイント減少している。

図表 262 学童保育における希望する利用時間帯



※回答対象は問14で学童保育を利用している人

※回答は下校時間を開始時間としたときの利用終了時間

※平成25年度は1～3年生のみ調査

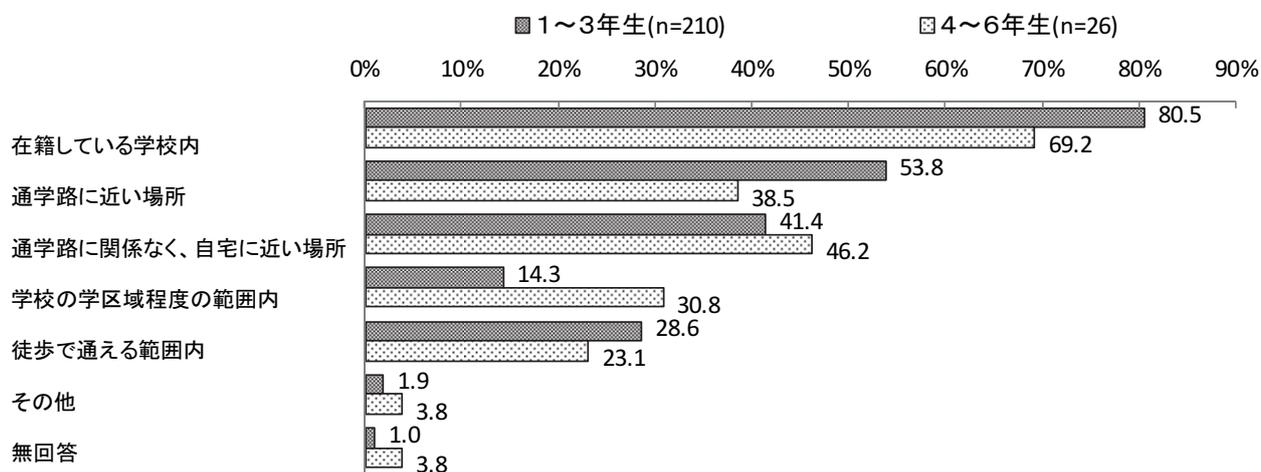
## 2-6-2-2 学童保育室の望ましい設置場所

問14-2. 学童保育室の設置場所について、どこにあれば学童保育を利用できますか（○はあてはまるもの全て）。

学童保育室の望ましい設置場所について、『1～3年生』では「在籍している学校内」が80.5%と最も多く、次いで「通学路に近い場所」が53.8%、「通学路に関係なく、自宅に近い場所」が41.4%となっており、『4～6年生』では「在籍している学校内」が69.2%と最も多く、次いで「通学路に関係なく、自宅に近い場所」が46.2%、「通学路に近い場所」が38.5%となっている。

『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「在籍している学校内」「通学路に近い場所」「徒歩で通える範囲内」がそれぞれ11.3ポイント、15.3ポイント、5.5ポイント高く、「通学路に関係なく、自宅に近い場所」「学校の学区程度の範囲内」はそれぞれ4.8ポイント、16.5ポイント低くなっている。

図表 263 学童保育室の望ましい設置場所



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問14で学童保育を利用している人

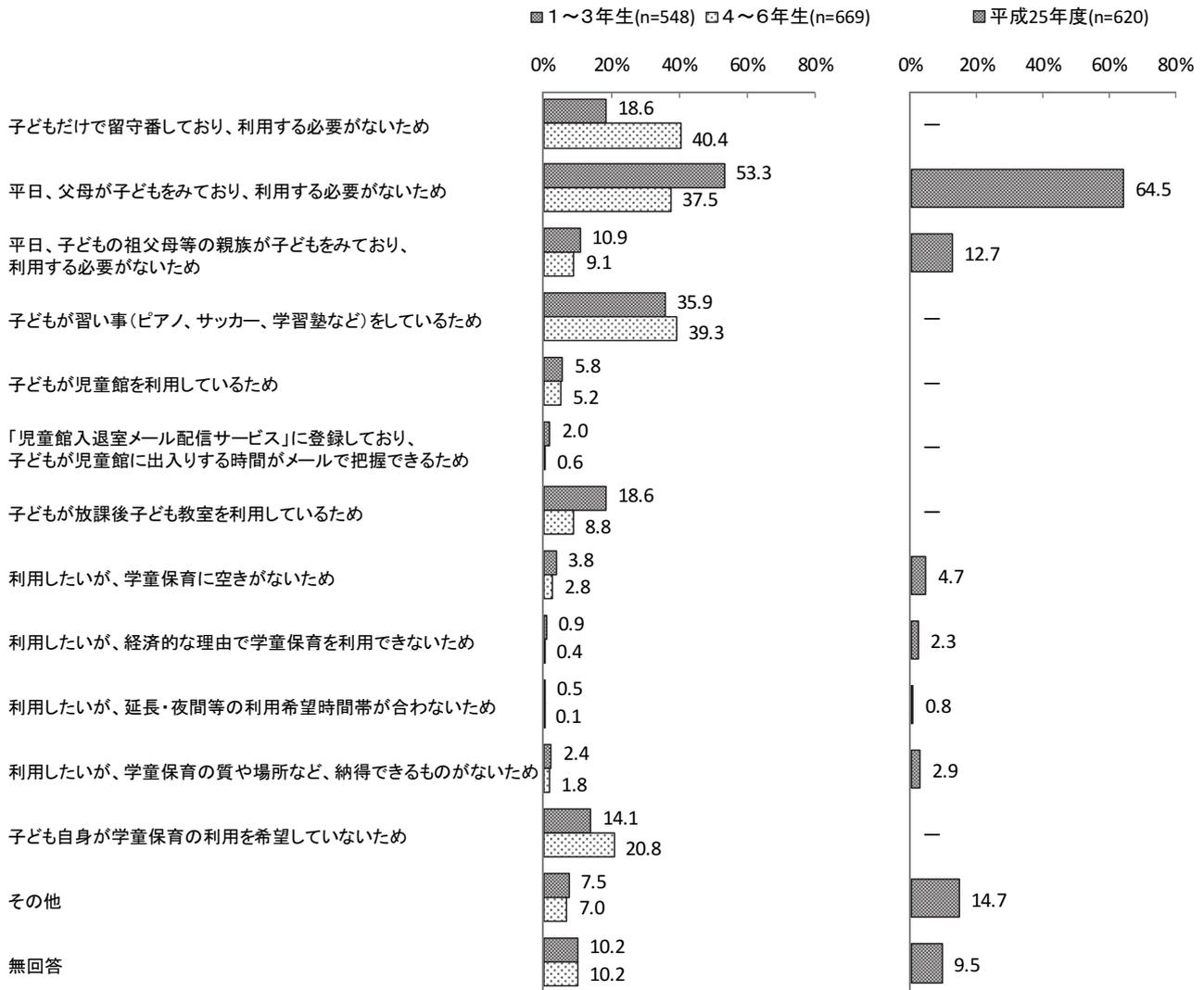
### 2-6-2-3 学童保育を利用していない理由

問 1 4 - 3. 学童保育を利用していない理由は、次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

学童保育を利用していない理由について、『1～3年生』では「平日、父母が子どもをみており、利用する必要がないため」が53.3%と最も多く、次いで「子どもが習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)をしているため」が35.9%となっており、『4～6年生』では「子どもだけで留守番しており、利用する必要がないため」が40.4%と最も多く、次いで「子どもが習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)をしているため」が39.3%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「平日、父母が子どもをみており、利用する必要がないため」「平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみており、利用する必要がないため」がそれぞれ11.2ポイント、1.8ポイント減少している。

図表 264 学童保育を利用していない理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問14で学童保育を利用していない人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-6-2-4 土曜日や日曜日・祝日や学校長期休業中の学童保育の利用意向

問14-4. お子さんについて、(1) 土曜日に、(2) 日曜日・祝日に、(3) 夏休み・冬休みなどの学校長期休業中に、学童保育（民間学童保育を含む）を利用したいと思いますか（それぞれ○は1つだけ）。また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください（カッコ内に数字で）。

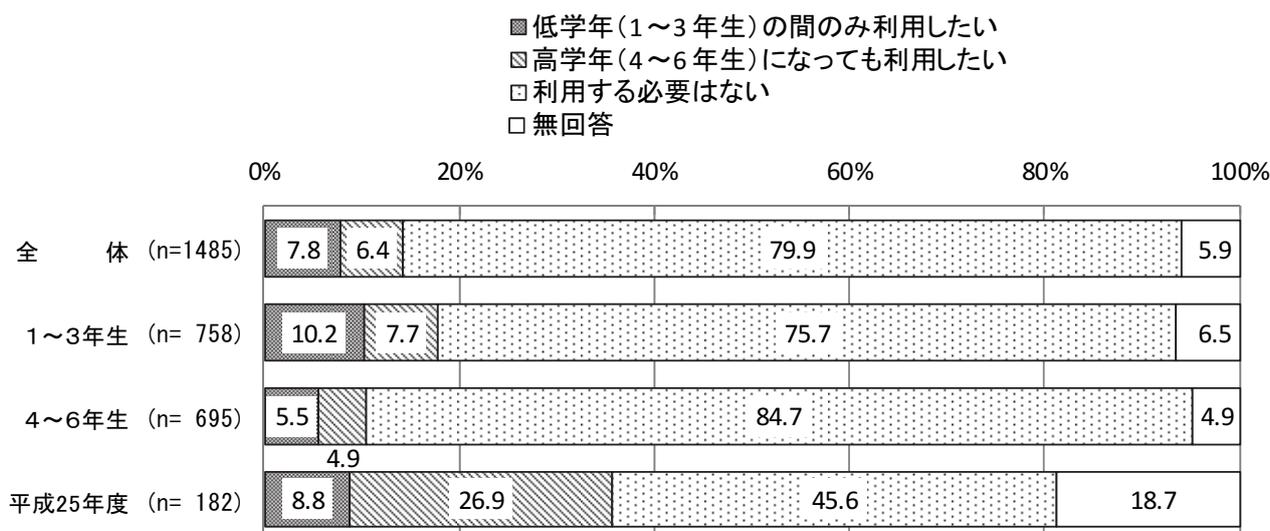
### (1) 土曜日

土曜日の学童保育の利用意向について、全体では「利用する必要はない」が79.9%と最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間のみ利用したい」が7.8%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6.4%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「利用する必要はない」がそれぞれ75.7%、84.7%と最も多くなっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「低学年(1～3年生)の間のみ利用したい」「高学年(4～6年生)になっても利用したい」がそれぞれ4.7ポイント、2.8ポイント高くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「低学年(1～3年生)の間のみ利用したい」「利用する必要はない」がそれぞれ1.4ポイント、30.1ポイント増加している。

図表 265 土曜日の学童保育の利用意向



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

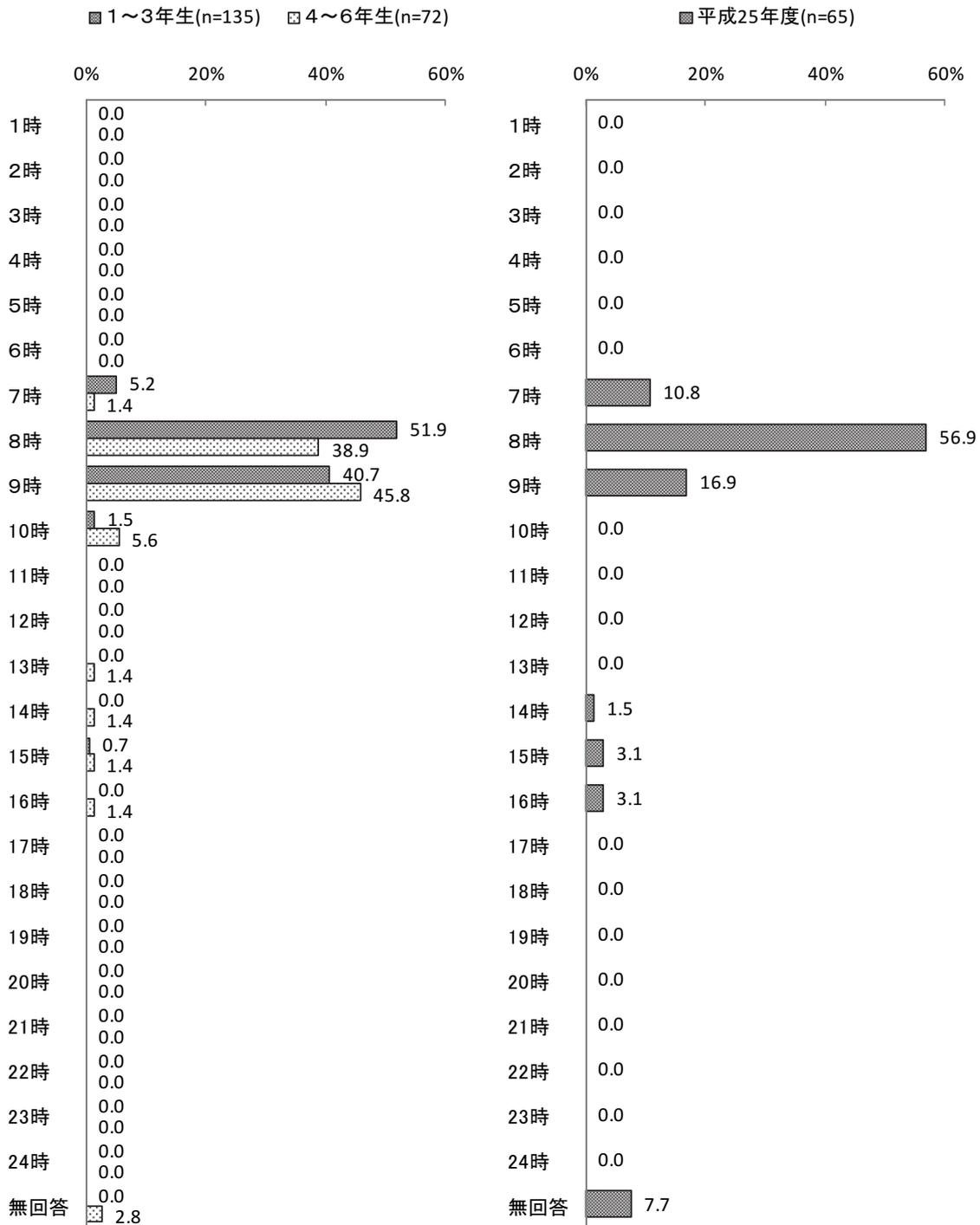
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(2) 土曜日の利用したい時間帯(開始時間)

土曜日の利用したい時間帯（開始時間）について、『1～3年生』では「8時」が51.9%と最も多く、次いで「9時」が40.7%となっており、『4～6年生』では「9時」が45.8%と最も多く、次いで「8時」が38.9%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「9時」が23.8ポイント増加し、「8時」は5.0ポイント減少している。

図表 266 土曜日の利用したい時間帯（開始時間）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※問14-4で「土曜日に利用したい」と回答した人

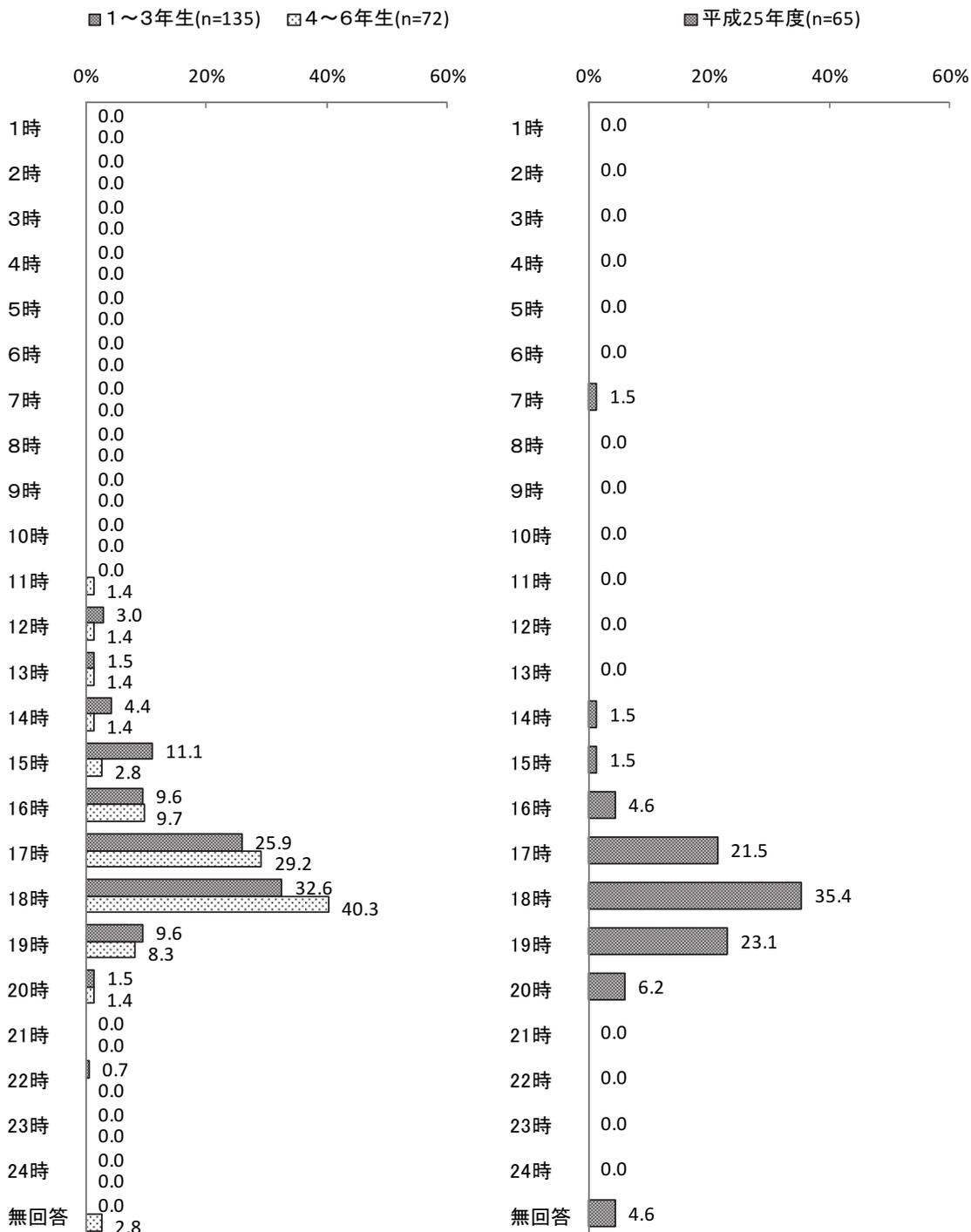
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（3）土曜日の利用したい時間帯（終了時間）

土曜日の利用したい時間帯（終了時間）について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「18時」がそれぞれ32.6%、40.3%と最も多く、次いで「17時」が25.9%、29.2%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「17時」が4.4ポイント増加し、「18時」「19時」はそれぞれ2.8ポイント、13.5ポイント減少している。

図表 267 土曜日の利用したい時間帯（終了時間）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※問14-4で「土曜日に利用したい」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

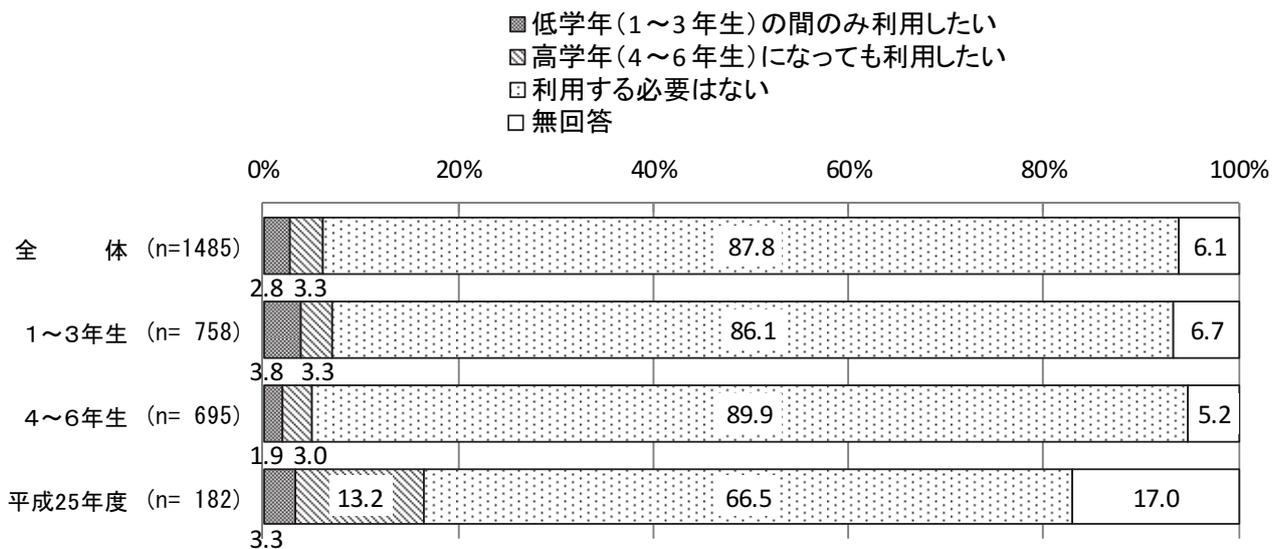
（４）日曜日・祝日

日曜日・祝日の学童保育の利用意向について、全体では「利用する必要はない」が 87.8%と最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 3.3%、「低学年(1～3年生)の間のみ利用したい」が 2.8%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「利用する必要はない」が 86.1%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると 3.8ポイント低くなっている。

平成 25 年度と比較すると、『1～3年生』の「利用する必要はない」が 19.6ポイント増加し、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 9.9ポイント減少している。

図表 268 日曜日・祝日の学童保育の利用意向



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

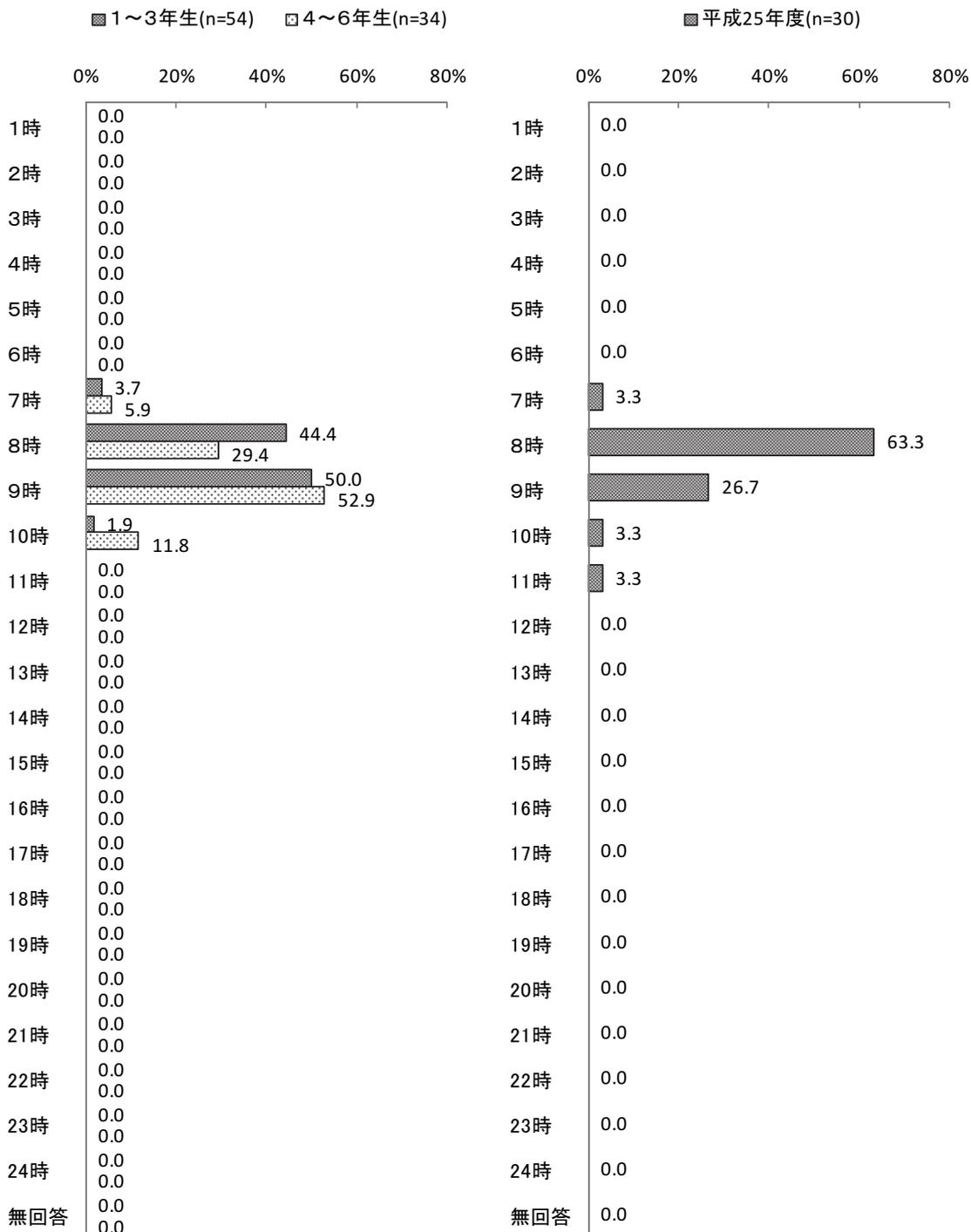
※平成 25 年度は 1～3 年生のみ調査

(5) 日曜日・祝日の利用したい時間帯(開始時間)

日曜日・祝日の利用したい時間帯（開始時間）について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「9時」がそれぞれ50.0%、52.9%と最も多く、次いで「8時」が44.4%、29.4%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「9時」が23.3ポイント増加し、「8時」は18.9ポイント減少している。

図表 269 日曜日・祝日の利用したい時間帯（開始時間）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※問14-4で「日曜日・祝日に利用したい」と回答した人

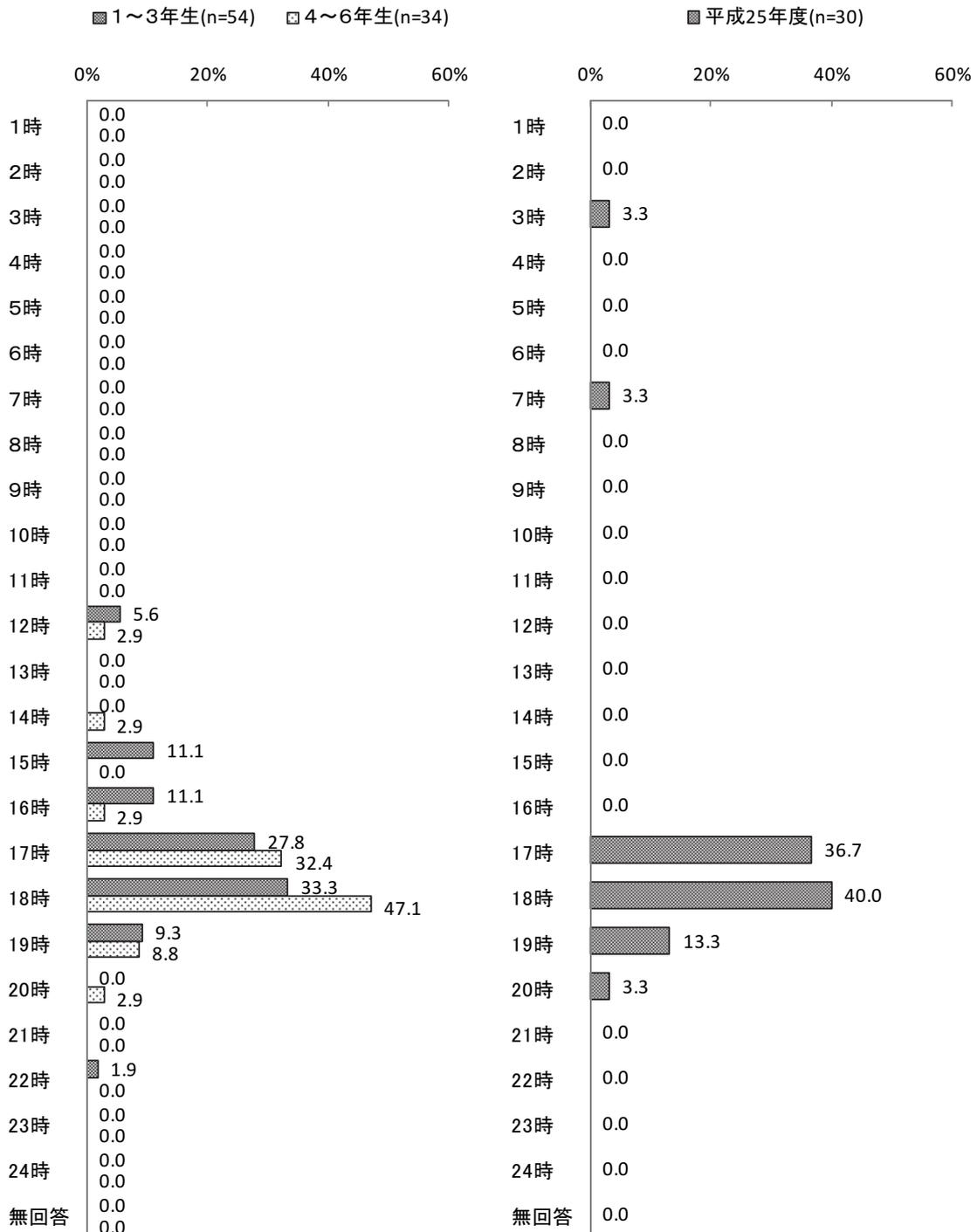
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(6) 日曜日・祝日の利用したい時間帯(終了時間)

日曜日・祝日の利用したい時間帯（終了時間）について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「18時」がそれぞれ33.3%、47.1%と最も多く、次いで「17時」が27.8%、32.4%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「17時」「18時」がそれぞれ8.9ポイント、6.7ポイント減少している。

図表 270 日曜日・祝日の利用したい時間帯（終了時間）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※問14-4で「日曜日・祝日に利用したい」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

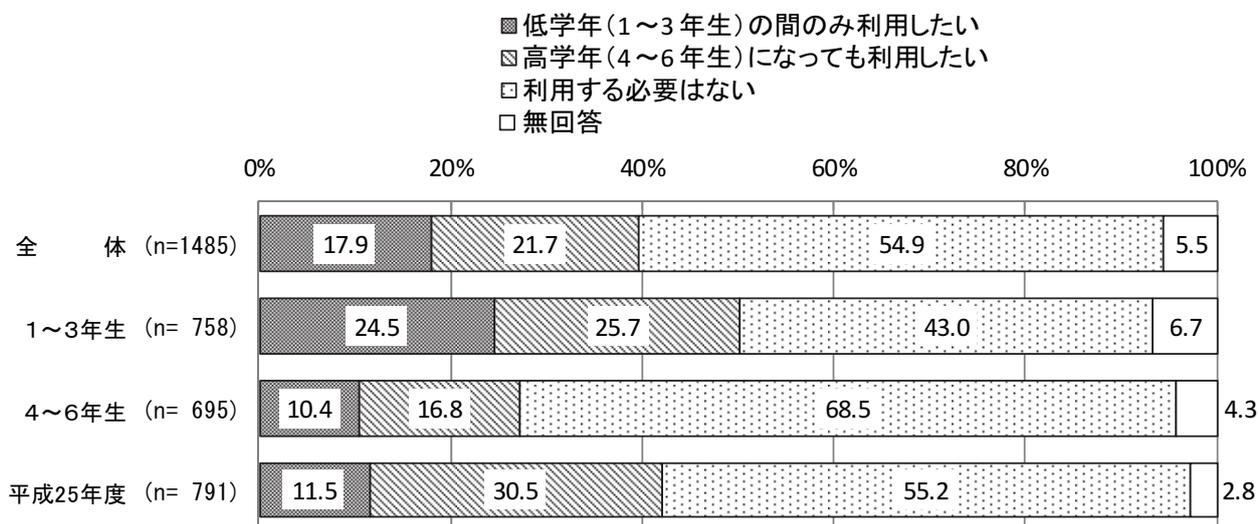
（7）夏休み・冬休みなど学校長期休業中

夏休み・冬休みなど学校長期休業中の学童保育の利用意向について、全体では「利用する必要はない」が54.9%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が21.7%、「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」が17.9%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「利用する必要はない」が43.0%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.7%、「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」が24.5%となっており、『4～6年生』では「利用する必要はない」が68.5%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が16.8%、「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」が10.4%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」が13.0ポイント増加し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」「利用する必要はない」はそれぞれ4.8ポイント、12.2ポイント減少している。

図表 271 夏休み・冬休みなど学校長期休業中の学童保育の利用意向



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

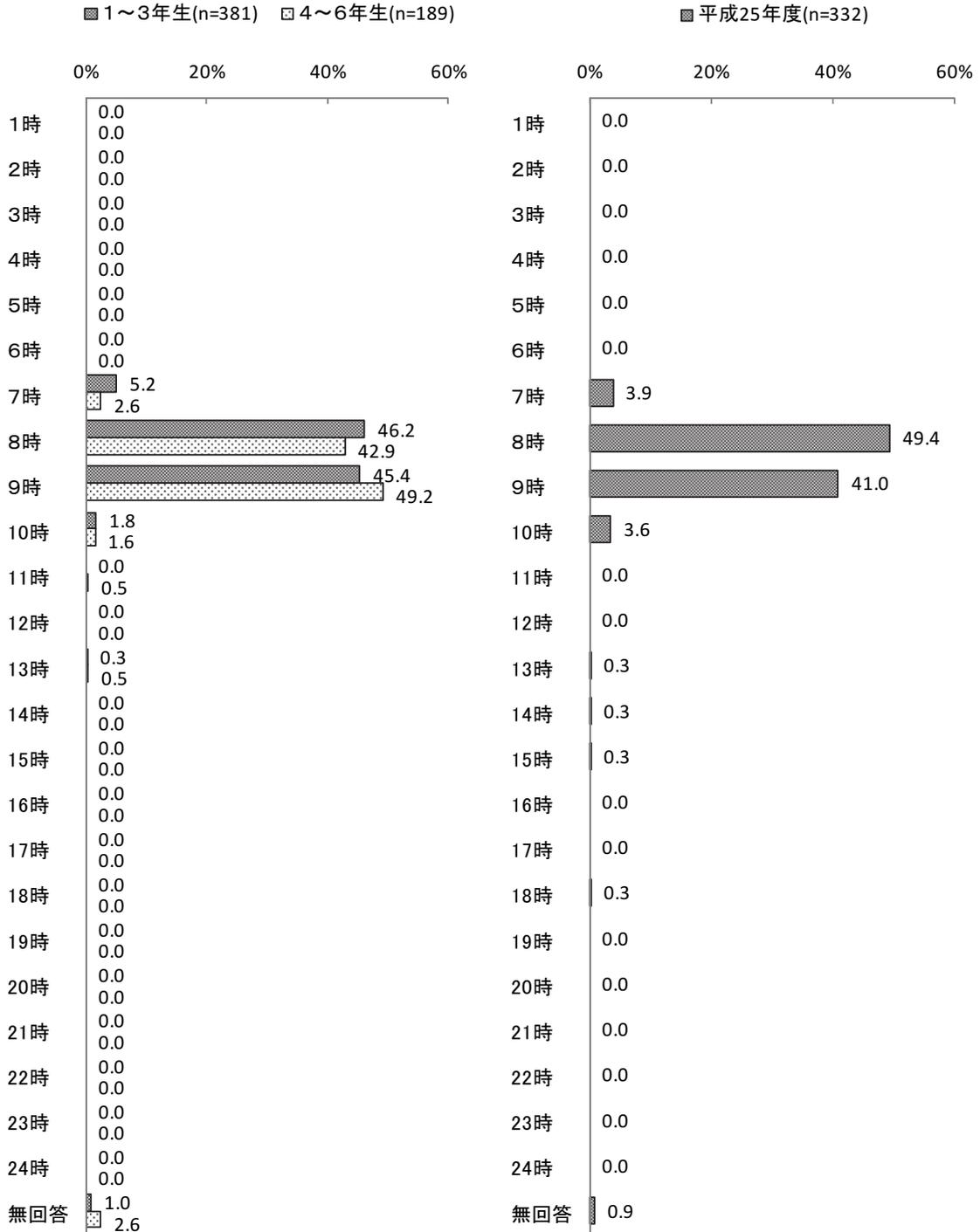
※平成25年度は1～3年生のみ調査

(8) 夏休み・冬休みなど学校長期休業中の利用したい時間帯（開始時間）

夏休み・冬休みなど学校長期休業中の利用したい時間帯（開始時間）について、『1～3年生』では「8時」が46.2%と最も多く、次いで「9時」が45.4%となっており、『4～6年生』では「9時」が49.2%と最も多く、次いで「8時」が42.9%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「9時」が4.4ポイント増加し、「8時」は3.2ポイント減少している。

図表 272 夏休み・冬休みなど学校長期休業中の利用したい時間帯（開始時間）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※問14-4で「夏休み・冬休みなど学校長期休業中に利用したい」と回答した人

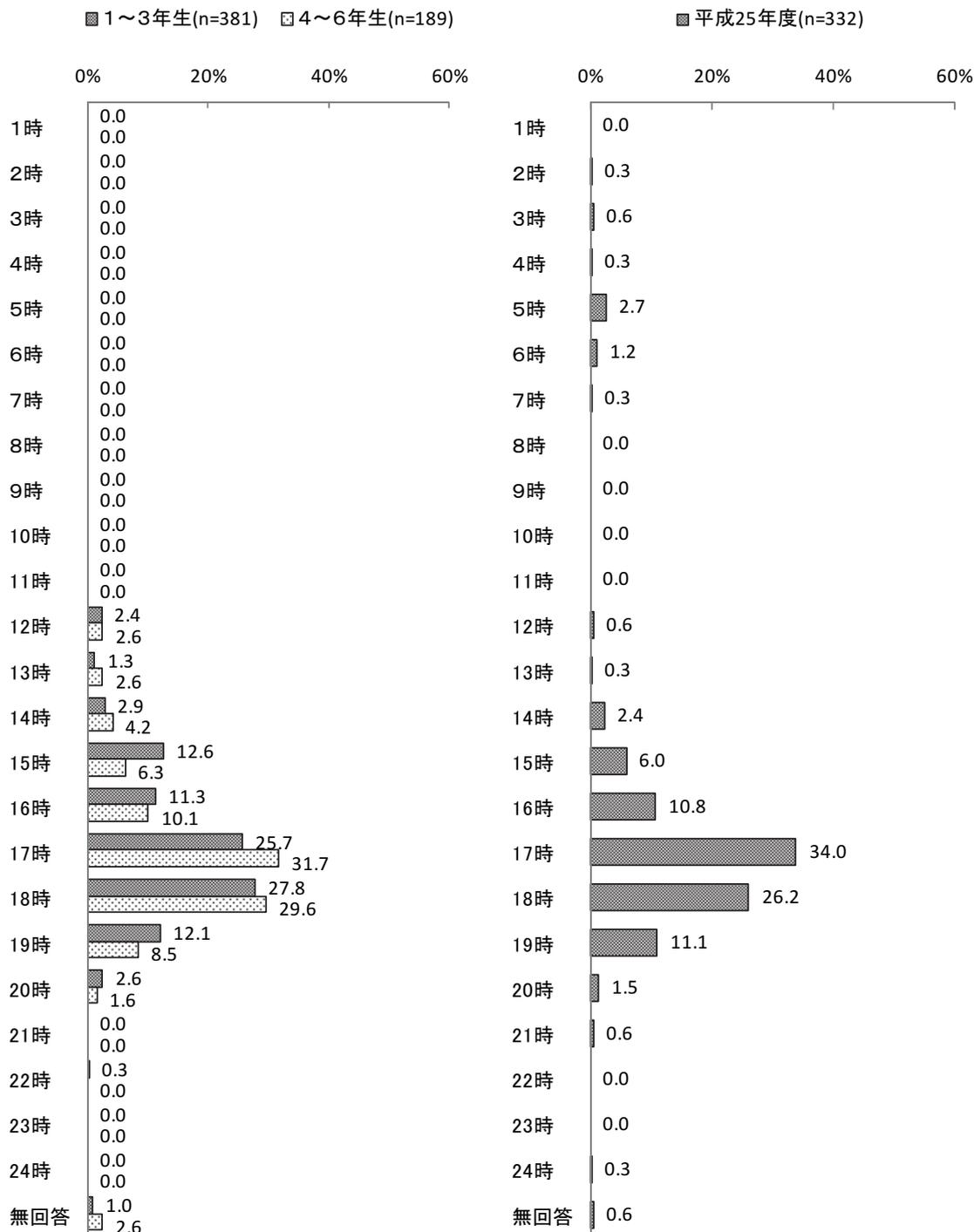
※平成25年度は1～3年生のみ調査

（9）夏休み・冬休みなど学校長期休業中の利用したい時間帯（終了時間）

夏休み・冬休みなど学校長期休業中の利用したい時間帯（終了時間）について、『1～3年生』では「18時」が27.8%と最も多く、次いで「17時」が25.7%となっており、『4～6年生』では「17時」が31.7%と最も多く、次いで「18時」が29.6%となっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「15時」「18時」がそれぞれ6.6ポイント、1.6ポイント増加し、「17時」は8.3ポイント減少している。

図表 273 夏休み・冬休みなど学校長期休業中の利用したい時間帯（終了時間）



※回答には12時制で表記したと考えられるものも含まれる（設問上は24時制で回答依頼）

※問14-4で「夏休み・冬休みなど学校長期休業中に利用したい」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-7 病気の際の対応について

### 2-7-1 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対応

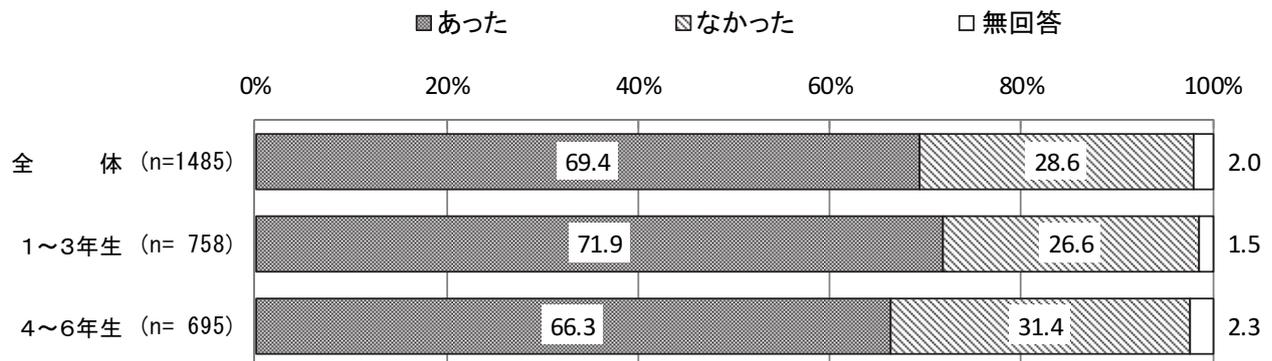
#### 2-7-1-1 子どもが病気やケガで学校を休んだ経験の有無

問15. この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか（○は1つだけ）。

子どもが病気やケガで学校を休んだ経験の有無について、全体では「あった」が69.4%、「なかった」が28.6%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「あった」が71.9%、「なかった」が26.6%となっており、『4～6年生』では「あった」が66.3%、「なかった」が31.4%となっている。

図表 274 子どもが病気やケガで学校を休んだ経験の有無



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

## 2-7-1-2 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対処方法・日数

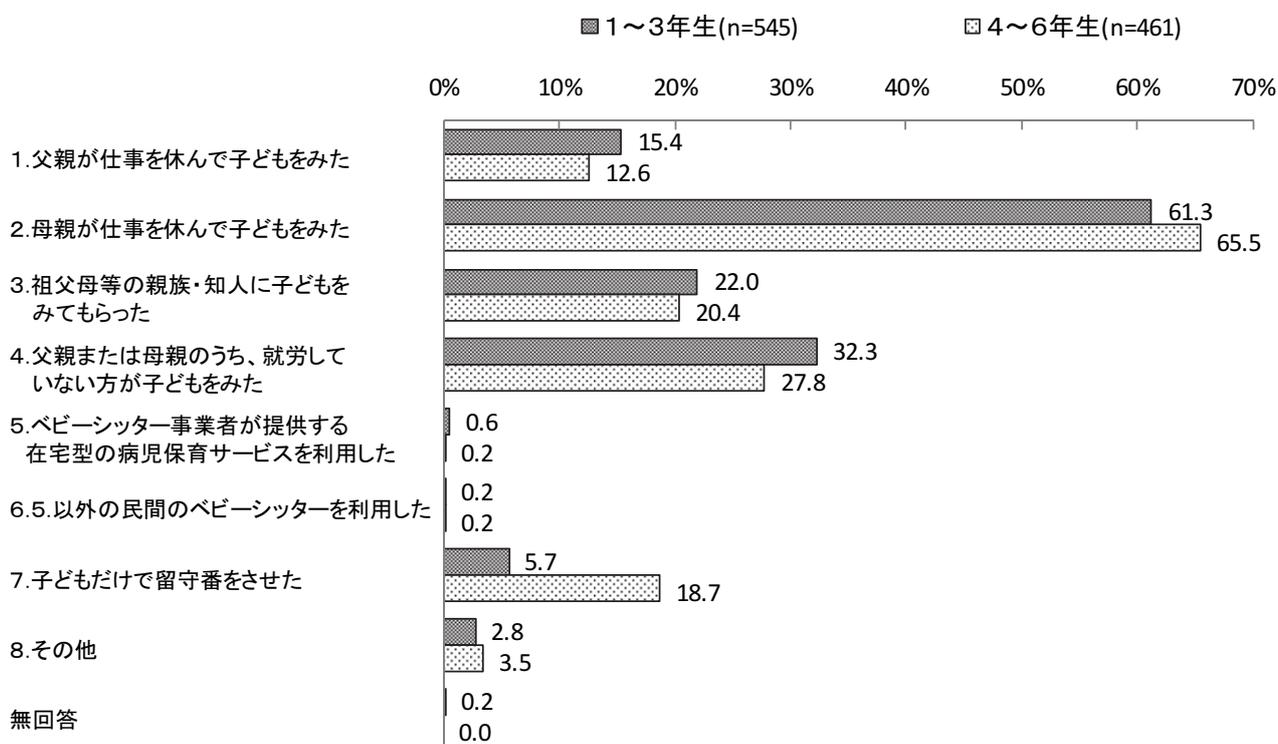
問15-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（あてはまる番号すべてに○）。  
また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

### （1）対処方法

子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対処方法について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「2. 母親が仕事を休んで子どもをみた」がそれぞれ61.3%、65.5%と最も多く、次いで「4. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた」が32.3%、27.8%、「3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」が22.0%、20.4%となっている。

『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「1. 父親が仕事を休んで子どもをみた」「3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」「4. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた」がそれぞれ2.8ポイント、1.6ポイント、4.5ポイント高く、「2. 母親が仕事を休んで子どもをみた」は4.2ポイント低くなっている。

図表 275 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対処方法



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問15で「あった」と回答した人

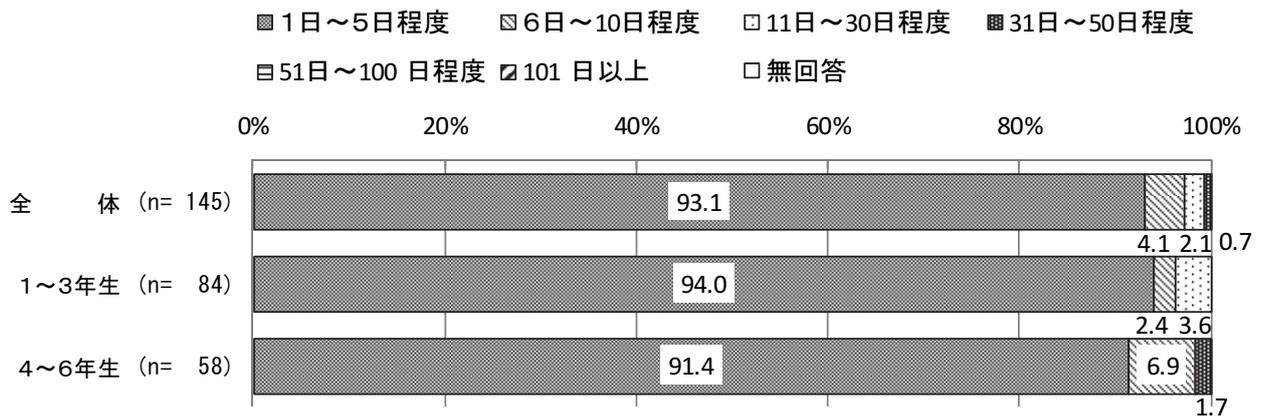
(2) 対処日数

1. 父親が仕事を休んで子どもをみた

父親が仕事を休んで子どもをみた対処日数について、全体では「1日～5日程度」が93.1%で最も多くなっている。

学年別でみると、『1～3年生』の「1日～5日程度」を『4～6年生』と比較すると、2.6ポイント高くなっている。

図表 276 対処日数（父親が仕事を休んで子どもをみた）



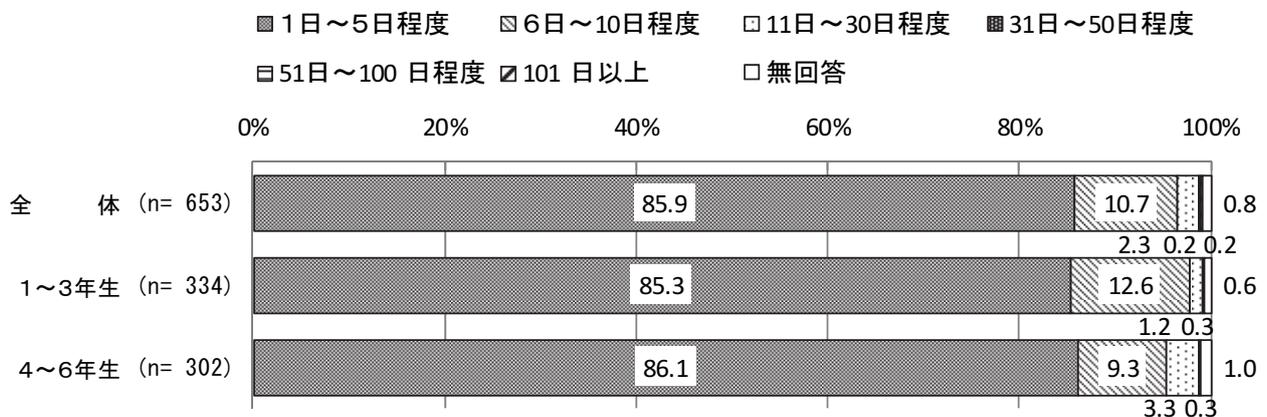
※回答対象は問15で「あった」と回答した人

2. 母親が仕事を休んで子どもをみた

母親が仕事を休んで子どもをみた対処日数について、全体では「1日～5日程度」が85.9%で最も多く、次いで「6日～10日程度」が10.7%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1日～5日程度」が85.3%と最も多く、次いで「6日～10日程度」が12.6%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「6日～10日程度」が3.3ポイント高くなっている。

図表 277 対処日数（母親が仕事を休んで子どもをみた）



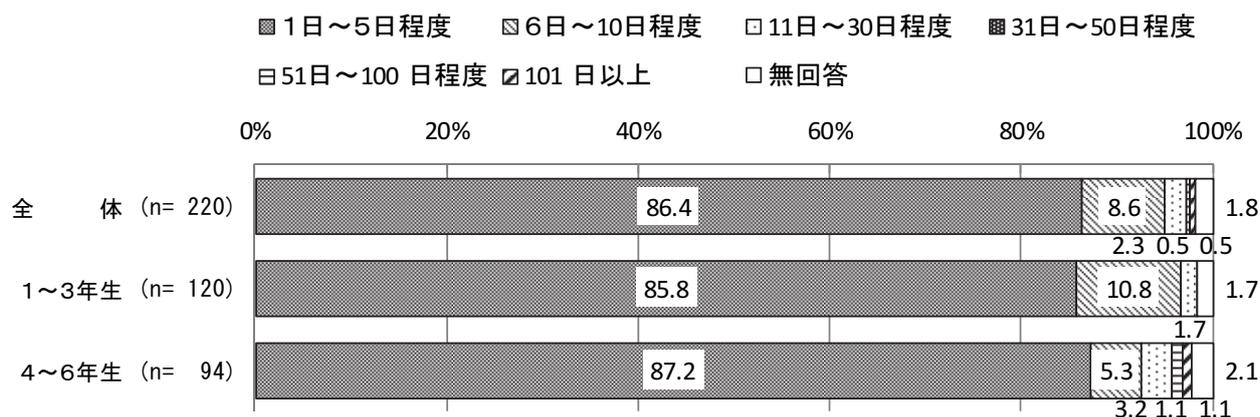
※回答対象は問15で「あった」と回答した人

### 3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった

祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった対処日数について、全体では「1日～5日程度」が86.4%で最も多く、次いで「6日～10日程度」が8.6%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1日～5日程度」が85.8%と最も多く、次いで「6日～10日程度」が10.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると「6日～10日程度」が5.5ポイント高くなっている。

図表 278 対処日数（祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった）



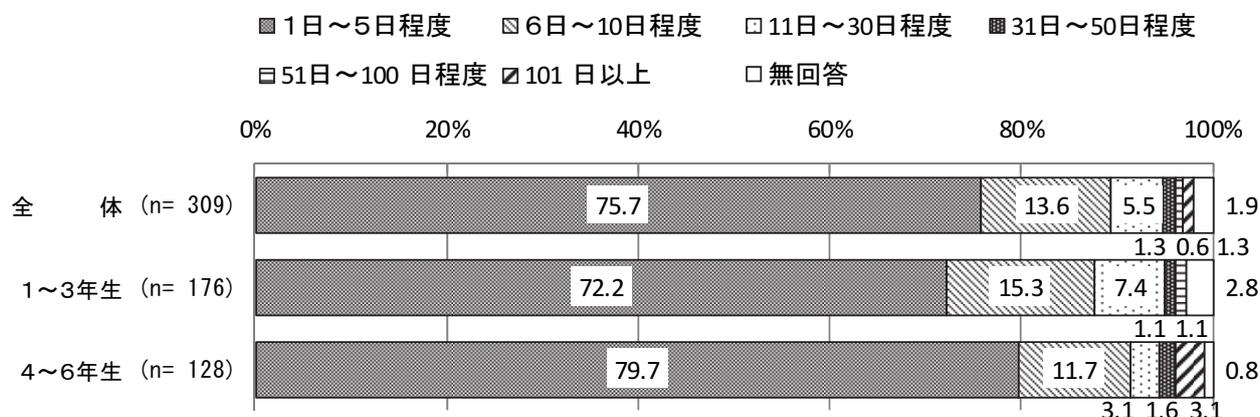
※回答対象は問15で「あった」と回答した人

### 4. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた

父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた対処日数について、全体では「1日～5日程度」が75.7%で最も多く、次いで「6日～10日程度」が13.6%、「11日～30日程度」が5.5%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』の「6日～10日程度」を『4～6年生』と比較すると、3.6ポイント高く、「1日～5日程度」は7.5ポイント低くなっている。

図表 279 対処日数（父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた）

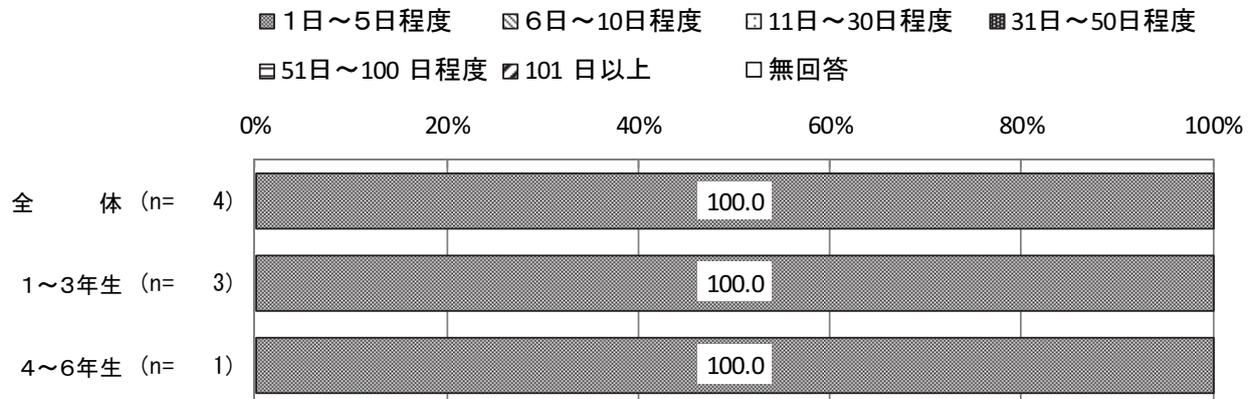


※回答対象は問15で「あった」と回答した人

5. ベビーシッター事業者が提供する在宅型の病児保育サービスを利用した

ベビーシッター事業者が提供する在宅型の病児保育サービスを利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 280 対処日数（ベビーシッター事業者が提供する在宅型の病児保育サービスを利用した）

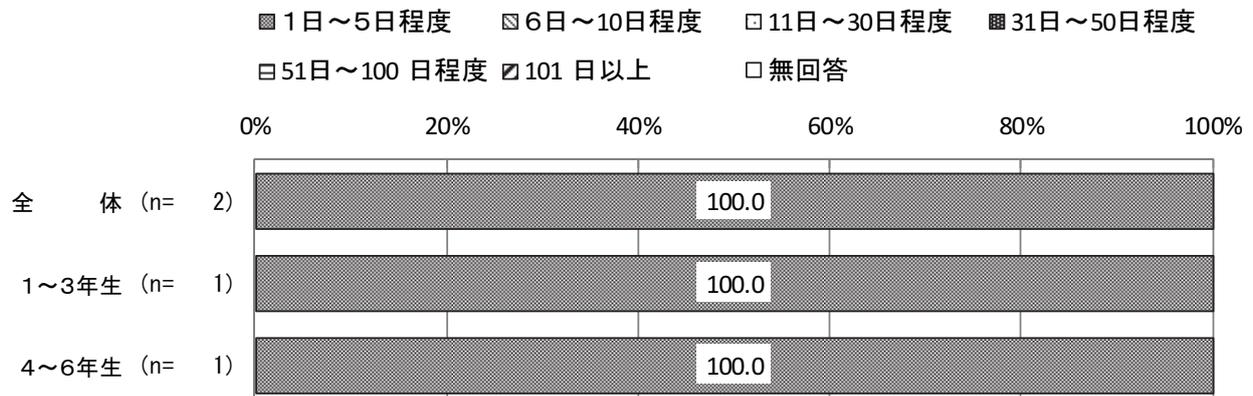


※回答対象は問15で「あった」と回答した人

6. 5.以外の民間のベビーシッターを利用した

5.以外の民間のベビーシッターを利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 281 対処日数（5.以外の民間のベビーシッターを利用した）



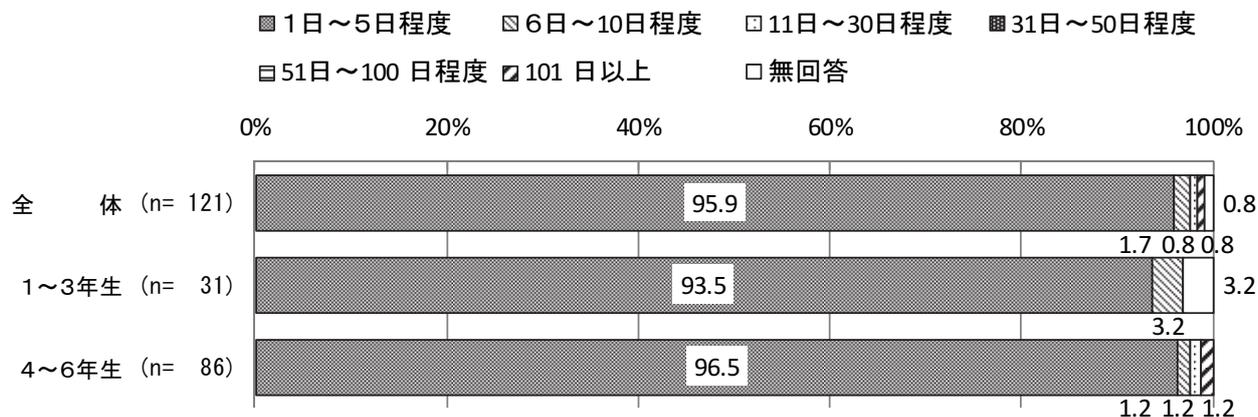
※回答対象は問15で「あった」と回答した人

### 7. 子どもだけで留守番させた

子どもだけで留守番させた対処日数について、全体では「1日～5日程度」が95.9%で最も多くなっている。

学年別で見ると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「1日～5日程度」がそれぞれ93.5%、96.5%と最も多くなっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると3.0ポイント低くなっている。

図表 282 対処日数（子どもだけで留守番させた）



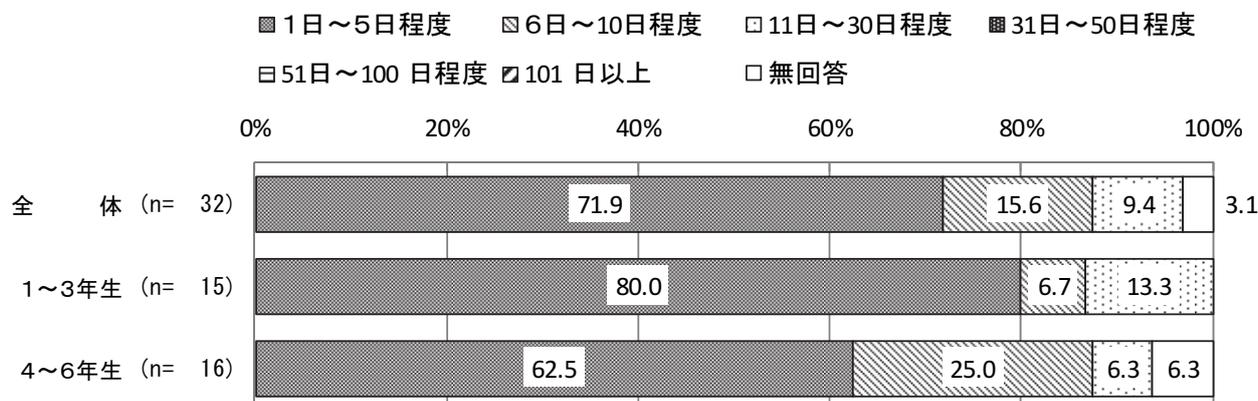
※回答対象は問15で「あった」と回答した人

### 8. その他

その他対処日数について、全体では「1日～5日程度」が71.9%で最も多く、次いで「6日～10日程度」が15.6%、「11日～30日程度」が9.4%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「1日～5日程度」が80.0%と最も多く、次いで「11日～30日程度」が13.3%となっており、『4～6年生』では「1日～5日程度」が62.5%と最も多く、次いで「6日～10日程度」が25.0%となっている。『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「1日～5日程度」「11日～30日程度」がそれぞれ17.5ポイント、7.0ポイント高く、「6日～10日程度」は18.3ポイント低くなっている。

図表 283 対処日数（その他）



※回答対象は問15で「あった」と回答した人

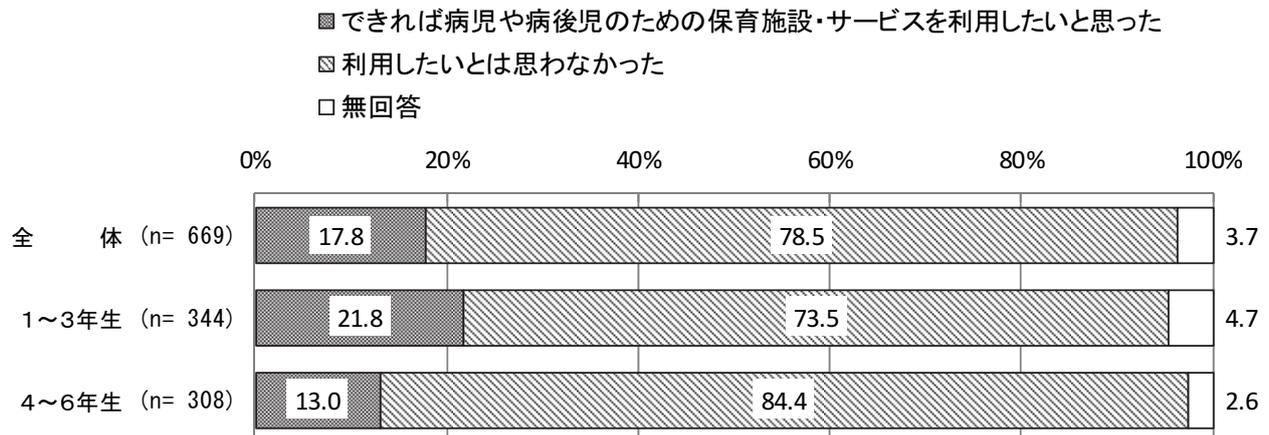
### 2-7-1-3 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向

問15-2. 父親または母親が休んだ際、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したい」と思われましたか（○は1つだけ）。

病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向について、全体では「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」が17.8%、「利用したいとは思わなかった」が78.5%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」が21.8%、「利用したいとは思わなかった」が73.5%となっており、『4～6年生』では「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」が13.0%、「利用したいとは思わなかった」が84.4%となっている。『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った」が8.8ポイント高くなっている。

図表 284 病児や病後児のための保育施設やサービスの利用意向



※回答対象は問15-1で「父親または母親が休んで子どもをみた」と回答した人

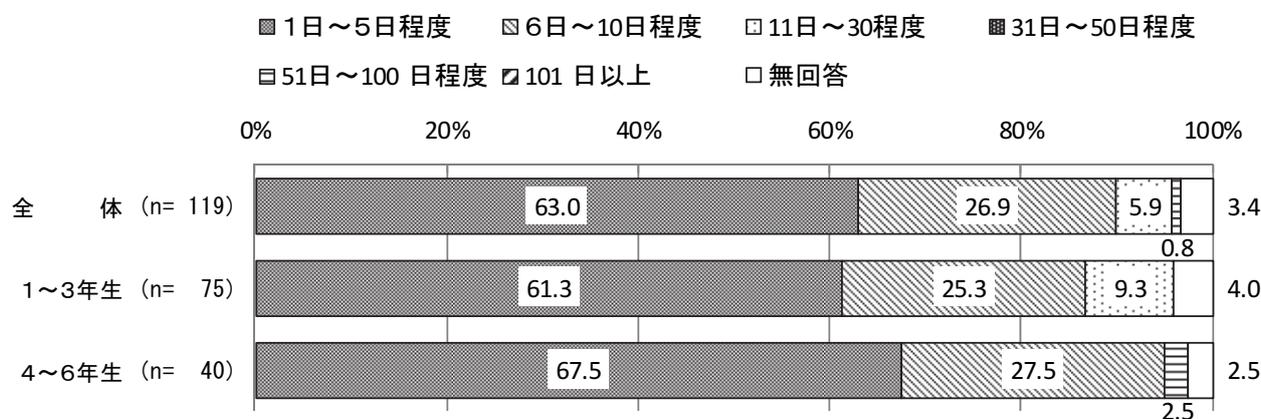
## 2-7-1-4 病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数

問15-3. 病児・病後児のための保育施設やサービスを利用したいと思った日は何日くらいありましたか。おおよその日数（年間）をお答えください（カッコ内に数字で）。

病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数について、全体では「1日～5日程度」が63.0%と最も多く、次いで「6日～10日程度」が26.9%、「11日～30日程度」が5.9%となっている。

学年別で見ると、『1～3年生』では「1日～5日程度」が61.3%、「6日～10日程度」が25.3%となっており、『4～6年生』では「1日～5日程度」が67.5%、「6日～10日程度」が27.5%となっている。『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「1日～5日程度」「6日～10日程度」がそれぞれ6.2ポイント、2.2ポイント低くなっている。

図表 285 病児や病後児のための保育施設やサービスを希望した日数



※回答対象は問15-2で「利用したいと思った」と回答した人

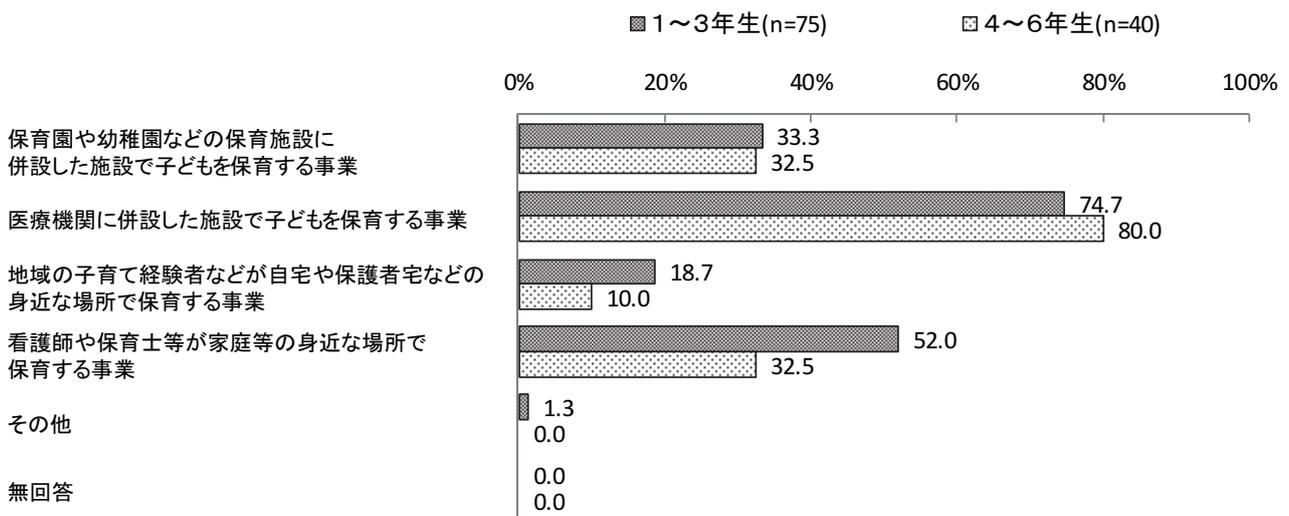
## 2-7-1-5 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態

問15-4. 病児・病後児のための保育施設やサービスにお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか（○はあてはまるものすべて）。

病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態について、『1～3年生』では「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が74.7%と最も多く、次いで「看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業」が52.0%、「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が33.3%となっており、『4～6年生』では「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が80.0%と最も多く、次いで「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業」が同じく32.5%となっている。

『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域の子育て経験者などが自宅や保護者宅などの身近な場所で保育する事業」「看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業」がそれぞれ0.8ポイント、8.7ポイント、19.5ポイント高く、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」は5.3ポイント低くなっている。

図表 286 病児や病後児のための保育施設やサービスの望ましい事業形態



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問15-2で「利用したいと思った」と回答した人

## 2-7-2 宿泊を伴う一時預かり等の状況

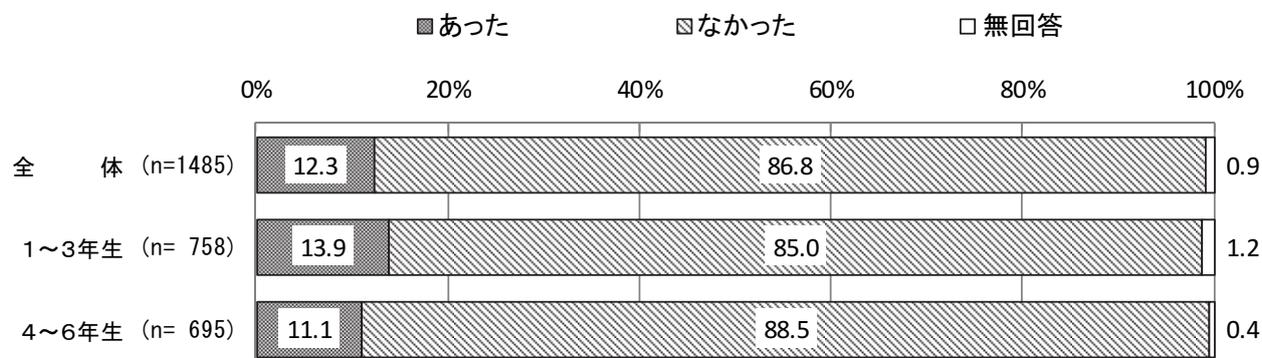
### 2-7-2-1 宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無

問16. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）（○は1つだけ）。

宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無について、全体では「あった」が12.3%、「なかった」が86.8%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「あった」が13.9%、「なかった」が85.0%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「あった」が2.8ポイント高く、「なかった」は3.5ポイント低くなっている。

図表 287 宿泊を伴う一時預かり等の必要の有無



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

## 2-7-2-2 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法・日数

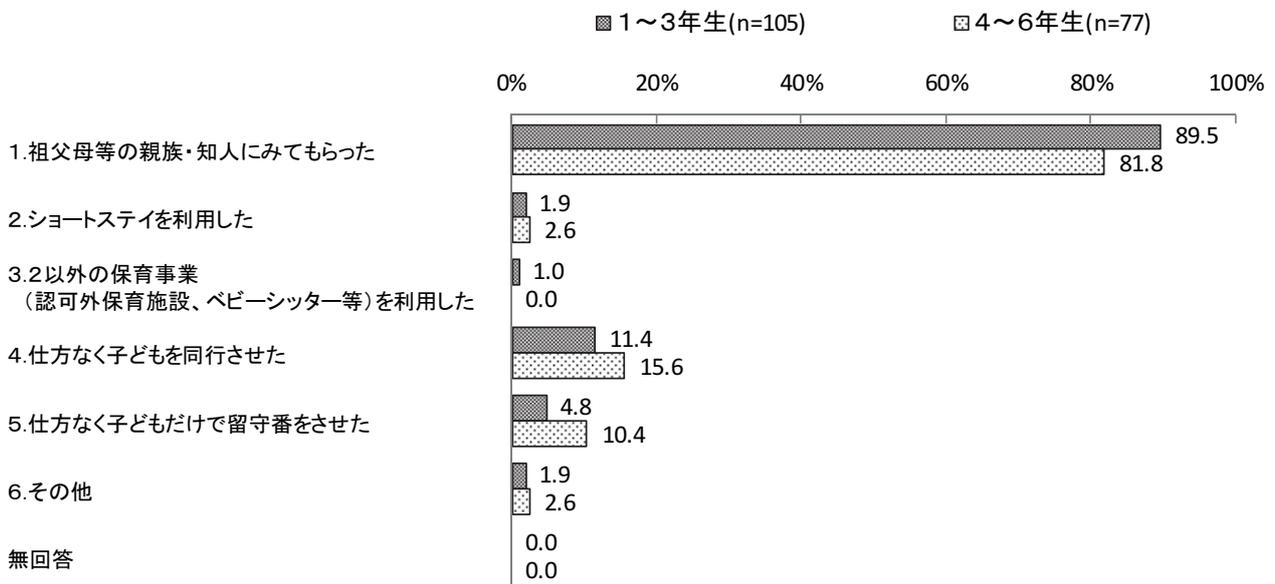
問16-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。  
また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

## (1) 対処方法

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった」がそれぞれ 89.5%、81.8%と最も多く、次いで「4. 仕方なく子どもを同行させた」が 11.4%、15.6%、「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 4.8%、10.4%となっている。

『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった」が 7.7ポイント高く、「4. 仕方なく子どもを同行させた」「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」はそれぞれ 4.2ポイント、5.6ポイント低くなっている。

図表 288 宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際の対処方法



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問16で「あった」と回答した人

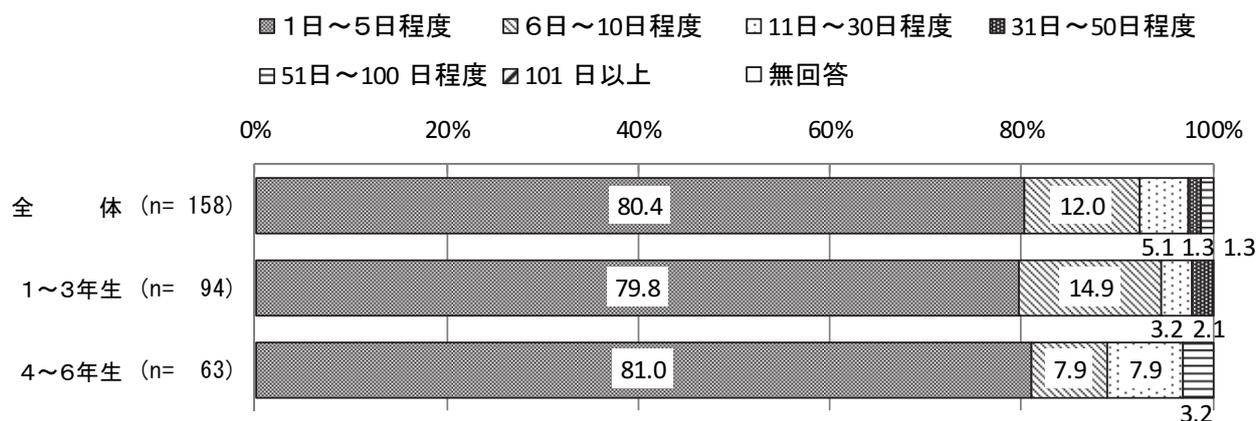
(2) 対処日数

1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際に祖父母等の親族・知人にみてもらった対処日数について、全体では「1日～5日程度」が80.4%と最も多く、次いで「6日～10日程度」が12.0%、「11日～30日程度」が5.1%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「1日～5日程度」が79.8%と最も多く、次いで「6日～10日程度」が14.9%となっており、『4～6年生』では「1日～5日程度」が81.0%と最も多く、次いで「6日～10日程度」「11日～30日程度」が同じく7.9%となっている。

図表 289 対処日数（祖父母等の親族・知人にみてもらった）

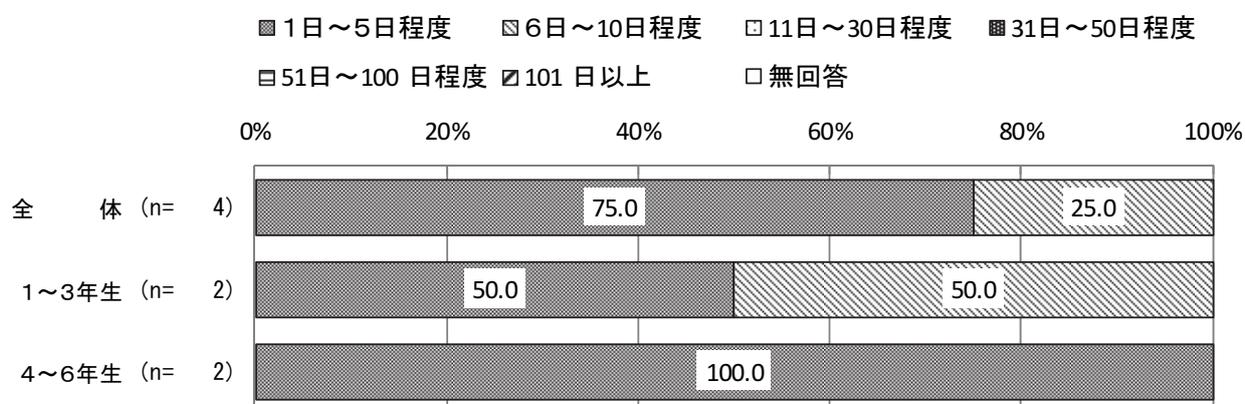


※回答対象は問16で「あった」と回答した人

2. ショートステイを利用した

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際にショートステイを利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 290 対処日数（ショートステイを利用した）

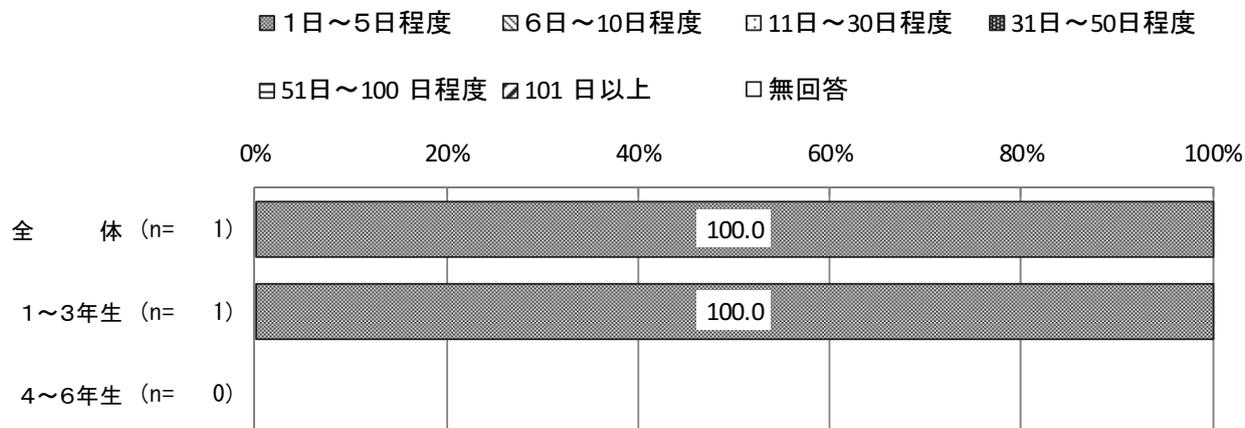


※回答対象は問16で「あった」と回答した人

### 3. 2. 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際にショートステイ以外の保育事業を利用した対処日数について、以下の図の通りである。

図表 291 対処日数（2. 以外の保育事業）



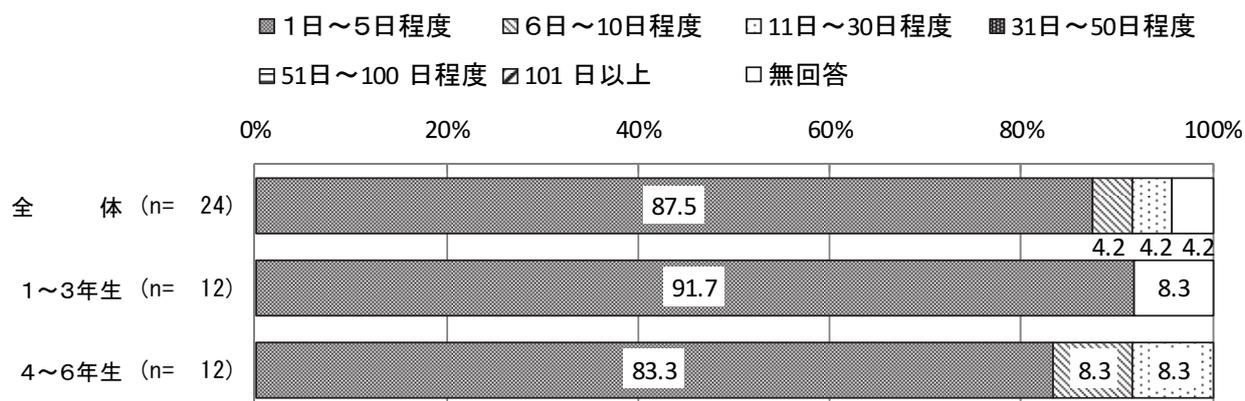
※回答対象は問16で「あった」と回答した人

### 4. 仕方なく子どもを同行させた

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際に仕方なく子どもを同行させた対処日数について、全体では「1日～5日程度」が87.5%と最も多くなっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』では「1日～5日程度」がそれぞれ91.7%、83.3%と最も多くなっている。

図表 292 対処日数（仕方なく子どもを同行させた）



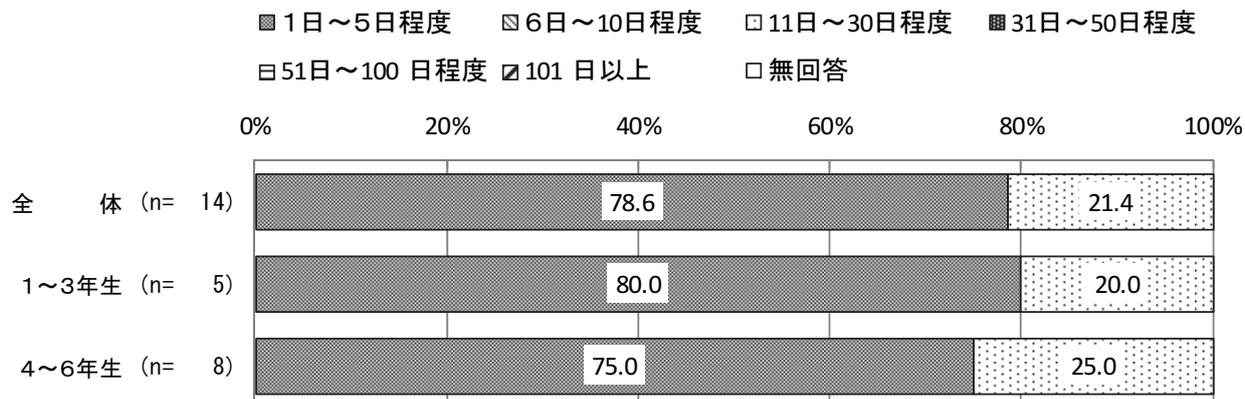
※回答対象は問16で「あった」と回答した人

### 5. 仕方なく子どもだけで留守番させた

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際に仕方なく子どもだけで留守番させた対処日数について、全体では「1日～5日程度」が78.6%と最も多く、次いで「11日～30日程度」が21.4%となっている。

学年別でみると、以下の図の通りである。

図表 293 対処日数（仕方なく子どもだけで留守番させた）

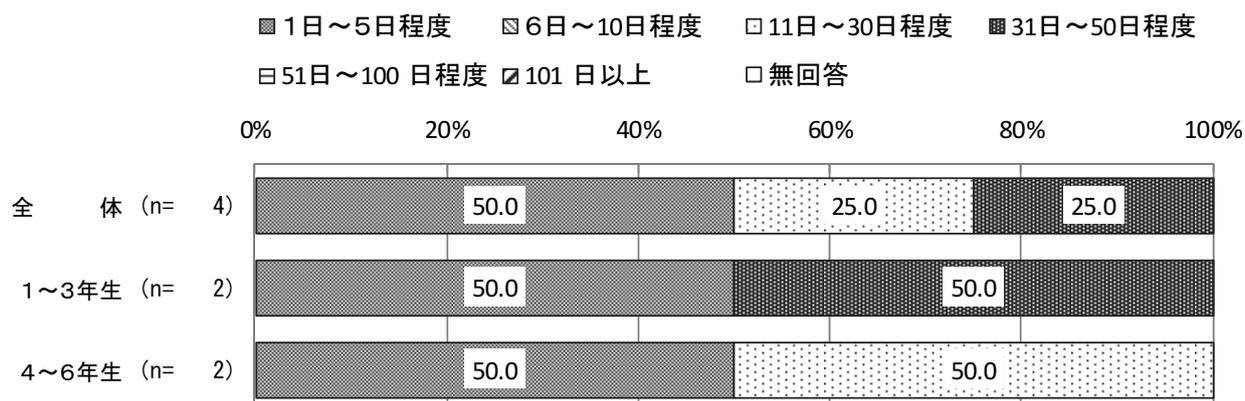


※回答対象は問16で「あった」と回答した人

### 6. その他

宿泊を伴う一時預かり等の必要があった際に行ったその他対処日数について、以下の図の通りである。

図表 294 対処日数（その他）



※回答対象は問16で「あった」と回答した人

## 2-8 子育て全般について

### 2-8-1 足立区内の居住年数

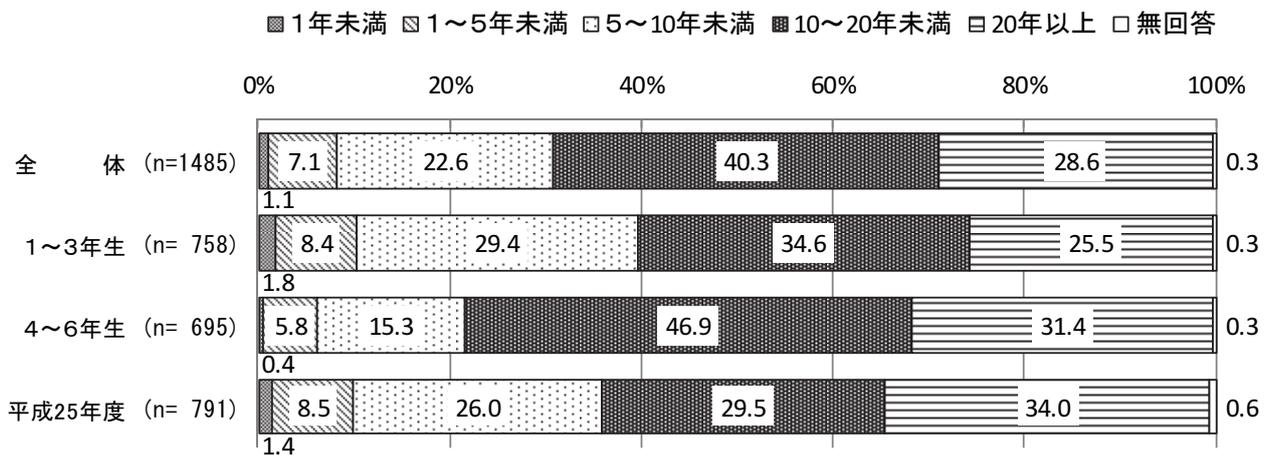
問17. あなたは足立区に住んで何年になりますか（○は1つだけ）。

足立区内の居住年数について、全体では「10～20年未満」が40.3%と最も多く、次いで「20年以上」が28.6%、「5～10年未満」が22.6%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』では「10～20年未満」が34.6%と最も多く、次いで「5～10年未満」が29.4%、「20年以上」が25.5%となっており、『4～6年生』では「10～20年未満」が46.9%と最も多く、次いで「20年以上」が31.4%、「5～10年未満」が15.3%となっている。『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「5～10年未満」が14.1ポイント高く、「10～20年未満」「20年以上」はそれぞれ12.3ポイント、5.9ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「5～10年未満」「10～20年未満」がそれぞれ3.4ポイント、5.1ポイント増加し、「20年以上」は8.5ポイント減少している。

図表 295 足立区内の居住年数



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-8-2 足立区における子育て

### 2-8-2-1 足立区における子育てのしやすさ

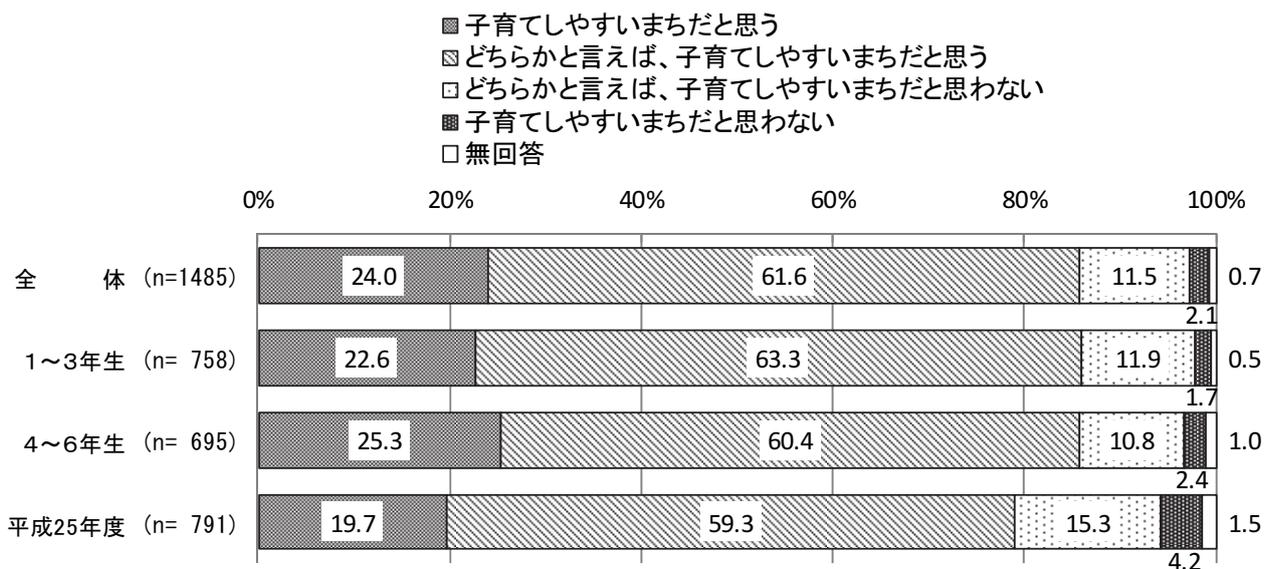
問18. 足立区は、子育てしやすいまちだと思いますか（○は1つだけ）。

足立区における子育てのしやすさについて、全体では「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が61.6%と最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が24.0%、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思わない」が11.5%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」がそれぞれ63.3%、60.4%と最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が22.6%、25.3%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」が2.9ポイント高く、「子育てしやすいまちだと思う」は2.7ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「子育てしやすいまちだと思う」「どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思う」がそれぞれ2.9ポイント、4.0ポイント増加している。

図表 296 足立区における子育てのしやすさ



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

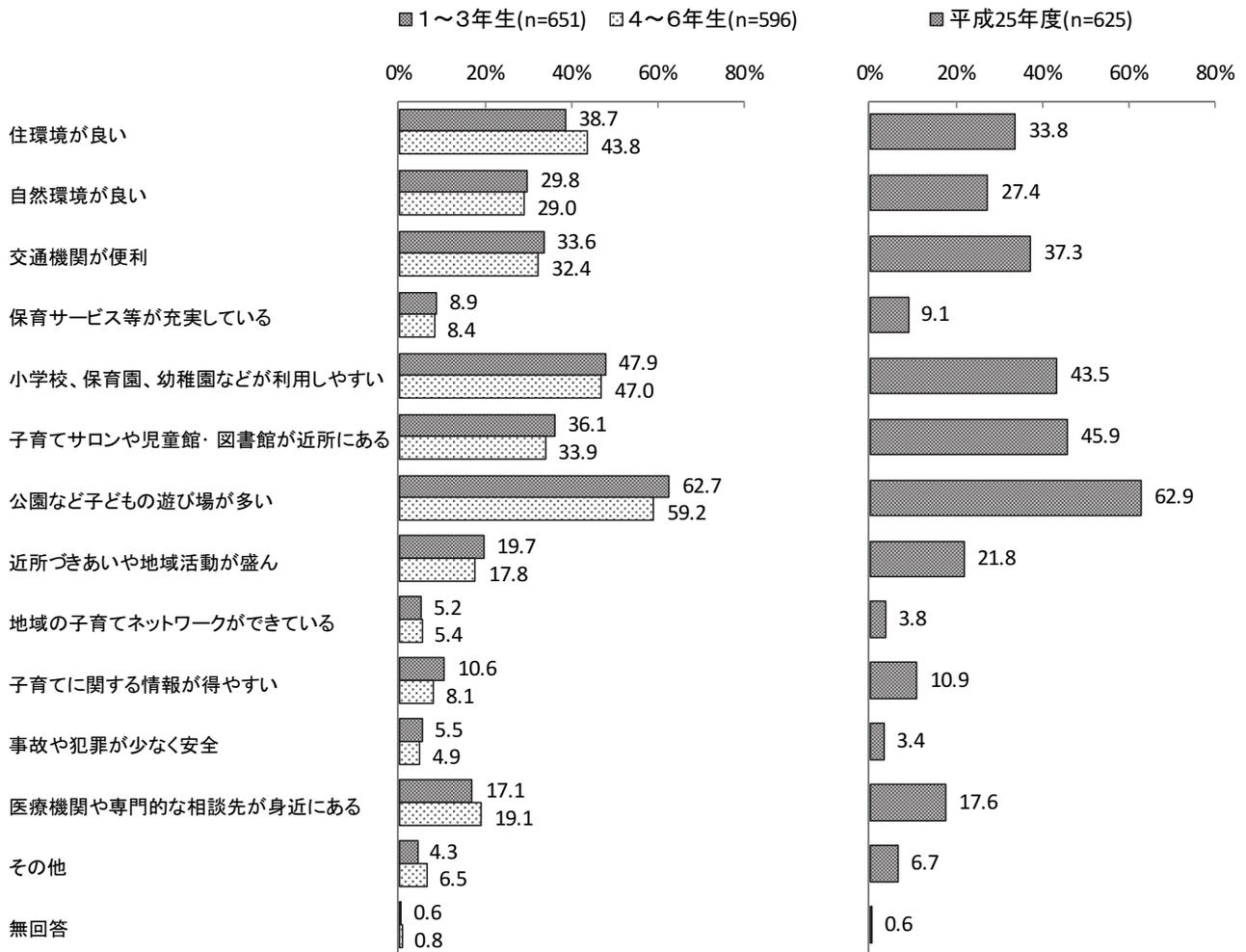
## 2-8-2-2 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由

問18-1. 子育てしやすいまちだと思える理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

足立区が子育てしやすいまちだと思える理由について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「公園など子どもの遊び場が多い」がそれぞれ62.7%、59.2%と最も多く、次いで「小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい」が47.9%、47.0%、「住環境が良い」が38.7%、43.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、『1～3年生』の「公園など子どもの遊び場が多い」「小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい」がそれぞれ3.5ポイント、0.9ポイント高く、「住環境が良い」は5.1ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「住環境が良い」「小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい」がそれぞれ4.9ポイント、4.4ポイント増加し、「子育てサロンや児童館・図書館が近所にある」は9.8ポイント減少している。

図表 297 足立区が子育てしやすいまちだと思える理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問18で「子育てしやすい」「どちらかといえば子育てしやすい」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

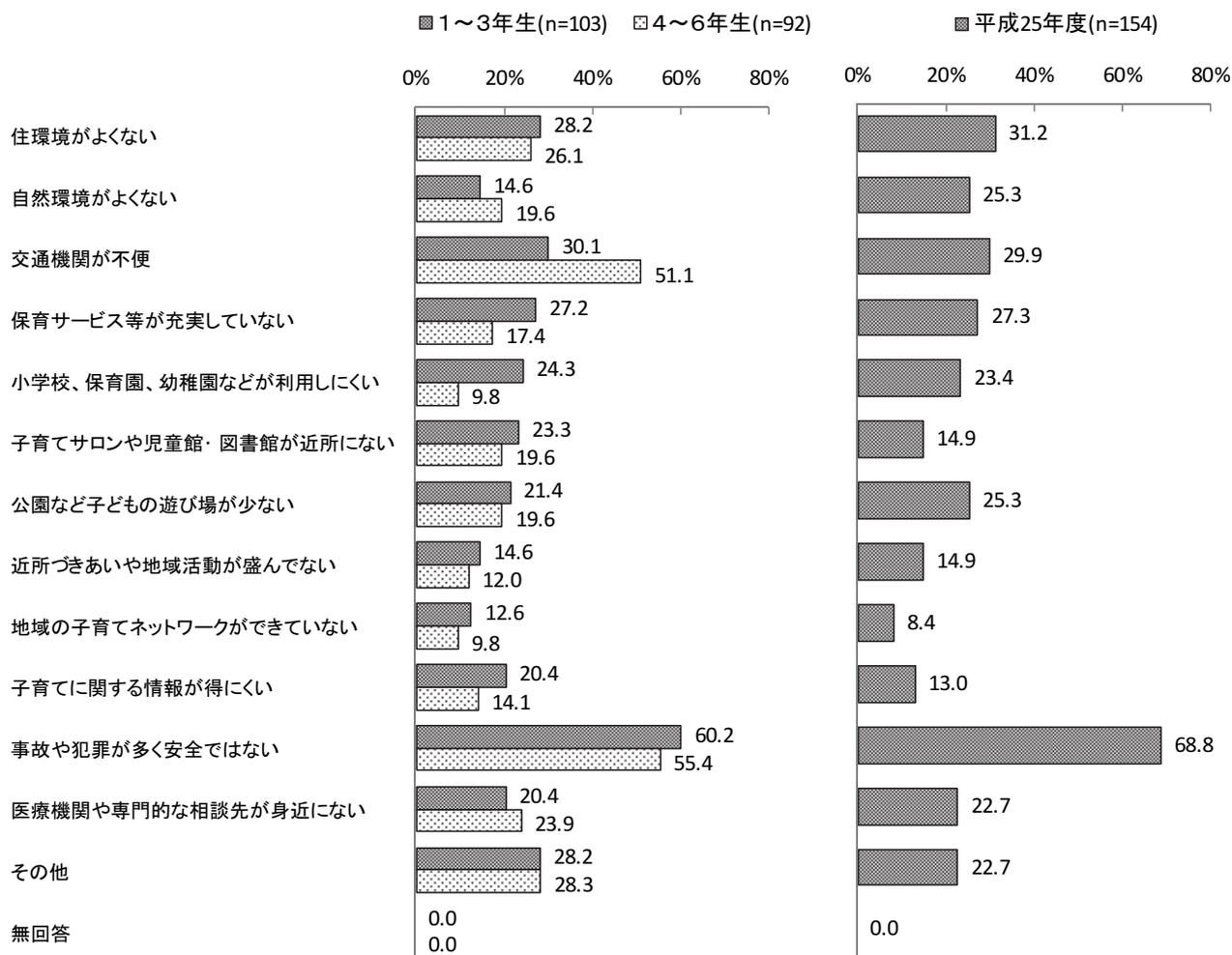
### 2-8-2-3 足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由

問18-2. 子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由について、『1～3年生』と『4～6年生』共に「事故や犯罪が多く安全ではない」がそれぞれ60.2%、55.4%と最も多く、次いで「交通機関が不便」が30.1%、51.1%「住環境がよくない」が28.2%、26.1%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、『1～3年生』の「事故や犯罪が多く安全ではない」「住環境がよくない」がそれぞれ4.8ポイント、2.1ポイント高く、「交通機関が不便」は21.0ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「子育てサロンや児童館・図書館が近所がない」「子育てに関する情報が得にくい」がそれぞれ8.4ポイント、7.4ポイント増加し、「自然環境がよくない」「事故や犯罪が多く安全ではない」はそれぞれ10.7ポイント、8.6ポイント減少している。

図表 298 足立区が子育てしやすいまちだと思わない理由



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は問18で「子育てしやすいと思わない」「どちらかといえば思わない」と回答した人

※平成25年度は1～3年生のみ調査

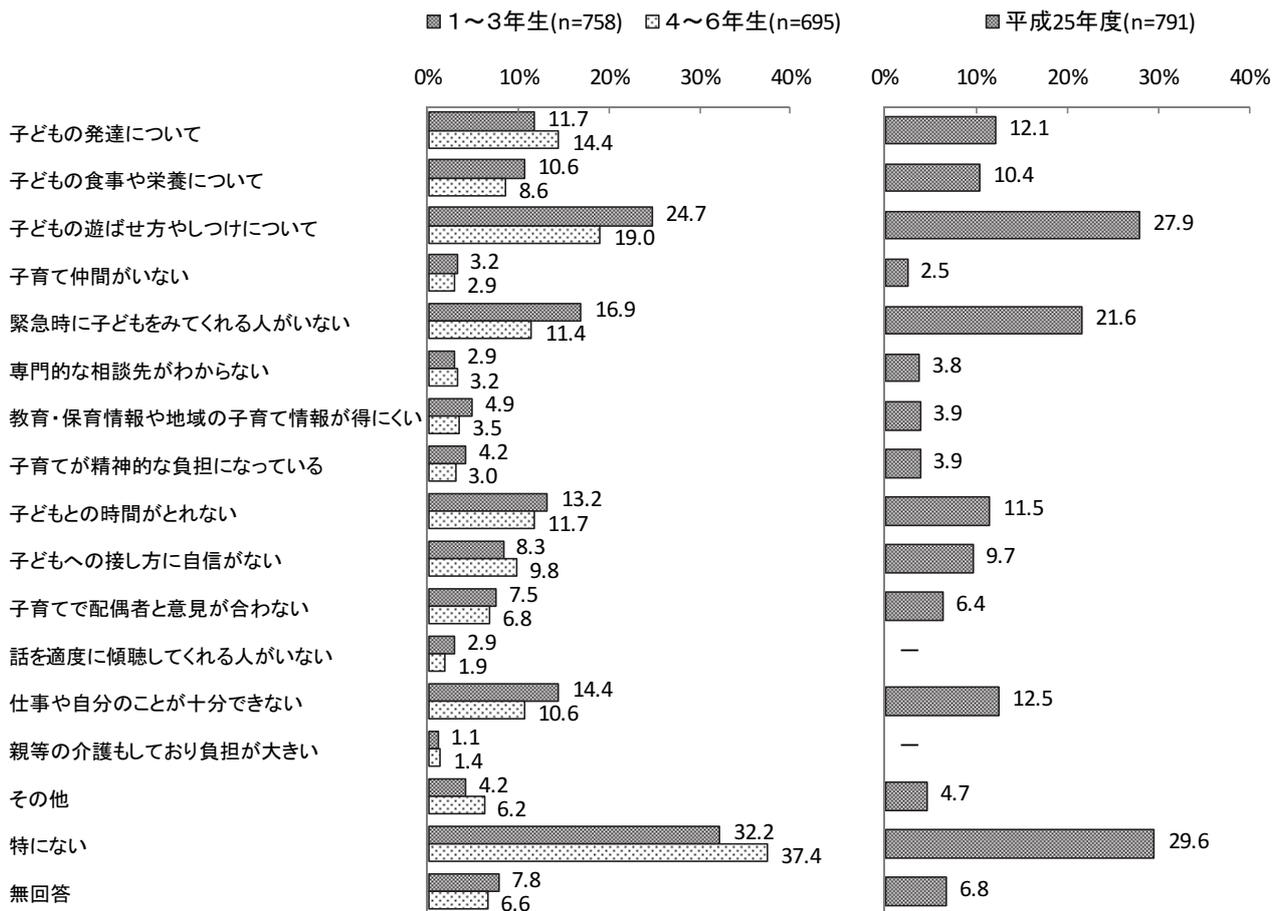
### 2-8-3 子育てに関する悩み

問19. 子育てに関して悩んでいることがありますか（○はあてはまるものすべて）。

子育てに関する悩みについて、全体的に「特にない」が最も多くなっている。『1～3年生』では「特にない」を除いて、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が24.7%と最も多く、次いで「緊急時に子どもをみてくれる人がいない」が16.9%、「仕事や自分のことが十分できない」が14.4%となっており、『4～6年生』でも「特にない」を除いて、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が19.0%と最も多く、次いで「子どもの発達について」が14.4%、「子どもとの時間がとれない」が11.7%となっている。『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」「緊急時に子どもをみてくれる人がいない」はそれぞれ5.7ポイント、5.5ポイント高く、「子どもの発達について」は2.7ポイント低くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「子どもとの時間がとれない」「仕事や自分のことが十分できない」がそれぞれ1.7ポイント、1.9ポイント増加し、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」「緊急時に子どもをみてくれる人がいない」はそれぞれ3.2ポイント、4.7ポイント減少している。

図表 299 子育てに関する悩み



※複数回答のため、合計は100%に一致しない

※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## 2-8-4 子育てについての感想

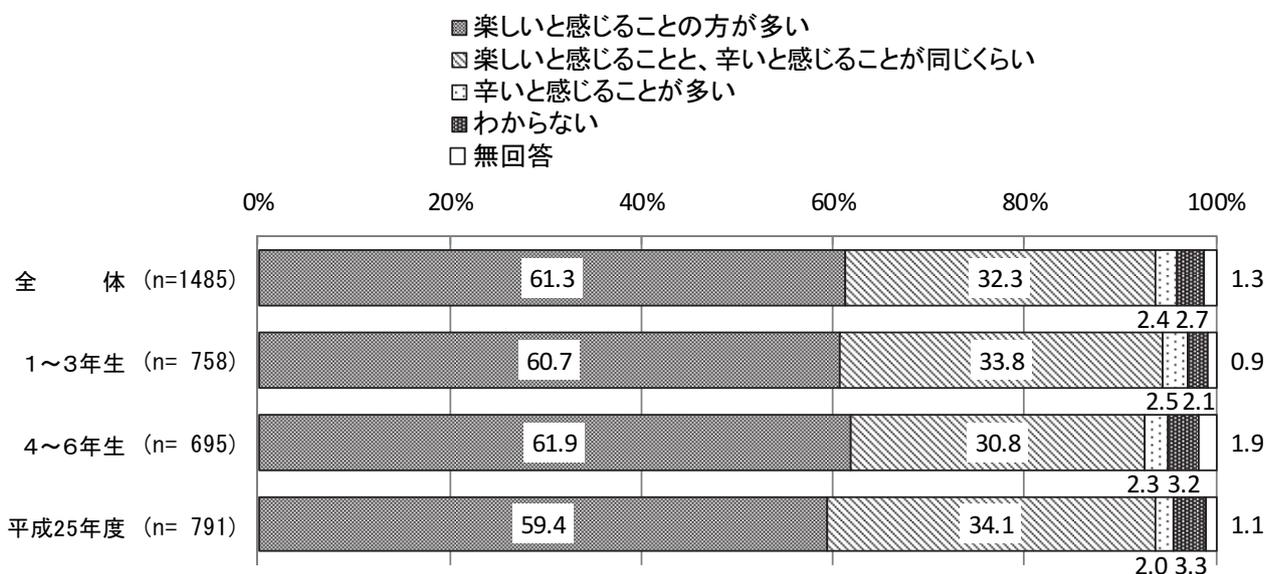
問20. あなたは、子育てをどのように感じていますか（○は1つだけ）。

子育てについての感想について、全体では「楽しいと感じることの方が多い」が61.3%と最も多く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」が32.3%となっている。

学年別でみると、『1～3年生』と『4～6年生』共に「楽しいと感じることの方が多い」がそれぞれ60.7%、61.9%と最も多く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」が33.8%、30.8%となっており、『1～3年生』を『4～6年生』と比較すると、「楽しいと感じることの方が多い」が1.2ポイント低く、「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」は3.0ポイント高くなっている。

平成25年度と比較すると、『1～3年生』の「楽しいと感じることの方が多い」が1.3ポイント増加し、「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」は0.3ポイント減少している。

図表 300 子育てについての感想



※回答対象は就学後児童対象調査の全員

※平成25年度は1～3年生のみ調査

## IV 自由回答

就学前児童の保護者の方に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関しての意見を記入していただいたところ、「保育園」に関する意見が最も多く、特に入園に関する意見が多くみられた。次いで「街づくり」に関する意見が多く、特に「公園」や「安心・安全」に関する意見や要望が多かった。その他の子育て事業として、「経済的支援」に関する意見も多く、「保育料の無償化」に関する意見が多かった。

図表 301 自由回答 1 (就学前児童)

大分類	中分類	件数(就学前児童)	
教育・保育事業	保育園	293	
	幼稚園	32	
	認定こども園	6	
地域子ども子育て支援事業	利用者支援事業	20	
	時間外保育事業、延長保育事業	25	
	放課後児童健全育成事業	52	
	子育て短期支援事業	1	
	乳幼児家庭全戸訪問事業	2	
	養育支援訪問事業、要保護児童支援	2	
	地域子育て支援拠点事業	45	
	一時預かり事業	60	
	病児・病後児保育事業	54	
	子育て援助活動支援(ファミリー・サポート・センター事業)	17	
	妊婦健康診査事業	1	
	その他の子育て事業	上記以外の子育て関連事業	17
		経済的支援	102
子育て支援施設(子育てサロンを除く)		67	
子育て以外	教育	71	
	医療	33	
	福祉	17	
	就労支援	6	
	街づくり	244	
	区政全般	53	
	社会環境の整備	37	
	その他	49	
その他事業	本調査について	34	
	意見要望以外	20	

図表 302 自由回答 2 (就学前児童)

中分類	小分類	件数(就学前児童)
保育園	保育園の増設・定員拡大	74
	保育園の入園審査手続き・基準の見直し	55
	保育料の見直し	4
	保育士の増員・質の向上	30
	保育内容や施設・設備の充実	31
	保育利用時間の延長や利用日の拡大	13
	その他	86
	街づくり	39
街づくり	安全・安心	39
	マナー・モラル	10
	公園	59
	交通	31
	コミュニティ	10
	その他	95
経済的支援	保育料無償化	57
	児童手当	15
	医療補助	7
	就学後支援	5
	子育てパスポート	4
	その他	14

就学後児童（小学生）の保護者では、「街づくり」に関する意見が最も多く、特に「公園」に関する意見や「図書館」に関する要望も多くみられた。次いで「教育」に関する意見が多く、「教育の質」や「教員の数・質」に関する意見が多かった。地域子ども子育て支援事業として、「放課後児童健全育成事業」に関する意見も多く、特に「学童保育」に関する意見が多かった。

図表 303 自由回答 1（小学生児童）

大分類	中分類	件数(小学生児童)
教育・保育事業	保育園	19
	幼稚園	5
	認定こども園	2
地域子ども子育て支援事業	利用者支援事業	13
	時間外保育事業、延長保育事業	2
	放課後児童健全育成事業	53
	子育て短期支援事業	0
	乳幼児家庭全戸訪問事業	0
	養育支援訪問事業、要保護児童支援	0
	地域子育て支援拠点事業	0
	一時預かり事業	6
	病児・病後児保育事業	9
	子育て援助活動支援(ファミリー・サポート・センター事業)	4
	妊婦健康診査事業	0
その他の子育て事業	上記以外の子育て関連事業	41
	経済的支援	30
	子育て支援施設(子育てサロンを除く)	19
子育て以外	教育	103
	医療	13
	福祉	5
	就労支援	0
	街づくり	109
	区政全般	23
	社会環境の整備	39
	その他	25
	その他事業	本調査について
意見要望以外	12	

図表 304 自由回答 2（小学生児童）

中分類	小分類	件数(小学生児童)
教育	学力向上	7
	教育の質の向上	18
	教員の増員・質の向上	17
	施設・設備の充実	9
	学区・学校選択の改善	8
	その他(教育)	44
	街づくり	安全・安心
マナー・モラル		1
公園		44
交通		13
コミュニティ		1
その他(街づくり)		37
放課後児童健全育成事業	学童保育室の増設・定員拡大	9
	学童保育入室審査手続き・基準の見直し	2
	保護者負担金(保育料)の見直し	0
	学童保育の年齢の引き上げ	8
	学童保育の指導員の増員・質の向上	4
	学童保育内容の充実	4
	学童保育の時間の延長	7
	施設・設備の充実	1
	その他(学童保育)	17
	その他(学童保育以外放課後)	1

## V 参考資料 調査票



## 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

回答時間の目安：20分前後

### ご記入にあたって

- 特に断りがない限り、封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- 特に断りがない限り、回答日現在の状況でお答えください。
- 質問中に「母親」「父親」「父母」とある場合は、現在のお子さんの保護者である方（養母、養父を含む）についてお答えください。
- お答えの内容は、すべて統計的に処理し、個人の特定ができないように取り扱います。また、データ入力後は調査票を厳正に管理・保管し、一定期間経過後に溶解処理いたします。個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることとは一切ございません。

### ～一人でも多くの方のご回答をお待ちしています～

日頃より足立区の子ども・子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

足立区では、子どもが自らの力で人生を切り拓いていくことのできる「たくましく生き抜く力を育む」ことを目標として、子ども・子育て支援を最優先施策の1つに位置づけて取り組みを進めています。また、区民の皆様の子育てやサービスの利用状況、利用希望、ご意見等を把握し、より一層施策を充実させるため、定期的な「ニーズ調査」を実施しております。

本調査の結果は、待機児童解消や子育てへの不安解消に向け、足立区が取り組むべき事業を検討するために活用し、2020年度からの5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」（第二期）の策定に生かしてまいります。

質問数が多くご負担をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月 足立区長 近藤 やよい

ご返送は 2月20日（水）まで  
をお願いします。

同封の返信用封筒  
をご利用ください  
(切手不要)。

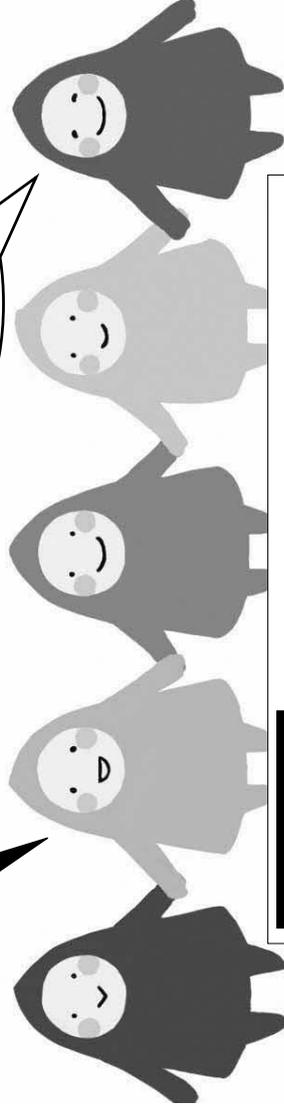
#### お問い合わせ先

足立区教育委員会事務局 子ども家庭部 子ども政策課 子ども・子育て支援制度担当

電話：03-3880-5795(受付時間：月～金 8時30分～17時15分 ※祝日除く)

Eメール：kosodate@city.adachi.tokyo.jp

～ 本調査票は、就学前のお子さんを住民票から無作為に抽出し、その保護者の皆様6,750人の方々に送付させていただきました。～



お住まいの地域についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問1. お住まいの地区をかつこ内にご記入ください。

足立区 ( ) ( ) ( ) 丁目

※記入例：( 千住 ) ( 2 ) 丁目、( 保塚町 ) ( ) 丁目 など

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問2. お子さんの生年月月をご記入ください(かつこ内に数字で)。

平成 ( ) 年 ( ) 月生まれ

問3. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

お子さんから見た関係でお答えください(○は1つだけ)。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ( )

問4. お子さんはご回答いただく方にとって何番目のお子さんですか(○は1つだけ)。

1. 1人目 2. 2人目 3. 3人目 4. 4人目以上 ( 人目)

問5. この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか(○は1つだけ)。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6. お子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたとと考えていますか。

お子さんから見た関係でお答えください(○は1つだけ)。

1. 父母ともに  
2. 主に母親  
3. 主に父親  
4. 主に祖父母等の親族  
5. その他 ( )

→ 問7 (2ページ)へ

お子さんの「子育て環境」についてうかがいます。

問7. 親族や知人で、日頃、お子さんをみてもらえる方はいますか(○はあてはまるものすべて)。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8. お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所はありますか(○は1つだけ)。

1. いる/ある 2. いない/ない → 問9 (3ページ)へ

(問8で「1. いる/ある」とお答えの方におたずねします。)

問8-1. お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか(○はあてはまるものすべて)。

1. 配偶者
2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 子育てグループ活動(保健センター等の自主グループ、のびのび親子ひろば活動、サロンの木を含む)
6. 子育てサロン・児童館の職員
7. 保健センター等の保健師
8. 保育園等の保育士(乳幼児すこやか相談を含む)
9. 幼稚園の教諭
10. 民生委員・児童委員
11. 子育てサポーター、ファミリー・サポート・センター提供会員、NPOの職員
12. かかりつけの医師
13. 区役所の子育て担当窓口(こども支援センターげんき、障がい福祉センターあしすと、保育コンシェルジュ、豆の木相談室など)の職員
14. その他(ベビーシッターなど) ( )

→ 問9 (3ページ)へ

**お子さんの「保護者の方の就労状況」についてうかがいます。**

(注) 以下、「フルタイム」とは1週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。  
また、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム」以外の就労を指します。

すべての方におうかがいします。お子さんのお母さまについてお答えください。

※父子家庭の場合は→問10(4ページ)へお進みください。

問9. お母さまの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は次のどれにあたりますか  
(○は1つだけ)。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 問10(4ページ)へ

→ (問9で「1. ~ 4.」のいずれかに、○をつけた方におたずねします。)

問9-1. お母さまの就労状況について、下の表の(1)~(8)にお答えください。

※日数・時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 就労日数	1 週あたり ( ) 日	※かつこ内に数字で記入
(2) 就労時間 (残業時間を含み、休憩時間は含まない)	1 日あたり ( ) 時間	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(3) 家を出る時刻 (自宅で就労している場合は就労を開始する時刻)	( ) 時	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(4) 帰宅する時刻 (自宅で就労している場合は就労を終える時刻)	( ) 時	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(5) 土曜日の就労日数	1. なし 2. 月に1~2日 3. ほぼ毎週	※あてはまるもの1つに○
(6) 日曜日・祝日の就労日数	1. なし 2. 月に1~2日 3. ほぼ毎週	※あてはまるもの1つに○
(7) 1日あたりの通勤時間 (往復の合計時間として、あてはまるもの1つに○)	1. 30分未満(自宅で就労を含む) 2. 30分以上・1時間未満 3. 1時間以上・1時間30分未満 6. 2時間30分以上	4. 1時間30分以上・2時間未満 5. 2時間以上・2時間30分未満 6. 2時間30分以上
(8) 日常的な通勤手段 (あてはまるものすべてに○)	1. 自転車(電動自転車以外) 2. 電動自転車 3. バス 4. 鉄道→最初に乗車する鉄道駅	5. 自動車 6. バイク 7. 徒歩のみ(1~6.を使用しない場合) 8. 自宅で就労 9. その他( )
※鉄道を利用する場合、自宅を出て最初に乗車する鉄道駅もご記入ください。		

→ 問10(4ページ)へ

すべての方におうかがいします。お子さんのお父さまについてお答えください。  
※母子家庭の場合は→問11(5ページ)へお進みください。

問10. お父さまの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は次のどれにあたりますか  
(○は1つだけ)。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 問11(5ページ)へ

→ (問10で「1. ~ 4.」のいずれかに、○をつけた方におたずねします。)

問10-1. お父さまの就労状況について、下の表の(1)~(8)にお答えください。

※日数・時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 就労日数	1 週あたり ( ) 日	※かつこ内に数字で記入
(2) 就労時間 (残業時間を含み、休憩時間は含まない)	1 日あたり ( ) 時間	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(3) 家を出る時刻 (自宅で就労している場合は就労を開始する時刻)	( ) 時	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(4) 帰宅する時刻 (自宅で就労している場合は就労を終える時刻)	( ) 時	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(5) 土曜日の就労日数	1. なし 2. 月に1~2日 3. ほぼ毎週	※あてはまるもの1つに○
(6) 日曜日・祝日の就労日数	1. なし 2. 月に1~2日 3. ほぼ毎週	※あてはまるもの1つに○
(7) 1日あたりの通勤時間 (往復の合計時間として、あてはまるもの1つに○)	1. 30分未満(自宅で就労を含む) 2. 30分以上・1時間未満 3. 1時間以上・1時間30分未満 6. 2時間30分以上	4. 1時間30分以上・2時間未満 5. 2時間以上・2時間30分未満 6. 2時間30分以上
(8) 日常的な通勤手段 (あてはまるものすべてに○)	1. 自転車(電動自転車以外) 2. 電動自転車 3. バス 4. 鉄道→最初に乗車する鉄道駅	5. 自動車 6. バイク 7. 徒歩のみ(1~6.を使用しない場合) 8. 自宅で就労 9. その他( )
※鉄道を利用する場合、自宅を出て最初に乗車する鉄道駅もご記入ください。		

→ 問11(5ページ)へ

お母さま・お父さまのおひとりでも、「パート・アルバイト等」で就労しているとお答えの方におうかがいします（育児・介護休暇の場合を含む）。

※該当しない方は→問12へお進みください。

問11. 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

母親 (問9で3または4に○をつけた方)	1. フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している 2. フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
父親 (問10で3または4に○をつけた方)	1. フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している 2. フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

→ 問12へ

お母さま・お父さまのおひとりでも、現在就労していないとお答えの方におたずねします。

※該当しない方は→問13（6ページ）へお進みください。

問12. 今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ1つだけ）。

また、下記で「3. または4.（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください（かつこ内に数字で）。

母親 (問9で5または6に○をつけた方)	1. フルタイムですぐに就労したい 2. フルタイムで数年後までには就労したい 3. パート・アルバイト等ですぐに就労したい 4. パート・アルバイト等で数年後までには就労したい 5. 就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）	(1) 就労日数 1週あたり ( ) 日 (2) 就労時間 ※30分以上初め上げ、30分未満初め捨て 1日あたり ( ) 時間 (3) 通勤時間 1日あたり往復 ( ) 分以内
父親 (問10で5または6に○をつけた方)	1. フルタイムですぐに就労したい 2. フルタイムで数年後までには就労したい 3. パート・アルバイト等ですぐに就労したい 4. パート・アルバイト等で数年後までには就労したい 5. 就労の予定はない（子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等）	(1) 就労日数 1週あたり ( ) 日 (2) 就労時間 ※30分以上初め上げ、30分未満初め捨て 1日あたり ( ) 時間 (3) 通勤時間 1日あたり往復 ( ) 分以内

→ 問13（6ページ）へ

お子さんの「平日の定期的な教育・保育事業の利用状況」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

(注) ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業（サービスや施設など）を指します。具体的には、問13-1に示した事業が含まれます。保育園や幼稚園であれば在園して利用していることを指します。

問13. お子さんは現在、幼稚園や保育園などの平日の定期的な教育・保育事業を利用されていますか（○は1つだけ）。

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

(問13で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。)

問13-1. お子さんは現在、平日、年間を通じて定期的にどのような教育・保育事業を利用していますか（○はあてはまるものすべて）。

1. 私立幼稚園（※）（通常の就園時間の利用）
2. 私立幼稚園の預かり保育（※）（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認定こども園の短時間利用（午前9時～午後2時）
4. 認定こども園の長時間利用
5. 認可保育所（国の基準に適合した施設で、東京都の認可を受けたもの）
6. 小規模保育（国の基準に適合した施設で、足立区の認可を受けて2歳児まで6～19人を保育するもの）
7. 家庭的保育（保育ママ）（保育者の自宅等で、足立区の認可を受けて2歳児まで5人以下を保育する事業）
8. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
9. 居宅訪問型保育（ベビーママ）（保育者が子どもを家庭で保育する事業）
10. 東京都認証保育所（東京都が認証した保育施設で、直接施設に利用申込するもの）
11. その他の認可外保育施設（直接施設に利用申込するもので他の選択肢にあてはまらないもの）
12. 子ども預かり・送迎支援事業（旧子育てホームサポート）又は、ファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもを預かる事業）
13. その他（サービス名：\_\_\_\_\_）

※以下の施設は「3.」又は「4.」の「認定こども園」（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）になりますのでご注意ください。…東京百台幼稚園、西新井幼稚園、杉の子幼稚園、舎人幼稚園

(問13-1で「3.」「4.」のいずれかに○をつけた方におたずねします。)

問13-2. 利用している認定こども園の運営主体（私立/区立）をお答えください（○は1つだけ）。

1. 私立	2. 区立
-------	-------

→ 問13-3（7ページ）へ

前ページに引き続き、問13で「1. 利用している」とお答えの方におうかがいします。

問13-3. 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、お子さんが何歳のときから利用を開始しましたか（かっこ内に数字で）。

※利用施設を変更した場合や、複数の教育・保育事業を選択した場合は、一番最初に利用を開始した教育・保育事業についてご記入ください。

※ただし、当初希望した年齢で保育園の入所を申し込みをしたが特機になり、年齢が上がってから利用を開始した場合は、「当初希望した利用開始年齢」をご記入ください。

利用を開始した年齢	( )歳から
-----------	--------

問13-4. その年齢で利用することを決めた時期は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

問13-3で記入した年齢で利用することを決めた時期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠が分かる前から決めていた</li> <li>2. 妊娠が分かった後から母子手帳を受け取るまでの間</li> <li>3. 母子手帳を受け取った後から出産までの間</li> <li>4. 出産の後から生後おおよそ3か月までの間</li> <li>5. 生後3か月より後、おおよそ1歳になるまでの間</li> <li>6. 1歳になった後</li> <li>7. わからない（覚えていない場合も含む）</li> </ol>
---------------------------	---

問13-5. 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、(1) 現在どのくらい利用していますか。また、(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在どのくらい利用しているか (かっこ内に数字で)	(2) 希望 該当する番号1つに○（現在と異なる場合はかっこ内に数字で）
① 1週あたり ( ) 日	1. 現在と異なる → 週あたり ( ) 日 2. 現在と同じ
② ( ) 時から ( ) 時まで ※24時間制で記入(9時から17時までなど) ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て	1. 現在と異なる → ( ) 時から ( ) 時まで ※24時間制で記入(9時から17時までなど) ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
③ 1日あたり ( ) 時間 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て	1. 現在と異なる → 1日あたり ( ) 時間 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て

→ 問13-6 (8ページ)へ

前ページに引き続き、問13で「1. 利用している」とお答えの方におうかがいします。

問13-6. 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの教育や発達のため</li> <li>2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため</li> <li>3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため</li> <li>4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・祖父母等の親族などを介護しているため</li> <li>5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがあるため</li> <li>6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため</li> <li>7. その他 ( )</li> </ol>
--

→ 問14 (9ページ)へ

「平日の定期的な教育・保育事業」を利用していない方（問13）におうかがいします。

問13-7. 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない</li> <li>2. 平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみているため、利用する必要がない</li> <li>3. 平日、近所の人や父母の友人・知人が子どもをみているため、利用する必要がない</li> <li>4. 利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない</li> <li>5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない</li> <li>6. 利用したいが、延長・夜間等の利用希望時間帯が合わない</li> <li>7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない</li> <li>8. 子どもがまだ小さいため</li> <li>9. その他 ( )</li> </ol>
---

（問13-7で「8. 子どもがまだ小さいため」とお答えの方におたずねします。）

問13-8. お子さんが何歳くらいになったら、平日に定期的に教育・保育事業を利用しようと考えていますか（かっこ内に数字で）。

利用希望年齢	( ) 歳
--------	-------

→ 問14 (9ページ)へ

すべての方におうかがいします。

問14、お子さんの平日の教育・保育事業について、現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したいと考えられる事業は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。なおこれらの事業の利用には、一定の利用料がかかります（下表参照）。

1. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）	
2. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	
3. 認定こども園（※）の短時間利用（午前9時～午後2時）	→ 問14-1（10ページ）へ
4. 認定こども園（※）の長時間利用	
5. 認可保育所（国の基準に適合した施設で、東京都の認可を受けたもの）	
6. 小規模保育（国の基準に適合した施設で、足立区の認可を受けて2歳児まで6～19人を保育するもの）	
7. 家庭的保育（保育ママ、保育者の自宅等で、足立区の認可を受けて2歳児まで5人以下を保育する事業）	
8. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	
9. 居宅訪問型保育（ベビーママのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）	
10. 東京都認証保育所（東京都が認証した保育施設で、直接施設に利用申込するもの）	
11. その他の認可外保育施設（直接施設に利用申込するもので他の選択肢にあてはまらないもの）	
12. 子ども預かり・送迎支援事業（旧子育てホームサポート）またはファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもを預かる事業）	
13. その他（サービス名：_____）	
14. いずれも利用したくない	

※「認定こども園」は、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設です。対象年齢等は施設により異なります。

→ 問14-2（10ページ）へ

（参考）定期的な保育サービスの利用料（施設により給食等実費の負担あり）

	利用料の目安
1. 私立幼稚園	月額26,000～32,000円程度（区助成制度あり。区民税額等により異なる。7,000～32,000円）
2. 私立幼稚園の預かり保育	「1. 私立幼稚園」の利用料に加え、月額5,000円から1,000円程度
3. 認定こども園の短時間利用	区民税額等によって異なる。【区民税所得割課税世帯の場合】月額11,000円
4. 認定こども園の長時間利用	区民税額、年齢等によって異なる。【D8階層（※）の場合】月額20,200円（4歳児以上）～27,500円（3歳児未満）
5. 認可保育所	区民税額等によって異なる。【D8階層（※）の場合】月額24,800円
6. 小規模保育	区民税額等によって異なる。【D8階層（※）の場合】月額19,800円（給食なしの場合）又は月額24,800円（給食ありの場合）
7. 家庭的保育（保育ママ）	各事業所により異なる。
8. 事業所内保育施設	
9. 居宅訪問型保育	
10. 東京都認証保育所	月額35,000～80,000円程度（区助成制度あり。年齢、区民税額等により異なる。13,000～42,000円）

※「D8階層」とは区民税所得割額が年額145,000円～174,999円の世帯です。

問14で、「3.認定こども園の短時間利用」「4.認定こども園の長時間利用」のいずれか1つでも○をつけた方におうかがいします。

問14-1. 希望する認定こども園の運営主体（私立/区立）をお答えください（○は1つだけ）。

1. どちらでもよい	2. 私立を希望	3. 区立を希望
------------	----------	----------

→ 問14-2へ

問14で、「1.私立幼稚園」「2.私立幼稚園の預かり保育」のいずれか1つでも○をつけ、かつその他の事業（3～13）にも○をつけた方におうかがいします。

※ 其他の方は→問15へお進みください。

問14-2. 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか（○は1つだけ）。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

→ 問15へ

すべての方におうかがいします。

問15. 2019年10月から実施される「教育・保育の無償化」により、教育・保育事業の利用料は、下の囲み（「幼児教育・保育の利用料の無償化とは」）のとおり変更となる予定です。

囲みの内容をご覧ください。質問にお答えください。

**幼児教育・保育の利用料の無償化とは**

2019年10月から、以下の内容で幼稚園、認可保育所等の利用料の無償化が開始する予定です。

【対象施設】  
幼稚園、認可保育所、認定こども園、地域型保育（小規模保育、家庭的保育など）、企業主導型保育事業、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設（東京都認証保育所、ベビーママなど）等

【対象となる児童及び世帯の条件】

3歳～5歳児の全世帯 および 0歳～2歳児の住民税非課税世帯

【その他】

- ・ 無償化の対象となるためには、対象施設の種別に応じて「教育標準時間認定（1号認定）」や、「保育認定（2・3号認定）」等の区の認定を受けることが条件になります。
- ・ 実費徴収費用は、無償化の対象外です。

（平成31年1月現在の情報。対象範囲や要件などの詳細は、現在国で検討が進められています。）

上の囲み「幼児教育・保育の利用料の無償化とは」の内容をご存知でしたか。

1. 知っていた	2. おおよその内容は知っていた	3. 知らなかった
----------	------------------	-----------

→ 問15-1（11ページ）へ

**前ページに引き続き、すべての方におうかがいします。**

問15-1. 教育・保育の無償化が実施された場合、問14でお答えいただいた「現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える事業」を変更しますか（○は1つだけ）。

1. はい（変更する）	2. いいえ	3. わからない
-------------	--------	----------

→ 問16（12ページ）へ

**（問15-1で「1. はい（変更する）」とお答えの方におたずねします。）**

問15-2. 「教育・保育の無償化」が実施された場合、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）</li> <li>2. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）</li> <li>3. 認定こども園（短時間利用又は長時間利用）</li> <li>4. 認可保育所（国の基準に適合した施設で東京都の認可を受けたもの）</li> <li>5. 認可保育所以外の保育事業（小規模保育、家庭的保育（保育ママ）、事業所内保育施設、居宅訪問型保育、東京都認証保育所、及びその他の認可外保育施設）のいずれかの事業</li> <li>6. 子ども預かり・送迎支援事業（旧子育てホームサポート）またはファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもを預かる事業）</li> <li>7. その他（サービス名： _____ ）</li> </ol>
---

→ 問16（12ページ）へ

**お子さんの「地域の子育て支援事業の利用状況」についてうかがいます。**

**すべての方におうかがいします。**

**子育てサロンとは**

子育てサロンは0歳から3歳（児童館子育てサロンは0歳から就学前まで）のお子さんとお母さん・お父さん等のお子さんとお母さん・お父さんが自由に集える広場です。子育てサロンスタッフが、ちょっとしたおしゃべりを通して皆さんの子育てを応援しています。親子でくつろいで遊べるとともに、同じ年頃のお子さんを育てているお母さん・お父さんがお互いの悩みを話し合ったり、仲間づくりができます。利用は無料です。

各サロンの場所や利用時間は、ホームページをご覧ください。

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/juku/k-kyoiku/kosodate/tsudoinoba-salon.html>

問16. お子さんは、現在、上記の子育てサロンを利用していますか（○は1つだけ）。

1. 子育てサロンを利用している	2. 子育てサロンを利用していない
------------------	-------------------

**（問16で「1. 子育てサロンを利用している」とお答えの方におたずねします。）**

問16-1. おおよその利用回数（利用頻度）をお答えください（どちらか一方のほうの数字で）。

1週あたり（ ）回	もしくは	1ヶ月あたり（ ）回程度
-----------	------	--------------

**すべての方におうかがいします。**

問16-2. 子育てサロンの今後の利用意向は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

1. 利用していないが、今後利用したい	3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	→ 問16-4（13ページ）へ

**（問16-2で「1.」または「2.」とお答えの方におたずねします。）**

問16-3. 希望するおおよその利用回数（利用頻度）をご記入ください（かっこ内に数字で）。

1週あたり（ ）回	もしくは	1ヶ月あたり（ ）回程度
-----------	------	--------------

→ 問17（13ページ）へ

問16-2で、子育てサロンについて「3.新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」とお答えの方におうかがいします。

問16-4.新たに利用したり、利用回数を増やしたいと思わない理由は次のどれにあたりますか(○はあてはまるものすべて)。

- |                         |                                 |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 家事が忙しいから             | 5. すでに利用しており、現在の回数(頻度)で満足しているから |
| 2. 平日は保育園などに預けているから     | 6. 知らない人と会うことに抵抗があるから           |
| 3. 他に同様の目的を達成できる場所があるから | 7. 子どもの発育・発達に不安があるから            |
| 4. 住まいから遠いから            | 8. その他( )                       |

→ 問17(13ページ)へ

すべての方におうかがいします。

問17. 足立区で実施している下記の相談・情報提供事業について、(1)あなたの利用状況、(2)今後の利用意向について、あてはまるものをお答えください(○はいずれも、それぞれ1つずつ)。  
※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	(1) 利用状況 (事業ごと○は1つ)	(2) 今後の利用意向 (事業ごと○は1つ)
相談・情報提供事業	a. 知らない b. ことが利用していない c. 利用している	a. 利用したい b. 利用したいと思わない
① 保健センター等のファミリー学級・相談事業	a. b. c.	a. b.
② こども支援センターげんぎの相談窓口	a. b. c.	a. b.
③ 障がい福祉センターあしすと	a. b. c.	a. b.
④ 保育園・こども園の乳幼児すこやか相談	a. b. c.	a. b.
⑤ 区立保育園・こども園のマイ保育園事業	a. b. c.	a. b.
⑥ 保育園シエルジュの相談事業	a. b. c.	a. b.
⑦ 豆の木相談室(ひとり親家庭支援員の相談事業)	a. b. c.	a. b.
⑧ 子育てガイドブック ※子育て情報冊子	a. b. c.	a. b.
⑨ Aメール	a. b. c.	a. b.
⑩ 子育てサロン(児童館内以外)	a. b. c.	a. b.
⑪ 児童館子育てサロン	a. b. c.	a. b.

→ 問18(14ページ)へ

お子さんの「土曜日や休日の教育・保育事業の定期的な利用希望」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問18. お子さんについて、土曜日に、定期的に教育・保育事業を利用したいと思いませんか(一時的な利用は除きます)(○は1つだけ)。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります(9ページの表参照)。

1. ほぼ毎週利用したい	3. 利用する必要はない	→ 問19へ
2. 月に1~2回は利用したい		

(問18で「1.」または「2.」とお答えの方におたずねします。)

問18-1. 利用したい時間帯をお答えください(かっこ内に数字で)。

※席額は、24席額(8時、16時など、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て)でお答えください。

利用したい時間帯 ( )時から ( )時まで
------------------------

(問18で「2.」とお答えの方におたずねします。) ※該当しない方は→問19へ

問18-2. 毎週ではなく、「月に1~2回」利用したい理由は何ですか(○はあてはまるものすべて)。

1. 月に数回仕事が入るため	4. 息抜きのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他 ( )
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

→ 問19へ

すべての方におうかがいします。

問19. お子さんについて、日曜日・祝日に、定期的に教育・保育事業を利用したいと思いませんか(一時的な利用は除きます)(○は1つだけ)。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります(9ページの表参照)。

1. ほぼ毎週利用したい	3. 利用する必要はない	
2. 月に1~2回は利用したい		→ 問20(15ページ)へ

(問19で「1.」または「2.」とお答えの方におたずねします。)

問19-1. 利用したい時間帯をお答えください(かっこ内に数字で)。

※席額は、24席額(8時、16時など、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て)でお答えください。

利用したい時間帯 ( )時から ( )時まで
------------------------

→ 問19-2(15ページ)へ

問19で、日曜日・祝日に「2.月に1~2回は利用したい」とお答えの方におかけいたします。  
※該当しない方は→問20へお進みください。

問19-2. 毎週ではなく、「月に1~2回」利用したい理由は何ですか(○はあてはまるものすべて)。

- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため             | 4. 息抜きのため  |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | 5. その他 ( ) |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため         |            |

→ 問20へ

現在、平日の定期的な教育・保育事業として、「私立幼稚園」、「私立幼稚園の預かり保育」のいずれかを利用している方(問13-1)におかけいたします。  
※該当しない方は→問21(16ページ)へお進みください。

問20. お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業中に、定期的に教育・保育事業を利用したいと思いませんか(○は1つだけ)。  
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | 3. 利用する必要はない |
| 2. 休みの期間中、週に数日利用したい | →問21(16ページ)へ |

(問20で「1.」または「2.」とお答えの方におたずねします。)

問20-1. 利用したい時間帯をお答えください(かっこ内に数字で)。

※御聞は、24時間制(8時、16時など)30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててお答えください。

利用したい時間帯 ( )時から ( )時まで
------------------------

(問20で「2.」とお答えの方におたずねします。) ※該当しない方は→問21(16ページ)へ

問20-2. 毎日ではなく、「週に数日」利用したい理由は何ですか(○はあてはまるものすべて)。

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため        | 4. 息抜きのため                 |
| 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため | 5. 毎日親子だけでいるより子どもに良いと思うから |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため  | 6. その他 ( )                |

→問21(16ページ)へ

お子さんの「病気の際の対応」についてうかがいます。

平日の定期的な教育・保育の事業を利用しているとお答えの方(問13)におかけいたします。  
※該当しない方は→問22(18ページ)にお進みください。

問21. この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありませんか(○は1つだけ)。

- |        |         |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|
- 問22(18ページ)へ

(問21で「1. あった」とお答えの方におたずねします。)

問21-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか(あてはまる番号すべてに○)。

また、それぞれのおおよその日数(年間)をお答えください(それぞれ○は1つだけ)。  
※日数については、半日程度の場合も1日とカウントしてください。

(1) 対処方法	(2) おおよその日数(年間) (行った対処法ごとに○は1つ)					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.
※あてはまる番号すべてに○	1日~5日程度	6日~10日程度	11日~30日程度	31日~50日程度	51日~100日程度	101日以上
1. 父親が仕事を休んで子どもをみた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
2. 母親が仕事を休んで子どもをみた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	a.	b.	c.	d.	e.	f.
4. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
5. 区の病後児保育室を利用した <sup>※1</sup>	a.	b.	c.	d.	e.	f.
6. ハビリッター事業者が提供する在宅型の病児保育サービスを利用した <sup>※2</sup>	a.	b.	c.	d.	e.	f.
7. 6. 以外の民間のベビーシッターを利用した	a.	b.	c.	d.	e.	f.
8. 子どもだけで留守番をさせた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
9. その他 ( )	a.	b.	c.	d.	e.	f.

※1 「区の病後児保育室」とは、区立あやせ保育園「すくすくルーム」と私立西新井さくら保育園「げんき」のことを指します。

※2 「ハビリッター」事業者が提供する在宅型の病児保育サービスとは、足立区の病児保育(在宅型)利用料金の助成対象となっているようなサービスのことを指します。

→ 問21-2(17ページ)へ

問21-1で「1. 父親が仕事を休んで子どもをみた」「2. 母親が仕事を休んで子どもをみた」のいずれかひとつでも○をつけた方におうかがいします。  
※該当しない方は→問22(18ページ)へお進みください。

問21-2. 父親または母親が休んだ際、「できれば病児や病後児のための保育施設・保育サービスを利用したい」と思われませんか(○は1つだけ)。  
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1. できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った  
2. 利用したいとは思わなかった →問22(18ページ)へ

(問21-2で「1.」とお答えの方におたずねします。)

問21-3. 病児・病後児のための保育施設やサービスを利用したいと思っただ日は何日くらいありましたか。おおよその日数(年間)をお答えください(かっこ内に数字で)。

利用希望日数 年間( )日

問21-4. 病児・病後児のための保育施設やサービスにお子さんを利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか(○はあてはまるものすべて)。  
※いずれも一定の利用料がかかります。

1. 保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業  
2. 医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業  
3. 地域の子育て経験者などが自宅や保護者宅などの身近な場所で保育する事業  
4. 看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業  
5. その他( )

→ 問22(18ページ)へ

お子さんの「不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用」  
についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問22. お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在、不定期に利用している事業は次のうちのどれですか(あてはまる番号すべてに○)。  
また、それぞれのおおよその年間利用日数をお答えください(○はそれぞれ1つだけ)。  
※半日程度の場合も1日とカウントしてください。

(1) 現在、不定期に利用している事業	(2) 年間利用日数 (利用している事業ごとに○は1つ)					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	1日程度	6日程度	11日程度	31日程度	51日程度	101日以上
2. 私立幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	5日程度	10日程度	30日程度	50日程度	100日程度	
3. 子ども預かり・送迎支援事業(旧子育てホームサポート)又は、ファミリー・サポートセンター事業						
4. トライラストステイ(児童養護施設等で休日・夜間に概ね22時ごろまで子どもを預かる事業)						
5. ベビーシッター(民間)						
6. その他( )						
7. 利用していない						

(問22で「7(利用していない)」とお答えの方におたずねします。)

問22-1. 現在利用していない理由は何ですか(○はあてはまるものすべて)。

1. 特に利用する必要がない  
2. 利用したい事業が地域にない  
3. 地域の事業の質に不安がある  
4. 地域の事業の利便性(立地・時間・日数など)がよくない  
5. 利用料がかかる・高い  
6. 利用料がわからない  
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない  
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない  
9. その他( )

→ 問23(19ページ)へ

すべての方におうかがいします。

問23. お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問22に示すような事業を利用する必要があると思いますか（○は1つだけ）。  
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 必要があると思う  2. 必要はないと思う  → 問24 (20ページ)

(問23で「1. 必要があると思う」とお答えの方におたずねします。)

問23-1. 1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業の利用を必要とする日数はどのくらいあると思いますか（かっこ内に数字で）。

利用を必要とする日数 年間計 ( ) 日くらい

問23-2. どのような利用目的が考えられますか（あてはまる番号すべてに○）。  
また、それぞれの目的でのおおよその年間利用日数をお答えください  
（○はそれぞれ1つだけ）。  
※日数については、半日程度の場合も1日とカウントしてください。

(1) 利用目的	(2) 年間利用希望日数 (利用目的ごとに○は1つ)					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.
1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	1日～5日程度	6日～10日程度	11日～30日程度	31日～50日程度	51日～100日程度	101日以上
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	a.	b.	c.	d.	e.	f.
3. 不定期の就労	a.	b.	c.	d.	e.	f.
4. その他 ( )	a.	b.	c.	d.	e.	f.

問23-3. 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期にお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか（○はあてはまるものすべて）。

1. 保育園や幼稚園などの特定の園児がいる施設で子どもを保育する事業
2. 子育てサロンなどの事業を行う施設で子どもを保育する事業
3. 地域の子育て経験者などが自宅や保護者宅で保育する事業（例：子ども預かり・送迎支援事業等）
4. その他 ( )

→ 問24 (20ページ)へ

すべての方におうかがいします。

問24. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りだけで家族以外にみてもらわなければならぬことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）（○は1つだけ）。

1. あった  2. なかった  → 問25 (21ページ)へ

(問24で「1. あった」とお答えの方におたずねします。)

問24-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。  
また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。  
※日数は泊数（1泊2日なら「1日」）でお答えください。

(1) この1年間に行った対処方法	(2) おおよその日数（年間） (行った対処法ごとに○は1つ)					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.
1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった	1日～5日程度	6日～10日程度	11日～30日程度	31日～50日程度	51日～100日程度	101日以上
2. ショートステイ（※）を利用した ※児童養護施設等【クリスマスウィレージ、養育協力家庭】で一定期間、子どもを保護する事業	a.	b.	c.	d.	e.	f.
3. 2以外の保育事業（認可外保育施設、ハビータ等）を利用した	a.	b.	c.	d.	e.	f.
4. 仕方なく子どもを同行させた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
5. 仕方なく子どもだけで留守番させた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
6. その他 ( )	a.	b.	c.	d.	e.	f.

→ 問25 (21ページ)へ

育児休業など、「職場の両立支援制度」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問25. お子さんが生まれたとき、母親・父親のいずれかもしくは双方が、育児休業又は短時間勤務を取得しましたか。母親・父親それぞれについてお答えください（それぞれ〇は1つだけ）。

(1) 母親の取得状況 (〇は1つだけ) ※父子家庭の場合、記入は不要です。	(2) 父親の取得状況 (〇は1つだけ) ※母子家庭の場合、記入は不要です。
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 育児休業と短時間勤務を両方取得した	2. 育児休業と短時間勤務を両方取得した
3. 育児休業のみ取得した	3. 育児休業のみ取得した
4. 短時間勤務のみ取得した	4. 短時間勤務のみ取得した
5. 育児休業も短時間勤務も取得しなかった	5. 育児休業も短時間勤務も取得しなかった

(問25で母親・父親のおひとりでも「3.」「4.」「5.」とお答えの方におたずねします。)

問25-1. 育児休業又は短時間勤務のどちらか1つでも取得しなかった方について、その理由をお答えください(〇はあてはまるものすべて)。ただし、選択肢5.~8.は、問25で「4.」「5.」とお答えの方(育児休業を取得しなかった方)のみ選択が可能です。

それぞれあてはまる番号すべてに〇

母親	父親	育児休業又は短時間勤務を取得していない理由
1.	1.	職場に取得しにくい雰囲気があったため
2.	2.	職場に制度はあるが、仕事が忙しく取得することが困難だったため
3.	3.	取得要件を満たさず、取得できなかったため(有期雇用の場合など)
4.	4.	配偶者(就労)が育児休業や短時間勤務を利用して、子どもをみることでよかったため
5.	5.	【育児休業を取得しなかった方のみ】(産休後に)仕事に早く復帰したかったため
6.	6.	【育児休業を取得しなかった方のみ】仕事に長るのが難しかったため
7.	7.	【育児休業を取得しなかった方のみ】保育園などに預けることができたため
8.	8.	【育児休業を取得しなかった方のみ】育児休業取得後では保育園に入りたくいと思ったため
9.	9.	昇給・昇格などが遅れそうだったため
10.	10.	収入を得たかったため
11.	11.	配偶者(無職)、祖父母等の親族に子どもをみてもらえなかったため
12.	12.	退職したため(現在、就労を再開している場合も含む)
13.	13.	自営業で取得が困難なため
14.	14.	職場に制度がなかったため
15.	15.	取得できることを知らなかったため
16.	16.	その他( )

→ 問25-2 (22ページ)へ

問25で、母親・父親のおひとりでも育児休業を取得したとお答えの方におうかがいします。  
※該当しない方は→問26 (25ページ)へお進みください。

問25-2. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか(取得した又は取得中の方について、それぞれ〇は1つだけ)。

母親 (〇は1つだけ)	父親 (〇は1つだけ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

→ (問25-2. で母親・父親のおひとりでも「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方におうかがいします。)

問25-3. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか(取得した又は取得中の方について、それぞれ〇は1つだけ)。

※年度初めの認可保育園入園を希望して、1月~2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親 (〇は1つだけ)	父親 (〇は1つだけ)
1. 年度初めの入園にあわせたタイミングだった	1. 年度初めの入園にあわせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問25-4. 育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。  
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたいかどうか(取得した又は取得中の方について、それぞれかっこ内に数字で)。

母親	父親
(1) 実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) ヶ月まで	(1) 実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) ヶ月まで
(2) 希望の取得期間 ( ) 歳 ( ) ヶ月まで	(2) 希望の取得期間 ( ) 歳 ( ) ヶ月まで

→ 問25-5 (23ページ)へ

問25-4. で母親・父親のおひとりでも、育児休業のおひとりでも、育児休業の「(1) 実際の取得期間」と「(2) 希望の取得期間」が異なるとお答えの方におうかがいします。

※該当しない方は→問25-6 (24ページ)へお進みください。

問25-5. 希望の時期に職場復帰しなかった(できなかった)理由は、次のうちどれですか。

(1) 希望より早く職場復帰した方、(2) 希望より遅く職場復帰した方それぞれについてお答えください (〇はあてはまるものすべて)。

(1) 希望より早く職場復帰した方

母親	父親
1. 希望する保育所に入らないため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ( )	5. その他 ( )

(2) 希望より遅く職場復帰した方

母親	父親
1. 希望する保育所に入れないため	1. 希望する保育所に入れないため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ( )	6. その他 ( )

→ 問25-6 (24ページ)へ

お子さんの母親・父親のおひとりでも、現在も育児休業中であるとお答えの方におうかがいします。

※該当しない方は→問26 (25ページ)へお進みください。

問25-6. いつまで育児休業を取得する予定ですか (それぞれ〇は1つだけ)。

母親	父親
1. お子さんが1歳になって最初の4月入園以降に復帰する	1. お子さんが1歳になって最初の4月入園以降に復帰する
2. 上記1. よりも前に復帰する	2. 上記1. よりも前に復帰する

→ (問25-6. で母親・父親のおひとりでも、「2. 上記1. よりも前に復帰する」とお答えの方におたずねします。)

問25-7. お子さんが1歳になって最初の4月入園で必ず利用できる事業があれば、それまで育児休業を取得しますか (それぞれ〇は1つだけ)。

母親	父親
1. はい (1歳になって最初の4月入園まで育児休業を取得する)	1. はい (1歳になって最初の4月入園まで育児休業を取得する)
2. いいえ	2. いいえ

→ (問25-7で母親・父親のおひとりでも、「2. いいえ」とお答えの方におたずねします。)

問25-8. 1歳になって最初の4月入園よりも前に復帰したい理由は、次のうちどれですか (〇はあてはまるものすべて)。

1. 経済的な理由で復帰する必要があるため
2. 職場から早期の復帰を求められているため
3. 社会との関わりを保つためにも、早く職場復帰したいと考えているため
4. 早くから保育施設に預けた方が、子どもの育ちに良いと思うため
5. その他 ( )

→ 問26 (25ページ)へ

お子さんの「子育て全般」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問26. あなたは足立区に住んで何年になりますか（○は1つだけ）。

- 1. 1年未満
- 2. 1～5年未満
- 3. 5～10年未満
- 4. 10～20年未満
- 5. 20年以上

問27. 足立区は、子育てしやすいまちだと思いますか（○は1つだけ）。

- 1. 子育てしやすいまちだと思います
- 2. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います
- 3. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います
- 4. 子育てしやすいまちだと思います

→ (問27で「1. 子育てしやすいまちだと思います」または「2. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います」とお答えの方におたずねします。)

問27-1. 子育てしやすいまちだと思います理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

- 1. 住環境が良い
- 2. 自然環境が良い
- 3. 交通機関が便利
- 4. 保育サービス等が充実している
- 5. 小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい
- 6. 子育てサロンや児童館・図書館が近所にある
- 7. 公園など子どもの遊び場が多い
- 8. 近所つきあいや地域活動が盛ん
- 9. 地域の子育てネットワークができてきている
- 10. 子育てに関する情報が得やすい
- 11. 事故や犯罪が少なく安全
- 12. 医療機関や専門的な相談先が身近にある
- 13. その他（ ）

→ 問28 (26ページ) ^

(問27で「3. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います」または「4. 子育てしやすいまちだと思います」とお答えの方におたずねします。)

問27-2. 子育てしやすいまちだと思います理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。

- 1. 住環境がよくない
- 2. 自然環境がよくない
- 3. 交通機関が不便
- 4. 保育サービス等が充実していない
- 5. 小学校、保育園、幼稚園などが利用しにくい
- 6. 子育てサロンや児童館・図書館が近所がない
- 7. 公園など子どもの遊び場が少ない
- 8. 近所つきあいや地域活動が盛んでない
- 9. 地域の子育てネットワークができていない
- 10. 子育てに関する情報が得にくい
- 11. 事故や犯罪が多く安全ではない
- 12. 医療機関や専門的な相談先が身近にない
- 13. その他（ ）

→ 問28 (26ページ) ^

すべての方におうかがいします。

問28. 子育てに関して悩んでいることがありますか（○はあてはまるものすべて）。

- 1. 子どもの発達について
- 2. 子どもの食事や栄養について
- 3. 子どもの遊ばせ方やしつけについて
- 4. 子育て仲間がいない
- 5. 緊急時に子どもをみてくれる人がいない
- 6. 専門的な相談先がわからない
- 7. 教育・保育情報や地域の子育て情報が得にくい
- 8. 子育てが精神的な負担になっている
- 9. 子どもとの時間がとれない
- 10. 子どもへの接し方に自信がない
- 11. 子育てで配偶者と意見が合わない
- 12. 話を適度に傾聴してくれる人がいない
- 13. 仕事や自分のことが十分できない
- 14. 親等の介護もしており負担が大きい
- 15. その他（ ）
- 16. 特にない

問29. あなたは、子育てをどのように感じていますか（○は1つだけ）。

- 1. 楽しいと感じることが多い
- 2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい
- 3. 辛いと感じることが多い
- 4. わからない

問30. 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

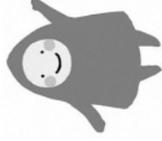
.....

.....

.....

.....

.....



質問は以上です。  
調査にご協力いただき、ありがとうございます。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

ご投函締切： 2月20日（水）

## 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

回答時間の目安：15分前後

### ご記入にあたって

- 特に断りがない限り、封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- 特に断りがない限り、回答日現在の状況でお答えください。
- 質問中に「母親」「父親」「父母」とある場合は、現在のお子さんの保護者である方（養母、養父を含む）についてお答えください。
- お答えの内容は、すべて統計的に処理し、個人の特定ができないように取り扱います。また、データ入力後は調査票を厳正に管理・保管し、一定期間経過後に溶解処理いたします。個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることとは一切ございません。

### ～一人でも多くの方のご回答をお待ちしています～

日頃より足立区の子ども・子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

足立区では、子どもが自らの力で人生を切り拓いていくことのできる「たくましく生き抜く力を育む」ことを目標として、子ども・子育て支援を最優先施策の1つに位置づけて取り組みを進めています。また、区民の皆様の子育てやサービスの利用状況、利用希望、ご意見等を把握し、より一層施策を充実させるため、定期的な「ニーズ調査」を実施しております。

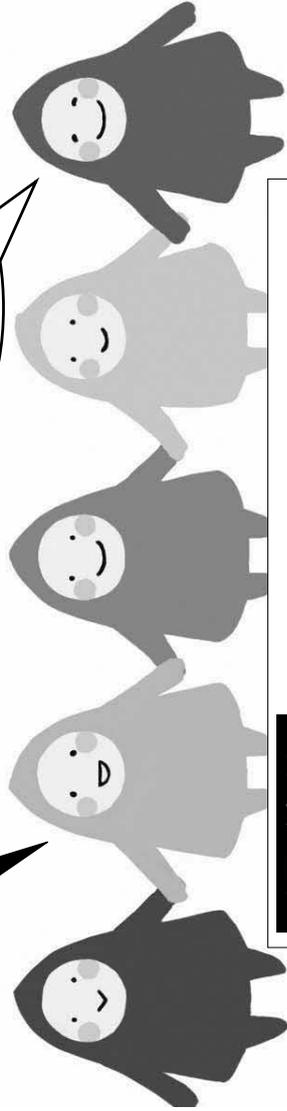
本調査の結果は、待機児童解消や子育てへの不安解消に向け、足立区が取り組むべき事業を検討するために活用し、2020年度からの5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」(第二期)の策定に生かしてまいります。

質問数が多くご負担をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月 足立区長 近藤やよい

ご返送は 2月20日(水)まで  
をお願いします。

同封の返信用封筒  
をご利用ください  
(切手不要)。



#### お問い合わせ先

足立区教育委員会事務局 子ども家庭部 子ども政策課 子ども・子育て支援制度担当

電話：03-3880-5795(受付時間:月～金 8時30分～17時15分 ※祝日除く)

Eメール:kosodate@city.adachi.tokyo.jp

～ 本調査票は、小学生のお子さんを住民票から無作為に抽出し、その保護者の皆様3,200人の方々に送付させていただきました。～

お住まいの地域についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問1. お住まいの地区をかつこ内にご記入ください。

足立区 ( ) ( ) ( ) 丁目

※記入例：( 千住 ) ( 2 ) 丁目、( 保塚町 ) ( ) 丁目 など

お子さんのご家族の状況についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問2. お子さんの生年月月をご記入ください (かつこ内に数字で)。

平成 ( ) 年 ( ) 月 生まれ

問3. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください (○は1つだけ)。

1. 母親      2. 父親      3. その他 ( )

問4. お子さんはご回答いただく方にとって何番目のお子さんですか (○は1つだけ)。

1. 1人目      2. 2人目      3. 3人目      4. 4人目以上 ( 人目)

問5. この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか (○は1つだけ)。

1. 配偶者がいる      2. 配偶者がいない

問6. お子さんの子育て (教育を含む) を主に行っているのはどなたと考えていますか。

お子さんからみた関係でお答えください (○は1つだけ)。

1. 父母ともに  
2. 主に母親  
3. 主に父親  
4. 主に祖父母等の親族  
5. その他 ( )

→ 問7 (2 ページ) へ

お子さんの就学前の状況についてうかがいます。

問7. お子さんが小学校に入学する直前の年度に、平日、定期的に利用していた教育・保育事業をお答えください (○は1つだけ)。

※年度内に利用する教育・保育事業を変更した場合は、直近で利用していた事業をお答えください。

※複数の事業を同時に利用していた場合は、主に利用していた事業をお答えください。

1. 私立幼稚園<sup>※1</sup> (通常の就園時間の利用)
2. 私立幼稚園の預かり保育<sup>※1</sup> (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認定こども園の短時間利用 (午前9時～午後2時)
4. 認定こども園の長時間利用
5. 認可保育所 (午後4時30分までの預かり)<sup>※2</sup>
6. 認可保育所 (午後4時30分より遅く、午後6時30分までの預かり)<sup>※2</sup>
7. 認可保育所 (午後6時30分より遅い時間までの預かり)<sup>※2</sup>
8. 東京都認証保育所 (東京都が認証した保育施設で、直接施設に利用申込するもの)
9. その他の認可外保育施設 (直接施設に申込するもので他の選択肢にあてはまらないもの)
10. 1. ～9. にあてはまらない定期的なサービス (サービス名: )
11. いずれも利用していなかった

※1 以下の施設は「3.」又は「4.」の「認定こども園」(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設) になりますのでご注意ください。…東京白百合幼稚園、西新井幼稚園、杉の子幼稚園、舎人幼稚園

※2 認可保育所は、最も頻度が多かった利用時間にあてはまるものを1つお選びください。

→ 問8 (3 ページ) へ

お子さんの「子育て環境」についてうかがいます。

問8. 親族や知人で、日頃、お子さんをみてもらえる方はいますか（○はあてはまるものすべて）。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。または相談できる場所はありますか（○は1つだけ）。

1. いる/ある
2. いない/ない

→ 問10（4ページ）へ

（問9で「1. いる/ある」とお答えの方におたずねします。）

問9-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか（○はあてはまるものすべて）。

1. 配偶者
2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 子育てグループ活動（保健センター等の自主グループ、のびのび親子ひろば活動、サロンの木を含む）
6. 小学校教諭
7. スクールカウンセラー
8. 児童館・学童保育室の職員
9. 放課後子ども教室のスタッフ
10. 民生委員・児童委員
11. 子育てサポーター、ファミリー・サポート・センターの提供会員、NPOの職員
12. かかりつけの医師
13. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）の先生
14. 保健センター等の保健師
15. 区役所の子育て担当窓口（こども支援センターげんき、障がい福祉センターあしと、保育コンシエールジュ、豆の木相談室など）の職員
16. その他（ベビーマッサージなど）

→ 問10（4ページ）へ

お子さんの「保護者の方の就労状況」についてうかがいます。

（注）以下、「フルタイム」とは1週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。  
また、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム」以外の就労を指します。

すべての方におうかがいします。お子さんのお母さまについてお答えください。  
※父子家庭の場合は→問11（5ページ）へお進みください。

問10. お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 問11（5ページ）へ

→問10で「1. ～ 4.」のいずれかに、○をつけた方におたずねします。）

問10-1. お母さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

※日数・時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 就労日数	1週あたり ( ) 日	※かつこ内に数字で記入
(2) 就労時間 (就業時間を含み、休憩時間を含まない)	1日あたり ( ) 時間	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(3) 家を出る時刻 (自宅に就労している場合は就労を始める時刻)	( ) 時	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(4) 帰宅する時刻 (自宅に就労している場合は就労を終える時刻)	( ) 時	※かつこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(5) 土曜日の就労日数	1. なし 2. 月に1～2日 3. ほぼ毎週	※あてはまるもの1つに○
(6) 日曜日・祝日の就労日数	1. なし 2. 月に1～2日 3. ほぼ毎週	※あてはまるもの1つに○
(7) 1日あたりの通勤時間 (往復の合計時間として、あてはまるもの1つに○)	1. 30分未満 (自宅に就労を含む) 4. 1時間30分以上・2時間未満 2. 30分以上・1時間未満 5. 2時間以上・2時間30分未満 3. 1時間以上・1時間30分未満 6. 2時間30分以上	
(8) 日常的な通勤手段 (あてはまるものすべてに○) ※鉄道を利用する場合、自宅を出て最初に乗車する鉄道駅もご記入ください。	1. 自転車 (電動自転車以外) 5. 自動車 2. 電動自転車 6. バイク 3. バス 7. 徒歩のみ (1～6を使用しない場合) 4. 鉄道 → 最初に乗車する鉄道駅 ( ) 駅 9. その他 ( )	

→ 問11（5ページ）へ

すべての方におうかがいします。お子さんのお父さまについてお答えください。  
※母子家庭の場合は→問12(6ページ)へお進みください。

問11. お父さまの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)は次のどれにあたりますか  
(○は1つだけ)。

<ol style="list-style-type: none"> <li>フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない</li> <li>フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である</li> <li>パート・アルバイト等で就労しており、育児・介護休業中ではない</li> <li>パート・アルバイト等で就労しているが、育児・介護休業中である</li> <li>以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>これまで就労したことがない</li> </ol>	→ 問12(6ページ)へ
--	--------------

→問11で「1.～4.」のいずれかに、○をつけた方におたずねします。

問11-1. お父さまの就労状況について、下の表の(1)～(8)にお答えください。

※日数・時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 就労日数	1 週あたり ( ) 日 ※かっこ内に数字で記入
(2) 就労時間 (就業時間を含み、休憩時間は含まない)	1 日あたり ( ) 時間 ※かっこ内に数字で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(3) 家を出る時刻 (自宅で就労している場合は就労を開始する時刻)	( ) 時 ( ) 分 ※かっこ内に数字で記入 ※24時間制で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(4) 帰宅する時刻 (自宅で就労している場合は就労を終える時刻)	( ) 時 ( ) 分 ※かっこ内に数字で記入 ※24時間制で記入 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て
(5) 土曜日の就労日数	1. なし 2. 月に1～2日 3. ほぼ毎週1つに○ ※あてはまるもの1つに○
(6) 日曜日・祝日の就労日数	1. なし 2. 月に1～2日 3. ほぼ毎週1つに○ ※あてはまるもの1つに○
(7) 1日あたりの通勤時間 (往復の合計時間として、あてはまるもの1つに○)	1. 30分未満(自宅で就労を含む) 4. 1時間30分以上・2時間未満 2. 30分以上・1時間未満 5. 2時間以上・2時間30分未満 3. 1時間以上・1時間30分未満 6. 2時間30分以上
(8) 日常的な通勤手段 (あてはまるものすべてに○) ※鉄道を利用する場合、自宅を出て最初に乗車する鉄道駅もご記入ください。	1. 自転車(電動自転車以外) 5. 自動車 2. 電動自転車 6. バイク 3. バス 7. 徒歩のみ(1～6を使用しない場合) 4. 鉄道→最初に乗車する鉄道駅( ) 駅 8. 自宅而就労 9. その他( )

→ 問12(6ページ)へ

お母さま・お父さまのおひとりでも、「パート・アルバイト等」で就労しているとお答えの方におうかがいします(育児・介護休業中の場合を含む)。  
※該当しない方は→問13へお進みください。

問12. 今後の就労希望は、次のどれにあたりますか(○は1つだけ)。

母親 (問10で3または4に○をつけた方)	<ol style="list-style-type: none"> <li>フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している</li> <li>フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない</li> <li>パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li> <li>パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol>
父親 (問11で3または4に○をつけた方)	<ol style="list-style-type: none"> <li>フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している</li> <li>フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない</li> <li>パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li> <li>パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol>

→ 問13へ

お母さま・お父さまのおひとりでも、現在就労していないとお答えの方におたずねします。  
※該当しない方は→問14(7ページ)へお進みください。

問13. 今後の就労希望は次のどれにあたりますか(○はそれぞれ1つだけ)。  
また、下記で「3. または4. (パート・アルバイト等で就労したい)」に○をつけた方は、希望する「就労日数」「就労時間」「通勤時間」についてもお答えください(かっこ内に数字で)。

母親 (問10で5または6に○をつけた方)	<ol style="list-style-type: none"> <li>フルタイムですぐに就労したい</li> <li>フルタイムで数年後までには就労したい</li> <li>パート・アルバイト等ですぐに就労したい</li> <li>パート・アルバイト等で数年後までには就労したい</li> <li>就労の予定はない(子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等)</li> </ol>	<p>(1) 就労日数 1 週あたり ( ) 日</p> <p>(2) 就労時間 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て 1 日あたり ( ) 時間</p> <p>(3) 通勤時間 1 日あたり往復 ( ) 分以内</p>
父親 (問11で5または6に○をつけた方)	<ol style="list-style-type: none"> <li>フルタイムですぐに就労したい</li> <li>フルタイムで数年後までには就労したい</li> <li>パート・アルバイト等ですぐに就労したい</li> <li>パート・アルバイト等で数年後までには就労したい</li> <li>就労の予定はない(子育てや家事、自身の治療等に専念したい、等)</li> </ol>	<p>(1) 就労日数 1 週あたり ( ) 日</p> <p>(2) 就労時間 ※30分以上切り上げ、30分未満切り捨て 1 日あたり ( ) 時間</p> <p>(3) 通勤時間 1 日あたり往復 ( ) 分以内</p>

→ 問14(7ページ)へ

お子さんの「放課後の過ごし方」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問14. お子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所（事業）で過ごしていますか（○はあてはまるものすべて）。また、それぞれの場所（事業）の週あたりの日数をお答えください（かっこ内に数字で）。

(1) 過ごしている場所 (○はあてはまるものすべて)	(2) 週あたりの日数 (かっこ内に数字を記入)
1. 自宅	週に ( ) 日くらゐ
2. 祖父母等の親族宅や友人・知人宅	週に ( ) 日くらゐ
3. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）	週に ( ) 日くらゐ
4. 児童館（児童館特例利用を含む）*1	週に ( ) 日くらゐ
5. 放課後子ども教室*2	週に ( ) 日くらゐ
6. 学童保育（民間学童保育を含む）*3	週に ( ) 日くらゐ
7. 子ども預かり・送迎支援事業（旧子育てホームサポート） 又は、ファミリー・サポート・センター事業	週に ( ) 日くらゐ
8. 公園など、屋外の公共スペース	週に ( ) 日くらゐ
9. その他 ( )	週に ( ) 日くらゐ

\*1 「児童館特例利用（ランドセルで児童館）」とは、放課後に家庭に留守になる児童が、学校から帰宅せずに、直  
接児童館を利用することができる制度です（登録が必要です）。  
\*2 「放課後子ども教室」とは、地域の方々による見守り等の協力を得て、平日の放課後に、小学校の校庭や図書室  
等で、遊びや学び、読書、体験活動等に子どもたちが自主的・自由に参加し活動できる場です。区の事業として  
全ての小学校で実施していますが、対象学年や実施曜日、内容は学校により異なります。保護者の就労の有無  
に関わらず利用できます。  
\*3 足立区の事業として実施している「学童保育」とは、小学1年生から6年生の保護者が就労等により放課後お子  
さんを保育することができない家庭のお子さんを対象とした放課後の生活の場です。利用にあたっては、一定の  
利用料（月額6,000円）がかかります。以下の①～③までのすべてを満たしていることが必要です（平成30  
年度現在）。なお、民間学童保育の内容は施設ごとに異なります。  
①週3日以上就労等をしていること  
②1日4時間以上の就労等をしていること  
③午後1時から午後5時までの1週間の就労等の合計が12時間以上あること

問14で「6. 学童保育」に○をつけた方におうかがいします。

※その他の方は→問14-3（8ページ）へお進みください。

問14-1 学童保育の現在の利用時間帯をお答えください。また、希望する利用時間帯をお答え  
ください（かっこ内に数字）。

※ 時間は、24時間制（例えば、17時まで、18時までなど）、30分以上の切り上げ、30分未満は切り落（例えば、16  
時15分のときは16時、17時30分のときは18時など）でお答えください。

(1) 現在の利用時間帯	下校時から ( ) 時まで
(2) 希望する利用時間帯	下校時から ( ) 時まで

→ 問14-2（8ページ）へ

引き続き、問14で「6. 学童保育」に○をつけた方におうかがいします。

問14-2. 学童保育室の設置場所について、どこにあれば学童保育を利用できますか（○はあては  
まるもの全て）。

1. 在籍している学校内	4. 学校の学区程度程度の範囲内
2. 通学路に近い場所	5. 徒歩で通える範囲内
3. 通学路に関係なく、自宅に近い場所	6. その他 ( )

→ 問14-4（9ページ）へ

問14で「6. 学童保育」に○をつけた方におうかがいします。

問14-3. 学童保育を利用していない理由は、次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1. 子どもだけで留守番しており、利用する必要がないため	7. 子どもが放課後子ども教室を利用しているため
2. 平日、父母が子どもをみており、利用する必要がないため	8. 利用したいが、学童保育に空きがないため
3. 平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみており、利用する必要がないため	9. 利用したいが、経済的な理由で学童保育を利用できないため
4. 子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしているため	10. 利用したいが、延長・夜間等の利用希望時間帯が合わないため
5. 子どもが児童館を利用しているため	11. 利用したいが、学童保育の質や場所など、納得できるものがないため
6. 「児童館入退室メール配信サービス」に登録しており、子どもが児童館に出入りする時 間がメールで把握できるため	12. 子ども自身が学童保育の利用を希望していないため
7. 子どもが放課後子ども教室を利用しているため	13. その他 ( )
8. 利用したいが、学童保育に空きがないため	
9. 利用したいが、経済的な理由で学童保育を利用できないため	

→ 問14-4（9ページ）へ

お子さんの「病気の際の対応」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問14-4. お子さんについて、(1)土曜日に、(2)日曜日・祝日に、(3)夏休み・冬休みなどの学校長期休業中に、学童保育（民間学童保育を含む）を利用したいと思いませんか（それぞれ○は1つだけ）。また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください（かっこ内に数字で）。

※時間は、24時間制（例えば、9時から17時までなど）、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て（例えば、9時15分のときは9時、16時30分のときは17時など）でお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

<p>1. 低学年（1～3年生）の間のみ利用したい （現在利用している場合を含む）</p> <p>2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい （現在利用している場合を含む）</p> <p>3. 利用する必要はない</p>	<p>↑</p> <p>利用したい時間帯 ( )時から( )時まで</p>
--	---

(2) 日曜日・祝日

<p>1. 低学年（1～3年生）の間のみ利用したい</p> <p>2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい</p> <p>3. 利用する必要はない</p>	<p>↑</p> <p>利用したい時間帯 ( )時から( )時まで</p>
--	---

(3) 夏休み・冬休みなどの学校長期休業中

<p>1. 低学年（1～3年生）の間のみ利用したい （現在利用している場合を含む）</p> <p>2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい （現在利用している場合を含む）</p> <p>3. 利用する必要はない</p>	<p>↑</p> <p>利用したい時間帯 ( )時から( )時まで</p>
--	---

→ 問15 (10ページ)へ

問15. この1年間に、お子さんが病气やケガで学校を休んだことはありますか（○は1つだけ）。

<p>1. あった</p>	<p>2. なかった → 問16 (12ページ)へ</p>
---------------	-------------------------------

(問15で「1. あった」とお答えの方におたずねします。)

問15-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか（あてはまる番号すべてに○）。また、それぞれのおおよその日数（年間）をお答えください（それぞれ○は1つだけ）。

※日数については、半日程度の場合も1日とカウントしてください。

(1) 対 処 方 法	(2) おおよその日数（年間） （行った対処法ごとに○は1つ）					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.
※あてはまる番号すべてに○	1日～5日程度	6日～10日程度	11日～30日程度	31日～50日程度	51日～100日程度	101日以上
1. 父親が仕事を休んで子どもをみた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
2. 母親が仕事を休んで子どもをみた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	a.	b.	c.	d.	e.	f.
4. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもをみた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
5. ハビーシッター事業者が提供する在宅型の病児保育サービスを利用した*	a.	b.	c.	d.	e.	f.
6. 5. 以外の民間のベビーシッターを利用した	a.	b.	c.	d.	e.	f.
7. 子どもだけで留守番をさせた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
8. その他 ( )	a.	b.	c.	d.	e.	f.

※ 「ハビーシッター事業者が提供する在宅型の病児保育サービス」とは、足立区の病児保育（在宅型）利用料金の賦成対象となっているようなサービスのことを指します。

→ 問15-2 (11ページ)へ

問15-1で「1. 父親が仕事を休んで子どもをみた」「2. 母親が仕事を休んで子どもをみた」のいずれかひとつでも○をつけた方におうかがいします。  
※該当しない方は→問16(12ページ)へお進みください。

問15-2. 父親または母親が休んだ際、「できれば病児や病後児のための保育施設・保育サービスを利用したい」と思われましたか(○は1つだけ)。  
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1. できれば病児や病後児のための保育施設・サービスを利用したいと思った  
2. 利用したいとは思わなかった →問16(12ページ)へ

(問15-2で「1.」とお答えの方におたずねします。)

問15-3. 病児・病後児のための保育施設やサービスを利用したいと思っ日は何日くらいありましたか。おおよその日数(年間)をお答えください(かっこ内に数字で)。

利用希望日数 年間( )日

問15-4. 病児・病後児のための保育施設やサービスにお子さんをお願いする場合、下記の事業形態が望ましいと思われませんか(○はあてはまるものすべて)。  
※いずれも一定の利用料がかかります。

1. 保育園や幼稚園などの保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業  
2. 医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業  
3. 地域の子育て経験者などが自宅や保護者宅などの身近な場所で保育する事業  
4. 看護師や保育士等が家庭等の身近な場所で保育する事業  
5. その他( )

→ 問16(12ページ)へ

すべての方におうかがいします。

問16. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りだけで家族以外にみてもらわなければならぬことはありませんか(預け先が見つからなかった場合も含みます)(○は1つだけ)。

1. あった → 問17(13ページ)へ  
2. なかった → 問17(13ページ)へ

(問16で「1. あった」とお答えの方におたずねします。)

問16-1. その際、この1年間に行った対処方法は次のどれですか(○はあてはまるものすべて)。  
また、それぞれのおおよその日数(年間)をお答えください(それぞれ○は1つだけ)。  
※日数は泊数(1泊2日なら「1日」)でお答えください。

(1) この1年間に行った対処方法	(2) おおよその日数(年間) (行った対処法ごとに○は1つ)					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.
1. 祖父母等の親族・知人にみてもらった	1日 } 5日程度	6日 } 10日程度	11日 } 30日程度	31日 } 50日程度	51日 } 100日程度	101日以上
2. ショートステイ(※)を利用した ※児童養護施設等【クリスマスヴィレッジ、養育協力家庭】で一定期間、子どもを保護する事業)	a.	b.	c.	d.	e.	f.
3. 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	a.	b.	c.	d.	e.	f.
4. 仕方なく子どもを同行させた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
5. 仕方なく子どもだけで留守番させた	a.	b.	c.	d.	e.	f.
6. その他( )	a.	b.	c.	d.	e.	f.

→ 問17(13ページ)へ

お子さんの「子育て全般」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問17. あなたは足立区に住んで何年になりますか (○は1つだけ)。

- 1. 1年未満
- 2. 1～5年未満
- 3. 5～10年未満
- 4. 10～20年未満
- 5. 20年以上

問18. 足立区は、子育てしやすいまちだと思いますか (○は1つだけ)。

- 1. 子育てしやすいまちだと思います
- 2. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います
- 3. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います
- 4. 子育てしやすいまちだと思います

→ (問18で「1. 子育てしやすいまちだと思います」または「2. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います」とお答えの方におたずねします。)

問18-1. 子育てしやすいまちだと思う理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 住環境が良い
- 2. 自然環境が良い
- 3. 交通機関が便利
- 4. 保育サービス等が充実している
- 5. 小学校、保育園、幼稚園などが利用しやすい
- 6. 子育てサロンや児童館・図書館が近所にある
- 7. 公園など子どもの遊び場が多い
- 8. 近所づきあいや地域活動が盛ん
- 9. 地域の子育てネットワークができています
- 10. 子育てに関する情報が得やすい
- 11. 事故や犯罪が少なく安全
- 12. 医療機関や専門的な相談先が身近にある
- 13. その他 ( )

→ 問19 (14ページ)へ

(問18で「3. どちらかと言えば、子育てしやすいまちだと思います」または「4. 子育てしやすいまちだと思います」とお答えの方におたずねします。)

問18-2. 子育てしやすいまちだと思う理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 住環境がよくない
- 2. 自然環境がよくない
- 3. 交通機関が不便
- 4. 保育サービス等が充実していない
- 5. 小学校、保育園、幼稚園などが利用しにくい
- 6. 子育てサロンや児童館・図書館が近所にな
- 7. 公園など子どもの遊び場が少ない
- 8. 近所づきあいや地域活動が盛んでない
- 9. 地域の子育てネットワークができていない
- 10. 子育てに関する情報が得にくい
- 11. 事故や犯罪が多く安全ではない
- 12. 医療機関や専門的な相談先が身近にな
- 13. その他 ( )

→ 問19 (14ページ)へ

すべての方におうかがいします。

問19. 子育てに関して悩んでいることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 子どもの発達について
- 2. 子どもの食事や栄養について
- 3. 子どもの遊ばせ方やしつけについて
- 4. 子育て仲間がいない
- 5. 緊急時に子どもをみてくれる人がいない
- 6. 専門的な相談先がわからない
- 7. 教育・保育情報や地域の子育て情報が得にくい
- 8. 子育てが精神的な負担になっている
- 9. 子どもとの時間がとれない
- 10. 子どもへの接し方に自信がない
- 11. 子育てで配偶者と意見が合わない
- 12. 話を適度に傾聴してくれる人がいない
- 13. 仕事や自分のことが十分できない
- 14. 親等の介護しており負担が大きい
- 15. その他 ( )
- 16. 特にない

問20. あなたは、子育てをどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- 1. 楽しいと感じることが多い
- 2. 楽しいと感じること、辛いと感じることが同じくらい
- 3. 辛いと感じることが多い
- 4. わからない

問21. 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



質問は以上です。  
調査にご協力いただき、ありがとうございます。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

ご投函締切： 2月20日 (水)

足立区  
『子ども・子育て支援に関するニーズ調査』  
調査結果報告書

平成31年3月発行

発行：足立区 教育委員会  
編集：足立区 教育委員会 子ども家庭部 子ども政策課  
東京都足立区中央本町1-17-1  
電話：03-3880-5795  
FAX：03-3880-5641  
調査・分析：株式会社アストジェイ  
東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4